

∴ 令和6年度地域観光資源の中国語解説整備支援事業 実施地域一覧

地域 番号	カテゴリ	都道府県	地域協議会名	英語解説文 作成年度	英語事例集 対応番号
023	観光 （14 地域）	山口県	関門インバウンド受入協議会	令和5年度	029
028		愛知県	一般社団法人とこなめ観光協会	令和5年度	026
031		長崎県	大村市観光交流都市(まち)づくり推進協議会	令和5年度	030
050		宮城県	登米市	令和6年度	025
051		福島県	二本松市	令和6年度	026
052		新潟県	村上市訪日外国人等受入協議会	令和6年度	027
053		群馬県	沼田市	令和6年度	028
054		愛知県	蒲郡市竹島エリア多言語解説協議会	令和6年度	029
055		京都府	和束町地域力推進協議会	令和6年度	033
056		兵庫県	北野異人館協会	令和6年度	034
057		和歌山県	有田川町	令和6年度	035
058		岡山県	井原線沿線観光連盟	令和6年度	036
059		熊本県	錦町多言語解説協議会	令和6年度	037
060		鹿児島県	指宿市観光・経済戦略会議	令和6年度	038

地域番号	023	協議会名	関門インバウンド受入協議会

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
023-001	関門海峡	1770	WEB
023-002	旧門司三井倶楽部	1170	WEB、パンフ、 その他(アプリ)
023-003	旧大阪商船ビル	740	WEB、パンフ、 その他(アプリ)
023-004	旧門司税関	885	WEB、パンフ、 その他(アプリ)
023-005	旧大連航路上屋	930	WEB、パンフ、 その他(アプリ)
023-006	門司港駅	1160	WEB
023-007	大連友好記念館	1190	WEB、パンフ、 その他(アプリ)
023-008	赤間神宮	1085	WEB
023-009	旧秋田商会ビル	1115	WEB
023-010	旧下関英国領事館	975	WEB
023-011	世界平和パゴダ	935	WEB
023-012	九州鉄道記念館	965	WEB
023-013	三宜楼	1305	WEB
023-014	門司電気通信レトロ館	980	WEB
023-015	ホーム・リンガー商会	680	WEB
023-016	北九州銀行門司支店	455	WEB
023-017	日清講和記念館	1670	WEB
023-018	関門ビル	435	WEB
023-019	藤原義江記念館（旧リンガー邸）	1180	WEB
023-020	下関南部町郵便局庁舎	420	WEB
023-021	功山寺	805	WEB
023-022	巖流島	1270	WEB
023-023	唐戸市場	925	WEB
023-024	フグ料理	785	WEB
023-025	瓦そば：山口県のソールフード	495	WEB
023-026	関門汽船	510	WEB
023-027	関門鉄道トンネル	715	WEB
023-028	関門トンネル「人道」	405	WEB
023-029	バナナの叩き売り	700	WEB
023-030	栄町銀天街	455	WEB
023-031	清滝地区	510	WEB

023-032	関門海峡の生きた歴史建築	955	WEB
023-033	関門海峡の潮	545	WEB
023-034	明治、大正、昭和：20世紀日本建築の 時代区分の大まかな案内	1385	WEB
023-035	六連島灯台	510	WEB
023-036	関門海峡ミュージアム	1450	WEB、パンフ、 その他(アプリ)
023-037	世紀の変わり目の日本、そして下関と門司	1845	WEB
023-038	旧門司三井倶楽部	540	看板
023-039	旧大阪商船ビル	530	看板
023-040	旧門司税関	405	看板
023-041	旧大連航路上屋	485	看板
023-042	大連友好記念館	510	看板
023-043	関門海峡ミュージアム	385	看板
023-044	門司港レトロ展望室	705	WEB、パンフ、 その他(アプリ)
023-045	門司港レトロ展望室	410	看板

【タイトル】 関門海峡

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

关门海峡

如同苏伊士运河、巴拿马运河、麦哲伦海峡和直布罗陀海峡一样，关门海峡也是一条决定国家命运的重要水道。这条海峡位于本州岛和九州岛之间，数百年间一直是连接日本海和瀬戸内海的海上关键航道。一代又一代的引航员和船长都曾在海峡的险滩暗礁中，顶着高达 11 节（20.3 公里/小时）的激流航行。关门海峡呈 S 型，长约 15 海里，深 12 米，最窄处的可航行宽度仅 650 米。航道狭窄，视野受限，令航行危险系数陡增。

在地理上，关门海峡的规模相对较小，但在地缘政治、历史和文化方面至关重要。数世纪以来，圣人、学者乃至间谍都曾造访过这条水道，它见证了海战和政治动荡，也见证了一位天皇的悲惨结局。在历史长河中它几经更名，穴门、马关、下关都曾是其名字。

起源

现代地质学家估计，关门海峡大约形成于 6000 年前本州岛和九州岛分离之时。但根据日本神话所述，关门海峡诞生于公元 3 世纪早期，当时神功皇后(170-269)南下镇压今九州地区的原住民族“熊袭”的叛乱，途中，她在一处名为“穴门”的洞穴停留，洞穴奇迹般地一分为二，大地的巨大裂缝变成了今天的海峡。

平安时代末期的悲剧

12 世纪末，即平安时代(794-1185)末期，日本陷入平家和源氏的源平合战(1180-1185)之中。这场内乱以关门海峡近海的“坛之浦之战”告终。平家武士意识到败局已定，宁可投身恶浪而亡，也不愿面对被俘的耻辱。交战中，年仅 8 岁的安德天皇(1178-1185)被外祖母二位尼(1126-1185)抱着跳入大海，溺水身亡。

从室町时代到江户时代的关门海峡

室町时代(1336-1573)，前往中国明朝(1368-1644)的“遣明船”常常经由关门海峡停靠在门司港。当时，门司是一个特许贸易港口，由控制着九州北部大部分地区的大名（大领主）大内家族监管。1550 年，耶稣会传教士方济各·沙勿略(Francis Xavier, 1506-1552)在前往京都向朝廷传教的途中登陆下关。他在首都遭到佛教徒的坚决拒绝后，与支持者一起返回了现在的山口县，继续传播基督教。

1592 年，日本的武将兼实际统治者丰臣秀吉(1537-1598)船行前往大坂（今大阪）。经过关门海峡时正值最容易触礁的退潮时分，丰臣秀吉因急于赶路冒险驶入海峡，船体果然搁浅，他被抛入波涛之中，最终侥幸逃过一劫。

17 世纪早期，著名剑豪、哲学家宫本武藏(1584?-1645)在岩流岛的一场决斗中，杀死了对手佐佐木小次郎（生卒年不详），他们的传奇故事至今仍为人们津津乐道。在随后江户时代(1603-1867)的数百年间，下关一直是西行货船的主要停靠港，货船从北海道和日本东北出发，经关门海峡向大坂运输海带、鲑鱼和其他贵重商品。

下关战争

1853 年 7 月 8 日，美国特使马修·佩里(Matthew C. Perry, 1794-1858)准将率领“黑船”船队抵达浦贺湾（今东京附近），令西日本的排外和反幕府情绪高涨。1863 年 6 月 25 日，当美国商船 SS 彭布罗克号(SS Pembroke)穿过关门海峡时，长州藩（今山口县）前田炮台的 106 磅大炮对准了它，双方局势紧张，一触即发。这一事件成为世界性重大新闻，并引发了西方国家与长州藩之间的一系列海战，统称为“下关战争”（1863-1864）。次年 5 月，英国海军准将奥古斯都·库珀(Augustus L. Kuper, 1809-1885)率领一支由英国、美国、荷兰和法国组成的联合舰队驶入海峡，他们用 110 磅阿姆斯特朗炮击溃了 2000 人左右的长州藩军队。尽管长州军振臂高呼“尊王攘夷！”，却无人回应，日本闭关锁国的大门从此被打开。

门司港繁荣时期与近代海峡

《日英通商航海条约》于 1899 年生效，该条约终止了 1858 年签订的《日美友好通商条约》等一系列不公平和限制性的贸易政策。在经历了多年不平衡的双边贸易之后，门司成长为一个真正的国际港口，关门海峡也成为了煤炭、大米、小麦、面粉和硫磺等商品的出口重地，为日本国际贸易的蓬勃发展作出了巨大贡献。

1902 年，俄国建成了中国东方铁路，将符拉迪沃斯托克（海参崴）与不冻深水港——大连的旅顺港（当时又称亚瑟港）连接起来，门司港也因此更加繁荣。1898 年，门司港接待了 1000 多艘外国船只，在全日本港口中位居第五，其中许多船只只是为了购买东亚地区的珍贵商品——筑丰（九州）煤炭而来。

第二次世界大战(1939-1945)期间，美国将军柯蒂斯·勒梅(Curtis E. LeMay, 1906-1990)在“饥饿行动”（1945 年）中对日本内陆水域进行了空中布雷。美国军事情报部门认定关门海峡是“敌方航运阵地中最脆弱的一个点”，因此将其作为主要破坏目标。海上雷区极大地阻碍了石油、铁和粮食的进口，令日本已经匮乏的战时配给更加恶化。

如今，每天有数百艘船只通过关门海峡，其中既有本地船只，也有前往亚洲、北美洲和大洋洲主要港口的渡轮和集装箱货船。这里的洋流依然极富挑战性，如果没有训练有素的引航员指引，万吨及以上级别的船只都无法通过。

关门海峡湍急的水流声与船只的汽笛声交织在一起，形成了独特的海峡音色。关门海峡因此被列入了“日本之音风景百选”。

<繁体字>

關門海峽

關門海峽是一條決定國家命運的重要水道，如同蘇伊士運河、巴拿馬運河、麥哲倫海峽和直布羅陀海峽一樣。這條分隔了本州島和九州島的海峽，幾百年間一直是連接日本海和瀨戶內海的海上關鍵航道。一代又一代的引水人和船長，都曾在險灘暗礁中頂著高達 11 節（20.3 公里/小時）的急流航行。海峽呈 S 形彎道，長約 15 海哩，深 12 公尺，最窄處的可航行寬度只有 650 公尺。由於視野受限、航道狹窄，航行危險係數陡增。

關門海峽在地理上的規模不大，但要論地政學、歷史和文化上的意義，卻相當重要。幾百年來，它見證了海戰和政治動盪，也見證了一位天皇的悲慘結局。聖人、學者乃至間諜都曾造訪過這條水道。關門海峽在歷史長河中幾經更名，穴門、馬關、下關都曾是其的名字。

起源

依照現代地質學家的推測，關門海峽大約形成於 6000 年前本州島和九州島分離之時。不過，在日本神話的記載中，關門海峽誕生於西元 3 世紀早期，當時神功皇后（170-269）南下鎮壓今天九州地區的原住民「熊襲」的叛亂，途中她在一處名為「穴門」的洞穴停留，沒想到奇蹟出現了，洞穴一分为二，大地上的巨大裂縫變成了今天的海峽。

平安時代末期的悲劇

平安時代（794-1185）末期，即 12 世紀末，日本陷入平家和源氏的源平合戰（1180-1185）之中，這場內亂以關門海峽近海的「壇之浦之戰」告終。平家武士意識到敗局已定，寧可投身惡浪，也不願意成為敵營的俘虜。當時只有 8 歲的安德天皇（1178-1185）被外祖母二位尼（1126-1185）抱著跳海，溺水身亡。

從室町時代到江戶時代的關門海峽

室町時代（1336-1573），前往中國明朝（1368-1644）的「遣明船」經常經由關門海峽停靠門司港。當時，九州北部的大部分地區在大名（大領主）大內家的統治之下，作為特許貿易港口的門司港也歸該家族監管。1550 年，耶穌會傳教士方濟各·沙勿略（Francis

Xavier, 1506-1552) 在前往京都向朝廷傳教的途中曾於下關登陸。在首都遭到佛教徒的堅決拒絕後，方濟各·沙勿略與其支持者一行人又返回到現在的山口縣繼續傳教。

到了 1592 年，日本的武將兼實際統治者豐臣秀吉（1537-1598）乘船前往大坂（今大阪）。在通過關門海峽時正值退潮時分，雖然知道很容易觸礁，但因急於趕路，豐臣秀吉還是冒險前進。結果船體還是擱淺，他被拋入波濤之中，不過最後卻僥倖逃過一劫。

在 17 世紀早期巖流島的一場決鬥中，著名劍豪、哲學家宮本武藏（1584?-1645）殺死了對手佐佐木小次郎（生卒年不詳），他們的傳奇故事傳頌至今。在之後長達幾百年的江戶時代（1603-1867）中，下關一直是西行貨船的主要停靠港。貨船從北海道和日本東北出發，經關門海峽向大坂運輸昆布、鮭魚和其他貴重商品。

下關戰爭

1853 年 7 月 8 日，美國特使、海軍將領馬修·佩里（Matthew C. Perry, 1794-1858）率領「黑船」船隊抵達浦賀灣（今東京附近），此舉令西日本的排外和反幕府情緒高漲。1863 年 6 月 25 日，當美國商船 SS 彭布羅克號（SS Pembroke）穿過關門海峽時，長州藩（今山口縣）前田炮台的 106 磅大炮對準了它，局勢一度非常緊張。這一事件成為國際新聞頭條，引發了西方國家與長州藩間的一系列海戰，統稱為「下關戰爭」（1863-1864）。次年 5 月，一支由英國海軍將領奧古斯都·庫珀（Augustus L. Kuper, 1809-1885）率領、由英國、美國、荷蘭和法國組成的聯合艦隊駛入海峽，用 110 磅阿姆斯壯炮擊潰了 2000 人左右的長州藩軍隊。即便長州軍的「尊王攘夷」高呼聲響徹雲霄，也無任何回應，從此，日本閉關鎖國的大門被打開了。

門司港繁榮時期與近代海峽

1899 年，《日英通商航海條約》生效，這份條約終止了 1858 年簽訂的《日美友好通商條約》等一系列不公平和限制性貿易政策。在經歷了多年不平等的雙邊貿易之後，門司終於成長為一處真正的國際港口，關門海峽也成為了煤炭、稻米、小麥、麵粉和硫磺等商品的出口重地，在日本飛速發展的國際貿易中起到了不可或缺的作用。

俄國在 1902 年建成了中國東方鐵路，將海參崴（符拉迪沃斯托克）與不凍深水港——大連的旅順港（當時又稱亞瑟港）相連。受惠於這條鐵路，門司港進一步繁榮。1898 年，門司港接待了 1000 多艘外國船隻，在日本港口中位居第五，其中大部分船隻是為了購買東亞地區的珍貴商品——築豐（九州）煤炭而來。

在第二次世界大戰（1939-1945）期間的「饑餓作戰」（1945 年）中，美國將軍柯蒂斯·李梅（Curtis E. LeMay, 1906-1990）對日本內陸水域空投水雷。在美國軍事情報部門眼中，關門海峽是「敵方航運陣地中最脆弱的一個點」，因此把它作為主要破壞目標。海上雷區嚴重阻礙了石油、鐵和糧食的進口，令本來已經處境艱難的日本戰時配給雪上加霜。

如今，每天有數百艘船隻通過關門海峽，除了日本當地船隻以外，還包括前往亞洲、北美洲和大洋洲主要港口的渡輪和貨櫃船。這片水域的洋流依然充滿挑戰性，一萬公噸以上級別的船隻需要在訓練有素的引水人指引下才能順利通過。

今天，湍急水流聲與船隻汽笛聲交織在一起，形成了獨特的海峽音色。關門海峽因此被列入了「日本之音風景百選」。

<日本語仮訳>

関門海峡

スエズやパナマ、マゼラン、ジブラルタル海峡のように、関門海峡も国家の命運を左右する重要な水路である。何世紀もの間、本州と九州を隔てるこの海峡は、日本海と瀬戸内海を結ぶ重要な海上交通路であった。何世代にも亘って、パイロットや船長達は危険な岩礁や最大 11 ノット（時速 20.3 キロメートル）の激しい潮流を乗り越えてきた。海峡の長さは約 15 海里、深さは 12 メートルで、最も狭いところでは航行可能な幅はわずか 650 メートルしかない。S 字型の湾曲や視界の悪さや水路の狭さは、航行の難易度を高めている。

関門海峡は地理的には比較的小さな海峡だが、地政学的、歴史的、文化的な観点では重要な存在である。何世紀にも亘って、この航路を聖人や学者、スパイが訪れており、海戦や政変、また天皇陛下の悲劇的な死を目の当たりにしてきた。何世紀にも亘る歴史の中で、「穴門」（アナト）、「馬関」（バカン）、「下関」等、いくつもの名が付けられている。

起源

現代の地質学者は、およそ 6,000 年前に本州と九州が分離したときに関門海峡が形成されたと推定している。しかし、日本の神話によれば、関門海峡は 3 世紀初頭、神功皇后（170-269）が現在の九州に住んでいた先住民族、熊襲（くまそ）の反乱を鎮圧するために南下した時に形成されたという。神功皇后は旅の途中、「穴門」と呼ばれる洞窟に立ち寄ったが、その洞窟が奇跡的に 2 つに割れ、大地の大きな裂け目が海峡となったという。

平安時代末期の悲劇

12 世紀末、平安時代（794-1185）末期に当たり、日本では平家と源氏が繰り広げる源平合戦（1180-1185）と呼ばれる内紛状態に陥った。源平合戦は関門海峡沿岸で起きた壇ノ浦の戦いにて終結した。敗北が避けられないことを悟った平家の武士たちは、敵に捕らえられる不名誉に遭うことよりもむしろ、命を失うことになる潮流へと身を投じることを選んだ。この戦いの最中、幼い安徳天皇（1178-1185）は、母方の祖母である二位尼（1126-1185）の腕に抱かれて海の中に落ち、水没した。

室町時代から江戸時代の関門海峡

室町時代（1336-1573）の間、中国の明王朝（1368-1644）へ向かう遣明船はしばしば

関門海峡を通過して門司に停泊した。当時、北九州の大部分を支配する力のある大名であった大内氏によって統括される形で、門司は交易港として認可されていた。1550年には、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエル（1506-1552）が朝廷への布教のために京の都へ向かう途中、下関に上陸した。都で仏教徒による容赦ない拒絶に遭った後、彼とその支持者達は現在の山口県にあたる地に戻り、キリスト教を広める活動を続けた。

1592年、日本の武将であり事実上の支配者であった豊臣秀吉（1537-1598）が大坂（現在の大阪）に向かう航海の途中、この海峡に入った。彼の船は岩礁が最も危険な干潮時に海峡に入ったが、豊臣は急いでいた。さらに船を進めたが船体は座礁し、豊臣秀吉は波に投げ出された。彼はなんとかその苦難で一命を取り留めることができた。

17世紀初頭には、今日まで物語が伝わっている巖流島の決闘にて、高名な剣豪であり哲学者でもあった宮本武蔵（1584?-1645）が対戦相手である佐々木小次郎（生没年不明）を倒した。続く江戸時代（1603-1867）の間、下関は北海道や東北から関門海峡を通過して大坂に昆布やニシンなどの貴重品を運ぶ西廻り航路の船が寄港する重要な港であった。

下関戦争

1853年7月8日にアメリカの使節マシュー・ペリー（1794-1858）提督が黒船の船団を率いて浦賀湾（現在の東京近郊）に来航して以降、西日本では排外的で反幕府的な感情が高まり始めた。1863年6月25日、海峡を通過中の米商船SSペンブローック号に長州藩（現在の山口県）の前田砲台106ポンドの大砲を向けた時、事は一大事となった。この事件は世界的な大ニュースとなり、欧米諸国と長州藩との一連の海戦である下関戦争（1863-1864）を引き起こした。翌年5月、イギリスのオーガスティン・キーパー（1809-1885）提督は、イギリス、アメリカ、オランダ、フランスの艦隊を率いて海峡に侵入し、110ポンドの阿姆斯特朗砲で2,000人程の長州軍を圧倒した。抵抗側の「尊皇攘夷」の雄叫びは空しく響き、日本の対外的な扉は開かれたままとなった。

門司港ブームと現代の海峡

『日英通商航海条約』が1854年に発効となり、1858年の『日米修好通商条約』に始まる一連の不公平な制限貿易方針に終止符が打たれた。長年の偏った交易の後、門司は本格的な国際港となり、関門海峡は石炭、米、小麦、小麦粉、硫黄などの輸出、日本の急成長する国際貿易に欠かせない場所となった。

1902年、ロシアが東清鉄道を完成させ、ウラジオストクと不凍港である大連の旅順港（「ポート・アーサー」としても知られる）が結ばれると、門司は更に繁栄した。1898年には、門司港は1,000隻以上の外国船を受け入れており、これは国内港のうち5番目に大きな数字であった。これらの船の多くは、東アジアで珍重されていた筑豊（九州）の石炭を買い付けに来た。

第二次世界大戦中（1939-1945）、アメリカ合衆国のカーチス・ルメイ将軍（1906-1990）は、「飢餓作戦」（1945年）の一環として、日本の内陸水路に航空機雷を投下した。米軍情報部は関門海峡を「敵の海運拠点で最も脆弱な唯一の地点」と認識し、攪乱の主要な標的となった。海上の機雷原は石油、鉄、食料の輸入を大きく妨げ、その損失はすでに厳しい状態になっていた戦時配給をさらに悪化させた。

今日では地元の船舶や、アジア・北米・オーストラリアの主要港に向かうフェリーやコンテナ船を含め、毎日何百隻もの船舶が海峡を通過している。海流は変わらず激しく、訓練を受けたパイロットが乗船していなければ、1 万トン以上の船舶は通過できない。

関門海峡の激しい潮流の音の中で聞こえる汽笛の交錯は、海峡の音色そのものといえ、「日本の音風景百選」に選ばれている。

【タイトル】 旧門司三井倶楽部

【想定媒体】 WEB、パンフレット、その他（アプリ）

<簡体字>

旧門司三井倶楽部

20 世纪早期的門司是日本主要贸易港口，旧門司三井倶楽部设计风格奢华，正反映了当时商贸公司的繁盛。其半木结构的建筑、华丽的欧式内饰，堪称东西方文化兼容的典范，在門司这座繁荣的国际港口城市中，此类建筑随处可见。倶楽部大楼于 1921 年竣工，次年就接待了访日的著名物理学家阿尔伯特·爱因斯坦(Albert Einstein, 1879-1955)。

商贸公司“三井物産株式会社”成立于 1876 年，倶楽部就是为其员工和客户所建。倶楽部最初位于門司中心地段以东的谷町山坡上、門司分公司的经理办公室旁，1949 年被日本国营铁路公司收购。1990 年，倶楽部交由門司区政府管理后不久，被移至門司港站附近的现址，并被指定为国家重要文化财产。

内外兼修的欧陆风情

建筑外立面体现了 20 世纪 20 年代早期流行的欧洲建筑风格。房屋外部裸露的木条、石板屋顶和表面拉毛的砂浆墙壁，都令人联想到德国设计，而人字形屋顶上不对称的天窗（老虎窗）也明显不同于日本传统风格。不过，此处建筑并非纯欧风设计，主楼北侧有一栋曾经供倶楽部工作人员使用的单层小配楼，瓦片屋顶、灰泥墙壁，具备鲜明的日本风格。

倶楽部的内部装饰与欧式风格的外观相得益彰。入口大门上方有一扇彩色玻璃楣窗，上面是一艘扬帆启航的船只，暗示倶楽部与航运业的渊源。大门通向优雅的大厅，里面安装着华丽的壁炉台和吊灯。右边是一间客厅，配有一架三角钢琴，用于举办活动和独奏会。两个房间均为装饰艺术风格(Art Deco)，有天花板浮雕、大理石壁炉和装饰壁炉台。

目前倶楽部一楼是一家餐厅，供应河豚刺身和烤咖喱饭等当地特色美食。

爱因斯坦来访

在最初的 27 年里，旧門司三井倶楽部也是一家迎宾馆，二楼设有西式客房。1922 年，阿尔伯特·爱因斯坦和妻子艾尔莎·爱因斯坦(Elsa Einstein, 1876-1936)在为期 43 天的日本之旅中，曾在二楼的一间套房里下榻 5 天。当爱因斯坦到达日本之行最后也是最长的一站——門司时，他已精疲力尽。他在旅行日记中用德语写道：“我死了，我的尸体回到了門司。在那里我被拉去参加圣诞弥撒，为孩子们拉小提琴。”

“爱因斯坦纪念室”按夫妇下榻时的房间原貌重新装修过，室内展示着一封爱因斯坦的亲笔信，还有一张他手持小提琴的照片，爱因斯坦在圣诞弥撒上为孩子们演奏时使用的就是这把小提琴。

纪念林芙美子

二楼有几个房间专门用于纪念日本作家林芙美子(1903-1951)。林芙美子出生于门司的一个未婚单亲家庭，在贫困中长大。她以社会弱势群体，尤其是女性为题材，创作了大量的故事和诗歌。房间里的展品涵盖了她一生中的几个重要时期，其中有她搬到东京之前数年间的纪念物、小说的早期版本、青少年时期写的明信片以及 1932 年的巴黎旅行日记，还有根据她作品改编的电影的海报，以及她晚年使用过的书桌的复制品。

开馆时间：9:00～17:00

闭馆日：全年无休

门票：2 楼收费（成人 150 日元，中小学生 70 日元）

<繁体字>

舊門司三井俱樂部

20 世紀早期，門司是日本主要貿易港口，當時商貿公司欣欣向榮，這一點從舊門司三井俱樂部的奢華設計就可以看得出來。這棟建築的半木結構和豪華的歐式裝潢，堪稱東西文化交融的典範，在門司這座繁榮的國際港口城市，此類建築隨處可見。1921 年，俱樂部大樓竣工，次年就接待了來日本訪問的著名物理學家艾伯特·愛因斯坦（Albert Einstein, 1879-1955）。

三井物產株式會社成立於 1876 年，門司三井俱樂部就是為了這家商貿公司的員工和客戶而建造。最初，俱樂部位處門司中心地段以東的谷町山坡地區、三井物產門司分公司的經理辦公室旁。1949 年，日本國營鐵路公司購買了這棟建築，並在 1990 年交由門司區政府管理。不久之後，它被移至門司港站附近的現址，並被指定為國家重要文化財產。

內外兼修的歐陸風情

俱樂部的外立面呈現 1920 年代早期流行的歐洲建築風格。房屋外部裸露的木條、石板屋頂和表面拉毛的砂漿牆壁，都令人聯想到德國設計；人字形屋頂上不對稱的天窗也明顯不同於日本傳統風格。但這處建築也不算純歐風設計，主樓北側曾供俱樂部工作人員使用的單層小配樓，其瓦片屋頂、灰泥牆壁等設計元素，就具備鮮明的日本風格。

建築內部裝飾與歐式風格的外觀相得益彰。入口大門上方有一扇彩色玻璃楣窗，上面是一艘揚帆啟航的輪船，暗示俱樂部與航運業的淵源。大門通向風格優雅的大廳，裡面安

裝了華麗的壁爐台和吊燈。大廳右邊是配有一架三角鋼琴的客廳，用來舉辦活動和獨奏會。兩個房間都是裝飾藝術風格（Art Deco），有天花板浮雕、大理石壁爐和裝飾壁爐台。

現在一樓是一家餐廳，提供河豚生魚片和烤咖哩飯等當地美食。

愛因斯坦來訪

在最初 27 年裡，舊門司三井俱樂部也是一家旅館，二樓有西式客房。1922 年，在為期 43 天的日本之旅中，艾伯特・愛因斯坦和妻子艾爾莎・愛因斯坦（Elsa Einstein, 1876-1936）曾在二樓的一間套房裡住了 5 天。在到達日本之行的最後、也是最長的一站——門司時，愛因斯坦已精疲力盡，他在旅行日記中用德語寫道「我死了，我的屍體回到了門司。在那裡我被拉去參加耶誕彌撒，為孩子們拉小提琴。」

愛因斯坦夫婦下榻的房間按照當時原貌重新裝潢過，現在是「愛因斯坦紀念室」。室內展示著一封愛因斯坦的親筆信，還有一張他手持小提琴的照片，愛因斯坦在耶誕彌撒上為孩子們演奏時使用的就是這把小提琴。

記念林芙美子

二樓有幾個房間專門用來記念日本作家林芙美子（1903-1951）。她出生於門司一個未婚單親家庭，在貧困中長大。她以社會中的弱勢群體，尤其是女性為題材，創作了大量的故事和詩歌。房間裡的展品涵蓋了她一生中的幾個重要時期，其中有她搬到東京之前幾年的紀念品、小說的早期版本、青少年時期寫的明信片以及 1932 年的巴黎旅行日記，還有由她作品改編的電影的海報，以及她晚年使用過的書桌的複製品。

開館時間：9:00～17:00

閉館日：全年無休

門票：2 樓收費（成人 150 日圓，中小學生 70 日圓）

<日本語仮訳>

旧門司三井俱樂部

旧門司三井俱樂部的豪華なデザインは、門司が主要な貿易港であった 20 世紀初頭の商社の繁栄ぶりを表している。ハーフティンバー様式の建築と壮麗なヨーロッパ風の内装は、文化的な融合の一例であり、繁栄を極めたこの国際的な港でよく見られるものだ。この建物は 1921 年に完成し、翌年には、日本旅行中の著名な物理学者アルベルト・アインシュタイン（1879-1955）を受け入れている。

門司三井俱樂部は、1876 年に設立された商社、三井物産株式会社の従業員や賓客のために建てられた。この建物はもともと三井物産門司支店長オフィスの隣にあり、門司中心部の東に位置する谷町の山手地区にあった。建物は 1949 年に国鉄に買収され、最終的には 1990 年に門司区の下管理下に移った。その後、門司港駅近くの現在の場所に移築され、国の重要文化財に指定された。

内装も外観もヨーロッパ風

建物のファサードは、1920 年代初頭に流行した欧州建築の影響を反映している。むき出しの木材、スレート葺きの屋根、砂目模様のモルタルはいずれもドイツのデザインを思わせるもので、切妻屋根の窓の非対称性も日本の通例からは大きく逸脱している。しかし、この建物は完全にヨーロッパ風のデザインというわけではなく、北側にある瓦屋根と漆喰壁の 1 階建ての小さな別館は、明らかに日本風である。この別館は倶楽部のスタッフに利用されていた。

倶楽部の内装は、ヨーロッパ風な外観とよく合っている。玄関入口扉には、倶楽部の原点が海運にあったことを想起させる満帆の船を描いたステンドグラスの欄間窓がある。ドアを開けると、装飾豊かなマンテルピースとシャンデリアのあるエレガントなホールに続く。右側にはグランドピアノを備えた応接間があり、イベントやリサイタルに使われる。どちらの部屋も、天井のレリーフ、大理石の暖炉、装飾的なマンテルピースに見られるように、アール・デコ様式で調度されている。

1 階にはレストランもあり、ふぐ刺しや焼きカレーなどの郷土料理が味わえる。

アインシュタイン家の訪問

最初の 27 年間、門司三井倶楽部は迎賓館でもあり、2 階には西洋風の客室があった。アルベルト・アインシュタインと妻のエルザ（1876-1936）は、1922 年に 43 日間にわたって日本を訪れてまわった際、2 階のスイートルームに 5 日間滞在した。旅の最後にして最長の訪問地である門司に着く頃には、アルベルトは疲れ果てていた。旅日記にはドイツ語で「私は死んだ。私の死体は門司に戻り、そこでクリスマスのミサに引きずり込まれ、子供たちのためにヴァイオリンを弾かされた」と書いている。

アインシュタインメモリアルルームは、アインシュタイン夫妻が滞在していた当時のように改装されている。アルベルト直筆の手紙や、クリスマス・ミサで子供達に演奏したヴァイオリンを手にしたアルベルトの写真がある。

林芙美子を偲ぶ

2 階には門司出身の作家、林芙美子（1903-1951）に捧げられた部屋がいくつかある。未婚の両親の間に生まれ、貧困の中で育った芙美子は、社会的に恵まれない人々、特に女性についての物語や詩を書いた。これらの展示室では、彼女が上京する前の数年間の思い出の品、小説の早版、10 代の頃に書いた絵葉書、1932 年のパリ旅行日記など、彼女の人生のいくつかの主要な時期を取り上げている。また、彼女の作品が映画化された際のポスターや、晩年に彼女が使用していた文机のレプリカも展示されている。

開館時間：9:00～17:00

休館日：年中無休

料金：2 階のみ有料（大人 150 円、中小学生 70 円）

【タイトル】 旧大阪商船ビル

【想定媒体】 WEB、パンフレット、その他（アプリ）

<簡体字>

旧大阪商船大楼

旧大阪商船大楼最初是大阪商船株式会社(OSK)的候船室和办公室，该公司的航线曾遍布世界各地。大楼建于1917年，在大阪商船会社与三井船舶合并成立大阪商船三井船舶株式会社后，依然作为分公司一直运营至1991年。宏伟的八角形塔楼和瓷砖外墙使这座建筑成为十分吸睛的地标。

引人注目的建筑

大楼的外立面是钢筋混凝土结构，外贴仿红砖的瓷砖，与不临街且未贴瓷砖的木质外墙形成强烈对比。该建筑具有分离派（19世纪末欧洲的艺术发起的革新运动及组织）建筑风格的元素，如屋顶的天窗（老虎窗）和带有穹顶的八角形塔楼。

建成时，大阪商船大楼是门司最高的建筑。当时，门司港船运公司林立，这座大楼新奇的设计如同广告，不仅吸引了潜在客户，其高耸的塔楼也成为了大阪商船会社旗下船只的航向标。

如今，该建筑的一楼是社区空间，专门展出当地艺术家和手工艺人的作品。旁边的渡濑政造美术馆展示了这位生于神户长于本地的艺术家的漫画、广告和插图等作品。渡濑政造(1945-)最著名的作品应该是1983年的《心情鸡尾酒》(Heart Cocktail)系列漫画，该系列将美国西海岸色彩斑斓的波普艺术(Pop Art)与传统的日本风光、场景融为了一体。角落里的小房间复刻了他的工作室，里面有一张画桌和一台唱片机。

打开世纪之锁

一楼走廊上有一个可追溯至20世纪之交的古老保险柜，重达1.4吨，它是1896年为三菱合资会社（三菱商事株式会社的前身）制造的，该公司是19世纪晚期至20世纪早期在门司营业的众多贸易公司之一。保险柜的锁定装置和刻度盘具备当时的典型特征，上面刻着日文而非阿拉伯数字。来访者可以亲自试试是否能打开这把“世纪之锁”。

开馆时间：9:00～17:00

闭馆日：全年无休

门票：渡濑政造美术馆收费（成人150日元，中小学生70日元）

<繁體字>

舊大阪商船大樓

大阪商船株式會社（OSK）的航線曾遍布世界各地，舊大阪商船大樓最初就是這家公司的候船室和辦公室。大樓建於 1917 年，宏偉的八角形塔樓和瓷磚外牆讓這座建築成為十分吸睛的地標。在大阪商船會社與三井船舶合併成立大阪商船三井船舶株式會社後一直到 1991 年，這裡一直是分公司所在地。

吸睛的建築

大樓的外立面是鋼筋混凝土結構，外貼仿紅磚瓷磚，和不臨街並未貼瓷磚的木質外牆形成強烈對比。該建築具有分離派（19 世紀末歐洲的藝術家發起的革新運動及組織）建築風格的元素，像是屋頂的天窗和帶穹頂的八角形塔樓。

大阪商船大樓落成時是當時門司最高的建築。那時候，門司港船運公司林立，這座大樓新奇的設計如同廣告，不僅吸引了潛在客戶，其高聳的塔樓更是成為了大阪商船會社旗下船隻的航向標。

如今，該建築的一樓是專門展出當地藝術家和手工藝人作品的社區空間。旁邊的渡瀨政造美術館內主要展出這位生於神戶長於當地的藝術家的漫畫、廣告和插畫作品。創作於 1983 年的《心情雞尾酒》（Heart Cocktail）系列漫畫應該是渡瀨政造（1945-）最著名的作品，該系列將美國西海岸色彩斑斕的波普藝術（Pop Art）與傳統的日本風景、場面融為了一體。角落裡的小房間重現了他的工作室，裡面有一張畫桌和一台唱片機。

打開世紀之鎖

一樓走廊上有一個 20 世紀之交的古老保險櫃，重達 1.4 公噸，它是 1896 年為三菱合資會社（三菱商事株式會社的前身）製造的，該會社是 19 世紀晚期至 20 世紀早期在門司營業的眾多貿易公司之一。保險櫃的鎖定裝置和刻度盤具備當時的典型特徵，上面刻的不是阿拉伯數字而是日文，遊客可以試試看能不能打開這把「世紀之鎖」。

開館時間：9:00～17:00

閉館日：全年無休

門票：渡瀨政造美術館收費（成人 150 日圓，中小學生 70 日圓）

<日本語仮訳>

旧大阪商船ビル

旧大阪商船ビルは、かつて世界各地を航路とした海運会社、大阪商船株式会社（OSK）の旅客待合所兼事務所だった場所である。1917 年に建てられ、OSK が三井船舶と合併し、社名が大阪商船三井船舶株式会社となった後も、1991 年まで支店として利用された。壮大な八角形の塔とタイル張りのファサードは、この建物をひととき目立ったランドマークにしている。

目を引く建築

このビルのファサードは、鉄筋コンクリートにレンガ調のタイルを貼ったもので、通りに面していないタイル貼りされていない木造の側面とは対照的だ。この建物は、屋根に沿ったドーマー窓や、ドーム型の尖塔を備えた八角形の塔屋など、ゼツェション様式（19 世紀末に欧州で起こった美術家の運動およびその組織のこと）の要素を見られる。

建設当時、大阪商船ビルは門司で最も高い建築物だった。門司港が多くの海運会社で賑わっていた当時、ひととき目立つ印象的なデザインは、OSK の広告としての役割を果たしたことだろう。目につきやすい建物は、OSK の存在を潜在顧客に印象付け、塔屋は会社の船にとって目印であった。

現在、建物の 1 階はコミュニティスペースとなっており、地元のアーティストや職人たちの作品を展示している。その近くにある「わたせせいぞうギャラリー」は、神戸に生まれて地元で育ったアーティストの漫画、広告、イラストなどの作品を展示している。わたせせいぞう（1945- ）といえば、1983 年に連載された漫画『ハートカクテル』が知られているが、このシリーズは、アメリカ西海岸のカラフルなポップ・アートと日本の伝統的な風景や場面を融合させたものである。隅にある小さな部屋は、彼の仕事を模したもので、製図機とレコードプレーヤーが置かれている。

世紀の鍵を解く

1 階の廊下には、世紀末に遡る古い金庫が置かれている。1.4 トンにもものぼるこの金庫は、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて門司で営業していた商社のひとつ、三菱合資会社（現在の三菱商事株式会社）のために 1896 年に作られたものだ。錠の仕組みや文字盤は当時の典型的なもので、アラビア数字ではなく日本語の文字が刻まれている。見学者は、この「世紀を跨ぐ」鍵を開けられるか体験することができる。

開館時間：9:00～17:00

休館日：年中無休

料金：わたせせいぞうギャラリーのみ有料（大人 150 円、中小学生 70 円）

【タイトル】 旧門司税関

【想定媒体】 WEB、パンフレット、その他（アプリ）

<簡体字>

旧門司海关大楼

为了健全身为国际贸易港口的功能，日本政府于 1889 年在門司开设了长崎海关办事处。不久，門司的贸易量就超过了长崎。1909 年，办事处经扩建后升格为門司海关。1910 年，海关大楼毁于一场火灾，现在人们看到的红砖建筑建于两年后的 1912 年。

大楼由当时著名建筑师妻木赖黄(1859-1916)担纲，他被誉为明治时代(1868-1912)建筑界三大巨匠之一，因设计东京的日本桥和横滨的红砖仓库而闻名，門司海关大楼是现存为数不多与他相关的建筑物之一。突出的天窗（老虎窗）、屋顶四周的石雕飞檐以及室内吊灯，将新文艺复兴建筑风格体现得淋漓尽致。

内部墙壁曾经覆盖着白色灰泥，后来被剥离，露出了百年前的墙面原有的砖砌结构。仔细观察墙壁，可以发现砖块之间每隔一段就有一个烧焦的木块。放置木块应该是为了便于在固定木料或门窗框时打钉，而烧焦木块则被认为是故意为之，这样可以防止虫蛀和腐烂。

作为門司最古老的历史建筑，旧門司海关大楼饱受战争摧残，也曾被废弃。它的屋顶在 1945 年的門司空袭中被毁，之后大楼被封上木板，长年空置。从 1991 年开始，该建筑逐渐修复成原貌，并于 1995 年作为“門司港怀旧历史街区”的一员重新开放。旧門司海关大楼现在是一个休闲空间，设有水果主题咖啡馆和一个介绍日本现代关税、货物税等税务系统的展区。它既是一处别致的公共空间，也是旧时代的永恒象征。

繁荣港口的回声

这座建筑的规模和装饰是对昔日門司港的真实写照。門司最初只是一个渔民和盐工居住的小村庄，但在 1889 年被指定为煤炭和其他商品的特殊贸易港后迅速发展起来。到了 1896 年，它已成为日本主要的煤炭出口港，仅在那一年，从門司运出的煤炭就达 58 万吨左右。1899 年，門司港全面开放，到 1907 年，它的货运量已经占日本重要货物进口量的 20%以上。

今日海关

海关大楼一楼的展示介绍了防止走私的现代海关政策。展品包括海关人员查缉的非法毒品、走私者试图藏匿毒品的多种手段（如藏匿在鞋子、洗发水瓶和雕像内），以及被没收的动物衍生产品。

在三楼临海一角的观景空间，可一览门司现在的海滨和门司港怀旧历史街区的部分区域。

开馆时间：9:00～17:00

闭馆日：全年无休

门票：免费

<繁体字>

舊門司海關大樓

1889 年，為了完善身為國際貿易港口的功能，日本政府在門司開設了長崎海關辦事處。很快，門司的貿易量就超過了長崎。到了 1909 年，辦事處經擴建升格為獨立的門司海關。海關大樓在 1910 年毀於一場火災，現在的紅磚建築是在兩年後的 1912 年建造的。

擔綱大樓設計工作的是當時的著名建築師妻木賴黃（1859-1916），他因設計東京的日本橋和橫濱的紅磚倉庫而聞名，被譽為明治時代（1868-1912）建築界三大巨匠之一。門司海關大樓是現存為數不多與他相關的建築物之一，將新文藝復興建築風格體現得淋漓盡致，像是突出的天窗、屋頂四周的石雕飛簷以及室內吊燈。

曾經覆蓋著白色灰泥的內部牆壁被剝離，露出了百年前的牆面原有的磚砌結構。如果細心觀察牆壁，會發現磚塊之間每隔一段就有一個燒焦的木塊。這些木塊應該是為了在固定木料或門窗框架時便於打釘子；燒焦木塊則被視作故意而為，可以防止蟲蛀和腐爛。

舊門司海關大樓是門司最古老的歷史建築，飽受戰火摧殘，也曾被廢棄。1945 年門司遭受空襲，大樓屋頂被毀，之後整棟大樓也被封上木板，長年空置。從 1991 年開始，該建築逐漸修復成原貌，並在 1995 年作為「門司港懷舊歷史街區」的一部分重新開放。如今舊門司海關大樓是一個休閒空間，設有水果主題咖啡館和一個介紹日本現代關稅、物品稅等稅務系統的展區。這裡既是一處別致的公共空間，也是舊時代的永恆象徵。

繁榮港口的回聲

從這座建築的大小和裝飾，可以一窺昔日門司港。門司最初只是一個漁民和鹽工居住的小聚落，1889 年被指定為煤炭和其他商品的特殊貿易港後，城市迅速發展起來。到了 1896 年，它已成為日本主要的煤炭出口港，單是那一年，從門司運出的煤炭就達 58 萬公

噸左右。門司港在 1899 年全面開放，到 1907 年，它的貨運量已經占據日本重要貨物進口量的 20%以上。

今日海關

海關大樓一樓主要展示防止走私的現代海關政策，展品包括海關人員查緝的非法毒品、走私者試圖藏匿毒品的多種手段（如藏匿在鞋子、洗髮精瓶和雕像內），以及被沒收的動物衍生產品。

來到三樓臨水一角的觀景空間，可以眺望門司現在的海濱和門司港懷舊歷史街區的部分區域。

開館時間：9:00～17:00

閉館日：全年無休

門票：免費

<日本語仮訳>

旧門司税関

門司を国際貿易港として機能させるため、1889 年に、政府は門司に長崎税関出張所を設置した。その後すぐに、門司は長崎よりも貿易量が多くなったため、1909 年に出張所は拡張され独立した門司税関となった。現在あるレンガ造りの建物は 1912 年の建造で、その 2 年前に最初の税関が全焼したために建てられたものである。

この建物の設計は、当時の著名な建築家、妻木頼黄（1859-1916）の監修の下に行われた。妻木頼黄は東京・日本橋や横浜・赤レンガ倉庫を設計したことで有名な明治時代（1868-1912）建築界の三大巨匠の一人とされるおり、この建物は彼が関与した現存する数少ない建築物の一つである。ネオ・ルネッサンスの建築様式が、突き出たドーマー窓や屋根に沿った石彫りのコーニス、内部のシャンデリアなどに現れている。

内壁はかつて白い漆喰で覆われていたが、後に剥がされ、その下の 100 年以上前のオリジナルのレンガ造りが剥き出しになった。壁をよく見ると、レンガの間に一定の間隔で炭化した木製のブロックがはめ込まれているのがわかる。これらの木材にはドアや窓の材木や骨組みを固定するために釘を打つことができ、虫や腐敗を防ぐために意図的に炭化させられたと考えられている。

門司で最も古い歴史的建造物である旧税関は、戦火と閉鎖により荒廃してしまった。1945 年の門司空襲では屋根が破壊され、長い間板張りの空き家となっていた。1991 年から元の姿に復元され、1995 年に「門司港レトロ歴史地区」の一部として再オープンした。旧門司税関は現在、フルーツをテーマにしたカフェや日本の近代的な関税・物品税制度を紹介するコーナーを備えた休憩スペースとして機能している。シックな公共スペースであると同時に、過去の時代の不朽のシンボルでもある。

栄えた港の面影

建物の大きさや装飾は、かつての港の状況を反映したものだ。門司は漁師と塩づくり職人の小さな村から始まったが、1889年に石炭などの特別輸出港に指定されると急速に発展した。1896年には日本屈指の石炭輸出港となり、その年だけで約58万トンが門司から出荷された。門司は1899年に完全開港となり、1907年には日本への重要物資の輸入の20%以上を門司港で占めるまでになった。

現在の税関

建物の1階にある展示は、密輸を阻止するための現代の税関での施策を説明している。当局が捜査対象の違法薬物や、密輸業者が行う違法薬物を隠すためのさまざまな試み（靴やシャンプーボトルや彫像の中など）や、没収された動物由来製品の例などが展示されている。

3階の展望スペースは海に面した一角にあり、門司の現在の海岸沿いや門司港レトロ歴史地区の一部がよく見える。

開館時間：9:00～17:00

休館日：年中無休

料金：無料

【タイトル】 旧大連航路上屋

【想定媒体】 WEB、パンフレット、その他（アプリ）

<簡体字>

旧大连航线上屋

旧大连航线上屋（码头大厅）展现了日本国际航运中心的历史，以及门司港作为日本主要国际港口的作用。过去，这里是乘客坐船经大连（旅顺港，当时又称亚瑟港）前往亚洲大陆之前在日本国内停靠的最后一站。1932 年，日本在中国东北地区建立了伪满洲国(1932-1945)后，旧大连航线上屋变得尤为繁忙。船只从大阪启航，在神户装载货物，最后在门司停靠，装载煤炭、更多货物和乘客后驶往大连。

旧大连航线上屋一楼曾是行政办公室、货物仓库和检查设施。二楼则设有电报室、行李检查区和旅客候船大厅以及通往码头的舷梯。20 世纪上半叶，大楼正面离海岸只有数米之遥，船只曾经停靠在旧系缆桩处装卸货物。

这座钢筋混凝土结构建筑建于 1929 年。从二楼连廊上的拱门、昔日正门入口旁售票亭上方左右对称的方块汉字中，不难看出其装饰艺术风格(Art Deco)。

今日建筑

如今，这里的一楼是展览空间，陈列着日本著名船只的模型，其中不乏途经门司港前往亚洲和全球各地的船只。在种类繁多的展品中，还有不少蒸汽船时代的海报和广告。另一展区则介绍了与北九州市缔结友好城市或姐妹城市的众多城市，其中就包括中国大连。此外，还有一个互动展览，参观者可以在这里练习如何打帆船结。

电影和表演资料馆“松永文库”

在一楼入口展厅，比起航海展品来，一台用于早期 CEL 手绘动画的老式多平面摄影机格外引人注目。这台 20 世纪 70 年代的“古董”曾经制作多部经典动画电影，包括《龙猫》（1988 年）和《宠物小精灵 2000》（2000 年）。摄影机和旁边大堂内的 35 毫米放映机是电影和表演资料馆“松永文库”藏品的一部分，资料馆的主要藏品被保存在大堂后方的松永文库内。

松永文库是出生于门司的电影和电影纪念品收藏家松永武(1935-2018)留下的宝贵遗产。早在 1997 年，松永武就在自宅内展示大量收藏，并向公众开放。2009 年他将所有藏品都捐赠给了北九州市政府。数以万计的胶片、海报和摄影器材被移至这座建筑，并从 2013 年

起在此展出。随着其他电影爱好者的陆续捐赠，这一珍贵的电影历史档案已增至 60,000 多件，其中一部分还在关门海峡博物馆的“海峡怀旧大道”展出。

开馆时间：9:00～17:00

闭馆日：全年有 4 次不定期休息日；松永文库周一（如遇节假日顺延）

门票：免费

<繁体字>

舊大連航線上屋

想了解日本國際航運中心的歷史，以及門司港作為日本主要國際港口的作用，可以造訪舊大連航線上屋（碼頭大廳）。這裡曾經是乘客坐船經大連（旅順港，當時又稱亞瑟港）前往亞洲大陸之前在日本國內停靠的最後一站。1932 年，日本在中國東北地區建立了偽滿洲國（1932-1945）之後，舊大連航線上屋就變得非常繁忙。船隻從大阪啟航，在神戶裝載貨物，最後在門司停靠，裝載煤炭、更多貨物和乘客後駛往大連。

在 20 世紀上半葉，大樓正面離海岸只有數公尺之遙，船隻曾經停靠在舊系纜樁處裝卸貨物。當時碼頭大廳的一樓是行政辦公室、貨物倉庫和檢查設施，二樓則設有電報室、行李檢查區和旅客候船大廳以及通往碼頭的舷梯。

這座鋼筋混凝土結構建築在 1929 年建成，為裝飾藝術風格（Art Deco），從二樓連廊上的拱門、昔日正門入口旁售票亭上方左右對稱的方塊漢字中，都能窺見一二。

今日建築

如今這裡的一樓是展覽空間，陳列著日本著名船隻的模型，當中有許多曾途經門司港，前往亞洲和全球各地的船隻。展品中還有不少蒸汽船時代的海報和廣告。另一展區則介紹了與北九州市締結友好的城市或姐妹城市，當中就包括中國的大連。除此之外還有一個互動展覽讓遊客練習如何打帆船結。

電影和表演資料館「松永文庫」

一樓入口展廳裡有一台用於早期 CEL 手繪動畫的老式多平面攝影機，在各類航海展品中格外引人注目。這台 1970 年代的「古董」曾經製作了包括《龍貓》（1988 年）和《寵物小精靈 2000》（2000 年）在內的多部經典動畫電影。攝影機和旁邊大堂內的 3.5 公分放映機是電影和表演資料館「松永文庫」的部分藏品，資料館的主要藏品被保存在大堂後方的松永文庫內。

松本文庫是松永武（1935-2018）留下的寶貴遺產。他是一位出生於門司的電影和電影紀念品收藏家，從 1997 年開始就在自宅內展示大量收藏，並對外開放。到了 2009 年，

他將所有藏品都捐贈給了北九州市政府，數以萬計的膠卷、海報和電影製作設備被移到這座建築內，並從 2013 年起在此展出。隨著其他電影愛好者也陸續捐贈藏品，這一珍貴的電影歷史檔案已增至 60,000 多件，其中一部分在關門海峽博物館的「海峽懷舊大道」展出。

開館時間：9:00～17:00

閉館日：全年有 4 次不定期休息日；松永文庫週一（如遇節假日順延）

門票：免費

<日本語仮訳>

旧大連航路上屋

旧大連航路上屋は、日本の国際的な海運拠点としての歴史と、門司がその主要な国際港の 1 つであったことを記念する建物である。かつては、大連（旅順港—ポート・アーサーとしても知られる）を経由してアジア大陸に向かう前の船が、乗客を乗せる国内最終寄港地であった。1932 年、中国東北地方にあたる地に傀儡国家・満州国（1932-1945）を日本が建国した後、旧大連航路上屋は特に活気づいた。船は大阪から出航し、神戸で貨物を積み込み、最後に門司に立ち寄り、石炭やさらなる貨物や乗客を積んで大連に向かった。

旧大連航路上屋の 1 階には管理事務所、貨物倉庫、検査施設があった。2 階には電信室、荷物検査場、ドックへの通路を備えた旅客待合室があった。20 世紀前半には、建物の前面は海岸から数メートルしか離れておらず、古い係留柱のある場所にかつては船が停泊し、荷物の積み下ろしを行っていた。

この鉄筋コンクリート造りの建物は 1929 年に建てられた。2 階デッキ上部のアーチや、かつての正面玄関に並ぶ、券売所上の左右対称のブロックのような漢字などに、アール・デコ様式の特徴を見ることができる。

建物の現在

現在、1 階は展示スペースになっており、門司を経由してアジアや世界各地に渡った船を含む、著名な日本船の模型が展示されている。また、蒸気船の時代のポスターや広告など、多彩なコレクションも展示されている。また、大連市をはじめとした北九州市と友好都市・姉妹都市提携を結んでいる多くの都市を紹介する展示や、セーリングのロープワークを学べる体験型の展示もある。

映画・芸能資料館「松永文庫」

1 階のエントランスホールの航海に関する展示よりも目を引くのが、初期のセルアニメで使われた古いマルチ・プレーン・カメラだ。この 1970 年代の古物は、『となりのトトロ』（1988 年）や『劇場版ポケットモンスター 2000』（2000 年）など、いくつかの名作アニメ映画の制作に使用された。このカメラは、隣のロビーにある 35 ミリ映写機とともに、映画・芸能資料館「松永文庫」のコレクションの一部で、メインの収蔵品はロビーの先の松永文庫にある。

松永文庫は、門司出身の映画と映画記念品のコレクター、松永武（1935-2018）の遺産である。松永氏は 1997 年から自宅を開放して自身の膨大な量のコレクションを一般公開していたが、2009 年にはすべてを北九州市に寄贈した。何万ものフィルム、ポスター、撮影機材はこの建物に移され、2013 年から展示を開始。他の映画愛好家からの寄贈もあって、この映画史の貴重なアーカイブはその後 60,000 点を超えるまでになった。その一部は関門海峡ミュージアムの「海峡レトロ通り」にも展示されている。

開館時間：9:00～17:00

休館日：年 4 回不定休、松永文庫は月曜（祝日の場合翌日）

料金：無料

【タイトル】 門司港駅

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

門司港站

門司，通往日本和世界的門戶

自 1891 年以来，門司港站一直是连接九州与本州乃至世界的纽带。左右对称的新文艺复兴风格设计，令车站建筑宛如一座宏伟的城門，彰显它一个多世纪以来所发挥的重要作用。车站建成以后，经历了搬迁、更名和翻新，但身为門司在 20 世纪之交的繁荣象征，它依然历久弥新。

1914 年，随着門司港的飞速发展，門司市拆除了旧车站，在更靠近海边的地方建造了一座新车站，并一直保留至今。车站最初名为“門司站”，1942 年 4 月更名为“門司港站”。改名之时，正值连接九州和本州铁路的关门隧道开通。

1988 年，門司港站成为日本第一个被指定为国家重要文化财产的车站，现役车站中只有門司港站和东京站享此美誉。

欧洲建筑风格的影响

这座两层木构建筑的外壁看似以石块砌成，其实是采用了灰泥仿石砖施工工艺。坡形屋顶、装饰性铁艺和主入口两侧的壁柱，都属于 19 世纪中叶欧洲盛行的新文艺复兴风格。这些欧式元素反映了在 19 世纪晚期至 20 世纪早期，西方设计对日本建筑师所产生的影响。

昔日繁华的车站

历经 6 年大规模翻修后，門司港站于 2019 年重新开放。如今，它既是一座公共火车站，也是 20 世纪之交时門司独特地位的见证。车站保留了许多 20 世纪的特色，如售票处曾是头等和二等车厢乘客的候车休息室，里面有豪华的壁炉台和壁炉。位于大厅对面的曾经的三等车厢候车室，现已改建为咖啡厅。车站入口附近的楼梯通向二楼，这里过去是贵宾休息室，还有一个附属的仆人房。贵宾们会享用“みかど(Mikado)食堂”提供的欧式美食，该食堂同时还负责运营餐车。豪华的家具和典雅的内部装饰已成为这座历史悠久的车站的一部分展品。

門司港的往事

門司港站連接了九州陸路與門司港，進而成為連接世界各地的紐帶，居功至偉。多年來，數以百萬計的人進出於此，其中一些人的故事至今仍廣為流傳。

池田うた子和“骄傲之鏡”

在門司港站西北翼，掛著一面華麗的大鏡子，上方還有一塊牌子，向人們訴說著池田うた子(Ikeda Utako)的故事。

1945 年 8 月，第二次世界大戰剛剛結束，日本開始從海外撤軍。紛紛湧入門司的士兵和市民，需要在門司港站等待好幾個小時才能擠上火車。站台上，一位名叫池田うた子的孕婦忽然開始了陣痛，當羊水破裂時，夜幕已經降臨，當地所有診所都已关门。一名車站工作人員毅然背起她 3 歲大的孩子，把母子倆領到自己家中。在鄰居的幫助下，他順利地幫產婦接生了孩子。池田うた子給新生兒取名為“左門司”。

1971 年，成年後的池田左門司將這面“骄傲之鏡”捐贈給了門司港站。他希望車站的員工們能通過鏡子“看到自己，並為自己的工作感到自豪”。

返乡之水

站台旁的舊洗手間前有一個噴泉，它是許多門司港站旅客的另一個記憶。這處噴泉被稱為“返乡之水”，從殖民地歸來的士兵和普通民眾曾經在這裡洗去蒸汽船的煙塵和旅途的風塵，喝上他們踏上祖國土地後的第一口清水。

<繁体字>

門司港站

門司，通往日本和世界的門戶

自 1891 年以來，門司港站一直是連接九州與本州乃至世界的樞紐。左右對稱的新文藝復興風格的設計，令車站建築宛如一座宏偉的城門，彰顯它 100 多年來所發揮的作用。雖然經歷了搬遷、更名和翻新，但身為門司在 20 世紀之交的繁榮象徵，車站依然歷久彌新。

隨著門司港的快速發展，1914 年，門司市拆除了舊車站，在更靠近海邊的地方建造了一座新車站，並一直保留至今。車站一開始名為「門司站」，1942 年 4 月更名為「門司港站」，改名時，正值連接九州和本州鐵路的關門隧道開通。

1988 年，門司港站成為日本第一個被指定為國家重要文化財產的車站。在仍在營運的車站中，只有門司港站和東京站享有此美譽。

歐洲建築風格的影響

乍看之下，這座兩層樓高的木造建築的外牆貌似用石塊砌成，但其實是灰泥仿石磚工藝帶來的效果。其餘像是坡形屋頂、裝飾性鐵藝和主入口兩側的壁柱，都具備 19 世紀中葉歐洲盛行的新文藝復興風格。由此可見，西方設計在 19 世紀晚期至 20 世紀早期對日本建築師產生的影響。

昔日繁華的車站

歷經 6 年大規模翻修後，門司港站在 2019 年重新開放。如今，它既是一座公共火車站，也是 20 世紀之交時門司特殊地位的見證。車站保留了許多 20 世紀時的特色，比如售票處，過去是一等和二等車廂旅客的候車室，裡面的壁爐台和壁爐造型都十分豪華；大廳對面曾經的三等車廂候車室已改建成咖啡廳；車站入口附近的樓梯通向二樓，那裡以前是貴賓休息室，還有一個附屬的僕人房。貴客們可以享用「みかど（Mikado）食堂」提供的歐式美食，這家食堂還同時負責餐車經營。這些豪華的家具和典雅的室內裝潢，都已成為這座歷史悠久的車站的組成部分。

門司港的過去

門司港站將九州陸路與門司港相連，也是連接世界各地的樞紐，非常重要。多年來，數以百萬計的人進出於此，其中一些人的故事流傳至今。

池田うた子和「驕傲之鏡」

門司港站西北翼掛著一面華麗的大鏡子，上方的牌子向人們敘述著池田うた子（Ikeda Utako）的故事。

1945 年 8 月，時值第二次世界大戰剛結束，日本開始從海外撤軍。潮水般湧入門司的士兵和市民，需要在門司港站等候好幾個小時擠上火車。月台上一位名叫池田うた子的孕婦忽然開始陣痛，當她的羊水破裂時已經是晚上，當地所有診所都打烊了。一名車站工作人員毅然背起她 3 歲大的孩子，將母子倆帶回自己家中，並在鄰居的幫助下順利接生了孩子。為了記念此事，池田うた子給剛出生的孩子取名「左門司」。

1971 年，成年後的池田左門司把這面「驕傲之鏡」捐贈給了門司港站，希望車站的員工們能從鏡子中「看到自己，並為自己的工作感到自豪」。

返鄉之水

月台旁的舊洗手間前有一處噴泉被稱為「返鄉之水」，它是許多門司港站旅客的另一個記憶。從殖民地歸來的士兵和老百姓曾在這裡喝上踏上家鄉土地後的第一口清水，並洗去蒸汽船的煙塵和旅途的風塵。

<日本語仮訳>

門司港駅

門司：日本と世界への玄関口

門司港駅は 1891 年以來、九州と本州、そして世界の国々を繋いできた。左右対称なネオ・ルネサンス様式のデザインは門を思わせるもので、1 世紀以上にわたって門司港駅が果たしてきた役割を反映したものだ。駅が建設されて以来、移転、改名、改築されてきたが、20 世紀の変わり目の門司の繁栄のシンボルであり続けている。

門司港の急速な発展に促される形で、1914 年、門司市は古い駅舎を取り壊して新たな駅舎を海により近い場所に建て、現在に至っている。当初は「門司駅」と呼ばれていたが、1942 年 4 月「門司港駅」と改称された。この名称変更は、九州の鉄道を本州と結ぶ関門トンネルの開通と時を同じくして行われた。

1988 年、門司港駅は駅としては日本で初めて国の重要文化財に指定された。現在、現役でこのような名誉を有する駅は門司港駅と東京駅の 2 つだけである。

ヨーロッパ建築の影響

木造 2 階建てのこの建物は、石で覆われているように見えるが、実際は石の外壁に見えるよう形作られたモルタルの層で覆われている。マンサード屋根、鉄の装飾、正面玄関脇の付柱はいずれも 19 世紀半ばの欧州で主流となったネオ・ルネサンス建築の特徴である。こうしたヨーロッパ的な要素から、西洋のデザインが 19 世紀後半から 20 世紀初頭の日本の建築家に影響を与えたことが窺える。

かつて栄華を極めた駅

門司港駅は 6 年間の大規模改修を施されて 2019 年にグランドオープンした。今日の門司港駅舎は公共の鉄道駅であると同時に、20 世紀の変わり目の門司のアイデンティティを物語る場所でもある。以前は 1 等と 2 等の旅券を持つ乗客の待合所であった券売所には豪華なマントルピースや暖炉など、20 世紀の駅舎の様相が多数保持されている。メインホールの向こう側にある、3 等旅客が待合スペースとしていた場所はカフェに改装されている。正面玄関付近の階段から行ける 2 階には、かつては身分の高い旅客向けの特別なラウンジとその使用人用の別室があった。こうした特別な旅客は、列車の食堂車両と同じ会社が運営する「みかど食堂」のヨーロッパ料理でもてなされた。そうした豪華な調度や優雅な内装は、現在ではこの歴史的な駅舎の展示物の一部となっている。

思い出される門司港の過去

門司港駅は九州の陸路を門司港と結び、ひいては世界各地とを結ぶ上で重要な役割を担っていた。長年にわたり、何百万人もの人々がこの港から出発しては戻ってきており、そうした物語のいくつかは今も語り継がれている。

池田うた子と「誇りの鏡」

北西の棟には、池田うた子のお話を伝えるプラカードの下に、装飾が施された大きな鏡が掲げられている。

1945 年の 8 月、第二次世界大戦が終わり、日本は海外からの撤兵を開始した。兵士や民衆が門司に押し寄せ、駅に着いた人々の群れは何時間も、電車に詰め込まれるのを待った。その中には妊娠中の旅行者であるうた子が居て、彼女はホームで陣痛を起こした。破水したときにはすでに夜が更けており、地元の医師はすべて診療所を閉めていたため、駅員の一人がうた子の 3 歳の子供を背負いながら、彼女を自分の家まで案内した。隣人の助けもあって、彼は無事に赤児の出産を補助することができた。うた子は新生児に「左門司」という名前を付けられた。

池田左門司が大人になった 1971 年、「誇りの鏡」を門司港駅に寄贈した。これは、駅員達に対する「自分自身の姿を見て、駅での仕事に誇りを感じてほしい」という池田左門司の願いを込めて寄贈したものである。

帰り水

ホームの傍の古いお手洗いの前にある噴水は、門司港駅を通った旅行者を思い出させるもうひとつの遺構だ。「帰り水」と言われている。植民地からの帰還兵や引き揚げてきた日本人は、この噴水のあつ場所、汽船の煤や旅の埃を洗い流し、母国に帰って初めて水を飲むことができたのである。

【タイトル】 大連友好記念館

【想定媒体】 WEB、パンフレット、その他（アプリ）

<簡体字>

大连友好纪念馆

在众多引人注目的 20 世纪西洋建筑中，大连友好纪念馆依然脱颖而出。纪念馆复刻了 100 多年前在中国建造的一座西洋历史建筑，从中能一窥当时日本的国际关系的复杂性。

复杂的历史

1979 年，中国辽宁省大连市（当时为旅大市）与日本九州福冈县北九州市缔结为友好城市。此举不仅代表着两座城市之间复杂关系的积极转变，也是中日邦交正常化的标志之一。这座砖石木构的建筑建于 1994 年，完全复刻了现在的大连美术馆，以纪念北九州市与中国大连市缔结友好城市 15 周年。

20 世纪早期，门司是连接日本和大连旅顺港（当时又称亚瑟港）的重要港口。1895 年，中日甲午战争(1894-1895)以签订《马关条约》而告终，此后日本曾短暂殖民过大连。为了阻止日本在中国（清朝）的扩张势头，俄国很快就强租大连，并使之成为俄国在亚洲的主要贸易枢纽。

日俄战争(1904-1905)后，大连再次成为日本在中国东北地区的主要港口，而门司则成为前往亚洲大陆船只的重要停靠站。日本在第二次世界大战(1939-1945)中战败后，苏联又继续占领大连，直到 1955 年才归还给中国。

与大连一样，纪念馆的原型也曾隶属多国，历史错综复杂。这座西洋建筑始建于 1902 年，由俄国驻大连行政官聘请德国建筑师设计，最初是中国东方铁路（主要在大连及其周边运行）的管理事务所。日本再度占领大连后，大连俱乐部入驻其内。1926 年，它又被改造为日本桥图书馆。历经百年后，它最终成为了大连美术馆。

近乎完美的复刻

纪念馆建设项目开始时，大连有 6 座与日本有关的建筑被列为候选对象。最终，旧日本桥图书馆因其独特的设计、稀有性、历史价值以及整体美感而被选中。

然而，由于缺乏原始蓝图和详细记录，施工立刻遇到了障碍。为了解决难题，日本设计团队前往大连，对原建筑进行测量和记录，以确保忠实还原。门司从大连进口了约 45,000 块红砖和 5000 块切割好的花岗岩，用于基础建设、入口地板及其他各处的复杂镶

嵌。据说，就连石材上的工具印痕也被精心复刻。这一切都需要两个城市和两个国家之间的密切合作才能实现。

大楼的建筑风格反映了它曾受多国文化影响。高耸陡峭的塔式屋顶和半木结构的外墙明显带有俄式和德式的风格，用弧形瓦片一排排交错叠成的屋顶，又是典型的中国建筑形制，与单纯叠加瓦片的日本式样完全不同。瓦片最初也是从大连进口的，但因为不太适合当地气候，最终使用了日本岛根县制造的瓦片。

从 1995 年至 2018 年，该建筑一直是大连友好纪念图书馆，专门收藏中国和其他东亚地区的资料。现在，纪念馆一楼是中餐馆“大连槐花”，二楼是可以自由休息的“门司港怀旧交流区”，摆放着桌子和舒适的扶手椅。旁边的“大连市介绍角”陈列着与大连有关的艺术品和资料，还备有一段中文和日文的介绍视频。三楼则是当地城市发展团体的“社区交流区”。

开馆时间：9:00～17:00

闭馆日：全年无休

门票：免费

<繁体字>

大連友好紀念館

大連友好紀念館身處多座引人注目的 20 世紀西洋建築之間，依舊脫穎而出。這座建築復刻了 100 多年前在中國建造的一座西洋歷史建築，從中可以一窺當時日本所處國際關係的複雜性。

複雜的歷史

中國遼寧省大連市（當時為旅大市）在 1979 年與日本九州福岡縣北九州市締結為友好城市，這代表了兩座城市之間的複雜關係往好的方向轉變，也是中日邦交正常化的里程碑之一。這座磚石木造的建築建於 1994 年，完全復刻了現在的大連美術館，以紀念北九州市與中國大連市締結友好城市 15 週年。

門司在 20 世紀早期就是連接日本和大連旅順港（當時又稱亞瑟港）的重要港口。1895 年《馬關條約》簽訂，宣告中日甲午戰爭（1894-1895）結束，此後日本曾短暫殖民過大連。然而，俄國很快就強租大連，這樣既阻止了日本在中國（清朝）的勢力擴張，也讓大連成為了俄國在亞洲的主要貿易樞紐。

在日俄戰爭（1904-1905）後，大連再次成為日本在中國東北地區的主要港口，門司則成為了前往亞洲大陸船隻的重要停靠站。日本在第二次世界大戰（1939-1945）中戰敗後，蘇聯又繼續佔領大連，直到 1955 年才最終歸還給中國。

與大連一樣，這座紀念館的原型也牽涉複雜的多國歷史。它最初是在 1902 年由俄國駐大連行政官聘請德國建築師設計建造，是中國東方鐵路（主要在大連及其周邊運行）的管理事務所。日本再度佔領大連後，大連俱樂部入駐。到了 1926 年，它又被改造為日本橋圖書館。在歷經大約百年後，它最終成為了大連美術館。

近乎完美的復刻

紀念館建設專案開始時，大連有 6 座與日本有關的建築曾被列為候選。最後，舊日本橋圖書館因其獨特設計、稀有性、歷史價值以及整體美感而雀屏中選。

然而，由於缺乏原始藍圖和詳細記錄，施工馬上遇到了障礙。為了解決這些難題，日本設計團隊前往大連測量和記錄原建築，希望能完美復刻建築細節。門司從大連進口了大約 45,000 塊紅磚和 5000 塊切割好的花崗岩，主要用於基礎工事、入口地板及其他各處的複雜鑲嵌。據說，就連石材上的工具印痕也被精心複製了出來。這些縝密的細節，都需要兩個城市和兩個國家之間的密切合作才能實現。

大樓的建築風格也反映了它曾受多國文化影響：高聳陡峭的塔式屋頂和半木結構的外牆明顯帶有俄式和德式的風格，但用弧形瓦片一排排交錯疊成的屋頂，又是典型的中國建築形制，與單純疊加瓦片的日本式樣完全不同。瓦片一開始也是從大連進口的，但因為不太適合當地氣候，最後使用了在日本島根縣製造的瓦片。

這棟建築從 1995 年至 2018 年一直是大連友好紀念圖書館，館內專門收藏中國和其他東亞地區的資料。現在，紀念館一樓是中餐館「大連槐花」，二樓是「門司港懷舊交流區」，擺放著桌子和舒適的扶手椅，遊客可以在此隨意休息。旁邊的「大連市介紹角」陳列著與大連有關的藝術品和資料，還備有一段中文和日文的介紹影片。三樓則是當地城市發展團體的「社區交流區」。

開館時間：9:00～17:00

閉館日：全年無休

門票：免費

<日本語仮訳>

大連友好記念館

大連友好記念館は、周辺にある目を惹く 20 世紀の建築物の中でも際立っている。100 年以上

前に中国に建てられたある洋館のレプリカであるこの歴史的建造物は、日本の国際関係の複雑さを表現している。

複雑な歴史

1979 年に、日本九州福岡県の北九州市と中国遼寧省大連市（当時「旅大市」という）が友好都市を提携。この協定は、北九州市と大連市の複雑な関係の良い転機となるものであり、日中国交正常化の象徴のひとつでもあった。煉瓦と石と木でできたこの建造物は、北九州市と中国・大連市との友好都市提携締結から 15 周年を記念して、現在の大連美術館をそっくり複製し、1994 年に建てられた。

門司は 20 世紀初頭、日本と大連（当時「ポート・アーサー」として知られていた）を結ぶ重要な港だった。日清戦争（1894-1895）を終結させた 1895 年の下関条約調印後、日本は一時的に大連を統治下に置いた。しかし間もなく、日本が中国（清朝）に進出しすぎるのを防ぐため、ロシアがまもなく大連を強制的に自分の租借地にし、アジア貿易の主要拠点にした。

日露戦争（1904-1905）後に、大連は再び日本にとって中国東北地方における主要港となり、門司はアジア大陸へ向かう船の重要な寄港地となった。日本が第二次世界大戦（1939-1945）に敗れたのち、大連は 1955 年に中国に返還されるまでソ連が領有していた。

記念館が象徴する都市と同様、記念館のモデルになる建物にも複雑で多国籍な歴史がある。この洋館は大連とその周辺地域で運行されていた東清鉄道の管理事務所として、1902 年にロシア駐大連行政官が雇ったドイツ人建築家によって設計された。日本が再び大連を支配した後、大連倶楽部として利用され、1926 年には、日本橋図書館に改築された。約 100 年後に、大連美術館になった。

本物に近いレプリカ

大連友好記念館建設プロジェクトが始まった当初、候補として大連市内にある日本にゆかりのある 6 つの建物が検討された。独特のデザイン、希少性、歴史的価値、そして全体的な美しさから、旧日本橋図書館が選ばれた。

しかし、オリジナルの設計図や詳細な記録の欠如が、早くも建設上の障害として現れた。この課題を克服するため、建設チームは大連に赴き、本物の再現を確実にするため、モデル元となった建物の寸法を測り、記録した。大連から輸入された煉瓦は 45,000 ほど、カットされた御影石は 5,000 ほどにも及び、基礎工事にも玄関の床やその他の場所に施された複雑な象嵌細工にも使用された。石に刻まれた工具の跡さえも、入念に再現されたものと思われる。これには 2 つの都市と国家の間での緊密な協力が不可欠であった。

この建物の建築様式は、多国籍なルーツを反映している。高い尖塔の屋根やハーフティンバーの壁に見られる、あきらかなロシアやドイツのテイストだけでなく、瓦を重ねていく日本式とは異なる、組み合わせられた曲線の瓦が連なる中国式の屋根も見られる。屋根瓦は当初大連から輸入されたが、現地の気候に合わず、島根県で作られた瓦で代用された。

1995 年から 2018 年まで、この建物は大連友好記念図書館として機能し、中国や東アジアの資料を専門に扱っていた。現在、1 階には中国料理レストラン「大連あかしあ」があり、2 階にはテーブルと座り心地の良い肘掛け椅子が置かれた誰でも自由に休憩ができる「門司港レトロ交流スペース」が

ある。また、近くの「大連市紹介コーナー」では、大連に関する美術品や資料が展示されており、中国語と日本語の紹介ビデオも用意されている。3 階は地元まちづくり団体の「地域コミュニティスペース」となっている。

開館時間：9:00～17:00

休館日：年中無休

料金：無料

【タイトル】 赤間神宮

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

赤间神宮

赤间神宮位于唐户市场以东不远处，醒目的朱红色门楼是下关的标志性建筑。目前的神宮建筑建于第二次世界大战(1939-1945)之后，但神宮历史可以追溯至数世纪以前，融合了佛教和神道教两大宗教文化传统。

传说，早在公元 859 年，佛僧行教（生卒年不详）就在此地修建了供奉八幡神的阿弥陀寺。当年幼的安德天皇(1178-1185)在 1185 年的坛之浦之战中悲惨地结束一生后，赤间神宮便与他永远联系在了一起。数百年后，赤间神宮被正式认定为安德天皇的安息之地。

根据佛教信仰，崩逝天皇的灵魂需要得到安抚，以确保他不会变成冤魂怨鬼回来复仇。1191 年，在可以俯瞰安德天皇溺死海湾的阿弥陀寺里，人们建造了一座御影堂，以纪念 6 年前在坛之浦逝去的安德天皇，以及与他一同殉难的数千名武士，并举行仪式来安抚天皇的灵魂。

一位名叫メア（Mea，生卒年不详）的尼姑，协助人们举行了安德天皇的安魂仪式，据说她是安德天皇母亲的乳母。据记载，当平家在坛之浦遭受灭顶之灾时，抱着安德天皇一起跃入波涛之中的天皇外祖母二位尼（1126-1185；平时子）曾说，她希望妇女们能幸免于难，这样就能祭奠男人们的亡魂。或许，这位乳母正是承此愿而来。

在数百年后的明治时代(1868-1912)，神佛习合（神道教和佛教融合）的传统被打破，神道教和佛教正式分开，阿弥陀寺被分归为神社，并更名“赤间宮”。1940 年，赤间宮升级为最高级别的神社，更名为“赤间神宮”。1945 年 7 月 2 日凌晨，美军 B-29 轰炸机在下关投下燃烧弹，神宮也遭焚毁。直到 1965 年，赤间神宮才得以重建。

夺目的建筑

水天门是赤间神宮的入口，其拱形大门上方有一座朱红色的门楼。神宮建筑群中，以外拜殿和内拜殿尤为引人注目。内拜殿建在一个浅水池上，代表传说中的海底龙宮。据说在跳海前，二位尼曾安慰年幼的天皇说他们是去往海底龙宮。御本殿（正殿）的西侧是安德天皇的陵墓——阿弥陀寺陵。

无耳芳一

赤間神宮是日本著名鬼怪故事“琵琶法師・芳一”的舞台，据说芳一的耳朵被平家武士的鬼魂夺走了。小泉八云（1850-1904；原名拉夫卡迪奥・赫恩）在其 1904 年出版的代表作《怪谈》中写到了这个故事，之后便广为流传。宝物殿后面供奉着一座芳一雕像，由出生于防府的艺术家庄田政夫(1920-2008)用樟木制作，表情极其丰富生动。

先帝祭

每年 5 月 2 日至 4 日，赤間神宮都会举行纪念安德天皇的“先帝祭”。这项活动是“下关海峡祭”的一部分，其亮点是装扮成妓子的妇女们在一众儿童和扮演保镖的男子们的陪伴下巡游。这支队伍是为了纪念在战争中幸存下来的 12 世纪的妓子，据说她们每年都会来安德天皇的陵墓献花。

<繁体字>

赤間神宮

唐戶市場以東不遠處的赤間神宮有一座醒目的朱紅色門樓，它是下關的標誌性建築。今天的神宮建築建於第二次世界大戰（1939-1945）之後，然而，融合了佛教和神道教兩大宗文化傳統的赤間神社，其歷史卻可以追溯到幾百年之前。

傳說佛僧行教（生卒年不詳）早在西元 859 年就在此地修建了供奉八幡神的阿彌陀寺。年幼的安德天皇（1178-1185）在 1185 年的壇之浦之戰中悲慘地結束了一生後，便與這座神宮永遠地聯繫在了一起，赤間神宮也在數世紀之後被正式認定為安德天皇的安息之地。

根據佛教信仰的說法，崩逝天皇的靈魂需要得到安撫，這樣才能確保他不會變成冤魂怨鬼回來復仇。1191 年，人們在可以俯瞰安德天皇溺死海灣的阿彌陀寺裡建造了一座御影堂，用來記念 6 年前在壇之浦逝去的安德天皇，以及與他一同殉難的數千名武士，還舉行儀式來安撫天皇的靈魂。

據說安德天皇母親的乳母是一位名叫メア（Mea，生卒年不詳）的尼姑，她幫助人們舉行了安德天皇的安魂儀式。根據記載，當平家在壇之浦遭受滅頂之災時，抱著安德天皇一起躍入波濤之中的天皇外祖母二位尼（1126-1185；平時子）曾說，她希望婦女們能倖免於難，這樣就能祭奠男人們的亡魂。也許，這位乳母正是因為這樣的心願而來。

在幾百年後的明治時代（1868-1912），神佛習合（神道教和佛教融合）的傳統被打破，神道教和佛教正式分家，阿彌陀寺被分歸為神社，並更名「赤間宮」。1940 年，赤間宮升級為最高級別的神社，更名為「赤間神宮」。1945 年 7 月 2 日凌晨，美軍 B-29 轟炸機在下關投下燃燒彈，神宮也遭焚毀，直到 1965 年才得以重建。

奪目的建築

水天門是赤間神宮的入口，其拱形大門上方有一座朱紅色門樓。神宮建築群中以外拜殿和內拜殿最為吸睛。據說在跳海前，二位尼曾安慰年幼的天皇說，他們是要去海底龍宮，建在淺水池上的內拜殿代表的就是傳說中的海底龍宮。御本殿（正殿）的西側則是安德天皇的陵墓「阿彌陀寺陵」。

無耳芳一

日本著名鬼怪故事「琵琶法師・芳一」的舞台，就是赤間神宮。據說，芳一的耳朵被平家武士鬼魂奪走了。小泉八雲（1850-1904；原名拉夫卡迪奧・赫恩）在 1904 年出版的代表作《怪談》中寫道了這個故事，之後該傳說便廣為流傳。寶物殿後供奉著一座表情豐富生動的芳一雕像，由出生於防府的藝術家押田政夫（1920-2008）以樟木製作。

先帝祭

赤間神宮在每年 5 月 2 日至 4 日都會舉行記念安德天皇的「先帝祭」。這個祭典是「下關海峽祭」的一部分，亮點是裝扮成妓子的婦女們在一群兒童和扮演保鏢的男子們的陪伴下巡遊。這支隊伍是為了記念 12 世紀在戰爭中倖存下來的妓子，據說她們每年都會來安德天皇的陵墓獻花。

<日本語仮訳>

赤間神宮

唐戸市場から少し東に行ったところにある赤間神宮の印象的な赤い楼門は、下関のランドマークである。現在の社殿は第二次世界大戦（1939-1945）の後に建てられたものだが、赤間神宮の歴史は何世紀も前に遡り、仏教と神道の両方の伝統を包含している。

伝承によるとその歴史は 859 年まで遡り、僧の行教（生没年不詳）がこの地に八幡神を祀る阿彌陀寺を建てたという。壇ノ浦の戦い（1185 年）で幼帝・安德天皇（1178-1185）が悲劇的な最期を遂げた後、赤間神宮は安德帝と永遠にゆかりのある神社となり、それから何世紀も後になって、安德天皇が眠る場所として正式に認定された。

仏教の信仰においては、崩御された天皇の御魂が報復を求め怨霊となって戻って来ることがないよう鎮めることが必要とされた。1191 年、安德が溺死した湾を見下ろす阿彌陀寺に、その 6 年前、安德天皇、そして安德とともに亡くなった数千人の武士のために御影堂が建てられ、安德の霊を鎮める儀式が行われた

安德天皇の母の乳母であったとされる尼僧メア（生没年不詳）が、安德天皇の鎮魂の儀式を手伝った。おそらく彼女は、幼い天皇の母方の祖母で、安德帝とともに波に飛び込んだ二位尼（平時子、1126-1185）の言葉に触発されたのだろう。壇の浦で彼女の一族の滅亡が明らかになったとき、二位尼は「男達の霊のために儀式を行うことができるよう、女達が助かることを願っている」と言ったと記録されている。

数世紀後、明治時代（1868-1912）になると、神仏習合（神道と仏教との融合）は正式に分離され、阿弥陀寺は神社に分類され、「赤間宮」と名付けられた。1940 年、赤間宮は最高位の神社として赤間神宮となった。そして 1945 年 7 月 2 日未明、アメリカの B-29 爆撃機が下関に焼夷弾を投下し、神宮は火災で焼失した。赤間神宮が再建されたのは 1965 年である。

注目すべき建造物

赤間神宮への入口は、真っ赤な上層階がついたアーチ型の水天門を通ったところにある。注目すべき社殿には、外拝殿（げはいでん）と内拝殿（ないはいでん）がある。後者には浅い池が設けられており、伝説の海底宮殿「龍宮城」にちなんでいる。二位尼は波の中に飛び込んでいく際、幼帝を安心させるため自分達は伝説の宮殿を訪れるのだと説いたと言われている。御本殿の西方には、安徳天皇の陵墓である阿弥陀寺陵（あみだじのみささぎ）がある。

耳なし芳一

赤間神宮は、平家落人の亡霊に耳を奪われたという琵琶法師、芳一の怪談の起源である。この物語は、出生名ラフカディオ・ハーンの小泉八雲（1850-1904）の代表作『怪談』（1904 年）で広められた。宝物殿の裏手には、防府出身の地元の作家・押田政夫（1920-2008）作の楠でできた表情豊かな芳一の彫像が祀られている。

先帝祭

毎年 5 月 2 日から 4 日にかけて、安徳天皇を祀る祭礼が開催される。「しものせき海峡まつり」の中で行われ、遊女のような身なりをした女性達が稚児達や彼女達の警護役に扮した男達を従えて行列を作るのが特徴である。この行列は、戦いを生き延びた 12 世紀の遊女たちを称えるもので、彼女達は安徳の陵墓に花を供えるために毎年訪れていたと言われている。

【タイトル】 旧秋田商会ビル

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

旧秋田商会大楼

大正时代(1912-1926)的现代主义是一场将西方元素和家具融入传统日本建筑的设计运动，而旧秋田商会大楼正是其中的典型代表。秋田商会的社长及其家人在此居住，内装修设计中的许多部分展现了他事业的成功和对个人安全的考虑。

战时财富积累的见证

秋田寅之介（1874-1953；原名秋富寅之介）于 1905 年创立秋田商会。他原是家族木材生意的掌门人，利用中日甲午战争(1894-1895)和随后的日俄战争(1904-1905)两次机会，将业务扩展到食品供应领域，并用从中积累的资本成立了秋田商会。在之后 40 年里，他的贸易和航运公司在海外开设了 25 家分公司，主要分布在当时由日本控制的朝鲜半岛、中国东北地区和台湾。特别值得一提的是，商会还参与了中国东方铁路的建设，不仅向中国东北地区运输铁路建材，还承担了铺设铁轨的工作。随着公司的发展，秋田寅之介于 1915 年建造了这座大楼，供家人居住和公司办公之用。

日西合璧的建筑

旧秋田商会大楼是西日本第一座钢筋混凝土建筑，比全日本第一座钢混结构建筑建成仅仅晚了 4 年。据说，在浇筑混凝土之前，秋田寅之介的邻居们看到笼子一样的加固钢筋，都误以为他在建动物园。完工后的建筑同样令人印象深刻，在屋顶花园的西南角，高耸着一座铜板穹顶的塔屋。

位于一楼的办公室采用西式的布局和家具，与建筑外观相呼应。二楼和三楼则铺上榻榻米，障子门与房顶之间还有装饰性的木雕“栏间”。秋田寅之介和妻子琴子(1877-?)以及女儿梅子和女婿三一就居住在这两层。屋顶上有一座日式庭园，里面还建造了一间招待客人的茶室。

从上两层楼中，可以窥见 20 世纪早期富裕家庭的生活。存放和服的杉木大衣柜和踏板式雅马哈(YAMAHA)风琴等物品，都在暗示秋田寅之介对女儿的宠爱。楼梯扶手用黑檀木镶嵌了秋田商会社章（一条横杠和三个圆圈），它是仿照从前统治该地区的毛利家族的家纹设计的。

三楼中央是铺着榻榻米的大空间，被柱子和障子门隔成了几个小房间，障子门拆除后就能变回一个大房间。从抽水马桶和工作电梯等整座建筑的配套设施中，可以了解到秋田寅之介已经采用了当时最新的现代设备，特别是抽水马桶，在大楼建成前一年才传入日本。

固若金汤的住宅

与下关其他历史建筑最显著的差别是，这座建筑的设计特别注重消防安全和安保措施。主入口是一扇铁制安全门，底层窗户装有铁栅栏，主办公室的紧急出口通向室外的混凝土防火墙。

住宅空间的安保措施更为严密。楼梯由铁栅栏门把守，扶手立柱间距十分窄，以防有人挤进来；三楼最里面一扇不起眼的障子门后有一道秘密楼梯；走廊一角的矮门上打上钉子，以防有人翻越。这些措施被认为是用来应对战争期间日益恶化的治安问题。

开馆时间：10:30～16:00

闭馆日：每周二、三（如遇节假日顺延）

门票：免费

<繁体字>

舊秋田商會大樓

舊秋田商會大樓是大正時代（1912-1926）現代主義的典型代表。所謂大正現代主義，就是將西方元素和家具融入傳統日本建築的設計運動。秋田商會的社長和其家人就居住在這裡，大樓的室內裝潢設計中的許多部分顯露了他事業的成功和對個人安全的考量。

戰時財富積累的見證

秋田寅之介（1874-1953；原名秋富寅之介）在 1905 年創立秋田商會。他原是家族木材生意掌門人，利用中日甲午戰爭（1894-1895）和隨後日俄戰爭（1904-1905）兩次機會，將業務擴展到食品供應領域，並以從中積累的資本成立了秋田商會。之後的 40 年裡，他的貿易和航運公司在當時由日本控制的朝鮮半島、中國東北和台灣等海外地區開設了 25 家公司。特別值得一提的是，商會也參與了中國東方鐵路的建設，不但向中國東北地區運輸鐵路建材，還負責鐵軌鋪設工作。隨著公司發展壯大，1915 年，秋田寅之介建造了這座大樓，用作眷屬居處和公司辦公。

日西合璧的建築

在全日本第一座鋼混結構建築落成僅 4 年之後，舊秋田商社竣工，它是西日本第一座鋼筋混凝土建築。據說，在澆築混凝土之前，鄰居們看到籠子一樣的加固鋼筋，都誤以為

秋田寅之介在建造一座動物園。完工後的建築同樣令人印象深刻：在屋頂花園的西南角，高聳著一座銅板穹頂的塔屋。

與建築外觀相呼應，一樓的辦公室採用西式布局和家具。二樓和三樓則鋪上榻榻米，障子門與房頂之間還有裝飾性的木雕「欄間」。這兩層是秋田寅之介和妻子琴子（1877-?），以及女兒梅子和女婿三一的居住空間。屋頂上有一座日式庭園，裡面還有一間招待客人的茶室。

在上兩層樓可以了解到 20 世紀早期富裕家庭的生活。從存放和服的杉木大衣櫃和踏板式 YAMAHA 風琴等物品中，可以窺見秋田寅之介對女兒的寵愛。樓梯扶手用黑檀木鑲嵌了秋田商會社章（一條橫杠和三個圓圈），它是仿照從前統治該地區的毛利家的家紋設計的。

三樓中央的大空間鋪著榻榻米，被柱子和障子門隔成幾個小房間，障子門拆除後就能變成一個完整的大房間。在整座建築中，秋田寅之介採用了像是抽水馬桶和工作電梯這些當時最新的現代設備，其中最新潮的是抽水馬桶，在大樓建成前一年才傳入日本。

固若金湯的住宅

和下關其他歷史建築不同，這座建築的設計特別注重消防安全和保全措施：主入口是一扇鐵製安全門，底層窗戶裝有鐵柵欄，主辦公室的緊急出口通向室外的混凝土防火牆。

住宅空間的保全措施則更為嚴密：樓梯由鐵柵欄門把守，扶手的支柱緊靠在一起，這是為了防止有人擠進來；三樓最裡面有個不起眼的障子門，隱藏著秘密樓梯；走廊一角的矮門上釘上釘子，以防有人翻越。一般認為，以上這些措施都是用來應對戰爭期間日益惡化的治安問題。

開館時間：10:30～16:00

閉館日：每週二、三（如遇節假日順延）

門票：免費

<日本語仮訳>

旧秋田商会ビル

旧秋田商会ビルは、伝統的な建築に西洋の要素や調度を取り入れたデザイン運動である大正時代（1912-1926）のモダニズムの代表的な例である。秋田商会の社長は家族とともにここに住み、内装デザインの多くは、彼自身の成功や身の安全に対する自身の配慮を反映したものとなっている。

戦時中の富の上に築かれたもの

秋田寅之介（1874-1953）は秋富寅之介として生まれ、1905 年に秋田商会を設立した。元々は家業の製材業を営んでいたが、日清戦争（1894-1895）とその後の日露戦争（1904-1905）を契機に食糧供給業に進出した。寅之助はこれらの事業の利益を秋田商会の設立に投じた。その後 40 年間にわたり、彼の貿易・海運会社は当時日本の支配下にあった台湾、朝鮮半島、満州を中心に 25 の海外支店を開設した。特に、満州への鉄道建設資材の輸送と、自らレールを敷設する作業の双方を行い、東清鉄道の建設に携わった。会社の成長に伴い、寅之介は事務所兼家族の住まいとして 1915 年にこのビルを建てさせた。

和洋建築様式の融合

旧秋田商会ビルは、日本初の鉄筋コンクリート造建築物の僅か 4 年後に建設された、西日本初の鉄筋コンクリート造建築であった。コンクリートが注がれる前の見慣れない檻のような鉄筋補強作業風景は、近隣の人々を寅之助が動物園を建てていると思わせたらしい。完成した建物も印象的な佇まいがあり、屋上庭園の南西の角に銅タイル貼りの塔のドームがそびえている。

1 階の事務所は建物の外観に合わせた西洋風の間取りと調度であった。しかし、2 階と 3 階は畳敷きで、襖の上には飾り欄間がある。これらの階は寅之介と妻の琴子（1877-?）、娘の梅子、その夫の三ーも住んでいた。屋上には賓客をもてなすための茶室を備えた日本庭園があった。

この上層階では、20 世紀初頭の裕福な家族の生活を垣間見ることができる。着物を収納するための大きな杉の箆笥や、ペダル式のヤマハのオルガンなどからは、虎之助の娘への溺愛ぶりを伺わせる。階段の手すりには、秋田の社章（棒と 3 つの丸）が黒檀で象嵌されている。この社章は、かつてこの地を治めていた毛利家の家紋を模したものである。

3 階の中央には畳敷きの大きなスペースがある。このスペースは柱と襖によっていくつかの小さな部屋に区切られているが、障子を取り外してひとつの広大な部屋とすることもできる。建物内にある水洗トイレや給仕用のエレベーターなどの設備は、寅之介が最新の文明の利器と取り入れていたことを伺わせるもので、とりわけ水洗トイレはわずか 1 年前に日本に入ってきたばかりだった。

異例に厳重な住居

建物の設計には耐火性や安全性への配慮が見られ、これは他の下関の歴史的建造物にはない特色である。正面玄関には鉄製の防火扉、1 階の窓には鉄格子がはめ込まれており、メインオフィスの非常口は外のコンクリート製の防火壁へとつながっている。

住居スペースを守るセキュリティはより厳重である。階段は鉄格子のついた鉄の扉で守られ、手すりの間隔はすり抜けられないように密着している。何の標示もないスライド式の仕切りは 3 階奥にある秘密階段を隠しており、廊下の一角にある低いドアには、誰かが乗り越えられないように釘が打ってある。こうした措置は戦間期における治安悪化への対策であったと考えられる。

開館時間：10:30～16:00

休館日：火曜、水曜（祝日の場合は翌平日）

料金：無料

【タイトル】 旧下関英国領事館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

旧下关英国领事馆

繁荣的国际中心

尽管下关远离日本的政治中心——东京，但它在国际贸易中的地位却举足轻重。包括美国、德国和荷兰在内的 8 个西方大国都曾在此设立了领事馆。英国是第一个在下关设立领事馆的国家，旧下关英国领事馆也是下关唯一一座保留至今的领事馆建筑。

众多领事馆的先驱

英国外交官欧内斯特·萨道义爵士(Sir Ernest Mason Satow, 1843-1929)提议在下关或门司设立领事馆，负责处理机密文件和监督贸易运输。1901 年，下关英国领事馆在租用地开始办公，新的领事馆大楼则在 1906 年竣工，由当时的英国政府工务局上海事务所主建筑工程师威廉·考恩（William Cowan，生卒年不详）设计。

这是一座两层红砖砌安妮女王风格的建筑，入口最上方的墙面被设计成两侧阶梯式样；外廊上立着圆柱，还有用白色石材装饰的拱门。外墙采用日本三大砖瓦产地之一岸和田所产的红砖，砖上都有 X 形印记。

楼房内部装饰十分华丽，天花板很高，门窗周围布满装饰，每个房间都有壁炉台和瓷砖壁炉。领事办公室的装饰尤为繁复，与船运办公室的简洁风格形成了鲜明对比。

蒸汽时代的信息安全

领事馆是英国侨民的联络中心，这里汇聚着各种信息。许多客户都是相互竞争的贸易公司成员，因此领事馆采取了各种措施来确保业务的私密性。厚重的大门和墙壁可以防止窃听，钥匙孔上的盖子可以防止任何人偷窥相邻的房间。大楼甚至还有两个设有独立出入口的接待室，以保护访客隐私。这些设计特点反映了领事馆对信息安全和国际外交机密性的敏感度。

第二次世界大战(1939-1945)爆发后，英日关系恶化，下关英国领事馆于 1941 年关闭。1954 年，英国政府将这座建筑卖给了下关市，1958 年至 1968 年，这里一直是由警察驻守的警务岗亭。在此期间，为了便于出入前方道路，面向十字路口的一段外墙被拆除。尽管

后来又被修复，但从不同色调的砖块中可以看出改建痕迹。在随后的几十年里，该建筑被用于各种用途，比如考古博物馆就在此驻扎了 16 年之久。

1999 年，旧下关英国领事馆被指定为国家重要文化财产，并于 2008 年进行了大规模修复。为加固大楼并适应未来需要，工程采用了一项突破性的技术——用凯夫拉纤维制成的支撑格子来加固砌体接缝。

现在，一楼有专门介绍下关历史和领事服务的展览空间，二楼有一家英式茶室。

开馆时间：9:00~17:00

闭馆日：周二（如遇节假日顺延）

门票：免费

<繁体字>

舊下關英國領事館

繁榮的國際中心

儘管遠離日本的政治中心——東京，下關在國際貿易中的地位卻舉足輕重。美國、德國和荷蘭等 8 個西方大國都曾在此設立了領事館，其中，英國是第一個在下關設立領事館的國家，舊下關英國領事館也是下關唯一一座保留至今的領事館建築。

眾多領事館的先驅

英國外交官歐尼斯特·薩道義爵士（Sir Ernest Mason Satow, 1843-1929）提議在下關或門司設立領事館，負責處理機密檔案和監督貿易運輸。下關英國領事館 1901 年開始在租用地辦公，新的領事館大樓則在之後的 1906 年竣工，由當時的英國政府工務局上海事務所主建築工程師威廉·考恩（William Cowan，生卒年不詳）設計。

這座兩層紅磚砌建築屬於安妮女王風格：入口最上方的牆面被設計成兩側階梯式樣；外廊上立著圓柱，還有用白色石材裝飾的拱門；外牆採用日本三大磚瓦產地之一岸和田所生產的紅磚，磚上都有 X 形印記。

樓房內部天花板很高，門窗周圍布滿裝飾，每個房間都有壁爐台和瓷磚壁爐，裝潢相當華麗。領事辦公室裝潢顯得尤其繁複，和船運辦公室的簡潔風格形成了鮮明對比。

蒸汽時代的資訊安全

領事館是英國僑民的聯絡中心，大量訊息匯聚在此。由於不少客戶是相互競爭的貿易公司成員，領事館採用了許多措施來確保業務的私密性：厚重的大門和牆壁可以防止竊聽；

鑰匙孔上の蓋子可以防止有心人偷窺相鄰的房間；為了保護訪客隱私，大樓甚至有兩個設有獨立出入口的接待室。這些設計都反映出領事館對資訊安全和國際外交機密性的敏感度。

英日關係在第二次世界大戰（1939-1945）爆發後惡化，1941 年，下關英國領事館關閉。英國政府在 1954 年將這座建築賣給了下關市，1958 年到 1968 年之間，這裡一直是由員警駐守的崗亭。期間，為了便於出入前方道路，面向十字路口的一段外牆被拆除。儘管之後被修復，但從不同色調的磚塊中便能看出改建痕跡。隨後的幾十年裡，該建築被用於多項用途，像是考古博物館就在此駐紮了 16 年之久。

舊下關英國領事館在 1999 年被指定為國家重要文化財產，並在 2008 年進行了大規模修復。為了加固大樓、適應未來需要，工程採用了突破性技術——以凱夫拉纖維製成的支撐格子來加固砌體接縫。

如今大樓一樓是介紹下關歷史和領事服務的展覽空間，二樓有一家英式茶室。

開館時間：9:00～17:00

閉館日：週二（如遇節假日順延）

門票：免費

<日本語仮訳>

旧下関英国領事館

繁栄する国際拠点

下関は、政治の中心地である東京から離れていたにもかかわらず、国際貿易にとって非常に重要な場所であった。アメリカ、ドイツ、オランダなど欧米 8 カ国が領事館をここに設置した。イギリスは領事館を開設した最初の国であり、現在も残っている唯一の領事館の建物である。

多くの領事館の先駆

英国外交官サー・アーネスト・サトウ（1843-1929）は、交易船の監督や機密文書の取り扱いのため、下関あるいは門司に領事館を設立することを提案。最初の英国領事館は 1901 年、場所を借り上げて開業した。領事館の建物が完成したのは 1906 年であり、当時のイギリス政府工務局上海事務所建築技師長ウィリアム・コーワン（生没年不明）によって設計された。

この煉瓦 2 階建てのアン女王朝様式の建物は入口の一番上に両側が階段状になっている破風があり、ベランダに柱が並んでいて、白い石で装飾されたアーチがある。煉瓦は日本の三大煉瓦生産地の一つである岸和田産で、X 字型の刻印がされているのが確認できる。

装飾が施された内部は天井が高く、ドアや窓の周りには細工が施されたモールディングがあり、各部屋にはタイル張りの暖炉を備えたマントルピースがある。領事室の特に複雑な細工は、海運事務所の簡素なスタイルとは対照的である。

蒸気の時代の情報セキュリティ

領事館は海外の英国民への連絡拠点としての役割を担い、あらゆる種類の情報がここでやり取りされた。領事の賓客の多くは競合する貿易会社のメンバーであったため、ビジネスが内密に行われるようにするための対策がとられた。分厚く、重いドアや壁は盗み聞きを防ぎ、鍵穴には隣の部屋の覗き見を防止するカバーが掛けられている。さらに、来訪者のプライバシーを守るため、領事館には出入口が独立した2つの応接室があった。こうした設計は、国際外交や情報セキュリティにおける機密性への配慮を窺わせるものである。

第二次世界大戦の勃発で日英関係は悪化し、ここでの領事館業務は1941年に閉鎖された。1954年に英国政府は下関市にこの建物を売却し、1958年から1968年までは警察が駐在する交番であった。その間に、道路へのアクセスを改善するため、交差点に面した外壁の一部が撤去された。この部分は後に修復されており、煉瓦の色調の違いから、その変遷を伺うことができる。その後の数十年間、この建物は様々な用途で使用されており、16年間考古学博物館として使用されたこともあった。

1999年、この領事館の建物は国の重要文化財に指定され、2008年に大規模な修復工事が行われた。煉瓦の継ぎ目の間にケブラー繊維の束を通して格子状にして繋ぎ合わせるという、将来のため建物を強化する画期的な技術が採用された。

現在、1階は下関の歴史と領事業務を紹介する展示スペースになっており、2階には英国風のティールームがある。

開館時間：9:00～17:00

休館日：火曜（祝日の場合は翌平日）

料金：無料

【タイトル】 世界平和パゴダ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

世界和平塔

世界和平塔矗立在门司北部的古城山高处，俯瞰着关门海峡。塔高 27 米、直径 13 米，它是日本唯一被缅甸佛教教会官方认可的缅甸风格的寺庙。

世界和平塔建于 1958 年，据说是由曾在第二次世界大战(1939-1945)期间被派往缅甸（1948 年以前英国殖民地时期称为 Burma，1989 年改名为 Myanmar）的退伍军人市原瑞麿（1917-?；麿，音同“抹”）倡议建造的。由于亲眼目睹战争造成了难以言喻的死亡和苦难，他希望在日本建造一座上座部佛教（南传佛教）的佛塔，以悼念战争中的死难者并倡导世界和平。

1957 年，缅甸最杰出的佛教僧侣之一马哈希尊者(Mahāsi Sayādaw, 1904-1982)来到日本，而与他同行的年轻弟子就是日后著名的乌开明达尊者(U Kemminda, 1922-2011)。当乌开明达得知市原瑞麿的愿望之后，便自愿留在日本支持佛塔的建设。

悼念二战死难者

第二次世界大战期间，约有 200 万日本士兵经由门司港被派往太平洋战场，约有 20 万人参加了缅甸战役(1942-1945)。当这些士兵出征时，很少有人认为自己还能生还。日军在缅甸的伤亡人数多达数十万，其中至少有 18 万日本人在那里丧生，再也没能返回故土。对于那些回家的幸存者来说，门司成为了失去、生还以及战争悲剧的象征，具有深远的意义。

缅甸国民同样遭受了惨重伤亡，虽然难以统计确切数字，但死亡人数显然远远超过了日本占领军。如此巨大的战争创伤给两国戴上了沉重的枷锁，在战争结束 13 年后，这座佛塔的落成标志了双方在建立友好关系上迈出了一小步。

1958 年 9 月，在缅甸建筑师的指导下，当地木匠建成了这座佛塔，总造价达 4000 万日元，由缅甸佛教教会和门司当地的捐款分摊。

现在，至少有 3 名来自缅甸的上座部僧侣常驻于佛塔中。佛塔的运营资金来自微薄的门票收入以及退伍士兵和死难者家属的捐款。遗憾的是，佛塔已不再像以前那样得到广泛支持，目前主要依靠门司居民的善意和慈善活动来维持。

佛塔内部

佛塔采用典型的缅甸式设计，祭坛中央是上座部佛祖释迦牟尼像，左侧矗立着 50 座阵亡将士的牌位。来自缅甸某海滩的一块普通岩石庄重地提醒人们，许多悲痛欲绝的家庭永远无法与亲人重逢。每年秋季，这里都会举行悼念仪式。

开馆时间：6:00～18:00

闭馆日：全年无休

门票：200 日元

<繁体字>

世界和平塔

世界和平塔矗立在門司北部的古城山高處，俯瞰著關門海峽。塔高 27 公尺、直徑 13 公尺，它是日本唯一被緬甸佛教教會官方認可的緬甸風格的寺廟。

世界和平塔建於 1958 年，據說是由曾在第二次世界大戰（1939-1945）期間被派往緬甸（1948 年以前英國殖民地時期稱為 Burma，1989 年改名為 Myanmar）的退伍軍人市原瑞麿（1917-?；麿，音同「抹」）倡議建造的。親眼目睹了戰爭造成的難以言喻的死亡和苦難後，他希望在日本建造一座上座部佛教（南傳佛教）的佛塔，用來悼念戰爭中的死者並以此倡導世界和平。

緬甸最傑出的佛教僧侶之一馬雜湊尊者（Mahāsi Sayādaw, 1904-1982）在 1957 年來到日本，與他同行的年輕弟子便是日後著名的烏開明達尊者（U Kemminda, 1922-2011）。當得知市原瑞麿的願望之後，烏開明達便自願留在日本支援佛塔的建設。

悼念二戰死難者

在第二次世界大戰期間，大概有 200 萬日本士兵經由門司港被派往太平洋戰場，其中，約有 20 萬人參加了緬甸戰役（1942-1945）。出征時，這些士兵中很少有人認為自己還能生還。日軍在緬甸的傷亡人數多達數十萬，至少有 18 萬日本人喪生在那裡，再也沒能返回故土。對於那些僥倖最後回家的生還者來說，門司成為了失去、生還以及戰爭悲劇的象徵，意義深遠。

雖然難以統計確切數字，但緬甸國民同樣遭受了慘重傷亡，而且死亡人數顯然遠遠超過了日軍。巨大的戰爭創傷給兩國戴上了沉重的枷鎖，在戰爭結束 13 年後這座佛塔的落成，標誌了雙方在建立友好關係上終於往前邁出了一小步。

1958 年 9 月，在緬甸建築師的指導下，當地木匠建成了這座佛塔。總造價達 4000 萬日圓，由緬甸佛教教會和門司當地的捐款分攤。

現在，至少有 3 名來自緬甸的上座部佛僧在佛塔常駐，佛塔的營運資金來自微薄的門票收入以及退伍士兵和死難者家屬的捐款。只是很可惜，現在佛塔已不再像以前那樣得到外界廣泛支持，目前主要依靠門司居民的愛心和慈善活動來維持。

佛塔內部

這座佛塔是典型的緬甸式設計，祭壇中央為上座部佛祖釋迦牟尼像，左側矗立著 50 座陣亡將士的牌位。來自緬甸某海灘的一塊普通岩石莊嚴地提醒人們，許多悲痛欲絕的家庭永遠無法與親人重逢。每年秋季，這裡都會舉行悼念儀式。

開館時間：6:00～18:00

閉館日：全年無休

門票：200 日圓

<日本語仮訳>

世界平和パゴダ

門司北部に位置する、関門海峡を見下ろす古城山の高台に、世界平和パゴダがある。高さ 27 メートル、直径 13 メートルのこの建物は、日本で唯一ミャンマー仏教会に認められているミャンマー式寺院である。

1958 年に建てられたこのパゴダは、第二次世界大戦（1939-1945）中にミャンマー（当時イギリス植民地時代にはビルマといい、1989 年にミャンマーとなった）に派遣された元軍人、市原瑞麿（1917-？）が構想したと言われている。戦争による計り知れない死と苦しみを目の当たりにした市原は、戦争の犠牲者を悼み、世界平和を促進するために、日本にテラワダ仏教の仏塔を建てたいと考えた。

1957 年、ミャンマー屈指の仏教僧マハーシ・サヤドー尊師（1904-1982）が来日した。彼は後にウ・ケミンダ尊師（1922-2011）として知られる若い弟子を連れていた。市原の構想を知ったこの若い僧侶は、プロジェクトを支援するために日本に残ることを志願した。

第二次世界大戦戦没者を慰霊

第二次世界大戦中、約 200 万人の日本兵が門司港を經由して太平洋戦線に派遣され、約 20 万人がビルマ戦線（1942-1945）に参加した。出征した時に兵士達は、二度と戻ってこられないであろうと思っていたに違いない。ビルマでの日本軍の死傷者は数十万人にのぼり、少なくとも 18 万人の日本国民がビルマで死亡し、祖国に帰れなかったことが後に判明した。幸運にも帰国できた人々にとって、門司は喪失、生還、そして戦争による究極の悲劇の象徴として深い意味を持つようになった。

ビルマの民間人にもまた、ひどい犠牲者が出た。正確な数を特定するのは難しいが、占領していた日本軍の犠牲者数を遥かに凌ぐものであったことは明らかである。このような大きな暴力のトラウマが

両国に重くのしかかり、戦争が終結して 13 年後にこのパゴダが作られたことは、相互の親善を確立するための小さな一歩であった。

1958 年 9 月、パゴダはミャンマーの建築家の指揮のもと、地元の大工たちによって建てられた。総工費は 4,000 万円で、ビルマ仏教会と地元門司の寄付金で折半された。

パゴダには、ミャンマーから少なくとも 3 人のテーラワダ僧が常駐している。運営資金は、元兵士や戦死者遺族からの寄付と、ささやかな入場料で賄われている。残念ながら、現在パゴダはかつてのような支援を受けておらず、門司市民の善意と慈善活動によって維持されている。

パゴダ内部

パゴダは典型的なビルマ風デザインとなっている。祭壇中央の仏像は、仏陀である釈迦如来をテーラワダ教で表現したものだ。その左側には、戦死した兵士のための 50 の位牌が置かれている。ミャンマーの浜辺にあった素朴な石は、悲嘆に暮れる多くの家族が愛する人の遺骨と再会できなかったことを厳粛に思い出させる。毎年秋には慰霊祭が行われる。

開館時間：6:00～18:00

休館日：年中無休

料金：200 円

【タイトル】九州鉄道記念館

【想定媒体】WEB

<簡体字>

九州铁道纪念馆

铁道迷的梦想

旧九州铁道本社现在是一座博物馆，馆内把与日本铁路发展史相关的实物和互动展品有机结合在了一起。许多退役的机车（火车头）以及专业级列车运行模拟器都在此展出。

铁轨上的列车

纪念馆的入口位于门司站的原址，该站后来搬迁并更名为“门司港站”。这里有九州铁路“零英里”标志，意味着九州岛上所有的铁轨长度都从这里开始测量。

在入口附近的轨道上，展示了一系列退役机车和列车车厢。首先映入眼帘的是SL9600型蒸汽机车，它是最早批量生产的日本国产蒸汽机车之一，从20世纪20年代至70年代一直在九州各地运输货物。后面是最初穿越关门隧道的EF10 35型机车。除此之外，还有柴油机车(Kiha07 41)和一直使用至2000年的卧铺车厢(Kuhane581-8)等其他展示车辆。

户外还有一个迷你铁道公园，有一段130米小型铁路和几辆微型机车，游客（包括儿童）可操控它们沿轨道行驶。

红砖的砌法

纪念馆本馆（主馆）建于1891年，采用了比较罕见的混合砌砖模式。砖墙的组砌中，长边平行于墙面砌筑的砖称为顺砖，短边的砖则称为丁砖。这里的下层墙体采用了“一排丁一排顺”的英式砌法。而高处的砖块则每排采取“一块丁一块顺”交替的佛兰德砌法。相比之下，英式砌法抗震效果更佳，因此在日本倍受青睐。

与历史互动

纪念馆内有不少互动展品。过了售票处，就有一辆1909年生产的客车，两侧是一扇扇大面积的玻璃窗，一条过道穿行于古色古香的榻榻米座椅和白炽灯之间。附近还有纪念馆最受欢迎的展品之一：使用811系列车真实控制面板的驾驶模拟器。来访者可以从难度级别中三选一，测试一下自己的列车驾驶技能。

一楼还有一个以九州为舞台的大型铁路模型，包括门司港、博多和其他微型车站。

行业的变迁

二楼有一整面墙壁挂满了时间轴，展示了不同时代的铁路技术，这些都在告诉人们，“变化”是所有展品的共同主题。展览包括从电报到电话的转变、车票设计的变迁，以及乘务长制服的变化等内容。其中一个展柜陈列了历年来在九州各地车站和列车上销售的丰富多样的便当（盒饭）。二楼还设有临时展区和小型图书馆，图书馆内收藏了与铁路运输相关的书籍、报纸和其他资料（藏书仅在周末和节假日开放）。

开馆时间：9:00～17:00（入场截至 16:30）

闭馆日：不定

门票：成人 300 日元，中小学生 150 日元

<繁体字>

九州鐵道紀念館

鐵道迷的夢想

舊九州鐵道本社如今是一座博物館，館內把與日本鐵路發展史相關的實物和互動展品有機結合在了一起。這裡展示了許多退役的機關車（火車頭），以及專業級列車運行模擬器。

鐵軌上的列車

紀念館的入口位於舊門司站的原址，該車站經搬遷後更名為「門司港站」。這裡有九州鐵路「零英里」的標誌，九州所有的鐵軌長度都從這裡開始測量。

在入口附近的軌道上，展示了一系列退役機關車和列車車廂。最先映入眼簾的是首批量產型日本國產蒸汽機關車之一「SL9600 型蒸汽機關車」，從 1920 至 1970 年代它一直在九州各地運輸貨物。接下來是第一輛通過關門隧道的機關車「EF10 35 型機關車」。此外，還有柴油機關車（Kiha07 41）和一直使用至 2000 年的臥鋪車廂（Kuhane581-8）等其他展示車輛。

戶外有一個迷你鐵道公園，裡頭有一段 130 公尺小型鐵路和幾輛微型機關車，遊客（包括兒童）可操控它們沿著軌道行駛。

紅磚的砌法

紀念館本館建於 1891 年，採用了不常見的混合砌磚模式。磚牆的組砌中，長邊平行於牆面砌築的磚稱為順磚，短邊的則稱為丁磚。下層牆體採用了「一排丁一排順」的英式砌

法。而高處的磚塊則每排採取「一塊丁一塊順」交替的佛蘭德砌法。若將兩者相比較，英式砌法抗震效果更佳，因此在日本更加受到青睞。

與歷史互動

紀念館內有不少互動展品。離售票處不遠有一輛 1909 年生產的客車，兩側是一扇扇大面積的玻璃窗，一條過道穿行於古色古香的榻榻米座椅和白熾燈之間。附近還有使用 811 系列車真實控制台的駕駛模擬器，這是博物館最受歡迎的展品之一，遊客可以從難度級別中三選一，測試一下自己的列車駕駛技能。

一樓還有一個以九州為舞台的大型鐵路模型，可以看到門司港、博多和其他微型車站。

行業的變遷

二樓有一面牆壁掛滿了時間軸，展示了不同時代鐵路技術的演變，像是在告訴人們，「變化」是所有展品的共同主題。主要展示內容包括從電報到電話的變遷、車票設計的變化和乘務長制服設計的迭代等等。其中一個展櫃陳列了歷年來在九州各地車站和列車上販賣的豐富多樣的便當。二樓還設有臨時展區和小型圖書館，圖書館內收藏了與鐵路運輸相關的書籍、報紙和其他資料（藏書僅在週末和節假日開放）。

開館時間：9:00～17:00（入場截至 16:30）

閉館日：不定

門票：成人 300 日圓，中小學生 150 日圓

<日本語仮訳>

九州鉄道記念館

鉄道愛好家の夢

旧九州鉄道本社は現在、鉄道発展の歴史にまつわる展示品と体験型展示物を組み合わせた博物館となっている。廃車になった機関車や、プロ仕様の本格的な列車運行シミュレーターなどが展示されている。

レール上の車両

後に移転され「門司港駅」と改名された門司駅の当初の位置に、記念館の入口がある。また、九州本島の全ての線路の距離を測定した場所であることを示す「ゼロマイル」の標示もある。

入口付近の線路に沿って、廃車になった機関車や列車車両の一式が展示されている。展示のラインナップは、1920 年代から 1970 年代まで、九州を横断して貨物を運んでいた最初の国内量産蒸気機関車のひとつである SL9600 から始まる。さらにその先には、関門トンネルを通過した最初の機関

車である EF10 35 がある。このほか、ディーゼル機関車（キハ 07 41）や、2000 年まで使用されていた寝台車（クハネ 581-8）などが展示されている。

屋外には「ミニ鉄道公園」があり、子供も含めて、数台のミニ機関車を操作し、130 メートルに及ぶ線路を走らせることのできるミニ鉄道を組み合わせている。

煉瓦の様式

1891 年に竣工された本館は、複数の煉瓦積みの様式が混在する珍しいものだ。レンガの長い面「長手」が表面に見えるようにして積む方式は「長手積み」といい、レンガの短い面「小口」が表面に見えるようにして積む方式は「小口積み」という。本館の下層の煉瓦積みは「英国式」と呼ばれるもので、小口積みと長手積みを一段ずつ交互に積むもの。一方、上部の煉瓦は「フランドル積み」で、小口と長手が、上下左右ともに交互に積んだものだ。耐震性により優れているため、英国式のほうが日本ではより好まれた。

歴史の体験

記念館の展示の中には、いくつか体験型展示物もある。チケット売場のすぐ先には、両側に大きな窓を持つ 1909 年製の客車がある。車の中には、時代がかった畳の座席と白熱灯の間に通路がある。その客車の近くには、記念館で最も人気のある展示のひとつ、811 系電車の本物の制御盤を使用した運転シミュレーターがある。来館者は 3 段階の難易度から自分の電車操縦技術を試すことができる。

また 1 階には九州を舞台にした大型鉄道模型があり、門司港や博多などの駅のミニチュアがある。

業界の変化を振り返る

2 階にある壁一面の年表や様々な時代における鉄道技術についての展示に見られるように、変化は展示物の共通のテーマである。電信から電話への変遷、切符のデザインの変化、車掌が着る制服の変化などといった展示が見られる。あるケースには、長年にわたって九州各地の列車や駅で提供されてきたさまざまなスタイルの駅弁が展示されている。2 階には、企画（臨時）展示のためのスペースや、鉄道輸送に関する書籍、新聞、その他の資料を集めた小さな図書館もある（蔵書は休日と週末のみオープン）。

開館時間：9:00～17:00（入館は 16:30 まで）

休館日：不定休

料金：大人 300 円、中小学生 150 円

【タイトル】 三宜楼

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

三宜楼

三宜楼建于 1931 年，是门司最受欢迎的历史建筑之一。这座三层高的大型木构建筑矗立在门司港站上方的山坡上，俯瞰着关门海峡，与山下熙熙攘攘的海港相映成趣。据说在昭和时代(1926-1989)早期，三宜楼就已跻身门司港最顶级餐厅的前三位。它不仅是用餐之地，还是一处社交沙龙，吸引了艺术家、艺人、社会名流以及来自全国巨头企业和金融机构的高管前来。

建筑风格

三宜楼总面积超过 1200 平方米，拥有 20 多个房间，是九州现存规模最大的日式料亭之一。位于二楼的宴会厅面积达 116 平方米，在吊灯的照耀下光彩熠熠。宴会厅正面还设有一个 29 平方米大的舞台。

三宜楼最大的亮点是精美绝伦、做工精细的格子窗和与之相配的“栏间”（障子门与房顶之间的装饰性木雕），每一处设计都寓意着大自然的美景。例如“富士火灯窗”意为富士山之窗，以钟形的轮廓勾画出日本的象征；“天国之梯”的楼梯两侧是造型各异的格子窗，分别名为“松”“山”“月”“云”。

1931 年 4 月 5 日，当地《门司新报》的记者称赞三宜楼的建筑风格新旧融合，优雅而大胆，并写道：“此处风景甚美。这家日式料亭外观之华丽，在北九州无人望其项背。”

三宅アサ：白手起家的女企业家

三宜楼要归功于一个人：三宅アサ(Miyake Asa, 1854-1937)——一位勤劳、进取且略显神秘的前艺伎。年轻时，三宅アサ曾是京都祇园（祇，音同“奇”）的一名艺伎学徒。在那里，她对传统文化和表演艺术产生了浓厚的兴趣。但由于当时环境限制了她的身心发展，三宅アサ摆脱了学徒生涯，转而走上经营餐厅之路。她长途跋涉 560 公里来到门司，并于 1906 年创办了三宜楼。

三宅アサ在最佳时机来到了最佳地点。当时门司港发展迅猛，无数商贸企业纷纷成立，新晋富商们正需要高档餐饮和娱乐场所，三宜楼恰好满足了他们的需求。于是，三宅アサ

的事业刚起步就获得了巨大的成功。在离开京都不到 25 年的时间里，她将三宜楼打造成了当地支柱企业。三宅アサ享年 83 岁，她的创业精神和艺术遗产一直延续至今。

富人和名流的乐园

三宅アサ去世时膝下无子，但继任者伊势子(1899-1986)和为次郎(1895-1988)继承了三宅家族姓氏。在他们的悉心管理下，三宜楼继续蓬勃发展。夫妇俩热心支持并参与艺术表演，为豪华宴会表演能剧、舞蹈和传统音乐“长呗”，这也吸引了各地文人雅士，有些甚至为了三宜楼而专程来到门司。

在那段辉煌的日子里，三宜楼就是门司繁荣的化身。然而好景不长，第二次世界大战(1939-1945)后餐厅逐渐衰落，并于 1955 年停业，三宜楼成了三宅アサ孙子（伊势子和为次郎之子）的私宅。2004 年他去世后，家人无力再对建筑进行维护，三宜楼面临着被拆除的命运。此时，门司居民纷纷伸出了援手。当地志愿者成立了“三宜楼保护协会”，在一年内征集到 16,000 个签名和 1900 万日元，他们购下三宜楼后将其捐赠给了北九州市。2012 年三宜楼的维修保护工程终于启动，2014 年 3 月主体建筑施工完成。

如今，三宜楼是一家河豚料理专门店（[插入第24号解说文链接](#)），名为“三宜楼茶寮 KAITO”，一楼还有一间介绍三宜楼历史的展览室。

开馆时间：10:00～17:00

闭馆日：周一（如遇节假日顺延）

门票：免费

<繁体字>

三宜樓

建於 1931 年的三宜樓是門司最受歡迎的歷史建築之一。這座大型木造建築有三層高，矗立在門司港站上方的山坡上，俯瞰著關門海峽，與山下熙熙攘攘的海港相映成趣。據說三宜樓在昭和時代（1926-1989）早期就已經躋身門司港最頂級餐廳的前三名。它不僅是用餐之地，還是一處社交沙龍，藝術家、藝人、社會名流以及來自全國巨頭公司和金融機構的高管絡繹不絕。

建築風格

總面積超過 1200 平方公尺的三宜樓擁有 20 多個房間，是九州現存規模最大的日式料亭之一。面積達 116 平方公尺的宴會廳位於二樓，在吊燈照耀下光彩熠熠。宴會廳正面還有一個 29 平方公尺大的舞台。

精美絕倫、做工精細的格子窗和與之相配的「欄間」（障子門與房頂之間的裝飾性木雕）是三宜樓最大的亮點，每一處設計都寓意著大自然的美景。例如「富士火燈窗」意為富士山之窗，以鐘形的輪廓勾畫出日本的象徵；「天國之梯」的樓梯兩側是造型各異的格子窗，分別名為「松」、「山」、「月」、「雲」。

「此處風景甚美。」當地《門司新報》的記者在 1931 年 4 月 5 日稱讚三宜樓的建築風格新舊融合，優雅而大膽。他寫道：「這家日式料亭外觀之華麗，在北九州無人望其項背。」

三宅アサ：白手起家的女企業家

三宜樓要歸功於一個人：三宅アサ（Miyake Asa, 1854-1937）——一位勤勞、進取且略顯神祕的前藝伎。三宅アサ在年輕時曾是京都祇園（祇，音同「奇」）的一名藝伎學徒。在祇園，她對傳統文化和表演藝術產生了濃厚的興趣，但由於當時環境限制了她的身心發展，三宅アサ擺脫了學徒生涯，走上了經營餐廳之路。她長途跋涉 560 公里來到門司，在 1906 年創辦了三宜樓。

當時門司港正值高速發展期，商貿企業紛紛成立，新晉富商們正需要高檔餐飲和娛樂場所，三宜樓恰好滿足了他們的需求，可以說，三宅アサ是在最佳時機來到了最佳地點，她的事業剛起步就獲得了傲人的成績。在離開京都不到 25 年的時間裡，她將三宜樓打造成了當地支柱企業。三宅アサ享年 83 歲，其創業精神和藝術遺產一直延續至今。

富人和名流的樂園

去世時，三宅アサ膝下無子，但繼任者伊勢子（1899-1986）和為次郎（1895-1988）繼承了三宅家姓氏，三宜樓在他們的悉心管理下繼續蓬勃發展。夫婦倆熱心支持並參與藝術表演，為豪華宴會表演能劇、舞蹈和傳統音樂「長唄」，這吸引了各地文人雅士，有些人甚至只為了三宜樓專程來到門司。

在那段輝煌日子裡，三宜樓就是門司繁榮的化身。然而好景不長，第二次世界大戰（1939-1945）後餐廳逐漸衰落，終於在 1955 年關門，三宜樓成了三宅アサ孫子（伊勢子和為次郎之子）的私人宅邸。他在 2004 年去世後，家人無力再對建築進行維護，三宜樓也面臨著被拆除的命運。此時，門司居民紛紛伸出了援手，當地志工成立了「三宜樓保護協會」，一年內就徵集到 16,000 個簽名和 1900 萬日圓，他們購下三宜樓後將其捐贈給了北九州市。三宜樓的維修保護工程在 2012 年啟動，到了 2014 年 3 月，主體建築施工完成。

如今，三宜樓是一家河豚料理專門店（[插入第 24 號解說文連結](#)）「三宜樓茶寮 KAITO」，一樓還有一間介紹三宜樓歷史的展覽室。

開館時間：10:00～17:00

閉館日：週一（如遇節假日順延）

門票：免費

<日本語仮訳>

三宜楼

1931年に建てられた三宜楼は、門司で最も愛されている歴史的建造物の一つである。門司港駅を見下ろす丘の中腹に建つ木造3階建ての大きな建物は、関門海峡を一望でき、港の喧騒を眼下に端正な佇まいを見せている。三宜楼は、昭和時代（1926-1989）の初期には、門司港トップ3の一画とも伝えられている。単に食事をするだけの場ではなく、芸術家や芸能人、社交界の名士、国内有数の大企業や金融機関の重役等が集う社交サロンでもあった。

建築

三宜楼は、床面積延べ1,200平米以上、部屋数は20以上という九州の現存する料亭建築としては最大級の規模を誇る。2階にあるシャンデリアが輝く116平米の宴会場の正面には、29平米のステージがある。

三宜楼の最大の特徴は美しく細工された窓とその欄間であり、いずれも自然のある情景を表したデザインである。「富士火灯窓」という釣鐘状の窓の輪郭は日本で最も代表的な山を模したもので、「天空への階段」と呼ばれる階段の両側には松、山、月、雲と名付けられた窓がある。

1931年4月5日、地元紙「門司新報」の特派員は、この優雅で大胆な造りの新旧が融合した建物を絶賛し「眺めが素晴らしい。北九州では比類のない立派な外観の和風料亭」と書いている。

三宅アサ 一代で築いた女性実業家

三宜楼の存在は、ある1人の人物のおかげだ。勤勉で進取の気性に富み、少しミステリアスな元芸妓の三宅アサ（1854-1937）である。アサは若い頃、京都の祇園で芸妓見習いをしていた。そこで伝統文化や芸能への理解を深めていった。しかし、当時の環境に肉体的にも知的にも限界に感じたため、アサは見習い生活から逃げ出し、飲食店経営者になる道を選択した。彼女は門司まで560キロの旅をし、1906年には「三宜楼」を創業した。

アサは絶好のタイミングで最高の場所にいた。門司の港は急速に発展し、無数の営利事業が立ち上げられていたのだ。新たに裕福になった門司の商人達は、スタイリッシュな食事や接待を求め、三宜楼が彼らの要望に応えた。アサの駆け出しのビジネスは大成功を収めたのである。京都を離れて25年も経たないうちにアサは三宜楼を地域の柱に育て上げ、1937年に83歳でこの世を去ったが、彼女が残した起業家精神と芸術的遺産は今日にも残っている。

富裕層や著名人の遊び場

アサは子を為さずに亡くなったが、彼女の後継者の伊勢子（1899-1986）と為次郎（1895-1988）が三宅家の名前を残し、2人のもとで三宜楼は繁栄を続けた。2人は舞台芸術を熱心に支

援しつつ参加し、豪華な宴席にあわせて能楽、舞踊、長唄を上演した。そうした場は文人墨客を魅了し、三宜楼のためだけに門司を訪れる人もいた。

三宜楼が門司の繁栄を体現していた華やかな時代を経て、第二次世界大戦（1939-1945）後は衰退していき、1955年に三宜楼は閉業。アサの孫（為次郎と伊勢子の子供）の私邸となった。2004年にその孫が亡くなり、アサの家族も維持し続けることができなくなったため、建物は取り壊されるかと思われたが、門司の住民達が支援に駆け付けた。地元の有志が「三宜楼を保存する会」を結成し、彼らは1年以内に1万6,000人分の署名と1,900万円を集めて建物を買い取り、北九州市に寄贈した。2012年より保存補修工事に着手し、2014年3月に本体工事を終えた。

現在、三宜楼の建物では、[フグ料理専門店](#)（No.24の解説文へのハイパーリンクを挿入）「三宜楼茶寮 KAITO」が営業しており、1階にある展示室では三宜楼の歴史を紹介している。

開館時間：10:00～17:00

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）

料金：無料

【タイトル】 門司電気通信レトロ館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**门司电气通信怀旧馆**

这座建筑最初是日本递信省(1885-1949)门司邮局旗下的电话交换站，由著名建筑师山田守(1894-1966)设计。山田守是日本分离派运动（19 世纪末欧洲的艺术发起的革新运动及组织）的发起人之一，日本武道馆和京都塔都是其经典作品。门司电气通信怀旧馆建于 1924 年，数十根宏伟的立柱直冲楼顶，每两根在顶端形成一个三边切面的拱形。这种外观令人过目难忘，是典型的 20 世纪 10 年代至 20 年代的“大正现代主义”建筑风格。该馆于 1994 年对外开放，主要展示日本的电信历史。2009 年，它被日本经济产业省指定为近代化产业遗产。

建造之初，门司电气通信怀旧馆（当时还是邮局）就被视为当代建筑设计的巅峰之作。这座钢筋混凝土建筑的弧形楼梯间带着一丝意大利风格，楼内还配备有最先进的消防和降尘系统。

百年后的今天，这座建筑无疑是日本电信发展史的缩影，也是推动全球通信革命的智慧、毅力和专业技术的象征。在怀旧馆中一边体验互动装置，一边观看硬件藏品，从中感受昔日摩尔斯电码的点和线一步步发展到今天远程无线电话的过程，这无疑是一次引人入胜的体验。

展品详情

一楼展出了从明治时代(1868-1912)至今日使用过的电报和电话设备，揭示了电话的发展历程。展品从亚历山大·格雷厄姆·贝尔(Alexander Graham Bell, 1847-1922)在 1876 年发明的第一台电话的复原品开始，按时间顺序展示了高尔·贝尔电话（1890 年）、德尔维尔挂壁电话（1896 年），直至 20 世纪 40、50、60 年代的电话。最近的型号包括 20 世纪 80 年代的家用电电话、PICSEND-R 电视电话（1994 年）、FOMA 套件（2001 年）、首款智能手机（2005 年）以及今天的手机。

在一个互动展台上，参观者可以练习发送摩尔斯电码，这是一套 1837 年发明的划时代通信系统。其他互动还包括体验电话接线员的工作、观看自动交换机的内部结构，以及尝试简单而令人难忘的“举电话”活动——早期的“移动”电话重约 3 公斤。

在二楼可以参观一些交换机系统（必须预约），包括 1926 年首次在东京京桥分局使用的 A 型自动交换机，还有 1926 年首次安装在横滨电话局的 H 型自动交换机，后者十分罕见，至今仍在馆内使用。

开馆时间：9:00~17:00（入场截至 16:30）

闭馆日：周一（如遇节假日顺延），元旦放假期间

门票：免费

<繁体字>

門司電氣通信懷舊館

這座建築最早是日本遞信省（1885-1949）門司郵局旗下的電話交換站，由著名建築師山田守（1894-1966）設計。山田守是日本分離派運動（19 世紀末歐洲的藝術家發起的革新運動及組織）的發起人之一，代表作品為日本武道館和京都塔。建於 1924 年的門司電氣通信懷舊館的外觀令人過目難忘，是典型的 1910 年代至 20 年代的「大正現代主義」建築風格。數十根宏偉的立柱直衝樓頂，每兩根在頂端形成一個三邊切面的拱形。1994 年該館對外開放，主要展示日本的電信歷史，它在 2009 年被日本經濟產業省指定為近代化產業遺產。

門司電氣通信懷舊館（當時還是郵局）在建造之初就被視為當代建築設計的巔峰之作。這座鋼筋混凝土建築的弧形樓梯間帶著一絲義大利風格，樓內還配備有最先進的消防和降塵系統。

百年之後的今天，這座建築是日本電信發展史，以及推動全球通信革命的智慧、毅力和專業技術的象徵。遊客在懷舊館中可以一邊體驗互動裝置，一邊觀看硬件藏品，從中感受從昔日摩斯密碼的點與線一步步發展到今天遠程無線電話的過程，這會是一次引人入勝的體驗。

展品詳情

一樓是電話發展歷程展覽，從明治時代（1868-1912）至今天使用過的電報和電話設備，都在展出之列。展品從亞歷山大·格雷姆·貝爾（Alexander Graham Bell, 1847-1922）在 1876 年發明的第一台電話的復原品開始，按時間順序展示了高爾·貝爾電話（1890 年）、德爾維爾掛壁電話（1896 年），一直至 1940、50、60 年代的電話。最近的型號還有 1980 年代的家用電話、PICSEND-R 電視電話（1994 年）、FOMA 套件（2001 年）、首款智慧手機（2005 年）以及今天的手機。

在互動展台上，遊客可以練習發送 1837 年發明的革命性通信系統「摩斯密碼」。其他互動還包括體驗電話接線員工作、觀看自動交換機的內部運作，以及嘗試舉起電話——早期的「行動」電話約有 3 公斤重，這個體驗既簡單又令人難忘。

二樓可以參觀一些交換機系統（必須預約），包括 1926 年首次在東京京橋分局使用的 A 型自動交換機，以及 1926 年首次安裝在橫濱電話局的 H 型自動交換機，後者非常罕見，至今還在館內使用。

開館時間：9:00～17:00（入場截至 16:30）

閉館日：週一（如遇節假日順延），元旦放假期間

門票：免費

<日本語仮訳>

門司電気通信レトロ館

門司電気通信レトロ館の建物は、当初は逓信省（1885-1949）門司郵便局の電話交換局だった。設計は、日本武道館や京都タワーの設計で知られる日本のゼツエーション様式（19 世紀末に欧州で起こった美術家の運動およびその組織のこと）の共同創設者、建築家の山田守（1894-1966）による。門司電気通信レトロ館の建物は 1924 年に建てられ、数十本の大きな立柱がビルの上部まで伸びていき、2 本ずつの柱の最上部が角のある三弁アーチとなる外観が特徴的で、1910 年代から 1920 年代の大正モダン様式の典型である。日本の電気通信の歴史を紹介するために 1994 年に設立された同館は、2009 年に経済産業省の近代化産業遺産に指定されている。

建設当時、門司電気通信レトロ館（当時は郵便局）は現代建築デザインの最高峰とされていた。鉄筋コンクリートの建物には、イタリアの影響を感じさせる曲線の階段室があり、最新の防火・防塵システムが採用されていた。

完成から 1 世紀を経た現在、この建物は日本における電気通信の歴史と、世界的な通信革命の原動力となった創意工夫、忍耐力、技術的ノウハウの証となっている。体験型展示や保存されたハードウェアのコレクションは、点と線で構成されるモールス信号が、どのようにして現在の長距離無線電話に至ったのだろうと疑問に思ったことがある人すべてに、魅力的な経験を提供するであろう。

展示内容

1 階では、明治時代（1868-1912）から現代までに使用された電信・電話機器を展示し、電話の発展を紹介している。アレクサンダー・グラハム・ベル（1847-1922）が 1876 年に発明した電話機を復元したものから始まり、ガワーベル電話機（1890 年）、デルビル壁掛電話機（1896 年）、そして 1940 年代、1950 年代、1960 年代の電話機まで、時系列に展示されている。さらに最近のモデルとしては、1980 年代の家庭用電話機、テレビ電話 PICSSEND-R（1994 年）、FOMA セット（2001 年）、最初のスマートフォン（2005 年）、そして今日の携帯電話などがある。

インタラクティブ展示の一つで、1837 年に発明された画期的な通信システムであるモールス信号の送信練習ができる。その他にも、電話交換手の業務体験、自動交換機の内部構造の見学ができる。1 台約 3 キロもある初期の「携帯電話」を持ち上げてみる展示では、シンプルではあるが印象に残る体験ができる。

2 階には、1926 年に東京の京橋支所で初めて使用された A 形自動交換機を含む、いくつかの交換機がある（予約制）。1926 年当初には横浜電話局に設置された H 形自動交換機は、現在も館内で稼働している珍しい交換機である。

開館時間：9:00～17:00（入館は 16:30 まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始

料金：無料

【タイトル】 ホーム・リンガー商会

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**霍姆・林加商会**

霍姆・林加商会(Holme, Ringer & Co., Ltd.)是明治时代(1868-1912)长崎外国人居住地内一家杰出的英国贸易公司，由出生于英国诺里奇的企业家弗雷德里克・林加(Frederick Ringer, 1838-1907)和他的一位同事共同创立于 1868 年。在此之前，弗雷德里克还曾在中国九江担任过茶叶检查官，来长崎后居住在格拉巴园。

当时，法律不允许在指定港口以外使用外国名字从事贸易活动，弗雷德里克便与前神户海关官员瓜生寅(1842-1913)共同创立了日本瓜生商会，如此一来，霍姆・林加商会就能以瓜生商会子公司的名义在门司和下关开展业务。瓜生商会很快就成为英国在关门海峡的实际权益代表，之后又开始为日本两大财阀——三井和三菱代理国际煤炭出口业务。

霍姆・林加商会涉足航运、商品贸易、保险、拖网捕鱼、挪威式捕鲸和酒店经营等多个领域，还引进了自来水系统、电信和大型煤油储罐等西方最新技术成果。

1907 年，弗雷德里克在返回英国途中去世，商会由他的次子西德尼・A・林加(1891-1967)接管。自此以后，霍姆・林加商会一直由林加家族经营，直到第二次世界大战(1939-1945)爆发。1940 年 10 月，商会被迫关闭。

1952 年，西德尼回到下关查看在战争期间被没收的公司建筑。前瓜生商会的员工听闻后前来与他会面，并请求他允许重振公司。西德尼欣然同意，于是同年霍姆・林加商会在门司重新开业。如今，该商会仍在运营中，主要业务是船运和港口代理。商会坐落于一幢简朴而独特的粉红色建筑中，楼顶还有一个面向关门海峡的巨大的“Holme Ringer”标志。

<繁体字>**霍姆・林加商會**

1868 年，出生於英國諾里奇的企業家弗雷德里克・林加（Frederick Ringer, 1838-1907）和他的一位同事共同創立了霍姆・林加商會（Holme, Ringer & Co., Ltd.）。這是一家明治時代（1868-1912）開在長崎外國人居住地內的傑出的英國貿易公司。在創立商會之前，弗雷德里克還曾在中國九江擔任過茶葉檢查官。他來到長崎後，居住在格拉巴園。

因為當時法律不允許在指定港口以外用外國人名從事貿易活動，弗雷德里克便與前神戸海關官員瓜生寅（1842-1913）共同創立了日本瓜生商會，這樣霍姆・林加商會就能以瓜生商會子公司的名義在門司和下關開展業務。很快，瓜生商會就成為了英國在關門海峽的實際權益代表，之後又開始為日本兩大財閥——三井和三菱代理國際煤炭出口業務。

除了涉足航運、商品貿易、保險、拖網捕魚、挪威式捕鯨和酒店經營等多個領域，霍姆・林加商會還引進了自來水系統、電信和大型煤油儲罐等西方最新技術成果。

1907 年，弗雷德里克在返回英國途中去世，他的次子西德尼・A・林加（1891-1967）接管了商會。自此以後，霍姆・林加商會一直由林加家經營，直到第二次世界大戰（1939-1945）爆發後的 1940 年 10 月商會被迫關閉。

西德尼在 1952 年回到下關查看在戰爭期間被沒收的公司建築，前瓜生商會員工聽到消息後前來與他會面，請求他允許重振公司，西德尼欣然同意。同年，霍姆・林加商會在門司重新開業，如今依舊在經營中的商會主要代理船運和港口業務。商會坐落於一幢簡樸而獨特的粉紅色建築內，樓頂有一塊面向關門海峽的巨大看板，上面寫有「Holme Ringer」字樣。

<日本語仮訳>

ホーム・リンガー商会

ホーム・リンガー商会（Holme, Ringer & Co., Ltd.）は、明治時代（1868-1912）の長崎外国人居留地における傑出した英国商社であった。会社は 1868 年、リッジ生まれの企業家フレデリック・リンガー（1838-1907）が 1 人の同僚とともに設立された。それまで、彼は中国・九江で茶葉検査官を務めていた。長崎に来てから、彼はグラバー園に住居を構えていた。

当時、特定の指定港以外で外国名を名乗って貿易を行うことはまだ違法であったため、リンガーは元神戸税関の瓜生寅（1842-1913）と共に設立した瓜生商会の子会社として門司と下関で事業を行った。瓜生商会は関門海峽における英国権益を事実上代表するものとなり、やがて 2 つの大財閥の石炭輸出を手がけるようになった。三井と三菱である。

リンガー社は、海運、商品取引、保険、トロール漁、ノルウェー式捕鯨、ホテル経営などの事業も展開していた。また、水道、電気通信、大型灯油貯蔵タンクなど、西洋の最新技術も導入した。

1907 年、フレデリック・リンガーは英国への帰省中に亡くなり、その後、次男のシドニー・アーサー・リンガー（1891-1967）が会社を引き継いだ。ホーム・リンガー商会は、第二次世界大戦が勃発した 1940 年 10 月に閉鎖を余儀なくされるまで、一族の手で存続した。

1952 年、シドニーは戦時中に接収された社屋を点検するために下関に戻った。瓜生商会の元従業員たちが彼に会い、会社復活の許可を求めると、彼は快く承諾した。ホーム・リンガー商会は同年門司で再開した。現在も海運代理店、港湾代理店として営業を続けており、海峡に面した大きな「Holme Ringer」の屋上の看板が目印の、質素だが特徴的なピンク色の建物で営業している。

【タイトル】 北九州銀行門司支店

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**北九州銀行門司分行**

1934 年，横滨正金銀行門司分行率先在这里开业，主要从事外汇兑换和外贸融资业务。自此之后，先后有多家銀行入駐这座建筑。

与門司地区的其他历史建筑相比，这座大楼的设计显然更具古典主义色彩。这是櫻井小太郎(1870-1953)的经典作品，他曾在倫敦留學，自認是古典主义建築師。櫻井小太郎通过窗户上方的浮雕花饰和大门两侧的装饰壁柱（类似希腊—罗马式的支柱设计），来体现这种古典主义风格。

因为银行业务主要面向企业客户，而非聚集在码头周围的旅客或船运公司，因此横滨正金銀行建在了靠近市中心的地段。这也表明，繁荣发展的浪潮正向門司城中蔓延，居民和游客开始经常光顾离港口相对较远的时装店、餐厅和娱乐场所。当时的門司积累了大量财富，包括日本銀行在内的许多銀行都曾在这里开设分行。

1946 年，横滨正金銀行关闭，大楼由山口銀行（总部位于关门海峡对岸的下关）接管。该銀行后来发展成为山口金融集团（YFG），2011 年，集团创建了子公司北九州銀行，负责九州北部的业务，这栋大楼也就成为了现在的北九州銀行門司分行。

<繁体字>**北九州銀行門司分行**

橫濱正金銀行門司分行於 1934 年率先在此開業，主要從事外匯兌換和外贸融資業務。從這以後，先後有多家銀行進駐這座建築。

與門司地區其他的歷史建築相比，這座大樓的設計更具有古典主義色彩，像是窗戶上方的浮雕花飾和大門兩側的裝飾壁柱（類似希臘、羅馬式的支柱設計）。這是櫻井小太郎（1870-1953）的經典作品，他曾在倫敦留學，自認是古典主義建築師。

銀行業務主要服務對象是企業客戶，而非聚集在碼頭附近的旅客或船運公司，因此橫濱正金銀行建在了靠近市中心的地段。這也表明繁榮發展的浪潮正向門司城中蔓延，居民和遊客開始經常光顧離港口相對較遠的時裝店、餐廳和娛樂場所。當時的門司積累了大量財富，因此包括日本銀行在內的多家銀行都曾在這裡開設分行。

横浜正金銀行在 1946 年關閉，山口銀行（總部位於關門海峽對岸的下關）接管了大樓。山口銀行後來發展成為山口金融集團（YFG），集團在 2011 年創立了負責九州北部業務的子公司——北九州銀行，這棟大樓也就成為了現在的北九州銀行門司分行。

＜日本語仮訳＞

北九州銀行門司支店

この建物には、外国為替や対外貿易の資金調達を取り扱った横浜正金銀行の支店として 1934 年に開業したのを皮切りに、多くの銀行が入居してきた。

地域の他の歴史的建造物に比べて、古典主義的なデザインが際立つ建築である。これは設計者であるロンドンで学んだ建築家の桜井小太郎（1870-1953）の特徴であり、彼は自身を古典主義者と考えていた。桜井小太郎は、窓の上に施された浮き彫りの花飾りや、ドアの両脇に配されたピラスター（ギリシャ・ローマ時代の柱のようなデザイン要素）によって、この古典的な雰囲気を実現した。

この銀行が港よりも市街地に近い場所にあるのは、横浜正金銀行が港周辺に集まっていた旅行者や船会社よりも、むしろ法人顧客を対象としていたからである。これは門司に繁栄の波が広がっていたことを示しており、住民も観光客も港から比較的離れたファッション・ブティックやレストラン、娯楽施設に足繁く通った。門司には富が集中しており、日本銀行を含む多くの銀行の支店が門司に開設された。

横浜正金銀行は 1946 年に閉鎖され、この建物は山口銀行（本店は海峡を隔てた下関市）が管理することになった。その後、山口銀行は山口フィナンシャルグループ（YFG）となり、2011 年、北九州での事業を担う子会社として北九州銀行を設立し、いまなお、この建物の中で営業している。

【タイトル】 日清講和記念館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

日清讲和纪念馆

这座纪念馆是为了介绍中日甲午战争(1894-1895)之后的“日清讲和（谈判）会议”及其签订的《马关条约》而建。《马关条约》是中国清政府和日本两国领导人历时 1 个月谈判的结果，此条约的签订是中国和日本历史的重要转折点，自此以后，日本开始努力向外扩张领土，同时重新确立了在世界舞台上的地位，而中国则加速进入了半殖民地状态。

馆内展示了与中日甲午战争及其之后的谈判相关的文件和资料，同时重现了谈判和签署条约的会议室场景。

中日甲午战争

日本在明治时代(1868-1912)开启了现代化进程。随着文化转变，对国家认同的意识也开始转变。在被迫接受与西方国家签订的不平等条约之后，日本领导人开始寻求方法来加强日本的海外地位，朝鲜半岛成为其最初的努力方向和重点。

在朝鲜王朝(1392-1897)的最后几十年里，朝鲜在经济和军事上都十分羸弱，日本国内的亲帝国主义派遂将其视为首选殖民地，因为朝鲜与日本隔日本海相望，很适合建立前哨基地，同时也有利于向中国扩张。

数世纪以来，朝鲜一直是中国的附属国，而当时中国在清政府(1644-1911)的统治下也在进行洋务运动。朝鲜政府与清政府关系紧密，但从 19 世纪 80 年代起，一些朝鲜反乱派开始与日本合作。1894 年，朝鲜爆发了“东学党农民起义”，政府与叛军的冲突达到了顶点。清政府应朝鲜政府请求出兵，很快镇压了叛乱。然而，日本也向朝鲜派兵对抗中国，中日甲午战争终于在 1894 年 8 月 1 日正式爆发了。

虽然主战场在朝鲜半岛，但战火也迅速蔓延到了中国大陆。日本在海、陆都取得了决定性胜利，甚至夺取了中国东北地区最重要的大连旅顺港（当时又称亚瑟港）。1895 年 2 月，中国北洋水师在威海卫全军覆没后不久，中日双方同意在下关举行和平谈判。

马关条约

1895 年 3 月 20 日，日清讲和会议在下关一家名为“春帆楼”的豪华日式旅馆中举行。中国代表团成员包括钦差全权大臣李鸿章(1823-1901)及其养子李经方(1854-1934)，以及随

团顾问、美国前国务卿约翰·福斯特(John Watson Foster, 1836-1917)。日方代表团则由首相伊藤博文(1841-1909)和外相陆奥宗光(1844-1897)率领。

在彻底击败中国军队后，日本的谈判立场非常有利。然而，谈判开始仅仅几天，李鸿章就在返回“引接寺”寓所途中，遭到了日本激进分子的袭击。考虑到自身安危，李鸿章开始绕道前往谈判地点——这条小路后来被称为“李鸿章道”，而日本也因未能保护好重要外宾而减弱了谈判优势。

两国同意停火，并于 1895 年 4 月 17 日签订了《马关条约》。日本从中国获取了巨大利益：中国被迫承认朝鲜的完全独立和自治，结束了两国长达数百年的从属关系；将澎湖列岛、台湾和辽东半岛割让给日本；向日本支付 2 亿两白银（约 750 万公斤）的战争赔款，向日本开放沙市、重庆、苏州和杭州 4 个通商口岸，并给予日本与西方国家同等的优惠待遇。

《马关条约》确立了日本绝对的战胜国地位。上千年来，中国一直是占亚洲主导地位的军事和文化强国，这次结局扭转了这一局面，并为日本提供了进一步扩张领土的信心和经济来源。当时，侵略性的帝国主义也被视为现代大国的必然行为。

纪念馆建筑

1937 年，为了展示当年谈判期间使用的物品，纪念馆在原谈判地春帆楼宅地内建成。这是一座钢筋混凝土结构的建筑，特制的屋瓦上还印着纪念馆的名称。馆内重现了谈判的会议室，周围的走廊上陈列着与中日甲午战争及双方和谈相关的文件、照片和其他资料。

装饰着凤凰图案的欧式布艺椅是日本政府从英国定制的，正如走廊墙上的照片所示，这些椅子完全按照代表团实际的座位顺序放置。中间长桌上的文具和旁边的法国暖炉都是会议期间使用的原物。

第二次世界大战(1939-1945)期间下关遭到轰炸，附近的赤间神宫却几乎被夷为平地，但纪念馆丝毫未受损坏。当地有种说法认为，当时纪念馆地下的混凝土掩体守护了神社的御神体，因此得到了神明护佑。

2011 年，日清讲和纪念馆被登录为国家物质文化财产。而春帆楼依然是一家高级日式旅馆和以河豚料理闻名的料亭。

开馆时间：9:00～17:00

闭馆日：全年无休

门票：免费

<繁体字>

日清講和紀念館

這座紀念館是為了介紹中日甲午戰爭（1894-1895）之後的「日清講和（談判）會議」及簽訂《馬關條約》而建。中國清政府和日本兩國領導人歷時 1 個月談判，簽訂了《馬關條約》，這個條約的簽訂是中國和日本歷史的重要轉捩點，自此以後，中國加速進入了半殖民地狀態，而日本開始努力向外擴張領土，確立了在世界舞台上的新地位。

館內重現了談判和簽署條約的會議室場景，也展示了與中日甲午戰爭及其之後的談判相關的檔案和資料。

中日甲午戰爭

日本在明治時代（1868-1912）開啟了現代化進程。隨著文化轉變，對國家認同的意識也開始轉變。在被迫接受與西方國家簽訂的不平等條約之後，日本領導人開始尋求方法來加強日本的海外地位。於是，他們將朝鮮半島列為了最初嘗試的方向和重點。

朝鮮王朝（1392-1897）的最後幾十年裡，在經濟和軍事上都十分羸弱，日本國內的親帝國主義派便將其視為首選殖民地，這是因為與日本隔日本海相望的朝鮮很適合建立前哨基地，同時還能進而向中國擴張。

當時中國在清政府（1644-1911）統治下也在進行洋務運動。朝鮮幾百年以來一直是中國的附屬國，朝鮮政府與清政府關係緊密。但是從 1880 年代起，一些朝鮮反亂派開始與日本合作。1894 年，朝鮮爆發了「東學黨農民起義」，政府與叛軍的衝突達到了頂點。清政府應朝鮮政府請求出兵，很快鎮壓了叛亂。但是，日本也向朝鮮派兵對抗中國，於是，1894 年 8 月 1 日，中日甲午戰爭正式爆發。

一開始主戰場在朝鮮半島，但戰火隨即迅速蔓延到了中國大陸。日本在海、陸都取得了壓倒性的優勢，奪取了中國東北最重要的大連旅順港（當時又稱亞瑟港）。1895 年 2 月，中國北洋水師在威海衛全軍覆沒後不久，中日雙方同意在下關舉行和平談判。

馬關條約

日清講和會議於 1895 年 3 月 20 日在下關一家名為「春帆樓」的豪華日式旅館中舉行。中國代表團成員包括欽差全權大臣李鴻章（1823-1901）、其養子李經方（1854-1934），還有美國前國務卿約翰·福斯特（John Watson Foster, 1836-1917）作為顧問隨行。日方代表團則由首相伊藤博文（1841-1909）和外相陸奧宗光（1844-1897）率領。

因為徹底擊敗了中國軍隊，日本的談判立場非常有利。然而，談判開始沒過幾天，李鴻章就在返回「引接寺」寓所途中遭到日本激進分子的襲擊。出於安全考量，李鴻章開始繞道前往談判地點——這條小路後來被稱為「李鴻章道」。日本因未能保護好重要外賓而減弱了談判優勢。

兩國同意停火，並在 1895 年 4 月 17 日簽訂了《馬關條約》。根據條約內容，中國被迫承認朝鮮的完全獨立和自治，結束了兩國長達數百年的從屬關係；將澎湖列島、台灣和遼東半島割讓給日本；向日本支付 2 億兩白銀（約 750 萬公斤）的戰爭賠款；向日本開放沙市、重慶、蘇州和杭州 4 個通商口岸，並給予日本與西方國家同等的優惠待遇。可以說，這個條約讓日本從中國獲取了龐大利益。

上千年來，中國一直是占亞洲主導地位的軍事和文化強國，但日本的這次勝利扭轉了該局面，《馬關條約》確立了日本絕對的戰勝國地位，也為日本提供了進一步擴張領土的信心和經濟來源。在當時，侵略性的帝國主義也被視為現代大國的必然行為。

紀念館建築

為了展示當年談判期間的物品，紀念館於 1937 年在原談判地春帆樓宅地內建成。這是一座鋼筋混凝土結構的建築，特製的屋瓦上還印著紀念館的名稱。館內重現了談判的會議室，周圍走廊上陳列著與中日甲午戰爭及雙方和談的相關檔案、照片和資料。

裝飾著鳳凰圖案的歐式布藝椅是日本政府從英國定製的，按照代表團實際的座位順序放置，就像走廊牆上照片中那樣。中間長桌上的文具以及旁邊的法國暖爐都是會議期間使用的原物。

下關在第二次世界大戰（1939-1945）期間遭到轟炸，附近的赤間神宮幾乎被夷為平地，但紀念館卻絲毫未受到損壞。當地人認為，紀念館地下的混凝土掩體守護了神社的御神體，因此得到了神明護佑而躲過空襲。

日清講和紀念館在 2011 年被登錄為國家有形文化財產，而春帆樓仍然是一家高級日式旅館和以河豚料理聞名的料亭。

開館時間：9:00～17:00

閉館日：全年無休

門票：免費

<日本語仮訳>

日清講和記念館

この記念館は、日清戦争（1894-1895）終結後の「日清講和会議」と締結された『下関条約』を紹介するために建てられた。『下関条約』は、日清両国の首脳による 1 ヶ月にわたる交渉の結果である。条約の締結が日中両国にとって歴史的転換点となり、これにより、日本が領土を拡大し、国際舞台での地位を再定義するきっかけとなり、一方、中国は半植民地化の動きを加速させた。

記念館には戦争とその終結に向けた交渉に関する文書や資料、及び条約が交渉され調印された会場の再現が展示されている。

日清戦争

日本は明治時代（1868-1912）に近代化を始め、この文化的転換は国家アイデンティティの転換を伴った。既に欧米諸国との間で不利な条約を受け入れさせられていたこともあって、日本の指導者たちは海外での地位を強化する方法を模索し始めた。朝鮮半島は当初からそうした試みの中心であった。

朝鮮王朝（1392-1897）の最後の数十年間、朝鮮は経済的にも軍事的にも脆弱であり、日本の親帝国主義派は朝鮮を植民地化の格好のターゲットとみなした。朝鮮は日本海を挟んだ対岸に位置しており、そこに前哨基地を設置すれば、将来的な中国進出にも役立つだろう。

朝鮮は何世紀にもわたって中国の属国であり、中国もまた清朝（1644-1911）の下で「洋務運動」を進めていた。朝鮮政府は清国との強い結びつきを保っていたが、1880年代からは一部の反乱分子が日本に協力するようになった。1894年、朝鮮で甲午農民戦争が勃発した時、この対立は頂点に達した。清朝政府は朝鮮政府の要請に応じて軍隊を派遣して、反乱はすぐに鎮圧された。しかし、日本は自国軍を朝鮮に派遣して中国の支配に対抗し、最終的には1894年8月1日、中国と日本との日清戦争が全面勃発した。

日清戦争は主に朝鮮半島で戦われたが、戦闘は中国本土にも及んだ。日本は陸と海で圧倒的な勝利を収め、満州の重要港である大連の旅順港（ポート・アーサーとしても知られる）まで占領した。1895年2月に威海衛で中国北洋艦隊が壊滅した直後、両者は和平交渉を行うことに合意し、下関で和平交渉が行われた。

下関条約

日清講和会議は1895年3月20日、「春帆楼」という豪華な旅館で始まった。中国側の代表団には、清国全権の李鴻章（1823-1901）とその養子李經方（1854-1934）が含まれ、アメリカの元国務長官ジョン・W・フォスター（1836-1917）の助言を受けた。日本側の代表は、伊藤博文首相（1841-1909）と陸奥宗光外相（1844-1897）が率いていた。

中国軍を完膚なきまでに打ち負かしたことで、日本は非常に有利な立場から交渉を開始した。しかし、交渉が始まってわずか数日後、李鴻章が引接寺にある彼の宿舎に戻る途中で日本の急進派に襲われた。身の危険を恐れた李はあまり人目につかないルートで会談に向かうようになり（このルートは後に「李鴻章道」と呼ばれるようになった）、重要な外国人賓客を守れなかったという恥辱が日本の立場を弱めた。

両国は停戦に合意し、1895年4月17日に『下関条約』に調印した。日本は中国から多くの譲歩を取り付けることに成功し、朝鮮の完全な独立と自治を認めさせ、数世紀にもわたる朝貢関係を終わらせた。中国はまた、澎湖諸島、台湾、遼東半島の支配権を日本に割譲した。さらに、中国は銀2億両（約750万キロ）の戦争賠償金を日本に支払い、沙市、重慶、蘇州、杭州を日本の貿易港として開放し、日本に対して西洋諸国と同様の優遇措置を与える義務を負った。

『下関条約』によって、日本は明確に戦勝国となった。中国は何世紀にもわたってアジアで支配的な軍事力と文明力を持っていた。この結果によって、中国はこれまでの地位を失い、かつ日本にさらなる

領土拡大を推進するための経済資源と自信を与えた。当時、積極的な帝国主義は、近代大国の当然の振る舞いと見なされていた。

記念館

この記念館は 1937 年、交渉に使われた品々を展示するため、当時交渉の場である春帆楼旅館の敷地内に建てられた。鉄筋コンクリート造りで、記念館の屋号が刻印された特注の瓦が葺かれている。内部には会議室が再現され、周囲の廊下には和平交渉やそのきっかけとなった戦争に関する資料や写真などが並べられている。

鳳凰のモチーフが施された欧風の布張りの椅子は、日本政府が英国で特注したものである。これらの椅子は、廊下の壁に沿った写真に見られるように、代表団が実際に座った通りに配置されている。中央のテーブルに置かれた筆記用具や、近くにあるフランス製の暖房用ストーブも、実際に会合の際に用いられたものだ。

第二次世界大戦（1939-1945）中の下関空襲で、この建物は被害を受けなかったが、隣の赤間神宮はほぼ全壊した。当時この記念館が地下のコンクリート壕で神社の御神体を守っていたことから、神のお陰であったという地元の逸話もある。

2011 年に、日清講和記念館は国の有形文化財に登録された。一方、春帆楼は現在も高級旅館として、またふぐ料理で有名な料亭として、営業している。

開館時間：9:00～17:00

休館日：年中無休

料金：無料

【タイトル】 関門ビル

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

关门大楼

这座貌似不怎么起眼的办公楼建筑曾是航运公司“关门汽船”本社所在地，一些精妙的设计细节令它在门司的历史建筑中独树一帜。

充满挑战的建筑

关门大楼建于 1931 年，当时正值昭和时代(1926-1989) *(插入第 34 号解说文链接)*。在旧下关英国领事馆、旧秋田商会大楼等周边的历史建筑中，它的深灰色外观和块状轮廓格外引人注目。

与其他老建筑的新古典主义建筑风格相比，关门大楼的设计更彻底地融入了现代风格。与旧秋田商会大楼一样，它也是钢筋混凝土建筑，但充分发挥了这种建材的创造性表现潜力。比如，大楼正面主入口的切角立面上，窗户一直延伸到了屋顶，这是砖砌建筑无法实现的设计；建筑左右两侧墙面上有装饰性凸起条块；入口左侧矗立着一根竹子状的壁柱，右侧则有一个小舷窗，暗示着这里的前身是一家船运公司。

靠近观察可以发现，其窗户的形状和大小各不相同，左右也不对称。此外，凸出墙面的条块也显得有些杂乱无章。更有一些设计特征不明所以，如靠近屋顶的八角形窗户外面看似无用的铜管栏杆，以及大门右侧几乎变形的陶瓷兽面。

<繁体字>

關門大樓

貌似不怎麼起眼的這座辦公室建築，曾經是航運公司「關門汽船」本社所在地。一些精妙的設計細節，令它在門司的歷史建築中獨樹一幟。

充滿挑戰的建築

關門大樓建於 1931 年，當時正值昭和時代（1926-1989） *(插入第 34 號解說文連結)*。周圍有舊下關英國領事館和舊秋田商會大樓等歷史建築，在它們的映襯下，關門大樓深灰色外觀和塊狀輪廓，格外吸引人注意。

関門大樓和其他老建築的新古典主義建築風格相比，設計上更徹底地融入了現代風格。它與舊秋田商會大樓一樣是鋼筋混凝土建築，但充分發揮了這種建材的創造性表現潛力。例如，大樓正面主入口的切角立面上，窗戶一直延伸到了屋頂，這是磚砌建築無法實現的設計；建築左右兩側牆面上有裝飾性的凸起條塊；入口左側矗立著一根竹子狀的壁柱，右側則有一個小舷窗，暗示著這裡的前身是一家船運公司。

仔細觀察可以發現，窗戶的形狀和大小各不相同，左右也不對稱。此外，凸出牆面的條塊也顯得有些雜亂無章。其他像是靠近屋頂的八角形窗戶外面看似無用的銅管欄杆，以及大門右側幾乎變形的陶瓷獸面這些設計，更是令人不明所以。

<日本語仮訳>

関門ビル

一見すると、かつて海運会社「関門汽船」の本社があったこの目立たない建築物は、ただのオフィスビルのように見えるだろう。しかし、細かな設計上の意匠により、街の歴史的建築物の中でもこの関門ビルは異彩を放つものとなっている。

挑戦的な建築

関門ビルは、昭和時代（1926-1989）（No.34 へのハイパーリンクを挿入）の 1931 年に建てられた。旧下関英国領事館や旧秋田商会ビルなど、近隣の歴史的建造物の中で、濃いグレーの外観とブロック状の輪郭は際立っている。

新古典主義的な建築様式の古い建築群とは対照的に、関門ビルは近代的なものを徹底的に取り入れたように思われる。秋田商会ビルと同じく鉄筋コンクリート造だが、そのデザインには素材の特性に潜んでいる創造的な表現を存分に生かされている。隅切り構造になっているメインエントランス、その切り落としたような壁の高さいっぱい広がる窓（レンガ造りでは不可能なデザイン）に始まり、建物の左右にある装飾的な突起などがその例である。エントランスの左側には竹のような化粧柱が立ち、右側には小さな舷窓があり、この建物が海運会社のオフィスだったことを物語っている。

近づいて見ると、窓の形や大きさが異なり、左右非対称である。そして突起も無秩序に見える。屋根付近にある八角形の窓には、一見何の目的もなさそうなブロンズのパイプや、正面玄関右側にある崩れかけたセラミックの動物の顔など、不思議な特徴が散見される。

【タイトル】 藤原義江記念館（旧リンガー邸）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

藤原义江纪念馆（林加家族故居）

藤原义江纪念馆又名“红叶馆”，为了纪念歌剧巨星藤原义江(1898-1976)而建。它坐落在一座朝南的小山上，俯瞰关门海峡。这里也曾是英国贸易公司霍姆・林加商会(Holme, Ringer & Co., Ltd.)员工宿舍，如今已被登录为国家物质文化财产。

红叶馆

1890年，霍姆・林加商会通过日本瓜生商会开始在下关开展贸易。1895年，一位名叫尼尔・布罗迪・里德(Neil Brodie Reid, 1868-1920)的苏格兰人受聘担任当地经理。

到了1901年，下关的海运贸易蓬勃发展，英国领事馆也在此设立，为希望在该地区开展业务的企业铺平了道路。1908年，一座木构小平房被改建成霍姆・林加商会英国雇员的宿舍，并命名为红叶馆。据说，日后享誉世界的男高音歌唱家藤原义江就出生于此。

1915年，创始人的次子西德尼・A・林加(1891-1967)接手了霍姆・林加商会，他在下关为两个儿子——迈克尔(1913-1978)和万尼亚(1916-1942)建造了一座三层楼的钢筋混凝土楼房，就位于最初的木构平房后面，名为“临峡馆”，即俯瞰海峡的房子。1959年，老红叶馆因台风严重受损而被拆除，混凝土楼房就改名为红叶馆。1983年，新红叶馆被改造为藤原义江纪念馆正式对外开放。

藤原义江

藤原义江(1898-1976)出生于一个支离破碎的家庭。他从贫困中崛起，成为了世界著名的歌剧明星。在其巅峰时期，在欧美许多著名歌剧院里都能听到他优美的男高音。

藤原义江是尼尔・布罗迪・里德和一位琵琶艺伎坂田キク（Sakata Kiku，生卒年不详）的私生子，1918年在东京生活时，他发现了自己的声乐天赋。1921年，他与日本未来首相吉田茂(1878-1967)偶遇，因此得以在伦敦著名的施坦威音乐厅演出。1923年，《纽约时报》盛赞藤原义江为“日本的鲁道夫・华伦天奴（默片皇帝）”。1926年，藤原义江与当时世界上最负盛名的维克多唱片公司签约。

第二次世界大战(1939-1945)后，藤原义江创立了藤原歌剧团，它是日本最古老的歌剧团的一支，至今仍活跃在舞台上。1976年3月22日，藤原义江去世，享年77岁。

纪念馆藏品

纪念馆内收藏了大量与藤原义江生平相关的珍品，堪称一座宝库。在一幅肖像画中，留着小胡子的尼尔·布罗迪·里德面容严肃。旁边挂着另一幅深褐色调的画像，身着和服的坂田キク和她精心保养的琵琶。馆内还有无数日文杂志和报纸剪报，详细介绍了藤原义江在国内外的演出。

在由客厅改建的展厅里，一台仍能使用的维克罗拉 VV-X VI 型 D 留声机播放着藤原义江早期的名曲。保留着原貌的壁炉、古董家具、华丽的吊灯以及藤原义江自己的钢琴都让博物馆充满了居家氛围，也让人们得以一窥这位巨星的私生活。

开馆时间：10:00～11:30、13:00～16:00

闭馆日：周二、每月第三个周六（有临时闭馆日，参观需预约）

门票：免费

<繁体字>

藤原義江紀念館（林加家故居）

藤原義江紀念館又名「紅葉館」，是為了記念歌劇巨星藤原義江（1898-1976）而建。紀念館坐落在一座朝南的小山上，俯瞰關門海峽。這裡曾是英國貿易公司霍姆·林加商會（Holme, Ringer & Co., Ltd.）的員工宿舍，如今已被登錄為國家有形文化財產。

紅葉館

1890 年，霍姆·林加商會透過日本瓜生商會開始在下關開展貿易。1895 年，公司聘請了一位名叫尼爾·布羅迪·里德（Neil Brodie Reid, 1868-1920）的蘇格蘭人擔任當地經理。

到了 1901 年，下關的海運貿易蓬勃發展，英國領事館也在此設立，為想在這個地區開展業務的企業鋪平了道路。1908 年，公司將一座單層木造小屋改建成霍姆·林加商會英國員工宿舍，並命名為紅葉館。據說，日後享譽世界的男高音歌唱家藤原義江就出生在這裡。

創始人的次子西德尼·A·林加（1891-1967）於 1915 年接手了霍姆·林加商會，他在下關那棟木造平房的後面為兩個兒子——邁克爾（1913-1978）和萬尼亞（1916-1942）建造了一座三層樓的鋼筋混凝土樓房，名為「臨峽館」，意思是「俯瞰海峽的房子」。1959 年因為被颱風嚴重侵害，老紅葉館被拆除，混凝土樓房就改名為紅葉館。到了 1983 年，新紅葉館被改造成「藤原義江紀念館」，並正式對外開放。

藤原義江

藤原義江（1898-1976）出生於一個支離破碎家庭，他從貧困中崛起，成為了世界著名的歌劇明星。在巔峰時期，歐美許多著名歌劇院裡都能聽到他優美的男高音。

藤原義江是尼爾・布羅迪・里德和一位琵琶藝伎坂田キク（Sakata Kiku，生卒年不詳）的私生子。1918年在東京生活時他發現了自己的歌唱天賦。1921年，他與日本未來首相吉田茂（1878-1967）偶遇，因此得以在倫敦著名的施坦威音樂廳演出。《紐約時報》在1923年盛讚藤原義江為「日本的魯道夫・華倫天奴（默片皇帝）」。1926年，藤原義江與當時世界上最負盛名的維克多唱片公司簽訂了合約。

藤原義江在第二次世界大戰（1939-1945）後創立了藤原歌劇團，它是日本最古老的歌劇團之一，至今仍活躍在舞台上。藤原義江於1976年3月22日去世，享年77歲。

紀念館藏品

這座紀念館堪稱一座寶庫，館內收藏了大量與藤原義江生平相關的珍品。在一幅肖像畫中，留著小胡子的尼爾・布羅迪・里德表情嚴肅，旁邊則掛著另一幅深褐色調的畫像，畫裡有身穿和服的坂田キク和她精心保養的琵琶。除此之外，這裡還有數不清的日文雜誌和剪報，詳盡介紹了藤原義江在國內外的演出。

原來的客廳被改造成了展廳，裡面有一台仍能使用的維克羅拉 VV-X VI 型 D 留聲機持續播放著藤原義江早期的名曲。保留著原貌的壁爐、古董家具、華麗的吊燈以及藤原義江自己的鋼琴，讓博物館充滿居家氣氛，也讓人們可一窺這位巨星的私生活。

開館時間：10:00～11:30、13:00～16:00

閉館日：週二、每月第三個週六（有臨時閉館日，參觀需預約）

門票：免費

<日本語仮訳>

藤原義江記念館（旧リンガー邸）

「紅葉館」の呼び名でも知られる藤原義江記念館は、男性歌手でありオペラ界のスーパースターであった藤原義江（1898-1976）を記念して建てられた。記念館は関門海峡を見下ろす南向きの丘にあり、この場所は英国商社ホーム・リンガー社の旧社員寮でもあって、いまは国の有形文化財に登録されている。

紅葉館

1890年、ホーム・リンガー商会は瓜生商会という会社を通じて下関での取引を開始した。1895年には、ネール・プロディ・リード（1868-1920）というスコットランド人が現地支配人として雇われた。

1901年には下関の海上貿易は活況を呈し、英国領事館が設立され、この地域でのビジネスを目

指す進取的な企業への道を切り開いた。1908 年、木造平屋建ての小屋がホーム・リンガー商会の英国人従業員の住居として改築された。この最初の社宅は「紅葉館」と名付けられた。後に世界的なオペラ・テノール歌手となる藤原義江が生まれたのも、この紅葉館だったという説もある。

1915 年に、ホーム・リンガー商会の経営は創業者の次男であるシドニー・アーサー・リンガー（1891-1967）に引き継がれた。シドニーは、息子のマイケル（1913-1978）とヴァーニャ（1916-1942）のために、下関に鉄筋コンクリート 3 階建ての家を建てた。木造バンガローの背後に建つこの建物は、当初「臨峽館」（海峡を見下ろす家）と呼ばれていた。1959 年、紅葉館は台風で大きな被害を受けて取り壊され、コンクリート造りの住居は同じ名前で改名された。新たな紅葉館は 1983 年に記念館として再オープンした。

藤原義江

藤原義江（1898-1976）は、一家の離散と貧しい生い立ちから、一転世界的に有名なオペラスターまで上りつめた人物である。名声の絶頂期、藤原の美しいテノールの歌声は、ヨーロッパやアメリカの多くのオペラハウス聴かれた。

ネール・ブロディ・リードと琵琶芸者の坂田キク（生年不詳）の間に生まれた婚外子である藤原は、東京に住んでいた 1918 年に自身のオペラの才覚に気付いた。1921 年、後に首相となる吉田茂（1878-1967）との偶然の出会いにより、ロンドンの名高いスタインウェイ・ホールにて披露する機会を得る。1923 年までに、ニューヨーク・タイムズ紙は藤原を「日本のルドルフ・ヴァレンティノ」と評した。1926 年、藤原は当時世界で最も権威のあったレコード会社であるビクター・レコードとレコーディング契約を結んだ。

第二次世界大戦後、彼は日本最古の歌劇団のひとつである藤原歌劇団を設立、この歌劇団は現在も活動している。1976 年 3 月 22 日、藤原義江は 77 歳で逝去した。

記念館のコレクション

記念館は、オペラスター藤原義江の生涯にまつわる記念品の宝庫である。いかめしく、口髭を生やしたネール・ブロディ・リードの肖像画が、着物姿の坂田キクと彼女が大切に保存した琵琶のセピア調の画像と並んで飾られている。日本語で書かれた数え切れないほどの雑誌や新聞の切り抜きには、藤原義江の国内外での活躍を詳述している。

展示スペースとなったりビングルームでは、現役のビクトローラ VV-X VI タイプ D 蓄音機が藤原の初期のヒット曲を再生する。当初の姿を残している暖炉、年代物の調度品、豪華なシャンデリア、そして藤原義江が愛用したピアノの存在が、このミュージアムに家庭的な雰囲気を与え、かつての大スターの私生活を垣間見せてくれる。

開館時間：10:00～11:30、13:00～16:00

休館日：火曜、第 3 土曜（ほか臨時休館あり、見学については要予約）

料金：無料

【タイトル】 下関南部町郵便局庁舎

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**下关南部町邮局大楼**

这栋灰泥砖结构建筑内入驻了日本仍在营业的最古老的邮局。大楼建于 1900 年，由建筑师三桥四郎(1867-1915)担纲设计，当时是赤间关邮电局，主要提供邮政和电报服务。大楼两翼左右对称，围出一个内庭；拱形入口顶端有弧形花饰，两侧有壁柱，呈现出典型的文艺复兴风格。这座大楼已被登录为国家物质文化财产（建筑物）。

日本正式的国营邮政服务始于 17 世纪早期，在此之前，信息和货物都通过被称为“飞脚”的信使网络来传递。1871 年，小型公共机关引进了预付邮资和定期邮递服务，涵盖东京、大阪和京都三地。次年，这些服务就拓展到了全国。下关南部町邮局大楼建成时，现代邮政服务还处于起步阶段，主要以英国邮政系统为蓝本。当时，电报是一种重要的通讯手段，邮局二楼就是为周边居民服务的电报局。

1901 年，下关南部町邮局的邮政设备经理俵谷高七(1854-1912)构思设计了一款圆柱形红漆邮筒，后来被全国采用。如今立在邮局门前的红色铸铁邮筒就是它的现代版。

<繁体字>**下關南部町郵局大樓**

日本仍在營業的最古老的郵局就在這棟灰泥磚結構建築內。建於 1900 年的大樓當時是赤間關郵電局，主要提供郵政和電報服務。郵局大樓由建築師三橋四郎（1867-1915）擔綱設計，採用了典型的文藝復興風格，例如左右對稱的大樓兩翼圍出一個內庭；拱形入口頂端有弧形花飾，兩側有壁柱。這座大樓已被登錄為國家有形文化財產（建築物）。

直到 17 世紀早期，日本才開始有正式的國營郵政服務，之前資訊和貨物都由被稱為「飛腳」的信使網路來傳遞。到了 1871 年，小型公共機關引進了預付郵費和定期郵政投遞服務，涵蓋東京、大阪和京都三地，次年這些服務就拓展到了全國。下關南部町郵局大樓建成時，現代郵政服務還處於起步階段，主要以英國郵政系統為藍本。當時，電報是一種重要的通訊手段，郵局二樓就是為附近居民服務的電報局。

1901 年，下關南部町郵局的郵政設備經理俵谷高七（1854-1912）設計了一款圓柱形紅漆郵筒，後來在全國被採用。現今立在郵局門前的紅色鑄鐵郵筒就是它的現代版。

＜日本語仮訳＞

下関南部町郵便局庁舎

この建物には日本最古の現役の郵便局がある。モルタル煉瓦造りの建物は、1900年に赤間関郵便電報局として建てられた。建築家の三橋四郎（1867-1915）は、ルネサンス様式の設計を採用した。中庭を囲む左右対称のウイングを持ち、アーチ型のエントランスの上部には湾曲したペディメントがあり、その両脇には付柱が配されている。この郵便局は国の有形文化財（建造物）に登録されている。

日本における正式な国営郵便事業の歴史は1600年代初頭に始まるが、それ以前から、伝言や商品は「飛脚」と呼ばれる運び屋のネットワークを通じて配達されていた。小規模な公共機関に1871年、東京・大阪・京都間に元払い郵便と定期郵便が導入され、翌年からは全国に拡大された。下関南部町郵便局庁舎が建てられた当時、近代的な郵便事業はまだ歴史が浅く、その大部分はイギリスの郵便制度を手本としていた。電信は重要な通信手段であり、ビルの2階は電信局として使われ、周辺地域のための業務を行っていた。

郵便局前にある鋳鉄製の赤い柱型の郵便ポストは、1901年導入の赤く塗られた丸型のものをより現代的にしたものだ。そのデザインは、下関南部町郵便局の郵便設備管理者であった俵谷高七（1854-1912）によって考案され、全国的に採用された。

【タイトル】 功山寺

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

功山寺

功山寺是一座曹洞宗禅寺，以美丽的红叶和国宝佛殿而闻名。自 1327 年创建以来，寺院屡屡出现在该地区的政治史中。

高杉晋作与功山寺起义

寺院内有一尊革命家高杉晋作(1839-1867)骑着青铜战马的雕像。高杉晋作是长州藩（今山口县）武士，也是幕末引发明治维新（1868 年）的关键人物。他是“尊王攘夷”运动的积极支持者，主张削弱在日本的外国势力。

1865 年 1 月 12 日，高杉晋作在寺院召集了一支由武士和平民组成的部队，号召他们反对长州藩内的拥幕派，这就是历史上的“功山寺起义”。他的部队中还有一支主要由相扑手组成的力士队，其中一部分由日本未来首相伊藤博文(1841-1909)领导。高杉晋作的这支古怪部队虽然只有 80 多人，却夺下了拥幕派藏匿的一批金银财宝。这引发了倒幕派与拥幕派之间更大规模的战斗，最后以拥幕派被清除出长州藩告终。在最终推翻德川政权、开启崭新的明治时代(1868-1912)进程中，这次起义是关键性的一步。

佛殿

佛殿的历史比功山寺更古老，已被指定为国宝。建筑采用“唐样”风格，这是 12 世纪晚期或 13 世纪早期从中国宋代传入日本的禅宗建筑式样。钟形窗、装饰性翘檐屋顶，以及两端被加工成圆形的木柱，这些都体现了唐样建筑的典型风格。佛殿的屋顶则用扁柏树皮铺设。

佛殿的一根立柱上刻着：“建于 1320 年四月初五”，这表明佛殿在此之后不久建成，并可获知，它是日本有建造日期记载的、最古老的唐样风格建筑。

书院（五卿潜居之间）

1835 年，长州藩第 11 代藩主毛利元义(1785-1843)捐赠了这座建筑。江户时代(1603-1867)末期，幕府与攘夷派之间的关系日益紧张。1863 年 9 月 30 日，一支由幕府操控的势力发动了京都政变，将攘夷派赶出了京都。朝廷中支持攘夷的 7 位大臣也逃离了京都，其中 5 人前往功山寺避难。他们所住的房间后来就被称为“五卿潜居之间”。

＜繁体字＞

功山寺

以美麗紅葉和國寶佛殿而聞名的功山寺是一座曹洞宗禪寺，1327 年創立以來，就屢屢出現在這個地區的政治史中。

高杉晉作與功山寺起義

寺院內有一尊革命家高杉晉作（1839-1867）騎著青銅戰馬的雕像。這位長州藩（今山口縣）武士是在幕末引發明治維新（1868 年）的關鍵人物，他積極支持「尊王攘夷」運動，主張削弱在日本的外國勢力。

1865 年 1 月 12 日，高杉晉作在寺院召集了一支由武士和平民組成的部隊，主張反對長州藩內的擁幕派，這就是歷史上的「功山寺起義」。部隊中還有一支主要由相撲手組成的力士隊，其中一部分由日本未來首相伊藤博文（1841-1909）領導。雖然只有 80 多人，高杉晉作這支古怪的部隊卻奪下了擁幕派隱藏的一批金銀財寶，進而引發了倒幕派與擁幕派之間更大規模的戰鬥，最後以擁幕派被清除出長州藩告終。在推翻德川政權、開啟嶄新的明治時代（1868-1912）過程中，這次起義是關鍵性的一步。

佛殿

佛殿歷史比功山寺更為古老，已被指定為國寶。建築採用 12 世紀晚期或 13 世紀早期從中國宋代傳入日本的禪宗建築式樣「唐樣」，像是鐘形窗、裝飾性翹簷屋頂，以及兩端被加工成圓形的木柱，都是此風格的體現。佛殿的屋頂則用扁柏樹皮鋪設。

佛殿的一根立柱上刻著「建於 1320 年四月初五」字樣，這表明佛殿在此不久之後建成，同時也證明了佛殿是日本有建造日期記載的最古老的唐樣風格建築。

書院（五卿潛居之間）

長州藩第 11 代藩主毛利元義（1785-1843）在 1835 年捐贈了這座建築。幕府與攘夷派之間的關係在江戶時代（1603-1867）末期日益緊張。1863 年 9 月 30 日，一支由幕府操控的勢力發動了京都政變，將攘夷派趕出了京都，朝廷中支持攘夷的 7 位大臣也逃離了京都，其中 5 人前往功山寺避難。他們居住過的房間後來被稱為「五卿潛居之間」。

＜日本語仮訳＞

功山寺

功山寺は、紅葉の美しさと国宝の仏殿で知られている曹洞禅の寺院です。1327 年の創建以来、この地域の政治史に繰り返し登場している。

高杉晋作と功山寺拳兵

境内には、銅の軍馬にまたがった革命家、高杉晋作（1839-1867）の銅像がある。長州藩（現在の山口県）藩士の高杉晋作は、明治維新（1868 年）に至るまでの出来事の鍵を握る重要な人物。「尊王攘夷」をスローガンに掲げ、海外からの影響を抑えようとする運動の熱烈な支持者であった。

1865 年 1 月 12 日、高杉は寺に武士と庶民の混成軍を集め、長州藩内の佐幕派に対抗するために組織した。この反乱は「功山寺拳兵」として知られるようになる。高杉の軍勢には主に相撲取りで構成された部隊である力士隊も含まれており、力士隊の一部は後に日本の首相となる伊藤博文（1841-1909）に率いられた。風変わりな僅か 80 人あまりの高杉の軍は、佐幕派が保有していた金銀の隠し場所を押さえることができた。このことが佐幕派と勤皇派間の戦いが拡大する発端となり、最終的に長州から佐幕派が粛清された。これが、最終的に徳川政権が倒され、新しい明治時代（1868-1912）が始まる重要な一歩となった。

仏殿

仏殿は功山寺創建以前からあり、国宝に指定されている。仏殿は 12 世紀末または 13 世紀初頭に宋王朝から導入された日本の禅宗建築の一形式である「唐様」様式で建てられている。この様式の典型的な特徴は花頭窓（かとうまど）、装飾的な裳階（もこし）、丸みを帯びた支柱（粽）などである。屋根はヒノキの皮で葺かれている。

柱の一本には、1320 年 4 月 5 日建立と刻まれており、仏殿の完成はそれから間もないことが分かる。また、このことから、功山寺の仏殿は建築年代が記録されている中で、日本最古の唐様建築であるとされている。

書院（五卿潜居の間）

1835 年、この建物は第 11 代長州藩主 毛利元義（1785-1843）によって寄進された。江戸時代末期、幕府と攘夷派との間に緊張が高まりつつあった。1863 年 9 月 30 日、幕府寄りの勢力が京都でクーデターを起こし、尊攘派は京都から追い出されることとなった。7 人の尊攘派を支持する公卿も京都から逃れ、うち 5 人が功山寺を潜伏先として身を寄せた。彼らが使用していた部屋は現在、「五卿潜居の間」と呼ばれている。

【タイトル】 巖流島

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

岩流島

这座无人居住的小岛曾经发生过一场生死之战，因此在历史、文学和民间传说中都留下了浓墨重彩的一笔。传奇剑豪、哲学家宫本武藏(1584?-1645)最著名的决斗就发生在离海岸仅 250 米之处，吸引了世界各地的武术家和武士爱好者前来参观。

决斗的序曲

关于两位剑术大师的命运之战，可谓众说纷纭，但可以肯定的是：在某个春日清晨，宫本武藏与对手佐佐木小次郎（生卒年不详）在海滩上展开了生死决斗。

佐佐木小次郎别名“岩流”，据说出生于越前国（今福井县；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”）。他自幼学习“中条流”剑术，长刀（野太刀）技术炉火纯青，最终超越了他的师父。后来，他设立道场招收弟子，开创了自己的剑术流派。决斗当天，佐佐木小次郎使用的刀长达 90 多厘米，别名“晾衣杆”。据说他出手又快又准，可以击落天上飞燕，这一绝技也被称为“燕返”。

宫本武藏出生于播磨国（今兵库县南部），父亲是剑术高手新免无二（又名无二斋，生卒年不详）。据记载，宫本武藏或生于 1584 年，13 岁时第一次参加决斗。他的性格和风格与佐佐木小次郎截然不同，自称从未追随过任何流派或大师，总是游历四方寻找新的对手，性格粗暴古怪。28 岁时，宫本武藏得知佐佐木小次郎剑术了得，便发誓要与这位剑术大师一较高下。当时，佐佐木小次郎的主君是小仓藩藩主细川忠兴(1563-1646)，在其家臣松井兴长(1582-1661)的帮助下，宫本武藏向藩主表达了自己的意图，最终确定了两人的决斗。

千奇百怪的对决故事

数世纪以来，二人决斗的故事被多次重新演绎。随着版本更替，世纪变迁，许多细节也变得面目全非。大多数故事都认为宫本武藏晚到了几小时，这是他故意扰乱对手的策略，果然让佐佐木小次郎勃然大怒。另一种不太合理的解释是，宫本武藏错误判断了汹涌而复杂的潮汐，导致手划船难以靠岸。

在有些说法里，宫本武藏用船桨做了一把粗糙的木刀，佐佐木小次郎看到对手手持如此原始的武器后，非常愤怒。更有甚者说，宫本武藏用这把临时制作的刀，击碎了对手的头骨。一些故事里描述，宫本武藏偷偷带了随从参加决斗，以便在战斗中占上风。一些记录声称，佐佐木小次郎被击杀时年仅 18 岁，但其他证据却表明他可能已超过 50 岁。

交锋结果和文化遗产

当这两大剑客最终对决时，交锋仅在瞬息之间。空旷沙滩上只有咆哮之声和电光火石闪过。毫无疑问，佐佐木小次郎使出了绝技“虎切”，他曾用此击败过无数对手。然而，这次他棋逢对手，很快败给了那个不修边幅、浪迹天涯的武士。当佐佐木小次郎在沙滩上咽气时，宫本武藏大步离开，留下了日本最伟大剑客的传奇新篇章。

即使在 4 个世纪后的今天，岩流岛决斗依旧留存在书籍、电影、漫画和人们的想象中。宫本武藏更是为后世留下了丰厚遗产：他关于兵法和哲学的著作《五轮书》至今仍是畅销书，激励着商界领袖、武术家和世界各地的粉丝。佐佐木小次郎则虽败犹荣，有些人认为他是更伟大的剑客，如果宫本武藏不玩弄心机和诡计，就不可能获胜。

今天，坐落在岩流岛东侧的两人雕像就是这场交锋的不朽见证，游人可以在此自由想象这场传奇决斗的真相。

<繁体字>

巖流島

這座無人居住的小島上曾經發生過一場生死之戰，因此它在日本的歷史、文學和民間傳說中都留下了濃墨重彩的一筆。傳奇劍豪、哲學家宮本武藏（1584?-1645）最著名的決鬥就發生在離海岸僅 250 公尺的地方，吸引了世界各地的武術家和武士愛好者到此參觀。

決鬥的序曲

兩位劍術大師的命運之戰眾說紛紜，但可以確定的是：某個春日清晨，宮本武藏與對手佐佐木小次郎（生卒年不詳）在海灘上展開了生死決鬥。

別名「巖流」的佐佐木小次郎據說出生於越前國（今福井縣；「國」是日本古代行政區劃，有別於「國家」），他自幼學習「中條流」劍術，尤其是長刀（野太刀）技術爐火純青，並超越了師父。後來，他設立道場招收弟子，開創了自己的劍術流派。決鬥當天，佐佐木小次郎使用的刀別名「晾衣杆」，長達 90 多公分。據說他出手又快又準，可以擊落天上飛燕，因此這一絕技也被稱為「燕返」。

出生於播磨國（今兵庫縣南部）的宮本武藏，父親是劍術高手新免無二（又名無二齋，生卒年不詳）。據記載，或生於 1584 年的他在 13 歲便第一次參加決鬥。宮本武藏與佐佐

木小次郎的性格與風格截然不同，他自稱從未追隨過任何流派或大師，總是遊歷四方尋找新的對手，性格粗暴古怪。他在 28 歲時得知佐佐木小次郎劍術了得，便發誓要與這位劍術大師一較高下。佐佐木小次郎當時的主君是小倉藩藩主細川忠興（1563-1646），在其家臣松井興長（1582-1661）的幫助下，宮本武藏向藩主表達了自己的意圖，確定了兩人的決鬥。

千奇百怪的對決故事

決鬥的故事在幾百年來被多次重新演繹。隨著時光荏苒，版本更替，許多細節也變得面目全非。多數故事都認為宮本武藏故意晚到了幾小時，這種擾亂對手的策略果然讓佐佐木小次郎勃然大怒。另一種解釋是宮本武藏錯誤判斷了洶湧而複雜的潮汐，導致手划船難以靠岸，但這聽起來不太合理。

根據一些說法，宮本武藏用船槳做了一把粗糙的木刀。看到對手手持如此原始的武器後，佐佐木小次郎非常憤怒。甚至有人說，宮本武藏用這把臨時製作的刀擊碎了對手的頭骨。還有一些故事說，宮本武藏偷偷帶了隨從參加決鬥，以便在戰鬥中占上風。一些紀錄稱，佐佐木小次郎被擊殺時年紀只有 18 歲，但其他證據卻表明他可能已超過 50 歲。

交鋒結果和文化遺產

這兩大劍客的最後對決只在瞬息之間，空曠沙灘上只有咆哮之聲和電光火石閃過。毫無疑問，佐佐木小次郎使出了曾擊敗過無數對手的絕技「虎切」，然而，這次他棋逢對手，最終敗給了那個不修邊幅、浪跡天涯的武士。當佐佐木小次郎在沙灘上咽氣時，宮本武藏大步離開，留下了日本最偉大劍客的傳奇新篇章。

400 年後的今天，巖流島決鬥仍在書籍、電影、漫畫和人們的想像中繼續流傳。宮本武藏更是為後世留下了豐厚遺產：他關於兵法 and 哲學的著作《五輪書》至今仍是暢銷書，激勵著商界領袖、武術家和世界各地的粉絲。而佐佐木小次郎則雖敗猶榮，有些人甚至認為如果宮本武藏不玩弄心機和詭計就不可能獲勝，佐佐木小次郎才是更偉大的劍客。

如今來到巖流島的遊客們可以自由想像這場傳奇決鬥的真相。島東側立有兩人的雕像，是這場交鋒的不朽見證。

<日本語仮訳>

巖流島

この小さな無人島は、そこで繰り広げられた命を懸けた出来事により、歴史、文学、伝承の中に大きく名を残している。伝説的な剣士であり哲学者でもあった宮本武蔵（1584?-1645）が戦った決闘の中でも、とりわけ有名な一戦が繰り広げられた、海拔わずか 250 メートルのところにあるこの地に

は、世界中から武道家や侍の熱狂的なファンが訪れる。

決闘への序曲

2 人の剣豪の運命的な決闘については、異なる話がいくつも存在するが、これだけは確かである。ある春の朝、武蔵は浜辺で対戦相手の佐々木小次郎（生没年不明）と決闘を行ったのだ。

「巖流」の異名を持つ小次郎は、越前の国（現在の福井県、この「国」とは、古代日本の行政区画で、いまの「国家」とは異なる）に生まれたとされる。幼い頃から中条流の剣術の教えを受けた。小次郎は得意とした長刀（野太刀）の腕前で師匠をしのぐようになった。後に道場を開き、自らの流派を弟子たちに教えた。決闘の日、小次郎は「物干し竿」の異名を持つ長さ 90 センチを超える刀を使った。この頃には、飛んでくるツバメを撃墜するほどの速さと正確さで打つと言われていた。この必殺技は「燕返し」という。

武蔵は播磨国（現在の兵庫県南部）で剣の達人である新免無二（無二斎とも呼ばれる、生没年不詳）のもとに生まれた。史料によれば、彼は恐らく 1584 年の生まれで、初めて決闘を行ったのは 13 歳の時であると知られている。小次郎とは性格もスタイルもまったく異なり、武蔵は流派にも師匠にも就いていないと主張した。常に新しい対戦相手を求めて旅をし、粗暴な変わり者だった。28 歳の時、武蔵は小次郎の腕前を知り、剣の達人である小次郎と力比べすることを誓った。彼は、小次郎の主君である小倉藩主の細川忠興（1563-1646）に、その家臣であった松井興長（1582-1661）の助けを借りて、自身の意図を伝え、決闘は決まった。

対立する奇々怪々物語

決闘の物語は、それが起こってから何世紀もの間、何度も語り継がれてきた。風説から風説、世紀から世紀へと語り継がれるにつれ、詳細は失われたり付け加えられたり、変更されたりしている。ほとんどの風説では、武蔵が数時間遅れて到着したことで、小次郎を激怒させたとされている。これは相手を動揺させるための武蔵による意図的な策略と解釈されている。さらに好意的でない説明では、武蔵は激しく複雑な潮の流れを見誤ったため、手漕ぎ船を島に上陸させることに苦労したとされている。

ある風説では、武蔵は樫から粗末な木刀を作り、小次郎は敵がそのような原始的な武器を握っているのを見て激怒したという。ある風説では、武蔵はこの即席の刀で小次郎の頭蓋骨を叩き割ったと書かれている。また、武蔵が密かに従者を決闘に連れてきて、戦いを有利に運んだという記述もある。小次郎が命を落としたのはわずか 18 歳の時であったとする記録もあるが、50 歳を超えていた可能性があることを示す証拠もある。

結果とその遺産

この 2 人の剣豪がついに対峙したとき、そのやりとりはほんの一瞬で終わった。広々とした砂浜に轟く声と鋼鉄の閃光のみ。それまで数々の相手を打ち破ってきた小次郎のトレードマークである技「虎切」が使われたことに疑いはない。しかし、小次郎の技は失敗に終わった。小次郎は放浪中の不法な戦士に、たちまち打ち負かされた。小次郎が砂の上で息を引き取ると、武蔵は足早に立ち去り、日本最高の剣豪伝説に新たな章を残した。

巖流島での決闘は、4 世紀を経た今も、本や映画、漫画、そして人々の想像力の中で生き続けて

いる。武蔵が残した遺産は莫大である。彼の修行（兵法）と哲学に関する全書である『五輪書』は、ビジネスリーダー、武道家、そして世界中の多くのファンを鼓舞するベストセラーであり続けている。敗れたとはいえ、佐々木小次郎は今も尊敬を集める人物であり続けている。彼こそがより偉大な剣士であり、心理戦や策略に頼らなければ武蔵は決して勝てなかったという説もある。

今日巖流島を訪れる人は、この伝説的な決闘の真相について、自由に考えを巡らす。島の東側にある一対の像が、この伝説的な決闘を永遠に歴史に刻んでいる。

【タイトル】 唐戸市場

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

唐戸市場

唐戸市場位处国道 9 号线唐戸交叉口和关门海峡之间、唐戸地区的中心部。这里是下关的美食中心，被誉为“关门的厨房”。无论是海鲜零售商、厨师，还是当地居民或游客，都能满意而归。

唐戸地区自古以来就是繁荣的交通和贸易枢纽，并在明治时代(1868-1912)迎来了鼎盛时期。当时，下关和关门海峡对岸的门司都是重要的海外贸易和航运中心，大街上，外国领事馆、贸易公司和金融机构鳞次栉比，一派欣欣向荣。1894 年至 1896 年，当地在田中川河口的唐戸湾填海造地，逐步形成了今天的唐戸。

唐戸市場起步于 1909 年，当时的街头小贩从下关市获得了销售水果和蔬菜的官方许可，在以赤间神社（[插入第 8 号解说文链接](#)）为中心的阿弥陀寺町建立了一个小型鱼市。1924 年，该市场稍稍向西南迁移到了唐戸市場的现址后，除了专业商户以外，普通市民也开始前来光顾。

2001 年 4 月 25 日，唐戸市場扩建为综合性海鲜市场，吸引了许多国内外游客。这也是当地大型海滨开发项目的一部分，唐戸市場和海响馆（水族馆）、门司码头商城(Kamon Wharf)一起，成为下关的主要旅游景点。

唐戸市場以种类丰富的海鲜而闻名，其中下关的河豚尤为著名。不同季节，在水槽里和砧板上总能找到甘鲷、章鱼、赤海胆和剑先乌贼等各种海鲜。有时也能买到十分特别的渔获，比如被称作“九绘”的褐石斑鱼、长相怪异但味道鲜美的鰺鯨鱼。

这里贩卖特定鱼类或海鲜的专门店较多。在每周末和节假日*举办的“生机勃勃的马关街”活动上，许多摊位都会供应即食的新鲜海鲜。如果想尝试当地著名的河豚料理，价廉物美的河豚汤是非常不错的选择，河豚鳍酒也值得一尝。挑选购买了心仪的海鲜后，可在市场周边的长椅或唐戸市場的楼顶上，边欣赏海滨美景边品尝美食。

唐戸市場还出售如海鲜干货、罐头、海藻、贝类产品等食料。河豚相关商品当然是最受欢迎的旅游纪念品，这里还设有河豚自动贩卖机和扭蛋玩具机，顾客只需花费 3000 日元，就有可能赢得价值高达 15,000 日元的河豚相关食材。

※营业时间：周五和周六 10:00～15:00，周日和节假日 8:00～15:00

建议出行前在市场官方网站查询具体活动日期(<https://www.karatoichiba.com/calendars/>)

<繁体字>

唐戶市場

唐戶市場位於國道 9 號線的唐戶交叉口和關門海峽之間，屬於唐戶地區的中心部。這裡是下關的美食中心，被稱為「關門的廚房」。無論海鮮商販、廚師、當地居民和遊客，都能在唐戶市場找到自己喜歡的食材。

自古以來，唐戶地區就是繁榮的交通和貿易樞紐，並在明治時代（1868-1912）迎來了鼎盛時期。當時，下關和關門海峽對岸的門司都是重要的貿易和航運中心。大街上，外國領事館、貿易公司和金融機構鱗次櫛比，一片欣欣向榮。到了 1894 年至 1896 年，當地人在田中川河口的唐戶灣填海造地，慢慢形成了今天的唐戶。

1909 年，一些街頭小販從下關市獲得了販賣水果和蔬菜的官方許可，在以赤間神宮（插入第 8 號解說文連結）為中心的阿彌陀寺町建立了一個小型魚市場，這就是唐戶市場的雛型。到了 1924 年，市場稍稍向西南遷移到了唐戶市場今天的位置。從那時起，除了專門商販，一般老百姓也開始到這裡購物。

2001 年 4 月 25 日，唐戶市場擴建為綜合性海鮮市場，大量國內外觀光客接踵而至。此項擴建是海濱大型開發專案一環，唐戶市場和海響館（水族館）、門司碼頭商城（Kamon Wharf）一起，成為下關的主要旅遊景點。

唐戶市場裡的海鮮五花八門，其中最出名的當屬下關名產——河豚。不同季節來到這裡，在市場的水槽裡和砧板上總能找到甘鯛、章魚、赤海膽和劍頭烏賊等海鮮，有時也能買到相當特別的漁獲，像是被稱作「九繪」的褐石斑魚、長相怪異但味道鮮美的鰻鰻魚。

這裡的店家往往只賣專門的魚類或海鮮。在每週末和節假日※舉行的「生機勃勃的馬關街」活動期間，許多店家會賣即食的新鮮海鮮。如果想嘗試當地有名的河豚料理，價廉物美的河豚湯是非常不錯的選擇，河豚鰻酒也值得試一試。挑選購買了喜歡的海鮮後，也可在市場附近的長椅或唐戶市場屋頂上，一邊品嚐美食一邊欣賞海濱美景。

除了新鮮海產，唐戶市場也賣像是海鮮乾貨、罐頭、海藻、貝類等食材。不過最受歡迎的伴手禮還是河豚相關產品，這裡設有河豚自動販賣機和扭蛋玩具機，只需要 3000 日圓，就有可能贏得價值高達 15,000 日圓的河豚相關食材。

※營業時間：週五和週六 10:00～15:00，週日和節假日 8:00～15:00

請事先在市場官方網站查詢具體活動日期（<https://www.karatoichiba.com/calendars/>）

<日本語仮訳>

唐戸市場

唐戸市場は、国道 9 号線の唐戸交差点と関門海峡に挟まれた唐戸地区の中心にある。地元では「関門の台所」と呼ばれる唐戸市場は、下関の食の中心地であり、海産物小売事業者、料理人、地元住民、観光客などの要望に応えている。

唐戸地区は古くから交通と貿易の要所として栄えてきた。最盛期は明治時代（1868-1912）で、下関が関門海峡を隔てた門司とともに海外貿易と海運の一大拠点であった時代である。この時代には、いくつかの外国領事館や貿易会社、金融機関などが賑わう通りに軒を連ねていた。現在の唐戸の姿は、田中川河口の唐戸湾で行われた 1894 年から 1896 年にかけての干拓工事によってできたものである。

その起源は 1909 年、露天商が下関市から青果の販売許可を得たことにある。これをきっかけに、赤間神宮（NO.8 解説文へのハイパーリンクを挿入）を中心とする阿弥陀寺町界隈に小さな魚市場が誕生した。1924 年、その魚市場は少しだけ南西へ移動し、現在の唐戸市場の場所に移った。それ以来、専門の事業者だけでなく一般の人々も多く訪れるようになっている。

2001 年 4 月 25 日、大規模なウォーターフロント開発の一環として、唐戸は国内外からの観光客にアピールする総合的な水産物市場として拡張された。海響館水族館やカモンワーフと並び、下関を代表する観光スポットとなっている。

唐戸市場は、下関の名物「フグ」を始めとする様々な魚介類で有名だ。季節によっては甘鯛、タコ、赤ウニ、剣先イカなどが、市場の水槽や俵板に並ぶ。クエやグロテスクな見た目だが美味なアンコウといったより珍しいものが見られることもまたある。

店舗ごとに特定の魚介類に特化する傾向がある。特に、毎週末と祝日※に開催される「活いき馬関街」の期間中は、多くの屋台でできたての海鮮料理が食べられる。フグ汁は、この地域で有名なフグを味わいたい観光客にとって、安価で人気のメニューだ。フグのひれ酒も試すべき。購入した好きな海鮮料理を、市場周辺のベンチや唐戸市場の屋上で、美しい海を眺めながら食べることができる。

唐戸市場では、干物、缶詰、海藻、貝製品などの食料品も売られている。フグ製品は最も人気のある土産物のひとつである。さらにフグの自動販売機や、3,000 円を費やして最大 15,000 円にもなるフグ製品がもらえる可能性のあるフグガチャまである。

※開催時間：金曜と土曜の 10 時から 15 時、日曜と祝日の 8 時から 15 時

なお、開催日を市場公式サイトであらかじめご確認ください

(<https://www.karatoichiba.com/calendars/>)

【タイトル】 フグ料理

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

河豚：从禁止到推崇

在日本，食用河豚的历史十分悠久。对新石器时代贝冢的考古发掘表明，早在绳文时代（公元前 12,000-前 500 年），人们就开始食用河豚了。最初，富有冒险精神的渔民应该还无法去除致命的河豚毒素，对大多数人而言，河豚可能就是人生最后一餐。尽管风险巨大，但之后数百年中，河豚却越来越受欢迎。

到了安土桃山时代(1568-1603)，西日本因食用河豚而亡的人数剧增。16 世纪晚期，武士们为扩张领土而聚集在九州时，许多人不是在战场上而是在餐桌上丧生。

1592 年，位居太阁的丰臣秀吉(1537-1598)颁布了“河豚食禁止令”，违者将受到严厉惩罚，甚至会因此失去武士阶层的重要收入来源——世袭俸禄。对于钟爱河豚的长州藩（今山口县）武士来说，此项禁令显得尤为严苛。

不过，普通百姓依然在秘密食用河豚。直到 1888 年，日本首任首相、出生于山口县的伊藤博文(1841-1909)在下关的日式旅馆“春帆楼”享用了一顿丰盛的河豚料理，食用河豚才再次合法化。伊藤博文因迷上河豚的味道，废除了实施近 300 年的法律。为纪念此事，今天春帆楼前依然立着“河豚之碑”。

河豚料理

下关面向响滩、周防滩和关门海峡，这些都是河豚的良好渔场。因此，下关成为日本最大的河豚批发地，被称为“河豚之本场”，这里的河豚料理闻名全国，每年处理的河豚数量在日本也无以伦比。河豚的食用方式多种多样，不仅可以做成生鱼片、寿司、火锅、米粥，还能将河豚鱼鳍烤熟再倒入热清酒，现做河豚鳍酒。微微炙烤的河豚鱼白子（精巢）更是极品美味。

别名众多的河豚

数百年间，河豚有过许多个名字。在日本，一般称为“フグ(fugu)”，汉字同中国一样为“河豚”。关西地区常见的昵称是“铁砲”（火枪），隐喻河豚可能致命。在下关，它被称为“ふく(fuku)”，可能源自同音字“福”。另一种说法是，フグ的读音与“不遇”相似，意为不得志、不走运，因此当地也会避免使用。

＜繁体字＞

河豚：從禁止到推崇

日本食用河豚的歷史十分悠久，新石器時代貝塚的考古發掘表明，早在繩文時代（西元前 12,000-前 500 年），人們就開始食用河豚了。一開始，富有冒險精神的漁民還無法去除致命的河豚毒素，對多數人而言，河豚可能是人生的最後一餐。儘管風險巨大，但在之後數世紀中，河豚卻越來越受到歡迎。

到了安土桃山時代（1568-1603），西日本因食用河豚而亡的人數劇增。到了 16 世紀晚期，武士們為擴張領土而聚集在九州時，很多人不是犧牲在戰場上，而是喪生在餐桌上。

位居太閤的豐臣秀吉（1537-1598）在 1592 年頒布了「河豚食禁止令」，違者會受到嚴厲懲罰，甚至會失去武士階層的重要收入來源——世襲俸祿。這項禁令對於鍾愛河豚的長州藩（今山口縣）武士來說，實在過於嚴苛。

不過，普通民眾還是在秘密食用河豚。一直到 1888 年，出生於山口縣的日本首任首相伊藤博文（1841-1909）在下關的日式旅館「春帆樓」享用了一頓豐盛的河豚料理，食用河豚才再次合法化。為了紀念伊藤博文因迷上河豚的味道，廢除了實施近 300 年法律這件事，今天春帆樓前依然立著「河豚之碑」。

河豚料理

下關面對的響灘、周防灘和關門海峽都是河豚的良好漁場。因此，下關成為日本最大的河豚批發地，被稱為「河豚之本場」，這裡的河豚料理聞名全國，每年處理的河豚數量在日本也是一騎絕塵。河豚不但可以做成生魚片、壽司、火鍋、米粥，還能將河豚魚鰭烤熟再倒入熱清酒，現做河豚鰭酒，食用方式多種多樣。其中，微微炙烤的河豚魚白子（精巢），更是極品美味。

別名繁多的河豚

河豚在幾百年間有過許多個名字。在日本，一般稱為「フグ（fugu）」，漢字和中國一樣是「河豚」。河豚在關西地區常見的暱稱是「鐵砲」（火槍），隱喻牠可能讓人致命。在下關，牠被稱為「ふく（fuku）」，可能源自同音字「福」。另一種說法是，フグ的讀音與「不遇」相似，意為不得志、不走運，因此當地也會避免使用。

＜日本語仮訳＞

フグ料理：禁止から称賛へ

フグの食文化は古い。考古学的に発掘された新石器時代の貝塚によれば、縄文時代（紀元前

12,000-紀元前 500 年) から人々はフグを食べていたという。向こうみずな最初期の漁師たちは、フグが持つ死にいたる毒素、テトロドトキシンを除去する技術をまだ習得していなかったと思われ、多くの人にとってそれが最後の食事となった可能性もある。そのような致命的なリスクがあるにもかかわらず、その後数世紀にわたってふぐの人気は高まる一方だった。

安土桃山時代(1568-1603)には、ふぐ関連の死者の数は西日本で甚大なものとなった。16世紀後半の領土紛争のため武士達が九州に集まった際には、戦場ではなく夕飯の食卓で命を落とした者も少なくなかった。

1592年、太閤・豊臣秀吉(1537-1598)は「河豚食禁止令」を発布した。この法律を破ると、武士階級の重要な収入源であった世禄を失うなど、厳しい罰が課せられた。フグをこよなく愛した長州藩(現在の山口県)の武士たちにとって、その制限はとりわけ厳しいものだった。

庶民の間では、密かなフグ食は続いた。山口県出身の初代内閣総理大臣、伊藤博文(1841-1909)が下関の宿、春帆楼でフグ料理を豪快に食べた1888年まで、フグ摂取は非合法であった。博文はフグの味に惚れ込み、3世紀近く続いた法律を廃止することを選んだ。このことを記念して、春帆楼の前にいまなお「ふぐの碑」が立っている。

フグ料理

下関は響灘、周防灘、関門海峡に面し、いずれもフグの好漁場であるため、この地は日本最大のふく取り扱い市場となり、「フグの本場」と呼ばれ、フグ料理も全国的に有名である。下関のフグの年間取扱量は、日本国内で他の追随を許さない。刺身、寿司、鍋、雑炊のほか、ふぐのヒレを炙って熱燗を注ぐひれ酒など、さまざまな方法で味わうことができる。また、炭火で焼いたり、揚げたりして食べることもある。そして、火の上で少し炙ったフグの白子(精巢)はこの上ない珍味だ。

さまざまな名前の魚

何世紀もの間、フグはさまざまな呼び名で呼ばれてきた。日本ではフグと呼ばれ、漢字では中国語と同じく「河豚」と書く。関西では、その死に至る可能性のある性質から「鉄砲」というあだ名が一般的だ。下関では、「ふく」と呼ばれている。この言葉は、「福」を意味する同音異義語から生まれたと考えられている。また、「ふぐ」という言葉が不運を意味する言葉「不遇」に似ていることから、地元では避けられているという説もある。

【タイトル】 瓦そば：山口県のソールフード

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

瓦片烧荞麦面：山口县灵魂美食

绿色的抹茶荞麦面放在炙热的瓦片上，面条上铺着蛋皮丝、牛肉条等浇头，旁边配有蘸汁，这样一道极具视觉冲击力的瓦片烧荞麦面，绝对是餐厅里的主角。不过，这道菜也可以在家里用烤盘或煎锅来制作。

瓦片烧荞麦面通常会加上不少佐料，比如白萝卜加辣椒磨成的红叶泥、葱花和新鲜柠檬汁等等。底层的荞麦面在滚烫的瓦片上变得酥脆，而上层的面条软糯，再配上牛肉和鸡蛋，丰富的口感让食客不由心生愉悦。这道菜类似于日本流行的炒面，不同的是，它的食材是分开烹制的，然后再精美地摆放到一起。

从战场到餐桌

川棚温泉旅馆的业主高瀬慎一希望以本地特色菜肴来振兴温泉街，于是，他在1961年开发了瓦片烧荞麦面。这道菜的知名度迅速提升，首先传到了下关市区，随后传遍了整个山口县。

不过，据说这道菜的灵感来自更久远的年代。西南战争（1877年）时，忠于萨摩藩（今鹿儿岛县）西乡隆盛(1828-1877)的部队围攻熊本城长达52天之久，最后以失败告终。当时攻城士兵们就将屋顶瓦片加热作为临时烤盘，烤制野菜和肉类等食物。山口县的招牌菜就是受这段轶事启发而诞生的，远在海外的当地人甚至将这道名菜传到了夏威夷、纽约等地。

<繁体字>

瓦片燒蕎麥麵：山口縣靈魂美食

炙熱的瓦片上放著綠色的抹茶蕎麥麵，麵條上鋪著蛋皮絲、牛肉條等澆頭，旁邊配有蘸汁——極具視覺衝擊力的瓦片燒蕎麥麵不但是餐廳裡的主角，也可以自己在家裡用烤盤或煎鍋製作。

瓦片燒蕎麥麵通常會加上不少佐料，像是白蘿蔔加辣椒磨成的紅葉泥、蔥花和新鮮檸檬汁等等。底層蕎麥麵在滾燙的瓦片上變得酥脆，而上層的麵條軟糯，再配上牛肉、雞蛋，

口感的差異令食客心生愉悅。這道菜有點像日本流行的炒麵，但它的澆頭是分開烹製的，然後再精美擺盤，這點和炒麵不同。

從戰場到餐桌

川棚溫泉旅館的主人高瀬慎一希望藉由當地特色菜肴來振興溫泉街，在 1961 年開發了瓦片燒蕎麥麵。這道菜一炮而紅，先是傳到了下關市區，隨後傳遍了整個山口縣。

不過，也有人說這道菜的靈感來自更久遠的年代。西南戰爭（1877 年）期間，忠於薩摩藩（今鹿兒島縣）西鄉隆盛（1828-1877）的部隊圍攻了熊本城長達 52 天，最終還是未能攻下。當時，攻城的士兵就是將屋頂瓦片加熱作為臨時烤盤，烤製野菜和肉類，山口縣的招牌菜便是受這段軼事啟發而誕生的。到現在，這道名菜甚至被山口縣出身的人傳到了大洋彼岸的夏威夷、紐約等地。

<日本語仮訳>

瓦そば：山口県のソールフード

この料理は、抹茶を含めた緑色の蕎麦の上に、錦糸卵や細切りにした牛肉など様々な具をのせたものである。熱々の瓦の上に麺をのせ、つゆにつけて食べる。レストランでは見た目も魅力的な瓦そばが主役だが、この料理は家庭でもホットプレートやフライパンを使って作ることができる。

瓦そばは一般的に、大根おろしと唐辛子を混ぜたもの（もみじおろし）、刻んだネギなどの薬味に加え、新鮮なレモンを絞って食べる。蕎麦の下層は熱した瓦の上でパリパリになり、上層はモチモチの麺、牛肉、卵も含めた楽しい食感のコントラストが生まれる。全国的に人気の定番、焼きそばにも似ているが、具材は別々に調理され、美しく盛り付けられている。

戦場から食卓へ

瓦そばは 1961 年、川棚温泉の旅館の主人であった高瀬慎一によって考案された。高瀬は温泉街を盛り上げる名物料理を作ろうと考えた。瓦そばの人気は下関の都市部に広がり、後に山口県内全域に広まった。

しかし、この料理の着想はさらに古いと言われている。西南戦争（1877 年）の際、敵対する薩摩藩（現在の鹿児島県）の西郷隆盛（1828-1877）の軍隊は、失敗に終わることになる熊本城の 52 日間の籠城戦に付き合わされることになった。その際、攻め入った兵士たちが瓦をその場しのぎのホットプレートとして熱し、山菜や肉などの食材を焼いたという逸話があり、そこから山口を代表する料理のアイデアが生まれた。やがて、山口県出身の人々はこの料理をハワイやニューヨークなど、遠く離れた地域にも広めていった。

【タイトル】 関門汽船

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**关门汽船**

狭窄且波涛汹涌的关门海峡将东边的本州和西边的九州分隔开来，数世纪间一直是两岛之间贸易、旅行和交流的巨大障碍。明治时代(1868-1912)，随着下关（本州山口县）和门司（九州福岡县）的繁荣和发展，人们开始寻求可靠的方式来跨越海峡，但当时在技术上仍无法建造桥梁或海底隧道。1889 年 9 月，当地商业翘楚、后来的众议院议员石田平吉(1853-1929)开通了第一条横跨海峡的轮渡航线。1896 年，土井重吉(1853-1936)成立了关门汽船株式会社，开启了两岸交通的新时代。

轮渡服务

自创业以来，关门汽船已经有 100 多年的历史，如今依然在运营定期客运渡轮，比如往返于下关唐户码头和门司海洋门的关门渡轮，以及前往历史名岛“岩流岛”（船岛）的渡轮。

往返于唐户和门司港之间的渡轮，单程只需 5 分钟左右。渡轮从两个港口出发，6:00（周末和节假日为 7:00）至 21:00 每 20 分钟一班。下关和岩流岛之间的渡轮 9:00 至 16:00 每小时往返两趟。门司港和岩流岛之间的渡轮往来频次差不多，但只在周末运营。

渡轮的船长能熟练地驾驭关门海峡的强大水流，同时避开横穿航道的巨轮。如果天气允许，不妨走上露天甲板，将海峡和两岸港口城市的美景尽收眼底。

<繁体字>**關門汽船**

狹窄且波濤洶湧的關門海峽將東邊的本州和西邊的九州分隔開來，幾百年間一直是兩島之間貿易、旅行和交流的巨大障礙。隨著下關（本州山口縣）和門司（九州福岡縣）在明治時代（1868-1912）日益繁榮，人們開始找尋跨越海峽的可靠方式，但當時的技術還無法建造橋樑或海底隧道。1889 年 9 月，當地商業翹楚、後來成為眾議院議員的石田平吉（1853-1929）開通了第一條橫跨海峽的輪渡航線。1896 年，土井重吉（1853-1936）成立了關門汽船株式會社，兩岸交通的新時代由此開啟。

輪渡服務

關門汽船至今已經有 100 多年的歷史，現在依舊在經營定期客運渡輪，像是往返於下關唐戶碼頭和門司海洋門的關門渡輪，以及前往歷史名島「巖流島」（船島）的渡輪。

搭乘在唐戶到門司港之間往返的渡輪，單程只需大約 5 分鐘。渡輪從兩個港口出發，每 20 分鐘一班，發船時間為 6:00（週末和節假日為 7:00）至 21:00；下關和巖流島之間的渡輪每小時往返兩趟，發船時間為 9:00 至 16:00；門司港和巖流島之間的渡輪往來班次差不多，但只在週末發船。

渡輪船長熟練地駕馭關門海峽的強大海流，同時避開橫穿航道的巨輪。如果天氣允許，可以走上露天甲板，把海峽和兩岸港口城市的美景盡收眼底。

<日本語仮訳>

関門汽船

東側の本州と西側の九州を隔てる関門海峡は、狭いながらも波が激しく、何世紀もの間島々間の交易、往来、交流にとって厄介な障害であった。明治時代（1868-1912）に下関（本州山口県）と門司（九州福岡県）の都市が繁栄し、発展し始めると、両都市間を確実に横断する方法が求められるようになったが、橋や海底トンネルは技術的にまだ不可能だった。1889 年 9 月、地元の実業家で後に衆議院議員になった石田平吉（1853-1929）が、海峡を渡る最初のフェリー航路を開設した。1896 年、土井重吉（1853-1936）によって関門汽船株式会社が設立され、海峡横断移送の新時代が幕を開けた。

フェリー事業

関門汽船は創業以来 1 世紀以上を経た現在でも、下関の唐戸桟橋と門司のマリンゲートを結ぶ関門連絡船や歴史的な島である巖流島（船島）への連絡船などといった定期旅客フェリーを運航している。

唐戸と門司港を結ぶフェリーの所要時間は約 5 分ほどである。フェリーは両港から出ており、午前 6 時（土日祝は午前 7 時）から午後 9 時までの間に 20 分間隔で運行している。下関と巖流島を結ぶフェリーは、午前 9 時から午後 4 時までの間の 1 時間毎に 2 往復している。門司港と巖流島を結ぶフェリーの運航時間はほぼ同じだが、週末のみ運航している。

これらのフェリーの船長は、航路を横切る巨大な船を避けながら、関門海峡の強い潮流を巧みに航行する。天候が許せば、フェリーの屋外デッキに乗って、海峡と両岸の港町を堪能するのもいいだろう。

【タイトル】 関門鉄道トンネル

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**关门铁路隧道**

关门铁路隧道是全球第一条海底隧道，在关门海峡海底连接起了本州岛和九州岛。工程于 1936 年动工，在太平洋战争(1941-1945)的动荡时期竣工，3614 米长的九州段和 3604 米长的本州段分别于 1942 年、1944 年完工。即使在今天看来，这条隧道的建设也是了不起的伟业，在建造之初，它更是划时代的壮举。

明治时代的起源

19 世纪末期，日本决心成为世界现代化强国。快速工业化和军事化是当时主流，在本州和九州之间建立交通网（桥梁或隧道）的想法早在 1896 年就被首次提出，但几十年后才得以实现。

关门铁路隧道用于将九州煤矿的煤炭运往东日本燃料需求量巨大的工厂，但除此之外，隧道还具有重要的军事和战略价值，因为尽管建造技术难度极大，但海底隧道更难被炸毁。当时门司是日本军队向整个亚太地区扩张的重要据点，因此这种坚不可摧的特性对于维护通往门司港的补给线至关重要。

领先于时代的技术

日本复杂的地形和地质情况，给隧道建设带来了不少困难。就关门隧道而言，艰巨的钻探和挖掘工作必须在超过 12 米深的海底进行。尽管如此，隧道的设计师和工程师们依然雄心勃勃。

巨大的政治和军事压力也令工程突飞猛进。1919 年海上钻探试验开始，工程师们被秘密派往美国勘测现有的一些河床隧道，如纽约州哈德逊河的隧道。最后，本州一侧的施工采用了山地隧道技术，而九州一侧较松软的地层则采用了沉箱和盾构隧道技术。盾构隧道技术由马克·伊桑巴德·布鲁内尔(Marc Isambard Brunel, 1769-1849)在伦敦修建泰晤士隧道（1825 年）时首创，这种非开挖施工技术可以实现连续掘进，同时确保挖掘人员的安全。在关门铁路隧道的修建中，日本首次大规模使用了盾构隧道技术。

<繁体字>

關門鐵路隧道

關門鐵路隧道是全球第一條海底隧道，在關門海峽海底連接起了本州和九州。1936 年隧道工程開工，在太平洋戰爭（1941-1945）的動盪時期竣工，3614 公尺長的九州段和 3604 公尺長的本州段分別在 1942 年、1944 年完工。這條隧道的建設即便從今天看來也是一項了不起的偉業，在建造之初絕對是劃時代的壯舉。

明治時代的起源

19 世紀末期，日本決心成為世界現代化強國。因為當時的主流是快速工業化和軍事化，早在 1896 年，就有人提出在本州和九州之間建立交通網（橋樑或隧道）的構想，然而，這個想法幾十年後才實現。

關門鐵路隧道除了將九州煤礦的煤炭運往東日本燃料需求量旺盛的工廠之外，還具備重要的軍事和戰略價值——儘管技術難度極大，但海底隧道更難被炸毀。這種堅不可摧的特性對於維護通往門司港的補給線非常重要，因為當時的門司是日本軍隊向整個亞太地區擴張的重要據點。

領先於時代的技術

日本複雜的地形和地質情況，給隧道建設帶來了不少困難，因為關門隧道艱鉅的鑽探和挖掘工作必須在超過 12 公尺深的海底進行。但即便如此，隧道的設計師和工程師們仍舊雄心勃勃。

巨大的政治和軍事壓力也讓工程以驚人的速度向前推進。1919 年，海上的鑽探試驗開始，工程師們被秘密派往美國勘測像紐約州哈德遜河隧道之類的現有河床隧道。最終，本州一側的施工採用山地隧道技術，而九州一側因為地層較為鬆軟，則採用了沉箱和潛盾隧道技術，這也是日本首次大規模使用潛盾隧道技術。潛盾隧道技術由馬克·伊桑巴德·布魯內爾（Marc Isambard Brunel, 1769-1849）在倫敦修建泰晤士隧道（1825）時首創，這種非開挖施工技術可以連續掘進，同時確保挖掘人員的安全。

<日本語仮訳>

関門鉄道トンネル

関門鉄道トンネルは世界初の海底トンネルであった。関門海峡の下、本州と九州を結ぶ。1936 年に着工し、太平洋戦争の混乱期に完成した。九州方面（3,614m）は 1942 年に、本州方面（3,604m）は 1944 年に完成した。現在でもこのトンネルは驚異的な技術力を誇っているが、建設当時は画期的な進歩であった。

明治時代の起源

19 世紀が終わりに近づくにつれ、日本は近代化した世界の大国として生まれ変わろうと決意していた。急速な工業化と軍国主義が時代の要請であり、本州と九州を結ぶ交通網（橋やトンネル）の構想は 1896 年に初めて持ち上がったが、そのアイデアが現実のものとなるのは数十年後になる。

関門鉄道トンネルは、九州の炭鉱から燃料を大量に消費する東日本の工場に石炭を運ぶために使われたが、それだけが目的ではなく、軍事的・戦略的に大きな価値もあった。技術的に非常に困難であったにもかかわらず海底トンネルが選ばれた理由は単純で、爆撃がしにくいからである。当時の門司は日本軍がアジア・太平洋地域に展開する重要な拠点であり、海底トンネルの不可侵性は門司港への補給路を維持するために不可欠だった。

最先端技術

トンネルの設計者や技術者たちは、野心的であったに違いない。日本の複雑な地形と地質がトンネル建設を困難にしており、関門トンネルの場合、ボーリング、掘削という骨の折れる作業を水深 12 メートルの海底よりもっと深い部分で行われなければならなかった。

激しい政治的、軍事的圧力もあり、プロジェクトは猛スピードで推し進められた。1919 年に海上で試験掘削が開始され、ハドソン川の地下にあるような既存の河床トンネルを調査するため、技術者たちは目立たないようにアメリカに派遣された。本州側の工事は山岳トンネル工法で行われたが、九州側の軟弱地盤にはケーソン工法とシールド工法が用いられた。シールド工法は、マーク・イザムバード・ブルネル（1769-1849）がロンドンのテムズ川トンネル（1825 年）建設で開拓したやり方である。この非開削工法は、掘削作業員の安全を確保しながら連続的にボーリングすることを可能にする。関門トンネルへの適用は、この技術が日本で初めて大規模に使用されたものである。

【タイトル】 関門トンネル「人道」

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**关门隧道“人道”**

如果听到有人声称自己从九州徒步到了本州或反之，大多数人可能都会瞠目结舌，因为毕竟两岛之间隔着宽阔的关门海峡，其最窄处也有大约 650 米。不过，行人确实可以通过深藏于波涛之下的人行道穿越两岛。

1958 年 3 月 9 日，关门隧道向车辆和行人开放。最初，隧道上部为单行机动车道，下部的“人道”专供步行者和骑行者使用。隧道全长 780 米，下关、门司两头各有一个 55 米深和 60 米深的电梯井。隧道对步行者免费，但对推自行车或轻便摩托车步行穿越隧道者收费 20 日元。

步行穿越关门海峡约需 15 分钟。在隧道最深处的中段，一条粗线标出了山口县和福冈县的海底边界。许多第一次步行穿越海峡的人都会利用这难得的机会，一边听着头顶的车流声，一边站在县境线上拍照留念。在隧道两头的入口各有一个半圆章供穿越者盖章留念，在进出口各盖一次，就可以组合成一个完整的圆章。此外，隧道内有空调，还能完全遮风挡雨，因此也深受散步者和慢跑者的青睐。

<繁体字>**關門隧道「人道」**

如果聽到有人自稱從九州徒步到了本州或反之，多數人可能都會瞠目結舌，因為兩島之間畢竟隔著寬闊的關門海峽，其最窄處也有大約 650 公尺。不過，實際上人們還真的可以透過深藏於波濤之下的人行道徒步穿越兩島。

關門隧道在 1958 年 3 月 9 日向車輛和行人開放。一開始，隧道上部為單行汽車道，下部的「人道」專供步行者和騎行者使用。隧道全長 780 公尺，下關、門司兩頭各有一個深 55 公尺和 60 公尺的電梯井。隧道對行人免費，但如果推單車或輕型機車穿越，則需繳費 20 日圓。

大約 15 分鐘便可以步行穿越關門海峽。隧道最深處的中段有一條粗線標出了山口縣和福岡縣的海底邊界，許多第一次步行穿越海峽的人都會利用這個難得的機會，一邊聽著頭頂的車流聲，一邊站在縣境線上拍照留念。隧道兩頭的入口處各有一個半圓章供穿越者蓋

章留念，只要在進出口各蓋一次，就可以組合成一個完整的圓章。此外，因為這裡有空調，又可以遮風避雨，隧道也很受散步者和慢跑者的青睞。

＜日本語仮訳＞

関門トンネル「人道」

九州から本州を、あるいはその逆を歩いたと主張する人は、おそらく眉をひそめられるだろう。なにしろ2つの島は、最も狭いところで650メートルもある関門海峡によって隔てられているのだから。それでも、歩行者は波のはるか下にある歩道で、常日頃から2つの島の間を行き来している。

関門トンネルは1958年3月9日、車両と歩行者の通行のために開放された。当初、トンネルの上部は1車線の車道で、「人道」と呼ばれる下部は歩行者と自転車専用だった。全長780メートルのトンネルには、下関側に深さ55メートルのエレベーターシャフト、門司側に深さ60メートルのシャフトがある。徒歩の場合は無料で利用できるが、自転車や原付を押して島から島へ移動する場合は20円の料金がかかる。

徒歩の場合、海峡を渡るのに15分ほどかかる。山口県と福岡県の海底の県境は、トンネルの一番深いところの中間地点に太い線で表示されている。多くの初めての歩行者は、この貴重な機会を利用して、頭上を行き交う交通音を聞きながら、2つの県を跨いで写真を撮る。また、トンネル両側の入り口には、関門海峡を歩いて渡った記念用にスタンプを設置しており、スタンプは半月型で、2つのスタンプを接するように押すと、1つのデザインとなります。このトンネルはまた、風雨を完全にしのげるエアコン完備のコースとして、ウォーキングやジョギングをする人たちにも人気がある。

【タイトル】 バナナの叩き売り

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**香蕉叫卖**

1895 年日本占领台湾，8 年后的 1903 年，第一批香蕉从台湾运抵门司，这也是香蕉首次传入日本。门司因离台湾较近，从 1908 年开始从台湾大规模进口香蕉，一直持续到第二次世界大战(1939-1945)结束。

数十家批发商和仓库业主利用香蕉大受欢迎的机会，开始在门司销售香蕉。由于当时没有冷藏技术，只能运输尚未成熟的青香蕉。经销商将其存入地窖，让香蕉自然成熟至诱人的黄色后再行出售。

有些香蕉在运输过程中难免受损，或因成熟太快，运抵时已经过熟。这些香蕉无法出售，通常被制成加工食品。当然，想要迅速处理损坏或过熟的香蕉，最好的办法就是在街上甩卖。香蕉商贩由此形成了独特的推销术，他们半叫半唱，同时拍打桌子，以这种节奏感极强的方式吸引顾客前来。他们的叫卖话术、节奏和语句起源不详，但据说是受到了古老军歌的启发。这种表演很快传遍日本，“香蕉叫卖”也成了门司特色。

香蕉的繁荣与萧条

昭和时代(1926-1989)早期，门司掀起了一股街边贩卖热潮。鼎盛时期，大量小商贩竞争激烈，都在争取成为叫卖中最机智、声音最响亮、推销最成功的那一个。从海滨到栈桥通大街，小贩们的叫卖声、讨价还价声不绝于耳。他们竞相开发出最朗朗上口、最有效的叫卖话术，叫卖技巧也变得越来越有创意。遗憾的是，随着日本卷入二战，香蕉叫卖从街头消失了，门司的黄金时代也终结于此。

如今，在门司港站附近矗立着一座追忆香蕉贸易辉煌时期的纪念碑，香蕉叫卖也成了当地特色旅游项目。每周六和周日 13:00 开始，一个或几个街头小贩就会聚集在门司港怀旧历史街区叫卖香蕉，直至售罄。叫卖过程互动性很强，观众可以尽情地街头小贩聊天，讨价还价，最后满意而归。

<繁体字>**香蕉叫賣**

日本從 1895 年開始佔領台灣，8 年後，第一批香蕉在 1903 年從台灣運抵門司，這是香蕉首次傳入日本。離台灣較近的門司從 1908 年開始就從台灣大規模進口香蕉，一直持續到第二次世界大戰（1939-1945）結束。

利用香蕉大受歡迎的機會，幾十家批發商和倉庫業主開始在門司銷售香蕉。因為當時沒有冷藏技術，只能運輸尚未成熟的青香蕉，然後存入地窖，待香蕉自然成熟至誘人的黃色後，經銷商再將其出售。

香蕉在運輸過程中難免受損，或因成熟太快，運抵時已經過熟。這些香蕉無法出售，通常被製成加工食品。當然，想要迅速處理損壞或過熟的香蕉，最好的辦法就是在街上降價出售。香蕉小販由此形成了獨特的推銷術，他們半叫半唱吸引顧客，同時拍打桌子，節奏感極強。這種叫賣話術、節奏和話語的起源不詳，但據說是受到了古老軍歌的啟發。這種表演很快傳遍日本，「香蕉叫賣」也成了門司特色。

香蕉的繁榮與蕭條

門司在昭和時代（1926-1989）早期掀起了一股街邊販賣熱潮。鼎盛時期，從海濱到棧橋通大街，小販們的叫賣聲、討價還價聲不絕於耳。小販之間競爭極為激烈，都在爭取成為叫賣中最機智、聲音最響亮、推銷最成功的那一個。為此，他們競相開發出最朗朗上口、最有效的叫賣話術，叫賣技巧也變得越來越有創意。遺憾的是，隨著日本捲入二戰，香蕉叫賣消失於街頭，門司的黃金時代也終結於此。

現在，門司港站附近矗立著一座追憶香蕉貿易輝煌時期的紀念碑，「香蕉叫賣」也成為了當地旅遊特色。每週六和週日 13:00 開始，一個或幾個街頭小販就會聚集在門司港懷舊歷史街區叫賣香蕉，直至售罄。叫賣過程充滿互動，圍觀觀眾可以盡情地與街頭小販聊天，討價還價，直到滿意為止。

<日本語仮訳>

バナナの叩き売り

1895 年、台湾は日本の統治下に置かれるようになった。その 8 年後に、バナナが台湾から門司に向けて、最初の出荷があり、日本に伝わった。門司は台湾に近かったため、1908 年に始まった大規模な輸入は第二次世界大戦末期（1939-1945）まで途切れることなく続いた。

数十の卸売業者や倉庫オーナーがバナナの人気に乗じて門司で販売を始めた。冷蔵輸送が始まる前、バナナはまだ青い未熟な状態で輸送されていた。販売業者は商品を地下貯蔵庫に保管し、果実を自然に熟成させ、魅力的な黄色になったところで販売した。

バナナは輸送中にやむを得ず傷ついてしまうこともあり、また熟すのがあまりにも早すぎて、到着したときには熟れすぎてしまうものもあった。これらは販売することができないため、加工食材にされることが多かった。しかし、傷んだバナナや熟しすぎたバナナを手っ取り早く処理する最善の方法は、切り売りで路

上販売することだった。バナナ売りは、競りと歌とを半分ずつ織り交ぜた独特の口上を編み出し、テーブルを叩きながらそれを伝えることで拍子をとって客を引き付けた。そのセリフ、リズム、フレーズの起源は不明だが、古い軍歌を着想源にしたものもあったと考えられている。その評判は瞬く間に日本中に広まり、「バナナの叩き売り」は門司の風物詩となっていた。

バナナブームと不況

昭和時代（1926-1989）の初期になると、門司は路上販売のブームが巻き起こった。その最盛期には、数多くの売り子たちが機転や声量、販売額を競い合った。水辺から栈橋通りまで、売り手達は叫び声を上げ、値切り交渉を休むことなく繰り広げた。バナナの露天商たちは、最も人を惹きつけ効果的な口上を巡って競い合い、それぞれの口上は独創性を極めていった。残念ながら、第二次世界大戦に巻き込まれると、バナナの露天商が姿を消し、門司のイエロー・ゴールド・ラッシュは終わりを告げた。

門司港駅近くにはバナナ貿易の全盛を偲ぶ記念碑が建っているが、バナナのたたき売りは現在も旅行者を楽しませている。土曜日と日曜日の午後 1 時から、門司港レトロの歴史地区に 1 人または数人の露天商が集まり、売り切れるまでバナナを売り歩く。バナナ叩き売りのパフォーマンスはとてもインタラクティブで、観客は露天商との談笑を楽しみながら、納得のいく値段を交渉する。

【タイトル】 栄町銀天街

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**栄町银天街**

商店街是日本城市景观的一大特色，街道两旁店铺林立，两端各有一个装饰拱门。这些商店街通常靠近主要交通枢纽，白天禁止车辆通行，屋顶则便于全天候购物。商店街的起源可以追溯到 16 世纪晚期，当时废除了市场税和行会制度“座”，商人们获得了经营市场的官方许可。

20 世纪 50 年代，商店街蓬勃发展。直到 21 世纪初，它们仍然在各地社区发挥着重要作用。商店街不仅提供日常必需品和服务，还是节日庆典等社区活动的中心。近年来，随着越来越多的人开始光顾郊外的大型购物中心，商店街也逐渐衰落。

荣町银天街建于 1957 年，从樱町通大街延伸到栈桥通大街，长约 300 米。在大正时代(1912-1926)门司的繁荣时期，这里曾是城中最高光的时尚之地，也是当时所有时髦和精致的缩影。

如今，昭和时代(1926-1989)的店面透着复古的气息，曾经的靓丽色彩在慢慢褪去之后，荣町银天街显得美丽又静好，还带着些许忧郁气质，依然吸引着众多游客前来。鱼贩、发廊、清酒专卖店和摇滚酒吧汇聚于此，拥有数十年历史的当地老字号“梅月”仍旧在供应美味的冰激凌。

<繁体字>**榮町銀天街**

日本城市景觀一大特色就是商店街——街道兩旁店鋪林立，兩端各有一個裝飾拱門。它們通常靠近主要交通樞紐，白天禁止車輛通行，還設了屋頂，方便大家全天候購物。商店街的起源可以追溯到 16 世紀晚期，當時廢除了市場稅和行會制度「座」，商人們獲得了經營市場的官方許可。

商店街在 1950 年代蓬勃發展，不僅提供日常必需品和服務，還是節日慶典等地方活動的中心，直到 21 世紀初仍然在各地社區發揮重要作用。不過，隨著近年來越來越多的人開始光顧郊外的大型購物中心，商店街也逐漸衰退。

建於 1957 年的榮町銀天街從櫻町通大街延伸到棧橋通大街，大約長 300 公尺。在大正時代（1912-1926）門司的繁榮時期，這裡曾是城中最耀眼的時尚之地，也是所有時髦和精緻的縮影。

如今，榮町銀天街還是吸引著許多遊客前來。昭和時代（1926-1989）的店面透著復古氣息，商業街褪去了曾經的靚麗色彩，在美麗靜好的氛圍中帶著些許憂鬱。魚販、髮廊、清酒專賣店和搖滾酒吧聚集在此地，擁有數十年歷史的當地老字號「梅月」依舊在提供可口的冰淇淋。

＜日本語仮訳＞

栄町銀天街

日本の都市景観の大きな特徴は、商店が軒を連ね、入口と出口にあるアーチの装飾が目印の商店街である。これらの商店街は通常主要な交通機関の拠点に近く、日中は車両が通行できず、全天候型の買い物を可能にするために屋根がついている。商店街の起源は、市場の税を無くして「座」を廃止した後、商人達が市場を運営する公的認可を受けた 16 世紀後半に遡ることができる。

商店街は 1950 年代に隆盛を極め、21 世紀に入るまで生活必需品やサービスを提供するだけでなく、祭りなどの地域活動の中心地として地域の重要な役割を担っていた。近年は、郊外のショッピングモールを利用する人が増え、衰退の一途をたどっている。

1957 年にできた栄町銀天街は、桜町通りから棧橋通りまでの約 300 メートル。大正時代（1912-1926）の門司ブームの頃、この商店街は華やかでファッショナブルな街であり、当時のスタイルで洗練されたものの代表格だった。

今日では、来訪者は昭和時代（1926-1989）の店構えと、色あせた美しさの中に漂う穏やかな哀愁に惹かれてこの古い商店街を訪れる。魚屋、美容院、日本酒専門店、ロックバーなどが営業中。何十年も続くソフトクリーム屋「梅月」は、地元の名物だ。

【タイトル】 清滝地区

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**清滝地区**

郁郁葱葱的清滝地区坐落在陡峭斜坡上，可俯瞰关门海峡的壮丽美景。清滝意为“纯净的瀑布”，这里曾经有多道瀑布，昔日水手们会来此用木桶装满饮用水，然后开始航海旅程。在 20 世纪之交的鼎盛时期，清滝地区是繁华的娱乐中心，门司市政府也设在此地。

在清滝狭窄的石墙小巷里，曾经回荡着极富节奏感的三味线（类似三弦的日本传统弦乐器）悦耳的琴声。艺伎们匆忙赶往高级料亭见客，脚下的木屐踩出了清脆的哒哒声。这里被称为门司的“奥座敷（高级会所）”，是门司有名的娱乐街区。第二次世界大战（1939-1945）前，门司的著名餐厅“三宜楼”曾接待过许多富裕客人，比如政客、实业家、作家等，现在它仍在清滝经营，只是规模小了许多。

随着门司失去了昔日辉煌，艺伎们离开了，许多妓院和料亭也歇业关闭，清滝变成了一处安静的住宅区。如今，从门司港站步行 10 分钟即可到达清滝，街道两旁林立着小型艺术画廊、精品店和咖啡馆。游人们沿着古雅的小巷漫步，欣赏流水和城市美景。更远处的山坡上是早在 1916 年就开放的清滝公园，由日本第一位林业教授、被誉为“日本公园之父”的本多静六(1866-1952)设计。青翠的山坡和潺潺的溪流，也从另一方面体现了清滝悠闲、永恒的魅力。

<繁体字>**清瀧地區**

鬱鬱蔥蔥的清瀧地區坐落在陡峭斜坡上，可俯瞰關門海峽的壯麗美景。清瀧意為「純淨的瀑布」，過去這裡有多道瀑布，水手們會來此用木桶裝滿飲用水，然後開始海上旅程。在 20 世紀之交的鼎盛時期，清瀧地區是繁華的娛樂中心，門司市政府也設在此地。

清瀧地區狹窄的石牆小巷裡曾經回蕩著極富節奏感的三味線（類似三弦的日本傳統絃樂器）悅耳的琴聲，藝伎們匆忙趕往高級料亭見客，腳下的木屐踩出了清脆的噠噠聲。這裡是門司有名的娛樂街區，被稱為門司的「奧座敷（高級會所）」。第二次世界大戰（1939-1945）前，門司的著名餐廳「三宜樓」曾接待過許多豪客，像是政客、實業家、作家等，現在雖然規模小了许多，但仍在清瀧營業中。

隨著門司失去昔日輝煌，藝伎們離開了，許多妓院和料亭也歇業關閉，清瀧變成了一處安靜的住宅區。現在從門司港站步行 10 分鐘即可到達清瀧，街道兩旁小型藝術畫廊、精品店和咖啡館林立，遊客們沿著古雅的小巷漫步，欣賞流水和城市美景。更遠處的山坡上是早在 1916 年開放的清瀧公園，由日本第一位林業教授、被譽為「日本公園之父」的本多靜六（1866-1952）設計。青翠的山坡和潺潺的溪流，也從另一方面體現了清瀧悠閒、永恆的魅力。

<日本語仮訳>

清瀧地区

緑豊かな清瀧地区は、関門海峡の絶景を眼下に望む急斜面にある。清瀧という地名は、文字通り「清らかな瀧」を意味し、海を渡る船乗りが航海に備えて樽に飲料水を満たした瀧が数多くあったことに由来する。20 世紀変わり目の最盛期には門司市役所が置かれ、賑やかな娯楽の中心地だった。

清瀧の狭い石垣の路地には、かつて三味線のリズムカルな音と、高級料亭での客との待ち合わせに急ぐ芸者の下駄の音が響いていた。街の「奥座敷」と呼ばれた歓楽街は、際どいイメージを持って語られていた。門司の有名な料亭「三宜楼」は、政治家、実業家、作家など、第二次世界大戦（1939-1945）前の裕福な客をもてなしたが、規模こそ控えめになったものの今も清瀧で営業を続けている。

門司の華やかさが失われて芸者衆が去ると、娯楽館や料亭の多くが廃業し、清瀧は閑静な住宅街に変わった。現在では、門司港駅から徒歩 10 分ほどのところに、小さなアートギャラリーやブティック、カフェが並んでいる。観光客は風情ある小道を散策し、水の流れや街の景色を眺めにやってくる。さらに丘の中腹にある 1916 年に開園した清瀧公園は、日本初の林学の教授で「日本の公園の父」と呼ばれる本多静六（1866-1952）が設計した。緑豊かな斜面や小川の流れも、清瀧のゆったりとした時代を超えた魅力のひとつだ。

【タイトル】 関門海峡の生きた歴史建築

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

关门海峡鲜活的历史建筑

20 世纪初的几十年，门司及其周边地区经历了一个以海外贸易为主导的飞速发展时期。在此期间，人们从西方引进了各种建筑技术和材料，并将其应用于私人和公共建筑。这一时期遗存的建筑被视为了日本文化遗产的一部分。许多此类历史建筑已被改建为博物馆或公共空间，还有一些建筑经翻新后为当地社区所用。

旧宫崎商馆

20 世纪初，下关是燃煤蒸汽船的重要燃料供应站。三菱和英商三美路商会(Samuel Samuel & Co.)等国内外煤炭贸易公司都在这里开设了分公司。当时的煤炭商人宫崎仪一(1854-?)将业务从神户迁至下关，并于 1907 年建造了如今这座旧宫崎商馆作为公司总部。该建筑的红砖结构、拱形阳台和齿状屋檐装饰，与旧下关英国领事馆相似，但其参考的原型可能是已被拆除的英国怡和洋行(Jardine Matheson & Co.)下关分行。第二次世界大战(1939-1945)后，旧宫崎商馆曾入驻一家保险公司，后来又成为美发沙龙，现在则是一家诊所。

JP 门司港大楼（旧门司邮船大楼）

旧门司邮船大楼与门司港站隔一条马路相望，是一座建于 1927 年的钢筋混凝土结构建筑，当年是日本邮船会社(NYK)的办公室。在门司成为繁忙的贸易港口之前，这家航运公司就已经在门司开展邮船（运送邮件的蒸汽船）业务。后来，由于该建筑往来码头和火车站都十分方便，日本邮船会社从港口的繁荣中受益良多。大楼入口处有瓷砖装饰，通向一个小厅，里面有一部九州最古老的电梯。这栋建筑现在仍然是一座办公楼，与大约百年前日本邮船会社在此建造大楼的出发点完全相同，火车站前的黄金地段吸引了众多公司入驻其中。

门司区政府大楼

门司区政府大楼是另一座至今仍在使用的老建筑，这座三层钢筋混凝土结构建筑建于 1930 年，直到 1963 年门司被并入北九州市前，它一直是门司市政府的所在地。虽然按照现代标准来看，这座建筑并不算特别大，但足以证明 20 世纪早期门司的繁荣程度。这座建

筑是建筑师仓田谦(1881-1940)在担任旧九州帝国大学（今九州大学）建筑系主任期间设计的，当时正值他职业生涯的转折点，设计风格从传统的既定设计转向了原创和自由的表达。区政府大楼的外观质朴，色彩柔和，是早期国际主义风格建筑的特征。外墙最初铺设了瓷砖，随着太阳的移动可以形成不同的色彩和阴影，但后来瓷砖被替换了。

<繁体字>

關門海峽鮮活的歷史建築

門司及其周邊地區在 20 世紀初期的幾十年，經歷了一個以海外貿易為主導的飛速發展時期。期間，人們從西方引進了各種建築技術和材料，並將之應用於私人和公共建築。這一時期遺存的建築被視為日本文化遺產的一部分，當中許多已經被改建為博物館或公共空間，還有一些經過翻新後為地方社區所用。

舊宮崎商館

下關在 20 世紀之初是燃煤蒸汽船的重要燃料供應站，三菱和英商三美路商會（Samuel Samuel & Co.）等國內外煤炭貿易公司都在此開設分公司。當時的煤炭商人宮崎儀一（1854-?）將業務從神戶遷至下關，並在 1907 年建造了現在這座舊宮崎商館作為公司總部。這棟建築的紅磚結構、拱形陽台和齒狀屋簷裝飾都與舊下關英國領事館相似，不過其參考的原型可能是已經被拆除的英國怡和洋行（Jardine Matheson & Co.）下關分行。第二次世界大戰（1939-1945）後，舊宮崎商館曾入駐一家保險公司，後來又成為美容院，現在則是一家診所。

JP 門司港大樓（舊門司郵船大樓）

建於 1927 年的舊門司郵船大樓與門司港站隔一條馬路相望，這座鋼筋混凝土結構建築，當年是日本郵船會社（NYK）的辦公室。在門司成為繁忙的貿易港口之前，這家航運公司就已在門司開展郵船（運送郵件的蒸汽船）業務。之後一段時間，由於該建築十分方便往來碼頭和火車站，日本郵船會社從港口的繁榮中受益良多。大樓入口處有瓷磚裝飾，通向一個安裝了九州最古老電梯的小廳。這棟建築如今仍是一座辦公大樓，與日本郵船會社大約百年前在此選址的原因一樣，因為位於火車站前的黃金地段，大樓吸引了許多公司入駐。

門司區政府大樓

另一座至今仍在使用的老建築是門司區政府大樓，這座三層鋼筋混凝土結構建築建於 1930 年，在 1963 年門司被併入北九州市前，它一直是門司市政府的所在地。雖然這座建築按照現代標準來看並不算特別大，但還是足以證明門司在 20 世紀早期的繁榮程度。這座

建築は建築師倉田謙（1881-1940）在擔任舊九州帝國大學（今九州大學）建築系主任期間設計的，當時的他正值職業生涯轉捩點，設計風格從傳統的既定設計轉向了原創和自由的表達。這棟區政府大樓的外觀具備早期國際主義風格建築的特徵，風格質樸，色彩柔和。最初外牆鋪設了瓷磚，隨著太陽移動可以帶來不同色彩和陰影，但後來這些瓷磚被替換了。

<日本語仮訳>

関門海峡の生きた歴史建築

1900 年代初頭の数十年間、門司とその周辺地域は国際貿易主導の急速な発展を遂げた時代を経てきた。その間、西洋からさまざまな建築技術や材料が取り入れられ、民間建築物や公共建築物の両方に適用された。その時代から残る建造物は、日本の文化遺産の一部とみなされている。そのような歴史的建造物の多くは博物館や公有スペースに転用されているが、地域社会のニーズに対応するために改修されたものもある。

旧宮崎商館

20 世紀初頭の下関は、石炭を燃料とする蒸気船の重要な補給基地であった。三菱やサミュエル・サミュエル商会など、国内外の石炭商社がここに支社を開設した。旧宮崎商館は、石炭商の宮崎儀一（1854- ?）が神戸から下関に拠点を移した後、1907 年に本社社屋として建てたものである。煉瓦造り、アーチのあるベランダ、デンティルコーニスなど、旧下関英国領事館のものとよく似ているが、おそらくこの建物は、イギリスの貿易会社ジャーディン・マセソン商会の下関支社（現在は解体された）をモデルにしたものと思われる。第二次世界大戦（1939-1945）後は、保険代理店、ヘアサロンが入り、現在は診療所が入っている。

JP 門司港ビル（旧門司郵船ビル）

門司港駅から通りを挟んで向かいにある旧門司郵船ビルは、1927 年に日本郵船会社（NYK）の事務所として建てられた鉄筋コンクリート造の建物である。この海運会社は門司から郵便物を運ぶ蒸気船を運航しており、門司が貿易港として賑わうようになる以前から営業していた。その後、港と駅の双方へのアクセスが容易な立地にあるため、港の繁栄の恩恵を得ることが出来るようになった。建物の玄関はセラミックタイルで飾られ、九州で最古のエレベーターがある小さなロビーへと続いている。現在もオフィスビルとして使用されているが、約 100 年前に日本郵船がビルを建てた理由でもあるこの駅前の一等地に惹かれ、さまざまな企業が入居している。

門司区役所

門司区役所もまた、この街で今なお活躍する歴史的建造物である。1930 年に建てられた鉄筋コンクリート 3 階建てのこの建物は、1963 年に北九州市と合併するまでは門司市庁舎であった。現代の基準からすれば特別に大きな建物ではないが、当時としてのその規模から、1900 年代初頭の門司の繁栄ぶりを窺える。この建物は、建築家の倉田謙（1881-1940）が旧九州帝国大学（現在の

九州大学)の建築学部長であった期間に設計されたもので、彼のキャリアの中で、既成の伝統的なデザインから独創的で自由な表現への転換が特徴づけられていた頃のものだ。区役所の比較的装飾の少ない外観と落ち着いた色調は、初期のインターナショナルスタイル建築の特徴。パラペットはもともとタイル張りで、太陽の動きに合わせて色と影に変化を持たせるためのものだったが、その後タイルは張り替えられた。

【タイトル】 関門海峡の潮

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**关门海峡的潮汐**

关门海峡是一条全长 27.7 公里的航道，将本州岛和九州岛分隔开来。这里的水流复杂、湍急、瞬息万变。多种因素共同造就了这一复杂的水动力环境：海峡最浅处仅 12 米深，最窄处的早鞆瀬戸水道仅 650 米宽；潮水在涨潮时以高达 9.4 节（17.4 公里/小时）的速度穿过海峡，退潮时流速也达到了 5 节（9.125 公里/小时）左右。相比之下，从冲绳流向北海道的黑潮在流速最快时也只有 3 节（5.475 公里/小时）而已。

潮汐的方向变化

关门海峡的潮汐每 6 小时逆向流动一次，先向东，再向西，然后再向东。这种不寻常的现象是由海峡东面的周防滩和西面的响滩的潮汐水位落差造成的。涨潮时，东侧的平均水深上升 1.8 米，西侧上升 0.8 米，这导致海水从高水位的东侧流向低水位的西侧。退潮时，东侧水位比平均水位低 2 米，西侧低 0.7 米，这让水流再次改变方向。

航海的挑战

关门海峡的洋流变化多端，即使对经验最为老道的领航员和船长而言，也是非常严峻的考验，只有掌握高超的航海技术，才能在这片水域航行。比如，在下关一侧的早鞆海峡，逆流航行的船只必须保持比流速快 4 节（7.408 公里/小时）的速度才能顺利通过。

尽管挑战连连，现在 1 天最多有 1000 艘船只穿越海峡，驶往美国的超大型货轮也在其中。从下关驶往门司的客运渡轮在奋力穿过洋流的同时，还须小心避开巨轮。

<繁体字>**關門海峡的潮汐**

全長 27.7 公里的關門海峡將本州和九州分隔開來，這裡的水流複雜、湍急、瞬息萬變。有許多因素造成了這一複雜的水動力環境：海峡最淺處只有 12 公尺深，最窄處的早鞆瀬戸水道僅 650 公尺寬；潮水在漲潮時以高達 9.4 節（17.4 公里/小時）的速度穿過海峡，退潮時的流速也達到了 5 節（9.125 公里/小時）左右。兩相比較，從沖繩流向北海道的黑潮在流速最快時也只有 3 節（5.475 公里/小時）而已。

潮汐の方向変化

関門海峡の潮汐毎 6 小時逆向流動一次，先向東，再向西，然後再向東。海峡東面的周防灘和西面響灘の潮汐水位落差，造成了這種不尋常的現象。漲潮時，東側的平均水深上升 1.8 公尺，西側上升 0.8 公尺，這導致海水從高水位的東側流向低水位的西側。退潮時，東側水位比平均水位低 2 公尺，西側低 0.7 公尺，這又讓水流再次改變方向。

航海の挑戰

因為洋流變化多端，只有掌握高超的航海技術才能在這片水域航行，因此即便是經驗最為老道的引水人和船長，關門海峡也是非常嚴峻的考驗。例如，在下關一側的早鞆海峡，逆流航行的船隻必須保持比流速快 4 節（7.408 公里/小時）的速度才能順利通過。

儘管挑戰不斷，現在 1 天最多有 1000 艘船隻穿越海峡，其中也包括許多駛往美國的超大型貨輪。從下關駛往門司的客運渡輪在奮力穿過洋流的同時，還要小心避開巨輪。

<日本語仮訳>

関門海峡の潮

関門海峡は、全長 27.7 キロの航路で、複雑かつ急速で、刻々と変化する潮流が本州と九州を隔てている。いくつかの要因が重なって、この複雑な流体力学的环境が作り出されている。海峡の水深は最も浅いところでわずか 12 メートル、最も狭い早鞆瀬戸の幅は 650 メートルしかない。潮の流れは、満潮時には時速 9.4 ノット（時速 17.4 キロ）、干潮時には時速 5 ノット（時速 9.125 キロ）で海峡を通過する。ちなみに、沖縄から北海道へ流れる黒潮は最も速い時で 3 ノット（時速 5.475 キロ）である。

潮の向きの変化

関門海峡の潮の流れは、6 時間ごとに東、西、そしてまた東へと向きを変える。この珍しい現象は、関門海峡の東にある周防灘と西にある響灘の干満差が原因である。満潮時には東側で平均水深が 1.8 メートル、西側で 0.8 メートル上昇する。このため、水は東から西へ「下り坂」に流れる。干潮時には東側で平均水位より 2 メートル、西側で 0.7 メートル低くなり、流れは方向を変える。

海への挑戦

こうした変化に富んだ潮の流れを持つ関門海峡は、経験豊富なパイロットや船長にとっても厳しい試練であり、この海域を航行するには高度な航海術が要求される。下関側の早鞆海峡では、潮流に逆らって航行する船は、潮流の速さよりも 4 ノット（時速 7.408 キロ）速い速度を維持しなければならない。

このような困難にもかかわらず、アメリカ行きの巨大貨物船を含め、多いときに 1 日 1,000 隻もの船

船がこの海峡を横断している。下関から門司に渡る旅客フェリーは、潮流を切り抜けながら、巨大な船を注意深く避けなければならない。

【タイトル】 明治、大正、昭和：20 世紀日本建築の時代区分の大まかな案内

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

明治、大正和昭和：浅析 20 世纪日本建筑的区别

关门海峡地区的历史建筑大多建于席卷日本的重要变革时期，当时日本正不断吸收西方文化，努力营造一个崭新的“现代”社会，而这些建筑正是这一系列变革的见证。每个时期的建筑特征，都揭示了日本独特的发展历程，我们可以通过几个关键的设计元素，把历史建筑按照年代区分为三大时期。

1853 年，美国特使马修·佩里(Matthew C. Perry, 1794-1858)准将率舰队驶入浦贺湾（今东京附近），迫使日本结束了长达 200 多年的闭关锁国状态，此后西方对当地建筑的影响开始显现。1858 年，法国和英国等外国势力获准进入日本港口，外来思想和技术如潮水般涌入日本。日本木匠随之发展出一种“拟洋风”建筑，即使用传统方法来仿造石雕、塔楼等西方建筑的外观。

明治建筑(1868-1912)

明治时代，日本政府邀请国外建筑师和工程师来日，并派遣年轻人出国留学，此时“拟洋风”建筑风格又一次得到了发展。最有影响力的外国专家之一是英国建筑师乔赛亚·康德(Josiah Conder, 1852-1920)，他于 1877 年开始在工部大学校（今东京大学工学部）担任教授。他的许多学生后来都取得了巨大成功——辰野金吾(1854-1919)设计了关门海峡地区的多座建筑，妻木赖黄(1859-1916)则设计了旧门司海关大楼。

这一时期，红砖从西方大量进口，这种独特的建材甚至成为了明治时代的象征。旧下关英国领事馆就是外国建筑师使用红砖设计的一个实例，它完全遵循了西方审美。红砖建筑通常是政府、企业或教育机构，但一些私人建筑（如商铺和仓库）也采用了这种风格。总体而言，红砖是 19 世纪晚期至 20 世纪早期日本建筑的明显标志。

大正建筑(1912-1926)

大正时代的日本建筑师对西方设计风格有了一定了解，这一时期的建筑往往融合了日本传统元素和外国元素。比如建于 1915 年的旧秋田商会大楼，它的一楼是西式办公室，而上层住宅则采用了传统日本木工结构。从 20 世纪初期的几十年开始，全红砖设计逐渐被钢

架和钢筋混凝土结构所取代。而 1923 年的关东大地震加速了这一转变，它证明了砖砌建筑在地震中不堪一击。

与此同时，大正的建筑师们开始尝试更多的艺术表现形式。1920 年，日本出现了第一场现代建筑运动——分离派运动（19 世纪末欧洲的艺术家人发起的革新运动及组织）。它受到德国表现主义和维也纳分离派（1897 年创立）的启发，提倡摒弃传统主义，转向更原创、更自由的设计。虽然该运动于 1928 年消亡，但其成员对日本建筑的影响一直持续至 20 世纪中叶。

昭和建筑(1926-1989)

昭和早期的建筑受到西方艺术运动（如 Art Deco 装饰艺术）的影响，如旧门司邮船大楼和旧大连航线上屋（码头大厅）。这些建筑的特色是装饰精致、图案奢华。随着时间推移，这种风格更具原创性和艺术自由性，如下关的关门大楼和门司区政府大楼。

第二次世界大战(1939-1945)前，公共建筑设计回归传统，采用了“皇冠风格”建筑样式。这是一种新古典主义建筑，通常用红砖砌成，并采用传统歇山顶。二战中，各个时期的建筑都被大面积的轰炸摧毁。在战后重建时，建筑师们转向使用西方的建筑方法和材料（如钢筋混凝土），因为它们相对建造起来更快、更便宜，且更能防火抗震。昭和晚期的建筑从现代角度来看略显平平无奇，但在当时，它们却象征了战后日本的日益繁荣。

<繁体字>

明治、大正和昭和：浅析 20 世纪日本建筑的差别

關門海峽地區的歷史建築大都建於席捲日本的重大變革時期。當時，日本正不斷吸收西方文化，努力營造一個嶄新的「現代」社會，而這些建築正是這一系列變革的見證。每個時期的建築特徵反映了日本獨特的發展歷程，我們可以透過幾個關鍵的設計標的，把歷史建築按照年代區分為三大時期。

1853 年，美國特使、海軍將領馬修·佩里（Matthew C. Perry, 1794-1858）率艦隊駛入浦賀灣（今東京附近），迫使日本結束了 200 多年的閉關鎖國狀態，在此之後，西方對當地建築的影響開始顯現。1858 年，隨著法國和英國等外國勢力獲准進入日本港口，外來思想和技術如潮水般湧入日本。日本木匠隨後開始使用傳統方法來仿造石雕、塔樓等西方建築的外觀，發展出一種被稱為「擬洋風」的建築風格。

明治建築 (1868-1912)

從明治時代開始，日本政府邀請國外建築師和工程師來日，並派遣年輕人出國留學，此時「擬洋風」建築風格又一次得到了發展。最有影響力的外國專家之一是英國建築師喬

賽亞・康得（Josiah Conder, 1852-1920），1877 年，他開始在工部大學校（今東京大學工學部）擔任教授。他的許多學生後來都有傲人成就，像是設計了關門海峽地區多座建築的辰野金吾（1854-1919），以及設計了舊門司海關大樓的妻木賴黃（1859-1916）。

紅磚在這一時期大量從西方進口，此種獨特的建材甚至成為了明治時代的象徵。舊下關英國領事館便是外國建築師使用紅磚設計的一個範例，它完全遵循了西方審美。這些紅磚建築通常是政府、企業或教育機構，但一些私人建築（如商鋪和倉庫）也採用了這種風格。總體而言，紅磚是 19 世紀晚期至 20 世紀早期日本建築的明顯標誌。

大正建築（1912-1926）

因大正時代的日本建築師對西方設計風格已經有了一定了解，所以這一時期的建築更多融合了日本傳統和外國元素。像是建於 1915 年的舊秋田商會大樓，一樓是西式辦公室，而上層住宅則採用了傳統日本木工結構。從 20 世紀初期的幾十年開始，全紅磚設計逐漸被鋼構和鋼筋混凝土結構所取代，而發生於 1923 年的關東大地震則加速了這一轉變，它證明了磚砌建築在地震中完全不堪一擊。

在此同時，大正的建築師們也開始嘗試更多的藝術表現形式。1920 年，日本出現了第一場現代建築運動——分離派運動（19 世紀末歐洲的藝術家發起的革新運動及組織），它提倡摒棄傳統主義，轉向更原創、更自由的設計，這種主張應該是受到德國表現主義和維也納分離派（1897 年創立）的啟發。雖然分離派運動在 1928 年便已經消亡，但其成員對日本建築的影響一直持續至 20 世紀中葉。

昭和建築（1926-1989）

昭和早期的建築，都受到西方藝術運動（如 Art Deco 裝飾藝術）的影響，像是舊門司郵船大樓和舊大連航線上屋（碼頭倉庫），這些建築的特色是裝飾精緻、圖案奢華。然而，隨著時間推移，這種風格更具原創性和藝術自由性，下關的關門大樓和門司區政府大樓就是這一時期建築的代表。

第二次世界大戰（1939-1945）前，公共建築設計開始回歸傳統，採用「皇冠風格」建築樣式。這是一種新古典主義建築，通常用紅磚砌成，並採用傳統歇山頂。在二戰中，各時期的建築都在大面積的轟炸中被摧毀。戰後重建時，出於建造速度、建造成本和防火抗震的考量，日本建築師更傾向使用西方建築方法和材料，像是鋼筋混凝土。從現代角度來看，昭和晚期的建築略顯平平無奇，但它們卻象徵了戰後日本的日益繁榮。

<日本語仮訳>

明治、大正、昭和：20 世紀日本建築の時代区分の大まかな案内

関門海峡地域の歴史的建造物は、日本が新たに「近代」社会を形成するために次々と西洋文化の影響を取り入れていた、広範囲に及ぶ大きな変革期に建てられたものである。これらの建造物は、そうした変化を現代に伝える証である。各時代の建築の特徴は、この国の発展の独自性を物語っており、いくつかの重要なデザイン要素を軸に、歴代の建築を時代ごとに3つに区分することができる。

西洋の影響が地域の建築に現れ始めたのは、1853年にアメリカの特使マシュー・C・ペリー（1794-1858）提督が艦隊を浦賀湾（現在の東京近く）に来航させ、200年以上にわたる日本の鎖国に終止符を打ったことがきっかけとなった。1858年、フランスやイギリスをはじめとする諸外国が日本の港に入港できるようになると、外国の思想や技術が国内に流入したのである。擬洋風建築（ぎようふうけんちく）として知られる様式が、日本の大工たちによって開発された。彼らは伝統的な工法を駆使して、石造りや塔などの西洋建築の外観を創造的に再現した。

明治建築（1868-1912）

明治時代には、日本政府が海外から建築家や技術者を招き、若者を海外に留学させたことで、擬洋風建築は拡大した。最も影響力のあった外国人専門家の一人は、1877年に工部大学校（現在の東京大学工学部）の教授であったイギリス人建築家ジョサイア・コンドル（1852-1920）である。彼の教え子の多くは後に大きな成功を収めた。辰野金吾（1854-1919）は関門海峡地域のいくつかの建物を設計し、妻木頼黄（1859-1916）は旧門司税関の設計を担当した。

この時代、赤煉瓦は西洋から広く輸入され、その特徴的な素材は明治期の象徴となった。旧下関英国領事館は、外国人建築家が赤煉瓦を使い、一貫して西洋の美学に従って設計した建物の例である。このような建物は、官公庁、企業、教育施設であることが多いが、民間の建築物（店舗や倉庫など）もこの様式で建てられている。一般的には、赤煉瓦は1800年代後半から1900年代前半の建築であることを示す特徴である。

大正建築（1912-1926）

大正時代の建築家たちは西洋の設計様式に親しんでいたため、この時代の建築には伝統的な要素と外国の要素が融合していることが多い。その一例が1915年に建てられた旧秋田商会ビルで、1階のオフィスには西洋のスタイルを取り入れ、上層の住居階には日本の伝統的な大工造りを採用している。1900年代の最初の数十年間から、総煉瓦造りの設計は徐々に鉄骨造や鉄筋コンクリート造に取って代わられた。不幸なことに、1923年の関東大震災で、煉瓦造りの建物が地震の揺れで簡単に倒壊することが実証されたことで、この変化は加速した。

同時に、大正の建築家たちは芸術的な表現を試みるようになった。1920年には、日本初の近代建築運動である「ゼツェション様式」（19世紀末に欧州で起こった美術家の運動およびその組織のこと）が登場した。この運動は、ドイツの建築表現主義やウィーンゼツェション様式（1897年結成）に触発されたものだった。この運動の指針は、伝統主義から脱却し、より独創的で自由なデザインを目指すことだった。この運動は1928年に消滅したが、そのメンバーは20世紀半ばまで日本の建築に影響を与え続けた。

昭和建築（1926-1989）

昭和初期は、旧門司郵船ビルや旧大連航路上屋に見られるように、アール・デコなどの西洋の芸術運動からの影響が特徴的である。これらの昭和初期の建築物は、精巧な装飾や豪華なモチーフを特徴としている。時が経って、この様式は、下関の関門ビルや門司区役所に見られるように、より独創的で芸術的な自由への道を拓いた。

第二次世界大戦（1939-1945）に至るまでの時代、公共建築のデザインは伝統主義に回帰し、「帝冠様式」という建築様式が採用された。帝冠様式とは新古典主義建築のことで、多くは赤レンガ造りで伝統的な入母屋造りの屋根が特徴であった。第二次世界大戦中、あらゆる時代の建築物が広範囲に及ぶ爆撃で破壊され、その後の復興期には、建築家たちは比較的早く、安価で火災や地震に強い西洋の工法や材料（鉄筋コンクリートなど）に目を向けた。現代の視座で俯瞰すると、パッとせず単調にも見える昭和後期の建築は、その当時は戦後日本の繁栄を象徴するものであったのだろう。

【タイトル】 六連島灯台

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**六连岛灯塔**

六连岛灯塔矗立在关门海峡西面的一个小岛上，与海峡对岸的“双子”部埼灯塔同建于 1871 年，是日本最古老的石基灯塔之一，已被指定为国家重要文化财产。“日本灯塔之父”理查德·布伦顿(Richard H. Brunton, 1841-1901)应明治政府的要求设计了这座灯塔。19 世纪晚期至 20 世纪早期，许多像他一样的顾问、技术指导员和工程师应邀从国外来到日本，帮助日本走向现代化。

今天，这座灯塔和附近矗立的礁石标志一起，依旧在引导着无数国际商船通过关门海峡。150 多年间，灯塔为维护海峡安全做出了贡献，但它的诞生却源于一场国际争端。

江户时代(1603-1867)末期，德川幕府政府的势力因内乱而逐渐式微，天皇所在的京都朝廷开始干预国家事务。1863 年，孝明天皇(1831-1867)表示希望将所有外国势力驱逐出境。于是，支持天皇的长州藩（今山口县）武士们便将大炮对准了通过海峡的美国和欧洲船只，西方列强也以武力还击。1864 年，英国、法国、荷兰和美国联合舰队炮击并攻入下关，结束了下关战争(1863-1864)。战后，西方列强要求日本开放更多港口进行对外贸易。随后，日本相继建造了包括六连岛灯塔在内的多座灯塔，以确保重要航道的通行安全。

<繁体字>**六連島燈塔**

六連島燈塔矗立在關門海峽西面的一個小島上，與海峽對岸的「雙子」部埼燈塔都建於 1871 年，是日本最古老的石基燈塔之一，已被指定為國家重要文化財產。這座燈塔是「日本燈塔之父」理查·布倫頓（Richard H. Brunton, 1841-1901）應明治政府的要求設計的。在 19 世紀晚期至 20 世紀早期這段時間，很多像他一樣的顧問、技術指導員和工程師應邀從國外來到日本，幫助日本走向現代化。

150 多年間，六連島為維護海峽安全做出了貢獻。今天，它和附近矗立的礁石標誌一起，依然在引導著無數國際商船通過關門海峽。然而，它的誕生卻源於一場國際爭端。

江戶時代（1603-1867）末期，德川幕府政府的勢力因為內亂而逐漸式微，天皇所在的京都朝廷開始干預國家事務。1863 年，孝明天皇（1831-1867）表示希望將所有外國勢

力驅逐出境，支持天皇的長州藩（今山口縣）武士們於是將大炮對準了通過海峽的美國和歐洲船隻，西方列強也以武力還擊。1864 年，英國、法國、荷蘭和美國聯合艦隊炮擊並攻入下關，結束了「下關戰爭」（1863-1864）。西方列強在戰後要求日本開放更多港口進行對外貿易，為了確保重要航道的通行安全，日本在之後相繼建造了包括六連島燈塔在內的多座燈塔。

＜日本語仮訳＞

六連島灯台

関門海峡の西方に浮かぶ小島に立つ灯台。六連島灯台は 1871 年、海峡を挟んで対になる部埼灯台と共に建設された。日本最古の石造基礎を持つ灯台のひとつであり、国の重要文化財に指定された。「日本灯台の父」と呼ばれるリチャード・H・ブラントン（1841-1901）が明治政府の依頼で設計した。彼のような顧問、指導者、技術者が 19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけて、日本の近代化のために海外から多数招聘された。

この灯台は、現在も近くにある礁標とともに、関門海峡を行き交う数多くの国際貿易船を導いてきた。150 年以上の間、海峡の安全を保つことに貢献してきた灯台だが、その誕生は国際紛争によるものであった。

江戸時代（1603-1867）が終わりに向かい、内紛で徳川幕府の力が弱まってくると、京都の朝廷が国政への介入をするようになった。1863 年、孝明天皇（1831-1867）は外国勢力の日本からの追放を希望した。長州藩（現在の山口県）の勤王志士達は、海峡を通過するアメリカやヨーロッパの船に大砲を向け、欧米列強はこれに武力で応じた。1864 年、英仏蘭米の連合軍が砲撃し下関の町に侵攻し、下関戦争（1863-1864）の決着がついた。その余波で、戦勝国は日本に対して、より多くの港を外国貿易のために開くことを要求した。その後、この灯台を含むいくつかの灯台が、重要な航路を安全に通るために建てられた。

【タイトル】 関門海峡ミュージアム

【想定媒体】 WEB、パンフレット、その他（アプリ）

<簡体字>

关门海峡博物馆

关门海峡博物馆堪称是一座最先进的文化体验设施，主要介绍博物馆旁这条重要水道的悠久历史。关门海峡博物馆成立于 2003 年，经过大规模翻修后于 2019 年重新开放。博物馆建筑就像一艘即将启航的巨轮，令人联想到上世纪末的豪华游轮或近未来的太空船。馆内的视听影音和互动展示引领参观者踏上探索之旅。

长廊甲板上的壮丽美景

参观路线的起点是 4 楼宽敞明亮的“长廊甲板”，自上而下参观。顾名思义，长廊甲板仿照豪华游轮的观景休息室而设计。这里不仅有明亮的落地窗、舒适的真皮沙发，还有咖啡馆，可以在这里舒心观赏下方驶过关门海峡的集装箱船、渡轮和巡逻艇。墙上挂着昔日豪华游轮的照片复制品，如 1934 年在“贺茂丸号”二等舱吸烟室下棋的乘客、向东驶往纽约的“里斯本丸号”。

关门海峡中庭

从 4 楼来到中央展区，最先映入眼帘的便是设置在“海峡中庭”中央的一面 162 平方米的弧形巨屏，它也是日本最大的投影屏幕之一。巨屏播放着妙趣横生的动画，描述了关门海峡的过去和现在。时长为 8 分钟的动画影片，分为《关门海峡的一天》《光与音乐之海》《古今关门海峡画卷》《门司港的故事》4 个短片。

从 4 楼到 2 楼的展厅由一条螺旋通道相连。通道内壁上有触摸屏，可以点击屏幕玩“发现！鱼类图鉴”和“决战岩流岛”等游戏。此外，参观者还可以在模拟游戏中驾驶潜水艇，拍摄海洋生物照片并下载留念。通过扫描门票正面的二维码，还可以选择语言，并解锁游戏的某些功能。

栩栩如生：关门海峡历史回廊

位于 3 楼的“海峡历史回廊”，展示了由日本和捷克共和国的 10 位知名艺术家创作的一系列立体实景模型，逼真地展现了海峡地区不同的故事，包括古代传说、重要战役和历史场景，并生动地介绍了不同的历史人物，如传说中的神功皇后(170-269)、耶稣会传教士

方济各·沙勿略(Francis Xavier, 1506-1552)、剑豪宫本武藏(1584?-1645)以及伟大的医生和植物学家菲利普·弗朗茨·冯·西博尔德(Philipp Franz Balthasar von Siebold, 1796-1866)。

其他立体实景模型还展示了一些鲜为人知的事件，如著名高僧空海（774-835；谥号弘法大师）于 806 年参拜“户之上山”；丰臣秀吉(1537-1598)于 1592 年遭遇海难后逃过一劫。每处立体实景模型都配有日文、英文、简体和繁体中文以及韩文的说明板。

学习区的趣味实践

“海峡体验区”位于 2 楼，通过互动游戏和展示，介绍保障海峡安全和航道繁荣的相关举措。在“集装箱起重机体验”和“关门潜水员”等模拟体验项目中，可以站在海峡管理者的角度，体验船长、海岸警卫人员和潜水员等工作。此外，只需按一下窗边的“船舶搜索”面板，就能实时看到在海峡中航行的船只。

穿越时光，回到过去

位于 1 楼和 2 楼的“海峡怀旧大道”再现了 19 世纪 90 年代至 20 世纪 20 年代门司港繁荣时期的街景。在聚光灯的照射下，生动的场景让人驻足，仿佛身临其境：一辆有轨电车在昔日国际化小城中穿行；卖香蕉的小贩与顾客谈笑风生；男人们戴着圆顶礼帽或平顶帽，身穿和服。

2 楼有一条长长的走廊，两边是同样被凝固在时光中的商店和餐馆，这里还陈列着许多老照片、地图和日用品，令人不禁回忆起往日时光。

“门司港香蕉资料室”位于怀旧大道的一角，详细介绍了 1899 年门司海外贸易的蓬勃发展，以及“香蕉叫卖”文化，这项热闹非凡的活动至今仍在港口举行。

开馆时间：9:00～17:00（入场截至 16:30）

闭馆日：全年有 5 次不定期休息日

门票：成人 500 日元，中小学生 200 日元

<繁体字>

關門海峽博物館

關門海峽博物館堪稱是一座最先進的文化體驗設施，主要展示博物館旁這條重要水道的悠久歷史。2003 年關門海峽博物館成立，2019 年經過大規模翻修後重新開放。博物館建築就像一艘即將啟航的巨輪，讓人聯想到上世紀末的豪華遊輪或近未來的太空船，而館內的視聽影音和互動展示將引領參觀者踏上探索之旅。

長廊甲板上的壯麗美景

參觀路線從 4 樓寬敞明亮的「長廊甲板」開始，從上至下參觀。顧名思義，長廊甲板是仿照豪華遊輪的觀景休息室設計的，有明亮的落地窗、舒適的真皮沙發，還有咖啡館，在這裡可以愜意地觀賞下方駛過關門海峽的集裝箱船、渡輪和巡邏艇。牆上掛著昔日豪華遊輪的照片複製品，像是 1934 年在「賀茂丸號」二等艙吸煙室下棋的乘客、向東駛往紐約的「里斯本丸號」。

關門海峽中庭

從 4 樓來到中央展區，最先映入眼簾的是「海峽中庭」中央的一面 162 平方公尺的弧形巨屏。它是日本最大的投影螢幕之一，上面播放著描述關門海峽過去和現在的動畫，妙趣橫生。動畫影片時長為 8 分鐘，分為《關門海峽的一天》、《光與音樂之海》、《古今關門海峽畫卷》以及《門司港的故事》4 個短片。

一條螺旋通道將 4 樓到 2 樓的展廳連結起來，通道內壁上有互動式觸控屏，可以點擊玩「發現！魚類圖鑑」和「決戰巖流島」等遊戲。除此以外，還可以在模擬遊戲中駕駛潛水艇，拍攝海洋生物照片並下載留念。掃描門票正面的 QR Code，就能選擇語言，解鎖遊戲的某些功能。

栩栩如生：關門海峽歷史迴廊

3 樓的「海峽歷史迴廊」展示了日本和捷克共和國的 10 位知名藝術家創作的一系列立體實景模型，逼真地展現了包括古代傳說、重要戰役和歷史場景等海峽地區不同的故事。同時還介紹了不同歷史人物，像是傳說中的神功皇后（170-269）、耶穌會傳教士方濟各·沙勿略（Francis Xavier, 1506-1552）、劍豪宮本武藏（1584?-1645）以及偉大的醫生和植物學家菲力浦·弗朗茨·馮·西博爾德（Philipp Franz Balthasar von Siebold, 1796-1866）。

另有一些立體實景模型展示了部分鮮為人知的事件，像是 806 年著名高僧空海（774-835；諡號弘法大師）參拜「戶之上山」；1592 年豐臣秀吉（1537-1598）在海難中逃過一劫。這裡的每個立體實景模型都配有日文、英文、簡體中文和繁體中文和韓文說明板。

學習區的趣味實踐

在 2 樓的「海峽體驗區」，透過互動遊戲和展示，介紹保障海峽安全和航道繁榮的相關措施。在「集裝箱起重機體驗」和「關門潛水夫」等模擬體驗中，可以站在海峽管理者的角度，體驗船長、海岸警衛人員和潛水夫等工作。此外，只需按一下窗邊的「船舶搜索」面板，就能即時看到在海峽中航行的船隻。

穿越時光，回到過去

位於 1 樓和 2 樓的「海峽懷舊大道」重現了 1890 年代至 1920 年代門司港繁榮時期的街景。在聚光燈的照射下，生動的場景讓人駐足，仿若身臨其境：一輛有軌電車在昔日國際化小城中穿行；賣香蕉的小販與顧客談笑風生；男人們身穿和服、戴著圓頂禮帽或平頂帽。

2 樓有一條長長的走廊，兩邊都是同樣被凝固在時光中的商店和餐館。這裡還陳列著許多老照片、地圖和日用品，令人不禁回憶起過去的時光。

「門司港香蕉資料室」位於懷舊大道的一角，詳細介紹了 1899 年門司海外貿易的蓬勃發展，以及「香蕉叫賣」文化，這項熱鬧非凡的活動至今仍在港口舉行。

開館時間：9:00～17:00（入場截至 16:30）

閉館日：全年有 5 次不定期休息日

門票：成人 500 日圓，中小學生 200 日圓

<日本語仮訳>

関門海峡ミュージアム

関門海峡ミュージアムは、施設のすぐ外を流れる重要な水路の歴史を紹介する最先端の文化体験施設である。ミュージアムは 2003 年に設立されたが、2019 年に大規模な改修工事を終えて再オープンした。建築は出港間近の巨大な船を模しており、前世紀末の豪華客船や近未来的な宇宙船を思わせる。映像音声と体感型の展示は、来館者を探求の旅へと誘う。

プロムナードデッキからの絶景

ミュージアムは 4 階の広々とした明るい「プロムナードデッキ」からスタートし、最上階から下層階へと進みながら体験できるよう設計されている。その名の通り、プロムナードデッキは豪華客船の展望ラウンジをモデルにしている。そこには床から天井まで広がる窓や、革張りのソファ、カフェがあり、眼下を行き交うコンテナ船やフェリー、巡視船を眺めるのに理想的なスポットだ。壁には、1934 年の賀茂丸の 2 等喫煙室でチェスに興じる乗客や、東のニューヨークへ進むリスボン丸など、往年の豪華客船の複製写真が飾られている。

関門海峡アトリウム

この中央の展示エリアへは 4 階から向かう。まず目に入るのは「海峡アトリウム」の中心に設置された日本最大級の 162 平方メートルの曲面プロジェクタースクリーンがあり、関門海峡の過去と現在を描いたアクション満載の 4 つのアニメーションが上映されている。8 分間の映像は『関門海峡の一日』、『光と音楽の海』、『古今関門海峡絵巻』、『門司港ものがたり』と名付けられている。

4 階から 2 階までのギャラリーは螺旋状の通路でつながっている。通路の内側の壁にはタッチスクリーンが並んでおり、来館者はタッチスクリーンを利用して『はっけん！お魚ずかん』や『なりきり巖流島の決

闘』などのゲームで遊ぶことができる。潜水艦を操縦して海洋生物の写真を撮影し、記念品としてダウンロードできるシミュレーションゲームもある。チケットの表面にある QR コードによって、来場者は自分の使用言語を指定したり、ゲームの特定の機能を利用したりすることができる。

歴史が息づく関門海峡歴史回廊

3 階の「海峡歴史回廊」では、日本とチェコを代表する 10 人のアーティストによる独創的なジオラマを展示しています。ジオラマは古代の伝説や重要な戦い、歴史的な場面など、海峡にまつわる様々な物語を実物のように表現している。生き生きとした展示は神話に出てくる神功皇后（170-269）、キリスト宣教師 フランシスコ・ザビエル（1506-1552）、剣豪 宮本武蔵（1584?-1645）、優秀な医師であり植物学者であったフィリップ・フランツ・フォン・シーボルト（1796-1866）など、さまざまな歴史上の人物を紹介している。

その他のジオラマには、高名な仏僧である空海（774-835、諡号弘法大師）の 806 年の戸ノ上山参拝、1592 年に豊臣秀吉（1537-1598）が海難に遭い、幸いにも一命を取り留めたなど、あまり知られていない出来事をテーマにしたものもある。各ジオラマには、日本語、英語、中国語（簡体字と繁体字）、韓国語の説明パネルが設置されている。

学習ゾーンで楽しく体験学習

2 階の「海峡体験ゾーン」では、海峡を安全で活気ある海の道として維持していくための取り組みを、体験型のゲームや展示で伝えている。「コンテナクレーン体験」や「かんもんダイバー」などといったシミュレーションでは、船長や海上保安官、潜水土などといった海峡を守る人々の仕事が体験可能。窓際の「船舶検索」パネルでは、ボタン操作で海峡を航行する船舶をリアルタイムで確認できる。

レトロレーンでタイムスリップ

1 階と 2 階にある「海峡レトロ通り」では、1890 年代から 1920 年代にかけて栄えた門司港の街並みが再現されている。スポットライトが照らす鮮やかな情景は、足を止めて、その時代その場所にいるかのような気持ちを味わわせてくれる。再現された豊かで国際的な街には路面電車が走り、バナナ売りが客と談笑し、男たちは山高帽やハンチングを和装に合わせる。

2 階では、長い廊下の両側に同じく時が止まったような店やレストランが、また多くの昔の写真や地図、日用品などが展示されており、過去のイメージを喚起させてくれる。

門司港バナナ資料室は、レトロ通りの一角にある。1899 年に門司で起こった海外貿易の大ブームや、今でも港で行われている派手で賑やかなバナナの叩き売りの文化が詳しく展示されている。

開館時間：9:00～17:00（最終入館 16:30）

休館日：年 5 回不定休

料金：大人 500 円、小中学生 200 円

【タイトル】 世紀の変わり目の日本、そして下関と門司

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

20 世纪之交的日本、下关和门司

江戸时代晚期到明治时代早期(1853-1868)

日本闭关锁国了 200 多年，直到 19 世纪晚期才向世界打开国门。17 世纪 30 年代，德川幕府(1603-1867)颁布法令，严格限制对外贸易，禁止国民出国。如此排外的“锁国”政策，主要是为了防止外来影响（尤其是基督教传教士）导致国家动乱甚至殖民地化。1854 年，美国特使马修·佩里(Matthew C. Perry, 1794-1858)准将率领海军舰队来日，迫使日本开放港口，日本这才打破了几近与世隔绝的状态。

其他西方列强纷纷效仿这种“炮舰外交”。1858 年，美国、荷兰、俄国、英国和法国分别强迫日本签订不平等条约，给予这些外国侵略者有利的贸易和外交权利，这导致了日本财政和社会变得不稳定。条约允许外国商人廉价购买黄金、白银和其他资产并带出日本，大大削弱了日本货币；同时还允许外国人享有治外法权。

人们对外国侵略的态度褒贬不一，但即便是支持日本现代化的派别，也对不平等条约深恶痛绝。长州藩（今山口县）和萨摩藩（今鹿儿岛县）的藩主历来都无法参与国家管理，其革命思潮和排外情绪也最为强烈。他们希望推翻德川幕府，恢复天皇权力，并抵抗席卷亚洲的殖民势力。

在这种紧张的国际局势下，拥护天皇的志士在“尊王攘夷”的口号下集结起来。孝明天皇(1831-1867)于 1863 年颁布诏书，反对外国列强的抗争终于付诸行动。长州藩军队迅速向通过关门海峡的美国和欧洲船只开炮。这次袭击不仅引发了与西方军队的冲突，还导致了日后德川军与萨长联军（萨摩藩和长州藩结成萨长同盟）之间的交锋。一系列的交战最终致使德川幕府于 1867 年倒台，日本在明治天皇(1852-1912)的领导下成立了新政府。

明治时代的现代化(1868-1889)

在追求现代化的过程中，明治新政府向西方寻求治理国家、发展军事和推动经济的有效模式。政府赞助了岩仓使团(1871-1873)等海外考察团，派遣代表出国学习先进的文化和技术。政府还邀请外国专家来日本讲学，并督导基础设施建设。这些努力带来了一场文化

和工业革命，西方技术、军事科学、文学、音乐、食品，甚至各种时尚潮流都大量涌入了日本。

一系列激进的改革甚至改变了社会结构。政府废除了江户时代僵化的社会等级制度，代之以三大新社会阶层：前贵族、前官僚（武士）和前平民。千百年来，底层阶级第一次可以自由选择职业和生计。但人们并不满足于社会阶层的可跨越性，而是想追求更大的权力以及在政府中的发言权。这立刻遭到了前武士阶层的反对，他们本就对失去社会地位和收入感到愤愤不平。双方的起义和抗议连年不断，并蔓延至全国各地。

明治政府试图用新成立的中央集权军队来平定动乱，并想仿效西方建立宪政制度来巩固其统治。前长州藩武士伊藤博文(1841-1909)时任宫内卿，他率领使团出国考察了西方的宪政体制。1889年，以德国普鲁士体系为蓝本的《明治宪法》正式颁布，日本建立了有限民主制度。

技术发展和军事征服(1877-1945)

1877年，日本举办了第一届内国劝业博览会，仅仅4年后又举办了第二届。19世纪80年代，日本工业化正式拉开帷幕，最初侧重于纺织等轻工业，十年后开始发展造船、采煤和炼钢等重工业。

其中许多项目最初都是国有的，但最终还是无法与私营企业竞争。于是，政府开始推进一系列大规模私有化项目，其中，1887年将长崎造船厂出售给三菱公司，1889年将三池煤矿出售给三井物产，这标志着日本造船业和煤炭业发展成为了私营经济的支柱性产业。这些产业是关门海峡地区发展的关键，对于停靠日本列岛的船只而言，关门海峡地区就是重要的煤炭储备基地和贸易中心。

除了艺术、科学和技术外，西方文化也推崇海外扩张，日本同样紧跟其步伐。自19世纪50年代开始，外国顾问一直在协助日本进行军事改革，但明治政府实行了更为广泛的改革措施，并于19世纪80年代开始在学校进行军事训练，这使得日本的军事力量很快就赶上了邻国。在中日甲午战争(1894-1895)和日俄战争(1904-1905)期间，日本的现代化陆军和海军经受了考验，并在亚洲击败了两个最强大的国家。关门海峡也成为了士兵穿越日本海前往亚洲大陆的起点。

从此，日本走上了在整个东亚和东南亚地区进行军事侵略和推行帝国主义的道路。在国外的成功进一步扩大了军方势力，也助长了他们在国内的影响力和权力。军方开始煽动政治暗杀，甚至在1936年发动政变（未遂）。军方权力膨胀而不受制约，导致海外领土不断扩张，最终引发了中国抗日战争(1937-1945)，以及之后的第二次世界大战(1939-1945)。

<繁体字>

20 世紀之交的日本、下關和門司

江戶時代晚期到明治時代早期（1853-1868）

日本在閉關鎖國了 200 多年後，直到 19 世紀晚期才向世界開放。1630 年代，德川幕府（1603-1867）頒布法令，禁止國民出國，嚴格限制對外貿易。之所以制定如此排外的「鎖國」政策，主要是為了防止外來影響（尤其是基督教傳教士）導致國家動亂甚至殖民地化。1854 年，美國特使、海軍將領馬修·佩里（Matthew C. Perry, 1794-1858）率領海軍艦隊來日，迫使日本開放港口，日本幾乎與世隔絕的狀態才被打破。

其他西方列強紛紛效仿這種「炮艦外交」。美國、荷蘭、俄國、英國和法國在 1858 年分別強迫日本簽訂不平等條約，給予了外國侵略者有利的貿易和外交權利，這讓日本財政和社會變得不穩定。條約允許外國商人廉價購買黃金、白銀和其他資產並帶出日本，大大削弱了日本貨幣。於此同時，條約還允許外國人享有治外法權。

雖然人們對外國侵略的態度褒貶不一，但即便是支持日本現代化的派別，也對不平等條約深惡痛絕。其中，長州藩（今山口縣）和薩摩藩（今鹿兒島縣）的革命思潮和排外情緒最為強烈，因為兩地的藩主歷來都無法參與國家管理。他們希望推翻德川幕府，恢復天皇權力，並抵抗席捲亞洲的殖民勢力。

在這種緊張的國際局勢下，擁護天皇的志士們喊出「尊王攘夷」口號，集結了起來。1863 年，孝明天皇（1831-1867）頒布了詔書，反對外國列強的抗爭終於付諸行動。長州藩軍隊迅速向通過關門海峽的美國和歐洲船隻開砲，這次襲擊不但引發了與西方軍隊的衝突，還導致了日後德川軍與薩長聯軍（薩摩藩和長州藩結成薩長同盟）之間的交鋒。這一系列的交戰，最後導致了德川幕府在 1867 年的倒台，日本在明治天皇（1852-1912）的領導下成立了新政府。

明治時代的現代化（1868-1889）

為了追求現代化，明治新政府向西方尋求治理國家、發展軍事和推動經濟的有效模式。政府不但派遣代表出國學習先進的文化和技術，贊助了像是岩倉使團（1871-1873）這樣的海外考察團，還邀請外國專家來日本講學並督導基礎設施建設。這些努力帶來了一場文化和工業革命，從此，西方技術、軍事科學、文學、音樂、食品，甚至各種時尚潮流都大量湧入了日本。

一系列激進的改革甚至改變了社會結構。江戶時代僵化的社會等級制度被政府廢除，取而代之的是前貴族、前官僚（武士）和前平民三大新社會階層。千百年來，底層階級第一次可以自由選擇職業和生計。然而，人們並不只滿足於社會階層的可跨越性，而是想追求更大的權力以及在政府中的發言權，這立刻遭到了前武士階層的反對，畢竟他們原本就

對失去社會地位和收入感到憤憤不平。於是，雙方的起義和抗議連年不斷，並逐漸蔓延至全日本。

明治政府除了試圖用新成立的中央集權軍隊來平定動亂，還計畫仿效西方建立憲政制度來鞏固其統治。前長州藩武士伊藤博文（1841-1909）時任宮內卿，他率領使團出國考察了西方的憲政體制。1889 年，以德國普魯士體系為藍本的《明治憲法》正式頒布，日本建立了有限民主制度。

技術發展和軍事征服（1877-1945）

日本在 1877 年舉辦了第一屆內國勸業博覽會，僅 4 年之後又舉辦了第二屆。1880 年代，日本工業化正式拉開帷幕，一開始側重於紡織等輕工業，十年後開始發展造船、採煤和煉鋼等重工業。

最早多數產業均為國有，但因為競爭不過私人企業，政府開始推進一系列大規模的國營事業私有化。其中，長崎造船廠在 1887 年出售給三菱公司，三池煤礦在 1889 年出售給三井物產，這意味著日本造船業和煤炭業發展成為了私人經營的支柱性產業，而這些產業正是關門海峽地區發展的關鍵，因為對於停靠日本列島的船隻而言，關門海峽就是重要的煤炭儲備基地和貿易中心。

在藝術、科學和技術之外，西方文化還推崇海外擴張，日本同樣緊隨其後。外國顧問自 1850 年代以來一直協助日本進行軍事改革，但明治政府實行了更為廣泛的改革措施，並於 1880 年代開始在學校進行軍事訓練，這使得日本的軍事力量很快就趕上了鄰國。日本的現代化陸軍和海軍在中日甲午戰爭（1894-1895）和日俄戰爭（1904-1905）兩場戰役中承受了考驗，還在亞洲擊敗了兩個最強大的國家，關門海峽也成為了士兵穿越日本海前往亞洲大陸的起點。

日本從此走上了在整個東亞和東南亞進行軍事侵略和推行帝國主義的道路。在國外的成功進一步擴大了軍方勢力，也助長了其在國內的影響力和權力。軍方開始煽動政治暗殺，1936 年甚至發動政變（未遂）。軍方權力膨脹而不受制約，導致海外領土不斷擴張，最後引發了中國抗日戰爭（1937-1945）以及之後的第二次世界大戰（1939-1945）。

<日本語仮訳>

世紀の変わり目の日本、そして下関と門司

江戸時代後期から明治時代初期（1853-1868）

日本は 19 世紀後半に開国するまで、200 年余り鎖国を行った歴史がある。1630 年代、徳川政権（1603-1867）は外国貿易を厳しく制限し、国民の出国を禁止する政策を実施した。この排

外的な「鎖国」政策は、動乱や植民地化につながりかねない外部からの影響（特にキリスト教宣教師）を防ぐためのものである。1854年、アメリカの特使マシュー・ペリー（1794-1858）提督が海軍の船団を率いて来航して日本に開港を迫るまで、日本は概ね孤立した状態だった。

他の西洋諸国も、このような「砲艦外交」を真似て行使した。1858年、アメリカ、オランダ、ロシア、イギリス、フランスはそれぞれ、日本を侵略した側に有利な貿易・外交的特権を与える不平等条約を日本に結ばせた。これらの不平等条約により、日本は財政的にも社会的にも不安定になった。この条約は、外国の貿易商は金や銀、その他の資産を安く購入して日本から持ち出すことを可能にすることで日本の通貨を弱体化し、一方で外国人に治外法権を認めた。

外国の侵略に対する反応はさまざまで、近代化を支持する派閥でさえ不平等条約には憤慨していた。革命的で排他的な感情が最も強かった藩は、長州（現在の山口県）と薩摩（現在の鹿児島県）であり、彼らの指導者は国家行政からは歴史的に締め出されていた。彼らは徳川幕府を倒し、天皇の権力を回復し、アジアを席卷していた植民地勢力に抵抗することを望んでいた。

こうした国際的緊張の中、勤王派の志士たちは「尊王攘夷」をスローガンに結集した。1863年に、孝明天皇（1831-1867）が勅令を發布し、列強国に対する抵抗は実行に移された。長州軍はいち早く、関門海峡を通過するアメリカやヨーロッパの船に向けて発砲した。この攻撃は、西洋勢力との衝突と、徳川軍対薩長同盟（薩摩・長州連合軍）の衝突双方の火種となった。これらの戦いは、1867年に徳川最後の将軍が退陣し、明治天皇（1852-1912）の下での新政府が樹立にまで至った。

明治期の近代化（1868-1889）

近代化を進めるにあたり、明治新政府は統治、軍事、経済のモデルを西洋に求めた。岩倉使節団（1871-1873）のような、代表者を海外に派遣して海外の文化と先進技術を学ぶ渡航を後援した。政府はまた、海外の専門家を日本に招き、指導やインフラ整備の監督を行わせた。こうした努力は、西洋の技術、軍事科学、文学、音楽、食べ物、ファッションが日本に流入する文化・産業革命をもたらした。

社会の構造さえも、一連の急激な改革によって変質した。政府は江戸時代の厳格な社会階層を解体し、旧貴族、旧官僚（武士）、旧庶民の3つの階級からなる新しい制度に置き換えた。数世紀ぶりに、下層階級は自分の職業や生計を自由に選べるようになった。しかし、彼らはこの新しい社会的流動性に満足するどころか、より大きな権利と政府への発言権を求めた。これらに反対したのは、地位と収入を失ったことに憤慨した旧武士階級だった。両者の一揆や抗議運動は全国各地で起こった。

明治政府は中央集権化された新しい軍隊を使ってこの騒乱に対処し、西洋を倣い立憲制度を作ることによって支持を固めようとした。当時宮内卿を務めていた元長州藩士の伊藤博文（1841-1909）は、海外使節団を率いて、西洋の憲法制度を研究した。1889年、ドイツのプロイセン憲法をモデルにした『明治憲法』が施行され、制限民主制が確立された。

技術的な成長と軍事征服（1877-1945）

日本初の内国勧業博覧会は1877年に開催され、そのわずか4年後にも開催された。工業化が本格的に始まったのは1880年代で、当初は繊維などの軽工業が中心だったが、10年後には造船、

石炭採掘、鉄鋼などの重工業が登場した。

このようなプロジェクトの多くは、当初は国有であったが、民間企業との競争には勝てなかった。政府は大規模な民営化プロジェクトの一環として、1887年に長崎の造船所を三菱に売却し、1889年には三池炭鉱を三井に売却した。これにより、日本の造船業と石炭産業は、非常に重要な民間産業として発展した。これらの産業は、日本列島に寄港する船舶にとって重要な石炭備蓄基地であり交易の中心地であった関門海峡地域の発展の鍵を握っていた。

芸術、科学、技術に加えて、海外への勢力拡大もまた、日本が国家のアイデンティティとして取り入れた西洋文化の特徴であった。1850年代から外国人顧問が軍事改革を手助けしていたが、明治政府は広範な改革を実施し、1880年代から学校での軍事訓練を開始した。日本の軍隊はすぐに近隣諸国と肩を並べるようになった。日清戦争（1894-1895）と日露戦争（1904-1905）において、日本は近代的な陸軍と海軍を試し、アジアで最も強い2つの国を破った。関門海峡は、日本海を渡ってアジア大陸に向かう兵士たちの出発点となった。

これらの勝利により、日本は東アジアと東南アジア全域で軍事征服と帝国主義の道を歩むことになった。海外での成功で軍部が増長していくと、国内でも影響力と権力を強め、政治的暗殺を扇動し、1936年にはクーデター未遂事件まで起こした。軍部指導者の野放図な権力と影響力は、国境をますます拡大させ、日中戦争（1937-1945）を引き起こし、やがて第二次世界大戦（1939-1945）へとつながっていった。

【タイトル】 旧門司三井俱樂部

【想定媒体】 看板

<簡体字>**旧門司三井俱樂部**

从旧門司三井俱樂部的奢华设计上，可以一窥門司在 20 世纪前几十年的繁荣景象。该俱樂部由商贸公司“三井物産株式会社”建造，于 1921 年竣工，次年就接待了访日中的著名物理学家阿尔伯特·爱因斯坦(Albert Einstein, 1879-1955)。这座建筑已被指定为国家重要文化财产。

看俱樂部外观，就能知道当时欧洲建筑风格对日本的影响之大。房屋外部裸露的木条、石板屋顶和表面拉毛的砂浆墙壁，都令人联想到德国设计，而不对称的窗户也非传统日式风格。俱樂部一楼的起居室和客厅的装修都采用了装饰艺术风格(Art Deco)，如天花板浮雕、大理石壁炉和装饰壁炉台。

爱因斯坦纪念室

阿尔伯特·爱因斯坦和妻子艾尔莎·爱因斯坦(Elsa Einstein, 1876-1936)在为期 43 天的日本之旅的最后一程中，曾在二楼的一间套房里住了 5 天。这间唯一的西式套房重装成了这对夫妇下榻时的原貌，包括两张对他们而言显然太短的单人床、铺着豪华瓷砖的浴室。

林芙美子纪念馆

二楼有几个房间专门用于纪念門司出生的日本作家林芙美子(1903-1951)，室内陈列着与她生平相关的各类物品，如小说的早期版本、私人信件和 1932 年写于巴黎的旅行日记。此外，这里还展示了由她作品改编的电影的海报和她的个人工作室。

<繁体字>**舊門司三井俱樂部**

門司在 20 世紀最初幾十年的繁榮景象，可以從舊門司三井俱樂部的奢華設計中窺見一二。該俱樂部於 1921 年竣工，由商貿公司「三井物産株式會社」建造，在落成次年就接待了當時正在日本訪問的著名物理學家艾伯特·愛因斯坦 (Albert Einstein, 1879-1955)。這座建築已被指定為國家重要文化財產。

只要看俱樂部外觀，就能知道當時歐洲建築風格對日本的影響之大。房屋外部裸露的木條、石板屋頂和表面拉毛的砂漿牆壁，都令人聯想到德國設計，而不對稱的窗戶也非傳統日式風格。俱樂部一樓的起居室和客廳的裝修，例如天花板浮雕、大理石壁爐和裝飾壁爐台，都採用了裝飾藝術風格（Art Deco）。

愛因斯坦紀念室

在為期 43 天的日本之旅的最後一程，艾伯特・愛因斯坦和妻子艾爾莎・愛因斯坦（Elsa Einstein, 1876-1936）曾在二樓的一間套房裡住了 5 天。這間唯一的西式套房重現了這對夫婦下榻時的原貌，包括對他們而言太短的兩張單人床、鋪著豪華瓷磚的浴室。

林芙美子紀念館

二樓有幾個房間專門用來紀念門司出生的日本作家林芙美子（1903-1951），室內陳列著與她生平相關的各類物品，例如小說的早期版本、私人信件和 1932 年在巴黎寫的旅行日記。這裡還展示了由她作品改編的電影的海報，以及她的個人工作室。

<日本語仮訳>

旧門司三井俱樂部

旧門司三井俱樂部的豪華なデザインは、20 世紀初頭の数十年間に門司が経験した繁栄を体現している。旧門司三井俱樂部は商社「三井物産株式会社」によって建設され、1921 年に完成した。その翌年には訪日旅行中の著名な物理学者アルベルト・アインシュタイン（1879-1955）を迎え入れた。旧門司三井俱樂部は国の重要文化財に指定された。

建物の外観は、当時の日本におけるヨーロッパの強い影響を反映している。むき出しの木材、スレート屋根、スチプル仕上げのモルタルはすべてドイツのデザインを想起させるもので、日本建築では異例な左右非対称の窓がある。クラブの 1 階の居間と応接間は、天井のレリーフ、大理石の暖炉、装飾的なマンツルピースに見られるように、アール・デコ様式で調度されている。

アインシュタインメモリアルルーム

アルベルト・アインシュタインと妻のエルザ（1876-1936）は、43 日間の訪日旅行の最後に、この俱樂部の 2 階の客室を 5 日間利用した。この唯一の洋室スイートは、短すぎるツインベッドや豪華なタイル貼りのバスルームなど、夫妻が滞在した当時の姿に復元されている。

林芙美子記念館

2 階には門司出身の作家、林芙美子（1903-1951）を記念した複数の部屋がある。林芙美子の小説の初版本や私的な手紙、1932 年のパリ旅行日記など、彼女の生涯にまつわる品々が展示されている。また、彼女の作品を映画化したポスターや、個人的なワークスペースを中心とした展示

もある。

【タイトル】 旧大阪商船ビル

【想定媒体】 看板

<簡体字>

旧大阪商船大楼

这座大楼建于 1917 年，曾是全球航运公司“大阪商船株式会社(OSK)”门司分公司，内设候船室和办公室，1991 年被北九州市收购后修复。

大楼刚建成时是门司最高的建筑，在云集了众多贸易公司的门司港脱颖而出，其引人瞩目的设计本身就是大阪商船最完美的广告。这座大楼至今仍是门司的地标建筑。

钢筋混凝土结构的外立面上覆盖着仿红砖的瓷砖；屋顶的天窗（老虎窗）、带有穹顶的八角形塔楼及其底部的菱形装饰，都是分离派（19 世纪末欧洲的艺术发起的革新运动及组织）建筑风格的元素。这种建筑流派主要流行于 20 世纪早期的奥地利和德国。

一楼是当地艺术家的作品展览空间，渡濑政造美术馆里展出了这位生于神户长于本地的艺术家的漫画、广告和插图作品。1983 年的《心情鸡尾酒》(Heart Cocktail)系列漫画将美国西海岸色彩斑斓的波普艺术(Pop Art)与传统的日本风光、场景融为了一体，是渡濑政造(1945-)最著名的作品。

打开世纪之锁

通往展厅的走廊上矗立着一个 1.4 吨重的保险柜，是 1896 年为三菱合资会社（三菱商事株式会社的前身）制造的，该公司是 20 世纪之交在门司的众多贸易公司之一。保险柜的锁定装置和刻度盘上刻着日文而非阿拉伯数字，来访者可以尝试能否打开这把“世纪之锁”。

<繁体字>

舊大阪商船大樓

這座建於 1917 年的大樓曾是全球航運公司「大阪商船株式會社（OSK）」門司分公司，內有候船室和辦公室，1991 年被北九州市購買後修復。

大樓剛建成時是門司最高的建築，在當時雲集了眾多貿易公司的門司港獨樹一幟，其令人矚目的設計就是大阪商船最完美的廣告，至今它依然是門司的地標建築。

鋼筋混凝土結構の外立面上覆蓋著仿紅磚的瓷磚。屋頂的天窗、帶有穹頂的八角形塔樓及其底部的菱形裝飾，都是分離派（19 世紀末歐洲的藝術家發起的革新運動及組織）建築風格的體現。這種建築流派在 20 世紀早期主要流行於奧地利和德國。

一樓是當地藝術家作品的展覽空間，渡瀨政造美術館裡展出了這位生於神戶長於當地的藝術家的漫畫、廣告和插圖作品。1983 年的《心情雞尾酒》（Heart Cocktail）系列漫畫，將美國西海岸色彩斑斕的波普藝術（Pop Art）與傳統的日本風景、場面融為了一體，是渡瀨政造（1945-）最著名的作品。

打開世紀之鎖

通往展廳的走廊上矗立著一個保險櫃，重達 1.4 公噸，這是 1896 年為三菱合資會社（三菱商事株式會社的前身）製造的，該會社是 20 世紀之交在門司的眾多貿易公司之一。保險櫃的鎖定裝置和刻度盤上刻著日文而非阿拉伯數字，遊客可以試試看是否能打開這把「世紀之鎖」。

<日本語仮訳>

旧大阪商船ビル

1917 年に建てられたこの建物は、1991 年に北九州市が購入・復元するまで、世界的な海運会社であった大阪商船株式会社（OSK）・門司支店であった。中には、旅客待合所と事務所があった。

建てられた当時は門司で最も高い建物で、その目立つデザインは OSK の広告塔として機能したと思われる。門司が数多くの貿易商で賑わう港であった時代には、この建物はひととき目立つ存在であったろうし、現在でも地域のランドマークとして機能している。

ファサードは鉄筋コンクリートに煉瓦仕上げのタイルで覆われている。屋上のドーマー窓や、ドーム型の尖塔を備えた八角形の塔屋と菱形の装飾を基部に持つ八角形の塔は、20 世紀初頭頃にオーストリアやドイツを中心に流行した、ゼツェション様式（19 世紀末に欧州で起こった美術家の運動およびその組織のこと）の建築の特徴である。

1 階には地元アーティストの展示スペースがあり、その中には神戸生まれ地元育ちの作家、わたせせいぞうギャラリーがある。ギャラリーでは彼のマンガ、広告、イラストレーションなどの作品を展示している。わたせせいぞう（1945-）といえば、1983 年に発表された「ハートカクテル」というアメリカ西海岸風のカラフルなポップ・アートと日本の伝統的な風景や設定を融合させたマンガシリーズがおそらく最も有名であろう。

世紀の鍵を解く

展示スペースから続く廊下には、世紀の変わり目に数多くあった商社のひとつ、三菱合資会社（現在の三菱商事の前身）のために 1896 年に作られた 1.4 トンの金庫がある。ロック機構と文字盤には、アラビア数字ではなく日本語の文字が刻まれている。見学者は、この金庫の鍵を解除し開けること

ができるか試すことができる。

【タイトル】 旧門司税関

【想定媒体】 看板

<簡体字>**旧門司海關大樓**

最初の海關大樓建於 1909 年，但不久就毀於火災。目前的建築建於 1912 年，屋頂在第二次世界大戰(1939-1945)期間被燃燒彈炸毀之後，大樓被木板封住，長期空置。修復工程始於 1991 年，並於 1995 年作為門司港懷舊歷史街區一員重新對外開放。如今這裡是一個公共空間，設有水果主題咖啡館以及有關海關執法和走私的展區，後者展示了海關人員查緝的非法毒品和走私者藏匿毒品的各種方式。

明治時代(1868-1912)建築界三大巨匠之一、著名建築師妻木賴黃(1859-1916)設計了這座建築，這也是他存世不多的作品之一。東京日本橋和橫濱紅磚倉庫的設計令他聞名天下。突出的天窗（老虎窗）、屋頂四周的石雕飛檐以及室內吊燈，將新文藝復興建築風格體現得淋漓盡致。內牆曾經覆蓋著白色灰泥，現被剝離，露出了牆面原有的百年磚砌結構。

在三樓臨海一角的小小觀景空間，可以一覽門司海濱和門司港懷舊歷史街區的部分區域。

<繁体字>**舊門司海關大樓**

最初的海關大樓建於 1909 年，但不久就被火災焚毀。現在這座建築建於 1912 年，屋頂在二戰（1939-1945）期間被燃燒彈炸毀之後，大樓被木板封住，長期空置。修復工程始於 1991 年，並於 1995 年作為門司港懷舊歷史街區的一部分重新對外開放。現在這裡是一個公共空間，設有水果主題咖啡館以及有關海關執法和走私的展區，後者展示了海關人員查緝的非法毒品和走私者藏匿毒品各種方式。

明治時代（1868-1912）建築界三大巨匠之一、著名建築師妻木賴黃（1859-1916）設計了這座建築，這也是他存世不多的作品之一，東京日本橋和橫濱紅磚倉庫的設計令他赫赫有名。突出的天窗、屋頂四周的石雕飛簷以及室內吊燈，淋漓展現了新文藝復興建築風格。建築內牆曾經覆蓋著白色灰泥，現被剝離，露出了牆面原有的百年磚砌結構。

在三樓臨海一角的小小觀景空間，可以一覽門司海濱和門司港懷舊歷史街區的部分區域。

＜日本語仮訳＞

旧門司税関

1912年に建てられたこの税関は、1909年に建てられたが間もなく焼失した税関に代わるものであった。戦時中の焼夷弾爆撃で屋根が破壊された後、この建物は長い間板張りの空き家となっていた。1991年から修復が始まり、1995年には門司港レトロ歴史地区の一部として再オープンした。現在では果物をテーマにしたカフェや、税関の取り締まりや密輸に関する展示がある公共スペースになっている。税関職員が探す違法薬物や、密輸業者がそれを隠そうとしたさまざまな方法についての展示も行われている。

この建物は、明治時代（1868-1912）の著名な建築家、妻木頼黄（1859-1916）の作品である。妻木頼黄は東京・日本橋や横浜・赤レンガ倉庫を設計したことで有名な明治建築界の三大巨匠の一人とされるおり、この建物は彼が関与した現存する数少ない建築物の一つである。突き出たドーマー窓や屋根に沿った石彫りのコーニス、そして室内のシャンデリア、いずれもネオ・ルネサンス様式建築の特徴である。内壁はかつて白い漆喰で覆われていたが、いまは取り除かれ、100年以上前の煉瓦造りが露出している。

建物の3階には、海岸に面した一角に小さな展望室がある。そこからは門司のウォーターフロントと門司港レトロ歴史地区の一角が見渡せる。

【タイトル】 旧大連航路上屋

【想定媒体】 看板

<簡体字>**旧大连航线上屋**

旧大连航线上屋曾经是一处码头大厅，也是经大连（旅顺港，当时又称亚瑟港）前往亚洲大陆的船只在日本国内停靠的最后一站。船只从大阪启航，在神户装载货物，最后停靠门司，装载煤炭等更多货物和乘客后，横渡日本海。

这座钢筋混凝土结构建筑于 1929 年建成。这里后因填海造地，海岸线后退了 160 米，前方的旧系缆桩显示了客船曾经停靠之处。建筑的一楼曾经是办公室、仓库和检查设施，二楼为电报室、行李检查区和旅客候船大厅。

海运展区

旧码头大厅内现在陈列着日本著名船只的模型、古老的航运海报和从前的海军装备。其中一个展区介绍了与北九州市缔结友好城市或姐妹城市的众多城市，其中就包括中国大连。另有一个互动展览让参观者练习如何打帆船结。

电影和表演资料馆“松永文库”

资料馆位于一楼。松永武(1935-2018)是出生于门司的电影纪念品收藏家，2009 年他将多达数万件的收藏品全部捐赠给了北九州市。2013 年，所有收藏品被移至此处并展出。在一楼入口展厅的航海展品中，有一台用于早期 CEL 手绘动画的老式多平面摄影机，它曾经制作了《龙猫》（1988 年）等多部经典动画电影。其他展品则在展厅后方展出。

<繁体字>**舊大連航線上屋**

舊大連航線上屋曾經是一座碼頭大廳，也是經大連（旅順港，當時又稱亞瑟港）前往亞洲大陸的船隻在日本國內停靠的最後一站。船隻從大阪啟航，在神戶裝載貨物，最後停靠門司，裝載煤炭等更多貨物和乘客後橫渡日本海。

1929 年，這座鋼筋混凝土結構建築建成。之後因為填海造地，海岸線後退了 160 公尺，前方的舊繫纜樁顯示了客船曾經停靠之處。建築的一樓曾為辦公室、倉庫和檢查設備，二樓是電報室、行李檢查區和旅客候船大廳。

海運展區

如今，舊碼頭大廳內陳列著日本著名船隻的模型、古老的航運海報和從前的海軍裝備。其中一個展區介紹了多個與北九州市締結友好城市或姐妹城市，其中就包括了中國大連。還有一個互動展覽讓遊客練習如何打帆船結。

電影和表演資料館「松永文庫」

資料館位於一樓。2009 年，出生在門司的電影紀念品收藏家松永武（1935-2018）將多達數萬件的收藏品全部捐贈給了北九州市。到了 2013 年，所有藏品被移至此處並展出。一樓入口展廳的航海展品中，有一台用於早期 CEL 手繪動畫的老式多平面攝影機，它曾經製作了包括《龍貓》（1988 年）在內的多部經典動畫電影。其他主要展品則於展廳後方展出。

<日本語仮訳>

旧大連航路上屋

かつてこの建物は、大連（旅順港—ポート・アーサーとしても知られる）経由で中国、ロシア、韓国へ向かう船の国内最終寄港地だった。船は大阪から出航し、神戸で貨物を積み込み、最後に門司に寄って石炭やさらなる貨物、旅客を乗せて、日本海を渡った。

この鉄筋コンクリート造の建物は、埋め立てによって水位線を 160 メートル広げる以前の 1929 年に建てられた。正面にある古い係留柱が、かつてはそこに客船が停泊していたことを物語っている。1 階には事務所、倉庫、検査施設があり、2 階には電信局、荷物検査場、旅客待合室があった。

海運展示

旧ターミナルでは現在、日本の著名な船舶の模型、年代物の海運ポスター、古い海軍備品のコレクションを展示している。また、大連など北九州市と友好・姉妹都市提携を結んでいる都市を紹介するコーナーや、セーリングのロープワークを学べる体験型の展示もある。

映画・芸能資料館「松永文庫」

資料館は 1 階にある。門司出身の映画記念品コレクターである松永武（1935-2018）は、2009 年に数万点に及ぶ自身のコレクションを北九州市に寄贈した。すべてのコレクションは 2013 年にここに移され、展示されている。エントランスホールの海事展示物の間では、『となりのトトロ』（1988 年）などの古典的なアニメ映画製作を含む、初期のセル・アニメーションで使用されたマルチ・プレーン・

カメラを観ることができ、ホールの先にもその他のコレクションの展示がある。

【タイトル】 大連友好記念館

【想定媒体】 看板

<簡体字>

大连友好纪念馆

这座砖石木构的建筑于 1994 年竣工，旨在纪念北九州市与中国大连市缔结友好城市 15 周年，此项友好协议标志着两座城市间的复杂关系出现了良好转机。

1895 年至 1955 年，大连旅顺港（当时又称亚瑟港）曾先后被俄、日、苏占据，而中日甲午战争(1894-1895)期间，门司曾是连接日本和大连的重要港口。

纪念馆二楼是可以自由休息的公共空间，展示与大连有关的艺术品和资料，还有一段中日双语介绍视频。

原汁原味的建筑

这座建筑复刻的原型是大连的铁路管理事务所（今大连美术馆），由俄国驻大连行政官聘请的德国建筑师于 1902 年设计建造。大楼的建筑风格受多国文化影响，它高耸陡峭的塔式屋顶和半木结构的外墙明显带有俄式和德式风格；用弧形瓦片一排排交错叠成的屋顶，又是典型的中国建筑形制，与单纯叠加瓦片的日本式样完全不同。

之所以选择复刻这座建筑，是因为其独特的设计、稀有性、历史价值以及整体美感。为了尽可能精确再现设计，复刻团队付出了巨大努力。由于原始蓝图已经遗失，建筑师特别前往大连，对现有建筑进行了仔细测量。此外，所用砖块和石材都来自原采石场，再经由大连进口。这个项目需要两座城市和两个国家之间的密切合作才能实现，尽管两座城市的历史错综复杂，但这座复刻建筑成为了双方友好的象征。

<繁体字>

大連友好紀念館

這座 1994 年竣工的磚石木造建築，是為了紀念北九州市與中國大連市締結友好城市 15 週年而建，這項友好協議標誌著兩座城市間曾經的複雜關係出現了良好轉機。

大連旅順港（當時又稱亞瑟港）在 1895 年至 1955 年期間曾先後被俄、日、蘇佔領，而中日甲午戰爭（1894-1895）期間，門司曾是連接日本和大連的重要港口。

紀念館二樓展示了與大連有關的藝術品和資料，有一段中文和日文的介紹影片，這裡也是可以自由休息的公共空間。

原汁原味的建築

這座建築復刻的原型是大連的鐵路管理事務所（今大連美術館），於 1902 年由俄國駐大連行政官聘請的德國建築師設計建造。其建築風格受到多國文化的影響：高聳陡峭的塔式屋頂和半木結構的外牆，明顯帶有俄式和德式風格；用弧形瓦片一排排交錯疊成的屋頂，又是典型的中國建築形制，與單純疊加瓦片的日本式樣完全不同。

因其獨特的設計、稀有性、歷史價值以及整體美感，人們最終決定復刻這座建築。為了盡可能精確再現設計，復刻團隊付出了許多心力。由於原始藍圖已經遺失，建築師特別前往大連仔細測量了現有建築。除此以外，所用磚塊和石材都採自原採石場，再經由大連進口。這棟建築需要兩座城市和兩個國家之間的密切合作才能實現，儘管兩座城市的歷史錯綜複雜，但重現後的建築成為了雙方友好的象徵。

<日本語仮訳>

大連友好記念館

このレンガ、石、木で造られた建物は、北九州市と中国・大連市との友好協定締結 15 周年を記念して 1994 年に建設された。この協定は、両者の複雑歴史において良い転機となった。

大連・旅順港（ポート・アーサーとしても知られる）は 1895 年から 1955 年までの間、ロシア、日本、ソ連の間で何度か統治権が移動した。一方門司は、日清戦争（1894-1895）の間、日本と大連を結ぶ重要な港であった。

2 階は自由に休憩できるパブリックスペースとなっており、大連に関する美術品や資料が展示されている。その中には中国語と日本語による紹介ビデオもある。

本格的な建築

この建物は、ロシア駐大連の行政官に雇われたドイツ人建築家によって 1902 年に設計された大連の鉄道事務所（現在の大連美術館）をモデルにしており、建物の建築様式には、多国籍なルーツが随所に見られる。急勾配の高い塔の屋根やハーフティンバーの壁などといったロシアやドイツの特徴がはっきりと見られ、瓦を重ねていく日本式とは異なる、織り合わされた曲線の瓦が連なる中国式の屋根も見られる。

この鉄道事務所が選ばれた理由は、その独特のデザイン、希少性、歴史的価値、そして全体的な美しさにあり、設計を可能な限り忠実に再現するために多大な努力が払われた。オリジナルの設計図は紛失していたため、建築家たちは大連に赴き、現存する建物の寸法を入念に測った。また、鉄道事務所の元の採石場で採掘された石材や煉瓦が、建材として大連から輸入された。このプロジェクトには両市と国家間の緊密な協力が必要であった。再現されたこの建物は、両市の複雑な歴史にもかかわ

らず友好のシンボルとなっている。

【タイトル】 関門海峡ミュージアム

【想定媒体】 看板

<簡体字>**关门海峡博物馆**

自古以来，分隔本州和九州的关门海峡就是一条重要的海上通道。海峡狭窄且水流湍急，但作为连接日本海和濑户内海的重要海上枢纽，每天都有数百艘船只通过这里。关门海峡博物馆将引领参观者踏上一段令人心驰神往的旅程，穿越这条湍急水道的历史，了解它与现代海上生活的关联。

展示区入口和售票处位于 4 楼，这里有一家咖啡厅，还有一处可俯瞰海峡壮阔美景的“长廊甲板”，参观路线就从这里开始。一条长长的螺旋式通道一直通向下方的展示区域，参观者可以在通道上通过互动触摸屏玩游戏，以及参与有关海峡沿岸生活的问答。

位于 3 楼的“海峡历史回廊”展示了一系列独具匠心的立体实景模型，展现了该地区多姿多彩、动荡不安的历史。每一处模型都配备日文、英文、简体和繁体中文和韩文说明板。参观路线的终点位于 1 楼的“海峡怀旧大道”附近，这条街道再现了 19 世纪 90 年代至 20 世纪 20 年代门司港繁荣时期的街景。

<繁体字>**關門海峡博物館**

狹窄且水流湍急的關門海峽將本州和九州分隔開來，自古以來，它就是一條重要的海上通道。這裡每天都有數百艘船隻通過，是連接日本海和瀨戶內海的重要海上樞紐。關門海峽博物館將引領遊客踏上一段令人心馳神往的旅程，穿越這條湍急水道的歷史，了解它與現代海上生活的關聯。

展示區入口和售票處位於 4 樓，這裡有一家咖啡廳，還有一處可以悠閒俯瞰海峽壯闊美景的「長廊甲板」，參觀路線就從這裡開始。順著一條長長的螺旋式通道往下進入展示區域，遊客可以在通道上使用互動觸摸屏玩遊戲，以及參與海峽沿岸生活的相關問答。

位於 3 樓的「海峽歷史迴廊」展示了一系列獨具匠心的立體實景模型，展現了該地區多姿多彩、動盪不安的歷史。每一處模型都配備了日文、英文、簡體和繁體中文和韓文說明板。參觀路線的終點在 1 樓「海峽懷舊大道」附近，這條街道再現了 1890 年代至 1920 年代門司港繁榮時期的街景。

＜日本語仮訳＞

関門海峡ミュージアム

本州と九州を隔てるこの狭くて流れの速い海峡は、古代から重要な海路だった。日本海と瀬戸内海を結ぶ重要な海上の交差点として、関門海峡には毎日何百隻もの船が行き来している。関門海峡ミュージアムは、この流れの激しい水路の歴史と現代の海洋生活とのつながりを紹介する魅力的な旅へと訪れる人々を誘う。

展示エリア入口とチケット売場は 4 階にあり、ここにはカフェもある。そして、旅は眼下に海峡の広い景色が広がる「プロムナードデッキ」からスタートする。展示エリアへは、らせん状の長い通路を下って行くが、通路ではインタラクティブ・モニターを使って、ゲームや海峡沿岸の生活に関するクイズに挑戦することができる。

3 階の「海峡歴史回廊」には、この地域の色彩豊かで、波乱に満ちた過去を紹介する独創的なジオラマを展示。それぞれのジオラマには、日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語の情報パネルが設置されている。ルートの終点は 1 階の「海峡レトロ通り」付近。ここでは 1890 年代から 1920 年代に繁栄を極めた門司港の街並みを再現している。

【タイトル】 門司港レトロ展望室

【想定媒体】 WEB、パンフレット、その他（アプリ）

<簡体字>

門司港怀旧观景台

观景台位于“門司港 Retro High Mart”摩天大楼顶层（31 层），四周玻璃幕墙环绕，宽敞明亮。这里可放眼欣赏 270°的大视野景观，俯瞰整个門司街景以及船只穿梭于关门海峡的繁忙景象。通过放大 100 倍的高清数码望远镜，还能将海峡对岸的地标建筑一览无遗。天气晴朗时，可以看到海峡对面的唐户码头、門司码头商城(Kamon Wharf)和赤間神宮。西面是下关港和岩流島，1612 年，两位著名剑术大师宮本武藏(1584?-1645)和佐佐木小次郎（生卒年不详）曾在岩流島进行过一场旷世决斗。北面则是坛之浦、火之山和关门大桥。此外，在这里还能望见門司的历史建筑，比如旧門司三井俱乐部、旧大阪商船大楼、門司港站、旧大连航线上屋和旧九州铁道本社。

門司夜景

日落之际，观景台的灯光会调成柔和的橙色，眼前这片壮观而祥和的夜景，已被指定为“日本夜景遗产”。特别是从每年 10 月左右（冬季）开始，門司港的街道会装起彩灯，令夜景更为浪漫。观景台的咖啡厅也因这幅美不胜收的夜景而声名远播，成为浪漫约会的绝佳地点。

黑川纪章

Retro High Mart 大楼耸立于門司港，高 103 米，于 1999 年竣工。这座全玻璃幕墙的摩天大楼由日本著名建筑师黑川纪章(1934-2007)设计，他最初因担纲东京中银胶囊塔（1972 年竣工，现已拆除）和参与创立“新陈代谢运动”（强调建筑和城市的设计应适应时代和用途的变化）而声名鹊起。之后，黑川纪章更是蜚声国际，柏林日德中心、墨尔本中央购物中心和阿姆斯特丹梵高美术馆新馆等作品都获得殊荣。

开馆时间：10:00～22:00（入场截止 21:30）

闭馆日：全年有 4 次不定期休息日

门票：成人 300 日元，中小學生 150 日元

<繁体字>

門司港懷舊觀景台

觀景台位於 Retro High Mart 摩天大樓頂層（31 層），四周玻璃幕牆環繞，寬敞而明亮。遊客可以在這裡 270°放眼俯瞰整個門司街景，欣賞船隻穿梭於關門海峽的繁忙景象。如果透過放大 100 倍的高解析度數位望遠鏡，還可以將海峽對岸的地標建築一覽無遺。天氣晴朗時，甚至可以看到海峽對面的唐戶碼頭、門司碼頭商城（Kamon Wharf）和赤間神宮。西面是下關港和巖流島，1612 年，兩位著名劍客宮本武藏（1584?-1645）和佐佐木小次郎（生卒年不詳）曾在巖流島進行過一場曠世決鬥。北面則是壇之浦、火之山和關門大橋。除此之外，在這裡還能欣賞到像是舊門司三井俱樂部、舊大阪商船大樓、門司港站、舊大連航線上屋和舊九州鐵道本社等門司歷史建築。

門司夜景

觀景台的燈光在日落之際會調成柔和的橙色，眼前這片壯觀而寧靜的夜景，已被指定為「日本夜景遺產」。門司港的街區從每年 10 月前後（冬季）開始會裝起彩燈，讓夜景更加浪漫。觀景台的咖啡廳也因這幅完美的夜景而聲名遠播，是浪漫約會的絕佳地點。

黑川紀章

於 1999 年竣工的 Retro High Mart 大樓高 103 公尺，聳立於門司港。這座全玻璃幕牆的摩天大樓由日本著名建築師黑川紀章（1934-2007）設計，他最早是因為擔綱東京中銀膠囊塔（1972 年竣工，現已拆除）和參與創立「新陳代謝運動」（強調建築和城市的設計應適應時代和用途的變化）而聲名鵲起。後來，因其眾多作品獲得殊榮，像是柏林日德中心、墨爾本中央購物中心和阿姆斯特丹梵谷美術館新館，黑川紀章成為了享譽國際的知名建築師。

開館時間：10:00～22:00（入場截止 21:30）

閉館日：全年有 4 次不定期休息日

門票：成人 300 日圓，中小學生 150 日圓

<日本語仮訳>

門司港レトロ展望室

ガラス張りの広々とした門司港レトロ展望室は、31 階建ての高層ビル「門司港レトロハイマート」の最上階にある。眼下には関門海峡の海上交通や市街地が、270 度の大パノラマで楽しめる。最大 100 倍の倍率を誇る高性能なデジタル双眼鏡を使えば、海峡の対岸にあるランドマークを見つけることもできる。晴れた日には、海峡を挟んで唐戸桟橋、カモンワーフ、赤間神宮を望むことができる。西に

は下関港と、1612 年に著名な 2 人の剣士、宮本武蔵（1584?-1645）と佐々木小次郎（生没年不明）の間で有名な決闘が行われた巖流島がある。北には壇の浦、火ノ山、関門橋がある。旧門司三井倶楽部、旧大阪商船ビル、門司港駅、旧大連航路上屋、旧九州鉄道本社ビルなど、門司の歴史的建造物も一望できる。

門司の夜景

日没直前には、展望室の照明が柔らかいオレンジ色に落とされる。その壮大で穏やかな夜景は、「日本夜景遺産」にも選定されている。特に 10 月頃（冬シーズン）からはイルミネーションで門司港の街並みがロマンチックに輝き、夜景が一層美しくなる。この眺めのおかげもあって、展望室のカフェテリアはロマンチックなデートに最適なスポットとして知られている。

黒川紀章

門司港に聳える高さ 103m の門司港レトロハイマートは 1999 年に竣工された。このガラス張りの摩天楼は、東京の中銀カプセルタワービル（1972 年竣工、現在は解体された）で一躍有名になり、建築運動「メタボリズム」（建築や都市は、時代や用途の変化に応じて設計すべきであるという考え方）の創立に参加したこととしても知られる建築界の第一人者、黒川紀章（1934-2007）によって設計された。黒川の名声はその後、ベルリン日独センター、メルボルン・セントラル、アムステルダムのごッホ美術館新館などといった表彰された建築作品によって、国際的にも広まった。

開館時間：10:00～22:00（最終入館 21:30）

休館日：年 4 回不定休

料金：大人 300 円、小中学生 150 円

【タイトル】 門司港レトロ展望室

【想定媒体】 看板

<簡体字>**門司港怀旧观景台**

乘坐电梯来到門司港 Retro High Mart 的 31 层，可以 270°放眼俯瞰整个門司港和關門海峡，观赏船只穿梭往来的繁忙景象。通过放大 100 倍的高清数码望远镜，甚至能将海峡对岸的地标建筑一览无遗，比如岩流岛，传奇剑豪宫本武藏(1584?-1645)与当地剑术大师佐佐木小次郎（生卒年不详）曾在这里进行过旷世决斗。

日落之际，观景台的灯光会调成柔和的橙色。城市的节奏缓缓放慢，海浪拍打着堤岸，氛围也变得轻松起来。这里的夜景已被指定为“日本夜景遗产”，不容错过。观景台的咖啡厅也成为傍晚小酌或浪漫约会的好去处。

Retro High Mart 大楼耸立于門司港，高 103 米，于 1999 年竣工。这座全玻璃幕墙的摩天大楼，由日本著名建筑师黑川纪章(1934-2007)设计。他最初因担纲东京中银胶囊塔（1972 年竣工，现已拆除）而声名鹊起，并为建筑界的“新陈代谢运动”（强调建筑和城市的设计应适应时代和用途的变化）奠定了基础。

<繁体字>**門司港懷舊觀景台**

搭乘電梯來到門司港 Retro High Mart 的 31 層，便能夠 270°放眼俯瞰整個門司港和關門海峽，愜意觀賞船隻穿梭往來的繁忙景象。如果透過放大 100 倍的高解析度數位望遠鏡，甚至能將海峽對岸的地標建築一覽無遺，像巖流島便是傳奇劍豪宮本武藏（1584?-1645）與當地劍術大師佐佐木小次郎（生卒年不詳）舉行曠世決鬥的地點。

日落之際，觀景台的燈光會調成柔和的橙色，城市的節奏緩緩放慢，海浪拍打著堤岸，氣氛也變得輕鬆起來。這裡的夜景被指定為「日本夜景遺產」，很值得一看。觀景台有一家咖啡廳，是傍晚小酌或浪漫約會的好選擇。

於 1999 年竣工的 Retro High Mart 大樓高 103 公尺，聳立於門司港。這座全玻璃幕牆的摩天大樓由日本著名建築師黑川紀章（1934-2007）設計。他最早因為擔綱東京中銀膠囊

塔（1972 年竣工，現已拆除）而聲名鵲起，也為建築界的「新陳代謝運動」（強調建築和城市的設計應適應時代和用途的變化）奠定了基礎。

＜日本語仮訳＞

門司港レトロ展望室

門司港レトロハイマートの 31 階までエレベーターで上がると、眼下 270 度には絶え間なく海上活動を繰り広げる門司港と、関門海峡の素晴らしい光景が広がる。最大 100 倍まで拡大可能な強力なデジタル望遠鏡を使えば、伝説の剣豪、宮本武蔵（1584?-1645）が地元の剣の達人、佐々木小次郎（生没年不明）と有名な決闘をした巖流島など、海峡の対岸のランドマークを見つけることができる。

日没時に、展望室の明かりは優しいオレンジ色に落とされ、街はそのスピードを落とし、波が港の壁に打ち寄せ、ゆったりとした空気に包まれる。「日本夜景遺産」に認定された夜景は必見。展望室のカフェテリアは、早めの晩酌やロマンチックなデートに最適な人気スポットである。

門司港レトロハイマートは高さ 103 メートルで門司港にそびえ立っている。ガラス張りの超高層住宅は 1999 年に竣工された。このビルは、東京の中銀カプセルタワービル（1972 年竣工）で一躍有名になり、建築界に「メタボリズム」（建築や都市は、時代や用途の変化に応じて設計すべきであるという考え方）建築運動の基礎を築いた建築家、黒川紀章（1934-2007）が設計した。

地域番号	028	協議会名	一般社団法人とこなめ観光協会

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
028-001	常滑系招き猫	265	看板
028-002	とこなめ見守り猫「とこにゃん」	380	看板
028-003	常滑焼	535	看板
028-004	やきもの散歩道	400	看板
028-005	とこなめ陶の森	240	WEB
028-006	廻船問屋 瀧田家	460	WEB
028-007	登窯（陶榮窯）	395	WEB
028-008	登窯広場	400	WEB
028-009	常滑系招き猫	795	WEB
028-010	常滑焼	875	WEB
028-011	やきもの散歩道	1225	WEB

【タイトル】 常滑系招き猫

【想定媒体】 看板

<簡体字>**常滑招财猫**

常滑是陶瓷招财猫的一大产地。

招财猫通常是带有白色、黑色和橙色斑纹的三花猫。它的一只前爪举起，另一只握着一枚金币。据说，招财猫举左爪能招徕顾客，渴望千客万来的商家特别喜欢它们；如举右爪则可以带来好运和财富。

招财猫的起源不详，但农民和店主历来都很重视猫，因为它们擅捕老鼠和其他害虫。最早的招财猫可能在 19 世纪中叶就已出现，而常滑直到 20 世纪 30 年代晚期才开始生产此类商品。

常滑盛产招财猫，其标志性风格也十分鲜明独特：大眼睛、大耳朵、跟身体一般大的脑袋。传统三花猫的招财猫依然受欢迎，不过现在的招财猫在色彩和设计上更为丰富。

<繁体字>**常滑招財貓**

常滑是陶瓷招財貓的主要產地。

招財貓通常是帶有白色、黑色與橙色斑紋的三花貓。它一隻前爪抬起，另一隻前爪握著一枚金幣。有些招財貓舉左爪，據說能招來顧客，希望生意興隆的店家特別喜愛它們。有的舉右爪，則可以帶來好運和財富。

有關招財貓的起源尚不清楚，但農民和店家歷來都很重視貓，因為牠們擅捕老鼠與其他害蟲。最早的招財貓可能出現在 19 世紀中葉，但常滑直到 1930 年代晚期才開始生產此類商品。

常滑盛產的招財貓風格也十分鮮明獨特：大眼睛、大耳朵、與身體一樣大的腦袋。現在的招財貓在色彩和設計上更為豐富，但傳統三花貓的招財貓依然受歡迎。

<日本語仮訳>**常滑系招き猫**

常滑は、「招き猫」と呼ばれる陶器の置物の一大産地である。

招き猫は通常、白、黒、オレンジの模様のある三毛猫である。片方の前足を上げ、もう片方の前足には小判を持っている。招き猫の中には左の前足を上げているものは、人を招くと言われており、千客万来を願う業種に特に人気がある。右足を上げた猫は、幸運や富をもたらす。

招き猫の起源は定かではないが、ネズミなどの害獣を捕まえることから、昔から農家や商店主は猫を大切にし、歓迎していた。最初に招き猫が登場したのは 19 世紀半ばと考えられているが、常滑で招き猫が作られるようになったのは 1930 年代後半のことである。

常滑は招き猫の生産量が多く、二頭身体に大きな目と耳、という魅力的な常滑系招き猫のスタイルが確立された。伝統的な三毛猫が今でも人気だが、さまざまな色やデザインの招き猫が登場している。

【タイトル】 とこなめ見守り猫「とこにゃん」

【想定媒体】 看板

<簡体字>

常滑守护使者——常滑喵

在常滑招财猫大道中段的高墙上，可以看见一只探着头的巨大招财猫，它就是“常滑喵”。

常滑喵(Tokonyan)由常滑中“常”的日语发音“Toko”和猫的叫声“喵”的日语发音“Nyan”组成。自 2007 年诞生起，常滑喵就一直在车站旁守护着来往行人，备受常滑市民和游客喜爱，这里也成为了热门的拍照打卡点，许多旅行者都喜欢站在旁边的天桥上与它合影。

这只大猫高 3.8 米，宽 6.3 米，是日本最大的招财猫之一。虽然它只露出了头和左前爪，但依然十分醒目地在路上欢迎着大家。沿着雕像附近的墙壁仔细观察，会发现常滑喵周围还有 11 只小巧逼真的猫咪塑像。

在常滑市陶磁器会馆和常滑站之间的常滑招财猫大道旁的水泥墙上，装点着 39 只由与常滑有渊源的陶艺家创作的招财猫，这些具备现代艺术风格的猫咪合称为“御利益陶制招财猫”。据说每只猫能带来不同的祝福，如婚姻美满、无病无灾或事业有成。

<繁体字>

常滑守護使者——常滑喵

巨大招財貓「常滑喵」從常滑招財貓大道中段的高牆上探出頭來。

常滑喵（Tokonyan）由常滑中「常」的日語發音「Toko」，以及日語中形容喵喵聲的「Nyan」組合而成。自 2007 年雕塑建成以來，常滑喵就一直在車站旁守護著來往行人，深受市民和遊客喜愛，這裡也成為熱門拍照打卡的地點，遊客很喜歡站在旁邊的天橋上與它合影。

這隻大型招財貓高 3.8 公尺，寬 6.3 公尺，是日本最大的招財貓之一。雖然只露出了頭與左前爪，依然十分引人註目地歡迎四面八方的旅客。沿著雕像附近的牆仔細觀察，會發現常滑喵的周圍還有 11 隻小巧逼真的貓咪塑像。

在常滑市陶磁器會館和常滑站之間的常滑招財貓大道旁的水泥牆上，羅列著 39 隻由與常滑有因緣的陶瓷藝術家製作的招財貓，這些具備現代藝術風格的貓咪合稱為「御利益陶製招財貓」。據說每隻貓能帶來特別的祝福，比如：婚姻美滿、身體健康或事業有成。

＜日本語仮訳＞

とこなめ見守り猫「とこにゃん」

とこにゃんは、とこなめ招き猫通りの途中にある塀の上から顔を出している巨大な招き猫である。

「とこにゃん」の名は、「とこなめ」の「とこ」と日本語で猫の鳴き声を表す「にゃん」を組み合わせたものだ。2007 年の誕生以来、駅傍で、皆を見守る「とこにゃん」は、常滑市民や観光客に愛されている。そして、ここは人気の撮影スポットとなっており、近くの歩道橋の上から一緒に記念撮影するのが定番である。

とこにゃんは高さが 3.8 メートル、幅が 6.3 メートルあり、国内最大級の招き猫である。頭と左の前足を上げた部分のみの招き猫だが、目立つ位置でみんなを迎えてくれる。近くの壁をよく探してみると、とこにゃんの周囲には 11 体の小さな本物そっくりの猫の置物があることがわかる。

常滑市陶磁器会館と常滑駅を結ぶとこなめ招き猫通り沿いのコンクリート壁には、常滑にゆかりある陶芸家たちによる、現代的に解釈された 39 体の招き猫が並んでおり、「御利益陶製招き猫」と呼ばれている。それぞれの猫には縁結び、無病息災、事業成就などのご利益があるという。

【タイトル】 常滑焼

【想定媒体】 看板

<簡体字>

常滑烧陶器

在著名的“日本六大古窑”中，常滑不仅年代最久，也是当时规模最大的一处。常滑作为传统的陶器生产中心已有大约 1000 年的历史，因此，常滑的历史和经济发展都与常滑烧陶器密不可分。

常滑的地理环境非常适合制陶。这里盛产优质粘土，而且土质松软，山势平缓，很利于在山坡上建设窑场。此外，常滑位处沿海地区，从海上运输材料和成品也很便利。

常滑烧陶器起源于平安时代(794-1185)末期，当时陶工生产的大型储物罐和烹饪用具很快走向了全国各地。19 世纪，中国宜兴紫砂壶制作技术传入该地区，从而诞生了常滑的标志产品——“急须”（茶壶），这种茶壶使用富含铁质的“朱泥”制成。1976 年，常滑烧陶器被指定为国家传统工艺品。

1830 年左右，登窑（阶梯窑）的出现促进了陶器的节能批量生产。19 世纪下半叶，日本迅速进入现代化，常滑也开始制造瓦片和排水管道。当地大规模的陶瓷生产在 20 世纪 50 年代达到巅峰。

近几十年来，生活方式的改变和来自海外市场的热切关注，促使常滑烧陶器更加多样化。工匠们应对不断变化的需求，将传统工艺与顺应现代生活的陶器烧制工艺相结合，确保了当地陶瓷业继续蓬勃发展。陶瓷招财猫、盆景花盆和朱泥急须茶壶是当下最受欢迎的产品。

来访者可以在常滑陶之森（位于“陶器之路”步行街 B 线上）进一步了解常滑烧陶器。

<繁体字>

常滑燒陶器

在著名的「日本六大古窯」中，常滑不僅歷史最悠久，且是當時規模最大的一處。常滑的製陶傳統可以追溯到大約 1000 年前，因此，常滑的歷史和經濟發展與常滑燒有著密切的關係。

常滑周圍的地理環境非常適合製陶。這裡擁有優質黏土，土質鬆軟且山勢平緩，相當利於在山坡上建設窯場。此外，常滑位處沿海地區，從海上運輸原物料和成品也十分方便。

常滑焼陶器起源於平安時代（794-1185）末期，當時陶工生產的大型儲物罐和烹飪用具迅速在全國各地流行。19 世紀，中國宜興紫砂壺製作技術傳入該地區，從而誕生了常滑的代表性產品——「急須」（茶壺），這種茶壺使用富含鐵質的「朱泥」製成。1976 年，常滑燒陶器被指定為國家傳統工藝品。

1830 年左右，登窯（階梯窯）的出現促進了陶器的節能批量生產。19 世紀下半葉，日本迅速進入現代化，常滑也開始製造瓦片和排水管道。大規模的陶瓷生產在 1950 年代達到巔峰。

近幾十年來，因生活方式的改變和海外市場的開拓，常滑燒成品變得更加多樣化。工匠們為了滿足時代品味的變化，將傳統工藝與順應現代生活的陶器燒製工藝相結合，確保了當地陶瓷業繼續蓬勃發展。陶瓷招財貓、盆栽花盆和朱泥急須茶壺是當下最受歡迎的產品。

遊客可以在常滑陶之森（位於「陶器之路」步行街 B 線上）進一步了解常滑燒。

<日本語仮訳>

常滑焼

常滑は、「日本六古窯」の中で、最古の歴史を持ち、当時最大規模の産地といわれ、約 1000 年続く伝統的な焼き物の産地である。そのため、常滑の歴史と経済的な発展は常滑焼とは切っても切れない関係にある。

常滑の周辺は、焼き物づくりに最適な環境が整っていた。良質な土が豊富に供給され、柔らかい土壌となだらかな丘陵は窖窯を掘りやすかった。さらに、沿岸部に位置しているため、材料や完成品などを運ぶための海へのアクセスも容易だった。

常滑焼の発祥は平安時代（794-1185）末期で、陶工たちが作り始めた大型の貯蔵甕や調理具はすぐに全国に広まった。19 世紀になると、中国宜興窯から持ち込まれた紫砂急須製法技術により、鉄分の多い赤土を使った常滑を代表する急須が作られるようになった。1976 年に、常滑焼は国の伝統的工芸品に指定された。

1830 年頃に登り窯が登場したことで、エネルギー効率の高い大量生産を容易に行えるようになった。日本で急速な近代化が始まった 19 世紀後半、常滑では瓦や給排水用の管を生産していた。大規模な陶磁器生産は 1950 年代にピークを迎えた。

ここ数十年、生活様式の変化や海外からの関心の高まりにより、常滑焼はさらに多様化した。職人たちは嗜好の変化に対応し、伝統的な技法と現代の暮らしに寄り添った焼物づくりの両方を取り入れながら、常滑焼を着実に繁栄させていった。招き猫の置物や盆栽鉢、赤土の急須などが今最も人気がある。

常滑焼については、「やきもの散歩道」B コースにある「とこなめ陶の森」で詳しく知ることができる。

【タイトル】 やきもの散歩道

【想定媒体】 看板

<簡体字>

“陶器之路”步行街

想要了解常滑的传统产业遗产，漫步“陶器之路”是上佳选择。从常滑市陶磁器会馆出发有两条路线：A线全长1.6公里，途中经过常滑一些最热门的景点，行程约1小时；B线全长4公里，沿途可以了解本地的陶瓷历史，行程约2.5小时。如果希望花更长时间来欣赏更多景点，或是尽情享受购物乐趣，不妨手持一张地图，沿途跟着英文标识慢慢游览。

陶器之路是一条以荣町地区为中心的步行街，狭窄蜿蜒的街道充盈着怀旧氛围，漫步于此，不时就会与保留了旧时黑色外墙的传统民居和制陶工坊擦肩而过。当地居民用常滑烧陶器来美化街道和庭园，为街区锦上添花。新一代工匠和企业家则将沿线的空置建筑改造成了陶器工作室、艺术画廊和咖啡馆。

陶器之路步行街诞生于1974年，2007年被列入“日本优美历史风土准100选”。它不仅保护了古镇景观，还为将常滑打造成旅游胜地做出了贡献。

沿着这条小路观光时，请尊重居民的隐私，如遇下雨天请留意路面湿滑。

<繁体字>

「陶器之路」步行街

想要了解常滑市的傳統產業遺產，漫步「陶器之路」是最佳選擇之一。從常滑市陶磁器會館出發有兩條路線：A線全長1.6公里，途中會經過常滑市一些熱門的景點，全程約1小時；B線全長4公里，沿途可以了解當地陶瓷歷史，全程約2.5小時。如果願意花更多時間欣賞更多景點，或是享受購物樂趣，不妨拿張地圖，跟著英文標誌指引盡情遊覽常滑市。

陶器之路是一條以榮町地區為中心的步行街。街道狹窄蜿蜒，懷舊氛圍充盈其中。漫步此地，不時會與保留了黑色外牆的傳統民居和製陶工坊擦肩而過。這裡的居民們用常滑燒陶器美化街道與庭園，新生代的藝術家們、實業家們也將當地空閒居所改裝成陶藝工作室、藝廊與咖啡館，為陶器之路增添另一種風貌。

陶器之路步行街誕生於1974年，於2007年被列入「日本優美歷史風土準100選」。步行街為保存古鎮景觀和發展常滑市的旅遊產業做出了貢獻。

漫步陶器之路時，請尊重當地居民的隱私，同時在下雨天時請留意腳下。

<日本語仮訳>

やきもの散歩道

やきもの散歩道を歩くのは、常滑の歴史的産業遺産を知る最適な方法の1つだ。コースは2種類あり、いずれも常滑市陶磁器会館を出発地点とする。Aコースは全長1.6キロで、常滑で最も人気のある名所がいくつか含まれており、1時間程度。Bコースは全長4キロで、常滑の焼き物の歴史のあらしがわかり、2時間半程度。多くの見どころを満喫したい、またはお買い物を楽しみたければ、もっと長い時間をかけたくなるかもしれない。地図を手に、道中にある英語の看板を探してみよう。

やきもの散歩道は、栄町地区が中心となっている。多く残る細く曲がりくねった通りは当時の雰囲気を残し、昔ながらの黒壁の家屋や窯元のそばを通る。住民たちは通りや庭を常滑焼で飾ることでこの地域の魅力を高め、新しい世代の職人や起業家たちはコース沿いの空き家を陶芸工房やアートギャラリー、カフェに生まれ変わらせた。

やきもの散歩道は1974年に生まれ、2007年に「美しい日本の歴史的風土100選」に選定され、歴史的町並みの保存と常滑の観光地化に貢献してきた。

散歩道を歩く際は住民のプライバシーを尊重し、雨天時は滑りやすいので注意しよう。

【タイトル】 とこなめ陶の森

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**常滑陶之森**

常滑在著名的“日本六大古窑”中，年代最老，也是当时规模最大的一处，作为传统的陶器生产中心已有大约 1000 年的历史。“常滑陶之森”是一处弘扬常滑丰富的制陶传统文化、展望其未来的文化场馆，由提供实用信息的资料馆、陶艺研究所，以及培养年轻陶瓷艺术家的工作室构成。

场馆内展示了数世纪以来的常滑烧陶器精品，每一展区都用英语详尽介绍了陶器展品及其制作工艺。

常滑陶之森位于“陶器之路”步行街 B 线上，从常滑站步行 25 分钟即可到达。

开馆时间：9:00～17:00

闭馆日：周一（如遇节日顺延）、元旦放假期间

<繁体字>**常滑陶之森**

常滑被譽為「日本六大古窯」之一，不僅歷史最悠久，且是當時規模最大的一處，作為傳統陶器的產區，其歷史可追溯至大約 1000 多年前。「常滑陶之森」是一座文化場館，目的在於弘揚豐富的製陶傳統文化、展望未來。它由提供實用資訊的資料館、陶藝研究所，以及培養年輕陶瓷藝術家的工作室構成。

場館展示了數世紀以來的常滑燒陶器精美作品，每個展區都用英語詳盡介紹了陶器展品及其製作工藝。

常滑陶之森位處「陶器之路」步行街 B 線上，從常滑站步行 25 分鐘即可到達。

開館時間：09:00～17:00

休館日：每週一（如遇节日顺延）、元旦假期

<日本語仮訳>

とこなめ陶の森

常滑は「日本六古窯」の中で、最古の歴史を持ち、当時最大規模の産地といわれ、約 1,000 年の伝統を持つ焼き物の産地である。とこなめ陶の森は、常滑市の豊かな焼き物の遺産をたたえ、未来を展望する文化施設である。有用な情報を提供する資料館、陶芸研究所、そして若手陶芸家育成のための研修工房で構成されている。

館内には、何世紀にもわたって作り続けられてきた常滑焼の逸品が展示されている。展示品の各セクションでは、作品とその製作に使用された技術について、英語で詳しく説明されている。

とこなめ陶の森は「やきもの散歩道」B コース内にあり、常滑駅から直行で徒歩 25 分で到着する。

開館時間：9:00～17:00

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日休み）、年末年始

【タイトル】廻船問屋 瀧田家

【想定媒体】WEB

<簡体字>**廻船問屋・瀧田家族故居**

瀧田家族曾在常滑经营一家“廻船問屋”（船运公司），公司开业不久便积累了丰厚的资产，于1850年建造了一座面向伊势湾的住宅。这座故居经过后人忠实的修缮和还原，来访者通过参观里面精美的旧时家具、陶瓷和漆器，可以了解到他们的家庭、生活方式和船运业务。故居内还介绍了当地船运业的发展历史。

随着18世纪当地工业和经济的发展，位于知多半岛的常滑成为了海上运输中心。瀧田家族从天保年间(1831-1845)中叶开始经营船运业务，据考证，他们当时已经拥有包括“宝周丸”在内的6艘木船，主要从事稻米、鱼肥、盐以及酿酒设备等贸易。1877年的年中，瀧田家族退出船运业。故居内陈列着一艘1:15比例的木船复制品。

此处住宅被常滑市接管之前，瀧田英二和妻子はるみ(Harumi)以及两个孩子居住在这里。他们的女儿あゆち(Ayuchi,1932-2005)是日本航空公司(JAL)第一位女性高管，后来还担任了日本政府的顾问。

瀧田家族故居位于“陶器之路”步行街A线上。

开馆时间：9:30～16:30

闭馆日：每周三和元旦放假期间

<繁体字>**廻船問屋・瀧田家故居**

瀧田家曾在常滑經營一家「廻船問屋」（船運公司），營運不久後便積累了豐厚的資產，於1850年建造了一座面向伊勢灣的住宅。這座故居經歷修復後忠實重現了原貌，遊客可透過內部陳列的精美古董家具、瓷器與漆器，了解當時他們的家族、生活方式以及船運業務。故居內還有對當地船運業發展歷史的介紹。

在18世紀，隨著當地工業與經濟的發展，坐落於知多半島的常滑成為了海上運輸中心。瀧田家從天保年間（1831-1845）中葉開始經營船運業務，據考證，他們當時已經擁

有了包括「寶周丸」在內的 6 艘木船，主要從事稻米、魚肥、鹽以及釀酒設備等貿易。
1877 年的年中，瀧田家退出船運業。故居內陳列著一艘 1:15 比例の木船複製品。

這處住宅在被常滑市接管前住著瀧田家後人瀧田英二與妻子はるみ（Harumi），以及兩個孩子。他們的女兒あゆち（Ayuchi,1932-2005）是日本航空公司（JAL）第一位女性主管，後來還擔任日本政府的顧問。

瀧田家故居是「陶器之路」步行街 A 線上的景點。

開放時間：09:30～16:30

閉館日：每週三和元旦假期

<日本語仮訳>

廻船問屋 瀧田家

常滑で廻船問屋を営んでいた瀧田家は、収益の大きなその商売を始めて間もない 1850 年に、伊勢湾に面した場所に邸宅を建てた。その旧宅は忠実に復元されており、一族とその生活様式、彼らの海運業について当時の家具、陶磁器、漆器などから学ぶことができる。また、当地における海運の発展の歴史を説明する有益な展示もある。

18 世紀にこの地域の産業と経済が発展するにつれ、知多半島に位置する常滑は海運の中心地となった。瀧田家は天保年間（1831-1845）半ばから廻船業の経営をはじめ、宝周丸など 6 艘の舟が確認されている。これらの舟を使って、米、魚肥、塩や酒造道具などを取引していた。1877 年半ばには廻船業から撤退した。なお、当時の船の 15 分の 1 サイズの複製が家の中に展示されている。

市が管理を引き継ぐ前、この家に最後に住んでいたのは、瀧田英二と妻のはるみ、そして 2 人の子供たちだった。娘のあゆち（1932-2005）は、日本航空初の女性役員であり、後に日本政府の顧問を務めた。

廻船問屋 瀧田家は「やきもの散歩道」A コース内にある。

営業時間：午前 9:30～16:30

定休日：毎週水曜、年末年始

【タイトル】登窯（陶榮窯）

【想定媒体】WEB

<簡体字>**登窑（陶荣窑）**

这座令人印象深刻的砖砌建筑盘踞在“陶器之路”步行街 A 线沿途的一座小丘上，坡度约 17 度。它是常滑最后一座“登窑”（阶梯窑）。

登窑是建在斜坡上的窑炉，起源于中国，17 世纪早期经朝鲜半岛传入日本，1830 年左右开始在常滑投入使用。陶荣窑从 1887 年一直运营至 1974 年。

窑炉被划分为多个小室，能以高效节能的方式烧制大量陶器，尤其是釉陶。陶荣窑有 8 个窑室，以木材和煤炭为燃料，10 个不同高度的烟囱可以保持窑内温度一致。窑炉采用合作运营的方式，由附近的制陶工坊轮流看管。

从 19 世纪中叶开始，日本迅速推进现代化。1901 年至 1910 年间，常滑地区已有约 60 座登窑，这些窑炉生产的盆景花盆和急须茶壶被源源不断地运往全国各地。20 世纪中叶，由于技术进步和更为严格的环境法规，陶荣窑于 1974 年停产。

1982 年，陶荣窑被指定为国家重要物质民俗文化财产，2007 年又被认定为近代化产业遗产。

<繁体字>**登窯（陶榮窯）**

這座令人印象深刻的磚砌建築盤踞在「陶器之路」步行街 A 線沿途的一座小丘上，坡度約 17 度。它是常滑最後一座「登窯」（階梯窯）。

登窯是建在斜坡上的窯爐，起源於中國，17 世紀早期經朝鮮半島傳入日本，1830 年左右開始在常滑使用。陶榮窯從 1887 年一直運作至 1974 年。

窯爐被劃分為多個小空間，能以高效節能的方式燒製大量陶器，尤其是釉面陶器。陶榮窯有 8 個窯室，以木材和煤炭為燃料，10 個不同高度的煙囪可以保持窯內溫度一致。窯爐採用合作經營的方式，由附近的製陶工坊輪流看管。

從 19 世紀中葉開始，日本迅速推進現代化。到 1910 年代，常滑地區已有 60 座左右的登窯，它們生產的盆景花盆和急須茶壺遍及全國各地。20 世紀中葉，由於技術進步以及更為嚴格的环境法規，陶榮窯於 1974 年停產。

1982 年，陶榮窯被指定為國家重要有形民俗文化財産，2007 年又被認定為近代化産業遺産。

＜日本語仮訳＞

登窯（陶榮窯）

この印象的なレンガ造りの建物は、やきもの散歩道 A コース沿いの丘の上に、傾斜約 17 度で建っている。常滑最後の「登窯」である。

登窯とは、斜面に築かれた窯のことで、その起源は中国にある。17 世紀初頭に朝鮮半島を経由して日本に伝わり、常滑では 1830 年頃から使われていた。陶榮窯は 1887 年から 1974 年まで操業していた。

窯は小部屋に分かれており、大量の陶器、特に施釉されたものをエネルギー効率よく焼成することができる。陶榮窯には 8 つの焼成室があり、薪と石炭を燃料としていた。高さの異なる 10 本の煙突は、窯の中の温度を均一に保つことができる。窯は、近隣の窯元が交代で見守る共同作業という形で運営されていた。

19 世紀半ばから日本は急速に近代化し、1910 年代には 60 ほどの登窯が常滑で操業していた。登窯では全国で使用する盆栽鉢や急須を生産していた。20 世紀半ばの技術の向上や環境規制の強化により、陶榮窯での生産は 1974 年に停止された。

陶榮窯は、1982 年に国の重要有形民俗文化財に指定され、2007 年には近代化産業遺産にも認定された。

【タイトル】登窯広場

【想定媒体】WEB

<簡体字>**登窑广场**

登窑广场邻近砖砌的登窑（陶荣窑），位于“陶器之路”步行街 A 线中段，最适合歇脚小憩。广场的亮点是一座两层建筑——登窑广场展示工房馆，一楼展示保存完好的 19 世纪窑炉，二楼则是展览空间和工作室。

来访者可以进入窑内参观。这种“两面焚倒焰式角窑”有两个入口，便于有效地把陶器放入窑内。多年来，该窑一直用于烧制烧酒瓶等陶器。

展览空间展示了当地新锐陶瓷艺术家的作品，种类繁多，很适合购作纪念品或礼品。在工作室，来访者可以亲手为陶器或招财猫上色（收费），老少皆宜，无需预约。不过，作品需要上釉烧制，在几周后才能寄给参与者（仅限日本国内）。

广场上有两件大型现代户外陶瓷艺术作品。位于广场中央的《时空》是柴田正明(1948-)创作的蓝色雕塑，动感十足；旁边熠熠闪光的马赛克墙《辉》则是杉江淳平(1936-2005)的杰作。

登窑广场展示工房馆

开馆时间：10:00～16:00

闭馆日：周三（逢节假日照常开馆）和元旦放假期间

<繁体字>**登窯廣場**

登窯廣場鄰近磚砌的登窯（陶榮窯），位於「陶器之路」步行街 A 線的中段，是最理想的小憩之地。廣場的特色是一座兩層建築——登窯廣場展示工房館，一樓展示保存完好的 19 世紀窯爐，二樓則是展覽空間和工作室。

遊客可以進入窯內參觀。內部「兩面焚倒焰式角窯」有兩個入口，方便有效地置放陶器。多年來，該窯一直用於燒製燒酒瓶等陶器。

展覽空間展示了當地新銳陶瓷藝術家的作品，種類繁多，很適合購作伴手禮。遊客可以在工作室親手為陶器或招財貓上色（收費），所有年齡層均可參加體驗，無需預約。不過，作品需要上釉燒製，幾週後才能寄給參與者（僅限日本國內）。

廣場上有兩件大型現代戶外陶瓷藝術作品。位於廣場中央的《時空》是柴田正明（1948- ）創作的藍色雕塑，動感十足；旁邊熠熠閃光的馬賽克牆《輝》則是杉江淳平（1936-2005）的傑作。

登窯廣場展示工房館

開館時間：10:00～16:00

休館日：週三（逢假日照常開館）、元旦假期

<日本語仮訳>

登窯広場

レンガ造りの登窯（陶榮窯）に隣接するこの広場は、やきもの散歩道 A コースのほぼ中間に位置し、休憩に最適な場所である。広場の見どころは 2 階建ての建物「登窯広場展示工房館」で、1 階には保存状態の良い 19 世紀の窯、2 階は展示スペースと工房になっている。

窯は中に入って見学することができる。この「両面焚倒焰式角窯」の入り口が 2 つあり、陶器を効率よく積み込むことができるようになっている。この窯は、焼酎瓶などを焼成するために長年使われていたものである。

展示スペースでは、地元の新進気鋭の陶芸家による作品が展示されており、お土産や贈答品に最適なアイテムが豊富に揃っている。工房では陶器や招き猫の絵付け体験（有料）もできる。年齢を問わず参加でき、事前予約は不要。ただし、制作した作品は施釉、焼成後、数週間後に参加者に発送される（日本国内に限る）。

広場には、屋外型の大きなモダンセラミックアート作品が 2 つある。ひとつは広場の中央に位置する柴田正明氏（1948- ）による『時空』というダイナミックな青い彫刻だ。この作品の隣には、杉江淳平氏（1936-2005）作の『輝』がある。『輝』は、きらめくモザイクの壁である。

登窯広場展示工房館

開館時間：10:00～16:00

休館日：水曜（祝日の場合は開館）、年末年始

【タイトル】 常滑系招き猫

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

常滑招财猫

常滑是陶瓷招财猫的一大产地。招财猫通常是带有白色、黑色和橙色斑纹的三花猫。它的一只前爪高高举起作招手姿势，另一只前爪紧握着一枚金币。据说招财猫举起左爪能招徕顾客，因此特别受到渴望千客万来的商家喜爱；若是举着右爪则可以带来好运和财富。

招财猫的起源不详，但农民和店主历来都很重视能擅捕老鼠和其他害虫的猫。最早的招财猫可能在 19 世纪中叶就已出现，但直到 20 世纪 30 年代晚期，常滑才开始生产这类商品。当时，传统制陶业日渐衰落，当地工匠便开辟了制作陶瓷招财猫的新业务。

到了 1950 年，常滑已成为日本招财猫的主要产地，常滑招财猫的标志性风格也由此确立：大眼睛、大耳朵、跟身体一般大的脑袋。尽管传统三花猫的招财猫依然很受欢迎，但现在的招财猫无论色彩还是设计都更为丰富多样。招财猫甚至为常滑的著名旅游景点提供了灵感，以下就是其中几大实例。

常滑招财猫大道

常滑招财猫大道汇集了 39 只色彩斑斓、形态各异的现代招财猫。这些“御利益陶制招财猫”均为与常滑有渊源的陶艺家的作品，每一只都能带来特别的祝福，例如婚姻美满、无病无灾或事业有成。

这条街道连接着常滑站、当地著名的招财猫“常滑喵”，以及位于“陶器之路”步行街入口处的常滑市陶磁器会馆。

常滑守护使者——常滑喵

巨大的招财猫“常滑喵”从常滑招财猫大道中段一座天桥附近的高墙上探出头来，乘火车的旅行者在抵达常滑站时，就会看到这位城市守护神。

常滑喵(Tokonyan)取常滑中“常”的日语发音“Toko”，以及日语中形容喵喵猫叫声的“Nyan”组合而成。自 2007 年诞生起，常滑喵就深受常滑市民和游客的喜爱，这里已经成为热门拍照打卡点，旅行者很喜欢站在旁边的天桥上与它合影。

这只大猫高 3.8 米，宽 6.3 米，虽然它只露出了头和左前爪，但仍是日本最大的招财猫之一。它守护着常滑，欢迎八方来客。沿着雕像附近的墙壁仔细观察，会发现常滑喵周围还有 11 只小巧逼真的猫咪塑像。

<繁体字>

常滑招财猫

常滑市是陶瓷招财猫的一大产地。招财猫通常是带有白色、黑色和橙色斑纹的三花猫。招财猫的一隻前爪高高举起，做出招手的姿势；另一隻前爪紧握一枚金币。据说招财猫举起左前爪能招徕顾客，因此希望客人络绎不绝的商家特别喜欢；若是举右前爪，则会带来好运与财富。

招财猫的起源目前不详，但农民和店家历来都很重视猫，因为它们擅长捕老鼠与其他害虫。最早的招财猫可能在 19 世纪中叶就已经出现，但直到 1930 年代晚期，常滑才开始生产招财猫商品。当时，传统制陶产业日渐衰落，当地工匠便开创了制作陶瓷招财猫的新业务。

到了 1950 年，常滑成为日本最大的招财猫生产地，常滑招财猫的標誌风格也因此确立：大眼睛、大耳朵、与身体一样大的脑袋。儘管传统三花的招财猫依然很受欢迎，但现在的招财猫无论在色彩还是设计上都更为丰富多元。招财猫甚至为常滑著名旅游景点带来了灵感，例如：

常滑招财猫大道

常滑招财猫大道汇集了 39 隻色彩斑斓、形态各异的现代招财猫。这些「御利益陶製招财猫」都是与常滑有因缘的艺术家的作品，每一隻都能带来特别的祝福，比如婚姻美满、无病无灾或事业有成。

这条大道連結常滑车站、当地著名的招财猫「常滑喵」，以及「陶器之路」步行街入口处的常滑市陶磁器會館。

常滑守護使者——常滑喵

巨大招财猫「常滑喵」从常滑招财猫大道中段一座天桥附近的高墙上探出头来，搭乘火车的旅客抵达常滑车站时，就会见到这位城市的守护神。

常滑喵（Tokonyan）由常滑中「常」的日语发音「Toko」，以及日语中形容喵喵声的「Nyan」组合而成。自 2007 年起，常滑喵就深受常滑市民和游客的喜爱，这里已成为热门拍照打卡地点，游客都很喜欢站在旁边的桥上与它合影。

這隻大招財貓高 3.8 公尺，寬 6.3 公尺，雖然只露出了頭與左前爪，但仍是日本最大的招財貓之一。它守護著常滑，歡迎各地旅客。沿著雕像附近的牆仔細觀察，會發現常滑喵的周圍還有 11 隻小巧逼真的貓咪塑像。

<日本語仮訳>

常滑系招き猫

常滑は、陶器の招き猫の一大産地である。招き猫は一般的に白、黒、オレンジの模様のある三毛猫で、片方の前足を上げ、手招きをする。もう片方の前足に小判を握りしめている。左足を上げた招き猫は人を招くとされ、千客万来を願う業種に特に人気がある。右足を上げた招き猫は、幸運や富をもたらす。

招き猫の起源は定かではないが、ネズミなどの害獣を捕まえることから、昔から農家や商店主は猫を大切にしていた。招き猫の置物が最初に登場したのは 19 世紀半ばと考えられているが、常滑で生産が始まったのは 1930 年代後半のことだ。当時、伝統的な焼き物産業が衰退していたため、地元の職人たちが新たなビジネスとして置物を作り始めたのだ。

1950 年までに常滑市は日本の招き猫の主要生産地となり、二頭身体に大きな目と耳が特徴的な招き猫が作られるようになった。現在では様々な色やデザインの招き猫があるが、三毛猫の置物の人気はいまだに衰えない。招き猫は、下記のような常滑の有名な観光名所にも影響を与えている。

とこなめ招き猫通り

とこなめ招き猫通りは、招き猫をモダンにアレンジしたカラフルで、一体一体姿かたち異なる 39 体の招き猫が並ぶ通りである。常滑にゆかりのある陶芸家たちが制作した、「御利益陶製招き猫」と呼ばれる招き猫たちは、それぞれ異なるご利益が込められている。縁結び、無病息災、事業成就などである。

この通りは、常滑駅と、常滑市で人気の招き猫「とこにゃん」、そして「やきもの散歩道」の入口である常滑市陶磁会館を結んでいる。

とこなめ見守り猫「とこにゃん」

とこなめ招き猫通りの途中にある歩道橋の近くの上から顔を出す巨大な招き猫、とこにゃん。電車で常滑を訪れる観光客は駅に到着した際、この見守り猫を目にすることだろう。

「とこにゃん」という名前は、「とこなめ」の「とこ」と日本語で猫の鳴き声を表す「にゃん」を組み合わせたもの。2007 年の誕生以来、「とこにゃん」は常滑市民や観光客に愛され、ここは人気の撮影スポットとなっている。跨道橋の上から一緒に記念撮影するのが定番である。

とこにゃんは頭と左前足のみであるものの、高さは 3.8 メートル、幅は 6.3 メートルある日本最大級の招き猫である。街を見守りながら、訪れる全ての人を歓迎している。とこにゃんの近くの壁沿いをよく探すと、巨大招き猫のお供の小さな本物そっくりの猫の置物を 11 体見つけることができる。

【タイトル】 常滑焼

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

常滑烧陶器

常滑的历史和经济发展与“常滑烧”陶器密切相关。常滑与越前、瀬戸、信乐、丹波和备前并称为“日本六大古窑”，这些地区的制陶传统均已有千年左右的历史，其中，常滑的年代最久，在当时规模最大。

新兴技术

常滑烧陶器起源于12世纪初的知多半岛（今属爱知县），当地的自然环境特别适合陶器生产。首先，土质松软、丘陵平缓，便于在山坡上挖掘建设穴窑；其次，优质粘土供应非常充足；再次，常滑地处临海之域，有利于成品运输。

14世纪时，常滑的陶工们采用“泥条盘筑法”生产大型储物罐和炊具。15世纪晚期，大型窑炉的出现大大提高了生产力。之后，常滑因坚持生产日用陶器而深得好评。当地生产的陶罐用途繁多，比如用来酿酒。

19世纪中叶，从中国传入的宜兴紫砂壶制作技术造就了常滑的标志产品——朱泥急须茶壶。常滑的粘土因富含铁质而呈现独特的红色，以保温性和多孔透气性皆优而著称。壶内不上釉，因为这种粘土还能中和绿茶中的丹宁成分，吸收涩味，使泡出的茶能保持原有的色、香、味，口感醇厚宜人。常滑急须茶壶至今依然被人们珍爱，它的壶身和壶盖契合得十分完美，茶壶侧面的把手与壶嘴呈86度角也是其特征之一。

适应变化和现代化

1830年左右，常滑最早的登窑（阶梯窑）建成，当地开始以高效节能的方式大批量生产陶器。到19世纪50年代时，常滑的产品线已扩展到陶瓷马桶。19世纪下半叶，日本迅速推进现代化，常滑开始生产瓦片和排水管道。

20世纪30年代晚期，常滑工匠们开始制作陶瓷塑像，到了1950年，常滑成为了日本最大的招财猫生产地。陶瓷生产在20世纪50年代达到顶峰，当时有数百个窑炉投入使用。之后，因技术进步和环境法规日趋严格，生产规模逐渐缩小。

近几十年来，生活方式的改变和来自海外市场的热切关注，促使常滑烧陶器更为多样化。为了确保本地陶瓷业蓬勃发展，工匠们不断适应市场变化，将传统工艺与顺应现代生

活的陶器烧制工艺相结合。如今，陶瓷招财猫、朱泥急须茶壶、盆景花盆等常滑烧陶器在国内外都很受欢迎。当地每年都会举办一次盛大的“常滑烧祭”。

想要详细了解常滑烧陶器，敬请前往在“陶器之路”步行街 B 线上的常滑陶之森。

<繁体字>

常滑燒陶器

常滑的歷史和經濟發展與「常滑燒」陶器密切相關。常滑與越前、瀨戶、信樂、丹波與備前並稱為「日本六大古窯」，這些地區的製陶傳統均約有一千年歷史，其中，常滑不僅歷史最悠久，且在當時規模最大。

新興技術

常滑燒陶器起源於 12 世紀初的知多半島（今屬愛知縣），當地的自然環境十分適合陶器生產。首先，土質鬆軟、丘陵平緩，有利於在山坡上挖掘建設窯穴；其次，優質黏土供應充足；再加上常滑靠海的位置，有利於運輸成品。

14 世紀時，常滑的陶工們採用「泥條盤築法」製作大型儲物罐與炊具。15 世紀晚期，大型窯爐的出現提高了生產力。之後，常滑因持續出產日常陶瓷器具而聞名。當地生產的陶罐的用途繁多，比如用來釀造清酒。

19 世紀中葉，從中國傳入的宜興紫砂壺製作技術造就常滑的代表性產品——朱泥急須壺。常滑黏土因富含鐵質而呈現獨特的紅色，以保溫性與多孔透氣性皆優為特色。壺內不上釉，因為這種黏土還能中和綠茶中的單寧，吸收澀味，使泡出來的茶保有原色、原香、原味，口感醇厚宜人。常滑急須壺至今仍十分受人們珍愛，壺身與壺蓋能完美契合，茶壺側面的把手通常與壺嘴呈 86 度也是其一大特徵。

順應與現代化

1830 年左右，常滑最早的登窯（階梯窯）建成，開始以節能高效的方式大量生產陶器。1850 年代，常滑的產品版圖擴大到陶瓷馬桶。19 世紀下半葉，日本迅速推進現代化，常滑也開始生產瓦片和排水管道。

1930 年代晚期，當地工匠著手製作陶瓷雕塑。到了 1950 年，常滑儼然成為日本最大的招财貓產地。製陶業在 1950 年代達到頂峰，當時有數百個窯爐投入使用。隨著技術不斷進步與環境法規限制越發嚴格，大規模的生產模式逐漸減少。

近幾十年來，生活方式的改變與海外市場的關注讓常滑燒更加多樣化。為了確保當地陶藝文化蓬勃發展，匠人們不斷順應市場需求與變化，將傳統工藝與順應現代生活的陶器

焼製工藝結合。時至今日、陶瓷招财猫、朱泥急須壺、盆栽花盆等常滑焼陶器在國內外均相當受歡迎。每年、當地都會舉辦一次盛大的「常滑焼祭」。

若想要詳細了解常滑焼，請前往「陶器之路」步行街 B 線上的常滑陶之森。

<日本語仮訳>

常滑焼

常滑の歴史と経済発展は、焼き物（常滑焼）と密接に結びついている。常滑は、越前、瀬戸、信楽、丹波、備前とともに「日本六古窯」のひとつとして知られる。これらの地域には、約 1000 年続く陶器作りの伝統があり、その中でも常滑が最古の歴史を持ち、当時最大規模の産地といわれている。

新たな技術

常滑焼は 12 世紀初めの知多半島（愛知県）で発祥した。この地域は、穴窯（トンネル状の傾斜のある窯）を掘りやすい柔らかい土壌となだらかな丘陵があり、良質な土が豊富に供給され、海にも近く、完成品の輸送が容易であったため、陶器生産に適していた。

14 世紀には、常滑の陶工たちは、「紐作り」という技法で、大型の貯蔵甕や調理具を生産していた。15 世紀後半には大窯が出現したことで生産能力が向上し、その後も暮らしに沿って作り続けられ、現在の知名度に繋がった。常滑の甕は酒の醸造などさまざまな実用的な用途に使われた。

19 世紀半ばに中国宜興窯から持ち込まれた紫砂急須製法技術によって、常滑を代表する赤土の急須が誕生した。常滑の土は鉄分を多く含み、独特の赤い色合いをしており、保温性と多孔質で知られる。急須の内部は釉掛けされていなく、常滑の土が緑茶の苦み成分のタンニンと結合し、お茶本来の色み、香りと旨味を活かすことができ、まろやかな味わいのお茶になると言われている。この急須は現在でも珍重されている。本体と蓋がぴったりと合うように作られている。急須は注ぎ口に対して 86 度の角度で取手が付いているのが特徴だ。

適応と近代化

常滑最古の登窯は 1830 年頃に作られ、エネルギー効率に優れた陶器の大量生産が容易に行えるようになった。1850 年代には、常滑焼は陶製便器の製造にも手を広げ、19 世紀後半に日本が急速に近代化すると、屋根瓦や上下水道管も作られるようになった。

1930 年代後半になると職人たちは陶器の置物を作り始め、1950 年までに常滑は招き猫の生産量日本一になった。陶磁器生産のピークは 1950 年代で、数百もの窯があった。その後、製造技術の向上や環境規制の強化により、大規模な生産は減少していった。

ここ数十年、ライフスタイルの変化や海外からの関心によって、常滑焼はさらに多様化している。職人たちは嗜好の変化に対応し、地元の陶芸文化が繁栄し続けるよう伝統的な技法と現代の暮らしに寄り添った焼物づくりの両方を取り入れてきた。現在、常滑焼の招き猫や赤土の急須、盆栽鉢は国内外で人気を博している。また、常滑市は例年、年に一度「常滑焼まつり」が開催される。

常滑焼についてより詳しく知りたければ、「やきもの散歩道」B コースにある「とこなめ陶の森」を訪れよう。

【タイトル】 やきもの散歩道

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

“陶器之路” 步行街

常滑烧陶器已经有大约 1000 年的生产历史，它奠定了常滑的历史、经济和社会基础。想要了解常滑的传统产业遗产，漫步“陶器之路”是上佳选择。步行街共有两条路线，A 线全长 1.6 公里，途中经过常滑一些最热门的景点；B 线全长 4 公里，沿途可以了解本地的陶瓷历史。两条路线的起点都是常滑市陶磁器会馆，馆内陈列着常滑烧陶器，也提供观光实用信息。

陶器之路是以荣町地区为中心的步行街，沿途有许多保存完好的民居和制陶工坊。狭窄蜿蜒的街道充盈着怀旧氛围，串联起一处处历史遗迹。当地居民用常滑烧陶器来美化街道和庭园，为街区锦上添花。新一代工匠和企业家则将沿线的空置建筑改造成了陶器工作室、艺术画廊和咖啡馆。

陶器之路步行街诞生于 1974 年，并于 2007 年被列入“日本优美历史风土准 100 选”，为保护古镇景观，以及将常滑打造成旅游胜地做出了贡献。路线 A 约需 1 小时，路线 B 需时 2.5 小时，但许多游人愿意花更多时间来深入游览路上的景点。在两条路线上也都能尽情享受购物乐趣。

路线 A (1.6 公里)

廻船问屋・泷田家族故居

泷田家族曾是富有的船运商，其故居建于 1850 年。现在里面陈列着精美的旧时家具、陶瓷和漆器，以及有关常滑船运业发展史的资料。

土管坂（土管坡）

这段平缓的坡道是陶器之路步行街上最具代表性的景点之一。常滑烧陶器被使用在沿途的部分墙壁和路面上，令人耳目一新。坡道一侧墙面砌满了明治时代(1868-1912)后半叶生产的铁道陶管，另一侧则是昭和时代(1926-1989)初期的烧酒瓶。陶管制作过程中原本废弃的土圈也被重新利用，它们被嵌入地表以防路人滑倒。

登窑（陶荣窑）

这座令人印象深刻的砖砌建筑是常滑现存最后一座登窑（阶梯窑）。它自 1887 年持续运营至 1974 年，拥有 8 个窑室，还有 10 个不同高度的烟囱用来保持窑内温度均一。

登窑广场

登窑广场邻近登窑（陶荣窑），主要亮点是一座两层建筑——登窑广场展示工房馆。一楼是 19 世纪早期的窑炉，二楼是展览空间和工作室。来访者可以进入保存完好的窑内参观。广场上还有两个色彩斑斓的大型现代陶瓷艺术品。

砖砌烟囱

在 20 世纪 50 年代陶器生产的鼎盛时期，常滑有 300 多根砖砌烟囱。其中约 70 根烟囱被保留下来，成为陶器之路步行街上独树一帜的特色，也是这座城市的鲜明地标。

路线 B（4 公里）

INAX Live 博物馆

这座庞大的综合博物馆由 6 个互动体验展馆组成，展示了常滑陶器文化最为核心的部分。

- 登窑广场保存了 1921 年生产陶管的窑炉。
- 世界瓷砖博物馆展示了埃及、伊斯兰等世界各国及各地区的瓷砖。
- 建筑陶器起源馆展示了运用于建筑中的“赤陶”艺术品。
- 土泥馆让参观者探索烧制陶器的原材料以及提供制作发光泥团子的体验。
- 陶乐工房提供瓷砖上色和其他手工艺体验。
- 陶器工房开展多种项目，比如修复历史建筑、开发创新陶瓷技术和产品。

常滑陶之森

这是一座综合性文化场馆，集方便学习的资料馆、陶艺研究所和培养年轻陶瓷艺术家的工作室于一体，展出了数百年以来常滑制陶工坊的精品，并配有详细的英文解说。

<繁体字>

「陶器之路」步行街

常滑烧陶器已生产了大约 1000 年，奠定了这座城市的歷史、經濟和社會的基礎。想要了解常滑的傳統產業遺產，漫步「陶器之路」是最佳選擇之一。步行街共有兩條路線，A 線全長 1.6 公里，途中經過常滑幾個最受歡迎的景點；B 線全長 4 公里，沿途可以了解當地陶瓷歷史。兩條路線的起點都是常滑市陶磁器會館，館內陳列著常滑燒陶器，同時還提供觀光實用資訊。

陶器之路是以榮町地區為中心的步行街，沿途有許多保存完好的民居和製陶工坊。狹窄蜿蜒的街道充盈著懷舊氛圍，串聯起每一處歷史遺跡。當地居民用常滑燒陶器來美化街道和庭園，為街區錦上添花。新一代工匠和企業家則將沿線的空置建築改造成了陶器工作室、藝術畫廊和咖啡館。

陶器之路步行街誕生於 1974 年，並於 2007 年被列入「日本優美歷史風土準 100 選」，它既保護了古鎮景觀，也將常滑打造成了旅遊勝地。路線 A 約需 1 小時，路線 B 需 2.5 小時，不過許多遊客願意花更多時間深度遊覽沿途景點，無論哪條路線都能盡情享受購物的樂趣。

路線 A (1.6 公里)

廻船問屋・瀧田家族故居

瀧田家族曾是富有的船運商，其故居建於 1850 年。目前內部陳列精美的古董傢俱、陶瓷和漆器，還展示了有關常滑航運業發展史的資料。

土管坂 (土管坡)

這段平緩的坡道是陶器之路步行街上最具代表性的景點之一。在沿途的部分牆壁和路面上都能找到常滑燒製的陶器，令人耳目一新。坡道一側牆面砌滿了明治時代 (1868-1912) 後半葉生產的鐵道陶管，另一側則是昭和時代 (1926-1989) 初期的燒酒瓶。陶管製作過程中原本廢棄的土圈也被重新利用，它們被嵌入路面以防路人滑倒。

登窯 (陶榮窯)

這座令人印象深刻的磚砌建築是常滑現存的最後一座登窯 (階梯窯)。自 1887 年開始運作至 1974 年，擁有 8 個窯室，還有 10 個不同高度的煙囪用來保持窯內溫度均一。

登窯廣場

登窯廣場鄰近登窯 (陶榮窯)，主要景點是一座兩層建築「登窯廣場展示工房館」。一樓是 19 世紀早期的窯爐，二樓是展覽空間和工作室。遊客可以進入保存完好的窯內參觀。廣場上還有兩個色彩絢麗的大型現代陶瓷藝術品。

磚砌煙囪

在 1950 年代陶器生產的鼎盛時期，常滑有 300 多根磚砌煙囪。其中約 70 根煙囪被保留下來，成為陶器之路步行街上獨樹一幟的特色，同時，它們也是這座城市的有名地標。

路線 B (4 公里)

INAX Live 博物館

這座廣闊的綜合博物館由 6 個互動體驗展館組成，展示常滑陶器文化最為核心的部分。

- ・陶窯廣場保存了 1921 年生産陶管の窯爐。
- ・世界磁磚博物館展示了埃及和伊斯蘭等世界各國及各地區的磁磚。
- ・建築陶器起源館展示結合於建築中的「赤陶」藝術品。
- ・土泥館讓遊客探索製作陶器的原物料以及提供製作發光泥團子的體驗。
- ・陶樂工房提供磁磚上色和其他手工藝實作體驗。
- ・陶器工房包含多種專案，比如：修復歷史建築、開發創新陶瓷技術和產品。

常滑陶之森

這是一座綜合性文化場館，集方便學習的資料館、陶藝研究所和培養年輕陶瓷藝術家的工作室於一體。館內展示了常滑製陶工坊數百年以來的傑作，並配有詳細的英文解說。

<日本語仮訳>

やきもの散歩道

常滑焼は約 1000 年にわたって生産され、常滑の歴史、経済、社会的基盤を形成してきた。常滑の歴史的産業遺産を知る良の方法のひとつが、2 種類のコースがある「やきもの散歩道」を歩くことである。全長 1.6 キロの A コースは常滑の代表的な観光スポットを巡り、全長 4 キロの B コースは常滑の焼き物の歴史を紹介する。どちらのコースも、常滑焼の展示や有益な観光案内がある、常滑市陶磁器会館からスタートする。

やきもの散歩道は、保存状態の良い民家や窯元が多く残る栄町地区を中心としている。細く曲がりくねった道は昔ながらの雰囲気を残し、史跡へと至る。住民たちは、通りや庭を常滑焼で飾ることによって地域の魅力を高め、新しい世代の職人や起業家たちは、コース沿いの空き家を陶芸工房やアートギャラリー、カフェに変身させた。

やきもの散歩道は 1974 年に生まれ、2007 年に「美しい日本の歴史的風土 100 選」に選定され、歴史的町並みの保存と常滑の観光地化に貢献してきた。所要時間の目安は、A コースが 1 時間程度、B コースが 2 時間半程度だが、観光客の多くは見所を十分に楽しむためそれ以上の時間をかける。また、A・B 両コースとも買い物が楽しめる。

A コース (1.6 キロ)

廻船問屋 瀧田家

瀧田家は裕福な廻船問屋であった。1850 年に建てられた旧宅には、当時的高级な家具、陶器、漆器に加え、常滑市の海運の歴史に関する参考資料が展示されている。

土管坂

なだらかな坂道が続くこの通りは、やきもの散歩道の最も象徴的なスポットのひとつである。常滑焼が革新的な形で使われ、通り沿いの壁や舗装の一部を形成している。散歩道の片側の壁には明治時代（1868-1912）後半に製造された鉄道土管が、反対側には昭和時代（1926-1989）初

期の焼酎瓶が並ぶ。土管を作る過程で残る土の輪が再利用され、滑り止めとして路面に埋め込まれている。

登窯（陶榮窯）

この煉瓦造りの印象的な窯は、常滑市に現存する最後の登窯である。1887年から1974年まで稼働し、8つの焼成室と高さの異なる10本の煙突により、窯内の温度を均一に保つことができる。

登窯広場

登窯（陶榮窯）に隣接する広場。主な見どころは2階建ての建物「登窯広場展示工房館」内にあり、1階には19世紀初頭の窯、2階は展示スペースと工房になっている。保存状態の良い窯の内部に入って見学することも可能。屋外には、色鮮やかで現代的な大型のセラミックアート作品が2つある。

レンガ造りの煙突

1950年代の陶器生産最盛期には、常滑には300基以上のレンガ造りの煙突があり、そのうちの約70基が保存され、やきもの散歩道の目玉となっており、市を象徴するランドマークのひとつでもある。

Bコース（4キロ）

INAX ライブミュージアム

常滑のやきもの文化の重要な側面に特化した6つの体験型パビリオンからなる広大な複合施設。

- ・登窯広場には、陶管を製造していた1921年の窯が保存されている。
- ・世界のタイル博物館は、エジプトやイスラムをはじめとした世界各国と地域のタイルを展示している。
- ・建築陶器のはじまり館では、「テラコッタ」と呼ばれる建築物に使われた焼物作品を展示している。
- ・土・どろんこ館では、陶器の原料を見学や光る泥だんごづくりの体験ができる。
- ・陶楽工房では、タイル絵付けなどの工芸体験ができる。
- ・やきもの工房は歴史的建造物の修復から、革新的な陶磁器技術や製品の開発まで行う。

とこなめ陶の森

多くを学べる資料館、陶芸研究所、若手陶芸家を育成する研修工房が一体となった文化施設。常滑焼の窯元が何世紀にもわたって作り続けてきた逸品が展示されており、詳細な英語表記の解説文とともに見ることができる。

地域番号	031	協議会名	大村市観光交流都市（まち）づくり推進協議会

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
031-001	大村の郡三踊	570	WEB
031-002	黒丸踊像	355	看板
031-003	本経寺と大村家墓所	605	看板
031-004	大村公園の花	745	看板、WEB アプリ
031-005	クシマザクラ	485	看板、WEB アプリ
031-006	オオムラザクラ	430	看板、WEB アプリ
031-007	大村神社のオオムラザクラ	380	看板、WEB アプリ
031-008	大村神社のクシマザクラ	360	看板、WEB アプリ
031-009	大村藩お船蔵跡	445	看板、WEB アプリ
031-010	玖島城址	595	看板、WEB アプリ
031-011	玖島城址	910	WEB
031-012	玖島城：本丸跡	560	看板、WEB アプリ
031-013	旧梶山御殿	430	看板、WEB アプリ
031-014	大村公園のハナショウブ	360	看板、WEB アプリ
031-015	長岡安平	275	看板、WEB アプリ
031-016	大村喜前公遺徳碑	845	看板、WEB アプリ
031-017	大村彦右衛門純勝碑	450	看板、WEB アプリ
031-018	浜田弥兵衛の碑	890	看板、WEB アプリ
031-019	斉藤欽之助の碑	495	看板、WEB アプリ
031-020	玖島崎樹叢	410	看板、WEB アプリ
031-021	板敷櫓	360	看板、WEB

			アプリ
031-022	大村公園の鳥	290	看板、WEB アプリ
031-023	玖島稲荷神社	275	看板、WEB アプリ
031-024	大村神社	635	看板、WEB アプリ
031-025	大村寿司	380	WEB、アプリ

【タイトル】 大村の郡三踊

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

大村郡三舞

为了纪念领主大村纯伊（生卒年不详）1480 年荣归故里，在大村市每年的秋祭上，会上演三种传统舞蹈。1474 年，大村纯伊与附近的岛原半岛统治者有马家族交战，失利后被逐出领地。6 年后，他率军卷土重来，成功夺回了大村的领地。据说当时每个街区都载歌载舞表达光复的喜悦，这些舞蹈分别被冠以黑丸、冲田、寿古这三个街区的名称。

黑丸舞的主角是一群小学男生和 4 名成年舞者。男童们在传统乐器鼓、笛、钲的伴奏下起舞，成年舞者则身背巨型花伞敲击太鼓。花伞直径达 5 米、重约 60 公斤，并无伞面，竹制的伞骨上挂满了用传统手工纸折成的花朵。人们相信，从花伞下经过，就会有好运降临。

冲田舞是一种程式化战舞，舞者一律为儿童，年龄大的孩子手持薙刀（薙，音同“替”；长柄刀），年龄小的则手拿小太刀（短刀）。孩子们在太鼓和笛子的伴奏下，摆出各种进攻和防守的舞姿。

寿古舞也是由孩童表演的程式化战舞。他们穿着和服，头戴斗笠，扮成领主大村纯伊的卫兵，排成两横列起舞。领舞者身穿藩主装束，以半月图案的头巾遮面，敲击太鼓引领全场节奏。

大村市的秋祭每年 10 月或 11 月举行，届时这 3 种舞蹈都会在大村公园里上演。史料表明，今天的舞蹈仍基本保持着最初的形态。这 3 种舞蹈都被指定为国家重要非物质文化遗产。2022 年，黑丸舞和冲田舞被联合国教科文组织(UNESCO)登录为非物质文化遗产。

<日本語仮訳>

大村の郡三踊

大村市の秋祭りで行われる3つの伝統的踊りは、1480年に領主である大村純伊（生没年不詳）が領地を追われ、数年後に当藩に帰郷したことを祝うものである。純伊は、1474年に、近隣の島原半島を統治していた有馬一族との戦いで敗北を喫し、6年後に、再び決戦を行うために戻ってきた。反撃は成功し、純伊とその部隊は、ついに大村の領地を奪還することができた。黒丸、沖田、寿古地区の踊りは、それぞれこの勝利を祝うものと言われている。

黒丸踊りでは、伝統的な鼓、笛、鉦を演奏する演奏者を伴い、小学生の男の子が踊る。大人の踊り手 4 人が手作りの紙でできた花がちりばめられた竹が付いた大花輪を背中にぴたりと背負いながら、太

鼓を打ち鳴らす。重さ約60キロ、直径5メートルの大花輪は、竹の骨の上に扇形に広がっており、まるで生地のない傘のようである。大花輪の広がった「傘」の下を通ると幸運が訪れると信じられている。

沖田踊りでは、子供たちが様式化された戦の舞を踊る。年長の子供たちが薙刀を持ち、年少の子供たちが小太刀と呼ばれる短い刀を持つ。踊り手は、鼓や笛を伴い、攻撃の動き、守備の動きをする。

寿古踊りでも、子供たちが様式化された戦の舞を踊る。着物、笠に身を包み、2列に平行に並んで踊り、領主である大村純伊の従者を演じる。藩主の装いをした1人の踊り手が先導し、「鼓」を叩いて拍子をとる。その先導役の踊り手の顔は、半月形のモチーフをかたどった、ベールで被われた頭飾りで隠されている。

3つの踊りは、毎年10月または11月に開催される大村市の秋祭り中に大村公園で披露される。歴史の記録によると、これらの踊りは最初に行われたときからほとんど変わっていない。これら3つの踊りはすべて、日本の重要無形民俗文化財に指定されており、黒丸踊りと沖田踊りは、2022年にユネスコ無形文化遺産に登録されている。

【タイトル】 黒丸踊像

【想定媒体】 看板

<簡体字>**黒丸舞雕像**

这五尊真人大小的雕像铸造于 1992 年，主要部分为青铜材质，展现了“黒丸舞”的场景，旨在纪念大村市建市 50 周年。黒丸舞是 1480 年大村领主大村纯伊（生卒年不详）夺回领地时，民众在庆祝活动上表演的 3 种舞蹈之一。

雕像表现的是身着节日盛装的舞者。两名男孩分别持钲和钹，三名成年男子身前挂着太鼓，身后背着巨大的铁制“花伞”。黒丸舞表演中的花伞伞骨则由竹片制成，并无伞面，伞骨装饰着满满当当的纸花。巨伞每把直径长达 5 米、重约 60 公斤，据说从伞下经过的人会有好运降临。

黒丸舞和大村市的另外两种传统舞蹈每年都要表演数次，大村公园的秋祭演出也包含在内。史料表明，今天的舞蹈仍基本保持着最初的形态。

2022 年，黒丸舞被联合国教科文组织(UNESCO)列入非物质文化遗产名录。在日本，它还被指定为重要非物质文化遗产。

<日本語仮訳>**黒丸踊像**

主要な部分が青銅でできている、この 5 体から成る等身大の像は、黒丸踊りを表現したものであり、大村市制定から 50 年を迎えた記念として、1992 年に作られたものである。黒丸踊りは領主である大村純伊（生没年不詳）が、1480 年に大村の領地を奪還したことを祝う 3 つの踊りのうちの 1 つである。

これらの像は、祭りの衣装に身をまとった踊り手たちを描いている。2 人の男の子が鉦と鉦（ばち）を手に持っており、3 人の大人の男性が太鼓を首から吊るしている。太鼓の叩き手は、傘の骨のように扇形に広がっている大花輪を背中に背負っている。黒丸踊りで使われるまるで生地のない「傘」のような大花輪は通常、割いた竹でできていて、紙製の花で飾られているが、これは鉄製である。大花輪は、それぞれ重さ約 60 キロ、直径 5 メートルにも及び、広がった「傘」の下を通ると幸運が訪れると信じられている。

この踊りは、大村市の他の 2 つの伝統的な踊りとともに秋祭りに大村公園で行われるなど、年に数回披露される。歴史の記録によると、どの踊りも最初に踊られたときからほとんど変わっていないという。

黒丸踊りは、2022 年にユネスコ無形文化遺産に登録された。また、日本の重要無形民俗文化財に指定されている。

【タイトル】 本經寺と大村家墓所

【想定媒体】 看板

<簡体字>**本經寺と大村家族墓地**

10 世紀至 19 世紀期間、大村家族一直は大村湾周辺地域の統治者。16 世紀時、該家族在日本と歐洲の貿易往來中发挥了重要作用。第 18 代領主大村純忠(1533-1587)对葡萄牙商人和耶穌會傳教士開放了長崎港，他也是日本第一位改信基督教的大名（大領主）。人們認為，在某種程度上，大村純忠的改宗促進了与葡萄牙人的貿易，葡萄牙人爲他提供了歐洲製造的槍械、配製火藥的硝石和中國絲綢。1563 年接受洗禮後，大村純忠下令拆毀領地內的所有佛寺和神社，並強制領地內百姓改信基督教。他的兒子大村喜前(1596-1616)也接受過基督教洗禮，但後來放棄了這一信仰。

1587 年大村純忠去世。此後不久，爲消除基督教對日本政治和社会制度的威脅，當時日本的實際統治者豐臣秀吉(1537-1598)发布法令限制基督教傳播。大村喜前將領地內的傳教士全部驅逐出境，又在 1602 年公開放棄基督教信仰，改信日本佛教日蓮宗。他下令拆毀父親在領地內建造的教堂，並在原址上修建了寺院和神社。本經寺就是大村家族改信佛教後首批建造的寺院中的一座，已被指定爲國家史迹。

本經寺內有大村家族歷代 13 名領主、家族成員及家臣的墳墓。墓前都立有墓碑，有的甚至高逾 6 米，或許是為了彰顯家族對佛教的虔誠。

本經寺是長崎縣內最古老的日蓮宗寺院。寺院地處連接貿易港出島（長崎縣）至小倉（福岡縣）的主道旁，選擇此處建寺可能是意圖向民眾公告大村家族放棄基督教信仰這一事實。

<日本語仮訳>**本經寺と大村家墓所**

大村家は、10 世紀から 19 世紀にかけて大村湾周辺の領地を統治し、16 世紀におけるヨーロッパと日本の間の貿易の発展に尽力した。大村家第 18 代領主である大村純忠（1533–1587）は、ポルトガル商人やイエズス会の宣教師に長崎港を開港した。彼自身もまたキリスト教信仰に転じた最初の大名であった。純忠のキリスト教への改宗に対する意欲が、ある程度、ヨーロッパの銃器、火薬を作るための硝石、中国シルクを提供することができたポルトガル人との貿易の機会になったと考えられる。1563 年に洗禮を受けた後、純忠は、自分の領地にある仏教寺と神社の取り壊しを命じ、領地の人々にキリスト教

への改宗を強制した。純忠の子息である喜前（1596–1616）は、洗礼を受けたが、のちにキリスト教信仰を捨てた。

1587年に純忠が死去して間もなく、国の事実上の統治者である豊臣秀吉（1537–1598）は、宗教が日本の政治・社会制度に与える脅威に対抗するため、キリスト教の伝道を制限する命令を発した。大村喜前は、領地からキリスト教の宣教師をすべて追放し、1602年に、公にキリスト教信仰を捨て、日蓮仏教に改宗した。喜前は、父が当藩の領土に建てた教会の取り壊しを命じ、その跡地に寺院と神社を建立した。本経寺は大村家が仏教に改宗する際に、最初に建てられた寺院の1つであり、いまは国の指定史跡である。

本経寺には、一族や家臣と共に、大村家の歴代領主 13 人の墓がある。墓には石碑が立てられており、高いものでは6メートルを超える。この高さが、一族の仏教への篤い信仰の証と考えられている。

本経寺は、長崎県にある最古の日蓮宗寺院である。（現在の長崎県の）出島の貿易港と（現在の福岡県の）小倉をつなぐ主要なルート沿いに位置するその場所は、大村家がキリスト教信仰を捨てたことを公に示すことを意図していたと考えられる。

【タイトル】大村公園の花

【想定媒体】看板、WEB、アプリ

<簡体字>

大村公園の花

从玖岛城遗址可俯瞰大村公园全景，满目绿树成荫、四季鲜花盛开。公园中有部分樱花被鉴定为稀有品种。暮春时节，护城河几十万株花菖蒲(*Iris ensata* var. *ensata*)争相吐妍。

玖岛城是大村藩藩主——大村家族在16世纪时建造的一座城郭，其遗址位于大村公园内。19世纪晚期，幕府统治结束，政权奉还天皇，玖岛城也随之被废弃。此后，城郭旧址被改建成大村公园。

樱花的稀有品种

大村公园名列“日本樱花名所100选”，园内共种植约2000棵樱花树，其中大村樱(*Cerasus* Sato-zakura Group ‘Mirabilis’)、玖岛樱(*Cerasus* Sato-zakura Group ‘Kushimana’)两个品种是20世纪40年代在公园内首次发现的名贵重瓣樱品种，特别是大村樱，还被指定为国家天然纪念物。大村樱和玖岛樱的盛花期通常在4月上旬至中旬，晚于广泛栽种的名品——染井吉野樱(*Cerasus* *x* *yedoensis* ‘Somei-yoshino’；淡粉色单瓣品种)。

菖蒲护城河

暮春时节，玖岛城的内护城河上共有171个品种大约30万株花菖蒲盛放，花圃面积约9500平方米，规模堪称西日本之最。花菖蒲的花期通常在5月下旬至6月上旬。

大村花卉节

大村花卉节从每年3月下旬樱花和杜鹃花绽放时开始，一直持续到6月下旬绣球花褪色之际。花卉节期间，樱花、杜鹃花、紫藤和绣球花相继盛开，将玖岛城遗址妆点得格外美丽。春季到初夏时节，公园夜间还安排有彩灯活动，来访者可以在绚丽多彩的灯光下领略不同的公园景色。

大村公园赏花期

染井吉野樱：3月下旬～4月上旬

大村樱：4月上旬～中旬

玖岛樱：4月上旬～中旬

紫藤：4月中旬～下旬

杜鹃花：4月中旬～5月上旬

高山杜鹃：4月中旬～5月上旬

花菖蒲：5月下旬～6月上旬

绣球花：6月上旬～中旬

<日本語仮訳>

大村公園の花

玖島城から、大村公園のあたり一面の群葉や咲き乱れる四季の花々を一望できる。公園内では珍しい品種の桜がいくつか確認され、晩春になると城のお堀に数十万ものハナショウブ（学名：*Iris ensata* var. *ensata*）が咲き誇る。

大村公園は、大村藩を統治していた大村家が築いた、16世紀の要塞である玖島城の旧敷地を取り囲んでいる。玖島城は大政奉還により幕府が廃止された後、19世紀の終わりに廃城となった。その後その敷地は再造成され、大村公園が開園された。

珍しい品種の桜

「日本さくら名所 100 選」に選ばれた大村公園には、オオムラザクラ（学名：*Cerasus Sato-zakura* Group 'Mirabilis'）、クシマザクラ（学名：*Cerasus Sato-zakura* Group 'Kushimana'）の数種を含む約 2,000 本もの桜の木がある。これらは、大村公園で見つかった 1940 年代に初めて確認された、珍しい八重咲種である。とりわけ、オオムラザクラは国の天然記念物に指定されている。オオムラザクラとクシマザクラの木は、通常、淡い一重咲種で有名な、広く普及しているソメイヨシノ（学名：*Cerasus x yedoensis* 'Somei-yoshino'）よりも後、4月上旬～中旬に満開を迎える。

ハナショウブのお堀

晩春になると、玖島城の内堀に、171 種、約 30 万本ものハナショウブが咲き誇る。ハナショウブが約 9,500 平方メートルにわたり咲き乱れるその規模は、西日本最大のもの。ハナショウブは、通常、5月下旬から6月上旬まで花を咲かせる。

大村花まつり

大村花まつりは、桜やツツジの花が開花する 3 月下旬から、アジサイの花の色褪せ始める 6 月下旬まで開催される。開催期間中、桜、ツツジ、藤、アジサイの花が次々と咲き、玖島城跡地に彩りを添えている。また、夜間にイルミネーションも行われ、来園者は、春から初夏までの間、いつもとは異なるライティングの中で公園を楽しむことができる。

大村公園の花の見ごろ

ソメイヨシノ：3月下旬～4月上旬

オオムラザクラ：4月上旬～中旬

クシマザクラ：4月上旬～中旬

フジ：4月中旬～下旬

ツツジ：4月中旬～5月上旬

シャクナゲ：4月中旬～5月上旬

ハナショウブ：5月下旬～6月上旬

アジサイ：6月上旬～中旬

【タイトル】 クシマザクラ

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>

玖岛桜

玖岛桜(*Cerasus Sato-zakura* Group 'Kushimana')花朵为重瓣花型，一棵树上约有半数花蕾分两步开放，外层花瓣先绽放，几天后内层较小的花瓣才打开。最初有人在大村神社里的一棵樱花树上观察到了一些这样的花朵，以为是零星变异，但不久，这棵树就被确认为是因突变而产生的新物种，并被命名为“玖岛桜”。

和日本最常见的染井吉野桜(*Cerasus x yedoensis* 'Somei-yoshino')的五瓣花相比，玖岛桜的重瓣花大小约为它的两倍，一朵花通常有 45 枚花瓣，盛开后直径可达 4.5 厘米。玖岛桜被指定为长崎县天然纪念物。

1947 年，教师兼植物学家外山三郎(1902-1986)在大村公园的大村神社内首次正式确认了玖岛桜品种。1941 年，他还确认了另一个重瓣樱花品种——大村桜(*Cerasus Sato-zakura* Group 'Mirabilis')。研究认为，玖岛桜和大村桜都是重瓣樱栽培品种“里樱”的突变种。

大村公园有大约 200 棵玖岛桜，都是由外山三郎鉴定的原木繁育而来，花期通常在 4 月上旬至中旬。每年 3 月下旬至 4 月上旬公园都会举办大村樱花节。

<日本語仮訳>

クシマザクラ

クシマザクラ（学名： *Cerasus Sato-zakura* Group 'Kushimana'）の花は、八重咲種で、1 本の木についた花の約半分は 2 段階で開花する。外側の花弁が開いた後、数日経ってから内側の小さな花が開花する。最初は大村神社の境内にある 1 本の桜の木にいくつかのクシマザクラの花が観察されたときは、個体変異だと思われていた。まもなく、これらの花は突然変異による全く新しい品種であると確認され、その後クシマザクラと名付けられた。

クシマザクラの八重咲の花は、日本で最もみられる桜の品種であり、5 枚の花弁を有するソメイヨシノ（学名： *Cerasus x yedoensis* 'Somei-yoshino'）の花の約 2 倍の大きさがある。1 つの花につき、通常 45 枚の花弁があり、満開時は直径 4.5 センチにもなる。クシマザクラは長崎県の天然記念物となっている。

クシマザクラは、教師兼植物学者である外山三郎（1902-1986）により、1947 年に大村公園内の大村神社の境内で初めて、正式に確認された。外山氏はまた、桜の品種であるオオムラザクラ（学

名： *Cerasus Sato-zakura* Group 'Mirabilis') を 1941 年に確認していた。これらの桜の木は、八重咲栽培品種であるサトザクラの突然変異とみなされる。

大村公園には、外山氏が確認した原木から栽培されたクシマザクラの木が約 200 本ある。これらは通常 4 月上旬から中旬に花を咲かせる。大村公園は、毎年 3 月下旬から 4 月上旬にかけて、大村桜まつりを開催する。

【タイトル】 オオムラザクラ

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>**大村桜**

日本拥有数百年的重瓣樱花栽培历史，大村桜(*Cerasus Sato-zakura* Group 'Mirabilis')是重瓣桜栽培品种“里桜”突变而产生的新物种，20 世纪发现于大村公园。大村桜的特征是花朵较大，直径约 3~5 厘米；每朵花有 10 枚叶状萼片保护；花瓣通常有 60~200 枚，分 2 层密集排列。而日本最常见的单瓣桜染井吉野桜(*Cerasus x yedoensis* 'Somei-yoshino')的花瓣只有 5 枚。

1941 年，当地教师兼植物学家外山三郎(1902-1986)在大村公园的大村神社内偶然发现了大村桜。据记载，外山三郎在大村神社欣赏重瓣品种“里桜”时，发现一些花朵的花瓣数量是标准“里桜”花朵的两倍，当时他还以为是零星变异，经过仔细观察才确认这是“里桜”突变而产生的新物种，遂以发现地大村为之命名。

大村公园里现有大村桜数百棵，均由外山三郎鉴定的原木繁育而来。大村神社前的大村桜被指定为国家天然纪念物。每年 3 月下旬到 4 月上旬公园都会举办大村樱花节。

<日本語仮訳>**オオムラザクラ**

八重咲の桜が最初に栽培されたのは、数百年前にさかのぼる。八重咲栽培品種であるサトザクラの突然変異による全く新しい品種であるオオムラザクラ（学名： *Cerasus Sato-zakura* Group 'Mirabilis'）は、20 世紀に大村公園で見つかった。オオムラザクラの特徴として、花の直径が 3~5 センチほどで、それぞれの花は葉のような 10 個の萼片で守られており、60 から 200 ほどの密集した花弁が 2 層を成す大きな花であることが挙げられる。これは、花に一重の花弁が 5 個ついているだけの、日本で最もみられる桜の品種であるソメイヨシノ（学名： *Cerasus x yedoensis* 'Somei-yoshino'）と異なる。

オオムラザクラ種は、1941 年に、大村公園内の大村神社の境内で、地元の教師兼植物学者である外山三郎（1902-1986）により偶然発見された。地元の記録によると、外山氏が、大村神社の境内で八重咲品種であるサトザクラの花を愛でているときに、標準サトザクラ種の約 2 倍の花弁を持つ、最初は個体の変異だと思っていた花に気付いた。近づいてつぶさに観察した結果、外山氏はサトザクラの突然変異による全く新しい品種であるという結論に至り、その後、見つかった市の名前にちなんでオオムラと名付けた。

現在大村公園には数百本のオオムラザクラの木があり、これらはすべて外山氏が最初に確認した原木から繁殖したものである。大村神社前のオオムラザクラの木は国の天然記念物に指定されている。大村市は、3月下旬から4月上旬にかけて大村公園で大村桜まつりを開催している。

【タイトル】 大村神社のオオムラザクラ

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>**大村神社の大村桜**

大村神社前有两棵大村桜(*Cerasus Sato-zakura* Group 'Mirabilis'), 它们是 1941 年在大村神社首次发现的新樱花品种。教师兼植物学家外山三郎(1902-1986)在神社内观赏重瓣樱的栽培品种“里樱”时, 注意到其中一棵树上的花朵与众不同, 仔细研究后才知道这是“里樱”突变产生的新物种, 并用发现地命名为“大村樱”。

日本最常见的染井吉野樱(*Cerasus x yedoensis* 'Somei-yoshino')的花朵只有 5 枚花瓣, 大村樱每朵花却有 60~200 枚排列密集的花瓣, 且花朵较大, 直径可达 3~5 厘米, 花瓣颜色淡粉, 向顶端渐变为近白色。

大村公园内约有 300 棵大村樱, 均由最初发现的原木繁育而来。公园在每年 3 月下旬至 4 月上旬都会举办大村樱花节。神社本殿（正殿）前的大村樱被定为该品种的模式标本, 也被指定为国家天然纪念物。

<日本語仮訳>**大村神社のオオムラザクラ**

大村神社前の桜の木のうちの 2 本は、オオムラザクラ（学名： *Cerasus Sato-zakura* Group 'Mirabilis'）であり、これらは 1941 年に大村神社の境内で最初に見つかった全く新しい桜の品種である。植物学者兼教師である外山三郎（1902-1986）が大村神社の境内で八重咲栽培品種であるサトザクラの花を見ているときに、そのうちの 1 本の木についた花の中に、異常があることに気付いた。よくよく調べてみると、サトザクラの突然変異による全く新しい品種であるということが分かり、その後、見つかった市の名前にちなんでオオムラザクラと名付けた。

最も見られるソメイヨシノ（学名： *Cerasus x yedoensis* 'Somei-yoshino'）の花には 5 つの花弁がついているのに対し、オオムラザクラの花は、1 つあたり 60 から 200 ほどの密集した花弁がついている。その花は比較的大きく、直径 3~5 センチ、花弁の色は淡いピンク色で、先端に向かって色が薄くなり、ほとんど白になる。

大村公園には約 300 本のオオムラザクラの木があり、これらはすべて原木から繁殖させたものである。3 月下旬から 4 月上旬にかけて、大村公園で大村桜まつりが開催される。本殿前のオオムラザクラの木は、その品種のタイプ標本に選定され、国の天然記念物とされている。

【タイトル】 大村神社のクシマザクラ

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>**大村神社の玖島桜**

玖島桜(*Cerasus* Sato-zakura Group 'Kushimana')は 1947 年在大村神社内发现的樱花品种，属于重瓣樱花栽培品种“里樱”突变产生的新物种。与大村神社附近发现的另一个稀有樱花品种——大村桜(*Cerasus* Sato-zakura Group 'Mirabilis')相比，玖岛樱花朵略小。这个品种的与众不同之处在于约半数的花朵分两个阶段打开，内层花瓣绽放的时间较外层晚几天；一朵花通常有 45 枚花瓣，盛开时直径可达 4.5 厘米。

玖岛桜也是教师兼植物学家外山三郎(1902-1986)在大村公园的大村神社里发现的，1941 年他还在这里发现了大村桜。

大村公园约有玖岛桜 200 棵，均由最初发现的原木繁育而来。公园在每年 3 月下旬至 4 月上旬都会举办大村樱花节。玖岛桜被指定为长崎县天然纪念物。

<日本語仮訳>**大村神社のクシマザクラ**

クシマザクラ（学名：*Cerasus* Sato-zakura Group 'Kushimana'）は、1947 年に大村神社の境内で見つかった。これは、桜の八重咲栽培品種であるサトザクラの突然変異による全く新しい品種である。大村神社近くで見つかったもう 1 つの珍しい桜の品種であるオオムラザクラ（学名：*Cerasus* Sato-zakura Group 'Mirabilis'）と比べ、少し小ぶりな花をつける。普通と異なる点は、花の約半数がメインとなる外側の花より内側の小さな花がやや遅れて開花して、2 段階で花を付けることである。クシマザクラには 1 つの花につき通常 45 枚の花弁があり、満開時の直径は 4.5 センチにもなる。

クシマザクラ種もまた大村公園内の大村神社の境内で、植物学者兼教師である外山三郎（1902–1986）により確認された。外山は、オオムラザクラを 1941 年前に確認していた。

大村公園には推定 200 本のクシマザクラの木があり、これらはすべて原木から繁殖させたものである。3 月下旬から 4 月上旬にかけて、大村公園で大村桜まつりが開催される。クシマザクラの木は、長崎県の天然記念物となっている。

【タイトル】 大村藩お船蔵跡

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>**大村藩船蔵遗址**

江戸時代(1603-1867)の船蔵（船坞）能以原貌保存下来的屈指可数，大村藩船蔵是其中十分难得的一例，其遗址已被指定为长崎县史迹。1571 年，大村家族向葡萄牙商人开放了长崎港，大村藩船蔵是长崎港最初建造的船坞。凭借这处港口，大村家族得以从中国进口硝石、丝绸等贵重商品。因地址相对隐蔽，船坞保存完好。船坞后方的高地上建有粮仓和制造火药的硝石整備场。

16 世纪时，大村家族的领地被大村湾与其他地区隔开，直到 17 世纪早期德川幕府掌权前，长崎港一直都在大村家族管辖之下。无论是从运输、海上贸易还是国防角度看，船坞都是极其重要的设施。

这座船坞建于 17 世纪晚期，受大村家第 4 代藩主大村纯长(1636-1706)之命修建。船坞位于玖岛城西南侧，以附近的半岛为天然防御屏障，共有 3 个泊位，每个宽约 8 米，从较浅的海湾开凿出水渠。泊位间有石码头隔开，最长的一条距海岸 31 米。中间泊位两侧的码头前端都留有打木桩用的孔洞，说明这里曾经建有顶棚遮挡风雨，这个泊位可能用于存放领主的私家小型驳船。

<日本語仮訳>**大村藩お船蔵跡**

江戸時代（1603–1867）からその原型を留めたままで保存されている船蔵は数少なく、大村藩お船蔵は大変貴重な一例であり、長崎県の史跡に指定されている。大村藩お船蔵は 1571 年に大村家がポルトガル商人に長崎港を開港したときに最初に建設された。この港のおかげで、硝石や絹など中国からの貴重な輸入品を一族が入手できるようになった。大村藩お船蔵跡が守られた立地にあったことが、その保存に貢献した要因であろう。お船蔵の裏の高くなっているところに、米蔵と、火薬を作るための硝石を調合する施設が建っていた。

16 世紀に大村家が統治していた領地は大村湾により隔てられており、17 世紀初めに徳川幕府にその支配権が握られるまでは、長崎港もその中に含まれていた。御船蔵は、輸送、海運業、防衛にとって極めて重要な施設だった。

お船蔵は、17 世紀の終わりに大村家第 4 代藩主である大村純長（1636–1706）の委託により、玖島城の南西側に建設されたものであり、近隣の半島により守られていた。お船蔵の 3 つの船渠は、それぞれ、幅約 8 メートルで、浅い湾から水路が掘られている。船渠は、石の埠頭で隔てられており、一番長いもので、岸から 31 メートルにも及ぶ。真ん中の船渠の両側の横にある埠頭の先端沿いに杭用の穴があることから、風雨などから保護するための屋根に覆われていたことがわかる。このように覆われた船渠は、おそらく、藩主の個人的な輸送手段を担っていた舩を保管するために使用していたのであろう。

【タイトル】玖島城址

【想定媒体】看板、WEB、アプリ

<簡体字>**玖島城遺址**

玖島城位于大村湾一个向大海突出的小半岛上，视野开阔，位置优越，大村家族从 16 世纪至 19 世纪期间一直居住在此。

玖島城于 1599 年建成，由大村藩首代藩主大村喜前(1569-1616)下令建造。1587 年丰臣秀吉(1537-1598)征伐九州时，大村喜前曾提供援助，因此被封为大村地区的大名（大领主）。当时的丰臣秀吉位列关白（相当于摄政），后来成为日本的实际统治者。丰臣秀吉去世之际，大村喜前料到丰臣家族和德川家族之间将展开权力斗争，决定未雨绸缪采取行动巩固大村家族的统治，遂下令在大村湾建造玖島城。1599 年玖島城竣工后，大村喜前将家族从内陆小城迁到了这处防御更为坚固的城郭内。

玖島城建有数条连接大海的护城河、坚实的石垣城墙，以及木结构瞭望塔。藩主的居所位于玖島城本丸（城郭核心区域）里的一栋平房内。

玖島城建筑群的面貌在第 2 代藩主大村纯赖(1592-1619)的任上发生了巨变。1607 年，大村纯赖接受老将加藤清正(1562-1611)的建议扩建玖島城，并加固防卫。加藤清正此前监督设计的熊本城坚不可摧，在 200 多年后的西南战争（1877 年）中经受长达大约 2 个月的围攻后仍然固若金汤。

1867 年，德川幕府终结，中村家族在 1871 年才交出居所玖島城离去，城郭就此废弃，后被拆除。为纪念历代大村家族的世代先祖，1884 年，人们将大村神社从内陆迁至玖島城遗址内。如今，玖島城的城墙和护城河已是大村公园的一部分。

<日本語仮訳>**玖島城址**

玖島城は大村湾に突き出た小さな半島にあり、遠くまで見渡せる場所に立地しており、16 世紀から 19 世紀まで大村家の居所であった。

1599 年に、近代初期の大村藩の初代藩主である大村喜前（1569–1616）の命により築かれた。喜前は、後に日本の事実上の統治者となった関白である豊臣秀吉（1537–1598）から、同氏の 1587 年の九州征伐を援護したとして大村地域の大名を与えられた。秀吉の死に際し、喜前は、豊臣家と徳川家の間の権力抗争が繰り広げられることを予想して、大村家の支配を維持するための手段を講

じた。喜前は、大村湾に玖島城を建設することを命じ、1599 年に完成すると、一族を小さな内陸の城からより要塞化されたこの場所に移るよう命じた。

玖島城は、海へとつながる一続きになったお堀で守られており、石造りの大きな壁や木造の望楼があった。藩主は、玖島城の本丸に位置する平屋建ての居宅で暮らしていた。

玖島城の建物群は、大村家第 2 代藩主である純頼（1592–1619）のもとで大きく変わった。純頼は、1607 年に老練な将軍である加藤清正（1562–1611）の助言を受けて玖島城を拡張し、防衛を強化した。清正はこれに先立って、200 年以上後の西南戦争（1877 年）の約 2 か月にわたる包囲攻撃にも持ちこたえた、難攻不落の熊本城の設計を監督していた。

玖島城は、徳川幕府による統治が 1867 年に終わり、これが明け渡されて廃城となった 1871 年まで、大村家の居所として役目を務めた。大村神社は、大村家の先祖代々を祀るため、1884 年に内陸の場所から玖島城の跡地内に移された。城壁とお堀は、今では大村公園の一部になっている。

【タイトル】玖島城址

【想定媒体】WEB

<簡体字>

玖島城遗址

玖島城位于大村湾一个向大海突出的小半岛上，视野开阔，位置优越。大村家族从 16 世纪至 19 世纪期间一直住在这里。现在，玖島城的石垣城墙和护城河都是大村公园的一部分。外护城河已被填埋成为公园用地，内护城河上栽种着数十万株花菖蒲(*Iris ensata* var. *ensata*)。1992 年，为重现典型的 17 世纪城楼面貌，公园在南侧外墙上建造了板敷櫓（箭楼）。

玖島城于 1599 年建成，由大村藩首代藩主大村喜前(1569-1616)下令建造。1587 年丰臣秀吉(1537-1598)征伐九州时，大村喜前曾提供支援，因此被封为大村地区的大名（大领主）。当时的丰臣秀吉位列关白（相当于摄政），后来成为日本的实际统治者。

1598 年丰臣秀吉去世之际，大村喜前料到丰臣家族和德川家族之间将展开权力斗争，决定未雨绸缪采取行动巩固大村家族的统治，遂下令在大村湾建造玖島城。1599 年玖島城竣工后，大村喜前将家族从内陆小城迁到了这处防御更为坚固的城郭内。

玖島城的护城河均与海相连，北侧的“舍堀”（隐河；堀，音同“枯”）深达 4 米，可延缓敌人从半岛岸边登陆的速度。建有木结构瞭望塔的石垣城墙也进一步提高了玖島城的防御能力。藩主的居所则在本丸（城郭核心区域）里的一栋平房内。

玖島城建筑群的面貌在第 2 代藩主大村纯赖(1592-1619)的任上发生了巨变。1607 年，大村纯赖接受老将加藤清正(1562-1611)的建议扩建玖島城，并加固防卫。加藤清正此前监督设计的熊本城坚不可摧，在 200 多年后的西南战争（1877 年）中经受长达约 2 个月的围攻后仍然固若金汤。

玖島城外墙采用“扇坡”构造，墙基阔大，墙体呈弧形坡状，坡度越往上越陡峭。这种设计提升了石垣城墙的稳定性，同时让进攻方难以攀爬，大幅度增强了城郭的防御能力。城墙外侧的箭楼很可能也增建于这一时期。

1867 年德川幕府的统治结束。大村家族 1871 年才交出居所玖島城，城郭废弃后被拆除。在明治政府(1868-1912)的领导下，日本迅速推进现代化进程，城郭等大量幕府时代的遗留建筑被拆毁。1884 年，为纪念大村家族世代先祖，人们将大村神社从内陆迁至玖島城遗址内。

玖島城虽为抵御水陆两路攻击而建，实际上却从未遭到进犯，摧毁这座城郭的终究还是滚滚向前的时代巨轮。

<日本語仮訳>

玖島城址

玖島城は大村湾に突き出た小さな半島にあり、遠くまで見渡せる場所に立地しており、16 世紀から 19 世紀まで大村家の居所であった。石の城壁とお堀は、今では大村公園の一部になっている。外堀は公園用地にするために埋められ、内堀には数十万ものハナショウブ（学名：*Iris ensata* var. *ensata*）が植えられた。1992 年に南側の外壁に板敷櫓が再建築され、典型的な 17 世紀の城楼となっている。

玖島城は、1599 年に近代初期の大村藩の初代大名藩主である大村喜前（1569-1616）の命により築かれた。喜前は、後に日本の事実上の統治者となった関白である豊臣秀吉（1537-1598）から、同氏の 1587 年の九州征伐を援護したとして大村地域の大名を与えられた。

1598 年の秀吉の死に際し、喜前は豊臣家と徳川家の間の権力抗争が繰り上げられることを予想して、大村家の支配を維持するための手段を講じた。喜前は、大村湾に玖島城を建設することを命じ、1599 年に完成すると、一族を小さな内陸の城からより要塞化されたこの場所に移るよう命じた。

玖島城は、海へとつながる一続きになったお堀で守られており、北側には半島の岸から上陸する敵の接近を遅らせるよう設計された深さ 4 メートルの捨堀（隠れたお堀）がある。木造望楼が備わった高い石の壁がさらに防護を高めた。藩主は、玖島城の本丸内の平屋建ての居宅で暮らしていた。

玖島城の建物群は、1614 年に大村藩第 2 代藩主である純頼（1592-1619）のもとで大きく変わった。純頼は 1607 年、老練な将軍である加藤清正（1562-1611）の助言を受けて玖島城を拡張し、防衛を強化した。清正はこれに先立って、200 年以上後の西南戦争（1877 年）の約 2 か月にわたる包囲攻撃にも持ちこたえた、難攻不落の熊本城の設計を監督していた。

玖島城の外側の防衛は、「扇勾配」として知られる造りになっており、土台の幅が広く、上にいくに従って急勾配になっている石の城壁によって強化された。この形状により壁の安定性が増し、攻撃者が城壁を登ることを困難にした。外壁沿いの櫓を建てたのもおそらくこの時であろう。

玖島城は、徳川幕府による統治が 1867 年に終わり、これが明け渡されて廃城となった 1871 年まで、大村家の居所として役目を務めた。その当時、明治政府（1868-1912）のもとで日本の近代化が急速に進むにつれて、城の多くを含む幕府を想起させるものが取り壊されていった。大村神社は、大村家の先祖代々を祀るため、1884 年に、内陸の場所から玖島城の城内に移された。

玖島城は水陸からの起こり得る攻撃に持ちこたえるために築かれたが、攻撃されることはなかった。蓋を開けてみれば、この城を倒したのは時代の変化だったのである。

【タイトル】玖島城：本丸跡

【想定媒体】看板、WEB、アプリ

<簡体字>**玖島城：本丸遺址**

玖島城本丸（城郭核心区域）内建有大村家族藩主居住の平房。玖島城虽然没有高耸的天守阁，但因其坐拥大村湾，又有内外护城河守护，使得这座城郭形如孤岛，易守难攻。

玖島城于 1599 年建成，由大村藩首代藩主大村喜前(1569-1616)下令建造。1587 年丰臣秀吉(1537-1598)征伐九州时，大村喜前曾提供军事支援，因此被封为大村地区的大名（大领主）。当时的丰臣秀吉位列关白（相当于摄政），后来成为日本的实际统治者。1598 年丰臣秀吉去世之际，大村喜前料到丰臣家族和德川家族之间将展开权力斗争，决定未雨绸缪采取行动巩固大村家族的统治，遂下令在大村湾建造玖島城。1599 年玖島城竣工后，大村喜前将家族从内陆小城迁到了这处防御更为坚固的城郭。玖島城本丸位于建筑群北侧最靠近陆地之处，旁边有两片高墙环绕的家臣住宅区护卫。

1867 年，德川幕府将军将政权奉还天皇，幕府统治走向终结。为剥夺地方藩主权力，谋求国家现代化，新成立的明治政府(1868-1912)下令拆除了大量城郭。玖島城的大部分建筑也未能幸免，但大村家族被允许保留玖島城北側角上的一处小宅邸“梶山御殿”。大村家族的末代藩主大村纯熙(1830-1882)虽出生在玖島城，但一生大部分时间都在江戸（今东京）度过。为纪念大村家族世代先祖，1884 年，人们将大村神社从内陆迁至玖島城遗址内。

<日本語仮訳>**玖島城：本丸跡**

玖島城本丸内のこの場所に、大村家の藩主の平屋建ての居宅が建っていた。玖島城には天守閣はなかったものの、大村湾に囲まれていること、そして内堀と外堀の造りによって城全体を事実上島状の地形にすることにより防御されていた。

玖島城は、1599 年に大村藩の初代大名藩主である大村喜前（1569–1616）の命により築かれた。喜前は、後に日本の事実上の統治者となった関白である豊臣秀吉（1537–1598）から、同氏の 1587 年の九州征伐を援護したとして大村地域の名大を与えられた。1598 年の秀吉の死に際し、喜前は豊臣家と徳川家の間の権力抗争が繰り上げられることを予想して、大村家の支配を維持するための手段を講じた。喜前は、大村湾に玖島城を建設することを命じ、これが完成すると一族を小さな内陸の

城からより要塞化されたこの場所に移ることを命じた。玖島城本丸は、建物群の北側の本土に最も近いところにあり、壁で囲まれた家臣の住まいである 2 つの屋敷群により守られていた。

大政奉還が行われた 1867 年、徳川幕府は終焉を迎えた。地方の藩主から権力を奪い、国の近代化を図るため、新明治政府（1868-1912）により城の多くを取り壊す命が下された。玖島城のほとんどの建物は取り壊されたが、大村家は、玖島城の城内の北側の一角に建った小さな居所である梶山御殿を維持することを許された。大村家最後の藩主である大村純熙（1830-1882）は玖島城で生まれたが、その生涯のほとんどを後の東京となる江戸で過ごした。大村神社は、大村家の先祖代々を祀るため、1884 年に内陸の場所から玖島城の城内に移された。

【タイトル】 旧梶山御殿

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>

旧梶山御殿

梶山御殿位于玖岛城一角，是大村家族的别所。御殿建于江户时代(1603-1867)，由大村藩第 10 代藩主大村纯昌(1786-1838)下令建造。1871 年玖岛城被拆除时，此处宅邸被允许保留下来。现存建筑是一栋 1915 年修筑的平房。

在戊辰战争(1868-1869)中，大村家族加入新政府军与德川幕府军交战。新政府军最终取得胜利，这意味着政权重归天皇、幕府统治终结。明治维新时期，日本的大名（大领主）家族纷纷被剥夺称号和领地，大量城郭被拆除，玖岛城也未能幸免。不过，曾经支持天皇的旧大名家得到了恩赏，大村家族不仅被授予大日本帝国新贵族（华族）称号，还被允许在东京设立居所的同时，继续保有梶山御殿。

现在的梶山御殿建筑保留了宅邸原本的设计，属于典型的“数寄屋”样式，借鉴了茶室建筑优雅闲寂的风格。室内空间用推拉障子门分隔，地面铺有榻榻米。住宅一侧修有室内缘侧（檐廊），面对以大村湾为背景的优美庭园。1963年，梶山御殿转交给长崎县管理，现在是一处教育设施，不对公众开放。

<日本語仮訳>

旧梶山御殿

梶山御殿は、江戸時代（1603-1867）に大村家一族の第 2 の居所として、玖島城の城内の一角に建てられた。大村藩第 10 代藩主である大村純昌（1786-1838）により建てられたものである。大村家は 1871 年に玖島城が取り壊された後も、この居所を維持することを許されている。現在の構造は、1915 年築の平屋建ての居宅となっている。

1868 年、大村家は戊辰戦争（1868-1869）で徳川軍を相手に新政府軍側で戦った。新政府軍側の勝利は、幕府の政治権力の終焉、天皇への主権の回復を意味した。明治維新では、大名家は称号や領地を失い、玖島城を含む城の多くが取り壊されたが、大政奉還を支援した旧大名家には褒美が与えられた。大村家には大日本帝国の新たな貴族階級（華族）の称号が与えられ、東京で居所を構えながら、梶山御殿を維持することを許された。

現在の構造は居宅の当初の設計に従ったものとなっており、茶室建築の閑寂に触発された典型的な「数寄屋」造りとなっている。畳が敷き付けられた部屋は襖で仕切られており、居宅の片側に沿って室内の

縁側があり、大村湾を背にして景色の良い庭の眺めを楽しむことができる。1963 年にその管理は長崎県に移された。梶山御殿は、現在では教育施設としての役目を務めており、一般公開はされていない。

【タイトル】 大村公園のハナショウブ

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>**大村公園の花菖蒲**

暮春至初夏，玖島城の护城河里开满了紫色花菖蒲(*Iris ensata* var. *ensata*)。公园的花菖蒲庭园建于 1961 年，最初是在原内护城河的长堀（音同“枯”）和南堀里栽种了来自熊本县的肥后花菖蒲，两年后，又先后从东京和三重县移植了江戸花菖蒲和伊勢花菖蒲。如今每年都会有约 30 万株紫色花菖蒲盛开，花圃面积达 9500 平方米，规模堪称西日本之最。

玖岛城于 1599 年建成，有内、外两道用于防御的护城河。1868 年德川幕府(1603-1867)统治告终，政权回归天皇后，日本在明治政府(1868-1912)的领导下踏上了现代化进程，大量留有幕府时代印记的建筑被拆除，玖岛城也未能幸免。外护城河填埋后已经成为公园用地，北侧和东侧的内护城河里则大量栽种了花菖蒲，共计 171 个品种。每年 3 月下旬至 6 月下旬，大村公园都会举办大村花卉节，期间也会展示通常于 5 月下旬至 6 月上旬盛开的花菖蒲。

<日本語仮訳>**大村公園のハナショウブ**

晩春から初夏にかけて、玖島城のお堀に紫色のハナショウブ（学名：*Iris ensata* var. *ensata*）があたり一面に咲き乱れる。ハナショウブ庭園は、熊本県からの肥後ハナショウブが内堀である長堀と南堀に植えられ、1961 年に作られた。その 2 年後、江戸ハナショウブが東京から移植され、続いて伊勢ハナショウブが三重県から移植された。毎年、西日本最大を誇る約 30 万本もの紫色のハナショウブが 9,500 平方メートルにわたり咲き乱れる。

防衛用の内堀と外堀を備えた玖島城は、1599 年に築城された。1868 年の徳川幕府（1603-1867）の終焉、大政奉還の後、日本は明治政府のもとで近代化のプロセスを開始。玖島城を含め、幕府を象徴するものは取り壊された。外堀は公園用地にするために埋められ、玖島城の北側と東側の内堀には、171 種ものハナショウブが植えられた。大村公園では、ハナショウブを展示するおおむら花まつりを 3 月下旬から 6 月下旬まで開催しており、ハナショウブは、通常、5 月下旬から 6 月上旬にかけて花を咲かせる。

【タイトル】 長岡安平

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>**长冈安平**

出生于大村的长冈安平(1842-1925)是日本最早的近代风格造园家，由他建造，或是在设计上受其影响的公园和庭园遍布日本各地。长冈安平擅长利用自然地理环境造园，以及通过花木布局引人入胜。

长冈安平的职业生涯始于土木工程师，1878 年他参与设计了皇居护城河景观，之后受邀担纲设计了东京及日本各地的公园和庭园。他的作品包含从北海道到九州的 41 座公园，代表作有秋田县的久保田城千秋公园、旧池田氏庭园・拂田分家庭园（国家指定名胜）、东京的芝公园等。1884 年，长冈安平从东京带回了约 1000 棵樱花树，栽种在玖岛城内，以此纪念新落成的大村神社。

<日本語仮訳>**長岡安平**

長岡安平（1842–1925）は、大村で生まれ、日本における最初の近代造園家とされている。日本全国の公共の公園や庭園の多くは、長岡により造られたか、もしくは長岡の影響を受けたものである。長岡は、設計においてその土地の自然の地理を活用し、来訪者が楽しめるよう花を咲かせる木々を植えた。

長岡は土木技師として働き始め、1878 年に皇居のお堀の造園に携わった。その後、東京や日本各地の公共の公園や庭園を設計するよう要請され、ついには秋田県の久保田城にある千秋公園と旧池田氏庭園・払田分家庭園（国指定名勝）、東京の芝公園など、北海道から九州までに及ぶ 41 の公園に携わった。1884 年、長岡は東京から約 1,000 本もの桜の木を持ってきて、新たに建立された大村神社の記念に玖島城内に植樹した。

【タイトル】大村喜前公遺徳碑

【想定媒体】看板、WEB、アプリ

<簡体字>

大村喜前公遺徳碑

大村喜前(1569-1616)放弃基督教信仰，在日本群雄割据的乱世中称霸一方。为铭记他带领家族走出危机的功绩，人们在大村神社里立碑纪念。

大村家族初代藩主

1587 年，日本关白（相当于摄政）丰臣秀吉(1537-1598)征伐九州，年仅 19 岁的大村喜前替生病的父亲参战。九州征伐终获成功，父亲却在同年离世，大村喜前在丰臣秀吉麾下受封成为大村地区的大名（大领主），并成为之后德川幕府(1603-1867)的大村藩第一代藩主。

1598年丰臣秀吉去世之际，大村喜前预见到丰臣家族和德川家族之间将展开权力斗争，决定未雨绸缪采取行动巩固大村家族的统治，遂下令在大村湾建造玖岛城。1599年玖岛城竣工后，大村喜前将家族从内陆小城迁到了这处防御更为坚固的城郭内。

改盟

正如大村喜前所料，效忠丰臣家族的大名与德川家康(1543-1616)的支持者彼此敌对，并且摩擦不断升级，导致 1600 年在今岐阜县爆发了关原之战。曾经支持丰臣家族的大村喜前这次却选择与肥前国（今佐贺县和长崎县；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”）的其他 3 个大名家族站在一起，加入德川军一方。德川家康联军取得了最后的胜利，日本在此后创立的德川幕府治下终得统一，发誓效忠的战国大名们也得到了恩赏，获封地方藩藩主高位。

大村喜前与基督教信仰

大村喜前的父亲大村纯忠(1533-1587)是日本第一位吉利支丹大名。吉利支丹是指 16 世纪至明治时代(1868-1912)的日本基督教徒。16 世纪中叶，耶稣会传教士首次来到日本南部，大村喜前和父亲一样也接受了基督教洗礼。就在大村喜前获封大名后不久，丰臣秀吉认为基督教对日本政治和社会制度构成了威胁，颁布法令限制基督教传播。

大村喜前很快就将所有基督教传教士驱逐出了领地。1602 年，他公开宣布放弃基督教信仰，改信日本佛教日莲宗，此举远早于德川幕府颁布取缔基督教法令。他还下令拆除领地内

先父修建的教堂，并在原址建造了寺院和神社。1615 年，病重的大村喜前将藩主之位传给儿子大村纯赖(1592-1619)，翌年去世，享年 48 岁。

<日本語仮訳>

大村喜前公遺徳碑

大村喜前（1569–1616）はキリスト教信仰を捨て、日本の支配を巡って群雄割拠が戦乱を繰り返した歴史の混乱期に舵を取った。大村神社の境内にある碑は、政治的危機に満ちた時代に、喜前が大村家を導いた実際的な手腕を称えたものである。

大村家初代藩主

国の関白である豊臣秀吉（1537–1598）による 1587 年の九州征伐に、病の父に代わり参戦したとき、喜前は 19 歳だった。九州征伐は成功したが、喜前の父は同年に死去した。喜前は秀吉の統治のもと、大村地域の大名に取り立てられ、徳川幕府（1603–1867）開府後に大村藩の初代藩主となった。

1598 年の秀吉の死に際し、喜前は豊臣家と徳川家の間の権力抗争が繰り返されることを予想して、大村家の統治を維持するための手段を講じた。喜前は大村湾に玖島城を建設することを命じ、1599 年に完成すると、一族を小さな内陸の城からより要塞化されたこの場所に移ることを命じた。

同盟の変化

喜前が予想した通り、豊臣家に忠誠を誓う大名家が、徳川家康（1543–1616）を援護する者と敵対したために対立が生じ、その敵意が現在の岐阜県での関ヶ原の戦い（1600 年）で山場を迎えた。喜前は秀吉を援護していたが、肥前国（現在の佐賀県と長崎県、ここの「国」とは、古代日本の行政区画で、いまの「国家」とは異なる）からの 3 つの大名家と一緒に徳川側で戦うことを選んだ。家康とその連合軍は勝利をおさめ、この勝利により、家康は徳川幕府のもと日本を統一した。家康は、忠誠を誓ったこれらの戦国大名に、褒美として地方の藩の大名藩主としての高い地位を与えた。

喜前とキリスト教信仰

喜前は、日本で最初のキリシタン大名である大村純忠（1533–1587）の子息であった。キリシタンとは、16 世紀から明治時代（1868-1921）における日本のキリスト教信者のこと。父と同様に、16 世紀半ばに最初に南日本に到着したイエズス会の宣教師による洗礼を受けたが、喜前が大名になってまもなくして、キリスト教が日本の政治・社会制度への脅威になるであろうと考えていた豊臣秀吉により、キリスト教の布教を制限する命令が発せられた。

その後まもなくして、喜前は大村藩からキリスト教の宣教師をすべて追放した。徳川幕府がキリスト教信仰を違法とする命を発するよりもずいぶん早い 1602 年に、喜前は公にキリスト教信仰を捨てて日蓮仏教に改宗した。喜前は父が大村藩の領土に建てた教会の取り壊しを命じ、その跡地に寺院と神社を

建立した。1615年には病を患い藩主の地位を子息の純頼（1592-1619）に譲り、その1年後に48歳でこの世を去った。

【タイトル】大村彦右衛門純勝碑

【想定媒体】看板、WEB、アプリ

<簡体字>**大村彦右衛門純勝碑**

大村彦右衛門純勝(1567-1659)在大村家族历任了四代家老（家臣之首）。17 世纪早期，他帮助大村家族躲过了血脉断绝的危机，因而备受尊重。1620 年，为表彰他的忠诚，大村家族将大村姓氏和家纹赐予了他和他的后代。

据说大村彦右衛門純勝 14 岁入大村家族侍奉，16 岁从军参战，后来升任为家老。

1615 年，大村純頼(1592-1619)成为大村家族第二代藩主，但尚未有继承人就突然病逝，只留下一个没有出生登记的庶子大村純信(1618-1650)。在德川幕府(1603-1867)时代，未生嫡子、未经申报擅自结婚或生子俱被视为有罪，不遵法规的武士家族可能会被剥夺称号和俸禄。大村純頼的早逝使大村家族突然面临失去藩主地位和领地的危机。

为大村家族解除这场危机的正是大村彦右衛門純勝。他隐瞒了大村純頼的死讯，假借他的名义给幕府发送了一封信函，声称自己身患重病，欲将純信收为养子。幕府认可了大村純信的请求，大村家族的血脉家系这才得以保全。直到80多岁，大村彦右衛門純勝仍然作为备受信赖的顾问为大村家族效力。

<日本語仮訳>**大村彦右衛門純勝碑**

大村彦右衛門純勝（1567-1659）は、大村家の 4 代にわたる家老として役目を務め、17 世紀始めに家系が途絶える危機から救ったことにより高い評価を得た。大村家は、1620 年に純勝の忠誠をたたえ、純勝とその子孫に大村の名と家紋を与えた。

純勝はおおよそ 14 歳のときから大村家に仕えていたとみられており、初めて参戦したのは 16 歳だったと言われている。のちに純勝は家老に昇格した。

大村純頼（1592-1619）は、1615 年に大村家第 2 代藩主になったが、正式な後継者がなく突然病死した。純頼は妾との間にもうけた唯一の子息である純信（1618-1650）の出生を登記していなかった。徳川幕府（1603-1867）のもとでは、嫡子をもうけないこと、または出生や結婚を届けないことは処罰に値する罪であった。このような違反の罪を犯しているとみなされた武家は、その称号や俸給を失うこともあり得た。純頼の早世により、大村家は突然地位と領地を失う危機に見舞われた。

純勝は策を講じてこの危機から大村家を救った。純頼が書いたと偽った書簡を送るのに必要な間、純勝は幕府から純頼の死を隠した。書簡では、藩主は重篤な病を患っており、純信を世継ぎに養子として

迎えたことが書かれていた。幕府が純信のことを認めために、大村の家系は救われたのである。純勝は 80 代になるまで、信頼されるご意見番として大村家に仕えた。

【タイトル】 浜田弥兵衛の碑

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>

浜田弥兵衛碑

浜田弥兵衛（生卒年不详）因反抗外国贸易强权、为日本在与荷兰的贸易中争取到了更公平的条件而被世人铭记。有荷兰政府做后盾的荷兰东印度公司(VOC)是 17 世纪欧洲在东亚最大的贸易商，其主要任务是将香料和丝绸运回欧洲。该公司以东亚各地的港口为通商基地，并通过军事力量维护自己的权益。

在台湾的荷兰人

17 世纪 20 年代时，浜田弥兵衛是武装商船“朱印船”的船长。在德川幕府(1603-1867)的保护下，这些商船以长崎为据点，经由台南（今中国台湾）与明朝进行贸易。由于一直无法强制中国开港，东印度公司于 1624 年将台湾占为殖民地，并将其作为通商基地。然而中国丝绸商并不愿意将货品售予荷兰人，因为他们能以更好的价格卖给日本人。1625 年，荷兰驻台湾殖民地的总督奉命阻止日本人来此通商，于是对行经港口的所有商品征收高额关税。

抗议荷兰霸权

1625 年，浜田弥兵衛的商船从长崎出发前往中国收购丝绸等商品。航行到台湾时，他们拒绝向荷兰人支付新的关税。荷兰当局没收了浜田弥兵衛的货物，并暂时禁止日本商船在台湾的贸易活动。不过在此之前，荷兰东印度公司已获取幕府许可，在长崎北端的平户建立了一个小型贸易站，因而希望与用金、银、铜交换丝绸、糖以及欧洲商品的日本人保持良好的关系。为确立荷兰对台湾的统治，驻台湾的荷兰总督请求与幕府会面，但遭到了浜田弥兵衛的驳斥，他宣称日本已经获得台湾人民赋予的统治权。最终，总督的拜谒请求被幕府拒绝了。

人质事件

1628 年，浜田弥兵衛再次尝试与台湾通商，荷兰东印度公司仍要对他的货物征收关税、对他的船只征收停泊费，并在遭到拒绝后扣押了商船和船上的武器。浜田弥兵衛怒而揭竿，扣押总督为人质，要求荷兰人归还自己的船只和财产。在台湾的荷兰当局担心因此失去对日贸易权，应允了浜田弥兵衛的条件，并且派总督前往日本赔罪谋求和解，结果总督被日本软禁了数年。之后，东印度公司多次向幕府提出可以馈赠礼物和提供军事支援。1639 年，幕府

发布锁国令，只有荷兰人被允许留下，但必须接受严密监控。浜田弥兵卫在荷兰势力前威武不屈、坚定维护日本在外权益的形象就此铭刻在日本人的记忆中。

<日本語仮訳>

浜田弥兵衛の碑

浜田弥兵衛（生没年不詳）は、外国の通商力に対抗するために立ち上がり、日本・オランダ間のより公平な貿易条件を構築したことで有名である。オランダ政府の後ろ盾のあるオランダ東インド会社（VOC）は、17 世紀の東アジアにおいてヨーロッパ最大の貿易業者であり、スパイスやシルクをヨーロッパに持ち帰っていた。彼らは通商基地として地域全体において港を確保し、軍事力によりその権益を守っていた。

台湾にいるオランダ人

浜田は、1620 年代に長崎を拠点としていた武装商船である「朱印船」の船長であった。これらの商船は台南（現在の台湾）を経由して明国と貿易を行い、徳川幕府（1603-1867）の後援を受けていた。1624 年、中国に開港を強制することができなかった VOC は、通商基地として台湾を植民地化した。しかしながら、オランダ人は有利な価格を要求して日本人に売りさばくので、中国の絹商人はオランダ人に売るのを渋っていたようだ。1625 年に台湾にある植民地のオランダ人総督は、日本人がそこで通商を行うことを阻むよう命を受け、その港を経由するすべての商品に高い関税を課した。

浜田によるオランダ覇権への抗議

中国商人から絹などを買い付けるために 1625 年に長崎から台湾に航行したとき、浜田は新たな関税の支払いを拒絶した。オランダ当局は浜田の積み荷を押収し、日本の商船は一時的に台湾での通商を禁止された。VOC は、すでに幕府の許可を得て長崎の北端にある平戸で交易所を持っており、金、銀、銅で絹や、砂糖、ヨーロッパの商品と交換する取引を行う日本人と良好な関係を維持することを望んでいた。台湾におけるオランダの植民地の総督は、オランダによる台湾支配を確立するために幕府との拝謁を求めたが、日本が台湾の人たちから統治する権利を与えられたという主張を試みた浜田により阻止されたのである。結局、総督の拝謁は許されなかった。

人質事件

1628 年、浜田は再び台湾での通商を試みた。VOC は浜田の積み荷に関税を課し、浜田の貿易船に停泊料を課した。浜田がこれらの支払いを拒絶すると、浜田の船と武器を押収した。浜田は総督を人質に取ることでこれに対応し、船と財産の返還を求めた。台湾のオランダ当局は、日本と貿易を行う VOC の権利を失うことを恐れて、浜田の要求に同意し、後に懲罰として総督を日本に送ることで和解を図った。こうして、オランダ人総督は数年軟禁されることとなったのである。VOC は、贈り物や軍事支援の提供など、幕府に対し何度も申し入れをした。1639 年に幕府が鎖国令を発出した後も、オランダ人のみが厳しい管理下ではあるものの、留まることを許された。浜田弥兵衛は、オランダ人に屈することなく、外国における日本の権益を強く守ったことで多くの人の記憶に残っている。

【タイトル】 斎藤歓之助の碑

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>

斎藤歓之助碑

斎藤歓之助(1833-1898)是为大村家族训练家臣的剑道高手，他的“神道无念流”剑术奠定了现代剑道的基础。

斎藤歓之助出生在江戸（今東京），是家中三子。他父亲斎藤弥九郎(1798-1871)是 19 世纪时公认的三大剑术高手之一。斎藤歓之助自幼进入父亲的道场练习剑术，少年时就掌握了能有效制敌的刺击术。据说他 17 岁时就能一人单挑并击败了来道场切磋的整个长州藩（今山口县）武士团。

19 世纪 50 年代早期，大村家族最后一位藩主大村纯熙(1830-1882)因仰慕斎藤家族的剑术，邀请斎藤歓之助前来担任家臣们的教练，并任命他为藩主的护卫长。此后 6 年里，斎藤歓之助用神道无念流为大村家族训练了大批武士。高超的剑术和严厉的训练方式使他获得了“鬼歓”的绰号。

斎藤歓之助一生培养了 1000 多名武士，他的很多门生都参加了德川幕府军与拥护天皇复古的倒幕军之间的戊辰战争(1868-1869)。大村家族参加的拥立明治天皇(1852-1912)的倒幕军取得了最终胜利，幕府统治宣告终结。

斎藤歓之助在大村家生活了 40 年左右，晚年因身体欠佳回到东京，1898 年去世。为了感谢斎藤歓之助的培育之恩，他的门生和大村家族成员在玖岛城为他立碑纪念。

<日本語仮訳>

斎藤歓之助の碑

斎藤歓之助（1833-1898）は、剣の達人であり、大村家の家臣らを訓練した。歓之助は、現在の剣道の基礎となった、神道無念流の剣術家である。

歓之助は、19 世紀における 3 人の偉大な剣の達人のうちの 1 人とされている剣の達人である斎藤弥九郎の三男として江戸（現在の東京）で生まれた。若いころから父の道場で修練を始め、10 代のときに相手を衰弱させるのに効果のある突きを体得した。17 歳の時には、道場に練習試合に来た長州藩（現在の山口県）出身の武士団をひとりで負かしたと言われている。

1850 年代の始めに、大村家最後の藩主である大村純熙（1830-1882）は、斎藤家の剣の腕前に感銘を受け、歓之助に家臣の師範となるよう要請した。歓之助はまた、藩主の護衛長に任命された。

それから6年を経て、歓之助は、神道無念流により大村家の武士を訓練した。歓之助の剣の腕前とその厳しい訓練の手法から、「鬼歓」という異名を得た。

歓之助は、生涯にわたり、1,000人以上の武士を育てたとみられている。彼の門下生の多くは、徳川幕府軍と大政奉還を求める者たちとの間の戦いである戊辰戦争（1868-1869）で戦った。大村家を含む明治天皇（1852-1912）の援軍は勝利し、幕府の統治は終焉した。

大村家でのおよそ40年の暮らしを送った後、歓之助は体調を悪くして東京に戻り、1898年に同地で死去した。歓之助の門下生や大村家の人たちにより、その指南に対する感謝の意として玖島城に記念碑が建てられた。

【タイトル】 玖島崎樹叢

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>**玖島崎の天然林**

据江戸時代(1603-1867)の文献記載，玖島城本丸（城郭核心区域）及城郭当時几乎完全被樹林覆盖。如今，仍留有部分古老的天然林掩映着玖島城遗址南侧和西侧的部分城墙。自19世纪玖島城被拆毁后，城郭周边旧庭園一带近17万平方米的区域一直任由草木生长，已渐渐恢复天然林面貌，成为各种鸟类的庇护所，并被指定为长崎县天然纪念物。

1867年徳川幕府の統治終結后，政权回归天皇手中。日本在明治政府(1868-1912)の领导下开启现代化进程，大量留有幕府时代印记の城郭都被拆毁，玖島城也未能保留下来。当年的玖島城如今只剩几段石垣城墙和部分内护城河，周边林木葳蕤。

玖島崎天然林中的常緑喬木有小葉栲、樟樹、七葉樹、青岡栎、花楸和舟山新木姜子；茂密的喬木下，还能发现蜀葵、蒿草灌木、黑樹莓，以及阔叶沿阶草、短莖山麦冬等多年生地被植物。

这片天然林是多种鸟类的庇护所，已发现的鸟类品种包括日本南部特有的小星头啄木鸟，以及红翅绿鸠、喜鹊、日本绣眼鸟等。

<日本語仮訳>**玖島崎樹叢**

江戸時代（1603-1867）に書かれた記録によると、玖島城本丸とその城郭は樹林によってほぼ覆い隠されていた。現在では、古い木々の樹叢が玖島城跡地の南側と西側の壁の一部を覆い隠している。19世紀に玖島城が取り壊されて以来樹叢は繁茂したままとされており、玖島城の城郭の周囲、以前庭園であった17万平方メートル近くを取り戻している。現在では、長崎県の天然記念物に指定され、鳥たちの隠れ家となっている。

玖島城は、1867年に徳川幕府の政治的統治が終焉した後廃城となった。大政奉還を受け、明治政府のもとで日本近代化のプロセスが始まり、城の多くを含む幕府を想起させるものは取り壊された。残されているのは石垣と内堀の一部のみで、周りの樹林は人の手が入ることなく繁茂している。

玖島崎樹叢を構成するのは、シイ、クスノキ、セイヨウトチノキ、アラカシ、ナナカマド、シロダモなどの常緑樹である。密生した樹下には、タチアオイ、ヨモギの灌木、日本クロイチゴや、ノシラン、ヤブランなどの多年生の地被植物を見つけることができる。

自然林の状態で保存されているこの樹叢は、さまざまな鳥たちにとっての安全な生息地となっている。南日本に特有のアマミコゲラ、アオバト、カササギ、メジロなどが、樹叢のなかで避難場所を見つけている。

【タイトル】板敷櫓

【想定媒体】看板、WEB、アプリ

<簡体字>**板敷櫓**

登上玖島城南側城墙上の 2 層木結構箭楼“板敷櫓”，可以俯瞰护城河，远眺大村湾。据推测，江戸时代(1603-1867)时城墙上原本有 6 座这样的箭楼，值守箭楼的步兵负责瞭望监视海上和陆上的情况。

櫓（箭楼）与内、外护城河一起，在玖島城的防御中发挥着重要的作用。櫓建在城墙外沿，有隐秘的落石口、供发射箭弩和火绳枪的细长窗口，具备多重防御功能。石墙墙基阔大，墙体呈弧形坡状，坡度越往上越陡峭，这种样式被称为“扇坡”，由当时的城郭设计第一人——加藤清正(1562-1611)发明。这种构造不仅防震性能高，也令入侵者难以攀爬。

这座复原的板敷櫓建于 1992 年，具备 17 世纪典型的塔楼建筑风格。每到春天，登上此楼可赏四周灿若云霞的樱花，还能俯瞰内护城河上几十万株花菖蒲(*Iris ensata* var. *ensata*)竞相绽放的美景。

<日本語仮訳>**板敷櫓**

玖島城南側の城壁にある木造 2 階建ての櫓から、城のお堀と大村湾を望むことができる。江戸時代（1603–1867）には、おそらくこのような櫓が 6 つあった。櫓に配置された歩兵が、陸上と海上からの侵入者を見張っていたのであろう。

櫓は、内堀・外堀とともに玖島城の防衛において重要な役割を果たしていた。外側の城壁に建てられ、落石のための隠し穴、矢や火縄銃を放つための細長い穴など防衛のための機能を備えていたのだ。石垣が、当時の城郭設計の第一人者の一人と考えられていた武将である加藤清正（1562–1611）が生み出した「扇勾配」として知られる造りにより、土台の幅が広く、上にいくに従って急勾配になっている。このような壁により、地震に対する安定性が生まれると同時に、侵入者にとっては登りにくくなっていた。

1992 年に板敷櫓が建てられ、17 世紀の典型的な城楼となっている。板敷櫓は、春になると花を咲かせる桜の木に取り囲まれており、また数十万ものハナショウブ（学名：*Iris ensata* var. *ensata*）が植えられている内堀を見渡すことができる。

【タイトル】 大村公園の鳥

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>**大村公園の鳥類**

大村公園に観察されている留鳥と候鸟は約 70 種、既有に公園池や大村湾の浅瀬で餌を採る大白鷺等常見種、也有に玖島崎天然林に鮮やかな鳥類、如紅脇藍尾鷗。

寒冷時期の大村公園は深秋から北海道から南に渡る灰色の鳴禽——栗耳短脚鴨等鳥類の休息地。公園に豊富な果実と堅果が多くの鳥類を誘引する。温暖な気候は多くの果実と長い花期、从而に昆虫と各種動物に更有利な環境を供給する。秋冬季節、樟樹、烏桕、糙葉樹 (*Aphananthe aspera*) 等樹上は果実が累累。

毎年 11 月中旬から 3 月、寒帯の鳥類が九州に渡り、大村公園も多くの鳥類が訪れる季節。紅翅綠鳩、黑鶯、灰尾漂鶯、錫嘴雀等は長年ここに留まる。

<日本語仮訳>**大村公園の鳥**

大村公園では、これまで約 70 種の鳥が観察されている。大村公園の池や大村湾の浅瀬で餌を採るダイサギなどの一般的な種から、玖島崎樹叢を住処にするルリビタキのような人目を引く種まで、幅広い留鳥や渡り鳥が生息している。

寒い時期の大村公園には、晩秋に北海道から南に渡る灰色の鳴禽、ヒヨドリなどの住処となっている。多くの鳥たちが、大村公園内の豊かな果実や木の実を目指して訪れる。穏やかで温暖な気候は、果実や花をつける時期がより長くなり、虫やその他の動物が好む環境を意味する。クスノキ、ナンキンハゼ、ムクノキ（学名：*Aphananthe aspera*）などの木々は、秋から冬にかけて実をつける。

大村公園では、寒冷気候地にいる鳥が九州に渡ってくる 11 月中旬から 3 月にかけて、野鳥が一番多くなる。アオバト、鳶、キアシシギ、シメなどの留鳥は、年間を通してここに住処にしている。

【タイトル】 玖島稲荷神社

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>

玖島稲荷神社

朱红色的鸟居（神社前类似牌坊的建筑）重重叠叠，连成一条隧道，这就是玖岛稻荷神社的入口。这座神社建于 1480 年，是领主大村纯伊（生卒年不详）战胜有马家族、夺回领地凯旋后修建的。

神社供奉的是掌管稻作、农业和家业兴旺的稻荷神。木结构神殿涂着耀眼的朱红色，拜殿前有 2 尊狐狸像守护，相传它们是稻荷神的使者。

1867 年德川幕府(1603-1867)统治宣告终结后，政权回归天皇。在明治政府(1868-1912)的领导下，日本开启了现代化进程，如城郭等留有幕府时代印记的大量建筑都被拆除。大村家族居所的所在地——玖岛城本丸（城郭核心区域）里的建筑几乎被尽数毁坏，不过，玖岛稻荷神社依然矗立在那里。

<日本語仮訳>

玖島稲荷神社

トンネルのように連なる朱色の鳥居が、1480 年に建立された玖島稲荷神社の入口である。領主である大村純伊（生没年不詳）が有馬家との戦で領地を奪還後に帰還し、玖島稲荷神社が建立された。

玖島稲荷神社は、稲作、農業、繁栄の神である稲荷神を祀っている。木造の神殿は朱色に塗られており、本社拝殿は、稲荷神の遣いと言われた狐の像 2 体により守られている。

1867 年の徳川幕府による統治の終焉後、大政奉還を受け、明治政府（1868-1912）のもとで日本の近代化のプロセスが始まり、城の多くを含め、幕府を想起させるものは取り壊された。大村家の居所があった、玖島城本丸内のもともとの構造物もほとんど取り壊されたが、玖島稲荷神社はまだその中に建っている。

【タイトル】 大村神社

【想定媒体】 看板、WEB、アプリ

<簡体字>**大村神社**

玖岛城遗址内の大村神社里供奉着历代大村藩藩主和大村家族先祖。1805 年，大村家族第 10 代藩主大村纯昌(1786-1838)为了祭祀家族先祖藤原纯友(?-941)，在玖岛城东北方向的山丘上建造了这座神社。藤原纯友是伊予国（今爱媛县；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”）出身的武人，也是具有传奇色彩的海盗。1870 年，大村家族的 12 位藩主被一并供奉于大村神社内。

中村家族一直居住在玖岛城内，直至幕府统治宣告终结后的 1871 年，中村家族才交出居所，城郭也就此废弃。在明治政府(1868-1912)的领导下，日本开启了现代化进程，大量城郭等留有幕府时代印记的建筑都被拆毁。当时的玖岛城周边还居住着不少从前的武士家族，他们筹资将大村神社搬迁到玖岛城遗址内。1884 年，新神社落成，大村家族历代藩主都被迁进社内供奉。

大村神社搬迁时，人们在新神社内种植了约 1000 棵樱花树。20 世纪 40 年代，植物学家在大村神社发现了两个独特的重瓣樱品种——大村樱(*Cerasus* Sato-zakura Group ‘Mirabilis’)和玖岛樱(*Cerasus* Sato-zakura Group ‘Kushimana’)。大村神社前的大村樱被选为该品种的模式标本，并被指定为国家天然纪念物。

神社内有一尊大村藩末代藩主大村纯熙(1830-1882)的雕像。大村纯熙与倒幕军并肩作战，共同推翻了德川幕府(1603-1867)200 多年的统治，于 1868 年成功地将政权归还天皇。1869 年，由于倒幕有功，大村纯熙被任命为大村藩知事。

<日本語仮訳>**大村神社**

玖島城跡地にある大村神社には、大村藩の藩主や祖先が祀られている。大村神社は当初、一族の祖先である藤原純友（？-941）を祀るために、1805 年に大村家第 10 代藩主である大村純昌（1786-1838）により、玖島城の北東に位置する丘に建立された。藤原は伊予国（現在の愛媛県、この「国」とは、古代日本の行政区画で、いまの「国家」とは異なる）の武人であり、伝説の海賊であった。1870 年に大村家の 12 人の歴代藩主が大村神社に合祀された。

玖島城は、幕府による統治が終焉したことにより明け渡されて廃城となった 1871 年まで、大村家の居所としての役目を務めた。当時、明治政府（1868-1912）のもとで日本の近代化のプロセスが始まり、城の多くを含む、幕府時代を想起させるものは取り壊された。玖島城近くに居所を構えていた旧武家は、大村神社を玖島城跡地に移すための寄付を行った。1884 年に新社殿が完成し、そこで大村家の歴代のすべての藩主が祀られている。

大村神社が移されたとき、約 1,000 本もの桜の木がその境内に植えられた。1940 年代に、大村神社の木の中で、特徴的な 2 つの八重咲種、オオムラザクラ（学名： *Cerasus* Sato-zakura Group 'Mirabilis'）とクシマザクラ（学名： *Cerasus* Sato-zakura Group 'Kushimana'）が見つかった。大村神社前のオオムラザクラの木は代表標本に選定され、天然記念物に指定された。

大村神社の境内にある像は、大村藩最後の藩主である大村純熙（1830-1882）である。純熙は反幕府軍側で戦った。反幕府軍は、200 年以上にわたる徳川幕府（1603-1867）による統治を終わらせ、無事に 1868 年の大政奉還を果たした。1869 年、報奨として純熙に大村藩知事の職が与えられた。

【タイトル】大村寿司

【想定媒体】WEB、アプリ

<簡体字>**大村寿司**

据说，大村的招牌美食——大村寿司起源于 15 世纪，这是一种“押寿司”，当时大村家族家主被逐出领地多年后荣归故里，百姓乡亲为迎接他而制作了这种寿司。

1474 年，领主大村纯伊（生卒年不详）在战争中败给了岛原半岛和今佐贺县一部分的统治者有马家族。1480 年，他卷土重来，一举击败宿敌夺回了大村领地。相传大村纯伊的胜利来得过于突然，让期盼已久的大村百姓措手不及，连犒劳士兵需要的餐具都无法凑齐。幸而有人灵机一动，将米饭铺在浅木盒里，再将各色食材直接盖在饭上，这就是大村寿司的起源。从此，当地人把“大村寿司”视为“庆祝胜利的寿司”，至今仍是各种庆典活动上的必备美食。

大村寿司的做法简单，把切碎的香菇、胡萝卜、牛蒡和莲藕等配菜加甜酱油煮好后，夹在两层米饭之间即成。寿司上通常还铺着粉红或绿色的“蒲鉾”（鱼糕）片和鸡蛋丝。大村寿司在大村公园里的“梅枝庄”以及大村市和长崎县各地的餐馆里都有供应。

<日本語仮訳>**大村寿司**

大村市を象徴する大村寿司は、何年にも亘り領地を追われていた大村家の領主が、再び帰還したときに遡ると言われる 15 世紀から始まった押し寿司である。

1474 年に、領主の大村純伊（生没年不詳）が、島原半島と現在の佐賀県の一部を支配していた有馬家に戦で敗れていた。1480 年に戦で大村の領地を奪還した後に帰還した。地元の言い伝えによると、大村の人々は待望であった領主の勝利を祝いたかったが、その帰還の早さに不意を突かれたということらしい。帰還した兵士らに供する食器が足りなかったため、機知に富んだ地元の人々は浅い木箱を使ってこれにご飯を敷き詰め、手持ちの食材を層状に重ねたものを供し、差し出した。これが大村寿司の始まりだそう。地元では「勝ち戦の祝いの寿司＝大村寿司」となり、いまでもお祝い事に欠かせない料理として重宝されている。

大村寿司は、通常細かく刻んだ椎茸、人参、ごぼう、蓮根などの具材を、甘く味付けした醤油で調理したものを、2 層となったご飯の間に挟んだものである。大村寿司の上には、ピンクや緑色の「蒲鉾」を薄く切ったものや、錦糸卵が載っていることが多い。大村寿司は、大村公園内の梅ヶ枝荘をはじめ、大村や長崎県のいたるところで供されている。

地域番号	050	協議会名	登米市

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
050-001	教育資料館（旧登米高等尋常小学校校舎）	590	QRコード
050-002	伝統芸能伝承館「森舞台」	775	QRコード
050-003	警察資料館（旧登米警察署庁舎）	520	QRコード
050-004	水沢県庁記念館（旧水沢県庁庁舎）	400	QRコード
050-005	登米懐古館	945	QRコード
050-006	登米の街並み	395	QRコード
050-007	米川の水かぶり	925	QRコード
050-008	隠れキリシタンの里	845	QRコード
050-009	はっと・油麴	475	QRコード
050-010	高倉勝子美術館	485	QRコード
050-011	春蘭亭	450	QRコード

【タイトル】 教育資料館（旧登米高等尋常小学校校舍）

【想定媒体】 QR コード

<簡体字>

明治村教育資料館

这个 U 型建筑在 1888 年作为登米高等寻常小学校（明治时代至二战爆发前的日本初等教育机构的名称）落成，并于 1973 年结束了其作为校舍的使命。这所学校虽然关闭了，但明治村教育资料馆再现了其中的几间教室，展示了当时的学校生活如何随着社会变迁而演化。展品包括不同年代的学校午餐和用于培养职业技能的各种型号的缝纫机。墙上贴着教科书页面和学生作业，可以由此了解当时的小学生如何经历第二次世界大战及其他历史事件。

这座建筑由越后（现新潟县）的建筑师山添喜三郎（1843–1923）负责设计与施工。山添喜三郎与其导师、著名木匠松尾伊兵卫一同前往欧洲，建造了 1873 年维也纳世界博览会的日本馆。之后，他留在欧洲学习西方建筑，回国后在日本建造了多座西式建筑。

山添喜三郎是一个完美主义者，对于工程的管理极为严格。他要求这座建筑的每一片瓦片都经过称重、浸水和再称重，以测量吸水率，只有符合标准的才能使用。这种毫不妥协的态度也招来了一些反感。据说，一些工人曾多次撤走梯子，把山添喜三郎困在学校的屋顶上，以发泄心中的不满。

尽管存在这些冲突，这座建筑最终顺利竣工。它完美融合了西方和日本的设计元素，是明治时代（1868–1912）建筑的典型代表。如今，它成为登米市宫城明治村（以明治时代建筑为特色的旅游景点）的象征性建筑，于 1981 年被指定为国家重要文化财产。资料馆及场地内欢迎游客拍照。

<繁体字>

明治村教育資料館

這棟 U 形建築建於西元 1888 年，直到西元 1973 年為止都是舊登米高等尋常小學校的所在地。目前這所小學已經廢校，而明治村教育資料館則重現了幾間教室，展示當年的

學校如何隨著社會變遷而改變，裡面包含學校營養午餐的歷史、職能技術教學使用的各式縫紉機等種種內容；館內牆上亦展示著當時的教科書頁面及回家作業，可讓人一窺那個年代的小學生在第二次世界大戰及其他歷史事件中的生活。

這棟建築是由越後國（現在的新潟縣）的建築師山添喜三郎（西元 1843～1923 年）所監工完成。山添喜三曾與木工師父松尾伊兵衛一起遠赴歐洲，建造西元 1873 年維也納世界博覽會的日本館，隨後留在歐洲學習西方建築，學成後再回到日本繼續建造西式建築。

山添喜三是位有著完美主義且嚴厲的監工，蓋這棟建築時曾要求先秤過每一片屋瓦的重量，再浸泡於水中後二次秤重，藉此計算每片屋瓦吸收的水量多寡以判斷是否合用。但這種毫不妥協的態度也帶來了一些問題：照當時多名被惹怒的工人說法，他們曾為了宣洩不滿，而拆掉梯子把山添一個人留在學校的屋頂上。

不過，這棟建築依然在這些衝突中順利完工，現在成為極佳的日西合璧設計合璧範本，並讓這類建築風格成為明治時代（西元 1868～1912 年）的特色；目前這棟建築是登米的「宮城的明治村」代表，並在西元 1981 年被指定為國家重要文化財產。遊客在「明治教育資料館」及其場地中皆可不受限制地自由拍照留念。

<日本語仮訳>

明治村教育資料館（旧登米高等尋常小学校校舎）

この U 字型の建物は 1888 年に建てられ、当時の登米高等尋常小学校が入っていました。学校としての使用は 1973 年に終了しましたが、明治村教育資料館では、いくつかの教室を再現し、社会の変化とともに学校生活がどのように変わったかを示しています。学校給食の歴史から、職業技術を教えるために使われた様々な縫製機（ミシン）のモデルに至るまで展示されています。壁に掲示された教科書のページや宿題は、過去の時代の小学生たちが第二次世界大戦やその他の歴史的出来事をどのように体験したかを垣間見ることができます。

この建物は、越後（現在の新潟県）の建築家、山添喜三郎（1843-1923）の監督の下に建設されました。彼は師匠である大工の松尾伊兵衛と共に、1873 年のウィーン万国博覧会の日本館を建設するためにヨーロッパに渡りました。その後、ヨーロッパに残り、西洋建築を学び、日本において西洋風の建物を建てるようになりました。

厳格な監督者で完璧主義者であった山添は、この建物の屋根瓦が使用に適するかどうかを判断するため、すべての瓦を計量し、水に浸して再度計量し、どれだけ水分を吸収するかを測定するように命じました。その妥協しない態度は問題を引き起こしました。労働者たちが不満を募らせ、梯子を取り外して山添を屋根に取り残すという事例や川に人力車ごと放り込まれるという事例があります。

それにもかかわらず、建物は完成し、現在では西洋と日本のデザイン要素を融合させた明治時代（1868-1912）の建築スタイルの良い例として評価されています。現在、この建物は宮城県の明治村のシンボルとなっており、1981年には国の重要文化財に指定されました。資料館とその敷地内では、写真撮影が奨励されています。

【タイトル】 伝統芸能伝承館「森舞台」

【想定媒体】 QRコード

<簡体字>

林中的能剧舞台——森舞台

传统艺能传承馆又名“森舞台”。舞台建于1996年，是登米市的业余演员表演地方能剧“登米能”的场所（能剧是日本传统表演艺术）。舞台设施包括能剧舞台及周围的建筑，由国际知名建筑师隈研吾设计。舞台在设计上突出了周围的森林环境外，还将舞台与观众席分割开来，以强调二者分属不同的空间。舞台建筑群于1997年荣获日本建筑学会的优秀设计奖。

能剧起源于14世纪，最初完全在户外表演。然而，如今的能剧剧院大多设在大型建筑内，只有舞台的屋顶和其他设计元素象征性地暗示了能剧曾在户外表演的历史。隈研吾想要改变这一趋势。他将舞台设置在一片可以追溯到江户时代（1603–1867）的古老森林的边缘。这样的自然环境为观众提供了随着四季更迭而变化的不同体验。春天，高大垂樱树的花瓣飘落在舞台前；夏天，蝉鸣和能剧的谣曲彼此交织；秋天，满月悬挂在用火炬照亮的夜间舞台上空。

隈研吾在尊重传统能剧舞台结构的同时，融入了创新的设计元素。舞台的柱子由青森罗汉柏木制成，屋顶铺有登米地区开采的石板瓦。舞台下方的水瓮（陶瓷水罐）通常是看不见的，但在这里却完全展现在观众眼前。这些水瓮不仅可以增强共鸣，放大演员跺脚时的声音，还成为了建筑构图上引人注目的视觉元素。舞台周围用黑色碎石取代了传统的白色砾石，让人联想到森林中的幽暗地面。

舞台的背景板是艺术家千住博绘制的一棵古松，树枝仿佛延伸到森林之中。侧面的墙上用钴蓝色绘制的竹子，象征着青春与活力。舞台侧面设有露天阶梯座位，舞台前方是铺设榻榻米的玻璃观演厅，为建筑群增添了现代元素。

森舞台在没有演出时向公众开放，有很多人前来观赏建筑，或在这里举办婚礼以及进行扮装（cosplay）摄影（需提前申请）。一楼设有展厅，展出服装和面具等能剧相关资料。森舞台不仅支持登米能这一地方能剧传统艺术，也会邀请外部的专业演员来举办能剧演出。

<繁体字>

傳統藝能傳承館「森舞台」

以「森林的舞台」之意命名的「森舞台」表演藝術中心，是登米的能劇表演場地，主要提供業餘演員表演登米當地風格的能劇（能：日本傳統歌舞劇，由演員戴著面具表演）；森舞台本身及四周的建築物建於西元 1996 年，皆出於國際知名的建築師隈研吾之手，其設計理念除了可以讓人們投身這片群樹環繞的環境外，更強調了整體空間，營造出演員與觀眾之間的虛無縹緲感。這棟綜合設施於西元 1997 年榮獲日本建築學會的設計卓越獎。

日本傳統歌舞劇「能」源於西元 14 世紀，一開始是完全戶外演出的藝術活動，但近代的能劇舞台多半設立於大型建築物之中，只在舞台屋頂或其他設計元素上呈現戶外的意象，象徵這項藝術的來源。但隈研吾設計時，刻意顛覆了現代趨勢。他設計的舞台就在自江戶時代（西元 1603～1867 年）保留至今的森林邊緣，利用自然環境為舞台帶來一系列隨季節變換的戲劇體驗。春天，巨大垂枝櫻的花瓣會翩翩落在表演者面前；夏天，能劇的曲調「謠」跟蟬鳴交織唱和；秋天的夜晚，則有滿月映照著火光之中的舞台。

隈研吾在尊重傳統能舞台建築的同時，也融入了創新的設計元素。舞台的柱子是由青森檜木所製，屋頂上則鋪設了登米地區開採的石板瓦片；而其他地方多半會遮起來的舞台下方巨大水甕，這裡則完全展露在觀眾面前，除了可以放大演員跺腳時的聲響造成共鳴，更成了整個建築設計中明顯的視覺特色；而一般能舞台四周常見的白色砂礫，這裡則用象徵森林地面的黑色碎石子取代。

舞台的背板採用了以壯觀瀑布及山崖聞名的日本畫藝術家「千住博」畫作，描繪著一棵枝幹蜿蜒的老松，彷彿延伸到森林中一般；側面的牆上則用鈷藍色的竹子代表青春與清新。舞台邊的露台座位及前方鋪設榻榻米的玻璃觀賞廳，都為這個綜合設施增添了現代的元素。

森舞台在非表演期間可讓民眾來此參觀設施內的建築物，或開放人們拍攝婚紗、角色扮演照片等（需事先申請）；一樓的展覽室中則展出了包含戲服、面具等各種能劇相關的資料。除了支援登米能劇社區的劇場傳統，森舞台也會邀請其他職業演員在此表演專業的能劇曲目。

<日本語仮訳>

伝統芸能伝承館 森舞台

この伝統芸能伝承館は「森舞台」として知られています。1996年に、地元の能楽スタイルである「登米能」のための劇場として建設されました。登米能は、アマチュアの俳優によって演じられる能の形式です。国際的に著名な建築家、隈研吾がこの複合施設を設計し、能舞台と周囲の建物を手掛けました。周囲の森林の景観に注目を集めると同時に、俳優と観客との心地良い空間を作り出すような設計が施されています。この複合施設は、1997年に日本建築学会からデザインの優秀さを称えて賞を受けました。

能は14世紀に発展し、その当時は屋外でのみ上演されていました。しかし、現在の能舞台は多くが大型の建物内に設けられており、舞台の屋根や他のデザイン要素が、芸術形式の屋外起源を象徴的に示すだけです。隈はこの傾向を意図的に逆転させました。彼は舞台を、江戸時代（1603–1867）までさかのぼる歴史を持つ森の端に舞台を設置しました。この自然の環境は、季節ごとに異なる舞台体験を提供します。春には大きなしだれ桜の花びらが演者の前に散り、夏にはセミの鳴き声が能の謡の音と交わり、秋には満月とかがり火の灯りが夜の公演を照らします。

隈は、伝統的な能舞台の建築を尊重しながらも革新的なデザイン要素を取り入れました。柱は青森県のヒバ材で作られており、屋根は登米で採掘されたスレートで覆われています。舞台の下にある大きな「水甕」の陶器の壺は通常隠されていますが、ここでは完全に観客に見える形で配置されています。これらは俳優の足拍子（床を踏む音）を増幅させる共鳴装置としての役割を果たし、同時に建築的な構成の視覚的に印象的な要素ともなっています。また、能舞台の周囲に通常使われる白砂の代わりに黒い碎石が敷かれており、これが森の地面の暗さと呼び起こします。

舞台の背面板には、日本画家の千住博による古い松の木を描いた絵があり、その枝が森の中に伸びていくように構成されています。舞台の側面には、コバルトブルーで描かれた竹が若さと新鮮さを象徴しています。舞台の横にあるオープンエアのテラス席と、舞台前にあるガラス張りの畳敷きの観覧ホールは、現代的な要素を加えています。

森舞台は公演がないときには一般公開され、建築を鑑賞するために訪れる人々や、結婚式やコスプレの写真撮影を行う人々に利用されています（事前申請が必要です）。1階には、能に関連する資料や衣装、面などを展示した展示室があります。森舞台は、登米能の地域演劇の伝統を支えるだけでなく、外部のプロの能の公演も上演しています。

【タイトル】 警察資料館（旧登米警察署庁舎）

【想定媒体】 QR コード

<簡体字>

明治村警察资料馆

这座建筑原来是登米警察署，建于 1889 年，作为警察署运营了 79 年。在很长的时间里，日本农村地区的警察与消防的职能是合为一体的，因此这里既是警察署，也是消防站。1987 年，该建筑经修复后作为警察资料馆向公众开放，展出警察和消防相关的历史资料。1988 年，资料馆被指定为宫城县有形文化财产，其建于 1926 年、高 20 米的消防瞭望塔在 2015 年被列入宫城县文化财产。

警察署由建筑师山添喜三郎（1843-1923）设计建造，他以融合日式与西式风格而闻名。两层楼的木结构建筑采用板条式外墙、漆成白色的房檐以及有浮雕装饰的柱子，入口上方设计为阳台。在修复过程中，工作人员发现了明治时代（1868-1912）的审讯室和拘留室的地基，并重建了这些空间。如今，重建的房间向人们展示了珍贵的明治时期司法机构的建筑范例。

展览介绍了明治时代如何维护公共秩序，以及当时的犯罪分子活动及其司法处置。除了警服和佩刀，还能看到描绘当地犯罪的插图，比如给人纹身或者向未登记的外国客人提供住宿等。在大厅里，游客可以坐在白色的警用摩托车，或 1980 年代著名的日产“天际线（skyline）”品牌巡逻车中拍照。资料馆内还设有一家小型礼品店，出售与警察有关的纪念品。

<繁体字>

明治村警察資料館（舊登米警察署廳舍）

舊登米警察署廳舍建於西元 1889 年，由於當年的鄉村沒有特別區分警察及消防業務，因此這棟建築是警局跟消防局的合體，使用了 79 年之久。其在西元 1987 年修復後，便成為警察資料館對外開放民眾參觀，館內展示的歷史資料包含了警察及消防兩種領域。這棟建築物在西元 1988 年被指定為宮城縣的有形文化財產，而西元 1926 年建造的 20 公尺高消防瞭望樓（火見樓），則於西元 2015 年被指定為宮城縣的文化財產。

這棟兩層木造的警局，是由擅長日西合璧設計的建築師「山添喜三郎」（西元 1843～1923 年）所建，最大的特色是雨淋板外牆、白漆屋頂磚、雕刻柱子，以及門口的陽台。由於修復過程中發現了明治時代（西元 1868～1912 年）的審問室及拘留室地基，便也重建了這兩個場所，成了現今少數可以一窺那個時期執法設施的建築物。

館內的展示品讓人深入了解當時如何維護公共安全、明治時代罪犯從事哪些活動以及如何觸犯法律。當地犯罪解說圖，如提供紋身或收留未登記的外國客人，和警察制服、軍刀等物品一起陳列展示。門廳則擺放了警用機車及一輛西元 1980 年代的日產 Skyline 警車，可讓遊客拍照留念。館內也設置了一間小小的禮品商店，販賣警察主題的商品。

<日本語仮訳>

明治村警察資料館（旧登米警察署庁舎）

1889 年に建設された旧登米警察署の建物は、79 年間使用されていました。この期間、農村部の警察業務と消防業務が統合されていたため、この建物は警察署と消防署の両方の役割を果たしていました。1987 年に修復され、警察資料館として一般公開され、警察と消防の歴史的な資料が展示されています。1988 年には宮城県の有形文化財に指定され、1926 年に建てられた高さ 20 メートルの消防監視塔（火の見櫓）は、2015 年に宮城県の文化財に指定されました。

警察署は、和風と洋風を融合させた設計で知られる建築家山添喜三郎（1843–1923）によって建設されました。二階建ての木造建物は、板張りの外壁、白く塗られた屋根瓦、彫刻された柱、そして入口上にあるバルコニーが特徴です。修復過程で、明治時代（1868–1912）の取り調べ室や拘置所の基礎が発見され、これらの部屋が再建されました。現在、これらの再建された部屋は、当時の法執行施設としての建築の貴重な例を提供しています。

展示物は、公共の安全がどのように維持されていたか、明治時代の犯罪者たちの活動や法との関わりについての洞察を提供しています。刺青の提供する者や登録されていない外国人の宿泊させる者といった地域の犯罪のイラストが、警察の制服やサーベルと共に展示されています。ロビーでは、訪問者が白い警察用バイクや 1980 年代のニッサン・スカイラインのパトカーで写真を撮ることができます。また、警察関連のグッズを販売する小さなギフトショップもあります。

【タイトル】 水沢県庁記念館（旧水沢県庁庁舎）

【想定媒体】 QR コード

＜簡体字＞

水泽县厅纪念馆

这座建筑于 1872 年 6 月作为水泽县（当时的登米市所在县）政府办公楼启用，但这个角色仅持续了 3 年。水泽县划定于 1871 年 12 月，但当时日本县制处于变动之中，因此短短 5 年后水泽县便被废除。

在作为县办公楼的短暂历史结束后，这座建筑又被用于多种用途。1889 年，它成为石卷（宫城县地名）治安法院的分支机构，负责处理土地和财产相关事务。1989 年重建时，是以当时的外观为蓝本建造的。重建后在内部添加了后来的宫城县政府的家具，以展示当时流行的司法和行政建筑风格。

建筑入口采用纯日式风格，配有山形屋顶和格子窗。不过，建筑的其余部分则融入了明治时代政府办公楼常见的西式建筑风格，为木结构单层建筑。馆内通过展品、纪念品和老照片向游客诉说这座建筑当时的运作情况。还复原了原来的部分房间，比如法庭和市民提交文件的行政办公室。当时的市民站在相邻的等候室，而办事员则跪坐在西式房间里的较高位置，透过窗口与市民沟通。

＜繁体字＞

水澤縣廳紀念館

水澤縣設立於西元 1871 年 12 月，並在隔年的西元 1872 年 6 月完成這棟縣廳建築物，但啟用後只過了短短 3 年，縣廳便隨著日本縣級制度的變動而遷移至他處；水澤縣本身更於西元 1875 年廢除，壽命只有 5 年。

當縣廳遷出後，這棟建築物便有了各式各樣的用途。例如西元 1876 年時曾是學校的校舍，西元 1889 年時則為石卷（宮城縣地名）治安法院的分部辦公室，負責處理土地及財產相關事務。西元 1989 年重建時，除了仿造了原始的外觀設計，更在其中陸續添增了宮城縣縣廳的家具，藉此展現當初水澤縣廳遷移後曾用於法律、行政等各種用途的建築風

格。

這棟建築的入口有著有氣勢滂薄的懸山頂與交錯的格子窗，是十足十的日式風格；但其他西方風格的單層木造結構，則是來自明治時代（西元 1868～1912 年）公家機關建築的特色。館內有一些重建過的房間，如法庭及民眾遞交文件的官僚辦公室等，可以看得出來當時治公的市民需站在相鄰的前廳，書記員則跪坐在西式房中窗口邊較高的地方；另外也展示了各式各樣豐富的資訊，並有各種紀念物品及舊照片，可讓遊客一窺這棟建築長久以來的運作模式。

＜日本語仮訳＞

水沢県庁記念館（旧水沢県庁庁舎）

この建物は、1872 年 6 月に水沢県の政府機関として設立されましたが、その役割はわずか 3 年間でした。水沢県は 1871 年 12 月に設置されましたが、当時日本の県制度はまだ変動しており、わずか 5 年後に水沢県は廃止されました。

県庁舎としての短期間の使用後、この建物はさまざまな目的に使用されました。1889 年には、土地や財産に関連する問題を取り扱う石巻治安裁判所の出張所として利用されました。1989 年に建物が再建された際、当時の外観を再現する形で再建されました。その後の宮城県庁舎から移された家具も加えられ、明治時代に一般的に使用された法的小および行政的な建築様式を表現しています。入口は完全に日本風のデザインで、堂々とした切妻屋根と格子状のラティスが特徴です。しかし、建物の他の部分は、明治時代の官公庁建築の特徴を持つ西洋風の建築様式で作られた一階建ての木造建物です。展示や記念品、古い写真を通じて、この建物がどのように運営されていたかが紹介されています。いくつかの部屋は再現されており、例えば法廷や、市民が書類を提出する官僚的な事務室などがあります。市民は隣接する控え室に立ち、書記は西洋風の部屋にある窓の上の高い位置に座っていました。

【タイトル】 登米懷古館

【想定媒体】 QR コード

<簡体字>

登米怀古馆

登米怀古馆收藏了大量珍贵的历史文物，尤其是与江户时代（1603–1867）统治登米地区的武士相关的藏品。这些藏品是实业家兼慈善家渡边政人（1892–1975）留下的珍贵历史遗产。

渡边政人出生于登米的一个农家，是 5 个兄弟姐妹中最小的孩子。他是一位精明的商人，一生担任过许多重要的职位，曾任当地东北开发株式会社（现合并至三菱综合材料株式会社）的总裁以及他的母校明治大学的校长。

渡边政人将自己的收藏捐赠给登米政府，为博物馆提供了藏品。博物馆于 1961 年向公众开放。他曾留下三条箴言：

1. 真诚是人生之根本
2. 登米是我们的家园
3. 永远不忘初心

目前的博物馆于 2019 年开放，由设计了登米“森舞台”（日本传统表演艺术能剧的舞台）和东京三得利美术馆的著名建筑师隈研吾设计。博物馆在建造中使用了很多当地材料，比如屋顶的瓦片采用了登米产的石板。这座现代建筑也融入了登米的历史元素。比如，建筑的直角设计就好像登米作为城下町（日本封建时代在城堡周围发展起来的城镇）的街道布局。延伸的屋檐提供了遮阳避雨的功能，借鉴了传统农屋的设计特点，屋顶瓦片上的绿色植被模仿了长在茅草屋顶上的苔藓。

在入口大厅播放的视频中，隈研吾介绍道当地的工匠和材料是博物馆设计的核心。不过，入口大厅最引人注目的是一辆装饰华丽的节日花车。这辆花车曾用于可追溯到 1675 年的登米秋祭。窗外，延伸的屋檐遮住了天空，将人们的注意力引向阳光明媚的花园。主展厅的房间光线昏暗，仿佛置身于仓库内部，与花园形成鲜明对比。昏暗的灯光使展品更加突出。游客可以通过展板追溯江户时代统治该地区的伊达家族和白石家族的历史和权力

结构，了解展品的历史背景。

常设展品包括与登米历史相关的珍贵物品。其中尤其特别的是刀剑和盔甲，比如伊达家族的家臣——白石宗实（1553–1599）曾经拥有的黑漆五件套铁甲。这套盔甲以蓝色和黑色为主基调，头盔上装饰着“也”这个字，其笔迹流畅而修长。博物馆展出众多艺术品，其中的一幅画作描绘了强大军阀的统领伊达政宗（1567–1636）所作的诗歌，上面的书法出自德高望重的僧人江月宗玩（1574–1643）之手。另有一幅由狩野派核心人物之一的狩野探幽（1602–1674）创作的绘画。特别展从不同角度介绍当地历史，邀请游客深入探寻登米的历史。

<繁体字>

登米懷古館

登米懷古館中收藏了許多珍貴的歷史文物，皆屬於企業家兼慈善家渡邊政人（西元 1892～1975 年）不朽的遺產，其中更有江戶時代（西元 1603～1867 年）曾統治登米的武士相關物品。

渡邊出生於登米的農家，是五個兄弟姐妹中的老么。他是一名經商手腕精湛的企業家，一生擔任過多個重要的職位，包含東北開發公司的社長（現屬於三菱材料公司），以及母校明治大學的理事長。

渡邊將其收藏的文物捐贈予登米市設立這座博物館，並於西元 1961 年開幕。而他還立下了三大格言：

- （1）人生最重要的是誠實
- （2）登米是我們的家
- （3）人永遠不能忘記「初衷」

目前博物館的建築物則是在西元 2019 年開張，由曾設計過登米「森舞台」、東京「三得利美術館」的知名建築師隈研吾所設計。博物館本身主打當地的建材，如屋頂瓦片是以登米石板所製；而建築物的現代構造也展現出登米的歷史元素，例如直角的造型是仿照城下町（圍繞城堡修建的城市）時期登米規劃的街道佈局；可以讓人遮陽避雨的延伸屋簷，則反映出傳統鄉下農舍的設計；屋頂瓦片上的綠蔭則是模仿茅草屋頂上生長的青苔而來。

雖然博物館入口大廳會播放隈研吾的影片，說明這座博物館以當地工匠及材料為核心，但入口大廳最吸引遊客的地方，則是自西元 1675 年起舉行至今的「登米秋祭」華麗祭典山車。站在博物館室內，延伸的屋簷雖然遮住了天空的景色，反而讓人們的視線集中在陽光明媚的庭園裡，也更顯得展示品收藏室如倉庫般漆黑昏暗，並更加凸顯其間所展示的歷史文物。現場設有解說板說明展示品的背景，可一路追溯至江戶時代統治當地的伊達家，以及白石家的歷史、階級。

常設展覽中展出許多與登米歷史有關的珍貴稀有物品，最值得一提的是武器及盔甲，如這套五件一組的黑漆鐵製盔甲，是伊達家家臣白石宗實（西元 1553～1599 年）所有，整體色系為藍黑色，頭盔上則是筆觸流暢的「也」字書法。大量的藝術品中也包含了一幅描繪了強大武將伊達政宗（西元 1567～1636 年）的畫作，上面的墨跡來自為人所景仰的佛教僧侶江月宗玩（西元 1574～1643 年）；另外還有以障壁畫、屏風畫聞名的日本最大畫派「狩野派」中一流畫家野探幽（西元 1602～1674 年）繪製的畫作。館內的特別展覽則會探討這個地區的歷史等各個層面，讓遊客得以深入了解登米歷史的種種。

<日本語仮訳>

登米懷古館

登米懷古館は、特に江戸時代（1603-1867）に登米を治めた武士に関連する歴史的な品々を集めた貴重なコレクションを所蔵しています。このコレクションは、実業家で慈善家である渡辺政人（1892-1975）の永続的な遺産です。

渡辺は登米の農家の家に生まれた五人兄弟の末っ子で、商才に優れ、生涯を通じて多くの影響力のある職に就きました。東北開発（現在の三菱マテリアル）という地域開発会社の社長や、母校である明治大学の理事長を務めました。

渡辺は自らの収集品を登米町（現在の登米市）に寄贈し、この博物館の設立に貢献しました。博物館は 1961 年に開館し、渡辺は次の教訓を遺しました：

1. 人生で一番大切なことは、誠実である
2. 登米は私達の「家」である
3. 人間は、いつも「初心」を忘れてはならない

現在の博物館の建物は、2019 年に開館し、登米の「森舞台」や東京のサントリー美術館などを手掛けた著名な建築家、隈研吾によって設計されました。博物館の建設には、屋根瓦に使用された登米のスレートなど、地元の素材が強調されています。現代的な建物でありながら、登米の過去の要素を彷彿とさせるデザインも施されています。例えば、建物の入り口の直角のデザインは、かつて城下町だった登米の街並みの特徴を模しており、延長された軒先は、伝統的な農家のデザインを反映して、日差しを遮り、雨をしのげる役割を果たしています。屋根瓦の緑は、木羽葺き屋根に生える苔を模しているのです。

博物館の入口ホールでは、隈が地元の職人や素材が博物館のコンセプトの中心であることを説明するビデオが流れています。しかし、来館者の最初の目を引くのは、「登米の秋祭り」に使用される華やかな祭りの車（山車）で、これは 1675 年に遡る秋祭りの一部です。窓からは屋根の延びた軒先が空を遮り、日差しが差し込む庭に注意を引きます。対照的に、主な展示室は土蔵の中のように暗く保たれ、展示されている品々が際立つようになっています。パネル展示では、江戸時代に地域を治めた登米伊達家や白石家の歴史と階層を追って、展示品の背景が紹介されています。

常設展示には、登米の歴史に関連する珍しい貴重な品々が展示されています。特に注目すべきは、白石宗実（1553–1599）の黒漆塗りの五点一式の鉄鎧など、武具や甲冑です。これらは伊達家の家臣であった白石宗実の所持品です。この鎧の兜には「也」という文字が流れるような筆跡で書かれています。また、多くの絵画が展示されており、強大な武将であった伊達政宗（1567–1636）の詩と、尊敬された僧侶である江月宗玩（1574–1643）の書が描かれた絵画や、狩野探幽（1602–1674）の作品が展示されています。企画展示では、地域の歴史のさまざまな側面が探求され、来館者に登米の過去について多くの洞察を提供しています。

【タイトル】 登米の街並み

【想定媒体】 QR コード

<簡体字>

登米的历史街区：宫城明治村

宫城明治村是指位于宫城县北部登米市的历史城区，它让人想起那个还没有霓虹灯广告牌和汽车喇叭声的时代。该地区在日语中旧称“Toyoma”，因众多可追溯至明治时代（1868–1912）的建筑而被称为“宫城明治村”。当地的主要景点包括教育资料馆、警察资料馆、水泽县厅纪念馆、传统艺能传承馆森舞台（能剧的舞台）、高仓胜子美术馆，以及位于旧铃木家武士宅邸内的春兰亭咖啡馆。

这些宁静的街道是电影和电视剧导演及摄影爱好者钟爱的拍摄地。2021 年，这里成了 NHK 晨间剧《欢迎回来百音》的取景地之一。这部 120 集的电视剧讲述了一个年轻女孩为了实现成为天气预报员的梦想而回到登米的故事，向全国观众展现了这座城市充满复古气息的明治时代街景。

水泽县厅纪念馆出售上述所有景点的折扣票。从仙台市前往登米市历史街区非常方便，宫城明治村和仙台站之间每小时都有穿梭巴士往返（车程：1 小时 35 分钟）。

<繁体字>

登米的街景：宫城的明治村

宮城縣北部登米市區的歷史街道景致，可以帶人回到沒有霓虹燈招牌、路上沒有汽車喧鬧的時代。這個地區舊稱「豐間」，因為保留了許多明治時代（西元 1868～1912 年）的建築，因而又被稱為「宮城的明治村」。這裡著名的景點有教育資料館、警察資料館、水澤縣廳紀念館、傳統藝能傳承館的森舞台、高倉勝子美術館，以及舊鈴木家武家屋敷（武士住宅）內的春蘭亭咖啡廳。

這個寧靜的街區是電影製作人、電視劇導演、業餘攝影師最喜歡的拍攝地點。西元 2021 年時曾是 NHK 製作的 120 集晨間劇《歡迎回來百音》的拍攝場景之一，故事講述一位立志成為氣象預報員、追尋夢想的年輕女性，回到登米的故事，並在劇集中向日本全

國觀眾介紹了這座城鎮明治時代的懷舊街景。

如欲造訪登米這個充滿歷史韻味的地方，從仙台站搭乘 1 小時一班的接駁巴士，即可抵達宮城的明治村（車程時間：1 小時 35 分鐘）；而上述所有景點的優惠折扣門票，皆可在水澤縣廳紀念館中購買。

＜日本語仮訳＞

登米の街並み：みやぎの明治村

宮城県北部の登米市にある歴史的な町並みは、ネオンサインや自動車の騒音が支配する前の時代を思い起こさせます。かつて“とよま”と呼ばれていたこのエリアは、明治時代（1868–1912）の建物が数多く残っていることから、しばしば「みやぎの明治村」と呼ばれています。主要な観光地には、教育資料館、警察資料館、旧水沢県庁庁舎、伝統芸能伝承館 森舞台（Noh Stage in the Forest）、高倉勝子美術館、旧鈴木家武家屋敷内の春蘭亭カフェなどがあります。

静かな街並みは、映画製作者、テレビドラマの監督、アマチュアの写真家にとって人気の撮影場所です。2021 年には、NHK の朝の連続テレビ小説『おかえりモネ』の舞台の一つとして紹介され、120 話にわたって放送されました。この物語は、天気予報士を目指して遠田に戻る若い女性の物語で、全国の視聴者に明治時代の懐かしい町並みを紹介しました。

旧水沢県庁では、前述のすべての観光スポットの割引チケットを販売しています。登米市の歴史地区は仙台から簡単にアクセスでき、宮城明治村と仙台駅の間を 1 時間ごとにシャトルバスが運行しています（所要時間：1 時間 35 分）。

【タイトル】 米川の水かぶり

【想定媒体】 QR コード

<簡体字>

米川泼水节

米川（登米市东北部地区）泼水节是登米最盛大的文化活动之一。节日的核心是一种古老的防火仪式。五日町街区的男人们身着稻草制成的衣装在米川街头游行，一边呼喊一边向建筑物泼水。因此这个节日称为“泼水节”。泼水节的日期每年有所不同，但通常在二月举行。

尽管节日的确切起源尚无从考证，但根据口述历史，它可以追溯至 18 世纪中叶。自那时起，居民们一直延续着这个传统，从未因战争或自然灾害而中断。2018 年，联合国教科文组织将这个节日列入人类非物质文化遗产代表作名录。

节日当天早上 8 点左右，五日町的男人们聚集在“泼水宿”——侍奉神明的小屋。他们在这里用稻草制作衣装，象征性地把自己从凡人变为“来访神”（带来喜悦的神明）。这些神明据说是火神的化身。当地长者带领大家制作这样的三角形披风式稻草衣。他们将技艺代代传授给年轻人，包括如何制作头饰的细节。头饰的形状根据每个家族的传统而不同。除了家族身份，街区身份也很重要。据说，如果由五日町以外的居民扮演“来访神”，仪式非但不能防火，还可能引发火灾。

稻草衣完成后，男人们首先穿上白色背心、兜裆布和草鞋。他们用从泼水宿的炉灶中取出的煤灰涂抹脸部，象征隐藏人类身份，开始化身为火神。接下来，他们在腰部和上半身缠绕叫做“oshime”的稻草绳，然后在脖子上戴上叫做“wakka”的稻草环，最后戴上由单束稻草制作的大型头饰，称为“atama”。

上午 10 点左右，游行队伍从泼水宿出发，前往大慈寺的秋叶山大权现神社。由 60 岁的男人引领队伍（60 岁被视为吉祥的年龄），手持装饰有彩色纸带的杖，庄严地将水洒在神社的屋顶上。接下来是重头戏。身着稻草衣的“火神们”在街道上游行，一边高喊“吼——吼——”，一边向建筑物的屋顶泼水，为它们避火。在游行队伍之外，有两个人带着面具扮演滑稽的角色，跟随队伍为节日募集捐款。戴着男性面具的 Hyottoko（又称“火

男”）摇着铃铛，戴着女性面具的 Okame 担着水桶。

民间认为，男人衣装上的稻草具有防火的护身效果。泼水仪式开始后，街上的观众们穿行于队伍中，从男人的衣装上拔下稻草以保护自己的住宅这一年免受火灾之殃。游行队伍抵达目的地时，男人的稻草衣已被扯得七零八落，有时只剩下煤灰、内衣和几根零散的稻草。

〈繁体字〉

米川泼水节

米川泼水节是登米最盛大的文化活动中之一。其以古老的防火仪式为中心举行，由登米市五日町地区的在仪式期间穿上稻草服饰，于登米街道间游行，一边高声吆喝一边朝建筑物泼水，因而得名「泼水」节。米川泼水节于每年二月举行，实际日期每年皆有差异。

虽然这个祭典的确切起源不明，但可依据口述历史得知从西元 18 世纪中期起，居民们便持续举行这项祭典至今，丝毫不受自然灾害及战争等影响。西元 2018 年，这个祭典被联合国教科文组织列入无形文化遗产代表作名录。

祭典当天早上 8 点左右，五日町的男性们会聚集在一间名为「泼水宿」的房子中，製作象征凡人化身成为火神「来访神」的稻草服饰；而这种三角形斗篷式的服装，都是由当地的长者教授年轻的参加者製作，其中也包含了各家不同的精緻头饰细节。而除了家族身份，社区的身份在这个活动中也很重要。据说若是由非五日町的人担任「来访神」，这项仪式就会变成引火，而不是防火。

等製作完服饰零件，男性会先穿上白色背心、腰布及草鞋，再用泼水宿炉灶中的煤炭涂满全脸，象征隐藏凡人的身份成为火神；接著便会在腰部及上半身缠上注连绳（日本神道教用来避邪、净化、开运的祈愿装饰），再戴上名为「wakka」的稻草圈或稻草项鍊，最后再戴上用单捆稻草製成的巨大的头饰「atama」。

上午 10 点左右游行队伍从泼水宿出发，前往大慈寺内供奉秋叶山大权现的神社。整个队伍是由吉祥年龄「60」岁的老人带领，他会手持挂著纸条的长杖，隆重地朝神社屋顶泼水后，开启整个祭典的重头戏。身穿稻草服饰的火神在街上游行，口中一边吆喝「hō、hō」，一边朝建筑物的屋顶泼水，祈祷火灾的远离。而队伍后方则会有两名戴著日本传统祭典活动面具「火男」及「阿龟」的表演者，由「火男」负责响铃，「阿龟」拿著桶子，用跟主游行队伍形象不同的滑稽模样，向民众募集祭典的捐款。

由于男性们身上的稻草服饰象征的防火功能，因此开始泼水后，观众就会衝进队伍中

拔取男性身上服飾的稻草，當作接下來一年內保護自家的護身符；等整批遊行隊伍抵達終點時，男性身上的服飾早已破爛不堪，甚至可能只剩下臉上的煤灰、內衣及幾根稻草而已。

<日本語仮訳>

米川の水かぶり祭り

米川の水かぶり祭りは、登米市で最も盛大に祝われる文化行事の一つです。この祭りは、古代の防火儀式に基づいており、登米市の五日町（Itsukamachi）地区の男性たちが、藁で作られた装束を身にまとい、町内を練り歩きながら建物に水をかけ、奇声を上げるというものです。祭りの名称「水かぶり」は、「水をかける」という意味を持ち、その内容を反映しています。祭りの開催日には毎年変動がありますが、毎年 2 月に行われます。

祭りの正確な起源は不明ですが、口伝によると 18 世紀中頃に始まったとされています。その後、戦争や自然災害にもかかわらず、住民たちはこの祭りを続けてきました。2018 年には、ユネスコによって無形文化遺産代表リストに登録されました。

祭りの朝、午前 8 時ごろ、五日町の男性たちは「水かぶり宿」と呼ばれる家に集まります。そこで、藁を使って装束を作り、それによって彼らは人間から火の神の化身とされる「来訪神」（raiho-shin）になります。三角形のケープのような衣装の作り方は、町の長老たちが指導し、若い参加者たちにその技術を伝授します。家ごとの伝統に合わせて、頭にかぶる装飾（「アタマ」と呼ばれる藁で作ったヘッドピース）の作り方も教えられます。また、家族のアイデンティティだけでなく、地域のアイデンティティも重要とされ、五日町以外の者が来訪神に加わると、火事が起きると信じられています。

装束が完成した後、男性たちは白いベスト、腰巻き、藁の草履を身に着け、次に、宿のかまどで取った煤を顔に塗り、人間の姿を隠し、火の神になります。その後、しめ縄という藁を編んだロープを腰や上半身に巻き、藁の輪または首飾り（「ワッカ」と呼ばれる）を加えます。最後に、藁を束ねて作られた大きな頭飾り（「アタマ」）をかぶります。

午前 10 時ごろ、五日町の 60 歳の男性が先頭の梵天を持つ役選ばれ、宿から大慈寺の秋葉山大権現に向かい、神社の屋根に水を注ぐ儀式を行います。その後、祭りの本番が始まり、藁で作られた火の神たちが町を練り歩き、「ほう、ほう」と叫びながら建物の屋根に水をかけ、火除けを祈ります。祭りの一団とは別に、2 人の仮面をかぶった人物が、コミカルな役割を演じ、祭りのための寄付を集めています。1 人は「火男」と呼ばれるヒョットコで鈴を鳴らし、もう 1 人は桶を持ったオカメです。

男性たちの装束の藁は、火除けの効果があると考えられています。水をかけ始めると、観客たちはその行列の中に駆け寄り、男性たちの衣装から藁を引き抜き、一年間自分の家を守るお守りとして使います。祭りの行列が終点に到達する頃には、男性たちの装束は観客たちに藁を抜き取られ、下着と数本の藁しか残っていないこともあります。

【タイトル】 隠れキリシタンの里

【想定媒体】 QR コード

<簡体字>**隐匿基督徒殉教地**

这片宁静的林地处于登米市东北部，林地内有一个叫做“海无沢三经冢”的墓地。它见证了基督教在日本北部的发展历史。享保年间（1716-1736），120 名“隐匿基督徒”在此被钉上十字架，刺死或斩首。这些殉教者是秘密信仰基督教的日本信徒，自 1623 年德川幕府禁止基督教在日本传播以来，他们一直在暗中坚持着信仰。

在基督教禁令颁布之前，基督教在这个地区建立了深厚的基础。起先，基督教随着 16 世纪末制铁工业的发展从欧洲传到这里。当时最先进的制铁工艺使用着来自欧洲的技术，两位备中（今冈山县）的制铁专家受到邀请，来到当地村庄传授制铁技术。他们是一对信仰基督教的兄弟，名为千松大八郎和千松小八郎。兄弟俩不仅将制铁技术传授给村民，还宣扬了基督教。信仰在当地迅速传播，甚至有些村庄集体皈依基督教。

当时统治仙台藩的强势大名（封建领主）伊达政宗（1567-1636）最初对基督教持开放态度。然而，随着幕府宣布信仰基督教为非法后，政治嗅觉敏锐的伊达政宗开始允许在仙台藩迫害基督徒。尽管面临着迫害的威胁，许多基督徒仍然在暗中坚持信仰，如此延续了几代人。然而，时间的流逝并未减轻信仰基督教的代价。这些村民在被发现后不愿放弃信仰，选择作为殉教者死去。

在海无沢三经冢殉教地，几块石头标出了基督徒受刑和被处决的地点。之所以选在这个偏远的地方，是为了不让其他村民听到殉教者的惨叫声。沿着山坡向上稍走一段路，眼前是一片开阔的平地，名为“冥想之丘”。殉教者曾在这里等待被召唤并处决。山顶上的一个土堆标出了约 40 个殉教者的埋葬地。他们被埋葬在一棵松树下，唯一的装饰物是一个没有刻字的石制十字架。其他殉教者被埋葬在附近的“朴之泽”和“老之泽”，但这里是唯一未遭破坏的墓地。

如果不是 1954 年发现的一份文献中提到此事，这段 200 年前的悲惨历史可能已被彻底遗忘。自发现墓地以来，海无沢三经冢成了日本和国外基督徒的朝圣地。附近的米川天

主教堂曾在集体墓地旁的空地上举行纪念性的户外礼拜仪式。如今，这里是一个静谧的追思和信仰之所。

＜繁体字＞

潜伏吉利支丹的殉教地

这片登米東北部的寧靜林地環繞著名為「海無澤三經塚」的地方，是日本北部基督教歷史的一部分。曾有 120 名「潜伏吉利支丹」（吉利支丹為當時對基督教的稱呼）在享保年間（西元 1716～1736 年）被釘在十字架上、被矛刺死或被斬首而死。這些殉教者是西元 1623 年德川幕府禁止信仰基督教以來，依然秘密信仰的信徒。

在德川幕府禁止信仰基督教之前，基督教在這個地區已有了深厚的基礎，最早是西元 16 世紀後期煉鐵工業的發展而在此處傳播。當時為了使用最先進的歐洲煉鐵技術，便從備中（現今的岡山縣）邀請了兩位業界專家的兄弟到當地村莊，教導生產者如何煉鐵；因千松大八郎及小八郎這兩位兄弟篤信基督教，故他們除了教授村民煉鐵技術外，也一起在當地宣揚基督教義。隨著信仰的傳播，甚至出現整座村莊都一起改信基督教的狀況。

最初統治仙台的強大大名伊達政宗（西元 1567～1636 年）還可以接納基督教，但隨著幕府頒佈基督教禁令，政治敏銳度高的伊達政宗便允許迫害仙台的吉利支丹。雖然信仰的風險變大，而且禁令並未隨著時間而趨緩，但這些吉利支丹依然私下信仰了好幾個世代，甚至被發現後寧可選擇殉教，也不願意放棄自身的信仰。

海無澤三經塚的殉教地中矗立了幾顆石頭，標示出這些吉利支丹被拷問、處決的地點。當時選擇在這個偏僻的地方處決，便是為了確保村民不會聽見這些人臨死之際的尖叫。從此處往上經過一段坡路，可以看到一片開闊的小平地「冥想之丘」，就是受害者等候處決的地方。山頂的松樹下有個標示出約 40 名受害者長眠的土塚，其唯一的裝飾就是沒有任何記號的石頭十字架。其他受害者則被埋在附近的「朴之澤」及「老之澤」，也是當地唯一的安眠之所。

直到 200 多年後，西元 1954 年時發現了一份記載這些內容的文件，才讓這個地方悲慘的過去重見天日。發現這份文件後，海無澤三經塚便成了日本國內外基督徒的朝聖之地，附近的米川天主教堂並會在萬人坑旁的空地上舉行戶外彌撒；現在這裡成了寧靜追思及信仰的地方。

＜日本語仮訳＞

隠れキリシタン殉教地

東北の登米市の静かな森林には、悲劇的な過去があります。この場所は「海無沢三経塚」

(Kainashizawa Sankyōzuka) と呼ばれ、ここで 120 人の隠れキリシタン (Kakure Kirishitan) が、享保時代 (1716 年–1736 年) に拷問され、十字架にかけられ槍で突かれ、あるいは首をはねられました。隠れキリシタンたちは、1623 年に徳川幕府がキリスト教を禁止し、死刑にする法律を施行して以来、密かに信仰を守り続けた人々でした。

キリスト教はこの地域において、16 世紀後半に鉄製造技術の発展とともに広まりました。当時、最も進んだ鉄の製造方法はヨーロッパの技術を使用しており、備中 (現在の岡山県) から 2 人の専門家が招かれ、地元の村の鉄作りに技術を教えました。これらの専門家はキリスト教徒の兄弟、千松大八郎 (Senmatsu Daihachirō) と小八郎 (Kohachirō) で、彼らは鉄作りの技術だけでなく、信仰も村人たちに伝えました。結果として、信仰は広まり、いくつかの村では住民全体が一斉にキリスト教に改宗しました。

仙台藩を治めていた強力な大名、伊達政宗 (1567 年–1636 年) は、初めキリスト教に対して寛容でした。しかし、幕府がキリスト教を禁止した後、政治的な理由から政宗は仙台におけるキリスト教徒への迫害を許可しました。それにもかかわらず、多くのキリスト教徒たちは秘密裏に信仰を続け、何世代にもわたって信仰を守り続けました。しかし、時が経つにつれ、その代償は変わることなく厳しくなり、信者たちは発覚した際には信仰を捨てることなく殉教の道を選びました。

海無沢三経塚の殉教地には、キリシタンたちが拷問され、処刑された場所を示す数個の石があります。この辺鄙な場所は、亡くなった者たちの叫び声が他の村人に聞こえないように選ばれました。さらに丘を少し登ると、「瞑想の丘 (Meisō no Oka)」と呼ばれる小さな平地があり、そこで犠牲者たちは処刑の命令を待っていました。丘の頂上には約 40 人の犠牲者が松の木の下に埋葬された場所を示す塚があり、そこには目立つ石の十字架が唯一の装飾となっています。その他の犠牲者は「朴ノ沢」や「老ノ沢」と呼ばれる近隣の場所に埋葬されていますが、ここが唯一手つかずのまま残された墓地です。この場所の悲劇的な過去は、200 年以上経った 1954 年に発見された文書に記載されていなければ、完全に忘れ去られていたでしょう。この場所が発見されて以来、海無沢三経塚は、外国からの訪問者も含めたキリスト教徒の巡礼地となっています。近隣の米川カトリック教会は、集団墓地近くで毎年記念の屋外ミサを行い、今日ではこの地は静かな思い出と信仰の場となっています。

【タイトル】 はっと・油麩

【想定媒体】 QR コード

<簡体字>**当地美食：面片和油炸面筋****面片（Hatto）**

面片（Hatto）是登米地区的传统美食，使用小麦粉揉成耳朵状的小面片。小面片煮汤食用，可以加白萝卜、牛蒡、干香菇等食材做成咸口味，还可以包入毛豆泥馅料做成甜口味。登米面片以其紧实有嚼劲的口感而广受欢迎，是当地的一道家常美食。

“Hatto”在日语中又写作“法度”意思是“禁止事项”，这个名字源自一段无声反抗的历史。在江户时代（1603–1867），大名（封建领主）强迫农民种植水稻以缴纳村税，而农民自身只能以其他谷物为食。于是农民用这些谷物制作了 Hatto 面片。然而，大名担心农民食用面片则不会用心种植水稻，只允许农民在特殊场合食用。

油炸面筋

油炸面筋常用于佛教的素食料理。日本的面筋通常有两种形式：生面筋和烤面筋，后者用于汤和炖菜。明治时代（1868–1912）末期，登米的一位豆腐店老板想到了用油来炸面筋的方法。当时的冷藏技术有限，但油炸面筋可以晒干保存，全年食用。它口感香脆，最常见的吃法是盖在米饭上，做成油炸面筋盖饭。这道菜在主打平民化美食（日语中称为“B 级美食”）的比赛中获得佳绩，赢得了全国的赞誉。

<繁体字>**當地名產：耳朵麵疙瘩及油麩****耳朵麵疙瘩**

登米地區的傳統菜色「耳朵麵疙瘩」類似義大利的貓耳朵，是將麵粉捏成一口大小的耳朵形狀而成，可以加入用白蘿蔔、牛蒡、乾香菇等食材熬成的高湯中，或是加上磨碎的毛豆「毛豆泥」做成甜點。耳朵麵疙瘩因為口感紮實、有嚼勁而大受歡迎，是這地區的家常料理。

耳朵麵疙瘩的日文發音「hatto」，來自日文的「ご法度（gohatto）」，有不准、禁止的

意思。江戸時代（西元 1603～1867 年）の大名領主強迫農民種植稻米繳納村稅，但農民自己卻只能食用其他穀物；但當農民利用這些穀物發明了耳朵麵疙瘩後，大名卻又擔心這道料理好吃到會讓農民沈迷其中而不專心栽種稻米，便下令除了特殊場合，不得食用這道耳朵麵疙瘩。

油麩

「麩」就是麵筋，常用於佛教素食料理。一般麩是加進湯裡食用，有兩種類型：生麩（未烹煮的麵筋）及烤麩。但明治時代（西元 1868～1912 年）末期，一名登米町の豆腐店老闆發明了用油炸麩的「油麩」。油麩在那個冷藏技術不發達的年代，可以乾燥保存一整年，再加上其香氣濃郁、口感酥脆，因此常常會鋪在白飯上做成「油麩丼」。而這道料理也贏得日本全國的讚賞，榮獲平價地方美食（即「B 級美食」）競賽的獎項。

<日本語仮訳>

地元の名物: はつとと油麩

はつと

はつとは、登米地域の伝統的な料理で、小麦粉の生地を耳の形に似た小さな一口大にのばし、スープで提供されます。スープは、ダイコン、ゴボウ、乾燥シイタケなどの具材を使った塩味のものや、若い枝豆で作ったずんだ餡を使った甘いものなどがあります。弾力があり、噛みごたえのある食感が特徴で、この地域の家庭料理として広く親しまれています。

「はつと」という名前は、かつての禁制に由来しているといわれ、江戸時代（1603-1867）に、領主は農民に米を作らせて村税を納めさせ、農民自身は他の穀物を食べなければならなかったため、農民たちはその穀物を使ってはつとを作りました。しかし、領主は農民がはつとを食べることで米作りを怠ることを懸念し、特別な機会以外は食べることを禁止しました。そのため、この料理は「禁止」という意味の名前がつけられたといわれています。

油麩

油麩は、麩（小麦グルテン）を油で揚げたもので、仏教の精進料理でよく使われます。麩には、加熱せずにそのまま使う「生麩」と、焼いてスープやお汁に入れる「焼き麩」があります。しかし、明治時代末期（1868-1912）、登米のある豆腐店の店主が油で麩を揚げる方法を考案しました。この時代、冷蔵技術が限られていたため、揚げた麩を乾燥させて一年中保存できるようにしたのです。

油麩は香ばしく、サクサクとした食感が特徴で、最も一般的には油麩丼としてご飯にのせて提供されます。この料理は、地域の手軽で美味しい家庭料理として、全国的に評価されており、安価なグルメ料理を扱うコンテストで高く評価されています。

【タイトル】 高倉勝子美術館

【想定媒体】 QR コード

<簡体字>

高仓胜子美术馆

出生于登米市的画家高仓胜子（1923–2015）以其温暖柔和的画风而闻名。她创作的日本画风格作品尤其受到赞誉，这种风格将传统的日本绘画技法和材料应用于现代的题材。美术馆展示了她的多才多艺，作品涵盖大型水墨画和绘本插图。

高仓胜子在东京的女子美术大学学习了日本画技法。毕业后，她搬到广岛。1945 年原子弹投下时，她住在距离爆炸中心仅 3 公里的地方，而她却奇迹般地幸存了下来。战后她回到登米，在学校教孩子们美术。她的教师生涯持续了数十年，期间一直坚持绘画创作。

在她的日本画中，高仓胜子经常用温暖的色彩和柔和的表情描绘年轻和勤劳的女性形象。这些大型作品以及描绘了寺院和佛像的平静画作占据了美术馆的主展厅。这些作品与广岛原子弹爆炸时的恐怖景象形成了鲜明对比。高仓胜子曾深陷战争记忆的阴影，但是在当地民众的鼓励下，她创作了一组自传性画作，讲述了她经历原子弹爆炸的记忆。这些作品被陈列在一个单独的展厅中。

高仓胜子在一份艺术家声明中说道：“我在乡村长大，所以我的作品没有那种都市风格的精致……但我被人性的丰富所感染，我耕耘着土地……通过每一幅画去讲述一个永恒流动的故事。”

<繁体字>

高倉勝子美術館

以溫暖柔和畫風聞名的藝術家高倉勝子（西元 1923～2015 年），出身於登米地區。她尤其擅長日本畫風格，並將傳統的日本繪畫技巧及材料運用在現代的題材之中。這間美術館展出了從大型水墨畫到故事書插圖等，各式各樣多才多藝的作品。

高倉勝子的日本畫技巧來自東京的女子美術大學。她在畢業後移居廣島，所在地就離西元 1945 年廣島原爆的爆炸中心 3 公里遠之處。她奇蹟倖存後，在戰爭結束時回到登米教授學童藝術，並於數十年的教師生涯中，不間斷地持續繪畫創作。

高倉勝子の日本畫作中最常看到用溫暖的色調及柔和的表情，描繪著年輕女性及勤奮女性；美術館主要展廳中也有許多描寫寺廟與佛教佛像和平的大型畫作，跟廣島原爆的恐怖形成了強烈的對比。而飽受戰爭記憶折磨的高倉勝子，也在地方社區的鼓勵之下，創造了一套原爆經驗的自畫作，並展示在館內的獨立房間中。

高倉勝子在藝術家聲明中寫著：「我在鄉下長大，所以沒有任何複雜、都市風格的藝術作品……但我被豐富的人性深深感動，並持續耕耘著這片土地……讓我的每一幅畫都說出一個永恆流傳的故事。」

<日本語仮訳>

高倉勝子美術館

登米生まれの画家、高倉勝子（1923-2015）は、その温かく優しい絵画スタイルで広く知られています。特に、伝統的な日本画の技法と材料を現代的なテーマに適用する「日本画」スタイルの作品で有名です。この美術館では、彼女の多才さが展示されており、大きな水墨画から絵本の挿絵に至るまで、さまざまな作品が紹介されています。

高倉は東京の女子美術大学で日本画技法を学び、卒業後は広島に移住しました。1945年、広島に原爆が投下された際、彼女は爆心地から3キロの場所に住んでいました。奇跡的に生き延びた高倉は戦後、登米に戻り、学校で子供たちに美術を教えました。彼女の教師としてのキャリアは数十年にわたり、その間も絵画を追求し続けました。

高倉の日本画では、若い女の子や働く女性を暖かい色調と優しい表情で描くことが多いです。これらの大きな作品や、寺院や仏像を平和的に描いた作品は、美術館のメインギャラリーを埋め尽くしています。これらの作品は、広島の前爆の恐ろしさとは対照的です。高倉は戦争の記憶に苦しみましたが、地域社会の支援を受けて、原爆体験を反映した自伝的な絵画セットを制作しました。これらの絵画は、別の部屋で展示されています。

高倉はアーティスト声明の中で「奥山育ちの私には、都会風な洗練された作品は一点もない。でも豊かな人情に触れ、大地を耕す。…私の絵の一枚一枚には悠久の流れを物語らせて描いてまいりました」と述べています。

【タイトル】春蘭亭

【想定媒体】QRコード

＜簡体字＞

旧铃木家武士宅邸与春兰亭咖啡馆

这座经过修复的武士宅邸曾是铃木武士家族的一个分支的住宅。他们是武将白石宗直（1577-1629）的家臣。白石宗直后来改名为伊达宗直，并成为统治登米的伊达家族的第一代家主。1604 年，白石宗直从附近的水泽地区迁至登米任职时，铃木家族也随之前往。

这座建筑的确切年代已无从考证。它一直作为住宅使用，直到 1989 年原主人将其捐赠。该建筑已被列入市指定文化财产。1990 年，经过精心修复后，宅邸内开设了一家名为“春兰亭”的咖啡馆。

这座宅邸是江户时代（1603-1867）乡村建筑的典范，其中包括登米风格的围炉。这是一种嵌入木地板的开放式火炉，周围镶着抛光木板。一间小榻榻米房间里摆放着抽屉柜、化妆镜和其他铃木家族的生活用品，重现了当时的居家生活。作为武士宅邸的标志，墙上还悬挂着长矛和薙刀（一种带弯刀的长柄武器）等旧时的武器。

“春兰亭”这个名字来自每年春天在花园中生长的兰花泡成的茶——春兰茶。游客们可以在这座昔日的武士宅邸里放松身心，享用点心，在历史建筑和花园里拍照留念。

＜繁体字＞

高倉勝子美術館

以溫暖柔和畫風聞名的藝術家高倉勝子（西元 1923～2015 年），出身於登米地區。她尤其擅長日本畫風格，並將傳統的日本繪畫技巧及材料運用在現代的題材之中。這間美術館展出了從大型水墨畫到故事書插圖等，各式各樣多才多藝的作品。

高倉勝子的日本畫技巧來自東京的女子美術大學。她在畢業後移居廣島，所在地就離西元 1945 年廣島原爆的爆炸中心 3 公里遠之處。她奇蹟倖存後，在戰爭結束時回到登米教授學童藝術，並於數十年的教師生涯中，不間斷地持續繪畫創作。

高倉勝子的日本畫作中最常看到用溫暖的色調及柔和的表情，描繪著年輕女性及勤奮

女性；美術館主要展廳中也有許多描寫寺廟與佛教佛像和平的大型畫作，跟廣島原爆的恐怖形成了強烈的對比。而飽受戰爭記憶折磨的高倉勝子，也在地方社區的鼓勵之下，創造了一套原爆經驗的自畫作，並展示在館內的獨立房間中。

高倉勝子在藝術家聲明中寫著：「我在鄉下長大，所以沒有任何複雜、都市風格的藝術作品……但我被豐富的人性深深感動，並持續耕耘著這片土地……讓我的每一幅畫都說出一個永恆流傳的故事。」

＜日本語仮訳＞

旧鈴木家武家屋敷と春蘭亭カフェ

この復元された武家屋敷は、鈴木家の支流が住んでいた場所で、1604年に主君の白石宗直（1577-1629）と共に水沢から移住しました。この年、宗直は後に伊達宗直として知られ、登米伊達家の初代当主となりました。

建物の正確な年代は不明ですが、1989年まで住宅として使用されており、その後、市の文化財として寄贈されました。1990年に建物の慎重な修復が行われた後、内部に「春蘭亭」というカフェが開店しました。

この住宅は、江戸時代（1603-1867）の農村建築の一例として優れており、木製の床に設置された登米風の囲炉裏（いろり）や磨かれた板で囲まれた空間が特徴です。また、鈴木家の家財道具として、引き出しのある小さな畳の部屋や化粧鏡、その他の家族の記念品が展示されています。武士の家柄にふさわしく、槍や薙刀（なぎなた）などの古い武器が壁に掛けられています。

「春蘭亭」という名前は、毎年春に庭で咲く蘭の花から作られる春蘭茶に由来しています。訪れる人々は、この歴史的な建物と庭園の中で、軽い飲み物を楽しみ、リラックスしながら写真を撮るなどゆっくりとした時間を楽しんでいます。

地域番号	051	協議会名	二本松市

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
051-001	安達太良山/安達太良山の概要	406	看板
051-002	安達太良山/安達太良山の概要	863	WEB
051-003	安達太良山/安達太良山の四季	390	WEB
051-004	安達太良山/薬師岳パノラマ	378	WEB
051-005	安達太良山/沼ノ平火口	329	WEB
051-006	安達太良山/山頂	328	WEB
051-007	岳温泉/引き湯	559	WEB
051-008	岳温泉/ミルクデー	432	WEB
051-009	岳温泉/湯守文化	481	WEB
051-010	岳温泉/岳温泉の歴史	858	WEB
051-011	岳温泉/岳温泉まちなか散策コース	738	WEB
051-012	二本松城跡/二本松城の概要	359	看板
051-013	二本松城跡/二本松城の概要	796	WEB
051-014	二本松城跡/二本松城の歴史	834	WEB
051-015	二本松城跡/二本松城の四季	673	WEB
051-016	二本松城跡/戎石銘碑	501	WEB
051-017	二本松城跡/二本松少年隊	792	WEB
051-018	二本松城跡/二本松城の石垣	780	WEB
051-019	二本松城跡/本丸	593	WEB
051-020	二本松城跡/洗心亭	578	WEB

【タイトル】 安達太良山/安達太良山の概要

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

安達太良山

安達太良山海拔 1700 米，是日本“百名山”之一，以其独特的山脊线和美丽的植被景观而闻名。这座山大约形成于 50 万至 20 万年前的火山活动中，至今依然是一座活火山。

安達太良山山坡上的杜鹃花尤为引人注目。每年六月和七月，从淡黄到艳红，数十种杜鹃花竞相绽放。到了十月，秋日的红叶将这座山装扮成深红。

药师岳全景公园与登顶步道

搭乘安達太良山缆车仅需 10 分钟就可抵达山腰处的药师岳全景公园。在这里，向西可以眺望山顶，西北方向可以看到麓山与铁山，向东则可远眺二本松市和阿武隈川的景色。缆车仅在 4 月到 11 月的“绿色季节”期间开放，此外时期则不建议无冬季登山经验者攀登。

从药师岳全景公园至山顶的步道长约 2.4 公里，沿途坡度逐渐增加，虽无需特殊装备，但途中风力可能较强，是一段约 75 分钟的平缓登山路线。抵达山顶后可俯瞰周边，南边的和尚山、北边的吾妻山脉等美景皆可尽收眼底。此外，还有一条步道从山顶向北延伸至沼之平火山口及铁山，也十分受游客欢迎。

<繁体字>

安達太良山

安達太良山海拔 1,700 公尺，是「日本百名山」之一，以其獨特的山脊線和美麗的植被景觀而聞名。這座山大約形成於 50 萬至 20 萬年前的火山活動中，至今仍然是一座活火山。

安達太良山山坡上の杜鵑花尤其引人注目。毎年 6 月到 7 月，從淡黃色到鮮艷的紅色，數十種杜鵑花競相綻放。到了 10 月，這座山會被秋天的紅葉染成一片火紅。

藥師岳全景公園與登頂步道

搭乘安達太良山纜車僅需 10 分鐘即可抵達位於山腰處的藥師岳全景公園。在這裡，可以眺望西邊的山頂、西北邊的籠山和鐵山、東邊的二本松市和阿武隈川の景色。纜車僅在 4 月到 11 月的「綠色季節」期間營運。沒有冬季登山經驗的人最好不要在別的時段前往登山。

連接藥師岳全景公園和山頂的步道，是一條平緩的登山路線，全長約 2.4 公里，沿途坡度逐漸增加，全程約需 75 分鐘。即使在登山的途中可能遭遇強風，但不需要特殊裝備。抵達山頂後可俯瞰四周，包括南邊的和尚山和北邊的吾妻山脈等美景皆盡收眼底。此外，還有一條步道從山頂向北延伸至沼之平火山口及鐵山，也十分受到遊客的歡迎。

<日本語仮訳>

安達太良山

安達太良山は、その特徴的な稜線と植物の美しさから日本の「百名山」の一つとして知られる標高 1,700 メートルの山です。50 万年から 20 万年前の火山活動によって形成された山塊の一部である安達太良山は、今日でも活火山です。

安達太良山の斜面ではツツジ の花が特に目立ちます。6 月から 7 月にかけて、数十品種が淡黄色や鮮やかな深紅などさまざまな色の花を咲かせます。10 月になると紅葉で山が真っ赤に染まります。

薬師岳パノラマパークと山頂へと続くトレイル

あだたら山ロープウェイを使えば山の中腹にある薬師岳パノラマパークまで 10 分で到着します。パノラマパークからは、西に山頂、北西に籠山と鉄山、東に二本松市と阿武隈川の景色を眺めることができます。ロープウェイは 4 月から 11 月までの「グリーンシーズン」のみ営業しています。それ以外の時期派、冬山経験者以外の登山は非推奨です。

薬師岳パノラマパークから山頂までの 2.4 キロメートルのルートは、徐々に勾配がきつくなる坂道を通ります。風が強い場合もありますが、特別な装備を必要としない 75 分ほどの穏やかなハイキングとなります。山頂からは、南の和尚山、北の吾妻連峰など、周囲の風景を一望できます。山頂からは北の沼ノ平火山口や鉄山に向かうトレイルものびており、こちらも観光客に人気です。

【タイトル】 安達太良山/安達太良山の概要

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

安達太良山

安達太良山位于福島县二本松市的西部，海拔 1700 米，以其独特的山峦轮廓、美丽的花卉景观和便捷的交通成为当地的地标性景观，吸引了众多登山爱好者在温暖的时节前来探访。

地热宝库

安達太良山与箕轮山、铁山都是这片火山群的一部分。大约 50 万年前的火山活动造就了这片山体，而安達太良山现今的面貌大约形成于 20 万年前，至今仍是活火山。最近的一次大喷发发生在 1900 年。

频繁的火山活动带来了丰富的硫磺矿藏和温泉资源。几个世纪以来，这些自然资源一直备受瞩目，时至今日，邻近的温泉小镇，例如岳温泉，仍通过数公里的管道从山上引入温泉水。

诗人与自然爱好者的钟爱之地

在编于 8 世纪的日本现存最古老诗歌集《万叶集》中，安達太良山作为“最北端的山”登场。到了近代，雕塑家兼诗人高村光太郎在 1927 年发表的一首诗中也提到了这座山。他的妻子、艺术家智惠子就出生于二本松市，他曾在诗中表示，妻子认为唯有安達太良山上方的天空才是“真正的天空”。药师岳全景公园是福島诸多美景的观赏地之一，游客在这里可以欣赏到那片“真正的天空”。

安達太良山不仅是日本“百名山”之一，还入选了以花卉美景闻名的“花之百名山”榜

单。尤其是山坡上的杜鹃花，从淡黄到鲜红，数十品种不同颜色竞相绽放，尤为显眼。

攀登安达太良山

最热门的登山路线始于奥岳登山口，这是一趟半日往返行程，无需特殊装备。前半段路程可选择乘坐安达太良山的缆车，十分钟即可从登山口抵达药师岳全景公园。缆车仅在 4 月至 11 月的“绿色季节”期间运行，其他月份则建议无冬季登山经验者不要登山。在药师岳全景公园可以眺望西北方向的篝山和铁山，以及东边的二本松市和阿武隈川。

行程的后半段是从药师岳全景公园到山顶的 2.4 公里攀登路段，大约需要 75 分钟。起初坡度较平缓，但经过差不多中间点位置的仙女平分岐后，坡度会变得陡峭。随着海拔的升高，高大的阔叶树逐渐被松树和低矮灌木取代。

险峻的山顶为登山者献上了无与伦比的全景视野，可以一览南边的和尚山、西边的磐梯山与饭丰连峰，以及北边的吾妻连峰的景色。如果风不太大，还可以沿另一条步道向北前往沼之平火山口和铁山，然后沿原路返回奥岳登山口。

<繁体字>

安達太良山

安達太良山位於福島縣二本松市的西部，海拔 1,700 公尺，因其獨特的山巒輪廓、美麗的花卉景觀和便捷的交通而成為當地的地標性景觀，吸引眾多登山愛好者在溫暖的時節造訪。

地熱寶庫

安達太良山是包含箕輪山與鐵山在內的火山群的一部分。這片山塊是約 50 萬年前開始的火山活動所形成的，安達太良山則在約 20 萬年前形成了目前的形態，並且至今仍是一座活火山，最後一次大規模噴發發生在 1900 年。

頻繁的火山活動帶來了豐富的硫磺礦床和溫泉資源，幾個世紀以來，這些自然資源一直備受關注。在鄰近的城鎮，例如岳溫泉，至今仍透過數公里長的管道，從高地汲取溫泉水，供當地居民與旅客享用。

詩人與自然愛好者的鐘愛之地

安達太良山是出現在於 8 世紀編纂的日本現存最古老詩歌集《萬葉集》當中「最北端的山」。到了近代，雕刻家兼詩人高村光太郎在 1927 年發表的著名詩作中提到過這座山。高村的妻子智惠子是一位出生於二本松的藝術家，詩中描述智惠子主張「真正的天空」只有安達太良山的天空才是「真正的天空」。在藥師岳全景公園，訪客可以欣賞到這片被稱為「真正的天空」的美麗景色，這裡是福島眾多美麗展望台之一。

安達太良山不僅被列入「日本百名山」，還因山中美麗的植物與花卉而被選為「花之百名山」。山坡上特別引人注目的是杜鵑花，數十種不同的顏色從淡黃色到鮮紅色盛開，形成了一幅壯觀的自然畫卷。

攀登安達太良山

最熱門的登山路線始於奧岳登山口，是一趟往返需花費半天的路徑，但無需特殊裝備。路線的前半段，從登山口到藥師岳全景公園，可選擇搭乘安達太良山的纜車，10 分鐘內即可抵達。纜車僅在 4 月至 11 月的「綠色季節」期間營運，無冬季登山經驗的人最好不要在別的月份前往登山。從藥師岳全景公園可以眺望西北邊的籠山和鐵山，以及東邊的二本松市和阿武隈川的景色。

路線的後半段是從藥師岳全景公園到山頂的 2.4 公里長攀登路段，大約需要花費 75 分鐘才能走完。起初坡道較為平緩，但經過差不多位於中間點位置的仙女平分岐之後，坡度陡然上升。隨著海拔的升高，植被從高大的落葉林轉變為松樹和低矮的灌木。

險峻的山頂獻上了無與倫比的全景視野，供登山者飽覽南邊的和尚山、西邊的磐梯山與飯豐連峰，以及北邊的吾妻連峰的景色。倘若風勢不是太大，還可以沿著另一條登山步道向北，前往沼之平火山口和鐵山，然後沿著原路返回奧岳登山口。

<日本語仮訳>

安達太良山

安達太良山は、福島県二本松市の西端にある標高 1,700 メートルの山です。その独特の輪郭、花の美しさ、アクセスのしやすさからこの地域のシンボルとなったこの山は、暖かい季節にはハイカーに人気の行楽地となっています。

地熱の発生源

安達太良山は、箕輪山や鉄山も含まれる火山群の一部です。この山塊は約 50 万年前に始まった火山活動によって形成されました。安達太良山は約 20 万年前に現在の形になり、依然として活火山であり続けています。最後の大噴火は 1900 年に起こりました。

この火山活動により、山には豊かな硫黄の鉱床と多くの温泉がもたらされました。どちらも何世紀にもわたって人々の関心を集めており、岳温泉のような近隣の町では今でも高地から何キロメートルものパイプを通して温泉水を汲んでいます。

詩人にも自然愛好家にも愛された山

安達太良山は、現存する最古の和歌集である 8 世紀の万葉集に登場する最北の山です。より近年では、彫刻家で詩人の高村光太郎が 1927 年に発表した有名な詩に登場しました。芸術家だった高村の妻智恵子は二本松生まれで、詩の中で高村は唯一の「ほんとの空」は安達太良山の空だけだという妻の主張を語っています。薬師岳パノラマパークは、福島に数ある美しい展望台の 1 つで、訪問者はここでかの「ほんとの空」を眺めることができます。

安達太良山は、「日本百名山」に選ばれているだけでなく、山の植物相の美しさを基準とした「花の百名山」にも選ばれています。斜面にはツツジ が特に目立ち、淡黄色から鮮やかな赤色までさまざまな色の数十種類が咲き誇ります。

安達太良山の登山

安達太良山の最も人気のある登山ルートは奥岳登山口から始まります。特別な装備を必要とせず、半日程度で往復できます。ルート前半、登山口から薬師岳パノラマパークまでは、あだたら山ロープウェイを利用して 10 分間で移動できます。ロープウェイは 4 月から 11 月までの「グリーンシーズン」のみ営業しています。それ以外の時期は、冬山経験者以外の登山は非推奨です。薬師岳パノラマパークからは、北西に籠山と鉄山、東に二本松市と阿武隈川の景色を眺めることができます。

ルートの後半は薬師岳パノラマパークから頂上まで 2.4 キロメートルの登りで、所要時間は 75 分ほどです。坂は、最初は緩やかですが、ほぼ中間地点にある目印の仙女平分岐を過ぎると少し急になります。

す。標高が上がるにつれて、植生は背の高い落葉樹から松や背の低い茂みに変わります。

険しい山頂からは、南に和尚山、西に磐梯山や飯豊連峰、北に吾妻連峰などの何にも遮られない風景が一望できます。風がそれほど強くない場合は、登山道に沿って北に向かい、沼ノ平火口と鉄山を訪れ、その後来たのと同じルートに沿って奥岳登山口に戻ることができます。

【タイトル】 安達太良山/安達太良山の四季

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

安達太良山の四季

安達太良山の四季景致各异。春日，温暖的气流缓缓爬上山坡，催生出新绿的嫩芽和待放的花朵。最先绽放的是“岩梨”和“里白璎珞”这两个品种的杜鹃花，后者因花瓣形似佛坛上的装饰物“璎珞”而得名。

入夏，尤其6月下旬到7月是山中花卉盛放的时节。数十种杜鹃花争奇斗艳，花色从淡黄到鲜红色不等，有着吊钟般花朵的“布纹吊钟花”也十分常见。在海拔更高处，可以看到草茱萸和七瓣莲在岩石间顽强生长。翩翩起舞的大绢斑蝶更是为这温暖又宁静的夏日增添几分灵动。

十月，秋色从山顶向山脚渲染，海拔低的地区颜色尤为浓郁。在松针呈五簇状的日本五针松下，可以看到松鼠啃食松果后剩下的果核。山道沿途的花楸树和枫树被染成了红色，而北侧铁山山坡上的岳桦树则变成了金色。

到了冬季，安達太良山银装素裹。若无经验丰富的当地向导引领，不建议登山。此时安達太良山的缆车停运，前来滑雪的游客可以从山下欣赏这冰雪覆盖的美景。

<繁体字>

安達太良山の四季

安達太良山の四季景致各异。春天的温暖缓缓地爬上山坡，绽放出新绿的嫩芽和待放的花朵。最先盛开的花朵是「岩梨」和「里白璎珞」这两个品种的杜鹃花，后者因花瓣形似佛坛上的装饰物「璎珞」而得名。

入夏之后，尤其是从6月下旬到7月之间，是山中花卉盛开的时节。数十种杜鹃花竞相绽放，从淡黄色到鲜豔的深红色，色彩缤纷，像吊钟般的杜鹃花「布纹吊钟花」也十分常

見。此外，在高海拔地區，還可看到加拿大草茱萸和七瓣蓮等生命力頑強的花朵在岩石遍佈的地形中傲然綻放。翩翩飛舞的大絹斑蝶更是為這溫暖又寧靜的夏日增添幾分靈動。

10月，秋色從山頂向山腳渲染，低海拔地區的顏色尤為濃郁。在松針呈五簇狀的日本五針松樹下，可以看到松鼠啃食松果後落下的果核。安達太良山步道沿線的花楸樹和楓樹被染成紅色，而北側鐵山山坡上的岳樺樹則形成一片金黃色的地毯。

到了冬季，安達太良山銀裝素裹。若無經驗豐富的當地嚮導引領，最好不要前往登山。此時安達太良山的纜車也會停止營運，但許多前來滑雪的遊客仍可在山腳下欣賞那冰雪覆蓋的美景。

<日本語仮訳>

安達太良山の四季

安達太良山は季節ごとに違う表情を見せてくれます。春の暖かさは山腹に徐々に昇っていき、繊細な新葉や花を咲かせます。最も早く咲く花には、イワナシや仏壇に飾る「瓔珞（ようらく）」という仏具に似ていることから名付けられたウラジロヨウラクと呼ばれるツツジなどがあります。

夏、特に6月下旬から7月が山の花の最盛期です。数十種類のツツジが咲き、淡い黄色から鮮やかな深紅まで色とりどりです。サラサドウダンツツジの仲間である釣鐘状の花もよく見られます。標高の高い場所では、ゴゼンタチバナやツマトリソウなどの強い花が岩だらけの地形の中で咲き誇ります。夏にはアサギマダラもやって来て、暖かくて静かな日には、アサギマダラが空を飛び回るのが見られます。

秋は10月を通じて山頂から麓までを染めていき、標高の低いところがより濃い色になります。特徴的な5本の束で針が生えているゴヨウマツは松ぼっくりを作り、リスが松ぼっくりを食べ終わると、そのかじられた芯が木の下に転がっているのが見られます。安達太良山のトレイル沿いのナナカマドやカエデが鮮やかな赤色に染まり、北側の鉄山の斜面にあるダケカンバの木々が黄金の絨毯を作ります。

冬になると、安達太良山の斜面は真っ白な雪で覆われます。経験豊富な地元ガイドなしでこの時期に山に登ることはお勧めできません。また、あだたら山ロープウェイは冬の間閉鎖されていますが、スキーをしにきた多くの観光客が下からの景色を楽しみます。

【タイトル】 安達太良山/薬師岳パノラマ

【想定媒体】 WEB

＜簡体字＞

药师岳全景公园

药师岳全景公园位于安达太良山缆车的终点附近，无需攀登即可到达。正如其名，这里可以一览安达太良山多座山峦、以及东边二本松市和阿武隈川的美景。

在公园向西眺望安达太良山山顶，可以看到一块写有“此处上方是真正的天空”的牌子。这句话源自诗人高村光太郎的著名诗句，与他同住东京的艺术家妻子智惠子就生于二本松，她曾表示，唯有安达太良山上的天空才是“真正的天空”。

公园的东端设有一处观景台，在那里可俯瞰周围的景色。东北方向耸立着麓山、铁山和箕轮山，这些山峰和安达太良山都属于同一片火山群。向北远眺可以看到福岛市。东边是二本松的市中心，阿武隈川在更远处流淌。南边可以看到和尚山。

观景台旁挂有一口铁钟，这是位于西北坡上的“黑金小屋”所使用的钟的复制品。“黑金小屋”的钟用于雾霾天气能见度低时向过路的旅人发出信号。前来药师岳全景公园的游客可以亲自敲响这口钟，听听其标志性的钟声。

＜繁体字＞

藥師岳全景公園

藥師岳全景公園位於安達太良山纜車的終點附近，因此無需自行攀登亦可抵達。顧名思義，在這裡可以飽覽安達太良山多座山巒，以及東邊二本松市和阿武隈川的景色。

在全景公園向西眺望巍峨的安達太良山山頂，可以看到一塊上面寫著「此處上方是真正的天空」的牌子。這句話源自詩人高村光太郎的著名詩句。詩句中提到，出生於二本松並與高村一同移居東京的藝術家妻子智惠子表示，唯有安達太良山上的天空才是「真正的天空」。

公園の東端設有一處觀景台，在那裡可俯瞰周圍的景色。東北方聳立著籠山、鐵山和箕輪山，這些山峰與安達太良山屬於同一片火山群。向北遠眺可以看到福島市。東邊是二本松の市中心，阿武隈川在更遠處流淌。南邊可以看到和尚山。

觀景台上懸掛著一口鐵鐘。這是位於西北坡上的「黒金小屋」在霧靄瀰漫、能見度低時向過路旅人發出訊號時所使用的鐘的複製品。前來藥師岳全景公園的遊客可以親自敲響這口鐘，聽聽其標誌性的鐘聲。

＜日本語仮訳＞

薬師岳パノラマパーク

薬師岳パノラマパークはあだたら山ロープウェイの頂上の近くにあり、自分で登ることなくアクセスできます。その名の通り、パノラマパークからは安達太良連峰の複数の峰が見えるのに加え、東に二本松市街と阿武隈川を望めます。

パノラマパークからは西にそびえる安達太良山の山頂が見え、「この上の空がほんとの空です」と書かれた看板が立っています。これは、高村光太郎の有名な詩に言及したものです；詩の中で、二本松で生まれ、高村と一緒に東京に移り住んだ芸術家の妻智恵子は、「ほんとの空」は安達太良山の空だけだと述べます。

パノラマパークの東端には展望台があり、周囲の景色を眺めることができます。北東には籠山、鉄山、箕輪山がそびえており、これらはすべて安達太良山と同じ火山群の一部です。はるか北には福島市があります；東には二本松市の中心部があり、その先には阿武隈川があります。南には和尚山があります。

展望台には鉄の鐘が吊るされています。これは、北西の斜面に建つくろがね小屋が、霧で視界が悪いときに旅人に知らせるために鳴らしている鐘のレプリカです。パノラマパークの訪問者は、この鐘を鳴らし、その象徴的なサウンドを実際に聞くことができます。

【タイトル】 安達太良山/沼ノ平火山口

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

沼之平火山口

沼之平火山口位于安达太良山山顶西北侧，是一个直径约 1.2 公里、深约 150 米的火山口。由于存在火山活动和有毒气体的危险，火山口内部严禁进入。该火山口是经过数千年的多次喷发而形成，最近一次喷发发生在 1900 年，当时一座硫磺精炼厂被摧毁，正在山上作业的 72 名矿工不幸遇难。

从安达太良山山顶出发，沿着称为“牛背”的宽阔山脊向北步行约 15 分钟即可到达观赏火山口的最佳位置。一路上，火山口的内部景象逐渐显现——这是山坡上一个几乎寸草不生的大坑。

一条全长 7.4 公里的小径环绕着火山口，走完全程大约需要三至四小时。大多数游客会选择沿原路返回，但也可以绕道前往铁山的山顶后再折返。前往铁山的支线从“马背”山脊向北延伸，是一段沿着火山口东侧约 30 分钟的路程，这里的山脊比南边的“牛背”略窄一些。

<繁体字>

沼之平火山口

沼之平火山口位於安達太良山山頂的西北側，是一個直徑約 1.2 公里、深約 150 公尺的火山口。由於存在火山活動和有毒氣體的危險，火山口內部嚴禁進入。該火山口是經過數千年的多次火山爆發所形成的。最近一次的火山爆發在 1900 年，當時一座硫磺精煉廠被摧毀，正在山上作業的 72 名礦工也不幸罹難。

想近距離觀看火山口，可從安達太良山山頂往北走約 15 分鐘，到達被稱為「牛背」的寬闊山脊。沿途可以逐漸看到火口內部——那是一片像是山腹被鑿開、岩石裸露又幾乎寸草不生的荒涼景象。

一條全長 7.4 公里的小徑環繞著火山口，走完全程大約需要花費 3 到 4 個小時。大多數遊客會選擇原路折返，但也可以繞道前往鐵山的山頂後返回。前往鐵山的迂迴路從「馬背」山脊向北延伸，是一段沿著火山口東側約費時 30 分鐘的路程。這裡的山脊比南邊的「牛背」略窄一些。

＜日本語仮訳＞

沼ノ平火口

沼ノ平火口は、安達太良山山頂の北西にある火山の火口です。この火口は直径約 1.2 キロメートル、深さは約 150 メートルです。火山活動や有毒ガスの危険があるため、火口への立ち入りは禁止されています。この火口は、何千年にもわたって繰り返された噴火によって形成されました。1900 年に起こった最も最近の噴火では、硫黄精製所が破壊され、山で働いていた 72 人の鉱山労働者が死亡しました。

最も近くで火口が見える場所は、安達太良山山頂から「牛の背」と呼ばれる広い尾根を北に歩いて 15 分ほどのところにあります。途中で徐々に火口の内部が見えてきます—山腹をえぐったような、岩がむき出しになった荒涼としたこの風景には、ほとんど草木が見られません。

火口全体を周回するトレイルがありますが、全長 7.4 キロメートルの全周を完了するには 3～4 時間かかります。大抵の訪問者は来た道に戻っていきますが、鉄山の頂上まで迂回して戻ってくることも可能です。鉄山の迂回路を通るには、「馬の背」と呼ばれる、南の「牛の背」よりも若干狭く、火口の東端に続く尾根に沿って北にさらに 30 分歩きます。

【タイトル】 安達太良山/山頂

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**安達太良山山頂**

安達太良山的山頂是一片崎嶇的高原，中央聳立着一塊巨大的岩石。山頂的海拔其實是 1699.7 米，標牌將其四舍五入寫為 1700 米。天氣晴朗之時，在這裡可以看到南邊的和尚山、西邊的磐梯山與飯豐連峰，以及北邊的吾妻連峰。能見度極佳的日子，登山者甚至可以看到遠在福島縣西南端的會津駒岳。

山頂的岩石地面是數十萬年火山活動的結果，因此這裡的岩石在色澤、礦物成分和構造上都十分多樣。一些岩層上還可以看到多層熔岩沉積的痕跡，記錄着千百年來的變遷。

從中央岩體部分通往山頂的小徑為單行道，下山則需要走另一條路線。這是登山中最具挑戰性的一段，攀登時需格外小心，岩石上裝有金屬梯子，會使上山過程更為安全和容易。在山頂標牌旁有一座小神社，此外，下山途中山脊的下方，也有一座供奉山神的神社。

<繁体字>**安達太良山山頂**

安達太良山的山頂是一個風勢強勁、地勢險峻的高原，中央聳立著一塊巨大的岩塊。山頂的海拔實際為 1,699.7 公尺，但標示牌將其四捨五入而標示為 1,700 公尺。天氣晴朗時，從這裡可以看到南邊的和尚山、西邊的磐梯山與飯豐連峰，以及北邊的吾妻連峰。在晴空萬里的日子，甚至可以遠眺位於福島縣西南端的會津駒岳。

山頂岩石遍布的地貌是數十萬年以來，火山活動作用的結果。因此，這裡的岩石在色澤、礦物成分和構造上種類多樣。在一些岩層上，甚至還可以看到數千年之間多層熔岩沉積的痕跡。

攀登中央岩塊到達山頂的道路是單向通行，下山則有另一條步道。這裡是安達太良山登山

行程中最具挑戰性的部分，攀登時需要格外小心，但由於有以螺栓固定在岩石上的金屬梯子，使得攀登更加安全和容易。在山頂標示牌旁邊有一座小神社，下山途中，在山脊下方也有一座供奉山神的神社。

<日本語仮訳>

安達太良山山頂

安達太良山の山頂は、風が吹きさらす険しい高原で、中央には岩の塊がそびえ立っています。山頂の標高は厳密には海拔 1,699.7 メートルですが、標識ではその数字を 1,700 メートルに四捨五入しています。空が晴れていれば、南に和尚山、西に磐梯山や飯豊連峰、北に吾妻連峰を望むことができます。特に晴れた日には、福島県南西端の会津駒ヶ岳まで見えることもあります。

山頂の岩だらけの地面は、数十万年にわたる火山活動の結果です。そのため、ここで見つかる個々の岩石の色、鉱物含有量、組成は非常に多様です。いくつかの岩層には、数千年にわたって堆積したマグマの層複数を示す線が見られます。

中央の岩塊を山頂まで登る道は一方通行で、高原へ下るには別のトレイルがあります。ここは安達太良山登山の中で最も困難な部分であり、登山者は注意が必要ですが、岩にボルトで固定された金属製の梯子のおかげで、より安全かつ容易に登ることができます。山頂標識の横に小さな神社があり、また、下山途中の尾根の下にも山の神様を祀った神社があります。

【タイトル】 岳温泉/引き湯

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

岳温泉の“引湯”

岳温泉の泉水并非直接来自地下，而是通过“引湯”系统——用管道将泉水从异地引入。源泉位于附近海拔 1500 米的铁山。引湯系统的管道总长超过 8 公里，是日本最长的引湯系统之一。

将山上温泉引入小镇

岳温泉的水源自铁山上的一组露天温泉，泉水总流量为每分钟 1290 升。泉水通过多个导管汇集成一条主流，在管道内顺山势自流而下，无需水泵，全部靠重力驱动。泉水抵达温泉小镇后，被分流多条小管道，送至各个温泉浴场。

源泉的水温介于 40℃ 到 90℃ 之间，合流后的水温约为 52℃。目前的管道系统能够保持水温直到岳温泉，因此无需重新加热。

历史与工程

过去，温泉旅馆多集中在源泉附近，那里曾被称为“汤日温泉”。1824 年，一场山体滑坡摧毁了汤日温泉，二本松藩因此下令在山脚下建立新的温泉镇，并从源泉地通过铺设管道引入温泉水。当时二本松城已经有一套类似的系统，从 14 公里外的山涧引淡水进城，藩内的工程师因此对建造和维护此类基础设施十分熟悉，这便是如今岳温泉引湯系统的起源。

最初，引湯系统使用的是带盖的赤松管道，但保温效果不佳，在户外条件下很快就损坏了。20 世纪初，这些导管被替换为“木管”。每根木管由一根巨大的松木用专门从国外引进的钻孔机掏空制成。这一改进解决了保温问题，但木材本身的老化仍然是个难题。从

20 世纪 50 年代开始，木管逐渐被更耐用的 PVC 管道所替代，并沿用至今。

＜繁体字＞

岳溫泉的「引湯」

岳溫泉的溫泉並非從地底下直接抽取，而是使用從其他地方引進溫泉水的「引湯」方式。源泉位於附近海拔 1,500 公尺的鐵山。引湯系統的管道總長超過 8 公里，是日本最長的引湯系統之一。

將山上的湧泉引入小鎮

岳溫泉的源泉是鐵山的露天溫泉群，泉水總湧出量達到每分鐘 1,290 公升。多條導管將泉水匯集在一起，再利用管道順著山勢自流而下，完全依靠重力驅動，無需幫浦。泉水流到溫泉小鎮後，會被分流至多條小管道，再流入各個溫泉設施之中。

源泉的水溫介於 40°C 至 90°C 之間，匯流後的水溫約為 52°C。現代化的水管能將這個溫度保持到岳溫泉，因此不需要再加熱。

歷史與工程

過去，源泉附近的溫泉旅館林立，那片區域被稱為「湯日溫泉」。1824 年湯日溫泉遭到土石流的摧毀之後，二本松藩下令在山腳下建立新的溫泉小鎮，並鋪設管道從原來的源泉引入溫泉。當時，二本松城已經擁有一套從 14 公里外的山澗引入淡水進城的系統，因此藩內的技術人員對如何建造和維護此類基礎設施了然於胸。這就是現在岳溫泉引湯系統的起源。

最初的引湯系統使用的是用赤松製作且附帶可拆卸的蓋子的管道，但這種管道的絕熱性不佳，而且容易在戶外的環境當中迅速劣化。20 世紀初，這種導管被「木管」取代。每根木管是用特地從國外引進的鑽孔機，掏空巨大的松木原木而製成的。此種改進的方法解決了保溫的問題，但木材本身的劣化仍是一大難題。自 1950 年代起，更為耐用的聚氯乙烯塑膠管逐漸取代木管，並被使用至今。

＜日本語仮訳＞

岳温泉の引き湯

岳温泉の温泉は、真下から汲み上げるのではなく、敷地外からお湯を引く「引き湯」を使用しています。もとの水源は近くの標高 1,500 メートルの鉄山です。この引き湯を運ぶパイプと導管システムは 8 キロメートル以上に及び、これはこのような設備では日本で最も長いものの 1 つとなります。

山の湧き湯を街にもたらす

岳温泉の源泉は鉄山の露天温泉群で、総湧出量は毎分 1,290 リットルです。一連の導管が源泉からの湯を 1 つの流れにまとめ、パイプで山から下ろします。重力がすべての作業を行うため、ポンプは必要ありません。流れが街に到達すると、湯は複数の別々の温泉施設につながる小さなパイプに分かれます。

源泉では、湯の温度は 40℃～90℃です。合流した湯の温度は 52℃ で、現代の水道管が岳温泉までその温度を保ってくれるため、追い焚きの必要はありません。

歴史と工学

過去には、源泉付近で旅館が栄え、湯日（ゆい）温泉として知られていました。1824 年に湯日温泉が土砂崩れで破壊された後、二本松藩は山の下部に新しい温泉街を建設するよう命じ、元の源泉からお湯を引き込みました。二本松城には、14 キロメートル離れた山の川から淡水を供給する同様のシステムがすでにあつたため、藩の技術者は必要なインフラを構築し維持する方法を知っていました。これが現在の岳温泉の引き湯システムの始まりでした。

もとの引き湯システムでは、取り外し可能な蓋が付いたアカマツ製の導管が使用されていましたが、これは断熱性が低く、屋外環境ではすぐに劣化してしまいました。20 世紀初頭、これらの導管にとって代わって、木管と呼ばれる木製のパイプが使用されるようになりました。各木管は、海外からこのために調達されたドリルを使用してくり抜かれた巨大なマツの丸太でした。これで保温性の問題は解決しましたが、木材の劣化は課題として残りました。1950 年代から、木管は徐々に今日使用されている耐久性の高い塩ビパイプに置き換えられました。

【タイトル】 岳温泉/ミルキーデー

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

岳温泉の“汤揉”和“汤花日”

岳温泉の泉水 pH 值为 2.5 呈酸性，这在碱性温泉居多的日本非常少见。低 pH 值具有抗菌效果，与泉水中的硫磺成分结合，据说在这里泡温泉，对牛皮癣、湿疹以及皮肤炎症有一定的缓解效果。

温泉行家们认为，岳温泉的泉水源自铁山深处，在长距离的运送过程中矿物质成分被充分混合，使泉水触感更加柔滑。这一混合过程被称为“汤揉”，在日本其他温泉乡也有运用。

汤花日

源泉从铁山引至岳温泉的过程中，管道会逐渐附着因泉水中的硫磺和其他矿物质而形成的沉积物，这些沉积物被称为“汤之花”。为了保持水流畅通，管道会定期清理，将这些沉积物一次性排出。当积累了一周或更长时间的“汤之花”流入岳温泉时，当天的温泉水会变成乳白色，因此被称为“汤花日”。

在夏季，“汤花日”每周都会举办，而冬季则减半。具体日期视天气情况而定，并会提前在网上公布。许多人会特意选择在“汤花日”造访岳温泉，享受泉水中“汤之花”带来的独特质感和浓郁气味。有些人认为，比平时更高的矿物质含量还能增强温泉水的舒缓效果。

<繁体字>

岳温泉的「湯揉」和「湯花日」

岳温泉の泉水 pH 値為 2.5，呈酸性，在以鹼性温泉為主的日本極為罕見。低 pH 值的抗菌效果和泉水中的硫磺成分，可能對牛皮癬、濕疹以及皮膚炎症有一定的緩解效果。

温泉愛好者認為，岳温泉的泉水源自鐵山深處，在長距離運輸過程中，礦物質成分被充分混合，使得泉水觸感更加柔滑。這種良好的混合過程被稱為「湯揉」，在日本其他温泉鄉也有類似的運用。

湯花日

輸送岳温泉の温泉水管中，隨著時間推移，水中的硫磺及其他礦物質會逐漸沉積，這些沉積物被稱為湯花。為了確保水流暢通，管道需要定期清洗，並將內部堆積的硫磺與礦物質一併沖出。當超過一週累積的湯花抵達岳温泉時，温泉水便會轉變為乳白色。如今，岳温泉將這些特殊日子稱為「湯花日」。

在夏季，「湯花日」每個星期舉辦一次，而冬季則減為每兩個星期一次。天氣的狀況會影響清洗工作的進行，所以「湯花日」的具體日期不固定，但均會提前在網上公布。許多人會特意選擇在「湯花日」造訪岳温泉，享受泉水中「湯之花」帶來的獨特觸感和濃郁氣味。有些人認為，在這一天泡湯，額外的礦物質含量更能增強温泉帶來的療愈效果。

<日本語仮訳>

岳温泉の湯もみとmilkyday

岳温泉の泉質は pH2.5 の酸性です。これはアルカリ性温泉が多い日本では珍しいことです。低い pH の抗菌効果と水の硫黄分により、この温泉に浸かると乾癬や湿疹、皮膚の炎症が軽減される可能性があります。

温泉愛好家は、鉄山から長距離を運ばれてくることにより、湯のミネラル成分がより均一に混ざって肌に「まろやか」な湯心地となると考えています。このように湯がよく混ざるとは湯もみと呼ばれ、日本の他の温泉地でも行われています。

milkyday

岳温泉の湯を鉄山の源泉から送り出すパイプには、温泉水中の硫黄やその他のミネラルの堆積物が徐々に付着していきます。これらの堆積物は湯の花と呼ばれています。水の流れが妨げられないよう

に、パイプは定期的に洗浄され、内部に溜まった硫黄やミネラルの堆積物がすべて一度に流し出されます。1週間以上分の湯の花が岳温泉に到着すると、その日はお風呂が乳白色に変わります。現在、岳温泉ではこれを「milky day」というイベントとして宣伝しています。

夏にはmilky dayが毎週開催され、冬にはその頻度は約半分になります。具体的な日程は天候により清掃が可能になる日によって異なりますが、開催は事前にオンラインで発表されます。湯の花の独特の感触と芳醇な香りを求めて、あえてmilky dayに岳温泉を訪れる人も多くいます。普段より多いミネラル分は湯の鎮静作用を高めると感じる人もいます。

【タイトル】 岳温泉/湯守文化

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

岳温泉の“湯守”

为了确保岳温泉能从铁山源源不断地引入温泉水，长达 8 公里的输水管道需要定期进行检查和维修。这一重任便落在了“汤守”肩上。“汤守”意为“温泉守护者”，是当地居民在日常生活外肩负起的职责。

四季不辍的守护

冬日里，汤守们每周都会进山。冒雪前往温泉源头的路程往往耗时数小时，抵达后，他们还要花大约三小时铲除几米厚的积雪，清理后再返回镇上。

随着天气转暖、积雪消融，汤守们上山的频率会逐渐增加。到了夏天，除非遭遇恶劣天气，他们几乎日日上山。此时，他们的任务还包括清除通道上的植物与杂物，以及检查管道是否存在渗漏。

岳温泉的幕后英雄

2011 年 9 月，铁山遭遇暴雨并引发山体滑坡，导致岳温泉的泉水供应中断。山体滑坡损坏了管道，汤守们立即行动起来，组织了紧急抢修，并得到了小镇居民的协助。经过数日的不懈努力，温泉水供给得以恢复，但由于滑坡残留的泥石尚未稳固，汤守们在随后几年中，持续对受损区域进行监控和维护。

这些工作没有现成的指南可循。年轻的汤守们从经验丰富的前辈那里汲取智慧，并将知识传授给后来者。这种代代相传的“汤守文化”自岳温泉创立以来，一直默默发挥着不可或缺的重要作用。

＜繁体字＞

岳温泉の「湯守」

為了確保岳温泉能從鐵山源源不斷地引入温泉，長達 8 公里的輸水管道需要定期進行檢查和維修，這一重任便落在了「湯守」的肩上。「湯守」的意思是「温泉守護者」，由當地居民在日常的工作之餘擔任。

四季不輟的守護

冬天，湯守們每週都會入山，光是冒雪前往源泉，往往就要耗費數個小時。抵達管道所在地之後，他們還得需花大約 3 個小時除雪、清理，然後再返回鎮上。

隨著天氣回暖、積雪消融，湯守們上山的頻率會逐漸增加。直到夏天，除非遇到惡劣天氣，否則他們幾乎每天都會上山。此時，他們的任務包括清除通道上的植物與雜物，以及檢查管道是否漏水。

岳温泉の幕後英雄

2011 年 9 月，鐵山因為豪大雨而發生土石流，進而導致岳温泉の泉水供應中斷，因為土石流損壞了管道。湯守們立即行動起來，進行了緊急搶修的工作，同時也得到了許多小鎮居民的協助。經過數日不懈的努力，温泉の供應得以恢復，但由於土石流堆積物不穩固，湯守們在隨後的幾年中，持續對受災的區域進行了監控和維護。

這些工作沒有現成的標準流程可循。年輕的湯守們跟著經驗豐富的前輩邊做邊學，然後再將所學的知識技能傳授給後進的湯守。這種代代相傳的「湯守文化」自岳温泉創立以來，一直在背後發揮著至關重要的作用。

＜日本語仮訳＞

岳温泉の湯守

（目安：251–500 ww, 實際：282）

鉄山から湧出する岳温泉の水を維持するには、8 キロメートルにわたる導水路とパイプを定期的に点検し、修理する必要があります。これが湯守（guardians of the springs）の仕事です：湯守は、通常の仕事に加えてこれらの役割を担う地域住民です。

年間を通じた仕事

冬になると、湯守たちは毎週山に入ります。雪の中を源泉まで登るだけでも数時間かかります。そのパイプにたどり着くために約 3 時間かけて雪を掘り、清掃して町まで戻ります。

天気が暖かくなり、雪が溶けると、湯守たちはより頻繁に山を訪れ始めます。夏までは、天気が悪くない限り、毎日山に行きます。毎年この時期の作業には、通路から植物や瓦礫を取り除き、途中で水漏れがないか確認することが含まれます。

岳温泉の縁の下力持ち

2011 年 9 月、山に集中豪雨が発生した後、岳温泉への温泉の供給が止まりました。山の土砂崩れでパイプが破損したためです。湯守は応急修理活動を主導し、これに町の多くの人々が協力しました。山での数日間の作業の後、お湯の供給は回復しましたが、土砂崩れの残骸は残され、湯守はその後何年もの間、被害を受けた地域を監視・保守しなければならませんでした。

こうした作業にはマニュアルはありません。若い湯守は、経験豊富な同僚から実地で仕事を学び、学んだことをまた新入りに教えます。岳温泉では創業以来、代々受け継がれてきた湯守文化が目に見えないながらも重要な役割を果たしてきました。

【タイトル】 岳温泉/岳温泉の歴史

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

岳温泉的历史

岳温泉的起源可以追溯到位于铁山高处的温泉旅馆集群——汤日温泉。早在九世纪，历史文献中便已出现了与之相仿名称温泉的记载。到十七世纪，汤日温泉已成为一处热闹的休闲胜地，吸引着当地民众和过往旅人纷至沓来。

迁址山脚

1824 年，一场灾难性的山体滑坡将汤日温泉掩埋，原址自此被废弃。两年后，二本松藩的藩主下令在铁山脚下的十文字岳地区建设一个新的温泉小镇。由于十文字岳没有天然温泉，人们便建造了一套木制的管道系统，将远在 6 公里外的温泉水引至此处。这一输水方式至今仍被岳温泉所沿用。

1868 年，戊辰战争期间，日本西部的强大藩国联手推翻了德川幕府的统治，十文字岳的温泉小镇不幸被战火摧毁。1870 年，小镇在附近的深堀地区重建，但好景不长，到了 1903 年，一场由旅馆引发的大火又将深堀温泉化为灰烬。最终，在 1906 年，小镇在现址上得以重建，并被命名为岳温泉。时至今日，岳温泉的泉水依然源自 8 公里外铁山的同一源泉。

“尼可尼可共和国”

岳温泉另一个引人注目的举措发生在 1982 年，这一年温泉街宣布独立，成立“尼可尼可共和国”（“尼可尼可”在日语中意为“灿烂的微笑”）。此举是受到日本作家井上久志 1981 年讽刺小说《吉里吉里人》的启发，小说讲述了岩手县一个宣布独立的村庄的故事，在当时的日本掀起了一股“迷你独立国”的热潮。

对于岳温泉而言，此举源于对东北新干线建设的担忧。由于二本松并未被列为新干线站点，而许多特快列车将被新干线服务取代，岳温泉的客流量或因此减少。宣布“独立”的目的是为了吸引公众关注——这一策略奏效了。“尼可尼可共和国”登上了全国新闻，小镇领导人索性将这一玩笑延续下去。

观光协会办公室被更名为“国会议事堂”，协会会长被任命为“总统”。岳温泉发行了护照和货币“Cosmo”（取自岳温泉的市花——波斯菊），护照实际上是可盖章的折扣卡，货币则作为购物券使用。直到 2006 年，时任“总统”才正式宣布尼可尼可共和国重新并入日本，结束了持续 20 多年的“独立”。

纵观岳温泉的曲折历史，不难发现二本松人民对保护温泉的坚定决心。无论是面对自然灾害还是经济压力，他们总能找到办法，为后代留下温泉这一珍贵资源。

<繁体字>

岳溫泉的歷史

岳溫泉的起源可以追溯到於鐵山高處林立的溫泉旅館——湯日溫泉。早在九世紀，歷史文獻中便已出現了與之名稱相仿的溫泉的記載。到了 17 世紀，湯日溫泉已發展成一處熱鬧的休閒勝地，吸引著當地民眾和過往旅人紛至沓來。

遷址山腳

然而在 1824 年，湯日溫泉遭到一場毀滅性的土石流的侵襲，原址從此被廢棄。兩年後，二本松藩的藩主下令在鐵山腳下的十文字岳地區打造一個新的溫泉小鎮。由於十文字岳沒有天然溫泉，人們便建造了一套木製的管道系統，將遠在 6 公里外的溫泉引至此處。這一輸水方式至今仍被岳溫泉所沿用。

在戊辰戰爭期間的 1868 年，日本西部的強大藩國聯手推翻了德川幕府的統治，十文字岳的溫泉小鎮不幸被戰火摧毀。1870 年，小鎮在附近的深堀地區重建，但好景不長，到了 1903 年，一場由旅館引發的大火又將深堀溫泉化為焦土。最終，在 1906 年，小鎮在現址上得到重建，並被命名為岳溫泉。時至今日，岳溫泉的泉水依然源自 8 公里外鐵山的同一源泉。

「尼可尼可共和國」

岳温泉另一個引人注目的舉措發生在 1982 年。這一年溫泉小鎮宣布獨立，並成立「尼可尼可共和國」（「尼可尼可」在日語中指的是「燦爛的笑容」）。此舉乃是受到 1981 年日本作家井上久志的諷刺小說《吉里吉里人》的啟發。該小說講述了岩手縣的一個宣布獨立的村莊的故事，這在當時的日本掀起了一股「迷你獨立國」的風潮。

岳温泉之所以有這樣的舉措，是因是對東北新幹線的建設的憂慮。由於東北新幹線並沒有在二本松設站的規畫，而許多特快列車將被新幹線取代，因此岳温泉的客流量可能會大幅減少。宣布「獨立」的目的是為了引起關注，而此一策略也確實奏效了。「尼可尼可共和國」被全國的新聞台的播報，因此小鎮的主事者索性就這麼繼續玩下去。

觀光協會辦事處被更名為「国會議事堂」，協會會長被任命為「總統」。岳温泉發行了護照和貨幣「Cosmo」（以岳温泉的市花「波斯菊」為名）。實際上，護照是蓋章集點的折扣卡，而貨幣則作為購物券使用。當時的「總統」一直到了 2006 年，才正式宣布尼可尼可共和國重新併入日本，終結了持續了 20 多年的「獨立」。

在岳温泉的歷史長河中，二本松居民保護溫泉的決心始終如一。無論是面對自然災害還是經濟方面的難題，他們總能找到對策，為後代子孫留下溫泉此一珍貴的資源。

<日本語仮訳>

岳温泉の歴史

岳温泉の起源は、鉄山の高台にある湯日（ゆい）温泉という一群の温泉旅館にあります。似た名前の温泉は、9 世紀にはすでに史料に登場しています。17 世紀までに、湯日温泉は旅行者と地元の人々の両方を満足させる歓楽街として栄えました。

山を下る

しかし、1824 年に湯日温泉は大規模な土砂崩れで埋もれ、跡地は放棄されました。その 2 年後、二本松藩主は鉄山の麓、十文字岳と呼ばれる地域に新たな温泉街の建設を命じました。十文字岳には天然温泉がなかったため、6 キロメートル離れたもとの温泉からお湯を運ぶために木製の導水路とパイプのシステムが建設されました。現在、岳温泉のお湯は当時と全く同じ方法で配管されています。

1868 年、西日本の有力な藩が率いる連合軍が徳川幕府を打倒した戊辰戦争で、十文字岳は焼け落ちました。1870 年に近くの深堀に新しい温泉街が建てられましたが、1903 年に旅館の 1 つから延焼した火災で深堀温泉は全焼してしまいました。最終的に、1906 年に現在の場所に温泉街が再建され、岳温泉と名付けられました。岳温泉の湯は、今でも 8 キロメートル離れた鉄山の同じ源泉から引かれています。

ニコニコ共和国

岳温泉の次の劇的な一手は目を引くものでした：1982 年、この温泉街は独立国家「ニコニコ共和国」として樹立を宣言しました。（ニコニコとは明るい笑顔を指す日本語です）これは、岩手県の独立村を描いた 1981 年の井上ひさしによる風刺小説『吉里吉里人』に触発された、日本での冗談混じりのミニ独立国開国ブームの一環として成立しました。

岳温泉の場合、東北新幹線が新設されることへの懸念がこの宣言の発端となりました。二本松には新幹線の駅の開設が予定されておらず、多くの急行列車が新幹線に置き換えられるため、岳温泉の訪問者数は減少する可能性が高いと考えられました。独立宣言は、世間の人々に岳温泉を忘れ去られないようにすることが目的でした—そして、それは成功でした。ニコニコ共和国は全国ニュースで報道されたため、町のリーダーたちはこの冗談を継続しました。

観光協会事務所は「国会議事堂」と改称され、協会長が大統領に就任しました。岳温泉はパスポートと通貨「コスモ」（岳温泉の町の花「コスモス」にちなんでいる）を発行し、これらはそれぞれスタンプ割引カードと買い物券の役割を果たしました。当時の大統領が、ニコニコは日本と再合併し、20 年以上続いた「独立」に終止符を打つとやっと発表したのは 2006 年になってからのことでした。

岳温泉の長い歴史の中でも、温泉を守るという二本松の人々の決意は変わりません。自然災害から経済的なものまで、あらゆる課題に直面しながらも、彼らは温泉を将来の世代のために残し続ける方法を見つけてきました。

【タイトル】 岳温泉/岳温泉まちなか散策コース

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

岳温泉漫步

岳温泉设计了一条精心规划的步行游览路线，巧妙地将小镇的美景与历史人文景点串联起来。这是一条长达 2.3 公里的平缓小路，漫步其间，大约一个小时可以走完全程。

自制明信片

步行游览路线从小镇主街“喜马拉雅大街”东南端的游客信息中心启程。首个看点，是信息中心门外一块明信片大小的虎形雕板。这样的雕板在小镇内共有 12 块，描绘着源自中国的干支纪年中的不同动物形象。游客中心准备了印制工具包，内含特制的纸张和印泥，游客们可以用这些雕板制作明信片。这些干支动物图案由二本松市出身的画家大山忠作绘制，雕板则由雕刻家桥本坚太郎雕成。

镜池与绿池

从游客中心出发，步行路线向着东南方向延伸，沿着樱坂斜坡下行。沿途有一个公共足浴区。坡道的尽头是一个小公园，园内环绕镜池有条小径。不远处的小山上是“夕阳丘第二观景台”，这里是小镇里欣赏安达太良山的最佳位置。

镜池公园南侧有一片绿色的池塘，名为绿池。池水源于岳温泉各旅馆的温泉水，经过稀释后汇聚于此。池畔的圆形取水塔为这里增添了几分画意。

沿着夏无川步行

离开池塘后，步行路线沿着旧路向南延伸，通往临近的本宫町。这里的樱花树现在由福岛东海岸的浪江町志愿者们照料。在 2011 年东日本大地震和核事故发生后，岳温泉曾为浪江町的居民们提供避难场所长达数月。

步行路线沿着夏无川旁的林荫路转向西北，接着进入一条悠长而蜿蜒的道路，通向喜马拉雅大街的西北端。

温泉神社

在喜马拉雅大街的高处有一座温泉神社。这座神社是神道与佛教合一的场所，夏冬两季举行传统的神道祭典，春季则举行温泉的佛教仪式。神社内供奉着代表繁荣的大黑天神像，自温泉街位于铁山山腰时，这尊像便一直受到当地人的信仰。

从神社出发，步行路线沿着喜马拉雅大街向东南延伸，沿途经过温泉旅馆、餐馆及和果子店，最终回到起点——游客中心。

<繁体字>

岳溫泉漫步

岳溫泉值得推薦的漫步路線，將小鎮的名勝和歷史遺跡串聯起來。這是一條長達 2.3 公里的鋪砌小路，遊客漫步其間，大約用 1 個小時即可走完全程。

自製明信片

漫步路線從被稱為「喜馬拉雅大道」的小鎮主幹道東南端的遊客服務中心啟程。第一個必看的亮點是遊客中心門外的一塊明信片大小的老虎雕板。這樣的雕板在小鎮內共有 12 塊，分別刻畫著源自中國的生肖動物的圖案。遊客中心提供印製工具包，裡面有可讓遊客自行製作明信片的紙張和印泥。十二生肖動物的圖案是由二本松市出身的畫家大山忠作所畫，雕板則是由雕刻家橋本堅太郎所雕刻。

鏡池與綠池

從遊客中心出發，漫步路線往東南方向延伸，沿著櫻坂斜坡下行。途中有一個公共足湯池。坡道的盡頭是個小公園，園內有一條小徑環繞鏡池。不遠處略微隆起的山丘上有「夕陽丘第二觀景台」。此觀景台乃是小鎮中欣賞安達太良山美景的最佳場所。

鏡池公園的南側是有著綠油油的一汪池水的綠池。池水源於岳溫泉各旅館的溫泉水，經過稀釋後匯聚於此。池畔的圓形取水塔為這裡增添了幾分畫意。

沿著夏無川步行

離開綠池後，漫步路線沿著舊路向南延伸，通往臨近的本宮町。這裡盛開的櫻花樹目前由福島東海岸的浪江町の志工進行維護。岳溫泉曾經在 2011 年東日本大地震、核事故發生後政府發布避難指示之時，接納來自浪江町的居民好幾個月。

漫步路線沿著夏無川旁的林蔭路轉向西北，接著進入一條悠長而蜿蜒的道路，最終連接喜馬拉雅大道的西北端。

溫泉神社

在喜馬拉雅大道一端的高處有一間溫泉神社。這間神社是典型的神佛二教合一的寺廟；夏冬兩季舉行傳統的神道祭典，春季則舉行溫泉的佛教儀式。神社內供奉著代表繁榮的大黑天神像；這尊像自溫泉小鎮位於鐵山山腰時，便一直受到人們的崇敬。

從神社出發，漫步路線沿著喜馬拉雅大道向東南延伸，沿途經過溫泉旅館、餐館以及和菓子店，最終回到起點——遊客中心。

<日本語仮訳>

岳温泉を歩く

岳温泉のおすすめウォーキングコースは、町の名所や史跡を巡るコースです。舗装された 2.3 キロメートルの小道に沿って快適に散策でき、所要時間は約 1 時間です。

自分のハガキを刷る

ウォーキングコースは、「ヒマラヤ大通り」と呼ばれる町のメインストリートの南東端にある観光案内所からスタートします。まず最初の見どころは、案内所の外側にあるハガキサイズの虎の彫板です。これらの彫

板は街中のあちこちに 12 個置かれており、それぞれに中国起源の干支の異なる動物の絵が描かれています。観光案内所では、12 の各彫板でポストカードを作成するための用紙とインクパッドが入った印刷キットを提供しています。動物の絵は二本松市で育った画家、大山忠作氏によるもので、彫板は彫刻家の橋本堅太郎氏が彫ったものです。

鏡ヶ池と緑ヶ池

観光案内所から、ウォーキングコースは南東に向かって桜坂を下ります。途中で公衆足湯があります。坂を登り切ると、鏡ヶ池を散策路が囲む小さな公園があります。近くの小高い丘の上に夕陽ヶ丘第二展望台があり、そこからは町で最も見事な安達太良連峰の景色を眺めることができます。

鏡ヶ池公園の南には、鮮やかな緑色が特徴的な緑ヶ池があります。これは、岳温泉の旅館から集められた温泉水を希釈して排出したものです。池のほとりにある円形の取水塔によって、この池は絵画のような雰囲気醸しています。

夏無川沿い

池を後にすると、ウォーキングコースは旧道に沿って南へのびており、近くの本宮という町へ向かいます。ここに咲き誇る桜の木は現在、福島東海岸の町、浪江町の有志の方々によって手入れされています。岳温泉は、2011 年の東北地方太平洋沖地震と原発事故の後に避難指示が出された際、何ヶ月にもわたって浪江町の人々を受け入れました。

ウォーキングコースは、夏無川沿いの並木道を北西に進み、その後緩やかにカーブした長い道を進むと、ヒマラヤ大通りの北西端につながります。

温泉神社

ヒマラヤ大通りの高い方の端には温泉神社があります。この神社は歴とした神仏習合機関であり、夏と冬には伝統的な神事祭りが、春には温泉の仏教儀式が開催されます。また、繁栄の神である大黒天像もあります；この像は、鉄山の中腹にあった頃からこの温泉街で信仰されてきました。

神社からは、ウォーキングコースはヒマラヤ大通りを南東に向かって進み、温泉旅館やレストラン、菓子屋などを通して、スタート地点の観光案内所に到着します。

【タイトル】 二本松城跡/二本松城の概要

【想定媒体】 WEB

＜簡体字＞

二本松城

霞城公园位于二本松城旧址。1414 年到 1868 年间，二本松城一直矗立于安达太良山脉的一道山脊之上，这里曾是多位大名的居所，1643 年由丹羽光重接管。丹羽光重及其后代所做的城市规划奠定了今日二本松市的基础。丹羽家族的统治持续到 1868 年，二本松城戊辰战争时期被毁。现今，公园内保留并恢复了部分石垣城墙、建筑和庭园，重现了数百年前城堡的风貌。

公园的最高处、也是最早被建成的部分是“本丸”。本丸被石垣环绕，其中一些墙体的历史可追溯到 16 世纪后期。本丸内的天守台上虽未建起真正的天守阁，但在此可以俯瞰二本松及周边地区的景色。公园的下层区域也有一些景点，包括园内最古老的现存建筑——洗心亭茶室、重建的箕轮门和一座建于 17 世纪中期的日式庭园。

城内也是当地樱花祭、菊花人偶展等季节性活动的举办地。尽管二本松城已不复存在，但这一遗址仍是二本松市市民们生活的中心。

＜繁体字＞

二本松城

霞城公園位於二本松城遺址。二本松城在 1414 年到 1868 年間，一直聳立在安達太良連峰的支脈上；曾經是多位大名的居城，後於 1643 年被賜予丹羽光重。丹羽光重及其後代所做的城市規劃奠定了今日二本松市的基礎。丹羽家族以此城為據點管治其轄區，直到 1868 年戊辰戰爭期間城池和領地被毀為止。現今，公園內保留、恢復了部分石牆、建築和庭園，重現了數百年前城堡的面貌。

公園的最高處，也是最早被建成的部分是「本丸」。本丸被石牆環繞，其中部分牆體的歷史可追溯到 16 世紀後半期。本丸內的天守台上雖未建起真正的天守閣，但在此處可以俯瞰二

本松及其周邊地區的景色。公園的下方有洗心亭，這是園內最古老的現存建築。另外還有重建後的箕輪門和一座建於 17 世紀中葉的日式庭園等景點。

城內也被利用作為舉辦櫻花祭、菊人形祭等當地季節性活動的場所。儘管二本松城已不復存在，但此處依然是市民生活的中心。

<日本語仮訳>

二本松城

霞ヶ城公園は、1414 年から 1868 年まで安達太良連峰の支脈にそびえていた二本松城の跡地に作られました。二本松城は何人もの大名の居城となった後、1643 年に丹羽光重に与えられました。光重とその子孫による都市計画によって、現在の二本松市の基礎が築かれました。丹羽家はこの城を拠点に統治しましたが、1868 年に戊辰戦争で城も領地も破壊されました。現在、公園には保存および復元された石垣、建物、庭園があり、過去の城の姿を明らかにしています。

この公園で最も高いところにあるのが、城の中で最初に完成した部分、本丸です。本丸の周囲は石垣に囲まれており、その石垣の一部は 16 世紀後半に築かれました。本丸内の天守台には実際の天守閣があったことはないものの、ここからは二本松周辺の土地を一望できます。公園の下方には、敷地内に現存する最古の建造物である洗心亭のほか、再現された箕輪門や 17 世紀半ばに作られた日本庭園もあります。

城内は、桜まつりや菊人形まつりなど、季節ごとの地域行事にも利用されます。二本松城はもう存在しませんが、この場所は依然として市民生活の中心です。

【タイトル】 二本松城跡/二本松城の概要

【想定媒体】 WEB

＜簡体字＞

二本松城

二本松城从 1414 年到 1868 年间位于现在的霞城公园一带。在日本的战国时代（1467-1568），这座城堡曾为多位大名的居所。1643 年，二本松城被赐予新设立的二本松藩的首任藩主丹羽光重。丹羽光重及其后代自此在城中统治，直至 1868 年戊辰战争期间，城堡在德川幕府与倒幕势力的激战中被摧毁。

从山城到现代都市

二本松城是战国时期建造的众多“山城”之一，位于易守难攻的高地之上。然而，在相对和平的德川幕府时期（1603-1868），大多数大名都搬到更为便利的低处居住。但由于丹羽家族选择在城内保留住所和行政机构，因此不得不因地制宜，在有限的平地上分层布局建筑物。

丹羽光重对城市规划颇为重视，认为这对二本松藩的繁荣至关重要。他重新规划了城墙外的聚落，使其成为一个城镇，这一基本布局在今日的二本松依然可见。此外，他还下令修建了一系列的水渠和管道，即二合田水道，将重要的水源从大约 18 公里外的山区输送到城堡和城镇。为当地提供了宝贵的水资源。

霞城公园的诞生

戊辰战争后，旧城址一度用作制丝工厂，后来被改为霞城公园，并种植了花草树木供市民休憩。公园内保存和复原了部分石垣城墙、建筑以及庭园，展示了昔日二本松城的历史风貌。

公园的最高点是“本丸”，这是城堡最早建成的部分，被石垣环绕，部分墙体的历史可以追溯到 16 世纪后期。本丸内的天守台虽未建造天守阁，但在此可俯瞰二本松及其周边地区的景色。公园下方还有一些景点，如园内现存最古老的建筑——洗心亭茶室，复原的箕轮门，以及建于 17 世纪中期的日式庭园。

二本松市的中心

二本松城遗址至今仍在二本松地区市民生活中扮演着重要的角色，例如举办菊花展等活动，当地园艺师用精心培育的菊花装饰人偶供大家欣赏。箕轮门是提灯祭最后一晚“三町联合曳回”游行的起点。届时，市内各地区的居民会在祭典音乐的伴奏下，将装饰着提灯的高大太鼓台送至市中心。

丹羽光重虽无法预见二本松在几百年后的发展，但他的规划为现代二本松奠定了基础，二本松城遗址也仍是这座城市的中心所在。

〈繁体字〉

二本松城

二本松城在 1414 年至 1868 年之間位於現在的霞城公園一帶。戰國時代（1467-1568），曾為多位大名的居城。1643 年，二本松城被賜予新設立的二本松藩的首任藩主丹羽光重。丹羽光重及其後代自此在城中統治，直至 1868 年戊辰戰爭期間城堡在德川幕府與倒幕勢力的激戰中被摧毀為止。

從山城到現代都市

二本松城是戰國時期建造的眾多「山城」之一，位於易守難攻的高地之上。然而，在相對和平的德川幕府時代（1603-1868），大多數大名都搬到更為便利的低處居住。但由於丹羽家族選擇在城內保留住所和行政機構，因此不得不因地制宜，在有限的平地上建造分層的建築物。

丹羽光重認為都市計畫關係著二本松藩的興衰，因此頗為重視都市計畫。他將城牆外的聚落重新規劃為城鎮，這一基本布局在今日的二本松市中依然可見。此外，他還下令修建一

系列の水渠和管道，即二合田用水路，將遠在約 18 公里外的山間水源引入，為城堡及城下町提供寶貴的水資源。

霞城公園的誕生

戊辰戰爭後，舊城址曾經一度成了繅絲廠，後來改名為霞城公園，並種植花草樹木供市民休憩。公園內保存和復原了部分石牆、建築以及庭園，展現昔日二本松城的歷史面貌。

公園的最高處「本丸」是城堡中最早建成的部分，被石牆環繞，部分牆體的歷史可追溯到 16 世紀後半期。本丸內的天守台雖未建造天守閣，但在此可俯瞰二本松及其周邊地區的景色。公園下方還有一些景點，如園內現存最古老的建築——洗心亭茶館，復原的箕輪門，以及建於 17 世紀中期的日式庭園。

二本松市的中心

二本松城遺址至今仍在二本松地區的市民生活當中扮演著重要的角色。諸如提供場地給當地的園藝師展示其精心培育的菊花裝飾人偶。箕輪門是提燈祭最後一晚「三町聯合曳回」遊行的起點；活動的時間一到，市內各地區的居民會在祭典音樂的伴奏下，將裝飾著提燈的高大太鼓台送至市中心。

丹羽光重應該是無法預見在他所處的時代之後數百年二本松的發展，但他的規劃確實為現代的二本松奠定了基礎。二本松城遺址至今仍是這座城市的中心之所在。

<日本語仮訳>

二本松城

二本松城は、1414 年から 1868 年まで現在の霞ヶ城公園の場所にありました。この城は、戦国時代（1467～1568）を通じて何人か的大名によって住まれ、1643 年に新しく設立された二本松藩の初代大名である丹羽光重に与えられました。光重とその子孫は 1868 年までこの城で統治しましたが、城は 1868 年に徳川幕府とそれを打倒することを決意した有力藩連合との間で戦われた戊辰戦争で破壊されました。

山岳要塞から近代都市へ

二本松城は、戦国時代に高台の防御しやすい場所に築かれた多くの「山城」の 1 つでしたが、より平和となった徳川幕府（1603～1868）の時代には、ほとんどの大名が低地の便利な家に移転しまし

た。しかし、丹羽氏は住まいと行政施設を元の城壁の中に残しました。そのため、平らなスペースが不足し、複数の階層に建物を建てるなど、いくつかの特異なレイアウト決定が必要になりました。

丹羽光重は都市計画が藩の強さの鍵であると考え、都市計画に強い関心を持ちました。彼は城壁の外側の集落を町に再編しましたが、その基本的な配置は今日の二本松市にも見ることができます。彼はまた、約 18 キロメートル離れた山中の水源から城と城下町に欠かせない水をもたらす一連の水路とパイプである二合田用水路の建設も命じました。

霞ヶ城公園の誕生

戊辰戦争後、二本松城跡は製糸工場となった後、霞ヶ城公園と改名され、花や木々が植えられ市民の憩いの場となりました。公園には保存および復元された石垣や建物、庭園があり、過去の二本松城の姿を明らかにしています。

この公園で最も高いところにあるのが、城の中で最初に完成した部分、本丸です。本丸の周囲は石垣に囲まれており、その石垣の一部は 16 世紀後半に築かれました。本丸内の天守台には実際の天守閣があったことはないものの、ここからは二本松周辺の土地を一望できます。公園の下方には、敷地内に現存する最古の建造物である洗心亭のほか、再現された箕輪門や 17 世紀半ばにつくられた日本庭園もあります。

二本松市の中核

二本松城跡は、地元の園芸家が特別に栽培した花で覆われた人形を展示する菊祭りの会場となるなど、今でも二本松の市民生活に重要な役割を果たしています。箕輪門は提灯祭りの最後の夜に市の各地域の人々が、祭囃子が響く中、提灯で覆われた背の高い太鼓台を市中へ送り出す「三町合同曳き廻し」の出発地点です。

丹羽光重は彼の時代から何世紀も経ってこの地域がどのように発展するかは予見できなかったでしょうが、現在の二本松の基礎は彼の都市計画によって築かれ、二本松城跡は今でもその中心にあります。

【タイトル】 二本松城跡/二本松城の歴史

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

二本松城的历史

二本松城的历史是日本向现代化发展变迁的历史。城堡立于俯瞰全城的高地之上，见证了日本从战国时代（1467-1568）的烽火岁月，过渡到德川幕府（1603-1868）的长期和平，而这份和平又因戊辰战争（1868-1869）的硝烟而终结，向着现代国家转型。

山上要塞

二本松城的初建可追溯至 1414 年，由当地大名畠山满泰下令建造。畠山家族是在一个世纪前作为足利幕府的地方代理被派至此的。畠山满泰修建的城堡仅占据了山顶位置，没有选择石墙，而是夯土为墙，建造时注重防御性而非舒适性。

畠山家族在城堡中居住了一个多世纪，直到 1586 年被北方强大的大名伊达政宗驱逐。伊达家族与畠山家族的恩怨由来已久，因为畠山家在一次失败的绑架行动中致伊达政宗的父亲死亡而使对立彻底激化。畠山家深知败局已定，被迫逃离，并在撤离时焚毁了城堡。

城堡的现代化

1590 年，当时已是日本势力最大的大名、正逐步统一全国的丰臣秀吉将二本松城封给了大名蒲生氏乡。蒲生氏乡着手对城堡进行现代化改造，在本丸周围首次筑起了石墙。

1598 年丰臣秀吉去世后，德川家康建立了幕府，幕府统治日本直至 1868 年。1627 年，幕府将二本松城封给大名加藤家族，他们延续了蒲生氏乡的建筑工程，在山坡下更低处的三之丸周围建起了石墙。

丹羽光重及后世

1643 年，德川幕府宣布二本松为独立藩，并任命丹羽光重为首任藩主。光重上任后，对城墙外的城镇进行重新规划，使其更加有序。这一城镇的基本布局，在现代的二本松市内仍然可以看到。由于德川时代较为和平，丹羽光重及其后裔在这座城中统治了二本松长达两个多世纪。

1868 年，以西日本强大藩国为首的联盟在戊辰战争中举起了反幕府的大旗。二本松藩站在了幕府一方，但在面对西部联盟先进的武器与战术时显得毫无还手之力。二本松藩被攻占，二本松城再次被付之一炬。

幕府败北后，明治新政府废除了藩和大名制度。二本松城的旧址一度被用作制丝工厂，后改建为公园。在 20 世纪后期开展的发掘和修复工程实施之前，城堡仅剩一些埋在地下的石墙。然而，二本松城的历史在无形中塑造了二本松市的风貌，其影响深远，至今仍在不断被发掘和展现。

<繁体字>

二本松城的歷史

二本松城的歷史是日本向現代化發展變遷的歷史。城堡立於俯瞰全城的高地之上，見證了日本從戰國時代（1467-1568）的烽火歲月過渡到德川幕府（1603-1868）的長期和平，最終又在戊辰戰爭（1868-1869）的硝煙中走向終結，開啟了邁向近代國家的道路。

山上要塞

二本松城的最初型態可追溯至 1414 年，由當地大名畠山滿泰下令建造。畠山家族是在一個世紀前作為足利幕府的地方代理被派至此的。畠山滿泰修建的城堡僅佔據了山頂位置，因為注重防禦性而非舒適性，所以沒有選擇石牆，而是以夯土為牆。

畠山家族在城堡中居住超過一個世紀，直到 1586 年被北方強大的大名伊達政宗驅逐為止。伊達家族與畠山家族的恩怨由來已久，因為畠山家在一次失敗的綁架行動中導致伊達政宗的父親喪命，進而導致雙方的對立徹底激化。畠山家深知敗局已定，不得不逃離，於是便在撤離時將城堡焚毀。

城堡的近代化

1590 年，當時日本最強大的大名，也是意圖統治全國的豐臣秀吉，將二本松城分封給大名蒲生氏鄉。氏鄉著手進行城池的近代化工程，在本丸周圍構築了第一道石牆。

豐臣秀吉去世後，德川家康建立了德川幕府。德川幕府統治日本至 1868 年。1627 年，幕府將二本松城賜給大名加藤家族。加藤家族延續了蒲生氏鄉的建築工程，在山坡下更低處的三之丸周圍建起了石牆。

丹羽光重及後世

1643 年，德川幕府宣布二本松為獨立藩，並任命丹羽光重為首任藩主。光重上任後，重新規劃城牆外的城鎮，使其更加有序。此一城鎮的基本布局，仍然保留在現代的二本松市之中。由於德川幕府時代總體上較為和平，使得丹羽光重及其後裔在這座城堡中統治二本松長達兩個多世紀。

1868 年，以西日本強大藩國為首的聯盟在戊辰戰爭中舉起反幕府的大旗。二本松藩站在幕府一方，在面對西部聯盟先進的武器與戰術時卻顯得毫無招架之力。結果二本松藩被攻陷，二本松城又再次遭到焚毀。

幕府敗北後，明治新政府廢除了藩和大名。二本松城的遺址一度被繅絲廠給佔用，而後改建為公園。在 20 世紀後期開展的發掘和修復工程實施之前，城堡的遺跡除了半埋於地下的石牆之外，所剩無幾。關於二本松城的歷史如何在無形中塑造二本松市的風貌，真相正日漸明朗。

<日本語仮訳>

二本松城の歴史

二本松城の歴史は日本の近代への変遷の歴史です。市を見晴らす高台から、この城は戦国時代（1467～1568）の激しい争いが落ち着き、徳川幕府（1603～1868）の長い平和が訪れ、やがてそれが戊辰戦争によって終結して近代国家への道を歩み出したのを見てきました。

山の要塞

二本松城の最初の姿は 1414 年に完成しました。この城は地元の大名、畠山満泰によって建てられました；畠山満泰の一族はその 1 世紀前に足利幕府の国代としてこの地域に派遣されていました。満泰の城は山の頂上部のみを占めており、快適さよりも防御を優先して、石ではなく固められた土の壁で守られていました。

畠山氏は 1 世紀以上にわたってこの城に住んでいましたが、1586 年に北方の強力な大名である伊達政宗によって追放されました。伊達家と畠山家の間では長い間対立がくすぶっていましたが、政宗の父が畠山家による誘拐未遂中に死亡したことで緊張は頂点に達しました。畠山氏は敗北が避けられないと認識し、城に火を放ちながら逃亡しました。

城を近代化する

1590 年、当時日本で最も強力な大名であり、全国を統治しようとしていた豊臣秀吉は、二本松城を大名の蒲生氏郷に割り当てました。氏郷は城の近代化に着手し、本丸の周囲に最初の石垣を築きました。

秀吉の死後、徳川家康は 1603 年まで日本を統治した幕府を設立しました。1627 年、幕府は二本松城を大名加藤家に割り当てると、加藤氏は氏郷の事業を引き継いで、斜面の下方に三の丸を囲む石垣を築きました。

丹羽氏以降

1643 年、徳川幕府は二本松を独立藩として宣言し、丹羽光重を初代大名に任命しました。光重は任命されると、城壁の外の町をより秩序ある区画に作り直すことに取り組みました。城下町の基本的な配置は、現在の二本松市に残されています。徳川の時代はおおむね平和で、光重とその子孫は 2 世紀以上にわたってこの城から二本松を統治しました。

1868 年、西日本の有力な藩が率いる同盟が、戊辰戦争と呼ばれる戦いを起こし、幕府に対して武器をとりました。二本松は幕府側として参戦しましたが、西側同盟の近代兵器と戦術の前には無力でした。二本松藩は制圧され、二本松城は再び火を放たれました。

幕府の敗北後、明治新政府によって藩と大名は廃止されました。二本松城のかつての敷地は製糸工場が占有し、その後公共公園となりました。20 世紀後半に発掘と修復の取り組みが始まるまで、城の一部は半分埋もれた石垣いくつかを除いてほとんど残っていませんでした。城の歴史がどのように二本松の街を形作ったかについては、今も明らかになり続けています。

【タイトル】 二本松城跡/二本松城の四季

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

二本松城の四季

春与夏

霞城公园以樱花闻名，每年4月至5月都会举办樱花祭，活动期间有现场音乐演出及各种游乐活动。由春到夏，堇菜、藤花和绣球花等花卉相继绽放。这些花卉都是在城址改建为公园后栽种的，象征着这座深受当地居民喜爱的古城，正步入历史的新篇章。

提灯祭

提灯祭在每年10月的第一个周六举办，持续三个夜晚。当夏日的酷热逐渐消散，秋意降临，这项庆典点亮了二本松市的夜空。七个巨大的太鼓台在笛声和鼓声等伴奏下穿梭于城市中，每台高约11米，装饰着300盏内置蜡烛的纸灯笼。每当有蜡烛熄灭，工作人员会攀爬到太鼓台上更换蜡烛，一夜之间，每个太鼓台会消耗超过1500根蜡烛。

提灯祭的起源可以追溯到1664年，由丹羽光重创办。七个太鼓台分别代表二本松市的不同街区。在祭典的最后一晚，太鼓台队伍会从二本松城的箕轮门出发游行。

秋之菊

秋天，当霞城公园的树叶被染成金黄色与红色，夜间的步道也会被灯光照亮，供市民和游客悠闲散步。从10月中旬到11月下旬，霞城公园还会举办二本松市一年一度的菊花展。展览以用菊花装饰或完全用菊花制作的真人大小的人偶和布景而闻名。每年展览都会设定不同的主题，园艺师和团队们会根据主题竞相创作出最精美的作品。

现代菊花展始于 1955 年，但菊花种植作为一种爱好，其历史可以追溯到二本松城的武士时代，武士们通过举办品评会以展示自己的栽培技艺。即便在城堡被毁之后，这一传统依然得以延续，有 20 世纪初的访客评价二本松的菊花展是“全县最佳”。

冬天，皑皑白雪覆盖整个公园，为其增添一份静谧与沉思的氛围。在本丸远眺，空气清冽，可以清晰地看到西侧的安达太良山及其他群山，这些山也被厚厚的积雪覆盖。

＜繁体字＞

二本松城的四季

春與夏

霞城公園以其櫻花美景而聞名。這裡每年 4 月至 5 月都會舉辦櫻花祭，活動期間有現場音樂演出及各種遊樂活動。從春天到夏天，堇菜、紫藤、繡球花等花朵相繼綻放。這些花卉都是在城址改建為公園後種植的，象徵著這座深受當地人喜愛的城池歷史的新篇章。

提燈祭

提燈祭在每年 10 月的第一個星期六舉辦，持續三個夜晚。當夏季的酷熱消退，秋意漸濃時，二本松便會被提燈祭的燈火點亮。七座裝飾著提燈、伴隨著笛子和打擊樂器演奏的祭典音樂的大型太鼓台，會在城鎮中穿梭巡遊。每座太鼓台高約 11 公尺，裝飾著 300 盞內置蠟燭的紙燈籠。一旦蠟燭熄滅，就需要由身手矯健的工作人員爬上太鼓台進行更換。到夜晚結束時，每座太鼓台會消耗超過 1,500 支蠟燭。

提燈祭的起源可以追溯到 1664 年，當時是由丹羽光重所發起的。七個太鼓台分別代表二本松市的不同街區。在祭典的最後一晚，太鼓台隊伍會從二本松城的箕輪門出發遊行。

秋之菊

秋天，當霞城公園的樹葉被染成金黃色與紅色，夜間的步道也會被燈光照亮，供市民和遊客悠閒散步。從 10 月中旬到 11 月下旬，霞城公園還會舉辦二本松市一年一度的菊花祭，此活動以用菊花裝飾或完全用菊花製作的真人大小的人偶和布景而聞名。每年的展出都會設定不同的主題，園藝師和團隊之間也會根據不同的主題競相創作出最精緻、漂亮的作品。

當代的菊花展始於 1955 年。其歷史可以追溯到二本松城的武士時代；當時菊花種植形成一股潮流，武士們為了展現自己的栽培技藝而舉辦品評會。二本松的菊花展曾經在 20 世紀初得到訪客「全縣最佳」的好評，可見在城池被毀之後，此一傳統依然延續。

冬天，皚皚白雪覆蓋整個公園，營造出靜謐與冥想般的氛圍。從本丸可以清楚地看到西邊的安達太良山，以及覆蓋著厚厚積雪的山坡，在清新的空氣中顯得格外壯麗。

＜日本語仮訳＞

二本松城の四季

春と夏

霞ヶ城公園は桜の名所として知られています。毎年 4 月から 5 月にかけて桜まつりが開催され、生演奏やその他のアトラクションが行われます。春から夏にかけて、スミレ、フジ、アジサイなどの花が次々に咲きます。これらはすべて、城の敷地が公園になった後に植えられたもので、地域に愛される城の歴史の新たなステージを表しています。

提灯祭り

夏が涼しくなり、秋が訪れると、二本松は提灯祭りの明かりで輝きます。提灯で覆われ、笛や打楽器を演奏する祭り囃子を乗せた 7 台の巨大な太鼓台が街を駆け巡ります。各太鼓台は高さ約 11 メートルで、中に本物のろうそくが入った提灯 300 個で飾り付けられています。これらのろうそくは、火が消えると、太鼓台を機敏に乗り越える係員によって取り替えられる必要があります。夜の終わりまでに、各太鼓台で 1,500 本以上のろうそくが使用されます。

この祭りの起源は、丹羽光重が始めた 1664 年に遡ります。7 台の太鼓台は、それぞれ異なる地区を代表しています。祭りの最終日の夜、太鼓台の行列が箕輪門から出発します。

秋の菊

秋に城の紅葉が金色や赤に染まると、霞ヶ城公園は住民や訪問者に開放された遊歩道に沿って夜にライトアップされます。10 月中旬から 11 月下旬には、霞ヶ城公園で二本松恒例の菊まつりも開催されます。このイベントは、菊で覆われた、または全体が菊で作られた等身大の人形やジオラマが展示されることで有名です。毎年テーマがあり、参加する園芸家やチームは、そのテーマに沿って最も精巧で美しい展示の制作を競います。

現在の菊まつりは 1955 年に初めて開催されましたが、趣味としての菊栽培は二本松城の武士がその技術の熟練を示すために品評会を開催したのが始まりです。20 世紀初頭の訪問者が、二本松の菊花展は「県内で一番だった」と述べていることからわかるように、この伝統は城の落城後も残っています。

冬には、降った雪が公園を覆い、より静かで瞑想的な雰囲気が漂います。本丸からは、すがすがしい空気の中、西の安達太良山をはじめとする斜面が深い雪で覆われた山々がよく見えます。

【タイトル】 二本松城跡/戎石銘碑

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**训诫之石**

在霞城公园东端，即昔日武士出入城门的旧址处，矗立着一块高 8 米的巨石。石上刻有四行箴言：

尔俸尔禄

民脂民膏

下民易虐

上天难欺

这块训诫石碑，乃是由二本松藩第五代藩主丹羽高宽于 1749 年下令树立的，意在告诫藩内武士要敬重二本松的百姓。丹羽高宽是一位具有改革精神的领袖，他邀请儒学学者岩井田昨非协助整顿和改善藩内治理，而这块训诫之石正是岩井田昨非的建议之一。彼时，通往此处的小径远低于现今的街道，巨石高耸，俯瞰着过往的藩官，显得格外庄重威严。

这四行箴言，节选自十世纪中国五代十国时期后蜀的末代皇帝孟昶在石碑上所刻的训诫文。孟昶的石碑为后世树立了范本，后来的几百年里，中国各地许多石碑的树立都有受其影响，而岩井田昨非对此深谙于心。

史料记载，这块训诫之石确实发挥了应有的作用，激励了藩内武士更加勤勉地工作，并对百姓表现出更多的尊重。然而，不久之后，在二本松的农民间却流传起一种谣言，认为这首诗倒过来读，是催促官员更严苛地压榨百姓、搜刮民脂民膏的指令。1749 年恰逢歉收之年，藩内爆发了大规模的农民起义。据记载，岩井田昨非亲自前往与农民对话，巧妙地解释了碑文的真正含义，其言辞感人至深，不少农民当场落泪，并最终宣布结束叛乱。

<繁体字>

訓誡之石

在霞城公園東端，即昔日武士進出城池的城門遺址上，矗立著一塊高 8 公尺的巨石。石頭上刻有四行箴言：

爾俸爾祿

民脂民膏

下民易虐

上天難欺

這塊訓誡石碑是二本松藩第五代藩主丹羽高寬於 1749 年下令樹立的，意在告誡藩內武士要愛惜二本松的百姓。丹羽高寬是一位具有改革精神的領袖，曾經邀請儒學學者岩井田昨非協助整頓和改善藩內的治理，這塊訓誡之石便是因為岩井田昨非的建議之一。由於當時這條道路比現在的道路還要低，這塊聳立在路過的藩士頭頂上的巨石，比現在更具存在感。

這四行箴言，節選自十世紀中國五代十國時期後蜀的末代皇帝孟昶在石碑上所刻的訓誡文。孟昶的石碑為後世樹立了典範，以至於後來的幾百年裡，中國各地許多石碑的樹立都受其影響，而岩井田昨非對此也了然於胸。

根據史料記載，這塊訓誡之石確實發揮了應有的作用，激勵了藩內武士更加勤勉工作，也更加尊重百姓。然而，不久之後，在二本松的農民之間卻流傳另一種說法，認為如果將這首詩倒過來讀，就變成了要更加驅使百姓勞動，並奪走他們所有財產的意思。1749 年恰逢歉收之年，二本松藩隨後爆發了嚴重的農民起義。根據紀錄，岩井田昨非親自去和叛亂者們對話，並出色地解釋了碑文的真正意圖，使得許多人流下了眼淚，並要求結束叛亂。

<日本語仮訳>

戒めの石

霞ヶ城公園の東端、武士が城内に出入りする際に通った門の跡地には、高さ 8 メートルの石が立っています。石には 4 行の戒めが刻まれています。

爾俸爾祿

民膏民脂

下民易虐
上天難欺

二本松の民を大切にせよという藩士に対するこの戒めの言葉は、1749年に二本松藩五代藩主丹羽高寛の命により石に刻まりました。高寛は藩の統治を正し、改善する方法について助言を求めるために儒学者の岩井田昨非を雇った改革志向の統治者であり、この石は昨非の提案の一つでした。当時のこの道は今の道路よりも低い位置にあったため、ここを通り過ぎる藩の役人にとっては頭上にそびえ立つこの石は今よりさらに存在感がありました。

この詩句は、10世紀中国五代十国時代後蜀王朝最後の皇帝、孟昶によって建てられた同様の石碑にある長い戒めから抜粋されたものです。孟昶の示した模範は、その後何世紀にもわたって中国全土に数多くの石碑が建てられるきっかけとなったことを、昨非は知っていたのでしょう。

記録によれば、この石は本来の目的を果たし、藩の武士が人々に一層の勤勉さと敬意を示すよう促したそうです。しかし、やがて二本松の農民たちの間で、この詩を逆から読むと、人々にもっと働かせ、持てるものを全て奪い取ろうという意図が込められているという噂が広まりました。1749年の収穫は不作で、二本松藩ではやがて本格的な農民の一揆が起こりました。記録によると、昨非は自ら反乱者たちに話しに行き、碑文の真の意図を見事に説明したため、多くの人が涙を流し、反乱の終結を求めたそうです。

【タイトル】 二本松城跡/二本松少年隊

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

二本松少年队

在二本松城本丸的西南角，有一幅青铜浮雕，刻画的是一群少年在一位年长者的指挥下，准备迎击即将来袭的敌人。这幅浮雕由当地雕塑家桥本高升于 1968 年为纪念“少年队”而创作，这支队伍的许多成员在 1868 年戊辰战争中，为了保卫二本松城而捐躯。

戊辰战争是西日本强大藩国联手对抗德川幕府的内战。从京都的鸟羽伏见之战开始，西日本联合军迅速向东推进。作为幕府的盟友的二本松深知战火即将蔓延至此。

战争期间，幕府为缓解兵力不足，开始招募年仅 15 岁的少年入伍。然而，二本松藩有一项传统，即在征募武士时将年龄加两岁。因此，实际情况是年仅 13 岁的孩子们也被编入了二本松的防卫部队。由于当时日本的年龄计算方式，一些士兵甚至还未满 12 岁。

这支由 13 至 17 岁少年组成的队伍，在 22 岁的火炮专家木村铨太郎的指挥下迎战。木村铨太郎曾在江户接受过军事训练，青铜浮雕就立在他曾训练这些年轻士兵的射击场上。

1868 年 7 月 29 日，西日本联合军进攻了二本松。联合军拥有 7000 名兵力，装备精良，训练有素。二本松的守军仅 1000 名士兵，其中包括 62 名少年队成员。许多少年被迫在缺乏盔甲的状态下战斗，据记载，有几个少年因刀身过长，无法独自拔刀，只能相互协助。

战斗在中午之前便告结束。二本松城化为火海，14 名少年队员以及数百名守军身亡。少年队的指挥官木村也未能幸免。

这场战役对二本松地区影响深远，以至于在随后的数十年里，少年队的故事很少被公开提及。直到 1918 年，在纪念戊辰战争 50 周年的活动中，一位名为水野好之的前少年队队员分发了一本自费出版的小册子，讲述了自己的经历。这激励了其他幸存者和家属站出来，提供证言和资料，帮助历史学家们逐步还原出这段历史。如今，在二本松城报馆中心的多

媒体展览中，展出了这一研究成果。

1996 年，桥本高升所创作的浮雕场景，通过箕轮门外建成的一组铜像得以再现。这组雕像是由桥本高升的儿子桥本坚太郎雕刻，其中还增设了一位母亲为儿子缝制战斗服的雕像，十分引人注目。

<繁体字>

二本松少年隊

二本松城本丸的西南方，矗立著一座青銅浮雕，描繪著一群在年長者的指揮下，準備迎戰來犯敵人的少年們。這座浮雕由當地雕刻家橋本高昇製作，是為了追悼在 1868 年戊辰戰爭期間，為了守護二本松城而犧牲的少年隊隊員們。

戊辰戰爭是發生在日本西部強藩為主的聯軍與德川幕府之間的內戰。戰爭從京都的鳥羽・伏見之戰開始，西軍勢如破竹地向東推進。作為幕府同盟的二本松，深知即將面臨戰鬥。

戰爭期間，幕府為了緩解兵力之不足，開始招募年僅 15 歲的少年入伍。然而，二本松藩有一項傳統，即在招募武士時將年齡加兩歲。因此，實際情況是年僅 13 歲的孩子也被編入了二本松的防衛部隊。由於當時日本的年齡計算方式，某些士兵甚至還未滿 12 歲。

這支由 13 至 17 歲的少年所組成的隊伍，在 22 歲的火炮專家木村銃太郎的指揮下迎戰。木村銃太郎曾在江戶接受過軍事訓練，青銅浮雕就立在他曾訓練這些年輕士兵的射擊場舊址上。

1868 年 7 月 29 日，西日本聯合軍進攻二本松。聯合軍擁有 7,000 名裝備精良，訓練有素的部隊。而防守二本松的兵力僅有 1,000 人，其中包括 62 名少年隊成員。許多少年被迫在沒有盔甲的情況下作戰，根據紀錄，由於刀刃過長，他們甚至無法獨自拔刀，因此有兩名少年一組，互相幫忙拔劍的情況。

戰鬥在中午之前便已結束。二本松城成了一片火海，包含 14 名少年隊員在內的數百名士兵陣亡。少年隊的指揮官木村也未能倖免於難。

這場戰役對二本松當地社會造成了極大的衝擊，以至於在之後的數十年裡，幾乎沒有人公

開談論少年隊。打破這片沉默的是在 1918 年，為了紀念戊辰戰爭結束 50 週年舉辦的活動上，前少年隊隊員水野好之發布了一本自費出版的小冊子，記錄了自己的親身經歷。這促使其他倖存者和家屬挺身而出，提供證詞和文件，讓歷史學家得以在事後整理這段歷史。在二本松城報館的多媒體展示中，便展示了這項研究的成果。

1996 年，橋本高昇所創作的浮雕場景，透過箕輪門外建成的一組銅像得以重現。這組雕像是由橋本高昇的兒子橋本堅太郎所雕刻，其中還增設了一位母親為兒子縫製戰鬥服的雕像，十分引人注目。

<日本語仮訳>

二本松少年隊

二本松城の本丸の南西には、年上の男性の指揮の下、迫りくる敵と戦う準備をしている少年たちの一団を描いた青銅製のレリーフが立っています。このレリーフは、1868 年の戊辰戦争中に二本松城が攻撃を受けた際、その多くが二本松城を守ろうとして命を落とした少年隊の追悼として、地元の彫刻家橋本高昇によって制作されました。

戊辰戦争は、西日本の有力諸藩を中心とする連合軍と徳川幕府との間で起こった内戦です。京都の鳥羽・伏見の戦いから始まり、西側同盟は瞬く間に東側に侵攻しました。幕府側の同盟である二本松は、近いうちに戦わなくてはならないことを知っていました。

戦争中、幕府は兵力不足を解消するために 15 歳以上の新兵を受け入れ始めました。しかし、二本松藩では古くから武士の入隊年齢に 2 年加算する慣例がありました。この規則が適用されたことにより、実際にはまだ 13 歳の子どもたちも二本松を守るために入隊することとなりました。当時の日本の年齢計算方法により、中には 12 回目の誕生日を迎えていない新兵もいました。

13 歳から 17 歳の少年で構成された新設の部隊は、江戸で学んだ 22 歳の大砲術専門家、木村銃太郎の指揮下に置かれました。青銅のレリーフは、彼が若い兵士たちを訓練した射撃場の場所に立っています。

1868 年 7 月 29 日、西日本連合軍が二本松を攻撃しました。西日本連合軍は最新の武器を持ち訓練を受けた 7,000 人の軍隊でした。二本松を防衛したのは少年隊の隊員 62 名を含むわずか 1,000 名の兵士でした。少年たちの多くは鎧を着けずに戦うことを余儀なくされ、記録によると、刀の刃が長すぎて各自が自分の刀を抜くことができなかったため、二人一組の少年が互いの剣を抜き合っていたといえます。

戦いは正午を迎える前に終わりました。二本松城には火が放たれ、少年隊の隊員 14 名と他の兵士数百名が死亡しました。木村は戦い中命を落としました。

このエピソードは二本松の地域社会にとって非常に衝撃的であったため、その後数十年間、少年隊について公に議論されることはほとんどありませんでした。この沈黙が破られたのは、1918 年の戊辰戦争終結 50 周年を記念するイベントにおいて、元少年隊隊員の水野好之が自らの体験を記した自費出版の小冊子を配布したときでした。これにより、他の生存者や家族が名乗り出て証言や文書を提供するようになり、歴史家が事後的に物語をまとめることが可能になりました。にほんまつ城報館のマルチメディア展示では、この研究の成果が紹介されています。

1996 年、橋本高昇のレリーフに描かれた場面が、箕輪門の外に建てられた銅像群を通じて再現されました。これらの像は高昇の息子である橋本堅太郎によって彫刻されましたが、この作品には息子に戦で着せるために大人の着物を直している母親が加えられていることが注目に値します。

【タイトル】 二本松城跡/二本松城の石垣

【想定媒体】 WEB

＜簡体字＞

二本松城的石垣

二本松城悠久的历史使其成为研究石垣墙建造技术的宝库。现存最古老的石垣建于 16 世纪 90 年代，采用“野面积”的技法，将形状各异、大小不一的天然石块像拼图一样拼接在一起。而在此之后，建造石垣则使用经过加工的石块，使得拼接更加紧密。

本丸的石垣

本丸的石垣墙最初建于 17 世纪初。东侧的石垣仅剩下半部分保存至今，这部分城墙曾长时间埋于地下，直到 1990 年才被发现。西侧的石墙则在二本松城的历史中始终屹立，但在 1868 年城堡被毁后，在某个时刻使用现代的技术进行了重建。1993 年，一项旨在运用传统技术重建本丸石墙的计划启动，并于 1995 年完工。

两层石垣

城中最古老的石垣位于本丸以北、天守台下。这堵墙从未倒塌或重建，至今仍保留着 16 世纪的原貌。

墙高约 7.5 米，分为上下两层。它建于 1590 年前后，运用了十年前琵琶湖畔安土城巨大石墙中使用的“野面积”技法，引领了日本城堡设计的革新。

大石墙

另一堵保存最完整且规模最大的石墙位于本丸以南。墙高 13 米，基底长 21 米，建于 16

世纪后期，是蒲生氏乡为强化原有土墙结构而建造的部分。这一工程采用了当时原建造者未掌握的新建造技术，旨在实现城堡的现代化。

箕轮门

箕轮门是丹羽光重在 1643 年接管城堡后，在首次城内改造工程中修建的。1868 年城堡被焚毁时，箕轮门也未能幸免，但在 1982 年得以重建。作为城堡的正门，箕轮门彰显了城堡的庄严。

大手门

大手门遗址位于霞城公园南侧，这道门连接着城堡和奥州街道，为二本松城增加了一道坚实的防御。在相当长的一段时期里，丹羽家族希望能获准建起这道门，然而德川幕府却不愿意批准加强城防的请求。

19 世纪初，一位名叫丹羽贵明的参谋提出了一个巧妙的办法。他先请求修建一道城墙，而非城门，随后又申请在墙上加建一座建筑物。这个策略成功了，大手门最终于 1832 年建成。目前大手门石墙的一部分仍然保留着，这种墙采用了“龟甲堆砌”的技法，将岩石切割成大致的六边形，使其如龟壳一般紧密拼合在一起。

<繁体字>

二本松城的石牆

擁有悠久歷史的二本松城是石牆建造技術的寶庫。現存最古老的石牆可追溯至 1590 年代，當時採用了名為「野面積」的技法建造，這種技法是將各種形狀和大小不一的天然石塊，像拼圖一樣組合在一起。後來的石牆則開始使用加工成均勻磚塊狀的石材。

本丸的石牆

本丸的石牆最初建於 17 世紀初。東側的石牆僅存埋在土中的下半部，直到 1990 年才被發現。西側的石牆大部分從一開始就暴露在外，但在 1868 年城池陷落後的某個時間點，使用

現代技術進行了重建。因此，1993 年啟動了一項使用傳統技術重建整個本丸石牆的工程，並於 1995 年竣工。

兩層石垣

城內最古老的石牆位於本丸正北方、天守台下方。它從未倒塌或重建，至今仍保留著 16 世紀的原貌。

這道石牆高約 7.5 公尺，明顯分為上下兩半。下半部約在 1590 年左右使用野面積技法建造；大約十年前，這種技法曾用於琵琶湖附近巨大的安土城城牆，並引發了日本城池設計的革命。

大石牆

現存最古老且最大的石牆之一，則矗立在本丸正南方。這道石牆高 13 公尺，底部長 21 公尺。它是蒲生氏鄉在 16 世紀後半期進行的城池現代化工程的一部分，旨在以石垣加固土造結構，當時使用了早期建築師無法取得的建築技術。

箕輪門

箕輪門是丹羽光重在 1643 年掌控城池後，首批土木工程計畫之一。它在 1868 年的城池大火中燒毀，但在 1982 年重建。箕輪門作為城池的正門，其設計旨在給予觀者深刻的印象，同時彰顯出城堡的莊嚴。

大手門

城池大手門的遺址位於霞城公園的南側。這座城門位於城池和奧州街道之間，強化了城池的防禦。丹羽家長期以來都希望能建造這座城門，但德川幕府對於批准建造額外的防禦設施則抱持消極的態度。

19 世紀初，一位老謀深算的家老——丹羽貴明想出了一個變通之計。他首先請求建造城牆的許可，然後再請求在城牆上增建建築物的許可。這個策略奏效了，大手門於 1832 年完工，現在仍然可以看到部分城門的石牆。採用「龜甲堆砌」的石砌工法，將岩石切割成近乎六邊

形，然後像烏龜的甲殼一樣緊密地拼合在一起。

<日本語仮訳>

二本松城の石垣

長い歴史を誇る二本松城は石垣技術の宝庫です。現存する最古の石垣は 1590 年代のもので、さまざまな形や大きさの自然石をジグソーパズルのように組み合わせる「野面積み」という技法を使って建てられました。その後の時代の石垣には、均等のレンガのような形に加工された石が使用されました。

本丸の石垣

本丸の石垣はもともと 17 世紀初頭に築かれたものです。東側の石垣は 1990 年に発見されるまで土の中に埋まっていた下部のみ残存しています。西側の石垣の多くは当初からずっと露出していましたが、1868 年に城が落とされた後いつかの時点で近代的な技術を使用して積み直されました。そのため、1993 年に本丸の石垣全体を伝統的な技術を使って復元する事業が始められました。この事業は 1995 年に完了しました。

二層の石垣

城内で最も古い石垣は、本丸のすぐ北、天守台の下にあります。一度も倒壊したり再建されたりしたことなく、16 世紀当時の姿をそのまま残しています。

この石垣の高さは約 7.5 メートルで、下半分と上半分にはっきりと分かれています。下半分は、野面積みという技法を使用して 1590 年頃に築かれました；この技法は、その 10 年ほど前に琵琶湖の近くの巨大な安土城の城壁に使用され、日本の城のデザインに革命を起こすきっかけとなりました。

大きな壁

現存する最古かつ最大の石垣のもう 1 つは、本丸のすぐ南に立っています。この石垣は高さ 13 メートル、底辺の長さは 21 メートルです。この石垣は、蒲生氏郷が手がけた、16 世紀後半に土造りの構造を石垣で補強するために、当初の建築家には利用できなかった建築技術を使用して城を近代化する事業の一環として築かれたものです。

箕輪門

箕輪門は、丹羽光重が 1643 年に城を掌握してから最初の土木建設計画の一環として建てられました。1868 年に城が燃えた際に焼失しましたが、1982 年に再建されました。箕輪門は城の正門と

して見るものにとって印象的なものになるよう作られていました。

大手門

城の大手門の跡地は、霞ヶ城公園の南側にあります。この門は城と奥州街道の間にあり、城の防御を強化していました。丹羽家は長い間この門を作りたいと望んでいましたが、徳川幕府はさらなる防御施設建設の許可を与えるのに消極的でした。

19 世紀、丹羽貴明という老獪な家老が回避策を考え出しました。彼はまず門の代わりに城壁を建てる許可を求め、次に城壁の上に建物を追加する許可を求めました。この策略は成功し、1832 年に大手門が完成しました。現在も門の石垣の一部が残っています。この石垣は、岩をほぼ六角形に切り、亀の甲羅のようにぴったりと合わせたものを組み合わせるため「亀甲積み崩し（turtle shell masonry）」と呼ばれる石積みの一例です。

【タイトル】 二本松城跡/本丸

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

二本松城本丸

在日本城堡中，本丸是核心区域，其四周被坚固的城墙所环绕，这样的设计是为了抵御最为猛烈的攻击。大多数城堡的本丸内，都会建一座用于瞭望的天守阁，以及其他用于生活起居、行政管理及储藏功能的建筑。一旦战事不利，守城将士便会退守本丸，进行最后的防御。若本丸被敌方攻破，也就意味着战斗的彻底失败。

丹羽家统治时期修建的二本松城本丸周围的石垣经过发掘和修复，已重现了城堡全盛时期的风貌。为增强防御能力，本丸建于高地，这里也因此成为一处绝佳的观景平台，向东可以俯瞰整个市区，向西则可远眺安达太良群山。

消失的天守阁

在二本松城本丸的北角，有一个高出地面的平台，被称作天守台。历史学家曾长期认为，建在这里的天守阁是在 1868 年城堡被焚毁时一同被毁的。然而，经过细致的考古调查后却发现，这里其实从未建造过任何建筑。

二本松城为何只有天守台而没有天守阁，至今仍是一个未解之谜。最为合理的解释，或许与政治因素有关。当城主具备建造天守阁的资金时，外界已经没有需要防御的军事威胁存在。德川幕府也不希望二本松藩借此增强军力，从而可能引发叛乱，因此未批准相关建设许可。

守卫城门

二本松城本丸的唯一入口是南门，如今这扇门已被修复至当初的样貌。与当时的大多数城

堡类似，这道门通向右侧的“曲轮”区域以及本丸前的第二道门。这样的设计旨在提升防御效果，防止试图突击的敌人长驱直入。同时，曲轮还可作为守城将士集结的据点，便于随时反击。

<日本語仮訳>

二本松城本丸

日本の城池中，本丸は城内最重要的区域，四周築有城牆，設計旨在確保萬無一失の防禦。在大多數の城池中，本丸除了聳立的瞭望塔「天守閣」之外，還設有作為居所、行政辦公場所和倉庫等用途の建築物。在戰事期間，當局勢不利時，本丸是防守方聚集進行最後抵抗的地方。一旦敵人攻破本丸，就意味著戰鬥的失敗。

現今，丹羽家時代環繞本丸の石牆已經過挖掘和復原，使人得以遙想城堡鼎盛時期的樣貌。由於本丸為了加強防禦而建在高地上，其遺址現在已成為一個觀景台，向東可眺望二本松市街景，向西則可飽覽安達太良連峰的全景。

消失的天守閣

二本松城本丸の北角有一塊地勢較高的廣場，被稱為「天守台」。歷史學家長久以來一直認為，矗立於此的天守閣在 1868 年の城池火災中被摧毀。然而，經過仔細的考古調查後，最終證實此處從未建造過天守閣。

二本松城明明有天守台，卻沒有天守閣，箇中原因仍不明朗，但最有可能的解釋是出於政治考量。當城主有足夠的資金在基座上建造天守閣時，已不存在需要防禦的威脅，因此德川幕府並未認為批准二本松城建造任何會增強其軍事能力、進而提高叛亂可能性的建築有任何益處。

守衛城門

二本松城本丸的唯一入口是南門，如今這扇門已被修復還原成當初的樣貌。與當時的大多數の城池一樣，城門朝向右側の「曲輪」以及本丸前方的第二道城門敞開。這種結構旨在阻礙試圖突擊的攻擊者，不僅提高了城門的防禦性，曲輪也成為防守方準備迎擊的便利據點。

<日本語仮訳>

二本松城本丸

日本の城の本丸は城の主要な場所であり、城壁に囲まれ、何が起こっても守られるように設計されています。ほとんどの城では、本丸には天守と呼ばれるそびえ立つ監視塔のほか、住居、行政スペース、倉庫などとして使用される建物が置かれていました。戦の際、劣勢になった時、本丸は防御側が最後の守りを固めるために集まった場所でした。敵が本丸を突破すれば戦いは負けに終わったのです。

丹羽家時代の本丸周囲の石垣が発掘・復元されており、城が最盛期の様子を偲ばせます。本丸は防御力を高めるために高台に置かれたため、現在、その跡地は東に二本松市街、西に安達太連峰のパノラマの景色を望む展望台となっています。

天守閣の不在

二本松城の本丸の北隅には、「天守台」と呼ばれる一段高くなった広場があります。歴史家たちは長い間、ここにあった天守閣は1868年に城が火災に遭ったときに破壊されたと考えていましたが、慎重な考古学調査の結果、最終的にこの場所には天守閣が作られたことがなかったことが明らかになりました。

なぜ二本松城には天守台があったにもかかわらず天守閣がなかったのかは不明ですが、最も可能性が高い理由は政治的な背景によるものです。城主が基礎の上に天守閣を建設する資金を持つようになった頃には、防御すべき脅威は存在しなかったため、徳川幕府としては二本松城が城の軍事能力を増強して反乱の可能性を高めるような建築許可を出すことに利点を見出さなかったのです。

門を守る

二本松城の本丸への唯一の入り口は南門でした。現在は当時の姿が復元されています。当時のほとんどの城と同様に、門は右方向にある曲輪と本丸の手前の二番目の門に向かって開きました。突撃しようとする攻撃者を妨害するこの構造により、門の防御性が向上したほか、曲輪は防御側が突撃の準備をする際の便利な拠点としても機能しました。

【タイトル】 二本松城跡/洗心亭

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

茶室洗心亭

洗心亭是一间茶室，位于二本松城内箕輪門西邊安靜的一角。洗心亭有三間用于接待和泡茶的房間，一個小廚房用于準備餐點，設有洗手間。洗心亭建于 17 世紀，是城內現存最古老的建築。

寧靜的避世之地到釣魚小屋

洗心亭現址位於霞城公園西邊的高地上。北側和東側的障子門一拉開，眼前便出現了一座傳統的日本庭園，園中小徑蜿蜒穿過樹木、池塘和花卉，隨著季節變化呈現出不同的花卉景觀。在花園的盡頭是洗心瀑布，水源來自於距二本松 18 公里的山間，通過二合田水道將水引至二本松。

“洗心”一詞字面意思為“洗滌心靈”，洗心亭及其周圍環境顯然是作為二本松城中的一個寧靜避世之地而設計的。它最初可能被稱為“墨繪御茶屋”，是城內諸多茶室中的一座。1837 年，洗心亭因倒塌被遷至附近的阿武隈川岸邊，用作大名的釣魚小屋。這也是洗心亭能够在 1868 年戊辰戰爭期間，城堡其他部分被焚毀時得以保存下來的原因。

洗心亭与前武士

戊辰戰爭後，老舊的小屋由前藩士中澤鼎進行了全面翻修。明治政府廢除藩制後，洗心亭被交給了由前武士和商人組成的金融社團“相生社”，並改名為“皆宜亭”。最終，在 1907 年，由同樣是前武士的山田脩將其遷回了二本松城內。山田脩還負責了城內短期運營的製絲工廠的建設。他以庭園的洗心瀑布為其重新命名為“洗心亭”並沿用至今。

如今，在櫻花祭、菊花展等活動期間的周末，洗心亭時有被當地茶道團體用作舉辦茶會及其他活動的場所。

＜繁體字＞

茶室「洗心亭」

洗心亭是一間茶室，位於箕輪門西邊不遠處，二本松城內一處安靜的角落。洗心亭裡有三間用於接待賓客或提供沏茶的房間、一間準備茶點的小廚房以及洗手間。洗心亭建於 17 世紀，是城內現存最古老的建築物。

從寧靜的隱居之所到釣魚小屋

如今，洗心亭矗立於霞城公園西側地勢稍高之處。打開朝北和朝東的紙拉門（障子），映入眼簾的是一座傳統的日式庭園，蜿蜒的小徑穿梭於樹木、池塘和隨著季節變換的花朵之間。花園的盡頭是洗心瀑布，瀑布的水源在距離二本松約 18 公里的山間，流經二合田水路而為二本松所用。

「洗心」一詞的字面意思為「洗滌心靈」，洗心亭及其周邊地區顯然被設計成城內一個寧靜的隱居之所。它最初可能被稱為「墨繪御茶屋」；這是城內眾多已知存在的茶室之一。1837 年，原本的建築倒塌後，洗心亭被搬遷到附近的阿武隈川河畔，用作藩主的釣魚小屋。這也是為何 1868 年戊辰戰爭摧毀了城堡的其他部分，它卻得以倖存的原因。

洗心亭與前武士

戊辰戰爭後，這座破舊的小屋由前藩士中澤鼎徹底翻修。隨著明治政府廢藩置縣，這座建築物落入由前武士和商人組成的金融協會「相生社」手中，並更名為「皆宜亭」。最終，在 1907 年，它由同樣是前武士的山田脩遷回了城堡內；山田脩也負責在城堡內曾短暫運營的繅絲廠的建設。此外，山田根據庭園內的洗心瀑布，將這座建築命名為現在的「洗心亭」。

如今，洗心亭偶爾也會在舉辦菊花祭和櫻花祭等活動的週末開放，用於舉辦當地茶道團體提供的茶道體驗等活動。

＜日本語仮訳＞

茶亭「洗心亭」

洗心亭は、箕輪門のすぐ西、二本松城敷地内の静かな一角にある茶亭です。おもてなしをしたりお茶を出したりするための部屋が3つ、準備用の小さな台所、手洗いがあります。洗心亭は、17世紀に作られた、城内に現存する最古の建物です。

静かな隠れ家から釣り小屋に

現在、洗心亭は霞ヶ城公園の西端の地面が一段高くなっている場所に立っています。北側と東側の障子を開けると、眼下に伝統的な日本庭園が現れ、木々や池、季節ごとに変化する花々の間を曲がりくねった小道が続きます。庭園の一番奥には洗心の滝があり、18キロメートル離れた山々から二本松に水を運ぶ二合田用水路から直接水が流れ込んでいます。

洗心という言葉は文字通り「心を清める」という意味で、洗心亭とその周辺は明白に城の敷地内の静かな隠れ家として設計されています。元々は「墨絵の御茶屋」（すみえのおちゃや）として知られていた可能性があります；これは城内に存在していたことが知られている多くの茶室の一つです。1837年、倒壊した洗心亭は近くの阿武隈川の岸に移築され、大名の釣り小屋として使用されました。戊辰戦争により1868年に城の残りの部分が焼失したにもかかわらず、洗心亭が残ったのはこのためです。

洗心亭と元武士

戊辰戦争後、老朽化した小屋は元藩士中沢鼎によって全面的に改修されました。明治政府によって藩制が廃止されると、この建物は元武士と商人の金融結社である相生社の手に渡し、「皆宜亭」と改名されました。最終的に、1907年に同じく元武士の山田脩によって、城跡の敷地内に移転されました；山田脩は、城跡内で一時操業していた製糸工場の建設も任されていました。また、山田は庭園内の洗心滝にちなんでこの建物を今の「洗心亭」と名づけました。。

現在、洗心亭は、菊まつりや桜まつりなどの行事が行われる週末には、地元の茶道団体によるお茶の提供などの活動に使用されることもあります。

地域番号	052	協議会名	村上市訪日外国人等受入協議会

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
052-001	村上の祭/村上大祭、瀬波大祭、岩船大祭	1360	パンフレット
052-002	村上城跡/遺構（石垣や櫓跡など）、歴史	780	パンフレット
052-003	大悲山 観音寺の即身仏「仏海上人」/大悲山 観音寺の即身仏「仏海上人」	570	パンフレット
052-004	村上の鮭文化/伝統的な鮭漁、多様な料理法	1170	パンフレット
052-005	村上の食文化/鮭、村上牛、岩ガキ、村上茶、日本酒、海の塩、赤かぶ	700	パンフレット
052-006	村上の武家住宅/若林家住宅ほか 4 棟	860	パンフレット
052-007	村上の町屋/村上の町屋建造物群、景観	610	パンフレット
052-008	笹川流れ/景観や奇岩怪石、白砂青松	430	パンフレット
052-009	瀬波温泉/瀬波温泉 開湯の歴史、噴湯公園、瀬波温泉海水浴場	350	パンフレット
052-010	村上の伝統工芸/村上堆朱、羽越しな布	740	パンフレット

【タイトル】 村上の祭/村上大祭、瀬波大祭、岩船大祭

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

村上市的节日

每逢村上市的传统节日，居民们都会聚集在一起。这些庆典活动既是拥有数百年历史的宗教仪式，也是家庭、朋友和邻里共同参与的活动，体现了该地区的自豪感和文化传统。

每年7月到10月期间，这座城市会举办三个庆典活动。每个庆典活动都有其独特的起源和意义，不过这些节日都有一个共同点，就是会看到很多人穿上用于庆典的色彩斑斓的宽外套“法披”，拉着高达5米、装饰精美的各种“御囃子”花车在街上游行喧闹。

村上大祭

村上市一年当中最隆重的活动是村上大祭。这场盛大的庆祝活动在7月6日和7日举行，其中最著名的活动是节日第二天的游行活动。来自西奈弥羽黑神社的神职人员带着三个象征神灵降临的神轿绕行旧城镇。他们后面跟着19辆两轮“御囃子”花车，它们代表着丰收、庆祝和对神明的敬意。每辆花车都代表着旧城镇的一个商业区，并由该社区居民组成的队伍拉动。

这个节日的起源可以追溯到1633年，当时西奈弥羽黑神社搬到了位于城镇边缘的现址。当时村上藩的领主是堀直寄（1577-1639），彼时他刚建了一座山顶城堡，神社位于这座城堡的下方，堀直依认为这座宅邸俯瞰神灵的住所是不吉利的，所以决定搬走神社。神职人员把神像通过神轿抬到新址时，镇上居民们紧紧相随，拉着从城堡借来的推车，用车上的鼓敲着鼓点。

村上大祭的亮点在于重现这场游行，其中，“御囃子”花车作为装载鼓推车的替代品，格外引人注目。所有19辆花车都有两层：下层是孩子们敲锣打鼓，上层放置着雕像或其他装饰品。大多数花车后面会跟着一群吹笛子的乐手，他们的曲调与鼓声和锣声的节奏旋律相得益彰。这种音乐叫做“囃子”取其谐音，所以这些花车叫做“御囃子”。

许多花车都装饰着金箔和漆成红色或黑色的雕刻品。一些“御囃子”花车的第二层，装饰着象征该花车所在社区的装饰物。比如鱼街鱼品交易区的花车，上面有渔民的守护神惠比寿骑在一条红色的鱼上的雕像。还有一些花车装饰着更为普遍的吉祥图案，比如神话人物或者著名宗教场所的微缩复制品。

庆典的第一天，这些花车会被拉至所在社区的街区进行排练。第二天一大早，这些花车就被拉到西奈弥羽黑神社，这里是游行的起点，游行大约在上午 8 点开始。游行队伍穿越城镇之后就停下来休息，而“御囃子”花车则停靠在鱼街街区的一条中心街道上。下午 6 点 30 分，队伍开始拉着装饰有传统灯笼的花车返回各自的社区，完成整个节日的庆祝活动。

除了节日期间，游客们还可以在村上乡土资料馆观赏到三辆类似的花车，这里还介绍村上大祭的历史背景。村上大祭已被指定为重要的非物质民俗文化财产。

瀨波大祭

瀨波大祭是位于同名海滨地区的瀨波神社的祭典，这里传统上是村上城的主要港口。这个节日旨在祈求该地区的繁荣，以及海上航运的顺利与平安。在五辆“御囃子”花车的跟随下，神轿和载着鼓的推车在街上游行。在瀨波神社供奉的众神里，有一位与神话中记载的航海事迹有关。因此，在祭典中还会出现祭神的船型花车。该节日于 9 月 3 日和 4 日举行。

岩船大祭

岩船这一港口小镇的居民通过在 10 月 18 日和 19 日举行的岩船大祭向神灵表达对今年渔获和丰收的感恩。主要由年轻人组成的队伍拉着九辆“御囃子”花车穿过小镇狭窄的街道。庆典快结束的时候，每个队伍都会暂时停下花车，随着鼓点的节奏合唱一首激昂的歌曲，向神灵致敬。这种歌曲被称为“木遣”，灵感来自于渔民们的劳动号子，体现了岩船的海洋精神。

<繁体字>

村上的祭典

除了祭典以外，沒有什麼更能讓村上的人們齊心團結了。這些祭典不只是流傳了幾世紀的

宗教儀式，更是能夠讓家族、親友和鄰居攜手舉辦活動，展現當地驕傲和傳承的舞台。

每年七月到十月之間，村上市內會舉辦共三場的祭典。雖然每場祭典都有其獨特起源及意義，但它們都有一個共通點：在這些祭典裡都會有穿著色彩繽紛的法被（日本祭典用的寬袖外套）的熱情民眾，拉著高達五公尺且裝飾精美的巨大屋台花車稱為「御囃子（oshiyagiri）」遊街。

村上大祭

村上大祭是一年之中最為盛大的活動。這個於每年七月六日到七日之間舉辦的大規模祭典，主要節目為祭典第二天在前城下町中的遊街。在西奈彌羽黑神社神職人員們扛著的三台神轎之後，還有十九輛二輪屋台花車「御囃子」跟著遊街。每個屋台花車都代表前城下町裡的各個商人自治區，由居住在該區的居民負責拉動。

這個祭典的起源最早可以追溯到 1633 年，當時的西奈彌羽黑神社被遷至城下町邊界，也就是現今位置。當時的村上藩主堀直奇（1577～1639）認為讓剛建成的山上城郭俯瞰神明的居所不吉利，因此遷移了神社。當時的神職人員們用神轎帶著神明前往牠們的新家，城裡的人們跟在其後，有些負責拉著從城裡借來的臺車，有些則持續打著被載在車上的太鼓。

而這個遊行的重現正是村上大祭的一大亮點，代替古時太鼓臺車的御囃子更是引人注目。這十九輛屋台花車全都是兩層構造，下層有孩童負責敲打太鼓和形成凹盤狀的鉦，上層則有象徵城中守護神的雕像等其他裝飾。大部分的屋台花車都有吹笛手為太鼓跟鉦的節奏錦上添花。而這些屋台花車就是因為這曲調稱作「囃子」而被稱為「御囃子」。

多數的屋台花車都有金箔和紅漆或黑漆雕刻裝飾。在某些御囃子上，第二層的裝飾主要象徵其代表的地區。其中一個例子就是肴町的屋台花車，上頭有漁夫守護神惠比壽像騎著紅魚的模樣。另外還有些裝飾著更為普遍的吉利象徵，比如神話生物或知名宗教地點的微縮模型等。

在祭典的第一天，可以看到民眾在代表地區中拉著屋台花車的練習模樣。第二天凌晨，屋台花車都會被移至西奈彌羽黑神社，早上八點出發遊街。遊行隊伍穿越市區後，會沿著肴町某條中央街道把御囃子停下來午休。晚上六點半之後，拉車手們會拉著點起燈光的御囃子回到各自的地區，為祭典畫下句點。

在祭典期間以外的日子，可以到負責介紹村上大祭歷史的御囃子會館欣賞其中三輛屋台花車的雄姿。這樣的村上大祭被指定為日本國內的重要無形民俗文化財。

瀬波大祭

瀬波大祭為西奈彌神社（位於村上城下町主要港口的同名濱海地區中）的祭典，主要祈求瀬波地區的繁榮，特別是祈求出海一帆風順。在祭典中有神轎和載著太鼓的屋台花車遊街，還跟著五輛御囃子。有些御囃子上會裝飾船狀的神聖裝飾，代表西奈彌神社所供奉之其中一尊神明的神話航海之旅。此祭典於每年的九月三日和四日進行。

岩船大祭

於每年十月十八和十九日舉辦的岩船大祭，是港都城鎮岩船的人們為了感謝神明賜予當年漁獲和豐收而舉辦的祭典。主要以年輕人組成的團體會拉著九輛御囃子，在城裡的狹窄街道中穿梭繞街。祭典接近尾聲時，各團體會暫時停下屋台花車，配合太鼓的節奏為神明演唱雄壯的歌曲。這些稱為「木遣」的歌曲以漁民捕魚收網時有節奏的呼聲為靈感，十足體現岩船的討海人之魂。

<日本語仮訳>

村上の祭

伝統的なお祭りほど、村上の人々をひとつにするものはない。何世紀もの歴史を持つ宗教的な儀式であると同時に、家族、友人、隣人たちが手を携えて地元の誇りと伝統を表現する光景を作り上げる場でもある。

市内では7月から10月にかけて3つの祭りが行われる。それぞれに異なる起源と意味があるが、印象的な特徴が共通している：高さ5メートルほど、精巧に装飾された「おしゃぎり」と呼ばれる山車が、色とりどりのハッピを着た熱狂的なグループによって通りを引き回されるのだ。

村上大祭

村上大祭は村上の一年で最大のイベントである。7月6日と7日に行われる盛大な祭典は、2日目に西奈彌羽黒神社の神職が3基の神輿を担いで旧城下町を練り歩くのがメインプログラムだ。神輿の後を追うように、19台の二輪の「おしゃぎり」と呼ばれる山車が練り歩く。それぞれの山車は旧城下町の伝統的な商人町を代表するもので、町の住民によって運行される。

祭りの起源は、西奈彌羽黒神社が城下町の端の現在の場所に移させられた1633年に遡る。村上

藩主の堀直奇（1577-1639）が、完成したばかりの山城の上から神々の住まいを見下ろすのは縁起が悪いとして移した。神職が神輿を担いで新しい神社に向かうと、町衆が城から借りた荷車を引き、車に乗せた太鼓を打ち鳴らしながら続いた。

この行列の再現が村上大祭のハイライトであり、太鼓を積んだ荷車の代わりにおしゃぎりが目を引く。19 台の山車はすべて 2 階建て。下層は子供たちが太鼓を叩いたり、深皿の形をした小さな鉦を叩いたりするのに使われ、上層には町の守り神を象徴する像やその他の飾りが取り付けられる。多くの山車には笛吹きが付き、太鼓や鉦のリズミカルな旋律を引き立てる。「しゃぎり」と呼ばれるこの囃子にちなんで、山車は「おしゃぎり」と呼ばれる。

多くの山車は金箔や赤や黒の漆塗りの彫刻で飾られている。また、2 階部分の飾りが山車の町を象徴しているものもある。その一例が肴町の山車で、漁師の守護神である恵比寿の像が赤い魚に乗っている。また、神話上の存在や有名な宗教的な場所のミニチュアなど、より一般的な縁起の良いモチーフを使ったものもある。

祭りの初日には、各町内を曳き廻すりハーサルのような光景が見られる。2 日目の早朝、山車は瀬波羽黒神社に移動され、午前 8 時頃に出発する。市街を巡行した後、昼の休憩をはさんで肴町地区の中央にある通りに駐車される。午後 6 時半から、提灯に照らされた山車を曳き手たちがそれぞれの地区へ引き返し、祭りは終了する。

祭りの日以外には、村上大祭の歴史を紹介するおしゃぎり会館で 3 台の山車を見ることができる。村上大祭は重要無形民俗文化財に指定されている。

瀬波大祭

瀬波大祭は、伝統的に村上城下町の主要港であった同名の海浜地区にある西奈彌神社の祭りである。瀬波地区の繁栄や海での幸運を祈願する祭りである。神輿や太鼓を載せた屋台が通りを練り歩き、その後に 5 台のおしゃぎりが続く。西奈彌神社に祀られている神々の一柱が神話に出てくる航海にちなんで、船の形をした神飾りが付けられている山車もある。祭りは 9 月 3 日と 4 日に行われる。

岩船大祭

10 月 18 日と 19 日に行われる岩船大祭は、岩船という港町の人々がその年の漁や収穫を神々に感謝する祭りである。若者を中心とした一団が 9 台のおしゃぎりを引き、町の狭い通りを練り歩く。祭りの終盤になると、各グループが山車を一時停止させ、太鼓のビートに合わせて勇壮な歌を披露して神々に語りかける。「木遣」と呼ばれるこの唄は、漁師たちが漁獲物を引き揚げるときのリズミカルな唄にヒントを得たもので、岩船の海洋精神を体現している。

【タイトル】 村上城跡/遺構（石垣や櫓跡など）、歴史

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

村上城

村上城如今仅剩石砌城墙、大门遗迹，以及位于村上市中心以东、135 米高的卧牛山山顶上的瞭望塔基石。江户时代（1603-1867）大名领主统治村上藩时，这座城堡屹立于此近 250 年，但却从未经历过战争的考验。

16 世纪初，由于家族之间的矛盾，当地的一个武士团体在卧牛山东坡建立起了哨所。防御工事主要由壕沟和土墙组成，并且充分利用陡峭斜坡作为防御阵地。

这些早期的防御工事在 17 世纪初废弃，彼时德川家族完成了日本的统一大业，并于江户（即现今的东京）构建起以将军为最高统帅的武士统治机构“幕府”。幕府委派信任的家臣担任诸如村上这种战略要地的大名领主。随着历代大名领主在卧牛山以西为麾下的武士修筑住宅，使得这座城镇得以逐渐扩展。在山的西端又修建了一座新的城堡，城堡设有高耸的城墙、石砌墙壁，以及一座三层木质瞭望塔，矗立在山顶平坦的地方。建造耗时超过 50 年。

大名领主居住在山脚下靠近城堡入口的庭院内，时而差遣武士前往山顶执行巡逻任务。由于江户时代是一个和平时代，城堡主要作为大名领主威信的象征，其重要性更多体现在声望上。一些残存下来的残垣断壁证明了这一点。这些墙壁表面完美光滑，大块石材精心切割并堆砌在一起，更多的是为了增添视觉上的美感，而非提供防御上的优势。

1667 年，一场由雷击引发的火灾摧毁了用于军事防御的瞭望塔，但城堡的其他部分在接下来的两个世纪里依然屹立不倒。在戊辰战争（1868 年—1869 年）期间，忠于旧幕府的军队和支持明治天皇的新政府军之间发生了战斗，村上的武士们放火烧了大名领主的宅邸，以防其落入正在逼近的新政府军手中。然而，城堡处并未发生战斗。1875 年，随着新政府在明治天皇（1852 年—1912 年）为元首的体制下着手开展国家的现代化建设，这座城堡被拆除了。

村上城遗址位于山顶，沿着有 9 个急转弯的斜坡徒步大约 15 分钟即可到达。从这里可以看到村上城镇、三面川和日本海。

<繁体字>

村上城

在村上市中心東邊，僅存石砌堡壘、大門殘跡以及瞭望塔地基石的村上城矗立於海拔 135 公尺的臥牛山頂。在江戶時代（1603 年～1867 年），當大名領主統治村上領地時，這座外城在城中聳立了近 250 年，但從未經過戰爭的考驗。

臥牛山最早於 1500 年代早期築城，當時武士之間的爭鬥，使得當地武士在山的東側斜坡上築城。這座山城主要由空壕及土城組成，並善用陡峭的山坡作為防禦位置。

1600 年代早期德川家統一日本，於江戶（現東京）。幕府（武士政權）方派遣值得信賴的家臣們成為各地的大名，負責治理村上藩等戰略要地。歷代被派遣的大名在臥牛山西邊建成家臣們的武士住宅，擴大了城下町（城郭周圍的城鎮）的範圍。而在臥牛山的西邊邊界則建起了新城郭，新建村上城擁有高聳堡壘和石造城牆，且備有位於扁平山頂上的三層樓高木造守望塔。建造工程花了 50 多年時間。

大名們居住在山腳下的住宅，鄰近城郭領地，偶爾才會派遣家臣們到山頂巡視。江戶時代是個相對和平的時代，城郭便作為大名的威信之源佔有重要地位。這個概念在現存的堡壘殘垣中可見一斑。當中堆砌成堡壘的巨石各個表面平滑，且被精心切割得整整齊齊，比起防禦的實用性更加重視美感。

城內的櫓（防禦或守望用的狹小空間）雖在 1667 年因落雷釀成的火災而燒毀，城郭的其他部分還是留存了長達兩世紀之久。在戊辰戰爭（1868～69 年）期間，幕府軍和支持大政奉還的新政府軍展開爭鬥，村上藩的武士們為了防止敵人進犯而放火燒了大名們的居所。然而，這場戰爭卻沒有波及到村上城，這座城反而是在明治天皇（1852～1912）為首的新政府開始進行現代化後，才於 1875 年被拆毀。

爬上有著九個急轉彎的坡道約十五分鐘即可到達村上城舊跡。從山頂一眼望去可將當時的

城下町、三面川以及日本海盡收眼底。

<日本語仮訳>

村上城跡

村上市中心部のすぐ東、標高 135 メートルの臥牛山の山頂付近には石垣や大きな門の跡、物見櫓の礎石が林立している。大名が村上藩を支配した江戸時代（1603 年～1867 年）、250 年近くにわたって村上の町にそびえ立っていた堂々たる城郭の跡である。しかし、戦いで試されることはなかった。

臥牛山が最初に要塞化されたのは 1500 年代前半のことで、武家の対立が地元の武士団を丘の東斜面に城を築かせた。この山城は主に空堀や土塁で構成され、急斜面をうまく利用した防御的なものだった。

初期の要塞は、徳川家が天下を統一し江戸に幕府を開いた 1600 年代初頭に放棄された。徳川は信頼できる家臣を派遣し、村上を含む要衝の地を統治させた。歴代の派遣大名は臥牛山の西に家臣の屋敷を構え、隣接する城下町を拡張した。山の西端には、高い石垣と城壁、扁平な山頂にそびえ立った木造 3 階建ての櫓を備えた城を築かせた。完成までに 50 年以上の歳月を要した。

大名たちは山麓の屋敷、城の敷地の入り口に近い場所で居住し、家来たちが時折山頂を見回る程度だった。江戸時代は太平の世であったため、城は主に大名の威信の源泉として重要であった。このことは現存する石垣のいくつかの部分に反映されている。その表面は完璧に平滑であり、防御的な利点よりもむしろ視覚的な面白さを加えるために、大きな石が丹念に切り出され、積み重ねられた。

落雷による火災で櫓は 1667 年に焼失したが、城の他の部分は 2 世紀にわたって存続した。戊辰戦争（1868～69 年）では、幕府軍と新政府軍の間で争われ、村上藩士は敵の進攻を防ぐために大名屋敷に火を放った。しかし、この城では戦闘は行われなかった。明治天皇（1852-1912）を元首とする新政府が近代化に乗り出した後、1875 年に解体された。

村上城跡は、急カーブが 9 回ある坂道を登って 15 分ほどで到着する。山頂からはかつての城下町や三面川、日本海が一望できる。

【タイトル】 大悲山 観音寺の即身仏「仏海上人」/大悲山 観音寺の即身仏「仏海上人」

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

大悲山观音寺和佛海上人

位于村上市中心的大悲山观音寺是日本最后一位即身佛（佛教木乃伊）佛海上人的安息之地。

佛海上人出生于 1828 年，原名近藤庄次郎。他自 16 岁起便出家修行，在位于村上市北方的山形县汤殿山一座真言宗寺庙里拜师学佛。汤殿山是真言宗密宗的一个分支中心，该宗派主张在今生修行成佛，无需等待轮回转世。按照真言宗的教义，希望成为即身佛的信徒，可以通过修行，在保持肉身状态下入定成佛，以在漫长岁月中等待未来大悟世界时弥勒菩萨现身。

成为即身佛的过程需要进行自我木乃伊化，这个过程可能长达十年。即身佛修行者会采用极其严格的饮食方式来清除体内容易腐烂的组织。他们摒弃谷物以及各类脂肪来源，仅依靠野生植物、叶片、树皮与根茎维系生命。为了尽量减少体内水分，他们只喝一种由漆树液制成的毒茶，这种茶会慢慢地覆盖着他们的内脏，起到防腐剂的作用。

修行者们觉得时机到来的时候，就会进入一个封闭的小石棺。修行者盘腿坐下，进入深度冥想状态，直到呼吸停止，心脏不再跳动。

佛海上人在 1903 年迈出了这最后一步，要求他的徒弟在三年后取出他的尸体。然而，他们未能如愿，因为日本政府 1868 年颁布的一项法律明令禁止擅自挖掘尸体。这项法律是阻止即身佛修行的诸多政策之一。因此佛海上人的尸体一直埋在地下，直到 1961 年才被一群研究人员挖掘出来。

佛海上人的尸体和埋葬他的石棺如今保存在大悲山观音寺。

<繁体字>

大悲山觀音與佛海上人

在村上市中心的大悲山觀音寺是日本最後的佛教木乃伊，即身成佛海上人的長眠之地。

佛海上人為近藤庄次郎，生於 1828 年。祂自 16 歲開始投入修行，成為山形縣湯殿山（位於村上北邊）一處真言宗寺院의弟子。湯殿山是真言密教其中一派的發展中心地，主要信奉以現世成佛為目標的修行。真言宗的教義預言彌勒菩薩會帶領人們到達遙遠未來中的開悟世界，成為即身佛的信眾可在等待的期間維持自身肉體。

要在現世成佛，必須經過長達十年的自我禪化過程。即身佛的修行志願者為了排除容易腐敗的身體組織，須進行極度嚴苛的飲食管理，不吃所有穀物和脂肪源的食物，只吃野生植物、葉子、樹皮以及植物的根，還要為了減少體內的水分而只飲用漆樹液製成的毒茶。茶裡的漆會逐漸包裹內臟，達成防腐劑的作用。

修行者們感覺時候到了之後，就會把自己裝進小石棺中，坐在蓮花座上進入冥想狀態，直到心臟停止跳動為止。

佛海上人在 1903 年踏出了這最後一步，要求弟子們在三年之後取出祂的大體。然而這卻因為 1868 年的「掘墓禁止令」明定挖掘遺體違法而無法達成，該法令正是為了防止即身佛修行的政策其中一環。這具木乃伊直到 1961 年都被埋在地下，因研究團體的挖掘才得以重見天日。

現今人們可以在大悲山觀音寺瞻仰佛海上人的大體和曾裝著祂的棺材。

<日本語仮訳>

大悲山觀音寺と仏海上人

村上市の中心部にある大悲山觀音寺は、日本最後の仏教ミイラ、即身仏である仏海上人の終焉の地である。

仏海上人は 1828 年に近藤庄次郎として生まれた。16 歳のときから修行に励み、村上の北に位置する山形県の湯殿山にある真言宗の寺院に弟子入りした。湯殿山は真言密教の一派の中心地であり、現世成仏を目指す修行を信奉している。真言宗の教義では、遠い未来に悟りの世界をもたらすと

予言されている弥勒菩薩の到来を待つ間、信者は自分の肉体を保持したまま仏になることができる。

現世での成仏は、10 年もかかると思われる自己ミイラ化によって達成される。即身成仏を志す者は、腐敗しやすい組織を取り除くため、穀物や脂肪源を一切摂らないという極めて厳しい食生活を送る。代わりに野生の植物、葉、樹皮、根を食べ、体内の水分を最小限に抑えるために漆の樹液から作られた毒茶だけを飲む。漆は徐々に内臓をコーティングし、防腐剤の役割を果たした。

修行者たちは時が来たと感じると、小さな石の棺に身を包んだ。蓮華座に座り、呼吸が止まり心臓の鼓動が止まるまで深い瞑想状態に入る。

仏海上人は 1903 年にこの最後の一步を踏み出し、3 年後に弟子たちに遺体を取り出すよう求めた。しかし、即身仏の修行を阻止する政策の一環として定められた 1868 年の「墳墓発掘禁止令」が死体の発掘を違法としたため、彼らは仏海上人を発掘できなかった。ミイラは 1961 年に研究者グループによって掘り出されるまで地中にあった。

仏海上人の遺体と納められた棺は、大悲山観音寺で見ることができる。

【タイトル】 村上の鮭文化/伝統的な鮭漁、多様な料理法

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

鲑鱼和村上市

来到村上游览的游客会以各种形式遇见鲑鱼。街道上充满了色彩斑斓的鲑鱼图案，许多餐馆提供各种各样的鲑鱼菜肴。更引人瞩目的是，城市各处的房屋和商铺的屋檐下都挂着一排排晾晒的大鲑鱼，这些是村上市拥有数百年历史的饮食文化遗产的象征。

鱼中翘楚

在史前民居遗址发现的鲑鱼牙齿表明，鲑鱼成为当地人的食物已有四千多年的历史。有记录显示，十世纪时，越后国（现今的新潟县）产的鲑鱼曾被进献给京都朝廷。十七世纪时，向鲑鱼渔民征收的税赋是村上藩的重要收入来源。另外，村上与鲑鱼的特殊渊源可以追溯到 18 世纪中期一位极具洞察力的武士。

白鲑鱼（*Oncorhynchus keta*，大马哈鱼），因其硕大的橙色鱼卵而闻名，是村上附近海域最为常见的鲑鱼种类。白鲑鱼于河流中诞生，随即开启迁徙征程，向着鄂霍次克海、北太平洋以及白令海进发，在这些海域历经大约四年的成熟过程，此后返回其出生之地进行单次产卵，继而走向生命的终结。在村上市，鲑鱼每年 10 月至 12 月期间会沿三面川洄游。首位洞悉这一洄游周期的人是青砥武平治（1713—1788），他在村上市建立了世界上首个鲑鱼孵化场。

武平治的职责是管理村上藩的河道，由于此前数十年的过度捕捞，该地从鲑鱼捕捞中获取的税收在 18 世纪初几乎枯竭殆尽。武平治意识到，保护河里正在产卵的鱼、鱼卵以及鱼苗，才能确保秋冬季节有数量稳定的成年鲑鱼洄游归来，于是，他在三面川主河道旁开凿了一条狭窄的河道。洄游归来的鲑鱼被引导至这条河道中产卵，鱼卵在这里可以安然保存至春季孵化，而捕鱼活动则被限制在主河道上进行。

武平治的努力使得鲑鱼种群得以恢复，村上藩得以繁荣昌盛。鲑鱼在当地饮食文化中占有重要地位，直至今日依然如此。

风干美味

村上的人们在节日或庆典、以及日常生活中都会食用鲑鱼。在该市一百多种鲑鱼烹制方法里，最著名的两种是“盐渍鲑鱼”和“酒浸鲑鱼”。这两种做法均需要将鱼悬挂于寒冷的冬日空气中进行风干。

年末捕获的鲑鱼洗净后涂上一层盐，静置约一周时间。之后将鱼洗净，吊起鱼尾，如此一来鱼看起来就不像在遭受绞刑。同样，鱼腹也没有完全切开，因为完全切开会让人联想到切腹，而切腹是一种由失势武士进行的仪式性自剖行为。

盐渍鲑鱼在经过两周左右的腌渍后就会被取下。烤制的盐渍鲑鱼肉质紧实、纹理细腻且风味淡雅。而“酒浸鲑鱼”的干燥过程则需要六到十二个月，风干的鲑鱼味道浓郁、质地如同肉干。食用酒浸鲑鱼时，将鱼切成薄片并加入清酒或味醂后食用。另外，发酵的鲑鱼内脏同样深受食客们的欢迎，这反映了当地不浪费鱼的任何身体部位的理念，他们还用鲜嫩的海带包裹鲑鱼，再放入酱油、清酒和糖进行煮制。

了解更多

村上市中心的鲑鱼博物馆展示了鲑鱼的生态及其在当地文化中的地位。游客还可以观察到活的鲑鱼和其他鱼类，其中部分鱼类就生活在青砥武平治所开凿的河道中，而这条河道如今仍作为孵化场在使用。

<繁体字>

村上與鮭魚

不管是街道上出現的多彩鮭魚繪畫，還是多間餐廳裡提供的各式鮭魚料理，只要漫步在村上，一定會以各種形式碰上鮭魚。而在街上民宅和商店屋簷下曬著風乾的一排排鮭魚，更是體現了這個傳承數世紀的飲食文化。

村上鮭魚的起源

從史前遺跡中發現的鮭魚牙齒推斷，鮭魚遠自四千年前就已是此地區飲食文化的一部分。於十世紀，紀錄顯示越後國（現在的新瀉縣）的鮭魚曾被進貢至京都的朝廷。在十七世紀，向捕鮭漁民徵收的稅金，則成了村上藩的重要收入來源。而村上 and 鮭魚的特殊緣份可

追溯至某位生存於 1700 中期的敏銳武士。

日本鮭魚（Chum salmon (*Oncorhynchus keta*)）以其巨大的橘色魚卵而廣為人知，屬於村上流域的主要鮭魚種。日本鮭魚生於河川，接著遷徙至鄂霍次克海、北太平洋、白令海中花費四年成長至成魚，死前則會回到故鄉進行一生中唯一的產卵。村上的鮭魚在每年十月至十二月溯上三面川。而第一位發現這個規律的人正是在村上建立了全世界第一座鮭魚孵化場的「青砥武平治（1713-1788）」。

1700 年代初期，村上的捕鮭稅收曾因數十年的濫捕而幾近枯竭，武平治就曾在這樣的狀況下負責管理村上藩的水路。他依靠洞察力了解到，只要保護在河川中的產卵魚、魚卵以及幼魚，就能讓成魚在秋冬時期歸來，穩固供魚數量，於是在三面川的主流旁挖出了一條狹窄的河道。洄游而上的鮭魚都被導向這裡產卵，產下的卵皆會在春天的孵化期到來之前受到保障，捕鮭範圍則受限於主要河川。

武平治的努力恢復了鮭魚資源，促成村上藩的繁榮。也讓鮭魚成為當地飲食文化的主角，直至今日。

風乾後的美味

村上的人們不管在季節性節日、喜慶場合還是日常之中都會吃鮭魚。在村上高達 100 種以上的鮭魚料理方式之中，鹽漬和泡酒為最具代表性的料理方式。兩者都需要讓鮭魚在冬季的寒風中風乾。

在下半年捕到的鮭魚會先被清洗乾淨，塗上鹽，再被放置醃漬約一週。在那之後醃漬過的魚會再度被洗淨，為了不被和絞刑聯想而從魚尾處被吊掛起來風乾。另外，為了不被聯想到切腹（失勢武士自行剖腹的自刎方式），也不會完全切開魚腹。

像這樣風乾兩週之後，鹽漬鮭魚就完成了。烤過的鹽漬鮭魚肉質柔軟，有著溫和順口的鹹味。而酒醃鮭魚的風乾過程則需花上半年至一年，把鮮味都鎖在魚肉裡，形成像肉乾一般有嚼勁的口感。可把酒醃鮭魚切成薄片沾著清酒或味醂食用。其他受歡迎的料理方式還包括讓鮭魚內臟發酵，反映出一點都不浪費的勤儉精神；另外人們還會把鮭魚包裹在柔軟的昆布中，配合醬油、清酒以及糖一起燉煮。

更加了解鮭魚

在村上市中心の鮭魚博物館「Iyoboya 會館」中，可參觀解說鮭魚生態和其在當地文化地位的展覽。遊客可以觀察活生生的鮭魚和其他魚種，而其中有一部分就是存活在當年青砥武平治所挖，現今作為孵化場所用的河道中。

<日本語仮訳>

村上の鮭文化

村上を散策していると、何らかの形で鮭に出会うことが必ずある。街角には色とりどりの鮭の絵が描かれ、数多くのレストランが様々な鮭料理を提供している。さらに目立つのは、街中の民家や商店の軒下に干された大きな鮭の列で、何世紀も前から続く食文化の伝統を象徴している。

魚の最たるもの

先史時代の住居跡から鮭の歯が発見されたことから、鮭は 4,000 年以上も前からこの地域の食生活の一部であったことがうかがえる。10 世紀には越後国（現在の新潟県）の鮭が京都の朝廷に献上されたという記録がある。17 世紀には鮭漁師に課される税金が村上藩の重要な収入源となっていた。しかし、村上と鮭の特別な関係は、1700 年代半ばに生きた、ある鋭敏な武士にさかのぼることができる。

シロザケ（*Oncorhynchus keta*）は、その大きなオレンジ色の卵でよく知られており、村上沖のサケの主流種である。シロザケは川で生まれ、オホーツク海、北太平洋、ベーリング海を 4 年ほど回遊して成熟し、死ぬ前に一度だけ産卵のために故郷に戻る。村上では、サケは毎年 10 月から 12 月にかけて三面川を遡上する。こうした事実を理解していたからこそ、青砥武平治（1713-1788）は村上に世界初のサケの孵化場を設立できたのである。

武平治は村上藩の水路管理を任されていた役人で、数十年にわたる乱獲により、1700 年代初頭にはサケ漁による税収がほとんど途絶えていた。川で産卵する魚や卵、稚魚を保護すれば、秋から冬にかけて戻ってくるサケの成魚の数を安定させることができるという洞察力を武器に、彼は三面川の本流の横に細い水路を掘らせた。遡上するサケはこの水路で産卵し、卵は春にふ化するまで安全に保管され、漁は本川に制限された。

武平治の努力によって鮭の資源は回復し、村上藩は繁栄した。鮭は地元の食文化の主役となり、今日に至っている。

干物の美味

村上の人々は季節の行事や祝い事、日常生活で鮭を食べる。村上には 100 種類以上の鮭の調理法があるが、「塩引き」と「酒びたし」はその代表的なものだ。どちらも冬の寒風に干す。

年の後半に獲れた鮭は、まずきれいに洗って塩を塗り、1 週間ほど寝かせる。その後、魚は洗われ、首吊りにされているように見えないように尾で吊るされる。また、切腹を連想させないよう、腹は完全に切り開かない。塩引き鮭は、このように 2 週間ほど熟成させる。塩引きの焼き鮭は赤身が多く、滑らかな舌触りと優しい香ばしさがある。

酒びたしは 6～12 ヶ月間乾燥させて保存し、身はジャーキー状になり、旨味が凝縮される。酒びたしは薄切りにして酒やみりんをかけて食べる。そのほか、魚の内臓を無駄にしないというこだわりから、鮭の内臓を発酵させたものや、鮭を柔らかい昆布で巻いて醤油、酒、砂糖で煮たものなども人気がある。

もっと詳しく

村上市中心部にある鮭の博物館「イヨボヤ会館」では、鮭の生態や地域文化における位置づけについて展示されている。生きた鮭や他の魚も見ることができ、青砥武平治が掘った、現在も孵化場として使われている水路も見学できる。

【タイトル】 村上の食文化/鮭、村上牛、岩ガキ、村上茶、日本酒、海の塩、赤かぶ

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

村上市的饮食文化

村上多样的地理环境在当地美食中得到了体现。鲑鱼来自三面川和日本海，日本海也是岩牡蛎的产地。内陆多山麓，茶园繁茂。在大海与朝日山脉之间，是一片郁郁葱葱的平原。这里，肉牛膘肥体壮，酿酒所用的稻米也长势喜人。

牛肉

村上牛肉，作为和牛家族中的一员，以其精美的纹理和嫩滑的口感而闻名。凡被认定为村上牛肉的肉，必须出自在村上或邻近的胎内市饲养的牛，并且在日本的五级质量评级体系中达到4级或5级。该地区有16个养牛场，共饲有约700头牛，这些牛食用优质稻草和干草。人们可以在寿喜烧、日式涮涮锅和日式烤肉等菜肴中品尝到村上牛肉。

清酒

村上有家清酒酿酒厂：一家是生产“大洋盛”的大洋酒厂，另一家是生产“缔张鹤”的宫尾酒厂。这两家酒厂都使用新潟种植的大米和从朝日山流下的纯净地下水酿造清酒，水流流动的过程去除了大量的钙和镁。这种软水酿造的清酒口感干爽清冽（辛口）。

茶

茶叶一般在温热湿润的气候中生长得最佳。然而，自17世纪20年代起，村上就拥有蓬勃发展的茶叶产业。据说，当时当地一位大名领主的家臣将茶树引入了该地区。尽管村上的冬季会飘起雪花，气温也会降至零度以下，但当地茶农却发现，少量的积雪实际上对茶树生长有益。因为它可以帮助茶树在冬季保持温暖，而且，据说它还能降低茶叶的涩味。不过，茶树无法在极寒地区存活。村上是日本最北端的大规模茶叶种植地区。

盐和牡蛎

鲑鱼并不是村上的唯一海产。此外还有产自笹川海岸的岩牡蛎和天然盐。笹川海岸是村上北部一段11公里长的海岸线。岩牡蛎在夏季最为肥美。每到冬春季节，牡蛎便以汇入冰

冷海水的山间溪流的丰富养分为食，个个肥硕饱满。富含矿物质的盐是在沿海的小工厂里通过熬煮浓缩海水制成的，全年供应。

＜繁体字＞

村上的飲食文化

從村上當地料理的食材中可見其地理多樣性。鮭魚從三面川和同時為岩牡蠣產地的日本海中捕獲。內陸的山坡地上茶田連綿，海洋與朝日連峰之間的翠綠平原則培育出肉牛和酒米。

牛肉

品牌和牛村上牛以細緻的雪花牛和柔軟口感為特徵。指定為村上牛肉的肉類，必須為從村上或鄰近的胎內市所飼養的牛，並在日本的牛肉五等級評分中獲得等級四或五的評等。養殖區域中共設有 16 座牧場，使用高品質稻草與乾草飼育約 700 頭村上牛。可在壽喜燒、火鍋及燒肉等料理中品嚐村上牛。

清酒

在村上市共有兩處酒窖。分別為釀造「大洋盛」的大洋釀酒廠以及釀造「×張鶴」的宮尾釀酒廠。兩所酒窖皆使用新潟縣產的酒米和朝日連峰中流竄的清澈地下水釀酒，途中會流失大部分的鈣和鎂含量。柔軟的水質成就有勁道又清新順喉的純淨清酒。

茶葉

茶葉往往在高溫又濕度高的氣候生長得最好。然而村上市依然從 1620 年代就已有活躍的產茶業，據說當年當地一位大名領主的家臣將茶葉引入此地。儘管冬天會降雪甚至氣溫達到冰點，村上的茶農也發現雪其實對茶葉有益，幫助茶株保暖且據說能減少苦澀味。不過茶葉無法在更寒冷的地區中生長，因此村上市為日本最北邊的商業規模產茶地。

鹽與牡蠣

村上的海中珍味可不只鮭魚。岩石牡蠣和天然鹽取自笹川流，該鎮以北 11 公里長的海岸線。在冬季和春季期間吸收流入冰冷海水的豐富山泉水養分滋養過後，牡蠣粒粒成長飽滿，於夏季迎來產季。富含礦物質的鹽則從沿岸小型工廠中蒸餾而來，全年皆可取得。

<日本語仮訳>

村上の食文化

村上の多様な地理は郷土料理の食材にも反映されている。鮭は三面川と日本海で漁獲され、日本海は岩牡蠣の産地でもある。海と朝日連峰に挟まれた緑豊かな平野部では肉牛が飼育され、酒米が栽培され、山麓には茶畑が広がっている。

牛肉

村上牛は、きめ細かな霜降りと柔らかさで知られるブランド和牛である。村上市、または隣接する胎内市で飼育され、牛肉の5段階品質評価で4、5等級に格付けされた牛の肉だけが村上牛に指定される。この地域には16の牧場があり、約700頭の牛が良質な稲わらと乾草を与えられている。村上牛はすき焼き、しゃぶしゃぶ、焼肉などで味わうことができる。

日本酒

村上には2つの酒蔵がある。「大洋盛」を醸す大洋酒造と、「メ張鶴」を醸す宮尾酒造だ。両蔵元とも、新潟県産の酒米と、朝日連峰から流れ出る清らかな地下水で酒を造っている。この軟水により、辛口でキレのあるクリアな酒が生まれる。

茶

お茶は適度な高温多湿の気候で最もよく育つ傾向がある。しかし、村上は1620年代から活気のある茶産業を擁しており、その背景には、地元の大名家臣の一人がこの地にお茶を持ち込んだと考えられている。村上のお茶の生産者は、冬に雪が降って氷点下になるにもかかわらず、少しの雪は実は有益であることに気づいた。冬に雪が積もると木が暖かくなり、渋みが抑えられるからだ。しかしこれ以上寒いと、木は生き残ることができない。村上は商業規模でお茶が栽培されている日本最北の地なのだ。

塩と牡蠣

村上の海の幸は鮭だけではない。天然塩と岩牡蠣は、市街地の北に広がる11キロの海岸線、笹川流れで採れる。牡蠣は冬から春にかけて、冷たい海に注ぐ溪流の豊富な栄養分を食べてふっくらと育ち、夏に旬を迎える。ミネラル豊富な塩は海岸沿いの小さな工場で海水を煮詰めて作られ、一年中手に入る。

【タイトル】 村上の武家住宅/若林家住宅ほか 4 棟

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

武士宅邸

17 世纪晚期，村上城的城镇里住着一千多名武士。尽管后来武士的数量有所减少，但在整个江户时代（1603 - 1867 年），为武士住宅预留的区域在城镇中占据了相当大的比例，如今村上仍留存着几处这样的房产遗址。

按照现代的说法，武士的住宅类似于公司宿舍。这些住宅是领主为其下属修建的，其中大部分人是名义上的武士，其实际职能与战斗无关。在相对和平的江户时代，中级武士常常承担诸如记录事务和监管当地产业等行政工作，他们中很多人还兼营维持生计的农耕或渔业。和普通城内百姓相比，这种中级武士大部分生活舒适，但也称不上富裕。

村上保留了五座为中级武士建造的房屋。其中，历史最悠久，最具盛名的就是建于 18 世纪晚期的**若林宅邸**。这座建筑距离城堡遗址有一段距离，位于江户时代村上武士区的外缘，居住在此的家族族长曾统领一队步兵。

这座茅草屋顶的房屋采用曲屋（“弯曲的房屋”）风格，呈 L 形布局，起居区和待客区划分明确。房屋的入口位于与起居室相连的土间（夯土地面）区域，客厅以地炉为中心。地炉里的火苗终年不熄，以此保持房屋温暖干燥。地炉旁边有一个通往阁楼的梯子，阁楼主要用于储物。起居区后是家庭成员的卧室和一间用来接待地位低于家主的客人的房间。

房屋的另一侧专供重要客人使用，主要是接待高级官员。这些访客会从走廊进入，走廊通向两间铺着榻榻米的房间。内室是主人用来招待客人的地方，这里有一个陈列各种装饰品的壁龛，光线透过滑动纸门照进来，还能看到旁边的花园景色。

这样的待客室体现了武士社会中等级制度和礼仪的重要性，在其他四座房屋中也能看到类似的设计。这些建筑都呈长方形，因为是提供给等级稍低的武士使用，所以要比若林家宅邸小一些。

其中三座房屋位于舞鹤公园内。**藤井宅邸**的历史可以追溯到 1850 年，这是一位中级武士的住所，其职责包括监督城镇的建筑工程。在这附近，建筑面积较小的**嵩冈宅邸**和**岩间宅邸**两所武士住宅更为简朴，几乎没有任何装饰细节。公园南面是**成田宅邸**，其建筑风格表明它可能是这五座房屋中建成最晚的。

若林宅邸被国家指定为重要文化财产，而其他四座建筑已被登记为村上市文化财产。

<繁体字>

武士宅邸

十七世紀後期，住在村上城下町的武士已超過 1,000 人。在那之後雖然武士的人口減少，經過江戶時代（1603 年～1867 年）的洗禮，武士住宅依然佔據城鎮中的主要比例。現今村上市依舊留存許多武士住宅。

若以現代用語解釋，武士宅邸為企業住宅的一種，為所屬藩的員工，也就是徒有其名的「武士」所建。在相對和平的江戶時代，中產階級的武士普遍負責行政工作，如管理紀錄並監督當地許多武士結合自給自足的農漁產業。大部分在這個階級的武士，尤其和一般市民對比之下一雖生活較為舒適，但絕不富裕。

現今的村上留有五棟中產階級武士的住宅。其中於十八世紀後期所建的**若林家住宅**歷史最悠久，也最引人注目。該棟住宅距離城郭遺跡有些遠，位於江戶時代武士住宅區的外緣，曾經住著負責指揮步兵團的家主。

這棟茅草屋頂的房屋以曲家形式建成，結構呈現 L 型，居家區域和迎客區域分明。房子的入口是客廳旁的土造地板區域(土間)，客廳的中心是一個圍爐。圍爐裏中總是燒有柴火，維持屋內溫暖乾燥。圍爐裏旁邊則置有梯子，通往主要當作置物間的閣樓。居家區域的對面為家族寢室以及為接待比屋主身分階級低的客人所用的房間。

房屋的另一側則專門用來接待重要的客人，主要是高級官員。座上賓們會從緣側進入房屋，來到一對榻榻米房間。在迎客用的最深處包廂中擁有展示裝飾品的壁龕、採光用的日式拉門，以及鄰近庭園的景色。

這樣的迎賓室展現武士社會的階級上下關係及其形式的重要性，在其他四棟武士住宅也可看見同樣的特色。這些建築都呈現長方形，比若林家小，供階級較低的武士居住。

其中三棟武士住宅位於舞鶴公園內。**藤井家住宅**建於 1850 年，曾住著負責監督城下町建築工程的中產階級武士。在其附近較小棟的**嵩岡家住宅**和**岩間家住宅**，則為更典型的簡樸武士住宅，幾乎沒有細部裝飾。公園的南邊則為**成田家住宅**，從該建築的特徵推斷，應為五棟房屋中屋齡最新。

若林家住宅被指定為日本的重要文化財，其他四棟則被登錄為村上市文化財。

<日本語仮訳>

武家住宅

17 世紀後半、村上の城下町には 1,000 人を超える武士が住んでいた。その後、武士の人口は減少したが、江戸時代（1603 年～1867 年）を通して、武家屋敷が町のかんりの部分を占めていた。現在でも村上にはわずかながら武家屋敷が残っている。

現代風に言えば、武家屋敷は社宅の一種である。藩は、その多くは名ばかりの「武士」だった「従業員」のために建てたものだ。比較的に平和な江戸時代、中級の武士は記録管理や地場産業の監督といった行政的な仕事を任されるのが普通で、多くの武士は自給自足の農業や漁業と組み合わせていた。このような身分の武士のほとんどは、特に一般の町民と比べると快適な生活を送っていたが、決して裕福ではなかった。

村上には中級武士のために建てられた 5 つの家が保存されている。その中で最も古く、注目に値するのが、18 世紀後半に建てられた**若林家住宅**である。城跡から少し離れた場所、江戸時代には武家地の外縁部に位置し、足輕を指揮する当主が住んでいた。

茅葺き屋根の家は曲家（まがりや）式で、L 字型をしており、居住スペースと応接スペースがはっきりと分かれている。居住者は囲炉裏を中心とした居間の脇の土間から入る。囲炉裏には常に火が焚かれ、家の中を暖かく乾燥させていた。囲炉裏の横には主に物置として使われていた屋根裏部屋へと続く梯子がある。居住スペースの向こうには家族の寝室と、世帯主よりも身分の低い客を迎えるための部屋がある。

家の反対側は、重要な客人（主に上級武士）専用だった。そのような来客は縁側から入り、畳敷き

の2つの部屋に通じている。主人が客人をもてなす奥の間には、装飾品を飾る床の間があり、光を取り入れる襖があり、隣接する庭を眺めることができる。

こうした応接室は武家社会における上下関係や格式の重要性を物語っており、他の4つの家にも見られる。これらの建物はいずれも長方形で、若林家よりも小さく、やや身分の低い武士に提供されたものである。

そのうちの3軒がまいづる公園に建っている。**旧藤井家住宅**は1850年に建てられたもので、城下町の工事を監督する中級役人の住まいだった。その近くにある、より小さな**旧嵩岡家住宅**と**旧岩間家住宅**は、より質素な武家屋敷の典型で、装飾的な細部はほとんどない。公園のすぐ南には**旧成田家住宅**があり、その建築的特徴から、5つの家屋の中で最も新しいものと思われる。

若林家住宅は国の重要文化財に指定され、他の4棟は村上市の文化財に登録されている。

【タイトル】 村上の町屋/村上の町屋建造物群、景観

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

町屋

在村上的中心街道两旁，随处可见传统的町屋。自江户时代（1603 - 1867 年）起，商人和工匠们便在此生活与工作。许多町屋至今仍作为商铺和私人住宅使用，有些还全年向游客开放。

狭长的建筑布局

典型的町屋是一种两层高的狭长建筑，正面狭窄，面向街道。这种布局的产生源于江户时期的税收制度，当时的房产税是根据房屋面向街道的宽度来计算的。从正门进入后，是一个商铺区域，分为作为玄关的土间和一个地板抬高的空间，店主通常会坐在这里。一条狭窄的土间走廊从商铺延伸，穿过整栋房子，经过生活区，最终通向后院。

在村上地区常见的町屋风格中，商铺后的第一个房间是客厅，家庭成员会围坐在地炉周围用餐。这个房间里还会放置家里供奉的神道和佛教佛龕，在一些房屋中，还会设有通往阁楼的楼梯。房屋的后部是卧室、浴室和储藏室。

町屋通常左右相互毗邻，因此侧面没有窗户。相反，町屋的天花板会较高，同时开有天窗，自然采光充沛，这种设置可以减少照明需求，从而降低火灾风险。

探访町屋

村上地区的大部分町屋都位于中央的町屋街沿线，自 2004 年以来，当地商店主和居民组成的协会一直致力于保护这些传统房屋，使其保持原貌。每年春季，这些建筑中有 50 多座建筑面向公众开放，届时会展示女儿节（又叫“雏祭”）娃娃，每年秋季，则会展示装饰性的折叠屏风。

其中包括一家鲑鱼店、一家糖果店、还有一家酒铺可以全年参观。附近还有黑墙街道，这是一条狭窄的街道，两旁排列着传统风格的黑色围栏，沿途还有几座寺庙。

＜繁体字＞

町屋

在村上市中心的大街上可見數棟過去江戶時代（1603～1867）商人或工匠們工作起居用的傳統町屋。現在多數房屋做為商店或私人住宅所用，有些則全年開放參觀。

長型建築

典型的町屋屬於兩層樓長形建築，面向街道的屋表面積較為狹小。這種建築形式是因為江戶時代的固定資產稅依據面向街道的房屋面積而定。走進前門即為以土間玄關和店主居坐的高地板空間所劃分而成的商店空間。走上狹窄的土間走道可從商店通往居家區域，一路經過客廳直達後院。

在村上最常見的町屋風格中，店鋪後面的第一個房間是客廳，讓家人們圍在圍爐裏邊一同用餐。客廳中置有神龕或佛壇，部分房屋也附有通往閣樓的樓梯。房屋的深處則為寢室、浴室還有儲物間。

町屋通常貼著鄰近建築建蓋，因此側面沒有窗戶。相對的，他們通常都有較高的天花板，且設有天窗讓自然光照射進來，這是為了降低火災危險、減少使用明火照明的策略。

町屋巡禮

自 2004 年以來，由村上當地的店主及居民組成的協會，致力於保存傳統町屋，並幫助恢復原本樣貌，形成集結村上大部分町屋的中央町屋大街。其中 50 多棟的町屋皆在每年春季和秋季開放參觀，春季展示一年一度的雛祭（人偶節）相關的玩偶展出，秋季則可以觀看裝飾折疊屏風（Byobu）。

也有全年開放參觀的町屋有鮭魚專賣店、糖果店或清酒商店。另外附近還有黑堀通，這條小巷中傳統黑色柵欄林立，路線經過數間寺院。

＜日本語仮訳＞

町屋

村上市中心部の通りには、江戸時代（1603-1867）から商人や職人が住み、働いてきた伝統的な町家が点在している。現在も多くの町家が店舗や個人住宅として使用されており、一部は年間を通して見学が可能だ。

長続きの物件

典型的な町家は2階建ての長い建物で、前面が狭く、通りに面している。これは江戸時代の固定資産税が間口の広さによって決められていたことに由来する。建物の前部分には土間の玄関と店主が座る高床スペースに分かれた店舗スペースがある。狭い土間の通路は店から家の中を通り、居間を抜けて裏庭へと続いている。

村上でよく見られる町家のスタイルで、店の向こうの最初の部屋は居間で、囲炉裏を囲んで家族が集まって食事をした。この部屋には神棚や仏壇が置かれ、多くの家では屋根裏部屋への階段もある。奥には寝室、浴室、物置がある。

町家は通常、隣り合って建てられているため、側面に窓はない。その代わりに、自然光を取り入れ、火災のリスクがある火を使った照明の必要性を減らすために、天窓のある高い天井が特徴であることが多い。

町家めぐり

村上のほとんどの町家は中心部の町家通りに面して並んでいる。2004年以来、地元の商店主や住民で構成される町家保存会が、伝統的な家屋を保存し、元の姿に戻す活動を行っている。50軒以上の町家は、春には雛人形が飾られ、秋には屏風が飾られ、これらの時期に一般公開されている。

鮭店や菓子店、酒店など一年中見学できる町屋もある。また、近くには「黒塀通り」があり、伝統的なスタイルの黒塀が立ち並び、いくつかの寺院を通り抜ける。

【タイトル】 笹川流れ/景観や奇岩怪石、白砂青松

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

笹川海岸

笹川海岸是村上北部一段 11 公里长的海岸线，夏季很受游泳者的欢迎。这里海水清澈，沙滩洁白，与当地崎岖的自然美景形成鲜明对比。这里的景观包括无数由山溪和小河流汇入的海湾和小港、海面上耸起的陡峭悬崖以及经海浪塑造成奇特形状的尖岩。许多地方的露出地面的岩石上覆盖着低矮的松树及灌木，它们在不断吹拂的海风中吹弯成了怪异的形状。

沿着蜿蜒的 345 国道沿海岸线开车行驶是全面领略这片海岸线风光的好方法。另一种选择是从桑川港乘坐 40 分钟的观光游轮，在 4 月至 10 月期间，海面相对平静，每天有九次游轮从那里出发。（需注意，游轮有时会因强风而被取消。）

冬季带来频繁的暴风雨和汹涌的海浪，而海湾有时则会填满海浪泡沫。当含有高浓度有机物（如浮游生物或溶解藻类）的冷海水猛烈撞击岩石时，就会发生这种现象。

在美食方面，笹川海岸沿岸生长的岩牡蛎非常有名。冬春时节，牡蛎以溪涧流入海中的富营养水为食，日渐肥美。另一地方特产是天然盐，由小工坊通过熬煮海水提炼而成。在海边的制盐工坊里，人们能够目睹这一传统工艺。

<繁体字>

笹川海岸

笹川流為位於村上市中心北邊的 11 公里長海岸線，在夏季總是充滿泳客。由無數流入海中的山泉溪流、自海中矗立的懸崖峭壁、海蝕而成的尖銳岩石交織出的粗獷自然美景，與其清澈海水和潔白沙灘形成強烈對比。於多處還可見到被海風持續吹拂形成奇異形狀的松樹及草叢等植物覆蓋地表。

駛上沿著海岸線蜿蜒的國道 345 號是個能夠一覽此處風景的好方法。另外，您也可以在海象較為平穩的四月至十月搭乘從桑川港出發的觀光船，該船一天約有九個班次，每趟航程約 40 分鐘（請注意部分航班可能因為強風取消）。

因冬天常有暴風雨和大浪，當含有高濃度有機物質，例如浮游生物或溶解藻類的冷海水猛烈撞擊岩石時，就會有此現象。

在飲食方面，笹川流也因盛產岩牡蠣而聞名。沿岸的岩牡蠣經過冬季和春季吸收入海水的豐富養分滋養，粒粒成長飽滿。該地另一特產為在小工廠中蒸餾海水而成的天然鹽。遊客可到海岸的工坊見習傳統製鹽過程。

<日本語仮訳>

笹川流れ

笹川流れは村上市の中心部から北に 11 キロにわたって続く海岸線で、夏には海水浴客で賑わう。澄んだ水と白い砂浜が、荒々しい自然美と対照をなしている。溪流や小川が流れ込む無数の入り江、海からそそり立つ断崖絶壁、波によって形作られたトゲトゲした岩が織り成す風景だ。絶え間なく吹きつける海風によって奇妙な形に曲げられた松などの植物が、露頭を覆っている場所も多い。

海岸線に沿って続く曲がりくねった国道 345 号線をドライブするのはこの風景の概要を知る良い方法だ。また、比較的海が穏やかな 4 月から 10 月にかけては、桑川港から 1 日 9 便、約 40 分の遊覧船に乗ることもできる（強風のため欠航する場合もあるので注意）。

冬は暴風雨と荒波が頻発し、プランクトンや溶けた藻類などの有機物を多く含む冷たい海水が岩に激しくぶつかることによって起こる現象で、入り江がクリーム色の「波の花」で満たされることもある。

食の面では、笹川流れは岩牡蠣の名産地として知られている。岩牡蠣は冬から春にかけて、小川が海に放出する栄養豊富な水を食べて、海岸沿いでふっくらと育つ。もうひとつの特産品は海水を小さな工場で煮詰めて作られる天然塩だ。塩の工房ではその伝統的な製法を見学することができる。

【タイトル】 瀬波温泉/瀬波温泉
開湯の歴史、噴湯公園、瀬波温泉海水浴場
【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

瀬波温泉

位于村上市中心以西、日本海沿岸的瀬波温泉度假区，将温泉浴、辽阔的海景与夏日热闹的海滩完美融合。该地区有 12 家温泉酒店和旅馆，其中许多面朝大海，其余则位于沿街而建的商店和餐馆周围。

一条小路从主街通往喷泉公园，这里有一个观景台，从这里可以看到 95 摄氏度的温泉水从地下深处涌出，形成一股浓厚的蒸汽柱。这口井的温泉水被输送到瀬波温泉的各个浴场。

自 1904 年以来，富含氯化钙和铁的热热水开始从现在的喷泉公园的地下涌出，当时勘探者在该地区钻探石油时遇到了一个温泉。这一发现促成了瀬波温泉的开设，并因其美丽的海滨位置而闻名。

瀬波温泉的很多水疗中心都白天营业，游客可以在三个足浴区免费享受温泉。游客们还可以自己制作温泉鸡蛋，这是一种在当地很受欢迎的小吃。游客可以在主街的游客中心购买鸡蛋，然后在喷泉公园的专用容器中煮制。

<繁体字>

瀬波温泉

面向日本海的瀬波温泉位於村上市中心以西，同時擁有溫泉浴和廣闊海景，在夏季還擁有熱鬧的海邊活動。此處約 12 間的溫泉旅館及民宿多數皆面朝日本海，其餘則林立於商店和餐廳周圍。

主要幹道一歩の岔路通往噴湯公園展望台，可看見因攝氏 95 度溫泉從地下深處湧出地表而形成的濃厚白煙裊裊升起。此處水井中湧出的溫泉皆會被分配到瀨波溫泉的各個泡湯設施。

1904 年，採石油人員於現今的噴湯公園鑽地發現溫泉，自此之後富含氯化鈣和鐵質的溫泉便從其地下湧出。此次意外為瀨波溫泉的發展掀起序幕，使其成為風光明媚的知名海邊溫泉地。

許多瀨波溫泉的溫泉旅館都有接待不留宿的泡湯客，該地區一帶的三處足湯還供遊客免費享受溫泉。其中在瀨波溫泉最受歡迎的點心為溫泉蛋。遊客可自行至主要街道沿路的遊客中心購買雞蛋，接著帶到噴湯公園使用專用容器煮熟。

<日本語仮訳>

瀨波温泉

日本海に面した瀨波温泉は村上市中心部の西に位置し、温泉と広大なオーシャンビュー、そして夏には賑やかなビーチシーンを併せ持つ。瀨波温泉には 12 軒の温泉ホテルや旅館があり、その多くが海に面している。その他のホテルや旅館はショップやレストランが立ち並ぶ通りの周辺にある。

このメインストリートから脇道を登っていくと、地下深くから（摂氏）95 度の湯が地表に流れ込み、太い湯けむりが立ち昇る展望台、噴湯公園がある。この井戸から湧き出た湯が瀨波温泉各地の入浴施設に配湯されている。

現在の噴湯公園では、1904 年に石油を掘削していた探鉱者たちが温泉を発見して以来、塩化カルシウムや鉄分を豊富に含んだ湯が地中から湧き出ている。この発見が開湯につながり、瀨波温泉が風光明媚な海辺の温泉地として有名になった。

瀨波温泉の温泉宿の多くは日帰り入浴を受け入れており、温泉は瀨波温泉一帯にある 3 つの足湯で無料で楽しむこともできる。瀨波温泉で人気のおやつは温泉卵。メインストリート沿いのインフォメーションセンターで卵を購入し、噴湯公園にある専用の容器で自分でゆでることができる。

【タイトル】 村上の伝統工芸/村上堆朱、羽越しな布

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

传统工艺

村上地区特有的两类传统工艺品，鲜明地反映了当地历史完全不同的两个侧面。

一个是**村上木雕堆朱**（*kibori tsuishu*），以其精细的工艺和深红色调而闻名。这种漆器反映了村上作为一个城镇的历史，那里曾是大名领主管辖的手工业中心。在江户时期（1603-1867），村上武士在江户（今天的东京）驻扎时学习了木雕技艺，随后将这些技艺带回村上，此后村上地区便以生产天然漆器著称。由此，形成了一个专业的工匠群体，他们为高级武士、僧侣和富商制作盘子、花瓶和家具等装饰物品。

木工首先会将一块非常坚固的大叶木兰（honoki）或七叶树（tochi）木材在车床上成型，然后将其交给雕刻师，雕刻师进一步雕刻并刻上装饰图案。雕刻师会在作品上涂上几层天然漆，再用混合了木炭、砥石粉和水的浆料，用马鬃刷涂抹，使其表面的自然光泽转换为哑光效果。然后，雕刻师们会在作品上雕刻其他细节，再用一层透明漆来封层完成这件作品。现代工匠仍在沿用这种精雕细琢的工艺，这些物件随着时光的流逝，哑光表面不断磨损，逐渐恢复漆器特有的光泽。

虽然村上的漆雕起源于装饰性物品，但当地的工匠如今在制作杯子、筷子、汤碗以及其他日常用品时，也使用相同的技法。

另一个是**羽越楸树皮布**，其诞生背景与武士阶层所代表的优雅格调完全不同。自史前时代以来，在羽越地区（即现在的新潟北部、山形县和秋田县南部）的偏远村庄里，人们就开始用楸树的内皮（内层树皮纤维）制作布料。每到6月和7月初的雨季，人们会从树上取下韧皮。然后将其放在碱液中煮，并浸泡在米糠中软化纤维，接着在秋天的空气中干燥，之后抽出线，织成织物。

楸树皮布传统上被用来制作衣服和布袋，人们用这些布袋从森林里装坚果和浆果回来。如

今，工匠们将这种材料制作成各种各样的时尚配饰，包括铅笔盒、名片盒、钱包和帽子等。

＜繁体字＞

傳統工藝

兩種村上的獨特傳統工藝品，各自代表其對比性的當地歷史。

村上木雕堆朱以精密的細緻雕刻和深紅配色為特徵，讓人憶起受藩主大名庇護的工匠們所在的城下町歷史。江戶時代（1603 年～1867 年）期間，村上藩的武士將在江戶（現東京）時習得木雕技術知識傳回生產天然漆的村上，該地區因生產天然漆器而聞名。結果讓工匠們都紛紛轉而替上流階級武士、僧侶及富商製作盤子、花瓶以及家具等裝飾品。

木匠會先使用車床為耐久性高的大葉木蘭（honoki）或日本七葉樹基礎打磨塑型，接著再交給雕刻工匠進一步塑型並雕刻裝飾花紋。再來漆器工匠會在上頭刷上數層的漆，使用在木炭、磨刀石粉以及水混合而成的液體中浸泡過的馬毛刷把表層磨成霧面，去除漆的自然光澤。之後，雕刻工匠會再進一步雕刻細節，塗上一層透明漆收尾完成。這個繁雜的製作過程依然傳承到現代，讓曾經霧面的容器表面在經過長時間耗損後漸漸重新擁有上漆特有的光澤。

雖然村上木雕堆朱起源於裝飾品，但現在當地工匠也會使用相同技法製作茶杯、筷子、湯碗等日常餐具。

另一方面，**羽越楮布**的發源則與武士社會的優雅無緣。自從史前時代，羽越地區（現在的新瀉縣北部、山形縣、秋田縣南部）邊境的村莊就已使用楮樹的韌皮纖維（樹皮內側纖維）織布。該處村民會在雨季的六月和七月上旬採取楮樹的韌皮纖維。接著放進灰水熬煮，再浸泡於米糠軟化纖維，最後放置在秋天的空氣中風乾，手工提取絲線織布。

傳統上，楮布常用於製作衣服還有人們從森林採回堅果或果實用的粗糙袋子。現今工匠們會使用此素材製作筆袋、名片夾、錢包、帽子等時尚小物。

＜日本語仮訳＞

伝統工芸

村上の特徴的な 2 つの伝統工芸品は、対照的な郷土の歴史を表している。

緻密な細工と深紅の色合いが特徴の**村上木彫堆朱**は、藩主の庇護を受けながら職人たちが働いていた城下町・村上の歴史を思い出させる。江戸時代（1603 年～1867 年）、村上藩士たちは江戸で学んだ木彫りの技術を天然漆の産地である本藩に伝えた。その結果、専門職人が段階を踏んで、上級武士や僧侶、豪商のために皿や花器、調度品などの装飾品を制作する伝統が生まれた。

木地師はまず、耐久性の高い朴の木や枡の木を成形し、彫師へと渡す。彫師はさらに成形し、装飾的な文様を彫り込むこともある。その後、漆職人が何層にも漆を塗り重ねる。そして、木炭、砥石の粉、水を混ぜたものに浸した馬毛のブラシで、漆の自然な光沢を艶消しに磨き上げる。その後、彫師はさらに細部を彫り、品物は透明な漆を一枚塗って仕上がる。この手間のかかる工程は現在でも職人たちに受け継がれ、長持ちする、艶消しの表面が摩耗するにつれて漆特有の光沢が少しずつ戻る製品になる。

村上木彫堆朱は装飾品に端を発するが、現在ではコップや箸、汁椀など日常使いの器にもその技術が地元の職人たちによって生かされている。

一方、**羽越しな布**は、武家社会の優雅さとはかけ離れた環境で生まれた。有史以前から羽越地方（現在の新潟県北部、山形県、秋田県南部）の辺境の村々では、シナノキの韌皮（樹皮の内側の繊維）から布を作っていた。村人たちは 6 月から 7 月初旬の梅雨の時期にシナノキの木から繊維を取り出した。その後、灰汁で煮て米ぬかに浸して繊維を柔らかくし、秋の空気の中で乾燥させた後、手で糸を引き出して布に織り上げる。

しな布は伝統的に衣服や、人々が森から木の実やベリーを持ち帰るための粗い袋に使われていた。現在では、職人たちがこの素材をペンケースや名刺入れ、財布、帽子など、さまざまなおしゃれな小物に仕立てている。

地域番号	053	協議会名	沼田市

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
053-001	沼田とは/沼田とは	800	WEB
053-002	迦葉山龍華院 弥勒寺/迦葉山龍華院 弥勒寺	815	WEB
053-003	迦葉山龍華院 弥勒寺/天狗信仰	640	WEB
053-004	たんばら ラベンダーパーク/たんばら ラベンダーパーク	420	WEB
053-005	玉原高原/玉原高原	600	WEB
053-006	旧生方家住宅/旧生方家住宅	670	WEB
053-007	沼田公園/沼田公園	1110	WEB
053-008	旧沼田貯蓄銀行/	400	WEB
053-009	旧土岐家住宅洋館/	550	WEB
053-010	旧日本基督教団 沼田教会記念会堂/	360	WEB
053-011	旧久米家住宅洋館/	520	WEB
053-012	街なか天狗プラザ/街なか天狗プラザ	290	WEB
053-013	吹割溪谷/吹割溪谷	475	WEB
053-014	大蛇みこし/大蛇みこし	630	WEB
053-015	老神温泉/老神温泉	300	WEB
053-016	南郷の曲屋（旧鈴木家住宅）/南郷の曲屋（旧鈴木家住宅）	575	WEB
053-017	南郷の曲屋（旧鈴木家住宅）/体験メニュー	595	WEB
053-018	沼田のフルーツ/沼田のフルーツ	380	WEB

【タイトル】 沼田とは/沼田とは

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

欢迎来到沼田市

沼田市是一座历史底蕴深厚、自然资源丰富的城市。这座城市坐落在群馬县北部山区，从东京乘坐火车大约需要两个小时。

沼田市起源于中世纪的城堡小镇，位于三条河流形成的阶地之上。自 16 世纪以来，位于战略要地的沼田城曾在战争中多次易手，各大家族为了争夺这一重要据点不断发生激烈冲突。进入相对和平的江户时期（1603-1867）之后，沼田城的地位有所下降，不过这座城镇通过发展农业、林业以及 19 世纪后半期大力开发的养蚕而逐渐走向繁荣。了解沼田历史的好地方有：**沼田公园**，这里曾是沼田城的旧址；也可以走访**迦叶山弥勒寺**，这是一座坐落于山腰、供奉当地守护神的寺庙；还可以去城镇中心的**大正浪漫区**漫步，这里的历史建筑诉说着大正时期（日本年号，指 1912~1926 年）沼田城走向繁荣的黄金岁月。

除了市区，沼田的郊外还有**玉原高原**、**吹割峡谷**以及很多**果园**等，会让游客感受到这座城市的大自然魅力。冬季来临时，玉原滑雪场的滑雪坡道对外开放，北部的田村地区随即成为雪上运动炙手可热的目的地。炎炎夏日，高地的徒步小径是绝佳避暑胜地。冬季的滑雪场，此时已被紫色花朵覆盖，摇身一变，成了如诗如画的**玉原薰衣草公园**。许多徒步爱好者也会前往吹割峡谷，沿着片品川两岸林木繁茂的河岸漫步，欣赏瀑布和湍急的漩涡。秋季一到，吹割峡谷尤为美丽。岸边的树叶随着季节的更迭，逐渐变幻出红、橙、黄等缤纷色彩。秋天也是沼田的苹果季：在当地，数十个果园硕果累累，游客不仅能尽情体验采摘苹果的乐趣，还能购买到诸如果酱、果汁等各类美味的苹果制品。

每年八月的**沼田祭**与五月的大**蛇祭**生动且充分地展现了这座城市的历史底蕴、民俗文化，以及凝聚其中的社区精神。一座始建于 18 世纪，后经改建的农舍 — **南乡曲屋**，全年都向游客敞开体验传统习俗与工艺的大门。在这里，游客可以参与丰富多样的体验活动，深度体验乡村生活：从零开始制作荞麦面，用柴火炉灶烤制馅饼（用面粉包裹时令蔬菜 and 水果，摊成饼放到火上煎烤），亲手制作草鞋等等。

＜繁体字＞

歡迎來到沼田

沼田市是個充滿自然和歷史風情的城市。位於群馬縣北部的山部地區，從東京搭乘電車約兩小時即可到達。

沼田從建於三條河川所形成之梯地的中世紀城鎮中發展而來。十六世紀，不少武士家族為了獲得權勢發起爭鬥，使位於戰略要地的沼田城多次易主。而在比較和平的江戶時代（1603～1867）中，爭奪城主變得不再那麼重要，城鎮也因農業、林業以及始於十九世紀後半的養蠶業繁榮起來。人們可以前往擁有沼田城遺跡的沼田公園、供奉著此地區守護神的山中寺廟迦葉山彌勒寺，以及在城鎮中心林立著二十世紀初建築的大正（日本大正天皇在位期間使用的年號，1912 年～1926 年）浪漫區域接觸沼田的歷史。

除了沼田市的中心區域之外，遊客還可以到玉原高原、吹割溪谷以及多座果園體驗沼田市的自然魅力。到了冬季，位於北部的玉原滑雪場便會開放，成為人氣雪地運動地點。夏季前往高原健行則成了避暑行程，原為滑雪場的坡地皆會被覆上一層紫色花毯，搖身一變成為美如畫的玉原薰衣草公園。另外，許多登山客也會到訪吹割溪谷沿著覆蓋森林的片品川河岸漫遊，欣賞瀑布及湍流美景。而在秋季，轉紅的樹葉為河岸染上火紅、橙橘及金黃秋色，成為溪谷最美的季節。在沼田，秋季同時也是蘋果的產季。遊客來到附近地區即可到數十座果園中體驗採蘋果的樂趣，還可購買蘋果醬及蘋果汁等加工品。

而每年八月的沼田祭以及五月的大蛇祭，可以體驗到沼田市的歷史民俗以及社區精神。在改裝自十八世紀所建的農舍「南鄉曲屋」中，則可參加手作蕎麥麵、用爐灶烤製御燒餡餅（以麵粉製成麵皮，再將豆餡或蔬菜等餡料包進擀過的薄麵皮裡頭所烤製而成的點心）以及製作草鞋等，能夠體會農村生活的活動。

＜日本語仮訳＞

沼田市へようこそ

沼田市は自然豊かで歴史のある街である。東京から電車で約 2 時間、群馬県北部の山間部に位置する。

沼田は3つの川沿いに形成された河岸段丘に築かれた中世の城下町から発展した。戦略的な位置にあった沼田城は、16世紀には武家が城の支配権をめぐる争い、何度も城主が入れ替わった。比較的平和な江戸時代（1603-1867）にはその重要性は薄れ、町は農業、林業、そして19世紀後半からは養蚕で栄えた。沼田城の跡地である**沼田公園**や、この地域の守護神を祀る山腹の寺である**迦葉山弥勒寺**、20世紀初頭の沼田の黄金期を物語る歴史的建造物が立ち並ぶ町の中心部にある**大正ロマンエリア**などで、沼田の歴史に触れることができる。

中心部以外では、**玉原高原**、**吹割溪谷**、数多くの**果樹園**などがあり、沼田市の自然の魅力を体験することができる。北部の玉原はたんばらスキーパークのグレンデがオープンする冬にスノースポーツの人気スポットである。夏には高原のハイキングコースが涼しく、スキー場は紫色の花に覆われ、絵のように美しい**たんばらラベンダーパーク**に変身する。また、多くのハイカーは吹割溪谷を訪れ、滝や渦巻く急流を眺めながら片品川の森に囲まれた岸边を歩く。溪谷が特に美しいとされるのは秋で、紅葉が岸边を赤、オレンジ、黄色に染める。沼田の秋はリンゴの季節でもある。この地域一帯にある何十もの果樹園でリンゴ狩りができ、ジャムやジュースなどの製品を購入することができる。

8月の「**沼田まつり**」や5月の「**大蛇まつり**」の年中行事では沼田市の歴史や民俗、コミュニティ精神が体験できる。18世紀に建てられた農家を改装した「**南郷の曲屋**」では年中、そば打ち、釜戸でのおやき作り、草履づくりなど、農村の暮らしにスポットを当てた体験型アクティビティに参加することができる。

【タイトル】 迦葉山龍華院

弥勒寺/迦葉山龍華院

弥勒寺

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

迦叶山弥勒寺

迦叶山弥勒寺是一处大型寺庙群，位于迦叶山上，距离沼田市中心以北约 16 公里。这座曹洞宗寺庙，建筑风格质朴无华，坐落于静谧茂盛的森林之中。森林里，巨大的日本柳杉错落分布，与寺庙相互映衬。

波澜壮阔的过往

迦叶山弥勒寺创建于 848 年，作为上野国（今群馬县）的寺庙，旨在守护国家繁荣，人民安康。相传，创建此寺的云游高僧圆仁（794-864 年），在修行途中受释迦牟尼佛弟子摩诃迦叶（日语称“Maha Kasho”）启发，将此山命名为迦叶山。

当时，受朝廷任命的上野国知事委托，圆仁创立了迦叶山弥勒寺。创立时正值，天台宗为朝廷推崇的佛教宗派，故该寺最初隶属于天台宗。到了 15 世纪，当地一位颇有名望、名叫天巽的僧人，将这座寺庙改宗为曹洞宗。

据说，天巽曾在和尚台——一座高达 60 米的岩石上冥想，这座石台高耸于寺庙之上。当时，天巽有一名能力超凡的弟子中峰协助他。中峰的超凡能力让他能攀爬极为陡峭的悬崖，以及可以奔波于迦叶山弥勒寺的扩建工作，以及向当地居民传播佛法而不需要休息。传说中，天巽圆寂后，中峰显身为摩诃迦叶的化身。他承诺会减轻所有在迦叶山弥勒寺祈祷之人的痛苦，并为他们带来欢乐。随后，中峰随后升天，只留下一张长鼻子的面具。

寺庙的守护神

中峰的传说催生出一一种信仰，人们相信他便是天狗——一种外形似鸟的神话人物。天狗被

视作深山老林里强大的守护神，其形象通常被描绘为带有翅膀，长鼻或者鸟喙。在迦叶山弥勒寺的中峰殿里，立着两尊天狗雕像守护着殿堂，一尊有着突出的鼻子，另一尊形似乌鸦。中峰殿供奉着守护神中峰。中峰殿其内殿位于一座陡峭的多层祭坛顶部，装饰得极为华丽，每十年才向公众开放一次。

如今，人们能够乘车直达迦叶山弥勒寺。然而在过去，为表示对佛地的尊重，朝拜者被要求将马匹留在寺院区域之外，徒步进入寺庙。据说，信徒们会在一棵古老中空的杉树旁下马，这棵树位于寺庙建筑的视线之外。如今，从停车场的台阶走去，便能看到这棵被称作“藏马树”（意为“隐藏马匹的树”）的杉树。

<繁体字>

迦葉山彌勒寺

迦葉山彌勒寺為位於迦葉山上，距離沼田市中心北部約 16 公里的一處大寺院。於偶有巨大杉木的濃密森林中，低調佇立著這座曹洞宗寺院。

動人的過去

迦葉山彌勒寺於 848 年，作為上野國（現群馬縣）的鎮守護國寺（為維持國泰民安的寺廟）所建。據說這座寺院的創建者——曾經遊歷諸國的僧人圓仁（794～864 年），引用釋迦牟尼佛的弟子大迦葉的名字，為這座山命名為「迦葉山」。

受到當時上野國領主的請託，圓仁將迦葉山彌勒寺作為當時朝廷信奉的佛教教宗天台宗寺院而創立。到了十五世紀之後，名為天巽的僧人（當地傳承故事中的名人）將寺院改奉曹洞宗。

據說天巽曾在寺院中高達 60 公尺的巨岩和尚台上坐禪。幫助他完成此一偉業的弟子中峯，據說擁有超人般的能力，包括能登上無人能行的陡峭石崖、日夜無休地擴建寺院以及向當地人們宣揚佛教等。據說在天巽逝後不久，中峯就自明為大迦葉的化身，接著保證會為信仰這座寺院的人們除去苦痛、給予安樂之後，留下長鼻子面具後就升天前往極樂世界了。

境内の守護神

中峯の傳説讓人們相信祂就是天狗。天狗常被當作深山或森林的守護神，通常被描繪為長有雙翼，且有長鼻或鳥喙的形象。迦葉彌勒寺中的兩尊天狗像——一尊擁有突出長鼻，另一尊則似烏鴉——都立於將中峯作為守護神供奉的中峯堂前。華麗的神座位於該座祠堂的多階構造最上層，十年才會開放觀瞻一次。

現今人們可以駕車進入迦葉山彌勒寺，但在過去，信眾都會被要求尊重寺院境內土地，必須把馬匹留在外頭，依靠雙腳步行進入寺院參拜。據說信眾們都會在入口附近一棵有大洞的古老杉木下馬。現今人們從停車場下樓梯之後就能到達這棵「馬隱杉」。

<日本語仮訳>

迦葉山弥勒寺

迦葉山弥勒寺は、沼田市中心部から北へ約 16 キロ、迦葉山にある大きな寺院である。曹洞宗のこの寺は杉の巨木が点在する鬱蒼とした森の中に、控えめな佇まいで建っている。

心揺さぶる過去

迦葉山弥勒寺は 848 年に上野国（現在の群馬県）の鎮守護国寺として創建された。創建者で諸国を遍歴した僧・円仁（794～864 年）が、釈迦の弟子である摩訶迦葉の名前に由来してこの山を「迦葉山」と名付けたという伝承がある。

当時の上野国の領主に頼まれ、円仁は迦葉山弥勒寺を当時の朝廷と結びつきがあった天台宗の寺院として創建した。寺は 15 世紀に、地元の伝承に大きな役割を果たす天巽という僧によって曹洞宗に改宗された。

天巽は寺の敷地内にそびえ立つ高さ 60 メートルの岩、和尚台の上で坐禅をしたと言われている。彼を補佐したのは中峯という弟子で、その超人的な能力はあり得ないほど険しい崖を登り、地元の人々に仏教の教えを広め、寺院の建物を整備するための仕事を疲れもせず続けたと言われている。天巽の死の直後、中峯は自分が摩訶迦葉の化身であることを明かしたという。そして、「迦葉山を信仰する人々の苦しみを除き、楽しみを与える」と伝え、鼻の長い仮面を残して昇天した。

境内の守り神

中峯の偉業から、彼は天狗であると信じられるようになり、寺は天狗信仰と結びつけられるようになった。人里離れた山や森を守る強力な守護神とされる天狗は、一般的に長い鼻かくちばしと羽を持つ姿で描かれる。迦葉山弥勒寺では鼻の突き出た天狗像とカラスに似た天狗像の2体が、守護神として中峯が祀られている中峯堂に立っている。このお堂の華麗な奥座は急勾配の多段祭壇になっている。最奥は10年に一度だけ開帳される。

現在の迦葉山弥勒寺へは車で行くことができるが、かつて境内は馬の乗り入れが禁じられ、その外に馬を置き、歩きながら寺に入るよう求められた。馬は入り口近くの空洞のある杉の古木にて下馬した。木が大きくて、寺から馬が隠れて見えないことから「馬隠れ杉」といわれた。今は駐車場から階段で下りることで見に行くことができる。

【タイトル】 迦葉山龍華院

弥勒寺/天狗信仰

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

天狗与迦叶山弥勒寺

天狗是迦叶山弥勒寺信仰的核心与关键要素，担任着该寺庙的守护神角色。在中峰殿内，两尊神情威猛的天狗雕像守护着寺庙。人们来到寺庙，还能借到手工绘制的纸质长鼻天狗面具。依照当地习俗，人们首次到访寺庙时，会借走一个面具，而后将其放置在家中的神道教或佛教祭坛上，以求辟邪消灾。不过，借来的面具需在次年归还，与此同时，还要从山脚下的商店购置一个新面具。

几个世纪以来，当地民众始终将天狗奉为守护神，这已然成为他们宗教习俗中不可或缺的重要部分。在现今的群馬县，从 19 世纪中叶到 20 世纪初，养蚕业一直是当地的支柱产业，而天狗与养蚕业联系紧密。人们相信天狗能够庇佑蚕宝宝免受疾病和自然灾害的侵袭，因此农民们会将天狗面具挂在养蚕房的墙上，守护蚕茧。

迦叶山弥勒寺的借用和归还天狗面具这一传统，据信起源于 19 世纪末。当时，或许是为了帮助当地农民改善经济状况，许多农民便在冬季制作面具来增加收入。随着时间的推移，寺庙与这些吉祥物的关联愈发紧密，促使游客们捐赠的天狗面具越来越大、越来越精美。最终在 1939 年，捐赠了一个至今仍是日本最大的天狗面具。

这个巨型面具宽 6.5 米，鼻子长 2.8 米。由当地商会成员捐赠，作为祈祷参加第二次世界大战的士兵平安归来的象征。面具背面覆盖着约 5 万名捐赠者的祈祷和愿望纸条。如今，这座巨型面具展示在中峰殿，旁边还有一副 1971 年捐赠的稍小面具，这副小面具是为祈求交通安全而捐赠的。1970 年日本每年因交通事故死亡的人数达到 16765 人，因而促使政府和民间社会开始努力改善道路安全状况。

<繁体字>

天狗與迦葉山彌勒寺

天狗為迦葉山彌勒寺的核心與信仰中心，同時也是這座寺院的守護神。境內立有一對面目猙獰的天狗像負責看守中峯堂。人們可以從寺院中借用這些傳說中的長鼻子怪物的手繪面具。依照當地習俗，初次參拜的人們會把借來的面具帶回家，放在神龕或佛壇中，以求避邪。而到了下一年，人們要把借來的面具還給寺院，同時在山腳下的商店購買新面具。

天狗守護神信仰經歷數世紀已經成為當地信仰中不可或缺的。於現今的群馬縣，從十九世紀中期至二十世紀初期開始，天狗信仰就與當地的養蠶業有密切關係，蠶桑業為當時的主要產業。人們相信天狗可以保護蠶不被疾病和天災侵襲，蠶農們便為了蠶絲生產順利，而在養蠶室中掛上天狗面具守護蠶寶寶們。

從迦葉山彌勒寺借還天狗面具的傳統，據說可追溯至十九世紀後期，可能是作為支持當地農民們的活動才開始，因為有許多農民會在冬天製作這些面具作為收入補貼。寺院和這些吉祥物的連結，最終讓參訪寺院的人們捐獻更大、更精美的面具，於 1939 年捐獻的面具為日本最大的天狗面具。

當地商會的成員，為替第二次世界大戰參戰者們祈福而捐獻了這面縱長 6.5 公尺、鼻長 2.8 公尺的巨大面具。在其背面貼滿了寫著參與捐獻約五萬名信眾的祈禱與祝福。而另一面一起陳列在中峯堂中巨大的面具，是 1971 年作為祈求減少交通事故的信物而捐贈的。1970 年，日本每年的交通死亡人數達到 16,765 人的高峰，導致政府和社會大眾積極採取行動以解決問題。

<日本語仮訳>

天狗と迦葉山彌勒寺

迦葉山彌勒寺の守り神である天狗はこの寺の信仰の中心であり、目立つ存在である。猙獰な天狗の像が見守る中峯堂では、この伝説の長い鼻の存在を描いた手描きの面を借りることができる。初めて参拝する際にはこのお面を借りて、自宅の神棚や仏壇に飾り、魔除けとするのが習わしだ。借りた面は翌年、山のふもとで買った新しい面と一緒に返すことになっている。

天狗を守護神とする信仰は、何世紀にもわたって地元の宗教に不可欠な要素であった。現在の群馬県では、天狗信仰は 19 世紀半ばから 20 世紀初頭にかけてこの地域の主要産業であった養蚕と特に強い関係があった。天狗は蚕を守ると信じられており、蚕が疫病等にかからないための魔除けとして

農家たちは天狗面を蚕の部屋の壁に飾っていた。

迦葉山弥勒寺の天狗面の貸し借りの伝統も 19 世紀後半に始まったと考えられており、農家の冬の産業として始まった可能性もある。この縁起物と寺の結びつきは、やがて信者たちに、より大きく精巧な面を奉納するようにさせ、1939 年には日本最大級の天狗面が奉納されるに至った。

この巨大な面は丈 6.5 メートル、鼻の長さ 2.8 メートルで、地元の商工会有志が第二次世界大戦に駆り出された人々の安全を祈願して奉納したものだ。その裏側は寄贈に協力した約 5 万人の信者の祈りと願いが書かれた紙で覆われている。もう一体の面は 1971 年に交通事故防止を祈願して寄贈された。二体並んで、中峯堂に展示されている。日本の年間交通事故死者数は 1970 年の 16,765 人をピークに、交通安全向上のために政府と市民社会が集中的に取り組むようになった。

【タイトル】 たんばら
ラベンダーパーク/たんばら
ラベンダーパーク
【想定媒体】 WEB

＜簡体字＞

玉原薰衣草公园与滑雪场

夏季，玉原高原的高海拔区域，宛如为游客打造的避暑桃源。这片区域的核心，是坐落于海拔约 1300 米处的玉原滑雪场。入夏后，滑雪场的坡道摇身一变，成为玉原薰衣草公园。每年 7、8 月，约 50000 株薰衣草竞相绽放，甜香四溢。

玉原地区夏季凉爽干燥，是薰衣草生长的理想环境，促使它们蓬勃生长，花朵娇艳。公园内种植了早开与晚开的多个薰衣草品种，使得夏季的大部分时间里坡道都色彩斑斓。八月底薰衣草逐渐凋谢，颜色深红的植物“地肤”接力登场。

游客可搭乘缆车直达公园高处，那里薰衣草田最为开阔。游玩后，既可以漫步下山，也能继续乘坐缆车。公园商店售卖诸多以园内薰衣草为原料制成的香皂、蜂蜜、驱蚊剂和精油等产品。薰衣草冰淇淋是当地的热门甜品，游客可以选择单独品尝或与香草味冰淇淋混合享用。

冬季一到，人们的注意力便转向了玉原滑雪场。作为滑雪胜地，这里以适合初学者的坡道和漫长的滑雪期而闻名，滑雪期从 11 月延续至次年 5 月初，在此期间，雪鞋健行和雪橇滑雪也是很受欢迎的活动。

＜繁体字＞

玉原薰衣草公園與滑雪場

夏季期間，位於高海拔的玉原高原便成為避暑地點。該地區的中心景點為海拔 1300 公尺的滑雪度假村——玉原滑雪場。在夏季，滑雪坡就會搖身一變成為玉原薰衣草公園，超過

五萬株薰衣草在七、八月時綻放，空氣中充滿甜美香氣。

玉原的夏天氣候較為涼爽又乾燥，適合薰衣草生長，讓每株都長得顯色又強壯。園內混植不同開花期的薰衣草種，使整個季節的山坡地都能維持多彩模樣。到了薰衣草枯萎的八月底，深紅色的掃帚草（沙冰藜屬）會作為新一代主角登場。

遊客可搭乘登山吊椅，登上大部分薰衣草田所在的園區上層區域，再透過步行或搭乘纜車下山。園區內的商店販售許多用園內栽培植物製成的薰衣草風味或口味商品，包括肥皂、蜂蜜、驅蚊用品以及精油等。薰衣草色的霜淇淋也是該店的人氣甜點，可選擇原味或和香草混合的口味。

到了冬天，玉原滑雪場便成焦點。這個雪地運動場以適合初學者的緩坡以及長期開放為名，其開放時間經常從十一月開始延長開放到五月初。雪鞋運動以及雪橇也是這段期間的人氣活動。

<日本語版訳>

たんばらラベンダーパークとスキーパーク

夏の間、標高の高い玉原高原は避暑地として人気。その中心となるのが標高 1,300 メートル付近にあるスキー場、たんばらスキーパークだ。夏は 7 月から 8 月にかけて、約 5 万株のラベンダーが咲き誇り、甘い香りに包まれるたんばらラベンダーパークに変身する。

玉原の夏の気候は涼しく、比較的乾燥しているため、ラベンダーの木は色鮮やかな花を咲かせながら力強く成長する。早咲きの種や遅咲きの種が混在しているため、ゲレンデはほぼシーズンを通して色とりどりの花を咲かせ続ける。ラベンダーが色あせる 8 月末には、深紅の植物「コキア」が咲き誇る。

チェアリフトでラベンダー畑の大部分を占める公園の上部に行き、徒歩かリフトで下ることができる。園内の売店では石鹸、蜂蜜、蚊よけグッズ、園内で作られたエッセンシャルオイルなど、園内で栽培された植物から作られたラベンダーの香りや風味の製品が数多く販売されている。ラベンダー色のソフトクリームは人気のスイーツで、そのままでも、バニラと混ぜてミックスとしても食べられる。

冬には、たんばらスキーパークが中心となる。ほとんどが初心者向けのゲレンデであることと、11 月から 5 月頭までの長いシーズンで知られるスノースポーツの目的地である。スノーシューやそり遊びもこの時期の人気アクティビティだ。

【タイトル】 玉原高原/玉原高原

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

玉原高原

在沼田市辖区的北端，有一个火山形成的高原，位于海拔 2158 米的武尊山（Mt. Hotaka）山麓，海拔高达 1600 米。这里就是玉原高原。

这里全年都吸引着众多自然爱好者纷至沓来。每年五月到十月下旬，徒步旅行者们便会慕名而来，探索这片草木繁茂的玉原湿地。一条木质栈道蜿蜒穿过这片生态多样的湿地，数百种植物与动物在此繁衍生息。

动植物

这里生长着很多引人注目的湿地植物。例如：沼泽灯笼，其花朵呈白色，形似百合，通常在 4 月下旬至 5 月雪融后迅速绽放；山鸢尾，花朵为紫色，一般于 6 月至 7 月盛开；伪泥胡菜则是一种草本植物，长有类似红三叶草的红紫色密集簇生花朵，花期在 8 月至 9 月。在这片地区栖息的动物里，森林树蛙颇为独特，它会将卵产在白色泡沫囊中，从 5 月到 6 月，人们常常能看到这些泡沫囊附着在树枝上。另外，还有日本黑色蝾螈，这是一种多在夜间活动的两栖动物，体长可达 13 至 15 厘米。

徒步路线

湿地距离最近的停车场仅需步行一小段路，以正常的步行速度，绕湿地一圈大约一小时。游览湿地，无需特别的徒步装备。

从停车场出发，还有一条更长且更具挑战性的小路，一路蜿蜒延伸至山上。这条路线有些地方颇为陡峭，雨后还常常变得泥泞，全程走下来大约需要三小时。然而，沿着这条路线前行，你能深切感受到玉原古老山毛榉森林的静谧氛围。这片森林曾在 20 世纪上半叶曾遭受砍伐，好在自 20 世纪 40 年代起，便不再受人为干扰，得以自然生长，如今已基本恢

復如初。

〈繁體字〉

玉原高原

在沼田市北邊角落的玉原高原位於武尊山（Mt. Hotaka, 海拔 2158 公尺）山腳下，為火山形成的高原，最高海拔 1600 公尺。

一年四季，熱愛大自然的人們皆會來到玉原高原。從五月到十月下旬，登山客們會來到鬱蔥蔥的玉原濕原，走上架高步道橫渡棲息著數百種動植物的多樣化的生態濕地。

動植物

其中值得矚目的濕地植物包括水芭蕉（沼澤燈; *Lysichiton camtschatcensis*），雪融後便會綻放如白色百合狀的花，通常花期為四月下旬至五月期間；還有在六、七月開出紫色花朵的檜扇菖蒲（鬚毛尖鳶尾花，山鳶尾，*Iris setosa*），以及紫紅色花朵狀似紅三葉草的田村草（偽泥胡菜，*Serratula coronata*），在八月至九月密集開花。至於濕地動物則有會在五月至六月至樹上產下白色卵泡的森樹蛙，以及體長為 13~15 公分的黑蠟螈，為夜行性兩棲類。

登山路線

從最近的停車場出發即可徒步輕鬆到達濕地，平均花費一小時就能走完一周，不需要登山裝備。

而路程較長且具有挑戰性的路線，起點從停車場開始，接著上坡進入森林。這個路線有陡坡，雨後可能會有泥濘，路程約為三小時。雖然辛苦，但走上這條路線可以慢慢體驗玉原櫟木林的寧靜。這座森林曾在二十世紀初期遭到砍伐，在 1940 年代之後因為放任生長，其山林風光得以成功恢復。

〈日本語仮訳〉

玉原高原

沼田市の北端に位置する玉原高原は武尊山（標高 2,158 メートル）のふもとに広がる、最高標高 1,600 メートルの火山性台地である。

この地域は一年を通して大自然を愛する人たちを魅了している。5 月から 10 月下旬まで、ハイカーが草や樹々に覆われた玉原湿原を探検しにやってくる。木道の遊歩道が、数百種の動植物の生息地となっているこの多様な湿原の生態系を横断している。

動植物

注目すべき湿地植物には、雪解け直後、通常 4 月下旬から 5 月にかけて白いユリのような花を咲かせるミズバショウ、紫色の花を 6 月から 7 月にかけて咲かせるヒオウギアヤメ、そしてアカツメクサに似た赤紫色の花が密集して咲くタムラソウで、8 月から 9 月まで咲く。湿地に登場する動物では、5 月から 6 月にかけて木の枝に付着する白い泡の袋に卵を産み付けるモリアオガエルや、体長 13～15cm で主に夜行性の両生類であるクロサンショウウオがいる。

ハイキングコース

最寄りの駐車場から湿原までは徒歩で簡単に行くことができ、平均的なペースで 1 時間ほどで一周できる。ハイキング装備は必要ない。

二つ目のコースは駐車場から、森の中へ続く上り坂で始まり、ところどころ急な坂道があり、雨の後はかなりぬかるみ、約 3 時間かかる。しかしその分、20 世紀前半に伐採されたが、1940 年代以降は手つかずのまま放置されていたため、見事に回復した玉原のブナ林の静けさを味わうことができる。

【タイトル】 旧生方家住宅/旧生方家住宅

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

前生方家宅邸

前生方家宅邸，曾是沼田城镇一个经营药店的富商住宅家庭的住所。在江户时代（1603-1867 年），这个家族还是沼田地区最高统治者（藩主，类似于古代中国的诸侯）的指定药材供应商。这座传统木屋可追溯至 17 世纪后期，最初坐落于沼田城镇中心。1973 年，为加以保护，它被迁移至沼田公园。

如今，这栋单层建筑已作为博物馆向公众开放。宅邸有着粉刷过的厚厚的土墙，人字屋顶上覆盖着用石头压住的木瓦。建筑正面设有可向上滑动的百叶窗，打开后，此处空间便可作为店铺使用。店铺区域由两个铺有榻榻米的高架地板房间构成，左边房间供普通顾客，右边装修更为华丽的房间则是为高级武士准备的；还有一处土间（夯土地面，类似于玄关）区域，顾客可站在这里跟店主交谈。店铺入口前方突出的屋檐，能为顾客遮风挡雨。

店铺左侧的小门是房屋主人的专用专用门。这道门连通一条贯穿整座建筑的土间走廊，走廊穿过建筑，会经过一个铺有木地板且带有地炉的起居区，继续往前便通向后面的厨房。房屋右侧有四间铺着榻榻米的房间，是家庭成员的卧室。仆人则住在店铺上方的两个小房间里，需借助梯子出入。

屋内陈列着药剂师的工具、勺子、碗、药柜和其他历史文物。这座建筑被视作日本东部现存最古老的商人住宅，已被指定为重要文化财产。主屋对面是一座小型博物馆，专门展示生方诚（1894-1978 年）的生平。生方诚是一名政治家，同时也是生方家族的第 26 代家主。他曾在美国学习药学，并且热衷于文学、绘画和戏剧等艺术。他的妻子生方たつゑ（Tatsue, 1904-2000 年）是一位著名诗人，关于她的成就在沼田市中心生方纪念博物馆中有详细介绍。

<繁体字>

前生方家住宅

前生方家住宅為曾經在沼田城下町經營藥商的富豪家族宅邸，且該藥商還曾在江戶時代被指定為沼田藩主御用。該家族的傳統木造房屋推測為十七後期所建，且原本位於城鎮中心。為妥善保存，於 1973 年移建至沼田公園。

這棟單層樓建築目前作為博物館開放參觀。厚土牆粉刷上漆、人字屋頂上的木板還有石頭壓著固定。建築的正面擁有活動式百葉窗，作為店鋪空間使用。商店區域包含兩間高地板榻榻米房間，左邊房間為一般客人用，而在右方更為華麗的房間則用來接待上流階級武士；另外還有客人和店主互動時使用的土間。在店門口蓋有突出的屋簷，可供客人遮風擋雨。

而在店面左側的小門則為這間房屋的居民所用。門後通往貫通整棟建築物的土間走廊，途經木板鋪成且包含下沉式壁爐（圍爐）裏的居住空間，還有在房屋後方的廚房。在房屋右側有作為家族寢室的四間榻榻米房間。店員們則居住在需透過梯子攀爬的店面上方兩個小房間。

在屋內展有各式藥劑師用的道具、湯匙和木碗、放置藥材的抽屜以及其他歷史遺物。此建築為東日本現存最古老的町屋，被指定為重要文化財。在主建築的對面為介紹第 26 代家主兼政治家生方誠（1894-1978）生平的小資料館。他曾在美國研讀藥學，且熱愛文學、繪畫以及戲劇等藝術。他的妻子生方たつゑ（Tatsue, 1904-2000）則為知名詩人，其事蹟於沼田市中心生方紀念文庫擁有詳細介紹。

<日本語仮訳>

旧生方家住宅

旧生方家住宅は城下町沼田で薬種商を営み、江戸時代（1603～1867 年）を通して沼田藩主の御用達であった豪商の家である。同家の伝統的な木造家屋は 17 世紀後半に建てられたと考えられており、当初は町の中心部にあった。1973 年に保存のため沼田公園に移築された。

現在は博物館として公開されている平屋建ての家は、厚い漆喰塗りの土壁と、石で押さえた木板で覆われた屋根が特徴だ。家は妻入りで、上にスライドする雨戸が付いているため、前側を店舗として使うことができる。店舗部分は左側が一般客用、右側が身分の高い武家客用の高床式畳敷きの部屋と、客が店主と接するための土間とで構成されている。店の入り口の前には突き出たひさしがあり、来

客を風雨から守っていた。

店の左側にある小さな扉はこの家の住人が使うものだった。土間の廊下が建物内を通り、板の間と囲炉裏のある居間、奥の台所へと続いている。家の右側には 4 つの畳の部屋があり、家族が寝泊まりした。使用人は店の上にある 2 つの小部屋に寝泊まりし、はしごで上がることができた。

建物内には薬師道具、匙や椀、薬百味ダンスなどの歴史的遺物が展示されてある。この建物は現存する町屋としては東日本最古のものとされ、重要文化財に指定されている。母屋の向かいには政治家で 26 代当主の生方誠（1894-1978）の生涯を紹介する小さな資料館がある。妻のたつゑ（1904-2000）は著名な詩人であり、その業績は沼田市中心部にある生方記念文庫で詳しく紹介されている。

【タイトル】沼田公園/沼田公園

【想定媒体】WEB

<簡体字>**沼田公園和沼田城遗址**

沼田公園是一片開闊的丘陵綠地，站在此處，白根川與利根川的景色盡收眼底。公園內的沼田城遺址，前身是一座 16 世紀的城堡，在江戶時代（1603-1867 年），這裡曾被改建成沼田藩的行政中心。然而如今，園內僅剩下城堡防禦工事的一些殘迹。沼田公園聞名遐邇，原因在於 4 月至 10 月間繽紛綻放的各類花卉、能夠眺望利根川流域的武尊山與谷川岳山脈的壯美景觀，以及諸如前生方家宅邸這樣的历史建築等。前生方家宅邸是一座 17 世紀商人的住宅，從鎮中心遷移至此，如今已作為博物館向公眾開放。

短命的据点

現今成為沼田公園的土地上，最早的建築是由沼田家族建造的。幾個世紀以來，沼田家族一直掌控著如今沼田市周邊地區，這種局面一直持續到 16 世紀末。1532 年，該家族於兩條河流的高處建起一座城堡。此地具有戰略意義，然而，因淡水匱乏，這座城堡基本無人居住。這個據點主要充當瞭望台，借助這裡，沼田家族能夠監視附近河流的水路交通，同時還能監視越過山脈向北通往越後國（現今的新潟縣）與會津（現今的福島縣）的這兩條通道。

16 世紀後期，多個家族為爭奪沼田地區的控制權展開角逐。該地區最終被真田家族占領，在真田信之（1566-1658）的治理下，啟動了一系列大規模建設項目，以發展自己的領地。真田家族挖掘運河，將淡水引入高地，從而讓這裡具備了建設城鎮的條件。1597 年，真田家族在沼田家族原先簡易城堡的舊址上，建成了一座大型城堡，城堡設有兩條護城河、石牆、城門、幾座瞭望塔和一座五層天守閣。武士住宅建在城堡與城鎮其他區域之間，城鎮也隨之向東和向南擴展。

然而在 1682 年，由於真田家族治理不善，當時的統治政權德川幕府剝奪了他們的領地，宏偉的沼田城隨後也被拆除。自那之後，沼田領地先後由諸多不同的統治者管轄，最終落

入土岐家族手中。他们在城堡的郊区建造了一处宅邸，鉴于当时处于和平时期，所以没有重建防御工事。

从堡垒到公园

土岐家族一直统治着沼田，直到 1868 年明治维新，长期的武士统治宣告结束。土岐家族迁至东京，他们的宅邸遭到废弃，昔日城堡一直闲置至 1916 年。后来，出生于沼田的富商久米民之助（1861-1931）买下了这里。久米家族在明治维新前曾效命于土岐家族。久米将这片土地改造成公园，并于 1926 年捐赠给当地政府。

由于此地历经多次历史变迁，如今公园内留存的 16 世纪城堡遗迹已寥寥无几。现存的建筑遗迹包括一小段内护城河、部分城墙，以及最西边瞭望塔的地基。如今，这个石质地基上不再是瞭望设施，而是生长着一棵有 400 年树龄的樱花树，据说它的绽放标志着沼田春天的到来。沼田城大钟的复制品悬挂在公园的钟楼里，每天早晚六点敲响。大钟的真品铸造于 1634 年，现陈列在沼田市历史博物馆中。

〈繁体字〉

沼田公園與舊城跡

沼田公園俯瞰白根川與利根川，為地形多起伏的廣闊綠色腹地。這座公園內，有十六世紀的沼田城遺址，在江戶時代(1603-1867)被改建為沼田藩的行政中心，現今僅留存城郭的一部分。這座公園的看點為四月至十月開花的多種花朵、可眺望利根川流域至武尊山和谷川連峰的景色，還有現在作為博物館開放的十七世紀商人家族住宅「前生方家住宅」等歷史建築。

曇花一現的要塞

沼田家族在現今的沼田公園中建造第一棟建築，該家族直到 1500 年代後期為止曾掌管此區域數世紀之久。1532 年，沼田家在此建造了可俯瞰兩條河流的要塞。雖是個戰略的好位置，但因為缺少淡水的關係，幾乎無人居住此地。這座城郭發揮強大作用沼田家能夠監視附近河川的交通，還可為北邊通往越後國（現新潟縣）和町哨會津（現福島縣）的山路。

於 1500 年代後期，數個家族為了爭奪沼田的掌控權而爭鬥。最終此地區由真田家掌權，由真田信之（1566-1658）領導啟動許多開發領地用的大規模建設計畫。真田一族挖了河道將淡水引進梯地，使梯地成為能夠發展城鎮的豐沃之地。1597 年，真田家利用沼田家留下的舊城塞加蓋，築成了具有兩條城壕、石牆、大門、數座瞭望樓（櫓）、還有五層樓天守閣的大城。武士們的居住區域建於城郭和城鎮其餘部分之間，城鎮則朝東邊和南邊擴張。

然而到了 1682 年，在德川幕府以管理不善為由驅逐真田家之後，雄偉的沼田城也因此遭到拆除。之後沼田藩經過不同藩主的治理，落到土岐家的手上。雖然土岐家在城郭的外圍建造了居住區，但因當時毫無動盪的關係沒有重建城郭。

從要塞變身為公園

土岐家直到 1868 年明治維新，武士政權結束之前都曾作為沼田藩主。在那之後，土岐家移居至東京，曾經的住宅被棄置，舊城跡也淪落為廢墟。直到 1916 年，商人久米民之助（1861-1931）買下了舊城跡，他出生於沼田且其出身家族在明治維新前曾在侍奉土岐家。久米使舊跡轉變成為公園，並於 1926 年捐獻給當地自治政府。

由於歷史上的動盪，在公園內幾乎無法看見 16 世紀的城郭遺跡。現存的遺跡只有部分短短的內城壕、一些城牆還有最西的瞭望樓基。失去瞭望作用後，這座石地基現在用來支撐作為沼田春天來訪象徵的四百歲老櫻花樹。在公園的鐘樓中掛有沼田城的複製鐘，於每天早上和晚上六點皆會敲響。原版的鐘鑄於 1634 年，展示於沼田市歷史資料館中。

<日本語版訳>

沼田公園と城跡

沼田公園は臼根川と利根川を見下ろす、起伏に富んだ広大な緑地である。この公園は江戸時代（1603 年～1867 年）に沼田藩の行政の中心地となった沼田城の跡地であり、公園内には城郭の一部が残る。4 月から 10 月にかけて咲き誇るさまざまな花々や、利根川流域から武尊山や谷川連峰を望む眺望、市街地から移築されて、現在は博物館として公開されている 17 世紀の商家「旧生方家住宅」などの歴史的建造物が人気だ。

短命に終わった要塞

沼田公園となる場所に最初に建造物を建てたのは、数世紀をかけて 1500 年代後半まで現在の沼田市周辺を支配していた沼田家である。1532 年、彼らは二つの川を見下ろす要塞を築いた。この場所は戦略上重要な場所であったが、淡水が乏しかったため、ほとんど人が住んでいなかった。城は沼田家が近隣の河川の交通を監視し、越後国（現在の新潟県）や会津（現在の福島県）へと続く山越えの道を監視するための見張り台として機能した。

1500 年代後半には、いくつかの一族が沼田の支配権をめぐる争った。最終的にこの地域は真田家の支配下に置かれ、真田信之（1566-1658）の指導の下、領地を開発するために多くの大規模な建設プロジェクトが開始された。真田一族は河岸段丘に真水を引くための水路を掘らせ、段丘に町を作ることを可能にした。1597 年、真田氏は沼田氏のささやかな城の跡地に、二重の堀、石垣、門、いくつかの櫓、五層の天守閣を備えた大きな城を築き終えた。城と町の間には武家地が整備され、町は東と南に拡張された。

しかし 1682 年、徳川幕府が真田家を失政により追放したため、壮大な沼田城は取り壊された。沼田藩は真田氏以後も多くの藩主を擁したが、やがて土岐氏の手に移った。土岐氏は城の外郭を屋敷に改造したが、平時の統治であったため、城郭の再建には手をつけなかった。

城から公園へ

土岐家は、1868 年の明治維新で武家支配が終わるまで、沼田藩主であり続けた。その後、土岐氏は東京に移り、屋敷は廃城となった。1916 年、沼田出身の実業家で明治維新以前からその家族が土岐家に仕えていた久米民之助（1861-1931）が城跡を買取った。久米は敷地を公園として整備させ、1926 年に自治体に寄贈した。

激動の歴史のため、16 世紀の城の遺構は現在、公園内でほとんど見るできない。現存する遺構は、内堀の短い部分や石垣の一部、そして最西端の櫓の基礎部分である。現在は見張り台の代わりに、推定樹齢 400 年の桜の木が立っていて、この桜の花が咲くと沼田に春が訪れると言われている。公園の鐘楼には沼田城の鐘の複製が吊るされ、毎朝夕 6 時に鳴らされている。オリジナルは 1634 年に鑄造されたもので、沼田市歴史資料館に展示されている。

【タイトル】旧沼田貯蓄銀行/

【想定媒体】WEB

<簡体字>

前沼田储蓄银行

这座始建于 1908 年的前银行大楼，极好地展现了 20 世纪早期日本将西方理念与建筑风格，同本土传统相融合的独特建筑方式。大楼共两层，融入了诸多西方建筑元素，例如框格窗以及带有门廊的拱形门道。而瓦屋顶、石灰外墙，还有土间的玄关，又体现出鲜明的日本特色。

步入室内，天花板贴有金唐革川上壁纸（kinkara-kawakami），这是一种日本壁纸，模仿了欧洲贴金皮革的烫金和压花技艺。门廊的天花板上，装饰着钺绘（石膏浮雕画）。在明治时代（1868-1912 年），这种浮雕画常用于装饰寺庙建筑，以及富商的住宅和仓库。这种风格与技术的多元融合，是由那些对西方建筑的了解仅局限于照片和蓝图的建筑师与工匠们完成的。

这座建筑在 1934 年之前一直作为银行使用，之后才被改作办公用地。1984 年，群馬县将其指定为文化财产。2016 年，经过大规模修缮，这座建筑恢复了原来的面貌，为了便于保护，建筑从原址向南移动了约 250 米。

<繁体字>

前沼田儲蓄銀行

這棟於 1908 年建成的前銀行建築，便是使用二十世紀初期日本傳統和洋合璧建築風格的典範例證。使用兩層樓建蓋同時還導入框格窗、拱形門廊等西方要素，然而該建築卻也擁有瓦屋頂、漆牆以及土間玄關等獨特日本要素。

建築物內部的天花板，則是以歐洲鍍金皮革（Kinkara-kawakami）為樣本的日本金唐革紙。相較之下，門廊的天花板則使用明治時代（1868 年～1912 年）的寺院和富商宅邸的

倉庫裝飾中常用之浮雕（鏤繪）點綴。像這樣混合各種風格和技法皆出自只能依靠照片和設計圖來了解西洋建築的建築師和工匠之手。

此建築直到 1934 年都作為銀行使用，在那之後轉變成為事務所。於 1984 年受群馬縣指定為文化財。為了復原當年的面貌，於 2016 年進行大規模改建，為了方便保存也將建築物從原本位置移動至約 250 公尺的南邊。

<日本語仮訳>

旧沼田貯蓄銀行

1908 年に建てられたこの旧銀行の建物は、20 世紀初頭の日本において、西洋の思想や建築様式がしばしば自国の伝統と組み合わせられたことを例証している。2 階建ての建物は上げ下げ窓やアーチ型の玄関がポーチで覆われるなど、海外から取り入れた要素を特徴とする一方で、瓦屋根、漆喰の壁、土間の玄関部分は日本独特のものである。

内部の天井にはヨーロッパの金唐革を模した金唐革紙が貼られている。対照的に、ポルティコの天井は、明治時代（1868 年～1912 年）に寺院建築や豪商の邸宅や蔵の装飾によく使われた漆喰の浮き彫り・鏤絵で飾られている。このように様々な様式や技法が混在しているのは、写真や設計図でしか西洋建築に精通していなかった建築家や職人たちの手によるものである。

この建物は 1934 年まで銀行として使用され、その後オフィス用に転用された。1984 年に群馬県が文化財に指定。2016 年、当初の姿を復元するために大規模な改修が行われ、保存を容易にするために当初の位置から約 250 メートル南へ移動された。

【タイトル】旧土岐家住宅洋館/

【想定媒体】WEB

<簡体字>

前土岐公馆

这座两层的德国新艺术风格（Jugendstil）建筑，于 1924 年落成于东京涩谷区，是由土岐章子爵（1892-1979 年）出资建造的。他的父亲土岐赖行（1848-1911 年）是沼田的最后一代统治者。

土岐章出生于东京，自 1868 年明治维新后，其家族便迁至此处。他对烘焙兴趣浓厚，大学时学习发酵学。婚后，他与妻子的家族一同投身葡萄酒生意。1923 年，土岐章正在德国深造，彼时，他位于东京的家在关东大地震中毁于一旦。这场灾难给东京大部分地区带来重创，致使 10 万多人丧生。

回到东京后，土岐章决定在涩谷重建一座宅邸。他将住宅外观设计为 20 世纪初在德国盛行的装饰性新艺术风格。该风格以借鉴自然曲线，尤其是花卉与植物的曲线，设计出独特的形状和线条而闻名。在土岐宅邸中，新艺术风格的影响在诸多细节上清晰可辨，如拱形窗户上方的水果篮浮雕，以及屋顶高处那线条柔和蜿蜒的天窗。

别墅内饰融合了西式和日式风格。一楼宽敞的会客厅与二楼土岐章的书房，铺设着木地板，摆放着椅子，还挂有华丽的窗帘。相比之下，其他房间，包括子爵的卧室，则铺设了榻榻米，装上了壁龛和拉门。一些拉门还装有装饰性玻璃窗，更是增添了日西结合的独特韵味。

1991 年，土岐家族将这座房子捐赠给了沼田市，同年，它被迁移至沼田公园。自 2020 年起，这座建筑便矗立在现在的位置。

<繁体字>

前土岐家住宅洋館

這棟由德國青年風格建成的兩層樓豪宅建於 1924 年的東京澀谷，由土岐章（1892-1979）子爵所建。其父土岐賴知（1848-1911）曾為沼田藩最後的藩主。

土岐章生於東京，他的家人在 1868 年明治維新後搬到那邊。他對麵包擁有十足的熱情，因此在大學研讀發酵學。婚後他和妻子的娘家一同從事釀酒業。1923 年，在他於德國留學期間，他的東京老家於造成十萬犧牲者的東京大地震中倒塌。

回到東京之後，章決定在澀谷建造新的宅邸。他使外觀呈現二十世紀初期德國著名的青年風格裝飾。青年風格以自然曲線為靈感的形狀和線條著稱，尤其是花卉和植物的曲線。而在土岐家的洋館中，這種風格的影響也明顯表現在細節裡，例如拱形窗上方的水果籃浮雕、屋頂高處的微弧形天窗。

洋館的內部裝潢則融合西洋和日本風格。一樓的寬敞會客室和位於二樓的土岐章書房皆由木製地板、椅子以及華麗的窗簾裝飾。相較之下，其他房間包含子爵的私人房間全鋪有榻榻米，且具備壁龕和日式拉門。而在拉門的一部分還有裝飾玻璃窗，展現和洋折衷風情。

土岐家於 1991 年將這間宅邸捐給沼田市，且洋館於同年移建至沼田公園，從 2020 年開始佇立於目前位置。

<日本語仮訳>

旧土岐家住宅洋館

ドイツ・ユーゲントシュティール様式のこの 2 階建ての家は、沼田藩最後の藩主であった土岐頼知（1848-1911）を父に持つ子爵・土岐章（1892-1979）によって、1924 年に東京・渋谷に建てられた。

土岐章は、1868 年の明治維新後、一家が移り住んだ東京で生まれた。パンが大好きで、大学では発酵学を学んだ。結婚後は妻の実家でワイン事業に携わる。1923 年、ドイツに留学中、東京の自宅が 10 万人以上の犠牲者を出し、首都に大きな被害をもたらした関東大震災で倒壊した。

東京に戻った章は渋谷に新しい邸宅を建てることにした。外観は、20 世紀初頭にドイツで影響力を持った、自然の、特に花や植物の曲線からインスピレーションを得た形や線を好むという特徴がある装飾的なユーゲントシュティール様式でデザインされた。土岐家住宅洋館ではアーチ型の窓の上に施され

たフルーツバスケットのレリーフや、屋根の高い位置にある緩やかなカーブを描く屋根窓などのディテールに、この様式の影響が見て取れる。

インテリアは西洋と日本の様式が融合している。1 階の広々とした応接室と 2 階の土岐章の書斎は木製の床、椅子、装飾的なカーテンで飾られた一方、子爵の私室を含む部屋は畳敷き、床の間、障子で飾られている。襖の一部には装飾的なガラス窓があり、折衷的な雰囲気を出している。

1991 年に土岐家から沼田市に寄贈され、同年沼田公園に移築された。建物は 2020 年から現在の場所に建っている。

【タイトル】旧日本基督教団

沼田教会紀念会堂/

【想定媒体】WEB

<簡体字>

前日本基督教沼田教会纪念馆

1914 年，一座带有框格窗的简易隔板建筑在沼田落成，它是专为日本基督新教教会而建。这座建筑的建造，得益于星野家族的资助与支持，其中尤以星野健（1878-1913 年）、星野光多（1860-1932 年）兄弟，以及他们的妹妹星野あい（Ai, 1884-1972 年）为主要推动者。他们的父亲原本来自当时作为丝绸生产中心的沼田，后来迁至当时最为国际化的港口城市横滨，在那里成为了一名丝绸商人。父亲皈依基督教后，孩子们也都接受了基督教教育与英语教育。

后来，星野光多成为一名牧师，而星野爱则赴美深造，并获得了哥伦比亚大学教育硕士学位。星野爱一心致力于推动女性教育，曾在现津田塾大学担任校长长达 30 年之久。津田塾大学是日本历史最为悠久且极负声誉的女子大学之一。

这座建筑一直作为教堂使用，1988 年被改建为美术馆。2020 年，经过修缮迁至现址。

<繁体字>

前日本基督教團沼田教會紀念堂

由單純層板和框格窗建成的建築物，於 1914 年在沼田為前日本基督教團使用所建。其中的建設費用由星野家族，尤為星野健（1878-1913）、星野光多（1860-1932）兩兄弟以及兩人的妹妹星野あい（Ai, 1884-1972）資助和籌募。三人的父親從為當時養蠶業中心的沼田，移居至當時日本國內其中一個有名的國際都市——橫濱中的一處港都城市後，成為紡織業商人。其後他改信基督教，子女們不只接受基督教教育，也接受了英語學習指導。

星野光多成為牧師，而星野愛則在美國留學，於哥倫比亞大學取得碩士學位。為日本的女

子教育盡心盡力的她，曾作為校長在日本最早成立的知名女子大學（現津田塾大學）中服務近三十年。

這棟建築在 1988 年為止都曾作為教會使用，在那之後便改建為美術館。於 2020 年則又再度翻新，被移至現址。

＜日本語仮訳＞

旧日本基督教団沼田教会記念会堂

上げ下げ窓のあるシンプルな下見板張りのこの建物は 1914 年、沼田市にプロテスタントの旧日本基督教団のために建てられた。建設には星野家、特に星野健（1878-1913）と兄の光多（1860-1932）、妹のあい（1884-1972）が資金を提供し、後押しした。二人の父は当時養蚕の中心地だった沼田から、当時国内でも有数の国際都市だった港町・横浜に移り住み、絹織物の商人となっていた。彼はキリスト教に改宗し、子供たちはキリスト教の教育を受けるとともに、英語の教育も受けた。

光多は牧師になり、あいはいアメリカに留学してコロンビア大学で教育学の修士号を取得した。彼女は女子教育の発展に尽力し、日本で最も古く著名な女子大学のひとつである現在の津田塾大学の学長を 30 年近く務めた。

この建物は 1988 年まで教会として使われていたが、その後美術館に改築された。2020 年に改修され、現在の場所に移築された。

【タイトル】旧久米家住宅洋館/

【想定媒体】WEB

<簡体字>

前久米公馆

这座建于约 1910 年的西式建筑，曾坐落于东京涩谷，原是沼田富商久米民之助（1861-1931）的宅邸。这栋建筑曾经用于招待宾客，通过一条走廊与日式接待室和久米家族的住宅相连。

这栋单层房屋堪称日本最早的钢筋混凝土结构之一。其风格独特的外立面，据说灵感源自维也纳分离派运动，巧妙融合了直线与装饰元素，包括夸张的屋檐造型和绿松石色的金属椽。客厅室内装饰着吊灯、大理石壁炉，墙壁贴有金唐革川上壁纸。这种日本壁纸模仿了欧洲贴金皮革的烫金和压花工艺。

这座富丽堂皇的房屋彰显了主人的高贵身份。久米民之助出生于为沼田统治者效力的武士家族，他在东京学习土木工程，后来成为一名成功的企业家。凭借建筑、铁路和烟草业务，他积累了巨额财富。不仅如此，他在政治领域也颇为成功，曾四届当选为下议院议员。后来，久米民之助在家乡将沼田城的遗址改造成公园，并捐赠给了当地政府。

1922 年，久米民之助出售了其在东京的大片房产，这些房产随后被分割，归不同业主所有。这座西式风格的建筑一直矗立在原址，直至 2023 年，为了加以保护，迁至沼田。搬迁过程中，建筑外观恢复至 1910 年的模样，并尽可能保留原始材料。家具和室内装饰，包括壁炉周围的壁纸，都是根据照片和其他资料复制而成的。

<繁体字>

前久米家住宅洋館

此棟洋館建於 1910 年左右，位於東京澀谷的久米民之助(1861-1931)，他是沼田出身的商人。此洋館主要用於接待賓客，以走廊連接和風會客室和久米家的住宅。

這棟單層樓建築為日本第一間鋼筋混凝土結構之一。其建築外牆據說從維也納分離派中獲得靈感，結合直線和裝飾元素，包括誇張的屋簷和塗裝成青綠色的金屬枕梁。而在會客室則以水晶吊燈、大理石暖爐和以歐洲鍍金皮革為樣本的日本金唐革紙壁紙裝飾。

宅邸的豪華程度反映了屋主的地位。久米民之助出生於曾經侍奉沼田藩主的武士家族，接著他在東京學習土木工程，成為成功的商人。由他一手打造的建設業、鐵道業和菸業不只使他家財萬貫，也讓他政界如沐春風，於眾議院擔任議員長達四期。久米將故鄉沼田的沼田城舊跡改建為公園，而後捐給了當地。

久米於 1922 年賣出了他在東京的宅邸，在那之後易主過許多次，其廣大的佔地也被瓜分。該洋館仍位於原址，直到 2023 年才移建至沼田。趁著這個機會，洋館也被盡可能使用原建材還原 1910 當時的外觀。比如家具和內部裝潢，包括壁爐周圍的壁紙都基於照片或其他文件重現。

<日本語仮訳>

旧久米家住宅洋館

この洋館は沼田出身の実業家、久米民之助（1861-1931）の敷地内に 1910 年頃に建てられた。建物は賓客をもてなすためのもので、隣接する和風の応接室や久米家の住宅と廊下でつながっていた。

平屋建てのこの邸宅は日本で最初期の鉄筋コンクリート建築だった。セセッション様式にインスパイアされたと言われるファサードは直線的なラインと、ターコイズブルーに塗られた誇張された庇や金属製のコーベルなどの装飾的な要素が組み合わされている。応接室はシャンデリア、大理石の暖炉、ヨーロッパの金唐革を模した金唐革紙の壁紙で飾られている。

邸宅の豪華さは、その所有者の地位の高さを反映していた。沼田藩主に仕える武士の家に生まれた久米民之助は東京で土木工学を学び、実業家として成功した。建設業、鉄道業、たばこ業で巨万の富を築き、政界でも成功を収め、衆議院議員を 4 期務めた。久米は故郷の沼田城跡を公園として整備し、後に地元に寄贈した。

久米は 1922 年に東京の邸宅を売却した。その後何度か所有者が変わるとともに、広大な敷地は分譲された。洋館は 2023 年まで元の場所にあったが、保存のため沼田に移築された。この際、建物は可能な限りオリジナルの材料を使用して 1910 年当時の姿に復元された。暖炉周りの壁紙など、

家具や内装は写真や資料をもとに再現された。

【タイトル】 街なか天狗プラザ/街なか天狗プラザ

【想定媒体】 WEB

＜簡体字＞

天狗广场与巨型面具

位于沼田市中心的天狗广场，到了夜晚可能会让人感到有些害怕。因为有个红脸、长鼻子的巨大天狗从一座带落地窗的小建筑内俯视着路人。不过无需担忧，这只天狗是该地区的守护神。天狗广场展示的巨大面具，是每年 8 月举办的沼田祭的核心元素。沼田祭为期三天，是一场热烈的庆祝活动，旨在弘扬当地的文化遗产。

这只面具重达 150 公斤，长 4.3 米，鼻子长 2.9 米。在节日期间，约有 300 名女性会与存放在迦叶山弥勒寺的另一只天狗面具一起，沿着沼田市中心的街道游行。

天狗广场设有免费停车场，方便游客近距离观赏巨大的天狗面具。停车场旁边设有公共卫生间，还有一家小型杂货店，可购买当地农产品和果酱、蜂蜜和腌菜等产品。

＜繁体字＞

天狗廣場與巨大面具

在沼田市中央的天狗廣場，到了夜晚便會看起來有些可怕，因為在這棟用玻璃板落地窗建構的小建築物中，有長鼻子的巨大赤面天狗面具瞪著路過的行人。不過，這也沒什麼好怕的，畢竟天狗是沼田當地的守護神，而這面巨大的天狗面具是每年八月舉辦之傳統祭典的重點特色。

這面天狗面具重達 150 公斤，整體長 4.3 公尺，鼻長 2.9 公尺。在祭典期間，會和在迦葉山彌勒寺中留存的天狗面具，一起由約三百位女性擔著在沼田市中心遊行。

在天狗廣場中備有讓人們可以近距離觀賞面具的免費停車場。而停車場旁邊有公共廁所，以及主要販售當地特產的小雜貨店。遊客可在那裡購買當地農產品及加工品，例如果醬、

蜂蜜及醃漬品等。

＜日本語仮訳＞

街なか天狗プラザと巨大な面

沼田市の中心部にある天狗プラザは、夜になると少し怖目な雰囲気にも包まれる。床から天井までガラス張りの小さな建物の中に、巨大な長い鼻と赤い顔をした天狗が鎮座し、通行人を見つめているからだ。しかし、恐れる必要はない。天狗はこの地域の守護神であり、天狗プラザに飾られる巨大な面は、毎年 8 月に 3 日間にわたって開催される地元の伝統行事「沼田まつり」の中心的存在である。

天狗面は重さ 150 キロ、丈 4.3 メートル、鼻の高さ 2.9 メートル。迦葉山弥勒寺に保管されている天狗面とともに、祭りの期間中、約 300 人の女性たちによって担がれ、沼田市中心部の通りを練り歩く。

天狗プラザでは巨大な天狗のお面を間近で見たい人のために無料の駐車場を用意している。駐車場の隣には公衆トイレがあり、小さな食料品店もあるので、地元の農産物やジャム、蜂蜜、漬物などの製品を手に入れることができる。

【タイトル】 吹割溪谷/吹割溪谷

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**吹割峡谷**

吹割峡位于沼田市中心东北约 30 分钟车程的片品川上，峡谷两侧是陡峭的裸露岩壁，高耸入云。在这条深邃的峡谷中，分布着几座瀑布，其中最为知名的当属吹割瀑布。吹割瀑布由多条瀑布相互交织而成，落差达 7 米。水流从岩石裂缝中飞泻而下，这些裂缝是历经数千年河流侵蚀而形成的。除了瀑布，峡谷周围还可以看到侵蚀的痕迹。例如，几处巨大的圆形岩坑是由水流携带着卵石，不断冲刷岩石而形成的。除此之外，还有一些悬崖边缘，经过侵蚀，其形状酷似能剧面具。沿着河流修有步道，有些地方可以通往岩石堤岸。

吹割峡一年中最为壮丽的时段，是每年四月中旬到五月初。此时，附近山脉的积雪大量融化，为河流带来充沛水量。水流奔腾不息，瀑布飞流直下。河岸两侧，绿意盎然，野花盛开。秋天，峡谷的景色同样迷人，五彩斑斓的秋叶与深色岩石和白色瀑布形成鲜明的对比。每年十月至十一月，经过长时间降雨后，部分瀑布下方会聚集起红色与橙色的枫叶，有时会形成一层色彩斑斓的“地毯”。冬天，峡谷呈现出宁静的雪景。冬季时，河边的步道会关闭。此时，最佳观景处是位于高处的六角堂。这座凉亭俯瞰着河流，在温暖时节会被繁茂的植被遮蔽。

<繁体字>**吹割溪谷**

立於片品川湍流兩側的陡峭岩壁，為距離沼田市中心北東車程約半小時的吹割溪谷。在這幽深的峽谷中有數個瀑布，其中包含吹割瀑布，這是一組高達七公尺、相互交織的瀑布，從千百年来河水流動造成的岩石裂縫中傾瀉而下。在瀑布周圍還可看見不少侵蝕作用留下的痕跡。比如在足以沖走卵石的主流中可看見岩石上頭的數個巨大凹洞；在峭壁沿路中則有由自然侵蝕所形成的能面模樣。河川附近皆設有鋪板步道，且在特定地點也有路線可以前往岩石河岸。

在四月中旬至五月上旬期間，可見吹割溪谷最有戲劇性變化的模樣。附近山上的雪融化後的水會填滿河川，使水沖下瀑布，通過花紅柳綠的河岸。秋季的溪谷也同樣閃耀，季節的紅葉與暗色岩石加上白色流水形成對比。在沼田十月下旬至十一月期間降下的長雨季之後，或紅或橘的楓葉會被沖刷至瀑布底下，有時會因為堵塞而形成多彩地毯。冬天則為溪谷帶來覆雪的寧靜景象。然而河邊的步道會於冬天停止開放，這時候最適合從觀景台六角堂欣賞美景。六角堂位於河川上方高處，在溫暖季節會因植被而部分覆蓋。

<日本語仮訳>

吹割溪谷

沼田市中心部から北東へ車で 30 分ほど行ったところにある吹割溪谷は、片品川の両岸にそびえ立つ岩肌がむき出しになった険しい溪谷である。この深い溪谷には吹割の滝をはじめとするいくつかの滝がある。吹割の滝は高さ 7 メートルもある滝で、数千年にわたる川の流れによってできた岩の割れ目に落ち込んでいる。滝の周辺には岩を削る円流に小石が巻き込まれてできた巨大な甕穴がいくつかあり、切り立った崖沿いには、自然が作り出した能面のような崖もある。川沿いの舗装された遊歩道で溪谷を散策することができ、ところどころにある岩の岸辺を歩くこともできる。

吹割溪谷が最もドラマチックに見えるのは 4 月中旬から 5 月上旬にかけての時期で、付近の山々からの雪解け水が川を満たし、水が滝を越えて、川岸の新緑や咲き誇る山野草を通り過ぎる。溪谷は秋にも輝き、季節の鮮やかな紅葉が暗い岩と水のコントラストを際立たせる。10 月下旬から 11 月にかけて沼田に降る長雨の後には、赤やオレンジのモミジの葉が滝の下に集まり、色とりどりの絨毯を敷き詰めることもある。冬には雪に覆われた静かな風景を見ることができる。この時期、川沿いの遊歩道は閉鎖されるため、冬の景色は六角堂から眺めるのがベストだ。六角堂は川から高い位置にある見晴らし台で、暖かい季節には植物に覆われてあまり見えない。

【タイトル】 大蛇みこし/大蛇みこし

【想定媒体】 WEB

＜簡体字＞

大蛇祭

每年五月，拥有老神温泉的小镇会举行盛大的大蛇祭，届时精美的蛇形花车将在镇中游行。这一庆典来源于一个古老的传说，讲述的是与附近的赤城山神祇有关的故事。

传说中，这位神祇化身为一條巨蛇，与位于赤城山东北方的男体山上的蜈蚣神展开激烈的战斗。在战斗中，蜈蚣用箭射中了巨蛇。蛇在撤退时拔出了箭，并将箭插入地面。随即热水从箭孔中喷涌而出治愈了巨蛇的伤口，使它最终击败了蜈蚣。

这位蛇神被供奉在老神温泉的赤城神社中，这座神社就建在传说中巨蛇伤愈的地方。大蛇祭是赤城神社举办的重要庆典。活动期间，人们会沿着镇子游行。游行时，参与者们会抬着一条长达 25 米的手工蛇形神轿，从一家温泉旅馆辗转至另一家，以此祈求蛇神的护佑。这条巨蛇有着精美的鳞片和威严的形态，生动重现了神话中蛇神的形象。此外，还有三个较小的蛇形神轿（每条约 20 米长），由儿童抬着一起游行。

历史上，庆典期间，信徒们曾抬着传统的神轿游行。可是这些神轿很重，无法抬到位于片品川沿岸的旅馆，而只能抬到城镇街道上。因此，更易于搬运的蛇形神轿便从 1950 年起代替传统神轿，加入了庆典。

2001 年，老神温泉的居民为纪念蛇神，建造了一个更大的蛇形神轿。这条长达 108 米，重达 2 吨的巨蛇由聚氨酯、木材和篷布制成，蛇头由碳纤维制成。这条巨蛇常年存放在老神温泉的一个仓库中，每 12 年（按照东亚传统生肖纪年法属蛇年时）在大蛇祭期间会取出展出一次。届时约 200 人会抬着这条巨蛇游行。这条巨蛇也在 2013 年被吉尼斯世界纪录认证为“世界上最长的蛇形花车”。

＜繁体字＞

大蛇祭

每年五月的「大蛇祭」期間，會有精美大蛇形神轎在老神溫泉的街上遊街。此祭典起源於包含附近赤城山神的古老神話。

傳說中，化身為大蛇的神位於赤城山的北東，曾與位於男體山（現今的日光國立公園）的蜈蚣神展開激烈的戰鬥。蜈蚣神的其中一支箭矢對大蛇造成重傷，而大蛇將其拔出插到地面上後引出地下的熱水，熱水治癒大蛇讓祂擁有反擊的力量。

大蛇神現在供奉於老神溫泉中的赤城神社，據說建於大蛇復活的地方。大蛇祭為此神社的祭典，以在街上遊行的形式慶祝，參加者們會扛著長達 25 公尺的手作大蛇狀神轎，從一家溫泉旅館到另一家溫泉旅館，以祈求大蛇神的加護。這條大蛇擁有細節精緻且可怕的特徵，彷彿將神話栩栩如生地呈現。而跟在主轎後頭，由小孩扛著的三個小蛇神轎（約長 20 公尺）也有同樣特質。

在以前的大蛇祭，信眾都會扛著傳統神轎遊街。然而由於傳統神轎過重，人們無法扛著走過片品川沿路的溫泉旅館。大蛇形狀的神轎推測機動性較好，於是從 1950 年代開始便採用於祭典之中。

於 2001 年，老神溫泉的人們製作了更巨大的大蛇神轎以敬奉神靈，其長 108 公尺、重達 2 噸，由聚氨酯、木材以及防水布所製，且擁有碳纖維所製的頭部。這座大神轎僅於東亞傳統干支十二年一度的蛇年帶出遊行，其餘時候都於老神溫泉中央的建築中常設展示。須有約 200 人的扛轎手才扛得動，於 2013 年認證為金氏世界紀錄「世界上最長的祭典蛇」。

<日本語仮訳>

大蛇まつり

毎年 5 月に開催される「大蛇まつり」では、大蛇の形をした精巧な神輿が老神温泉の街を練り歩く。この祭りは赤城山の祭神にまつわる古代の神話に触発されたものだ。

伝説では、大蛇の姿をしたこの神は、赤城山の北東に位置する、今の日光国立公園にある男体山のムカデ神と激しい戦いを繰り広げていた。ムカデの矢が大蛇を傷つけ、大蛇は後退しながら矢を引き抜

き、地面に突き刺した。矢が刺さった穴から湯が湧き出し、大蛇は癒されてムカデを追い返すことができた。

蛇の神は老神温泉の赤城神社に祀られているが、この神社は蛇が蘇った場所に建てられたという伝説がある。大蛇まつりはこの神社を中心に町内を練り歩くもので、参加者は長さ 25 メートルの手作りの大蛇の神輿を担ぎ、温泉宿から温泉宿へと神の守護を祈願する。神輿は神話に命を吹き込むような細かいうろこや恐ろしい特徴を持っており、メインの神輿に付随して子供たちが担ぐ（長さ 20 メートルほど）の 3 つの小さな蛇の神輿も同様である。

従来、大蛇まつりでは普通の神輿を担いで練り歩いたが、重くて、街道沿いではなく片品川沿いの旅館まで担ぐのは難しかった。そこで、蛇のような形をした神輿が登場し、1950 年代から祭りに取り入れられるようになった。

2001 年、老神温泉の人々は大蛇を祭るためにさらに大きな大蛇神輿を作った。長さ 108 メートル、重さ 2 トンのこの神輿はポリウレタン、木材、防水シートでできており、カーボンファイバー製の頭部を備えている。12 年に一度、東アジアの伝統的な干支暦である巳年に行われる大蛇まつりに、常設展示されている老神温泉の中心部にある建物から運び出される。担ぎ手は約 200 人で、2013 年には「世界最長の祭り蛇」としてギネス世界記録に認定された。

【タイトル】 老神温泉/老神温泉

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**老神温泉**

老神温泉是位于沼田市东部的片品川边的一个小型温泉村，河两岸陡峭的山丘上有 13 家温泉旅馆和酒店。这些设施提供传统的温泉度假体验，客人可以在各种公共浴池中泡澡，也可享用当地食材（如淡水鱼和时令蔬菜）制作的美食。

据传说，老神温泉已有一千多年的历史，相传是附近赤城山的神灵发现了这座温泉。在传说中，神灵化身为巨蛇，对抗位于东北方男体山的蜈蚣神。蜈蚣用箭射中了巨蛇，巨蛇拔出了箭，插入地面。热水便从地面喷涌而出，瞬间治愈了巨蛇的伤口，巨蛇重新恢复力量打败了对手。据说，老神温泉坐落在巨蛇伤愈的地方，蛇神被供奉在村庄上方的赤城神社里。

游客可以从内乐桥（一座横跨片品川的鲜红色吊桥）上欣赏到温泉村和周围山谷的美丽景色。

<繁体字>**老神溫泉**

老神溫泉為位於沼田市中央區東邊、片品川附近的小溫泉村，在河川兩旁林立著 13 間溫泉旅館和民宿。這些設施皆供應多種公共浴池，以及採用當地食材，如淡水魚和當季蔬菜製作的料理等傳統溫泉體驗活動。

根據傳說，人們來到這裡泡湯已有一千多年的歷史，而發現這片溫泉地的功勞要歸功於附近的赤城山之神。故事中的神明為了打倒位於北東的男體山之神而變身為蛇。在蛇神中了對手放出的箭受傷後，祂將箭矢拔出身體並戳進地面。熱水從地下湧出，蛇神的傷口便立即痊癒讓祂恢復對抗敵人的力量。於是老神溫泉就被稱為蛇神復活之地，傳說中的蛇神則

在村莊上方的赤城神社中被供奉著。

從片品川の紅色吊橋内樂橋可以欣賞村莊聚落以及周圍溪谷的風光。

＜日本語仮訳＞

老神温泉

老神温泉は沼田市中心部の東、片品川沿いにある小さな温泉郷で、川の兩岸の急峻な丘陵地に計 13 軒の温泉ホテルや旅館が建ち並んでいる。これらの施設では個々に趣向を凝らした浴槽での入浴や、川魚や季節の野菜など地元の食材を使った食事など、伝統的な温泉リゾートを体験することができる。

伝説によると、老神温泉では 1000 年以上前から人々が入浴しており、温泉の発見は近くの赤城山の神によるものとされている。赤城山の神は、北東にある男体山の神を退治するために蛇の姿になるが、相手の放った矢に当たって傷を負う。蛇神は矢を引き抜き、地面に突き刺す。湯が湧き出ると、蛇神はたちまち傷を癒し、敵を追い払う力を得る。老神温泉は蛇神が蘇った場所にあると言われ、神は町の上にある赤城神社に祀られている。

片品川にかかる真っ赤な吊り橋、内樂橋からは集落と周辺の溪谷の風景を眺めることができる。

【タイトル】 南郷の曲屋（旧鈴木家住宅）/南郷の曲屋（旧鈴木家住宅）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

南乡曲屋

南乡曲屋是位于南乡村的一座大型茅草屋顶农舍，距离沼田市中心以东 30 分钟车程处。该房屋建于 1785 年，原为富绅铃木家族的宅邸。铃木家族的家主是南乡的村长，这是铃木家族的世袭职位，他们也是当地的显赫地主。直至江户时代（1603-1867）晚期，当地统治者派往此地征税的官员在执行公务时常在这栋房子里留宿。

由于需要接待政府官员，这座房屋的布局也受到了一定影响。这座 L 形的建筑属于曲屋（“弯曲的房屋”）风格，这是日本北部寒冷地区农舍的典型建筑风格。房屋的一侧设有马厩和夯土地面的工作区，便于家人在严寒的冬季照料和保护马匹。但与普通农舍不同的是，房屋另一侧设有两间装修精美的榻榻米房间，这两个房间供武士官员居住。地位较高的客人会入住内间，内间有抬高的榻榻米和装饰性壁龛；而随从人员则被安排在外间居住。

在靠近客厅一角的工作区，设有一个地炉。这是整座房子的核心元素。炉火终年燃烧不熄，用来保持屋内温暖干燥。炉烟升腾至各个房间和天花板。尽管袅袅烟雾熏黑了墙面，却保护了木结构与茅草屋顶，使其免受腐烂与虫害的侵扰。饭菜也常在炉火上烹煮，锅或水壶可通过吊钩悬挂在炉火上。

除了主建筑，曲屋的院子里还有一座水车和四座具有防火土墙的库房。其中一座库房用来存放家族的传家宝、重要文件和其他贵重物品；另一座则储存粮食和农具。最小的一座库房是“味噌库”，用来制作和储存味噌和腌菜。

<繁体字>

南郷的曲屋

曲屋為位於河川沿岸小聚落南鄉的巨大茅草屋頂農舍，距離沼田市中心東邊約車程半小時。這棟農舍於 1785 年所建，屬於富豪鈴木家的住宅，鈴木家的家主為世襲的大地主。直到江戶時代（1603～1867 年），大名派來收稅的官員們，都會選擇於出差期間待在這裡過夜。

推測房屋的構造因接待官員的義務而受到影響。這棟 L 字型建築為日本寒冷地區農家的常見曲屋樣式。馬廄以及土間作業區並排於主要居住區的一旁，讓人們在嚴冬中也能照顧馬匹。不過，這棟農家建築有個不同之處，就是馬廄對面的兩間榻榻米房間，這些房間都用於提供武士官員住宿。而階級較高的客人會住在包含高架地板和壁龕的內側包廂，其隨從則住在外側的房間。

在距離客廳最近的工作區角落的下沉式壁爐（圍爐），為房屋的中心要素。圍爐裏中常燒有柴火，以保持室內溫暖乾燥。圍爐裏的煙會穿過房間及屋頂上升，雖會熏黑牆壁但可以防止蟲蛀木造建築或茅草屋頂。料理則使用鉤子吊掛鐵鍋或茶壺，同樣透過圍爐裏準備。

除了主建築之外，在曲屋的佔地內還有水車和耐火土壁的倉庫。其中之一為保管傳家寶和重要文件等貴重物品用的倉庫，其他倉庫則用來儲藏穀物和農具。在四個倉庫之中最小的倉庫為味噌倉庫，用來製作與保管味噌或其他醃漬品。

<日本語仮訳>

南郷の曲屋

「曲屋」は、沼田市中心部から東へ車で 30 分ほど行ったところにある、川沿いの小さな集落・南郷にある大きな茅葺き屋根の農家である。この家は 1785 年に建てられ、裕福な鈴木家の邸宅であった。鈴木家の当主は庄屋を世襲する大地主だった。江戸時代（1603～1867 年）には、大名から派遣された役人たちがこの家に泊まって職務を遂行した。

この家の間取りは、役人の接待の義務が影響していると考えられている。L 字型の建物は、北日本の寒冷地の農家によく見られる曲家の様式である。メインの居住スペースの脇には馬を飼うための馬屋と土間の作業場が併設され、厳しい冬でも馬の世話ができるようになっている。しかし、農家としては異例なのは、馬小屋の反対側にある 2 つの畳敷きの部屋である。これらの部屋は武士の役人が宿泊するのに使われた。身分の高い客は床の間と上段の間がある内間の部屋に泊まり、従者は外側の部屋に泊まった。

居間に最も近い仕事場の隅にある囲炉裏は、家の中心的な要素である。囲炉裏には常に火が置かれ、建物を暖かく乾燥させていた。囲炉裏の煙は部屋や天井を伝って立ち上り、壁を黒くするが、木造建築や茅葺き屋根を腐敗や虫から守った。食事も囲炉裏の上で調理され、鍋ややかんはフックに吊るされていた。

母屋のほか、曲家の敷地内には水車や耐火土壁の蔵が 4 棟ある。ひとつは家宝や重要書類などの貴重品を保管する蔵、他は穀物や農具を保管する蔵である。4 つの蔵のうち最も小さいのが味噌蔵で、味噌や漬物を作って保管していた。

【タイトル】 南郷の曲屋（旧鈴木家住宅）/体験メニュー

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

曲屋体验活动

在南乡曲屋，您可以体验到制作荞麦面或乌冬面、编织草鞋以及在温泉水中泡脚，这仅仅是体验活动的一部分。这里的活动多种多样，体验活动除了学习一些乡村生活技能，还有和西方生活有关的，诸如在院内的石炉中烤制披萨的活动。

烹饪

了解当地饮食文化最直接的方法，就是按传统方法、使用传统炉灶来制作一道当地的菜肴。南乡周围的山区土地并不适合水稻种植，当地以小麦和荞麦为主要食物。游客们可以在曲屋亲手制作乌冬面（小麦面）和荞麦面，通过擀面、切面，再在炉灶上煮熟。随后，面条会搭配刚炸好的天妇罗，以及一系列当地食材制作的小菜一起上桌。其他与当地饮食文化息息相关的美食体验活动包括制作馅饼，这是一种用小麦粉制成的圆形馅饼，内馅为腌菜或甜红豆沙，在明火上烤制而成；还有面团汤（类似中国北方的拨鱼儿），这是一种丰盛的汤品，里面有面团、蔬菜和猪肉；此外，还可以制作魔芋糕，这是一种用魔芋制成的质地紧实的凝胶状食物，也是该地区的另一种主要食材。

手工艺

游客能够通过亲自制作一双草鞋，来体验这项南乡等乡村往昔岁月里必不可少的传统手工艺。这种构造简易的户外鞋，曾是日本乡村百姓的日常鞋履，历时几百年。这里还提供季节性的体验活动，例如装饰风铃，夏天时风铃清脆的铃声令人神清气爽。

游客在参观曲屋之余，可在主楼旁的足浴处泡泡脚，放松身心。游客付过门票后就可以享受足浴。曲屋的其他活动通常收费在 500 日元到 1000 日元之间，需要提前预约。

<繁体字>

南郷曲屋の體驗活動

不管是手工製作蕎麥或烏龍麵，製作草鞋又或是享受溫泉足湯，都還只是您可在南郷「曲屋」中體驗的一部分活動。當地提供的節目多元，手作課程從傳統村莊生活必要的技能，到融合異國風情的體驗，比如使用石窯來製作窯烤披薩。

烹飪

使用傳統方式，在傳統的爐灶上烹調，從頭開始準備一道當地料理，正是認識當地飲食文化的最可靠的方法之一。由於南郷周邊的山地並不適合稻米生長，小麥和蕎麥就成為了當地的主要食物。在曲屋中，遊客可以從擀麵開始到切麵、使用爐灶煮熟，完整體驗手作烏龍麵（使用小麥）和蕎麥麵（使用蕎麥）。製作完成的麵還可搭配剛炸好的天婦羅，和以當地食材製成的各式小菜一同享用。其他飲食體驗還包括製作包入醃菜或甜紅豆沙餡的小麥餡餅「御燒」，並在明火爐灶烤製；以及製作放入麵粉團、蔬菜、豬肉等配料的湯物「水團」，又或是使用當地常用食材蒟蒻來製作的明膠狀食品「蒟蒻」。

工藝品

草鞋為在日本農村中傳承數世紀的庶民戶外鞋，而透過使用稻草製作草鞋，便可體驗到此一在有如南郷的村莊中不可或缺的技能。另外還有季節性的體驗，包括裝飾風鈴，風鈴聲在炎熱的夏天聽起來沁人心脾。

遊客還可在曲屋的主建築一旁的足湯中泡腳暫歇，只要付了入場費就能使用。曲屋其他體驗活動的花費則為每人 500 圓到 1000 圓之間，需事前預約。

<日本語仮訳>

南郷の曲屋の体験メニュー

そば打ちやうどん打ち、ぞうり作り、温泉に足を浸すなどは、南郷にある「曲屋」で提供されているアクティビティのほんの一部に過ぎない。伝統的な村の暮らしに欠かせない技術を伝授するワークショップから、敷地内にある石窯でピザを焼くなど、国際色豊かなオプションまで、体験型のワークショップが用意されている。

食

この地域で何世紀にもわたって食べられてきた料理を、伝統的な方法で一からかまどで調理することは、地元の食文化に親しむ最も確実な方法のひとつです。南郷周辺の山地は稲作に適していなかったため、小麦や蕎麦がこの地域の食生活の2つの柱となっていた。曲屋ではうどん・そば打ち体験ができる。生地をのばし、麺を切り、釜戸の鍋でゆでる。揚げたての天ぷらや、地元の食材を中心とした小皿料理の数々と一緒にいただく。このほか、漬物やあんこが入った小麦団子「おやき」を囲炉裏で焼いたり、小麦団子や野菜、豚肉が入った具だくさんの汁物「すいとん」を作ったり、こんにゃく芋から作られる固めのゼラチン状の食品で、この地域の定番食材でもある「こんにゃく」を作ったりするなど、地元の食文化に根ざした体験ができる。

工芸品

日本の農村で何世紀にもわたって庶民が履いていたシンプルな外履き・草履をわらで作ることによって南郷のような村で不可欠な技術を体感することができる。夏の風物詩である風鈴の飾り付けなど、季節ごとの体験もできる。

母屋横には足湯があり、曲屋散策の休憩に利用できる。入館料を払えば誰でも利用できる。その他のアクティビティは通常1人500円から1,000円で、事前予約が必要。

【タイトル】 沼田のフルーツ/沼田のフルーツ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

沼田的水果

在沼田市中心以外的地区，游客一定会看到色彩斑斓的路边广告牌，宣传着自采水果的农场和果园。果树种植是沼田地区的主要产业，不过沼田的水果鲜少在市外出售。沼田大约有 100 家果园，其中大多数依靠直接销售和自采方式维持运营。

沼田以苹果闻名遐迩。大规模苹果种植始于 20 世纪 80 年代，当时人们发现，沼田的气候特别适于苹果树生长，充足的阳光以及较大的昼夜温差为其提供了得天独厚的条件。在农民的辛勤耕耘与当地农业研究中心的大力支持下，沼田培育出了多种本地苹果品种。这些苹果和其他几十个品种通常在 9 月到 12 月间成熟。沼田的苹果，除了直接采摘食用，还可用于制作果酱、果汁和苹果酒等食品。

此外，沼田还种植其他各类水果：樱桃和蓝莓分别在 6 月和 7 月进入采摘季节；李子和梅子从 7 月到 9 月可供采摘；葡萄的采摘期为 8 月至 10 月；柿子在 10 月和 11 月收获；草莓则从 11 月至次年 6 月均可采摘。

<繁体字>

沼田的水果

只要在沼田市中心以外的地區中探索，大概都能看見路邊放置著各種可把水果帶回家的農場或果園的多彩廣告看板。雖然水果栽培為該地區的主要產業，但沼田市的水果幾乎不會外銷，其中約一百座農場都透過自產自銷或採果體驗活動經營。

沼田以蘋果的產地而聞名。1980 年代，人們發現沼田的氣候的適合蘋果樹生存，尤其長日照時間和日夜巨大溫差更是適合，因此開始大規模的蘋果種植。經過果農和當地農業研究所的努力，開發出許多沼田本地蘋果品種。其中數十種品種產季為九月至十二月，不只

現摘現吃，也可以加工為果醬、果汁和蘋果酒享用。

在沼田還能收穫其他水果包括櫻桃和藍莓，產季各為六月和七月，七月至九月則有李子和梅子。八月至十月可採摘葡萄，柿子產於十月至十一月，且在十一月至六月期間還可採草莓。

＜日本語仮訳＞

沼田のフルーツ

沼田市の中心部以外を散策していると、道端に色とりどりの果物狩り農園や果樹園の看板が立っているのに出くわすだろう。果物の栽培はこの地域の主要産業だが、沼田市内に約 100 軒ある農園のほとんどが、直売と摘み取り料で経営しているため、沼田産の果物が市外に出回ることはいらない。

沼田は特にリンゴの産地として知られる。1980 年代から大規模に栽培されるようになった。リンゴの木は、日照時間が長く、日中と夜間の気温差が大きいこの地域の気候に適していることがわかった。農家の努力と地元の農業研究所の協力により、沼田生まれのリンゴ品種が数多く誕生した。これらの品種をはじめ、数十品種が 9 月から 12 月にかけて熟す。収穫して食べるだけでなく、ジャムやジュース、シードルとしても楽しめる。

そのほか、6 月にサクランボ、7 月にブルーベリー、7 月から 9 月にかけてプルーンやプラムが出回る。ブドウは 8 月から 10 月、柿は 10 月から 11 月、イチゴは 11 月から 6 月にかけて収穫できる。

地域番号	054	協議会名	蒲都市竹島エリア多言語解説協議会

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
054-001	八百富神社/八百富神社・および境内内神社 （宇賀神社・大国神社・千歳神社・八大龍神社・ 宝物）	1600	パンフレット
054-002	蒲郡クラシックホテル（旧蒲郡ホテル）/本館（旧 蒲郡ホテル本館）	1500	パンフレット
054-003	蒲郡クラシックホテル（旧蒲郡ホテル）/六角堂 （旧蒲郡ホテル聚美堂）	390	パンフレット
054-004	蒲郡クラシックホテル（旧蒲郡ホテル）/料亭竹島 （旧常磐館梅別館）	350	パンフレット
054-005	蒲郡クラシックホテル（旧蒲郡ホテル）/鶯宿亭 （旧常磐館別館茶室）	450	パンフレット
054-006	海辺の文学記念館/海辺の文学記念館	1220	パンフレット
054-007	蒲郡の食文化/蒲郡の食文化	1230	パンフレット
054-008	ホテル竹島/ホテル竹島	800	パンフレット
054-009	竹島クラフトセンター/三河木綿と機織り体験	630	パンフレット
054-010	藤原俊成/藤原俊成、竹島園地、俊成苑	700	パンフレット
054-011	蒲郡について/蒲郡について	1050	パンフレット
054-012	蒲都市竹島水族館/蒲都市竹島水族館	500	パンフレット

【タイトル】 八百富神社/八百富神社・および境内内神社（宇賀神社・大国神社・千歳神社・八大龍神社・宝物）

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

八百富神社

八百富神社是一个神道圣地，占地覆盖整座竹岛。竹岛位于蒲郡海岸附近，由一座 380 米长的步行桥与大陆连接，岛上郁郁葱葱的植被之间矗立着主神社和几座附属神社。八百富神社的历史可以追溯到 12 世纪，不过人们认为早在很久之前竹岛就被视作神圣之地。人行步道穿过神社，之后沿着岩石海岸折返回桥边。人们可以通过人行步道探索八百富神社和竹岛的魅力。

峥嵘往昔

八百富神社由朝廷大臣兼诗人藤原俊成（1114 -1204）于 1181 年创立，当时他担任三河国（今“爱知县”东部）的国司。尽管关于这座神社早期历史的记载少之又少，但是一则传说却流传了下来。相传，琵琶湖内有一座叫竹生岛的小岛，这座小岛距离当时作为日本首都的京都很近，藤原俊成更是极为熟悉岛上那座供奉海洋神祇的神社。

竹生岛神社供奉的是弁才天，这位与水有关的神祇，是艺术、文化的守护神。受到竹生岛神社的启发，藤原俊成在竹岛上设立了这座神社的分社。从而，八百富神社也开始供奉相同的神祇了。人们认为“竹岛”这个名字也是源于同一个故事，相传藤原俊成曾从琵琶湖带来了一对竹子，而后种在了这座岛上。

竹岛的秀丽景色激发了众多知名人物的创作灵感，他们传承藤原俊成的信仰，坚信这座岛屿蕴藏着神秘强大的力量。公元 1600 年，德川家康（1543-1616），这位创立了统治日本长达两百五十年之久幕府的人物，途经竹岛之时，曾向神明祈求在战场上收获好运。20 世纪伊始，诸多知名作家都在入住位于海边的常磐馆旅馆期间，登岛拜访一番，其中包括诺贝尔奖得主川端康成（1899-1972）。

神社云集

除了主殿弁才天神社，八百富神社的境内还包括四座附属神社。宇贺神社，供奉的是商业和食物之神，许多信徒前来祈求生意兴隆。大黑神社，供奉的是繁荣之神，人们普遍认为这是商人、农民和厨师的守护神。千岁神社，供奉的是藤原俊成，人们将他奉为神祇供奉。

最后一座是八大龙神社，供奉海神。由于它是竹岛上的第一座神社，因此备受崇敬。据说早在藤原俊成到来之前，竹岛就已经因是供奉海洋神祇的圣地而广受推崇。这座神社与主神社八百富神社一样，独具特色，朝北而建。在人们的普遍认知中，神道神社朝南而建是最为吉祥的朝向。然而，竹岛上的神社却采用了相反的布局。这样做或许是期望神祇能够守护住对面的大陆——人们繁衍生息的居住地。

绿意盎然（竹岛：自然纪念物）

由于竹岛长期被奉为圣地，所以数百年来没有引进任何新的树木或是植物，因此岛上的原始植被得以保留至今。暖温带的常绿树木几乎覆盖整座岛屿，而人行桥对面大陆上的松树林和精心打理的草坪与之形成了鲜明对比。

竹岛上有 230 余种植物，其中一些物种颇为引人注目。其中，红楠（*Machilus thunbergii*）尤为突出，属叶月桂树，身姿挺拔，可长至 30 米，宛如一位巨人屹立于整片树林之上，尽显卓然风姿。还有日本肉桂（*Cinnamomum yabunikkei*），叶子呈深绿色，叶片不仅散发着幽幽的香气，还透着光泽，三条叶脉清晰可辨。在那繁茂密集的灌木丛里，生长着数种蕨类植物、藤本植物以及各类灌木。松村苔草（*Carex matsumurae*）属莎草，是一种生长在树下的有着尖刺状种子穗的草本状植物。松村苔草通常生长在亚热带地区，而竹岛是日本太平洋沿岸其生长的最北端。

若想探索神社境内的风貌，可沿着一条铺设完成的人行步道一探究竟。这条步道起于人行桥，一直通往主神社的大殿。步道从这里出发，沿着岛屿继续延伸，依次穿过一座座附属神社，一路蜿蜒向前，最终抵达海滨之处。随后，顺着海岸线徐徐前行，最终又绕回到人行桥。环岛漫步大约需要 30 分钟。

山车（花车）的节日

每年举办的八百富神社大祭是探访竹岛的最佳时节，这个盛大的节日通常在十月的第三个星期六和星期日举行。整个活动，亮点颇多，其中包括一场庆祝日本神话中七福神的舞蹈。值得一提的是，其中一位福神正是竹岛大黑神社的守护神；此外，节庆期间还会在大

陆举行游行，花车代表着八百富神社传统教区的 18 个邻里。

〈繁体字〉

八百富神社

八百富神社為覆蓋竹島全體的神社，矗立於蒲都市附近的海上。日本本島和竹島由全長 380 公尺的人行橋連接，神社本殿等數間分社則立於鬱鬱蔥蔥的綠林中。雖說雖說八百富神社的歷史可以追溯到 12 世紀，但在更早之前，竹島就已被視為神聖的存在。您可透過步道探索，橫跨神社境內，環遊竹島一周回到沿海石岸的橋。

有淵源的過去

八百富神社於 1181 年，由當時擔任三河國（現愛知縣東部）知事的藤原俊成（1114–1204）所建。儘管這間神社的初期歷史鮮為人知，但根據傳說，藤原俊成對於琵琶湖中的小島—竹生島上的類似聖地較為熟悉，該座小島靠近當時的首都京都。

竹生島的神社供奉著辯才天，辯才天為和水有關聯且被奉為藝文守護神的神祇。受到竹生島啟發的藤原俊成於竹島建造其分社，因此八百富神社供奉的主神也是辯才天。而俊成還從琵琶湖帶回了一對竹，將其種於島上，而這個逸事也被認為是「竹島」的名稱由來。

繼藤原俊成之後，許多名人也被竹島的美景感動，慕名而來，開始相信這座島擁有神秘的力量。1600 年，支配日本兩世紀半之久的政權——幕府的創始者將軍德川家康（1543–1616）就曾為祈求在戰場旗開得勝而來到竹島。而在 20 世紀初期，包含諾貝爾獎作家川端康成的許多作家都曾造訪這座島，在海邊的旅館「常磐館」留宿。

精選神社

在八百富神社的境內除了供奉辯才天的本殿之外還有其他四間神社。其中「宇賀神社」祭祀掌管商業及食物的神，擁有許多來此祈求生意興隆的信眾。「大黑神社」則祭祀代表豐穰的神祇，被奉為商人、農夫以及廚師的守護神。於「千歲神社」則把藤原俊成作為神祇祭拜。

四間神社中最後一間「八大龍神社」，該神社供奉海神，據說為竹島的元祖神社。人們推測在藤原俊成來到竹島之前，該島的人民們就信仰著和海有關的神祇。而這間神社也和八

百富神社本殿一樣朝北建造，為該神社的一大特色。通常人們認為神社坐北朝南建造最為吉利，但在竹島，或許是為了讓神社中的神祇們也能夠守望本土的人民們才這樣建造的。

綠意盎然（竹島：自然紀念物）

由於竹島從以前開始就被當作神聖之地，幾世紀以來都沒有外來的新種樹木或植物，保有原生植被。全島整體由溫帶萬年青覆蓋，和本土的松林以及在橋對面被好好照護的草原形成對比。

竹島上有 230 多種植物，最值得一提的物種為生長高度能高達 30 公尺、超越其他樹群的闊葉樹紅楠（*Machilus thunbergii*）和帶有香氣，且以三條葉脈的深綠色光滑葉片為特徵之藪肉桂（*Cinnamomum yabunikkei*）等。島上的密生地面植物則由蕨類、藤本植物以及灌木所組成。在樹林之下則生長著稱為日本莎草（*Carex matsumurae*）的牧草狀植物，其植物的特徵為在葉子末端的刺狀種子。日本莎草多分布於亞熱帶地區，而竹島則是其位於日本太平洋海岸的最北端生長地。

您可從人行橋走下步道，進入神社境內探索，參訪本殿。自本殿出發，步道路線更是橫貫整島，經過其他神社直至沿海地區。而步道的路線沿著海岸線鋪設又會回到人行橋。這樣漫遊竹島一圈只花 30 分鐘。

山車祭典

十月的第三個星期六及星期日为竹島的人氣觀光時期之一，期間將舉辦八百富神社的例行大型祭典。祭典的亮點包含在日本神話中登場的七福神——同時也是在竹島大黑神社中祭祀的神祇之一——的祝神舞，和在日本本土帶著代表八百富神社 18 氏子（信徒）區域的山車（在日本的節日祭典中登場的彩飾花車）繞境等。

<日本語仮訳>

八百富神社

八百富神社は、蒲郡市の沖合に浮かぶ竹島に鎮座する神社である。全長 380 メートルの歩道橋が本土と竹島を結んでおり、緑豊かな植生の中に本殿などいくつかの神社が建っている。八百富神社の歴史は 12 世紀まで遡るが、島はそれよりも遥か昔から神聖視されていたと考えられている。神社と島は境内を横切り、海沿いの岩場に沿って橋まで戻る散策路で探索できる。

由緒ある過去

八百富神社は、藤原俊成（1114-1204）が三河国（現在の愛知県東部）国司を務めていた1181年に創建した。この神社の初期の歴史については確実なことが多く知られていないが、社伝によると、俊成は京都近郊の琵琶湖の小島、竹生島にある同じような神社に親しみを覚えた。

竹生島の神社は、水にまつわる神、ひいては芸術や文化の守護神とされている弁財天を祀った。俊成は竹島にその分霊を勧請したため、八百富神社の祭神も弁財天である。俊成が琵琶湖から一対の竹を持ち帰り、島に植えたと言われている。竹島という地名も、この伝承に由来すると考えられている。

藤原俊成の後に登場した多くの著名人も竹島の風景に感銘を受け、島の神秘的な力を信じてきた。2世紀半の間、日本を支配した幕府の創始者である徳川家康（1543-1616）は、戦場での幸運を祈願するために1600年に竹島に立ち寄った。20世紀初頭には、ノーベル賞受賞者の川端康成（1899-1972）を含む多くの著名な作家が、海辺の旅館「常磐館」に滞在しながら島を訪れた。

いくつかの神社

八百富神社の境内には本殿の弁財天のほか、4つの神社がある。「宇賀神社」は商業や食物の神を祀っており、商売繁盛を祈願する信者が多い。「大黒神社」は繁栄の神を祀っており、商人、農民、料理人の守護神とされている。「千歳神社」は藤原俊成を祭神としている。

最後の「八大龍神社」は海の神様を祀っており、竹島の元祖の神社としても知られている。竹島は俊成が来島するはるか以前から、海にまつわる神々の住まいとして信仰されていたと考えられている。この神社もまた、八百富神社本殿と同様、北を向いているのが特徴だ。一般的に神社は南向きが最も縁起が良いとされているが、竹島では人々が暮らす本土を見守るために、逆の配置が採用されたのかもしれない。

壮大な緑（竹島：天然記念物）

竹島は昔から神聖な場所とされているため、何世紀もの間、新しい樹木や他の植物が持ち込まれることがなく、本来の植生が保たれている。島全体が常緑の暖帯林に覆われており、本土の松林や橋の向こうの丹念に手入れされた芝生とは対照的だ。

230種を超える竹島の植物の中で特筆すべき種は、高さ30メートルに達し、森の他の部分より高くそびえ立つ広葉樹のタブノキ（*Machilus thunbergii*）や、濃い緑色の葉に香りがあり、光沢があり、3本の特徴的な葉脈があるヤブニッケイ（*Cinnamomum yabunikkei*）などである。数種類のシダ、つる植物、低木が密生した下草を構成している。木々の下には、キノクニスゲ（*Carex matsumurae*）という、とがった種子の頭を持つ草のような植物も生息している。キノクニスゲは亜熱帯地域に多く、日本の太平洋岸では竹島以北に生育していない。

神社の境内は歩道橋から始まる舗装された遊歩道を通って本殿まで行くことができる。そこから島を横切り、他の神社を通り過ぎ、海辺へと下っていく。遊歩道は海岸線に沿って橋まで戻る。のんびりと島を一周するのに 30 分ほどかかる。

山車の祭り

竹島を訪れるのに最も人気のある時期のひとつが、10 月の第 3 土曜日と日曜日に行われる八百富神社の例大祭である。竹島の大黒神社の神を含む、日本神話や昔話に登場する七福神を祝う舞が行われ、八百富神社の 18 の氏子地区を代表する山車が本土を練り歩くなど。

【タイトル】 蒲郡クラシックホテル（旧蒲郡ホテル）/本館（旧蒲郡ホテル本館）

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

蒲郡经典酒店

蒲郡经典酒店坐落在小山之上，宛如一座城堡，居高临下将竹岛和三河湾美景尽收眼底，三者相映成趣，构成一幅壮丽迷人的景象。酒店始建于 1934 年，有着深厚的历史底蕴。这座酒店作为政府首批指定的国际旅游酒店建设运营，开业不久，就迎来了美国全明星棒球队成员。酒店建筑风格独特，内饰大多保留开业时的原貌，仅增设了现代化设施，宛如一个窗口，游客可以从中窥探往昔的生活方式与品味。这座酒店以及位于其景观园区内的三座附属建筑，均被登记为“有形文化财产”。

燃情项目

如今的蒲郡经典酒店由滝信四郎（1868-1938）创办，他是一位来自名古屋的商人，通过纺织品贸易积累了财富。滝氏家族在蒲郡拥有一座度假别墅，滝信四郎非常喜爱三河湾的美景。他决心将蒲郡打造成一个旅游胜地，并于 1912 年在对岸开设了一家名为“常磐馆”的旅馆，旅馆选址正对竹岛。

滝信四郎邀请了许多著名文学人物入住常磐馆，包括川端康成（1899-1972）、谷崎润一郎（1886-1965）和志贺直哉（1883-1971），并希望他们能以蒲郡作为题材进行创作。这些作家都在作品里提及了蒲郡，促进了这一地区的声誉传播。这种初步成效进一步坚定了滝信四郎开发竹岛地区的决心。20 世纪 30 年代初期，滝信四郎出资修建了一座通向竹岛的永久性桥梁，同时还在常磐馆上方的山丘处建造了一座西式酒店。

滝信四郎的决定得到了日本政府的支持，彼时，日本政府希望通过吸引国际游客从而改善贸易逆差。政府为建设能够接待外国游客的西式酒店提供了公共融资，滝信四郎积极争取，成功获得了其中一部分资金。1934 年，由他打造的酒店以“蒲郡酒店”之名开业，并且一经开业便被指定为“国际旅游酒店”，当时这是接待外国客人的必备条件。

贵宾到访

开业短短几个月后，蒲郡酒店便迎来了历史上最为著名的一批国际客人。1934 年 11 月，美国大联盟全明星棒球队将蒲郡酒店作为其在名古屋和静冈附近进行表演赛的下榻地。在长达一个月的日本巡回比赛期间，美国队共计进行了 18 场赛事，主要对手为日本全明星队。这次巡回比赛得到了广泛关注，并且在美日两国政治关系紧张时期，有效促进了双方之间的友好情谊。

然而，棒球外交未能阻止两国走向战争，在第二次世界大战期间，日本军队征用了蒲郡酒店，将其作为医院使用。战争结束之后，美国军方进行了效仿，把这座酒店以及周边区域改造成了休闲设施，并命名为“竹岛疗养中心”。直到 1952 年，退役的军人们在返回太平洋彼岸之前，在这里调养生息。

美军撤军后，这座酒店经历了一番翻修，随后重新对外开放。1957 年，酒店接待了昭和天皇（1901-1989）与香淳皇后（1903-2000）。2012 年再次翻修，同时更名为“蒲郡经典酒店”。

回顾往昔

设计主楼伊始，就将吸引外国游客作为其设计目标，巧妙融合了传统日本寺庙和西式城堡建筑的诸多特色元素，比如观赏性极强的装饰性山花、轻盈灵动的飞檐以及塔楼式延伸部分。客房与餐厅面向酒店庭院，可俯瞰竹岛和三河湾，并且保留了诸多原始设计特色。其中包括富有艺术性的装饰陈设，如大堂里的枝形吊灯、以花卉为主题的电梯表盘，还有大理石窗台以及青铜装饰。值得一提的是，皇家套房和酒店的主题餐厅原汁原味重现了 20 世纪 30 年代的独特韵味。

酒店主楼以及三座附属建筑，均被登记为“有形文化财产”。在这些建筑当中，有两座建筑——THE COVE 餐厅以及曾经的莺宿亭茶屋——始建于 1916 年，这两座建筑当时作为常磐馆的附属建筑而建，常磐馆已于 1982 年拆除。第三座是六角堂，建于 1936 年，原是莺宿亭茶屋的等候室。

蒲郡经典酒店是日本经典酒店协会的九大会员之一。这些会员酒店均建于二战前，因其文化或建筑价值被指定为保护建筑。

＜繁体字＞

蒲郡經典飯店

如城堡般的蒲郡經典飯店，位於可一望竹島及三河灣風光的高台。該設施於 1934 建造，為日本第一間作為國際觀光飯店開幕，以外國觀光客為主要接客對象的飯店，它還擁有在開始營業不久後即負責接待以貝比·魯斯為首的美國全明星棒球隊之這段不簡單的歷史。該飯店不管是其建築的特徵還是內裝家具，除了加上現代的便利設備之外都維持剛開幕時的舊有風貌，可從中一窺當時的生活風情。而飯店的主棟與佔地內之三棟分棟建築皆為日本登錄有形文化財。

熱血的計畫

現在的蒲郡經典飯店為當時以紡織業致富的名古屋商人瀧信四郎（1868-1938）所建。瀧家在蒲郡擁有度假別墅，而信四郎特別鍾愛三河灣的景色。決定把蒲郡搖身一變為觀光勝地的他，在 1912 年於竹島的對岸開設了旅館「常磐館」。

瀧信四郎將川端康成（1899-1972）、谷崎潤一郎（1886-1965）、志賀直哉（1883-1971）等知名的文學作家招待至常磐館，委託他們為蒲郡執筆撰寫文章。有了這些名作家作品的宣傳，蒲郡變得更廣為人知，這份成功更是強化了信四郎想要開發竹島地區的決心。1930 年代初期，他開始為了在竹島造一座持久橋提供建設資金，還在常磐館上方的高台建設了一間西式飯店。

瀧信四郎的決策受到政府的支持，將把外國觀光客帶來日本觀光的行動作為平衡貿易收支赤字的改善手段。政府資金開始能夠作為建設接待外國觀光客之西式飯店所用，其中信四郎也成功說服政府得到了其資金的一部分。而「蒲郡飯店」於 1934 開幕之後，立刻就被指定為「國際觀光飯店」，主要接待來自海外的外國觀光客們。

星光熠熠的貴客們

僅在開幕數個月內，蒲郡飯店就接待了該飯店歷史中或許最知名的海外觀光訪問團。1934 年 11 月，美國大聯盟全明星棒球隊，曾以該飯店為基地，在鄰近的名古屋和靜岡進行表演賽。以傳說選手貝比·魯斯（1895-1948）為首，盧·賈里格（1903-1941）、吉米·法克斯（1907-1967）等名選手們也參加了這場盛事。美國的選手們來到日本遠征，和日本的全明星隊進行了長達一個月共 18 場友誼賽，引起各界矚目，也舒緩了當時日美政治關係的緊張。

然而棒球外交依然無法阻止日美戰爭，日軍在第二次世界大戰中徵收蒲郡飯店作為醫院使用。戰後，美軍也效仿將飯店及周圍改造為遊憩設施，即現今的竹島休憩中心。該設施直到 1952 年都為提供退役軍人在回歸太平洋另一端之前休養使用。

美軍占領結束之後，飯店重新營業並進行翻修，更在 1957 年負責接待昭和天皇（1901-1989）與香淳皇后（1903-2000）。接著在 2012 年，飯店完成翻新裝潢，改名為蒲郡經典飯店後重新開幕。

來自過去的景色

主棟的外觀為吸引外國觀光客所設計，其結合日本寺廟及城郭傳統元素如飾紋破風、飛簷（日式屋頂向外突出翹起的部分）、還有塔狀加蓋樓。客房及餐廳則保留原有設計特色，將竹島及三河灣風光盡收眼底。其中大廳的水晶吊燈、以花為意象的電梯按鈕、大理石窗框、青銅裝飾品等裝飾藝術家具也都保存當時面貌。尤其尊榮雙人套房和飯店的主餐廳更是營造出 1930 年代的氛圍。

除了主棟之外，另外三間分棟建築也是日本登錄有形文化財。其中兩間分棟「THE COVE」「鶯宿亭」都曾作為旅館「常磐館」的一部分建造，並於 1982 年遭到拆除。另外，於 1936 年建造的「六角堂」也曾為「鶯宿亭」的候客室。

蒲郡經典飯店為日本經典飯店組織協會的九間飯店之一。成員飯店皆在二戰前建造，因其文化及建築重要性被指定保存到現代。

<日本語仮訳>

蒲郡クラシックホテル

竹島と三河湾を見下ろす高台に、お城のような佇まいの蒲郡クラシックホテルがある。1934 年創業のこのホテルは、国内初の「国際観光ホテル」（外国人観光客向け政令指定ホテル）として開業し、すぐにベーブ・ルースを擁するアメリカのオールスター野球チームを宿泊させたという由緒ある歴史を持つ。建築的に特徴的な建物や調度品は、近代的な設備を加えた以外は、その多くが開業当時のまま維持されており、当時の生活や嗜好を垣間見ることができる。ホテルの本館と敷地内にある 3 棟の別館とともに国の登録有形文化財になっている。

情熱のプロジェクト

現在蒲郡クラシックホテルとして知られるホテルは、織物商で財を成した名古屋の実業家、滝信四郎

(1868-1938) によって設立された。滝家は蒲郡に別荘を持っており、信四郎は三河湾の風景が気に入っていた。蒲郡をより有名な観光地にすることを決意した彼は、1912 年、竹島の対岸に旅館「常磐館」を開業した。

滝は川端康成（1899-1972）、谷崎潤一郎（1886-1965）、志賀直哉（1883-1971）ら著名な文学者を常磐館に招き、蒲郡について執筆を依頼した。これらの作家の作品に紹介されたことで蒲郡は広く知られるようになり、この成功によって、滝は竹島地域の開発への決意を固めた。彼は 1930 年代初めに竹島への恒久的な橋の建設に資金を提供し、常磐館の上の丘に西洋式ホテルを建設した。

滝の決断は政府によって支持された。政府は日本の貿易収支のマイナスを是正する手段として外国人観光客を日本に呼び込もうとした。外国人観光客を受け入れるための西洋式ホテル建設に公的資金が提供されることになり、滝はその資金の一部を得るための陳情に成功した。1934 年に「蒲郡ホテル」として開業すると、すぐに海外からの客を受け入れるための条件である「国際観光ホテル」指定を受けた。

名誉あるゲストたち

蒲郡ホテルは開業からわずか数ヶ月で、おそらくその歴史の中で最も有名な海外からの訪問者たちを宿泊させた。1934 年 11 月、アメリカ大リーグのオールスターズ野球チームが、名古屋と静岡で行われたエキシビジョンゲームの拠点としてこのホテルを利用したのだ。伝説的なベーブ・ルース（1895-1948）を筆頭に、ルー・ゲーリッグ（1903-1941）、ジミー・フォックス（1907-1967）といった名選手も参加した。アメリカ人選手たちは主に日本のオールスターチームと 1 ヶ月間の遠征中に 18 試合を行い、大きな注目を集め、政治的関係が緊張していた当時の日米間に親善をもたらした。

しかし、野球外交は日米の戦争を止めることはできず、日本軍は第二次世界大戦中、蒲郡ホテルを病院として使用するために接収した。戦後、米軍はホテルとその周辺をレクリエーション施設にした。竹島レストセンターとして知られるこの施設は 1952 年まで使用され、除隊した軍人が太平洋を横断する前に休息し、回復する機会を提供した。

アメリカの占領が終わるとホテルは再開・改装され、1957 年には昭和天皇（1901-1989）と香淳皇后（1903-2000）をお迎えした。さらに 2012 年には改装が完了し、蒲郡クラシックホテルとしてリニューアルオープンした。

過去への眺め

本館は海外からの観光客にアピールするために設計され、飾り破風、突き出た軒、塔のような部分など、日本の伝統的な寺院建築や城郭建築の特徴が取り入れられている。客室やレストランからは竹島や三河湾を見渡すことができ、当時の面影を色濃く残している。ロビーにあるシャンデリアや花をモチーフにしたエレベーターの指針盤、大理石の窓枠、ブロンズの装飾など、アール・デコ調の調度品もオリ

ジナルだ。特にロイヤルスイートルームとホテルのメインダイニングルームは、1930 年代の雰囲気を出している。

本館は 3 つの別館とともに登録有形文化財になっている。別館の 2 つ、「THE COVE」と「鶯宿亭」は 1916 年に旅館「常磐館」（1982 年に取り壊された）の一部として建てられたものである。また、1936 年に建てられた「六角堂」もあり、元々は「鶯宿亭」の待合室だった。

蒲郡クラシックホテルは日本クラシックホテルの会に加盟する 9 つのホテルのうちのひとつである。この会は、第二次世界大戦以前に設立され、文化的および／または建築的な重要性から保存指定を受けているホテルの協会である。

【タイトル】 蒲郡クラシックホテル（旧蒲郡ホテル）/六角堂（旧蒲郡ホテル聚美堂）

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

蒲郡经典酒店—六角堂

六角堂（顾名思义，“六角大厅”）始建于 1936 年，当时作为蒲郡酒店的附属建筑而建，而蒲郡酒店已于其成立两年之前便已开业运营。这座单层木结构建筑起初的用途是等候室以及纪念品商店，为参加附近莺宿亭茶会的宾客们提供服务。

六角堂的设计旨在营造出佛教寺庙殿堂的氛围，屋顶装饰华美精致，顶部覆盖着蓝釉瓦。屋顶的六个三角形部分朝着顶端方向轻柔地弯曲，顶端处装饰有一个呈许愿宝珠形状的装饰元素，整个屋顶宛如戴上了一顶华丽的“冠冕”。屋顶的基座、装饰瓦片以及建筑物的钉盖都装饰有别具风格的松树图案。这个图案曾是常磐馆的标识，常磐馆是一家历史悠久的旅馆，一直坐落在酒店园区之内，直至 1982 年拆除。

六角堂在 1987 年经过翻新改造重新对外开放，摇身一变成为了一家铁板烧菜馆。馆内设有呈半圆形摆放的吧台座位，在其前方放置着铁板烧炉。这座建筑坐落在酒店大门与主入口之间的小路一侧。现已被登记为“有形文化财产”。

<繁体字>

蒲郡經典飯店—六角堂

六角堂於 1936 年作為蒲郡飯店的增設分棟所建。這棟木造平房建築原為候客室以及紀念品店，供來到附近茶館「鶯宿亭」參加茶會的賓客使用。

六角堂以佛堂為概念設計，擁有覆蓋著碧色琉璃瓦的華麗屋頂。屋頂以六個三角形為構造向上形成柔和曲線，屋頂頂端則飾有象徵能夠實現願望的寶珠。而在屋頂的基底、部分的裝飾瓦片、一些裝飾釘皆能看見松葉狀的飾紋。這個標誌曾是直到 1982 年都還在飯店佔地內的老旅館「常磐館」的商標。

六角堂在 1987 年重新裝潢，鐵板燒爐前有半圓形的櫃檯座位，作為牛排館重新開幕。本棟建築位於飯店正門以及主要入口之間的小路中間，為日本登錄有形文化財。

＜日本語仮訳＞

蒲郡クラシックホテル 六角堂

六角形の六角堂は、その 2 年前に開業した蒲郡ホテルの別館として 1936 年に建てられた。木造平屋建てのこの建物は当初、近くの茶室「鶯宿亭」の茶会に参加する客の待合室や土産物屋として使われていた。

六角堂は仏堂をイメージして設計され、瑠璃瓦で覆われた豪華な屋根を持つ。屋根は緩やかなカーブを描く三角形で構成され、願い事を叶える宝珠をかたどった装飾が屋根の頂点にある。松葉をかたどったシンボルマークは、屋根の基部、一部の装飾瓦、建物の釘隠にあしらわれている。このシンボルマークは、1982 年までホテルの敷地内にあった歴史ある旅館「常磐館」のロゴマークだった。

六角堂は 1987 年に改装され、鉄板の前に半円形のカウンター席を設けたステーキハウスとして再オープンした。建物はホテルのメインゲートと正面玄関の間の道路に面している。国の登録有形文化財である。

【タイトル】 蒲郡クラシックホテル（旧蒲郡ホテル）/料亭竹島（旧常磐館梅別館）

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

THE COVE

料亭竹島这座单层木结构建筑，始建于 1916 年，当时作为常磐馆旅馆的附属建筑而建，而常磐馆旅馆正是蒲郡经典酒店的前身。对于那些想要体验海滨旅馆的宾客而言，可以选择入住此处。这座建筑坐落于一座山丘之上，站在这里，海岸美景尽收眼底，正北方恰恰就是常磐馆主楼曾经的位置。

客房采用了“数寄屋书院”风格，该风格巧妙地将茶室建筑元素融入到受禅宗思想启发的书院式设计之中，这种设计风格在传统日式住宅以及旅馆的日式风格房间内颇为常见。

“数寄屋书院”风格有着鲜明的特点，采用裸露且未经涂饰的木材，搭配色调柔和的泥墙，同时还设有用于陈列装饰物件的床几壁龕、能够保证光线透进来的滑动纸门以及榻榻米地板。

这座建筑已被列为“有形文化财产”。过去几年，这里曾是料亭竹岛餐厅的经营场所，自 2025 年起，酒店的客人们可以选择在此入住。

<繁体字>

THE COVE

這棟木造平房建築建造於 1916 年，作為蒲郡經典飯店的前身「常磐館」的增設分棟所建。住在海邊旅館的房客們當時皆可在這棟位於「常磐館」北方的建築裡留宿，位居高台眺望海岸。

客房以數寄屋書院風格建造，屋內的日式傳統和室結合受禪啟發的日本傳統書院元素，以及茶館建築風格。數寄屋書院風格的特徵為樸實的未塗裝木材、淡色泥土牆，再加上附有裝飾品的壁龕、透光和式紙門以及榻榻米地板。

本棟建築為日本登録有形文化財。近年作為餐廳「竹島料亭」使用，從 2025 年開始，房客們也可在此過夜。

＜日本語仮訳＞

THE COVE

この木造平屋建ての建物は 1916 年に遡り、蒲郡クラシックホテルの前身である旅館「常磐館」の別館として建てられた。海辺の旅館の宿泊客は、常磐館の本館があった場所のすぐ北、海岸を見下ろす高台にあるこの建物に泊まることができた。

客室は数寄屋風書院造りで、禅の影響を受けた書院造りに茶室建築の要素を取り入れたものだ。数寄屋風書院造りの特徴は、目に見える無塗装の木材や淡い色調の土壁、装飾品を飾る床の間、光を取り入れる襖、畳敷きの床などである。

建物は登録有形文化財で、近年は「料亭竹島」として使われてきたが、2025 年から宿泊施設「THE COVE」になっている。

【タイトル】 蒲郡クラシックホテル（旧蒲郡ホテル）/ 鶯宿亭（旧常磐館別館茶室）

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

鶯宿亭

鶯宿亭曾经是座茶屋，建于 1916 年。在过去的几十年间，这里主要用来为常磐馆旅馆以及蒲郡酒店（今“蒲郡经典酒店”）的宾客举办各类茶会。宾客们会先在附近那座呈六角形的六角堂内等候，然后进入鶯宿亭参加茶会。鶯宿亭的内部分为两部分：一个小巧的茶室（chashitsu）和一个面积稍大的等候室。面积相对较大的等候室还可以用作夜间住宿之所，室内设有一扇大窗户，透过这扇窗户，能够将三河湾的美丽景色尽收眼底。

等候室采用了“数寄屋书院”风格，这种风格包含未经雕琢的原木表面、乡村气息满满的泥墙等茶室建筑风格元素，与装饰性的床几（tokonoma）壁龛、滑动纸门（fusuma）以及榻榻米地板等传统日式元素相互融合。与之相比，那间规模更小且风格更为简朴的茶室，有着一个十分显著的特点，就是入口非常低矮，客人们从花园进入茶室时，需要俯身爬过这扇矮门才能入内。由于这种设计，武士参加茶会时不得不摘下佩剑，直至今日，这一特色依旧是茶室建筑不可或缺的重要组成部分。

鶯宿亭已被列为“有形文化财产”。自 2025 年起，酒店客人可在此建筑中留宿。

<繁体字>

鶯宿亭

這間前茶館的歷史可追溯至 1916 年。數十年來這裡都主要作為接待「常磐館」茶會的賓客以及蒲郡飯店（現蒲郡經典飯店）的房客使用。這裡以茶室以及更大的候客室構成，而大房間也可作為過夜住宿所用，可從巨大的窗戶向外眺望三河灣。賓客們在來此參加茶會之前可先於附近的六角堂等待茶會開始。

候客室以數寄屋書院風格建造，組合粗糙的木柱表面以及古樸塗土牆的茶室建築樣式以及

傳統日本和室元素，包括裝飾壁龕、和式紙門以及榻榻米地板。而更小又簡樸的茶室則以讓賓客們需要匍匐才能從庭園進門的矮門為特色。這個設計的目的是為了讓參加茶會的武士們必須取下隨身攜帶的刀，現則作為一種茶館建築的特色流傳至今。

鶯宿亭為日本登錄有形文化財。從 2025 年開始，房客們也可在此過夜。

＜日本語仮訳＞

鶯宿亭

1916 年に建てられたこの茶室は、常磐館の旅館や蒲郡ホテル（現・蒲郡クラシックホテル）の宿泊客をもてなすために数十年間使われていた。小さな茶室と、宿泊にも使えるより大きな待合室に分かれており、待合室の大きな窓から三河湾を眺めることができる。ここでの茶会に参加する前に、客は近くの六角堂で待っていた。

待合室は数奇屋風書院造りで、丸太の表面や土塗りの壁といった茶室建築の様式と、床の間や障子、畳といった和室のオーソドックスな要素が組み合わされている。より小さく、より厳かな茶室は、庭から入るときに這うように入る低い扉が特徴的だ。このデザインは、もともと武士が茶会に出席する際に刀を抜かざるをえないという意図のもので、現在に至るまで茶室建築の特徴として残っている。

鶯宿亭は登録有形文化財である。2025 年から宿泊施設になっている。

【タイトル】 海辺の文学記念館/海辺の文学記念館

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

海滨文学纪念馆

海滨文学纪念馆内陈列的展品，向人们讲述了蒲郡在 20 世纪初成为知名作家们喜爱的度假胜地的过程。整个故事围绕常磐馆旅馆展开，这家旅馆于 1912 年开业，位于现在纪念馆所处的海滨场地。旅馆的创办人是来自名古屋的商人滝信四郎（1868-1938），他在助力蒲郡发展成为旅游胜地的过程中，发挥了至关重要的作用。纪念馆内展出了来自常磐馆旅馆以及蒲郡酒店（今“蒲郡经典酒店”）的文物与档案资料，同时陈列着常磐馆旅馆客房的复原模型，还有诸多展板，这些展板详细介绍了曾下榻于常磐馆旅馆的作家们的生平与作品，其中包括诺贝尔文学奖得主川端康成（1899-1972）、谷崎润一郎（1886-1965）以及志贺直哉（1883-1971）等一众作家。

休闲与文学

蒲郡与日本国内一些最为著名的文学人物之间产生关联，得益于纺织富商滝信四郎的诸多努力。滝信四郎在三河湾沿岸建造了常磐馆旅馆，这座旅馆正对着竹岛。这里曾是滝氏家族度假别墅的所在地，也是滝信四郎自幼便深深喜爱的地方。

彼时，蒲郡作为一个旅游目的地，已在当地颇具知名度，不过滝信四郎希望将蒲郡推广全国。他想出了一个主意：邀请一些知名作家入住常磐馆，要求这些作家围绕蒲郡、竹岛以及这座旅馆创作一些作品。这一策略取得了成功。常磐馆开业之后，川端康成、谷崎润一郎、志贺直哉、菊池宽（1888-1948）、山本有三（1887-1974）、井上靖（1907-1991）等作家都曾下榻于此，并且在众多的长篇小说、短篇小说以及诗歌作品中写到竹岛一带的风景。

这些作品包括，川端康成的短篇小说《骑驴的妻子》，故事围绕一个骑马场展开，这个骑马场是为了招待宾客而特意在常磐馆旁设立的；还有谷崎润一郎的《细雪》，这本书里讲述了这样一个故事：书中的一位姐妹在与未婚夫见面后心情不愉快，随后便来到了蒲郡，居于常磐馆。

纪念馆

常磐馆于 1982 年拆除，不过，它所留下的文化遗产以及独有的氛围，却在 1997 年开设的海滨文学纪念馆中延续了下来，这座海滨文学纪念馆建于常磐馆旅馆原址之上。纪念馆是一座经过复原的单层木结构建筑，前身是一家建造于 1910 年的诊所，坐落在蒲郡市中心。

馆内的展板生动讲述了曾经在常磐馆留宿过的作家们的故事，同时着重展示了他们的作品，特别是那些与常磐馆以及周边地区相关的内容。馆内还复原了常磐馆的一间客房，装修风格与 1927 年谷崎润一郎入住时的样式别无二致。这间榻榻米房间配有可打开的滑动纸屏风，透过窗户向外望去，正好可以看到竹岛的景色。

纪念馆中还展出了来自蒲郡酒店及其附属建筑的诸多文物，其中包含了曾经用于装饰六角堂外立面的精美木雕，而六角堂这座建筑就坐落在酒店入口的附近。纪念馆的另一个区域设有专门展区，讲述了蒲郡、竹岛以及常磐馆和蒲郡酒店所历经的历史变迁。

纪念馆推出的“时光信”项目鼓励游客们写下那些与蒲郡时光有关的留言或回忆，游客们可以将信件寄往他们指定的地址（日本境内），寄送时间可以是其访问纪念馆后的两个月至十年内的任意一天。

<繁体字>

海邊文學紀念館

海邊文學紀念館的展示品敘說著蒲郡在 20 世紀初期作為名作家們的人氣渡假村而崛起的歷史。而這段故事皆以 1912 年開幕的海邊旅館「常磐館」（現為紀念館）以及該旅館創始人兼推動蒲郡觀光的重大推手，名古屋商人瀧信四郎（1868-1938）為中心發展。館內展示著常磐館以及蒲郡飯店（現蒲郡經典飯店）留存的工藝品以及文件以及重現常磐館客房構造的造景，還有詳細介紹當時住在館內的知名作家如諾貝爾獎作家川端康成（1899-1972）、谷崎潤一郎（1886-1965）、志賀直哉（1883-1971）等人生涯以及作品的展覽解說文字板。

休閒與文學

蒲郡與國內一些最著名的文學家之間的聯繫，是在富有的紡織品商人瀧信四郎的努力下而建立的。信四郎在三河灣岸邊建了常磐館，位於竹島對面。該地正是他的老家度假別墅所在地，也是他自童年以來就十分鍾愛的地方。

雖蒲郡當時就已經作為旅行觀光地廣為人知，但瀧信四郎仍然想要把這個地方的美好推廣給全日本的人們。他想到一個辦法邀請著名作家們來到常磐館住宿，如此一來作家們就能以蒲郡、竹島以及旅館為題材創作。而這個策略而後也圓滿成功了。

隨著常磐館的開幕，川端康成、谷崎潤一郎、志賀直哉、菊池寛（1888-1948）、山本有三（1887-1974）、井上靖（1907-1991）等作家都在常磐館內留宿，並且寫了不少關於竹島的小說、短篇故事以及詩文。

這些作品包含川端康成的短篇《騎驢之妻》就是以常磐館隔壁對客開放的騎馬場為中心描寫之故事。而谷崎的長篇小說《細雪》則描寫了四姊妹其中一人造訪蒲郡，在相親不順之後留宿常磐館的橋段。

紀念館

雖然常磐館後於 1982 年遭到拆除，但其遺產及氛圍，卻在 1997 年在旅館原址上開設的海邊文學紀念館中得以延續。此紀念館重建於 1910 年曾位於蒲郡中心的木造平房診所。

館內的展覽解說文字板介紹了作家們留宿旅館期間發生的軼事，還有以常磐館周遭為題材的作品節錄。館中還附有重現常磐館客房的造景，展示 1927 年 8 月當時谷崎潤一郎所居住的房間模樣。拉開這間榻榻米房間的日式拉門，就能看見在海另一端的竹島。

另外，這裡也展示著關於蒲郡飯店以及其分棟建築的展示品。其中包含曾經裝飾在飯店入口附近之六面建築物——六角堂外牆的木雕。而在紀念館的其他展區則有關於蒲郡、竹島以及常磐館和蒲郡飯店歷史的特展。

紀念館的「時空旅信」則讓訪客們能在此寫下訊息或在蒲郡度過的回憶，接著把信在來到紀念館後的兩個月～十年後之任意日期寄到指定地址（僅限日本國內）。

<日本語仮訳>

海辺の文学記念館

海辺の文学記念館では、蒲郡が 20 世紀初頭に著名な作家たちの保養地として人気を集めるようになった経緯が展示されている。1912 年に現在記念館がある海辺に開業した旅館「常磐館」と、その創業者で蒲郡を観光地として発展させるのに重要な役割を果たした名古屋の実業家、滝信四郎（1868-1938）を中心に物語が展開する。館内には常磐館と蒲郡ホテル（現・蒲郡クラシックホテル）にまつわる遺品や資料、常磐館の客室の再現、ノーベル賞作家の川端康成（1899-1972）、谷崎潤一郎（1886-1965）、志賀直哉（1883-1971）など、常磐館に滞在した作家たちの生涯や作品を紹介するパネルなどが展示されている。

レジャーと文学

蒲郡と日本を代表する文人たちとの交流は、滝信四郎の努力によってもたらされた。裕福な織物商であった彼は、実家の別荘地であり、幼い頃から愛していた三河湾に浮かぶ竹島の対岸に旅館「常磐館」を構えた。

当時、蒲郡はすでに旅行先としてよく知られていたが、滝はこの地を全国に宣伝したいと考えた。そこで彼は、著名な作家を常磐館に招待し、彼らが蒲郡や竹島、そして常磐館のことを作品に書くことを条件に、常磐館に宿泊してもらうことを思いついた。この作戦は成功し、常磐館のオープンから、川端、谷崎、志賀、菊池寛（1888-1948）、山本有三（1887-1974）、井上靖（1907-1991）などの作家が旅館を訪れ、数多くの小説、短編小説、詩などで竹島を取り上げた。

川端の短編『驢馬に乗る妻』は、常磐館に隣接して客をもてなすために作られた乗馬場を中心とした作品である。一方、谷崎の『ささめ雪』では、中心的な登場人物の姉妹の一人が蒲郡を訪れ、花婿候補との満足のいかない出会いの後、常磐館に滞在する場面が描かれている。

記念館

常磐館は 1982 年に解体されたが、その名残と雰囲気は、1997 年に旅館の跡地にオープンした海辺の文学記念館に受け継がれている。この記念館は、1910 年に蒲郡の中心部に建てられた、もともとは診療所として使われていた木造平屋建ての建物を竹島海岸に模倣・復元された建造物に入っている。

館内には常磐館に滞在した作家たちのエピソードや、常磐館やその周辺を題材にした作品を紹介する解説パネルが展示されている。1927 年 8 月に谷崎潤一郎が宿泊した当時の様子を再現した常磐館の部屋もある。畳の部屋には障子があり、障子を開けると対岸の竹島が見える。

また、蒲郡ホテルとその別館にまつわる品々も展示されている。その中には、ホテルの入り口近くにある六角堂の外観をかつて飾った豪華な木彫りなどもある。また、蒲郡、竹島、常磐館と蒲郡ホテルの歴史にまつわるテーマを取り上げた特別展も開催されている。

記念館の「時手紙」は、蒲郡で過ごした思い出やメッセージを書くと、来館から 2 ヶ月～10 年後の好

きな日に、希望の住所（日本国内）に郵送してもらえるというもの。

【タイトル】 蒲郡の食文化/蒲郡の食文化

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

蒲郡的饮食文化

蒲郡的沿海位置和自然环境孕育了丰富的饮食文化。这座城市坐落在三河湾的海岸线上，湾区内水域平静，浅滩众多，如此得天独厚的条件孕育了丰富的海产品种类，同时，这里也是该地区唯一一支深海渔船队的驻扎基地。在陆地上，一条弯月形的低山脉环绕着这座城市，当地气候环境温度适宜，日照充足，非常适合种植柑橘类以及草莓等各类水果。蒲郡地区还是三河牛的主要产地，三河牛是当地著名的和牛品牌。竹岛地区的许多餐馆都会提供以当地食材作为原料的菜肴，蒲郡经典酒店和竹岛酒店的餐厅也会提供此类菜品。

大海的馈赠

三河湾的平静海水和柔软沙滩，为日本文蛤提供了优良的栖息环境。日本文蛤是一种体长大约 4 厘米的埋藏性双壳贝类，在蒲郡的饮食文化里占据着举足轻重的地位。每至晚春与初夏时节，成群结队的游客便会如潮水般纷纷涌向竹岛海岸挖日本文蛤。虽然日本文蛤在日本各地均有分布，但三河湾的数量尤为丰富，约占全国日本文蛤总捕捞量的 48%。日本文蛤通常用于味增汤的配料，不过在蒲郡这片土地上，人们常常会把日本文蛤与粗面条、海带以及海鲜高汤相互搭配，成为一道备受欢迎的菜肴——蒲郡乌冬。

从另一方面来看，位于海湾之外的深海水域，乃是蒲郡诸多较为罕见的海鲜的重要来源。蒲郡的四艘深海渔船队，是爱知县唯一的深海捕捞力量，为当地市场供应绿眼鱼等鱼类。绿眼鱼因其长着一双极为醒目的绿色眼睛而得名，它的肉质柔软白嫩，故而备受人们喜爱。此外，还有深海银鱼，这种鱼有着细长的身体，肉质呈现独特的蓝色。由于这种鱼的食用对新鲜度要求颇高，在新鲜程度受限的情况下，鲜少在捕捞地区以外的地方食用。另外，还有两种被视作珍馐美味的深海物种，一种是赤座虾，这是一种外形酷似虾的小龙虾，体型最大能够长到 25 厘米，肉质柔软，微甜，相较于常见的伊势虾，口感更为细腻；另一种是高足蟹，也就是人们熟知的日本蜘蛛蟹，堪称地球上体型最大的甲壳类动物，最大腿展可达 3.8 米。在蒲郡当地的餐馆之中，深海鱼类通常可以做成刺身，或是采用烤制、炸制进行烹饪。不过，鉴于其捕捞量相对较少，并非所有深海鱼类都能随时供

应。

品牌牛肉

三河牛是一个和牛品牌，因其肉质鲜嫩而闻名遐迩。产自包括蒲郡在内的爱知县部分地区。虽然这一品牌诞生于 1990 年，然而在该地区，将牛作为肉用牛进行饲养的历史悠久。凡是被认定为三河牛的牛肉，必须产自三河地区近 60 个通过认证的农场，而且该牛肉在日本所施行的五级质量评级体系中，必须达到 4 级或者 5 级的标准。三河牛通常作为牛排食用，或者切成薄片用于涮锅和寿喜烧。

水果之乡

蒲郡地区气候温暖宜人，阳光充沛，为当地的水果种植创造了得天独厚的条件。终年吹拂着来自南方的温暖海风，滋养了柑橘、草莓、葡萄以及瓜类等各类水果。蒲郡因其种植于周边山丘之上的蜜柑而声名远播，而蒲郡橘子公园所产蜜柑更是颇具名气。每年 10 月至 12 月期间，游客们均可前往橙园采摘蜜柑，既可以边采摘边食用，也可以带回家品尝。在橙园之中，草莓售卖期是 1 月至 5 月，瓜类是 6 月至 9 月，葡萄则是从 6 月末到 9 月中旬。

<繁体字>

蒲郡的飲食文化

位居海岸且坐擁自然環境的蒲郡擁有精彩的飲食文化。該地市區位於位置隱蔽又屬於淺灘的三河灣岸邊，為多種海鮮的產地，是該地區唯一的深海捕魚船隊所在地。

土地方面，彎月形的低山三面圍繞市區，形成溫和又多日照的氣候，適合種植溫州蜜柑和草莓等水果。另外，蒲郡周遭也是高級當地品牌和牛「三河牛」的產地。蒲郡經典飯店以及竹島飯店等竹島區域多間餐廳所供應的料理皆取自當地食材烹調。

海洋的恩賜

三河灣平靜的水性以及沙灘形成蛤蜊絕佳的生長環境，這個體長約 4 公分的穴居雙殼貝類生物是蒲郡的飲食文化中不可或缺的存在。每到晚春以及初夏時節，為了挖蛤蜊而來到竹島海岸的人們趨之若鶩。雖說蛤蜊在日本當地十分常見，但最多的地方莫過於三河灣，全日本的蛤蜊漁獲中約 48% 為三河灣所獲。在日本飲食習慣中，蛤蜊常作為味噌湯的配料，但在蒲郡卻常和粗烏龍麵、海帶以及海鮮高湯一起煮成名為「蒲郡烏龍麵」的人氣料

理。

另一方面，蒲郡灣外的深海則是許多較少見海鮮的來源。愛知縣僅有的深海漁業船隊，共四艘船隻，穩定供應如青目魚（又稱目光魚）和半紋水珍魚等魚種。青目魚因其鮮明的綠眼而得名，擁有柔嫩的白肉，深受喜愛；而半紋水珍魚則是一種細長的魚，肉色偏藍，鮮度維持時間短，因此除了捕撈地區外鮮少作為食用。此外，還有兩種被視為珍饈的深海物種：長臂蝦（日本後海螯蝦）和甘氏巨螯蟹（俗稱殺人蟹）。長臂蝦是一種蝦形的小型龍蝦，體長可達 25 公分，其肉質比常見的伊勢蝦更為柔嫩且略帶甜味；而甘氏巨螯蟹則是地球上最大的甲殼類動物，腿展可達 3.8 公尺。在蒲郡的餐廳中，深海魚通常可以選擇生魚片、燒烤或油炸的方式享用。然而，由於捕獲量相對有限，並非所有魚種在任何時候都能品嚐得到。

品牌和牛

三河牛是著名的和牛品牌，以其柔嫩的肉質聞名。產於包括蒲郡在內的愛知縣部分地區。儘管該品牌始於 1990 年，但該地區的和牛養殖歷史悠久。被認證為三河牛的肉品必須來自三河地區近 60 家經過認證的牧場，並在日本五級品質評等中達到 4 級或 5 級的高品質標準。三河牛常以牛排形式享用，也經常用於壽喜燒或涮涮鍋中，切成薄片煮食。

品果之樂

蒲郡的水果農業受益於當地較為溫暖的氣候和充足的日照。全年南風吹拂，溫暖的海洋氣流營造了適合果樹生長的環境，孕育出如溫州蜜柑、草莓、葡萄和哈密瓜等水果。蒲郡尤其以種植於市區周圍山丘上的蜜柑聞名，例如蒲郡橘子公園，在每年十月至十二月期間，遊客可以親自採摘蜜柑，現場品嚐或帶回家。此外，草莓從一月至五月在橘子園供應，哈密瓜則在六月至九月底期間可以品嚐，而葡萄的產季則從六月底延續到九月中旬。

<日本語仮訳>

蒲郡の食文化

沿岸に位置し、恵まれた自然環境のもと、蒲郡市は活気ある食文化を育んできた。市は遠浅の三河湾に面し、多様な魚介類が水揚げされるほか、この地域では唯一の深海漁業も盛んである。また、三日月形の低山が三方を囲み、温暖で日照に恵まれた気候は、みかんやいちごなどの果物の栽培に適している。さらに、蒲郡周辺はブランド和牛「みかわ牛」の産地でもある。蒲郡クラシックホテルやホテル竹島の館内レストランをはじめ、竹島エリアにはさまざまなレストランがあり、地元の食材を使った料理を

味わうことができる。

海の幸

三河湾の穏やかな海と砂浜は、蒲郡の食文化に欠かせない体長 4 センチほどのアサリの生息地である。晩春から初夏にかけて、このアサリを掘るために大勢の人が竹島の海岸に押し寄せる。アサリは全国的にかなり一般的な貝だが、三河湾ほど多くのアサリが獲れる場所は少なく、日本で漁獲されるアサリの約 48% がここで獲れるのだ。あさり味噌汁の具として使われることが多いが、蒲郡では太めの麺であるうどん、ワカメ、魚介類のだし汁と一緒に「ガマゴリうどん」と呼ばれるポピュラーな料理で食べることができる。

一方、湾の向こうの深海では、蒲郡ではよく食べるが一般にあまり馴染みのない種類の魚介類が獲れる。愛知県で唯一の 4 隻の深海漁船団が、緑色の目が印象的で白身の柔らかさが珍重されるメヒカリや、細長い体と青みがかった身が特徴で鮮度落ちが早く、漁場以外ではめったに食べられないニギスなどを安定供給している。また、アカザエビとタカアシガニも珍味とされている。アカザエビは体長 25 センチほどの小さめのロブスターで、一般的なイセエビに比べ、身がやわらかく、やさしい甘みがある。タカアシガニもやさしい甘みを持ち、そして鋏脚を広げると 3.8 メートルまで達することがある世界一大きなカニである。深海魚は蒲郡市内の飲食店で刺身、塩焼き、フライなどで注文できるが、漁獲量が比較的に少なく、種類によってはいつでも手に入るとは限らない。

ブランド牛

蒲郡市を含む愛知県の地域は、特にその柔らかさで知られるブランド和牛「みかわ牛」の産地である。このブランドが確立されたのは 1990 年のことだが、この地域で和牛を飼育する歴史は古い。三河にある 60 に近い認定牧場で飼育された牛のうち、日本の 5 段階肉質等級で 4 または 5 の等級に格付けされたものだけがみかわ牛と認定される。みかわ牛はステーキやすき焼き、しゃぶしゃぶなどの料理で食べられている。

果物の楽しみ

蒲郡の果樹栽培は、比較的温暖な気候と豊富な日照量の恩恵を受けている。一年中、南の海から暖かい風が吹き込み、みかん、いちご、ぶどう、メロンなどの果物に栄養を与えている。市街地周辺の丘などに栽培されているみかんが特に有名で、「蒲郡オレンジパーク」では 10 月から 12 月にかけてみかん狩りができる。またオレンジパークでは 1 月から 5 月までいちご、6 月から 9 月下旬までメロン、6 月下旬から 9 月中旬までぶどうが収穫できる。

【タイトル】 ホテル竹島/ホテル竹島

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

竹岛酒店

竹岛酒店是一座温泉度假酒店，从这里极目远眺，竹岛的旖旎风光以及三河湾的壮阔景色皆可一览无余。所有客房均可欣赏海景，酒店的室内和露天温泉浴池也可以观赏到大海迷人的景色。酒店设有九种房型可供客人选择，包括铺有榻榻米的房间（晚上会铺上被褥）、西式大床房、还有兼具两种风格的组合房型。在餐饮方面，竹岛酒店一直以来都因在其自家餐厅供应蒲郡当地特色美食而备受赞誉，深海鱼、三河牛等特色佳肴均在供应之列。

地理位置

竹岛酒店距离海滨和通往竹岛的步行桥仅几步之遥。酒店外就是俊成苑和竹岛工艺中心，竹岛工艺中心是一座以展示当地纺织工业历史以及三河棉（一种与蒲郡息息相关的条纹织物）为主题的设施。从竹岛酒店向东走，沿着山坡上行即是蒲郡经典酒店。这座酒店周围的园林内散布着一些历史建筑。

温泉

对众多宾客而言，竹岛酒店最具吸引力的地方，当属温泉浴池了。这座酒店位于蒲郡温泉的中心区域，蒲郡温泉是当地四大温泉度假区之一。另外三处温泉区分别是地处蒲郡东面的三谷温泉、位于三根山山麓的形原温泉，以及位于竹岛地区西南方向、西浦半岛尖端处的西浦温泉。

竹岛酒店的部分客房有私人露天浴池，所有客人均可使用公共洗浴设施。公共洗浴设施包含一座宽敞的室内浴池，池中的水清澈透亮，没有异味，呈弱碱性，浴池前方设有一扇观景大窗，透过窗户可以眺望竹岛和三河湾的美景；还有一座露天浴池，同样可以欣赏美丽景致，而且水中含有低浓度（且十分安全）的天然氡气。敏感肌人群也可以使用这两种浴池进行沐浴，沐浴后皮肤光滑细腻。

餐饮

当地食材在竹岛酒店的两家餐厅中占据着重要地位，这两家餐厅分别是传统的日式餐厅“常磐”和法式餐厅“里瓦日餐厅（Rivage）”。海鲜菜品包括蒲郡久负盛名的深海捕捞海鲜，有刺身、烤鱼、炖鱼等菜肴，还有赤座虾以及柔嫩醇美的绿眼鱼。三河牛，这一当地知名和牛品牌，通常用于涮锅、牛排等各类美味料理。除此之外，本地所产的水果和蔬菜在菜单上同样占据一席之地。

<繁体字>

竹島飯店

竹島飯店是一家可俯瞰竹島和三河灣美景的溫泉度假村。所有客房均享有海景，設有室內和露天溫泉浴池。飯店提供九種不同類型的客房選擇，包括鋪設榻榻米的日式房（夜間鋪設被褥）、配有床鋪的西式房，以及融合日式與西式風格的混合房。在餐飲方面，竹島飯店致力於在其餐廳提供蒲郡當地特色美食，包括深海魚和三河牛等新鮮食材，讓旅客盡情品嚐當地風味。

位置

竹島飯店距離海濱和通往竹島的人行橋僅數步之遙。飯店外即是俊成苑和竹島工藝中心，該中心專注於展示當地的紡織產業歷史，特別是與蒲郡相關的三河木棉條紋織品。沿著飯店東側的山坡上行，可到達蒲郡經典飯店及其點綴著歷史建築的美麗庭園。

溫泉

對許多旅客而言，竹島飯店的最大吸引力在於其溫泉設施。飯店位於蒲郡溫泉的中心地帶，坐擁當地溫泉群為該地區四大溫泉度假村之一。其他三個溫泉包括：位於蒲郡市東側的三谷溫泉、位於三根山山麓的形原溫泉、位於竹島地區西南方的西浦半島的尖端西浦溫泉。

竹島飯店的多間客房設有私人露天溫泉浴池，所有旅客均可使用公共浴場設施。浴場提供可欣賞竹島與三河灣美景的巨大觀景窗，且浴池水質清澈，幾乎無味，屬於鹼性溫泉的室內浴池，以及擁有同樣絕美的風景，水質含有微量（且完全安全）天然氫的露天溫泉浴池。這些溫泉水質溫和，非常適合敏感膚質的旅客。其特性能讓沐浴後的皮膚感覺柔滑細緻，為旅客帶來舒適放鬆的溫泉體驗。

餐廳

竹島飯店的兩間餐廳：傳統日式餐廳「常磐」和法式餐廳「Rivage」。以當地食材為主，提供豐富的美食選擇。海鮮料理包含蒲郡聞名的深海漁獲，例如生魚片、烤魚與燉魚料理、長臂蝦，以及肉質柔嫩細膩的青目魚。此外，當地的品牌和牛三河牛也廣受歡迎，供應於涮涮鍋和牛排。其中餐廳的菜色也特別使用當地的新鮮水果與蔬菜。

<日本語仮訳>

ホテル竹島

ホテル竹島は竹島と三河湾を望む温泉宿でリゾートホテル。客室は全室オーシャンビューで、温泉は内湯と露天風呂がある。夜は布団を敷く置の部屋、ベッドのある洋室、2つのスタイルを組み合わせた部屋など、9つのタイプから選ぶことができる。レストランでは、蒲郡の料理として有名な深海魚やみかわ牛を使った料理が味わえる。

ロケーション

ホテル竹島は竹島への歩道橋がかかる海沿いから歩いてすぐの場所にある。ホテルのすぐ外には俊成苑や、蒲郡の織物産業や三河木綿について学ぶことができる竹島クラフトセンターがある。ホテル竹島から東へ坂を上ると蒲郡クラシックホテルがあり、その敷地内には歴史的建造物が点在している。

温泉

ホテル竹島の最大の魅力は温泉である、という人も多いだろう。近隣にある4つの温泉地のひとつを構成している蒲郡温泉の中心に位置している。他の3つは、蒲郡の東にある三谷温泉、三ヶ根山のふもとにある形原温泉、そして竹島エリアの南西、西浦半島の先端にある西浦温泉だ。

ホテル竹島のいくつかの客室にはプライベート露天風呂がついているほか、宿泊客は誰でも共同浴場を利用することができる。竹島と三河湾を見渡す大きな窓の前にある、無色透明、無臭、アルカリ性単純泉の広々とした内湯と、同じように絵になる眺めの、天然ラドンの濃度が低い（安全性が高い）露天風呂がある。どちらの浴槽のお湯も敏感肌の入浴者にも適しており、その特性により、入浴後は肌がスムーズになり、少しスベスベになる。

レストラン

ホテル竹島の2つのレストラン、伝統的な和食レストラン「日本料理 常磐」とフレンチスタイルの「レストランリヴァージュ」では、地元の食材が自慢だ。刺身、焼き物、煮物など、蒲郡の名産である深海の幸を使った料理が多く、アカザエビやまろやかなメヒカリなどが提供されている。地元のブランド和牛であるみかわ牛はしゃぶしゃぶやステーキで楽しめるほか、地元の果物や野菜もよくメニューに登場する。

【タイトル】 竹島クラフトセンター/三河木綿と機織り体験

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

三河棉与竹岛工艺中心

蒲郡与棉花的渊源可以追溯到古代，而棉花及服装产业曾在数百年间，一直都是这片地区的经济命脉。竹岛工艺中心展示了这段历史，游客们既能在此了解这段过往，还能亲自体验传统的纺织技艺。

根据古代文献记载，棉花这种植物是在公元 8 世纪时传入日本的，当时一艘搭载着来自印度次大陆旅人的船只，漂至如今的西尾市（今蒲郡以西）并搁浅上岸。据说，正是这位旅人携带的棉花种子为日本的棉花种植制造了契机。虽说日本国内的棉花种植步入正轨是在 16 世纪之后，但三河地区（即今“爱知县”东半部分，包含“蒲郡市”）很快变成为了一个主要的棉花生产地。

17 世纪，棉质衣物的价格变得非常亲民，普通百姓也能广泛穿着，也正是从那时起，当地的棉花产业迎来了蓬勃发展的繁荣时期。在明治时代（1868 年—1912 年），三河棉以及当地纺织工匠所运用的那种独具特色的条纹图案收获了极高的评价。不过，蒲郡的纺织生产达到巅峰却是在第二次世界大战结束后的几年，当时为了满足全国对平价面料的迫切需求，市区及周边的工厂和作坊都开足马力，以迅猛的势头生产纺织品和各类衣物。

虽然今天纺织产业在三河地区不再是主要的经济支柱，但棉花生产的传统和遗产依然是当地人引以为豪的文化遗产。在竹岛工艺中心，人们可以深入探寻这一文化遗产。授课老师会教授大家运用三河地区的传统技艺制作棉质的饮料杯垫。参与者们将会学习怎样从籽棉中分离出棉纤维，怎样将棉花纺成线，以及怎样在传统的手动织布机上编织属于自己的杯垫。

竹岛工艺中心位于竹岛酒店和通往竹岛的大桥附近的俊成苑内。

＜繁体字＞

三河木綿與竹島工藝中心

據說蒲郡與棉花的淵源可追溯至古代，棉布與服裝產業曾是這片土地數百年來的經濟命脈。這段歷史在竹島工藝中心得以展現，還可以在此親身體驗傳統的紡織技術。

根據古代編年史記載，棉花在 8 世紀由一艘來自印度次大陸的船隻引入日本。當時這艘船漂流到現今蒲郡以西的西尾市。據說，這位旅人攜帶的棉花種子促成了日本首次嘗試種植棉花的契機。雖然日本國內的棉花栽培直到十六世紀才開始蓬勃發展，但在種植棉花之後，三河地區（即今日愛知縣東部，包括蒲郡在內）便迅速成為日本主要的棉花生產區之一。

當地的棉花產業在 17 世紀開始蓬勃發展，棉製衣物變得更加平價，普通民眾也能廣泛穿著。三河棉以及當地紡織工匠獨特的條紋設計在明治時代（1868 年至 1912 年）廣受讚譽。在蒲郡，紡織業的高峰出現在第二次世界大戰結束後的幾年間，當時市內及周邊的工廠和作坊以快速的生產速度製造紡織品和服裝，以滿足日本全國對平價布料的需求。

雖然紡織業已不再是三河地區的重要經濟支柱，但棉花生產的歷史與傳統工藝仍然是當地引以為傲的文化遺產。這段傳承可以在竹島工藝中心深入探索，該中心提供一步步教學的課程，教導使用三河技術製作棉製杯墊。參加者將學習如何將棉纖維從棉籽中分離、如何將棉花製成紗線，並使用傳統手動織布機編織出自己的杯墊。

竹島工藝中心位於俊成苑內，靠近竹島飯店和通往竹島的橋樑。

＜日本語仮訳＞

三河木綿と竹島クラフトセンター

蒲郡と木綿との関わりは古代にまで遡るといわれ、織物産業は何世紀にもわたってこの地域の生命線だった。竹島クラフトセンターでは伝統的な織物技術を体験しながら、その歴史を学ぶことができる。

古記録によると、綿花が日本に伝来したのは 8 世紀のこと。インド亜大陸からの旅人を乗せた船が、現在の西尾市（蒲郡のすぐ西）に漂着した。この旅人が運んできた綿花の種が、日本で初めて綿花

栽培を試みるきっかけになったと言われている。国内での綿花栽培が本格化したのは 16 世紀に入ってからだが、三河地方（現在の愛知県の東半分、蒲郡市を含む）はすぐに一大産地としての地位を確立した。

蒲郡の木綿産業は、木綿の衣服が手ごろな価格で庶民に普及した 17 世紀以降に盛んになった。明治時代（1868 年～1912 年）には三河木綿と地元の織物職人による独特の縞模様が高い評価を得たが、蒲郡で織物生産の頂点に達したのは第二次世界大戦後の数年間で、手ごろな価格の織物を求める全国的な需要に応えるため、市内外の工場や工房が猛烈な勢いで織物や衣料品を生産した。

繊維産業はもはや三河の重要な経済的存在ではないが、木綿生産の伝統と伝統的な工程は地元の誇りの源泉であり続けている。竹島クラフトセンターではインストラクターが三河の技法を使ったコースター作りを段階的に教えてくれる。参加者は種綿から綿繊維を分離する方法、綿を糸にする方法、そして伝統的な手織り機でコースターを織る方法を学ぶ。

竹島クラフトセンターはホテル竹島と竹島に渡る橋の近くにある俊成苑に位置する。

【タイトル】 藤原俊成/藤原俊成、竹島園地、俊成苑

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

藤原俊成和俊成苑

在俊成苑的滨水花园中，藤原俊成（1114-1204）的雕像静静伫立，守望着这片花园，同时遥望着远处的竹岛。雕像所处的显著位置彰显出藤原俊成在蒲郡以及竹岛地区早期历史中的重要地位。藤原俊成是蒲郡的创始人，还在竹岛上建立了八百富神社。

今天的蒲郡市在历史上曾隶属于三河国，而三河国在历史版图中相当于现今爱知县的东部地区。藤原俊成出生于一个颇具影响力的贵族世家，其家族世代承袭了诸多行政职务。在1145年至1149年期间，藤原俊成负责治理三河国，并在这处聚居地的发展过程中发挥了极为关键的作用。

相传，藤原俊成深深着迷于竹岛的景致，他觉得竹岛的风景与他曾时常去的京都附近的琵琶湖中的一座神圣岛屿颇为相似。这种联系启发了藤原俊成，促使他在竹岛上建起了一座供奉弁才天的神社。弁才天是主管艺术的神祇，而琵琶湖中的那座岛屿上也同样供奉着弁才天。直至今日，弁才天依旧在竹岛上备受尊崇，藤原俊成亦是如此，如今他已被供奉于竹岛的千岁分社，人们将其奉为神明膜拜。

藤原俊成作为诗人所取得的成就被铭刻于俊成苑之中，俊成苑的牌匾上展示了藤原俊成大量的和歌作品。藤原俊成的许多长辈也是著名的诗人，他自幼便开始写诗，以至他成为了一位备受尊敬的和歌诗人。和歌是一种诗体，每首诗由31个音节组成，分为五个部分，分别为5-7-5-7-7的结构。晚年，他受委托编纂了一部宫廷诗集，这是给予诗人的最高荣誉之一。

藤原俊成于1188年完成了诗集《千载和歌集》的创作，这部诗集共二十卷。他活到了90岁，并看到其子藤原定家（1162-1241）成长为一位卓越的诗人。藤原定家最终在艺术影响力方面超越了他的父亲，并且依照传统观念来看，他被视作和歌领域最伟大的宗师之一。

＜繁体字＞

藤原俊成與俊成苑

俊成苑的濱海花園內，有一座朝臣兼詩人藤原俊成（1114-1204）的雕像，遠眺竹島的景色。這座紀念碑的位置顯著，彰顯了他在蒲郡及竹島地區早期歷史中的重要地位。藤原俊成被視為蒲郡的奠基者，同時也是竹島上八百富神社的創建者。

如今的蒲郡市在歷史上屬於三河國，對應現今愛知縣的東部地區。藤原俊成出身於一個擁有多項世襲行政職位的顯赫貴族家庭。他於 1145 年至 1149 年間負責治理三河，期間對這片未來成為蒲郡的聚落奠定了發展基礎。

根據傳說，藤原俊成為竹島的景色深深著迷，因為他認為竹島的景致與京都附近琵琶湖中他常去的神聖島嶼相似。這種聯想啟發俊成在竹島上建立一座供奉辯才天的神社——弁財天為藝術之神，也在琵琶湖的島嶼上受到崇拜。如今，竹島上仍供奉著弁財天，同時也祭祀著俊成，他如今被尊為千歲神社的神靈之一。

藤原俊成作為詩人的成就在俊成苑中得到了紀念，園內的展示牌上展示了他眾多和歌作品中的精選。藤原俊成的多位年長親屬都是著名的詩人，他自幼便開始創作詩歌，並逐漸成為備受推崇的和歌詩人。和歌是一種由 31 個音節組成的詩體，音節以 5-7-5-7-7 五個單位組成。晚年，俊成受命編纂宮廷詩集，這是對詩人最高的榮譽之一。

藤原俊成於 1188 年完成了他的二十卷詩集《千載和歌集》，這是一部集結了千年詩作的經典之作。他活到 90 歲高齡，並見證了兒子藤原定家（1162-1241）的成長，藤原定家後來成為一位著名的詩人，藝術影響力最終超越了父親，並在傳統上被視為和歌史上最偉大的大師之一。

＜日本語仮訳＞

藤原俊成と俊成苑

水辺の俊成苑と遠くに見える竹島を見守るのは、公家であり歌人でもあった藤原俊成（1114-1204）の像だ。像が目立った配置は蒲郡と竹島エリアの初期の歴史における彼の重要性を反映し

ている： 俊成は蒲郡の開拓者とされ、竹島に八百富神社を建立した者でもある。

現在の蒲郡市は、歴史的には現在の愛知県の東半分に相当する三河国に属していた。多くの官職を持つ有力公家に生まれた俊成は、1145 年から 1149 年まで三河を国司として治め、その間に蒲郡となる集落の開発に貢献した。

伝承によると俊成は竹島の風景に魅了され、京都に近い琵琶湖に浮かぶ、よく訪れたことのある神聖な島に似ていると思ったという。この連想から、俊成は竹島に芸術の神様であり、琵琶湖の島でも祀られた弁財天を祀る神社を建てることを思いついた。弁財天は現在も竹島に祀られており、千歳神社では俊成自身が祭神として祀られている。

歌人としての俊成の功績は俊成苑で讃えられ、看板には俊成が生涯に詠んだ和歌が掲げられている。俊成の年長の親戚には著名な歌人が多く、彼は若い頃から自分で歌を詠み始めた。31 音を 5-7-5-7-7 の 5 行にまとめた「和歌」を詠み、和歌の名手として知られるようになった。後年、歌人として最高の栄誉のひとつである勅撰和歌集の編纂を任された。

俊成は 1188 年、全 20 巻からなる『千載和歌集』を完成させた。彼は 90 歳まで生き、息子の藤原定家（1162-1241）が歌人として名声を得るまで成長するのを見届けた。定家はやがて芸術的影響力で父を凌駕し、伝統的に和歌の最も偉大な巨匠の一人とみなされている。

【タイトル】 蒲郡について/蒲郡について

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

欢迎来到蒲郡

坐落在爱知县中部的海滨城市蒲郡，凭借其优美的景致而声名远扬。蒲郡地处三河湾，从这里乘坐火车到名古屋，大约 45 分钟车程。在当地的诸多景点当中，**竹岛**颇为有名，这是一座小岛，由一座长达 380 米的人行桥与大陆相连。这座桥通向建于 12 世纪的**八百富神社**的鸟居，神社内植被茂密，覆盖了整座岛屿。人行桥连接大陆的一侧是一片度假区，那里坐落着两家颇具盛名的酒店，度假区内设有温泉浴场、水族馆、公园、纪念馆等，一条长长的海滨步道蜿蜒其间，还有诸多供应当地特色美食的餐厅和咖啡馆，最有名的是三河湾的海鲜。竹岛地区是三河湾国家公园的一部分。

蒲郡和竹岛自 20 世纪初期便享有休闲观光胜地的美誉。当时，名古屋的商人滝信四郎（1868-1938）在竹岛附近的海岸上打造了一家旅馆。不少闻名遐迩的作家都曾入住滝信四郎的常磐馆旅馆，其中包括谷崎润一郎（1886-1965）与荣获诺贝尔奖的川端康成（1899-1972）。彼时，他们在此悠然享受蒲郡的平静海水、美丽沙滩以及惬意的温泉。这些作家的经历和作品吸引了很多游客前来竹岛观光度假。

常磐馆旧址如今已被一座纪念馆取代，这座纪念馆以那些流连于此的文人墨客为主题。游客可以预定历史悠久的**蒲郡经典酒店**，留宿一晚体验独特的历史韵味。这家酒店坐落于一座小山之上，可以俯瞰竹岛以及三河湾，始建于 1934 年，当时名为蒲郡酒店。如今，酒店颇具城堡风格的主楼以及园区内的三座附楼都被列为受保护历史建筑之列。另一家著名酒店是位于竹岛附近的海滨**竹岛酒店**，这家酒店以其海景和温泉浴场闻名。

竹岛酒店旁边是**竹岛水族馆**，这里展示了三河湾及其周边海域的海洋生物，尤其是深海鱼类。蒲郡是爱知县唯一的深海渔船基地，在这座城市的海鲜菜肴里，来自 700 米深海的鱼类赫然在列。与此同时，蒲郡的美食还将当地的浅水海鲜、高品质牛肉以及水果等食材兼收并蓄，融入其中。

俊成苑是一座小型公园，它毗邻通往竹岛的人行桥，为纪念身为宫廷官员与诗人的藤原俊成（1114-1204）而建。藤原俊成在管辖这片区域期间，不仅在竹岛建立了八百富神社，而且还推动了当地聚居地日后发展成为蒲郡。公园中矗立着藤原俊成的雕像，附近坐落着**竹岛工艺中心**。游客前往此处，既能了解蒲郡纺织与服装生产那悠长的历史，又有机会亲身体验传统纺织技艺。

竹岛之外，便是面积更为广阔却无人居住的**三河大岛**。每逢夏季，岛上会有临时开业的餐馆和商店，专为那些前来海滩游玩的游客们提供服务。三河大岛可以从竹岛水族馆旁的码头乘船到达。此外，蒲郡市郊和西边的西浦半岛上，还分布着另外几处海滩。

<繁体字>

歡迎來到蒲郡

位於愛知縣中部的濱海城市蒲郡以其優美的自然景色而聞名，為備受歡迎的休閒旅遊地。蒲郡位於三河灣旁，從名古屋搭乘火車約 45 分鐘。當地最著名的景點之一是**竹島**，一座與本土以 380 米長的人行橋相連的小島。這條步道通向 12 世紀建立的**八百富神社**的鳥居，神社的林木覆蓋了整座島嶼。人行橋的本土端周圍是一片度假區，這裡有兩家知名飯店、溫泉浴場、水族館、公園、博物館、長達海濱的散步道，以及供應三河灣海鮮等當地特色美食的餐廳和咖啡廳。竹島地區是三河灣國定公園的一部分。

蒲郡與竹島作為休閒與觀光勝地的名聲可追溯至 20 世紀初。名古屋的商人瀧信四郎（1868-1938）在竹島附近的海岸建造了旅館「常磐館」。著名作家如谷崎潤一郎（1886-1965）和諾貝爾文學獎得主川端康成（1899-1972）都曾到訪常磐館，在此享受蒲郡的寧靜海灣、沙灘與溫泉。他們的經歷與作品啟發許多人前往竹島地區度假，讓此地成為廣受喜愛的休憩之所。

常磐館現已改建為以上述文人為中心的紀念館，但想要在過夜中感受當地歷史傳承的旅客，則可以預訂**蒲郡經典飯店**的房間。這座飯店位於俯瞰竹島與三河灣的山丘上，於 1934 年以「蒲郡飯店」的名義開幕，其仿城郭的主棟及佔地內的三棟附屬建築已被指定為保存建築。竹島附近另一家知名飯店是**竹島飯店**，以其海景和溫泉浴場聞名。

竹島水族館位於竹島飯店旁，該館以展示三河灣及其外圍海域的海洋生物為特色，尤其聚

焦於深海魚類。蒲郡是愛知縣唯一深海漁業船隊的母港，漁民可捕撈至深達 700 米的魚類，這些魚類在當地料理中占有重要地位。此外，蒲郡的美食還融入了來自淺海的海鮮、高品質的牛肉以及新鮮水果等在地食材，豐富了其飲食文化的多樣性。

俊成苑為位於竹島人行橋附近的小型公園，用以紀念朝臣兼詩人藤原俊成（1114–1204）。藤原俊成在擔任當地國司期間，建立了竹島上的八百富神社，同時也奠定了後來發展為蒲郡市的聚落基礎。公園內設有俊成的雕像，附近便是**竹島工藝中心**，遊客可以在此了解蒲郡悠久的紡織與服裝生產歷史，並親身體驗傳統的紡織技藝。

緊鄰竹島的是更大的無人島——**三河大島**。每到夏季，島上會開設臨時的餐廳和商店，為前來海灘的遊客提供服務。可從竹島水族館旁的碼頭乘船抵達。此外，蒲郡市郊及西側的西浦半島上也有數個美麗的海灘。

<日本語仮訳>

蒲郡について

愛知県中部に位置する蒲郡市は風光明媚な観光地である。三河湾に面し、名古屋から電車で 45 分ほどのところにある。その中でも特に有名な名所が**竹島**という小さな島である。竹島は本土と 380 メートルの歩道橋で結ばれており、12 世紀に建てられた**八百富神社**の鳥居へと続いている。竹島全体が八百富神社の森の覆われた境内になっている。橋の本土側周辺は 2 つの有名ホテル、温泉、水族館、公園、博物館、長い海辺の遊歩道、三河湾の海の幸などの特産品を提供するレストランやカフェで構成されるリゾート地となっている。また、竹島エリアは自然豊かな三河湾国定公園の一部である。

蒲郡と竹島が憩いの場、観光の場として広く知られるようになったのは、名古屋の実業家、滝信四郎（1868-1938）が竹島近くの海岸に旅館を建てた 20 世紀初頭にさかのぼる。蒲郡の穏やかな海、浜辺、温泉に魅せられ、谷崎潤一郎（1886-1965）やノーベル賞作家の川端康成（1899-1972）をはじめとする有名な作家たちが、滝の旅館「常磐館」に滞在するようになった。彼らの模範や著作はそれ以来、多くの人々に竹島で休暇を過ごすインスピレーションを与えている。

常磐館は前述の文人に焦点を当てた記念館に取って代わられたが、宿泊でこの地域の歴史を感じたい人は、由緒ある**蒲郡クラシックホテル**の部屋を予約することができる。竹島と三河湾を見下ろす高台にあるこのホテルは 1934 年に蒲郡ホテルとして開業し、城をイメージした本館と敷地内の 3 つの別館が保存指定されている。竹島近辺のもうひとつの瀟洒なホテルは、オーシャンビューと温泉で知られる海辺の**ホテル竹島**だ。

ホテル竹島に隣接する**蒲郡市竹島水族館**は三河湾とその周辺の海の生き物を、特に深海魚を中心に紹介している。蒲郡は愛知県で唯一の深海漁業船団の母港であり、深いところでは水深 700 メートルの深海で獲れる魚は、蒲郡のローカル料理にもよく登場するほか、浅瀬で獲れる魚介類、上質な牛肉、果物などの食材も味わえる。

竹島への歩道橋の近くにある小さな公園「**俊成苑**」は、公家で歌人の藤原俊成（1114-1204）を記念するものだ。俊成は地域の国司を務めながら、竹島に八百富神社を創建し、後に蒲郡となる集落の開発を始めた人物である。公園内の俊成像の近くには**竹島クラフトセンター**があり、蒲郡の織物生産の長い歴史を学び、伝統的な織物技術を体験することができる。

竹島のすぐ先には大きな無人島、**三河大島**があり、夏には臨時のレストランや売店がオープンし、海水浴客で賑わう。三河大島は竹島水族館に隣接する栈橋から船でアクセスできる。また、蒲郡の郊外や西に位置する西浦半島にもいくつかのビーチがある。

【タイトル】 蒲郡市竹島水族館/蒲郡市竹島水族館

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

竹島水族館

凭借着创新性与互动性兼具的展示内容，竹岛水族馆向游客们深入介绍三河湾丰富海洋生物，以及太平洋深处更远海域的生态状况。不同于常见的解说展板，这里的手写信息板采用了小学成绩单以及个人档案的形式，一一介绍展出的鱼类及甲壳类动物。还有一些展板上展示了想象出来的来自海洋生物的“评论”，如此一来，这些海洋生物就显得更为鲜活有趣了，也更容易引起儿童的兴趣。

水族馆中海洋生物栖息地的设计同样极具创意。其中一处展区是用色彩斑斓的煤渣砖搭建而成的，这些煤渣砖经过排列后，看上去宛如一座公寓大楼，并且每个“房间”都配有相应的名字和地址。生活在这个水槽里的鱼类，在这些类似海底环境的狭小空间（由水泥块构成）之中过得很是惬意。

馆内所展示的众多深海生物颇为罕见，很多都是当地渔民驾驶四艘深海渔船时意外捕捞到的。竹岛水族馆展示了大约 140 种的深海生物，鲨鱼、鲷鱼还有龙虾等都位列其中。

聚焦当地海鲜，是水族馆的另一个重要主题。一些水槽上贴有标签，标示出可以食用的海洋生物，同时还通过照片和视频展示了特定鱼类的烹饪方法。

水族馆的一角设有浅浅的开敞式水槽，游客可以轻柔地触摸海洋生物。除了鱼类和甲壳类动物，水族馆还是水獭、水豚和海龟的家。

<繁体字>

竹島水族館

竹島水族館以創新且互動的展示方式，呈現三河灣豐富的海洋生態以及太平洋深海的生物

世界。與一般的解說文字板不同，水族館內的手寫資訊板以小學生成績單和個人檔案的形式，生動介紹展出的魚類與甲殼類生物。其他資訊板上還加入了海洋生物的「留言」，讓這些生物變得更具親和力，特別受到孩童的喜愛。

竹島水族館的海洋生物棲息環境展區設計同樣充滿創意。其中一個展示以彩色的空心磚堆砌成類似公寓大樓的造型，甚至還標註了住戶的名字和地址。居住在這個魚缸中的魚類對空心磚狹小的空間感到舒適，因為這裡的環境近似海床附近的自然棲息狀況，非常貼合牠們的習性。

竹島水族館展示的許多深海生物十分罕見，其中多在蒲郡四艘深海漁船在作業時意外捕獲。水族館內約有 140 種不同的深海生物，包括鯊魚、鯛魚以及龍蝦等。

此水族館的另一個重要展示主題主要針對當地水產。部分水槽上貼有標籤，標示哪些海洋生物適合食用，同時還透過照片和影片展示特定魚類的烹飪方式。

水族館的一角設有淺水開放式水槽，遊客可以輕輕觸摸裡面的海洋生物。除了魚類和甲殼類生物外，館內還飼養著水獺、水豚以及海龜等其他動物。

<日本語版訳>

蒲郡市竹島水族館

蒲郡市竹島水族館では三河湾や太平洋の深海に生息する豊かな海の生物について、クリエイティブでインタラクティブな展示で紹介している。一般的な説明パネルとは異なり、水族館内の手書きの案内板には、展示されている魚や甲殻類などの詳細が小学校の成績表や履歴書のような形式で紹介されている。また、海の生き物たち自身の「コメント」を想像させるようなものもあり、特に子供たちにとっては親しみやすいものとなっている。

この水族館では海の生き物の生息環境をデザインする際にも同様のアプローチをとっている。ある展示は、カラフルなシンダーブロックをアパートのように並べ、名前と住所を記したものだ。この水槽に生息する魚は海底付近の状況に似ているため、ブロックの限られたスペースが快適なのだ。

展示されている深海生物の多くは希少なもので、蒲郡から出漁している 4 隻の遠洋漁船で働く地元の漁師の網にうっかりかかってしまったものも多い。竹島水族館にはサメ、タイ、エビなど約 140 種類の深海生物がいる。

この水族館のもうひとつの重要なテーマは地元の魚介類に焦点を当てていることだ。水槽の一部には食べておいしい海の生き物を示すステッカーが貼られ、写真やビデオを使って、特定の魚を食材として調理する方法が紹介されている。

水族館の一角には浅いオープン水槽があり、来場者は海の生き物を優しく撫でることができる。魚や甲殻類だけでなく、カワウソやカピバラ、カメなども飼育されている。

地域番号	055	協議会名	和束町地域力推進協議会

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
055-001	宇治茶生産の景観/京都府景観資産や日本遺産に認定を受けている茶畑景観（4 か所）	1,146	WEB
055-002	宇治茶生産の景観/京都府景観資産や日本遺産に認定を受けている茶畑景観（4 か所）	785	パンフレット
055-003	和束茶/茶栽培の歴史	1,197	WEB
055-004	和束茶/茶栽培の歴史	922	パンフレット
055-005	和束町製茶体験工場/茶刈りから製茶するまでの工程	770	WEB
055-006	和束町製茶体験工場/茶刈りから製茶するまでの工程	772	パンフレット
055-007	和束茶カフェ交流ステーション和束の郷/お茶の直売所（お茶、スイーツ等）野菜や手工芸品等の販売	888	WEB
055-008	和束茶カフェ交流ステーション和束の郷/お茶の直売所（お茶、スイーツ等）野菜や手工芸品等の販売	435	パンフレット
055-009	和束町観光案内所とグリーンスローモビリティ/茶畑周遊観光	962	WEB
055-010	和束町観光案内所とグリーンスローモビリティ/茶畑周遊観光	525	パンフレット
055-011	湯船森林公園/マウンテンバイクランド、親水公園、なごみの湖	476	パンフレット
055-012	京都和束荘/町宿泊施設	465	WEB
055-013	京都和束荘/町宿泊施設	441	パンフレット
055-014	体験コンテンツ/抹茶アート体験、お茶の飲み比べ、お茶摘み体験、農泊体験等	1,319	WEB
055-015	体験コンテンツ/抹茶アート体験、お茶の飲み比べ、お茶摘み体験、農泊体験等	567	パンフレット
055-016	和束天満宮/本殿（重要文化財）2 棟（京都府指定文化財）	948	WEB
055-017	和束天満宮/本殿（重要文化財）2 棟（京都府指定文化財）	372	パンフレット
055-018	安積親王陵墓/聖武天皇の皇子の古墳	512	パンフレット
055-019	弥勒磨崖仏/石造物（相楽東部広域連合指定文化財）	427	パンフレット
055-020	八坂大杉/樹齢 1300 年以上の大木、パワースポット	522	パンフレット
055-021	正法寺/京都府指定文化財 仏殿/表門	917	WEB
055-022	正法寺/京都府指定文化財 仏殿/表門	496	パンフレット
055-023	子安地藏/石造物（相楽東部広域連合指定文化財）	415	パンフレット

【タイトル】 宇治茶生産の景観/京都府景観資産や日本遺産に認定を受けている茶畑景観（4か所）

【想定媒体】 WEB

<繁体字>

茶園的風景

在和束町廣闊的綠色丘陵上，經過細心照料的茶樹綿延成行，整齊排列。這片風景訴說著這座町長久以來栽培茶葉的歷史。這片傳統茶園，造就了和束獨特的景觀。茶樹沿著丘陵與山坡自然地延展，勾勒出優美的輪廓，而分布在茶園各處、高聳且頂端裝有風扇的桿子，則是透過送風用以防止霜害的設施。此外，一種稱為「寒冷紗」的黑色布料覆蓋在茶樹上，以保護茶葉免受陽光直射。茶農們依季節進行採摘、收穫、修剪等養護作業，茶園內呈現一片生氣勃勃的景象。

截至 2020 年，和束町的茶園面積約為 412 公頃，年產約 1,100 噸的荒茶（類似於日本茶毛茶狀態的產品）。在町與丘陵間廣闊的茶園中，有四個風光明媚的地區尤為知名，它們各自以獨特的景觀，為來訪者帶來視覺饗宴。

石寺的茶園

最知名的茶葉生產地區，便是位於和束町西南部的石寺。這裡翠綠的茶園丘陵綿延起伏，彷彿向天空延展開來。京都府設有景觀資產登錄制度，目的在於保護並推廣代表當地獨特文化與歷史的景觀，而石寺則被登錄為該制度的第 1 號景觀資產。

到了三月下旬，石寺茶園周圍的櫻花林蔭道上的櫻花盛開，層層淡粉色的花朵交織，為景色增添了華麗色彩。春季，石寺地區的茶園轉為一片翠綠，是欣賞這片美景的最佳季節。過了這段時期之後，茶園將會覆蓋上寒冷紗，以準備進行首次採摘。而在夏季，由於栽培的茶葉種類不同，收穫時期也各異，茶園中混合著被寒冷紗覆蓋的田畝、已收割的茶葉田畝、以及茶葉茂盛、等待採摘的田畝，整片茶園宛如拼布般交錯變化。秋季，田間小徑兩旁的樹木和灌木叢開始變紅，為茶園增添了一抹溫暖的色彩。到了冬季，雪花飄落，山丘上延綿起伏、排列整齊的田畝，轉變成一片雪景。

在面向茶園的「dan dan café」，您可以一邊眺望茶園美景，一邊享受美味的餐點和以茶為主題的甜點。

交通方式：從「和束高橋」巴士站步行約 10～15 分鐘。設有汽車及自行車停車場。

白栖・撰原的茶園

白栖與撰原的茶園分別位於彼此相對的山坡上，遠方可眺望森林與群山。由於位於陡峭的山坡上，田畝的配置方式充分利用了適合栽培的土地，發揮出最大效益。在其周圍，有隨著季節變換而盛開的花卉和水田，是相當受歡迎的徒步導覽與散策路線。

交通方式：從石寺的茶園沿道路步行約 15 分鐘。或從「白栖口」巴士站步行約 18 分鐘。欣賞景觀時，請注意避免妨礙農事作業車輛的通行。

釜塚的茶園

位於緩緩起伏的美麗丘陵上的釜塚茶園，從貫穿和束町東西向的主要道路即可一覽無遺。從和束町的觀光案内所、派出所和郵局都能清楚看見，因此無論是當地居民還是遊客，皆可眺望隨四季變化的美景，以及茶園一年四季的栽培作業過程。從安積親王墓、天空咖啡廳或正法寺等展望景點，也能遠望釜塚的茶園。

交通方式：若想近距離欣賞茶園，可從「中和束」巴士站步行約 8 分鐘。和束町觀光案内所設有汽車與自行車停車場。

<日本語仮訳>

茶畑の風景

和束町に広がる緑の丘陵には、丁寧に手入れされたお茶の木が延々と立ち並んでいます。この風景は、この町で長きにわたり茶が栽培されてきた歴史を物語っています。この伝統的な茶畑が、独特な景観を作りだしています。お茶の木々は丘や山の斜面に、自然な輪郭を描いて広がり、畑のあちこちに設置されている先端に扇風機がついた背の高いポールは、送風によって霜の被害を防ぐためのものです。また、寒冷紗と呼ばれる黒い布がお茶の木々にかけられ、お茶の葉を日光から守っています。お茶農家たちは季節に応じて摘採、収穫、剪定、などの手入れ作業を行っており、茶畑では活気に満ちた光景が見られます。

2020 年現在、和束町の茶畑の面積は約 412 ヘクタールで、年間約 1,100 トンの荒茶（日本茶の毛茶のような状態の製品）が生産されています。町や丘陵に広がる多くの茶畑のなかでも特に風光明媚

な 4 つの地区が有名で、それぞれ独特な光景で訪れる人々の目を楽しませています。

石寺の茶畑

最も有名な茶葉生産地区は、和束町南西部にある石寺です。ここには緑豊かな茶畑の丘が空に向かって広がっています。京都府には地域固有の文化と歴史を代表する景観の保護や広報活動を目的とした景観資産登録制度があり、石寺はその第 1 号に登録されました。

3 月下旬になると、石寺の茶畑では周囲の桜並木の桜が淡いピンク色の層を成し、景色に華やかさが加わります。茶畑が緑一色になる石寺エリアの景観を楽しめるベストシーズンは春です。この時期を過ぎると、初摘みの準備で茶畑は寒冷紗で覆われます。夏には、収穫の時期が異なる様々な種類のお茶が栽培されるため、寒冷紗で覆われた畝や茶葉が刈り取られた畝、摘み取り待ちの茶葉が茂った畝などが混在し、茶畑はパッチワークのようになります。秋には畑間の小道の木々や茂みが紅葉し、茶畑にほんの少し暖かな色彩が加わります。冬になると雪が降り、整った畝が連なる丘は雪景色に変わります。

茶畑を臨む「dan dan café」では、茶畑の景観を堪能しながら美味しい食事やお茶をテーマにしたスイーツを楽しめます。

アクセス：「和束高橋」バス停から徒歩 10～15 分。車および自転車用の駐車場あり。

白栖・撰原の茶畑

白栖（しらす）と撰原（えりはら）の茶畑は、互いに向かい合った斜面に位置しており、遠景に森林や山々が望めます。山の急斜面にあるため、栽培に適した土地を最大限活用するように畝が配置されています。周囲には季節ごとに花が咲く植物や水田がありウォーキングツアーや散策コースとしても人気のエリアです。

アクセス：石寺の茶畑から道沿いに歩いて約 15 分。または「白栖口」バス停から徒歩約 18 分。景観を楽しむ際は、農作業車両の妨げにならないよう注意してください。

釜塚の茶畑

なだらかな美しい丘陵にある釜塚の茶畑は、和束町を東西に走る主要道路から見渡せます。和束町の観光案内所や交番、郵便局からもよく見えるため、地元住民や観光客も季節ごとに移り変わる風景や茶栽培の年間作業を眺めることができます。安積親王墓や天空カフェ、正法寺などの展望スポットからも遠方に釜塚の茶畑を望めます。

アクセス：茶畑を近くから見たい場合は、「中和束」バス停から徒歩約 8 分。和束町観光案内所に車と自転車用の駐車場あり。

【タイトル】 宇治茶生産の景観/京都府景観資産や日本遺産に認定を受けている茶畑景観（4か所）

【想定媒体】 パンフレット

<繁体字>

茶園的風景

和束町の丘陵上，經過細心照料的茶樹宛如綠色地毯般綿延展開。訴說著這座町長久以來栽培茶葉的歷史。這片傳統茶園，造就了和束獨特的景觀。茶樹沿著丘陵與山坡自然地延展，勾勒出優美的輪廓，而分布在茶園各處、高聳且頂端裝有風扇的桿子，則是透過送風用以防止霜害的設施。此外，一種稱為「寒冷紗」的黑色布料覆蓋在茶樹上，以保護茶葉免受陽光直射。茶農們依季節進行採摘、收穫、修剪、養護等作業，茶園內呈現一片生氣勃勃的景象。

在町內眾多的茶園中，有四個風光明媚的地區尤為知名，它們各自以獨特的魅力與景觀吸引著人們。

石寺的茶園

石寺是和束町最知名的茶葉生產地區，並被京都府指定為第1號景觀資產。從展望台可一覽經過精心照料的茶園，附近的「dan dan café」則可讓您一邊享用餐點和以茶為主題的甜點，一邊眺望美景。

石寺隨四季變遷，各具獨特魅力。春季，滿開的櫻花將景色染成粉色；夏季，採摘過的茶園田畝與尚未採摘的田畝交錯著，茶園彷彿呈現出拼布般的圖案；秋季，常綠的茶樹與背後葉子轉紅的樹木形成鮮明對比；冬季，圓潤的茶園丘陵被白雪覆蓋，呈現出一幅動人的景象。

交通方式

從「和束高橋」巴士站步行約10～15分鐘。設有汽車及自行車停車場。

白栖・撰原的茶園

白栖與撰原的茶園分別位於彼此相對的山坡上，遠方可眺望森林與群山。由於位於陡峭的山坡上，田畝錯落分布，充分發揮適合栽培土地的優勢。在其周圍，有隨著季節變換

而盛開的花卉和水田，是相當受歡迎的徒步導覽與散策路線。

交通方式

從石寺的茶園沿道路步行約 15 分鐘。或從「白栖口」巴士站步行約 18 分鐘。

釜塚的茶園

位於緩緩起伏的美麗丘陵上的釜塚茶園，從貫穿和束町東西向的主要道路即可一覽無遺。從和束町的觀光案内所、派出所和郵局都能清楚看見，因此無論是當地居民還是遊客，皆可眺望隨四季變化的美景，以及茶園一年四季的栽培作業過程。

交通方式

從「中和束」巴士站步行約 8 分鐘。

<日本語仮訳>

茶畑の風景

和束町の丘陵には、丁寧に手入れされたお茶の木がまるで緑の絨毯のように広がっています。この町で長きにわたり茶が栽培されてきた歴史を物語っています。この伝統的な茶畑が、独特な景観を作りだしています。お茶の木々は丘や山の斜面に、自然な輪郭を描いて広がり、畑のあちこちに設置されている先端に扇風機がついた背の高いポールは、送風によって霜の被害を防ぐためのものです。また、寒冷紗と呼ばれる黒い布がお茶の木々にかけられ、お茶の葉を日光から守っています。茶農家の人たちは季節に応じて摘採、収穫、剪定、手入れなどの作業を行っており、茶畑では活気に満ちた光景が見られます。町内にある多くの茶畑のうち、特に風光明媚な 4 つの地区が有名で、それぞれ独自の魅力や景観が人々を惹き付けています。

石寺の茶畑

石寺は和束町で最も有名な茶葉生産地区で、京都府が指定した景観資産の第 1 号です。展望台からは入念に手入れされた茶畑を一望でき、近くの「dan dan café」では食事やお茶をテーマにしたスイーツを楽しみながら景色を眺めることができます。

石寺には四季折々の魅力があります。春には満開の桜でピンク色に染まり、夏は茶摘みがすんだ畝とまだの畝が混在し、茶畑はパッチワークのような光景となり、秋には常緑樹であるお茶の木々と紅葉した背景の木々がコントラストを成し、冬には丸みを帯びた茶畑の丘が雪に覆われます。

アクセス

バス停「和束高橋」から徒歩 10～15 分。車および自転車用の駐車場あり。

白栖・撰原の茶畑

白栖（しらす）と撰原（えりはら）の茶畑は、互いに向かい合った斜面に位置しており、遠景に森林や山々が望めます。山の急斜面にあるため、栽培に適した土地を最大限活用した畝が点在しています。周囲には季節ごとに花が咲く植物や水田がありウォーキングツアーや散策コースとしても人気のエリアです。

アクセス

石寺の茶畑から道沿いに歩いて約 15 分。またはバス停「白栖口」から徒歩約 18 分。

釜塚の茶畑

なだらかな美しい丘陵にある釜塚の茶畑は、和束町を東西に走る主要道路から見渡せます。和束町の観光案内所や交番、郵便局からもよく見えるため、地元住民や観光客も季節ごとに移り変わる風景や茶栽培の年間作業を眺めることができます。

アクセス

「中和束」バス停から徒歩約 8 分。

【タイトル】 和束茶/茶栽培の歴史

【想定媒体】 WEB

<繁体字>

和束茶

和束町位於京都府東南部，被稱為茶源鄉。憑藉得天獨厚的環境條件與肥沃的土壤，和束的茶農數世紀以來持續栽培出香氣馥郁的茶葉。結合世世代代傳承下來的傳統與農法，並融入現代的創新巧思，孕育出享譽國際的高品質茶葉。

和束的茶栽培歷史

一般認為，和束的茶栽培始於 13 世紀初，當時具有影響力的禪僧榮西（1141～1215 年）從中國將茶籽帶回京都後，不久便開始發展。據傳，榮西將茶籽交給了當時擔任高山寺住持的明惠（1173～1232 年），明惠隨後將這些茶籽贈送給海住山寺的僧侶慈心。慈心在和束町鷲峰山的山麓栽培了這些茶籽。根據 16 世紀後半的記錄，和束町原山地區曾設有自家用茶園。雖然當時的栽培方法還相當原始，但和束作為茶葉產地的聲譽，可以說是在這個時候開始建立的。

和束作為茶葉生產中心的歷史可追溯至江戶時代（1603～1867 年）。在 1734 年，幕府編制的各地高級名產排行榜中，和束的茶葉被列入其中。數年後，不同於傳統用釜炒製並自然乾燥的方法，蒸製並揉捻乾燥的煎茶製作方法開始普及，專門生產煎茶的茶農逐漸增加，和束町的茶產業也進一步發展壯大。根據銷售記錄，和束茶還曾經從橫濱、神戶等國際港口出口至海外。

由於和束町鄰近更知名且規模較大的茶產地宇治，因此當地生產的茶葉大多被稱為「宇治茶」。直到現在，京都府內所栽培的「宇治茶」中，約有 49% 實際上都來自和束。數個世紀以來，覆蓋丘陵的廣大茶園一直是和束當地經濟與社區的核心。

適合生產茶葉的和束自然環境

和束之所以是茶葉栽培的理想場所，主要得益於其地形和環境。清新涼爽的空氣穿過

起伏の丘陵與茂密の森林，和束川の流水則為茶園提供了豐富的水源，並因晝夜溫差大而產生霧氣。這層霧氣能夠遮蔽過強的陽光，使葉片保持柔軟度，並防止風味的流失。此外，陡峭的坡地具有良好的排水性，能夠適當地保持土壤中的水分。正因為擁有這片富饒的自然環境，和束早在數個世紀前，就成為奈良興福寺、京都北野天滿宮及皇室等當時的權力者所管理的莊園，並受到極高的評價。

目前，和束的茶園總面積約為 412 公頃，年產約 1,100 噸的荒茶（類似於日本茶毛茶狀態的產品）。和束的茶農約有 200 戶，收穫的茶葉會送往 100 處製茶工廠進行加工。

和束茶的特色

和束主要以生產煎茶而聞名。煎茶是在採收一番茶（新茶）或二番茶（第二次採收茶）之前，在直射陽光下栽培，並於茶葉仍然柔嫩且富含營養時，早期進行採收的茶葉。其品質根據形狀、色澤、香氣和風味這四項標準進行評價。相比其他產地的茶葉，和束茶的香氣更為清新，且甘味與鮮味的平衡恰到好處，受到廣泛好評。經過輕度蒸製後萃取的煎茶，呈現帶有金黃色調的淡綠色。

近年來，和束的茶農開始大量生產用於製作抹茶的碾茶。將碾茶研磨後，即可製成抹茶。想為料理添加綠茶風味時，碾茶是最適合的選擇。當您享用抹茶冰淇淋、瓶裝茶、抹茶冰沙或抹茶風味甜點時，這股風味或許正是來自和束那片美麗茶園所栽培的高品質茶葉。

<日本語仮訳>

和束茶

和束町は京都府南東部にあり、茶源郷と呼ばれています。和束の茶農家は、恵まれた環境条件と肥沃な土壌を活かし、何世紀も前から香り高い茶葉を栽培してきました。数世代にわたって受け継がれてきた伝統と農法に現代の創意工夫が加わり、品質の高さで世界的にも有名なお茶を生産しています。

和束の茶栽培の歴史

和束における茶栽培は、当時、影響力を持っていた禅僧の栄西（1141～1215 年）が中国から京都に茶の種を持ち込んだ直後の 13 世紀初頭に始まったと考えられています。言い伝えによれば、栄西は高山寺の住職だった明恵（1173～1232 年）に種を与え、明恵はその種を海住山寺（かいじゅうせんじ）の僧、慈心に贈りました。慈心は和束町の鷲峰山（じゅうぶざん）の麓でこの種を栽培しました。16 世紀後半の記録には、和束町原山（はらやま）地区に自家用の茶畑が作られたと記されています。栽培

方法はまだまだかなり原始的でしたが、お茶の産地としての和束の評判はこの頃に始まったと言えます。

和束が茶生産の中心地としての歴史を明確に示すのは、江戸時代（1603～1867 年）のことです。幕府が 1734 年にまとめた各地の高級名産品のランキングには、和束のお茶が記載されています。数年後には、従来の釜で炒って自然乾燥させる方法ではなく、蒸して揉みながら乾燥させる煎茶の製法が普及し、煎茶専門の農家が増え、和束町の茶産業はさらに拡大しました。販売記録によると、和束茶は横浜や神戸などの国際港から海外にも輸出されていました。

お茶の生産地としてより有名で規模も大きな宇治に近いことから、和束町で生産されたお茶の多くは「宇治茶」と呼ばれていました。現在でも京都府内で栽培された「宇治茶」の約 49%は、実際には和束で生産されています。何世紀にもわたって、和束では丘陵を豊かな緑で覆う多くの茶畑が経済とコミュニティの中心なのです。

茶生産に適した和束の環境

和束がお茶の栽培に理想的な場所である理由は、その地形と環境にあります。なだらかな丘陵と深い森を冷たく新鮮な空気が通りぬけ、和束川の水は栄養に富み、夜と昼の気温差によって霧が発生します。この霧が茶葉を過度な日光から防ぎ、葉の柔らかさを保ち、風味の低下を防ぎます。さらに、急斜面は排水性に優れ、土壌の水分を適切に保持します。こうした豊かな環境のおかげで、和束はすでに数世紀前、奈良の興福寺、京都の北野天満宮、皇室など、当時の権力者の管理下に置かれた荘園として、非常に高く評価されていました。

現在、和束の茶畑の総面積は約 412 ヘクタールで、年間約 1,100 トンの荒茶（日本茶の毛茶のような状態の製品）が生産されています。茶農家は約 200 人で、収穫した茶葉は 100 カ所の製茶工場に送られます。

和束茶の特徴

和束は主に煎茶の生産地として知られています。煎茶は、一番茶（新茶）や二番茶（第二回目の摘み茶）の収穫前に直射日光下で栽培され、まだ葉が柔らかく栄養分が豊富な早い時期に収穫されたお茶です。その品質は形、色、香り、味の 4 つの基準で評価されます。和束茶は他の地域で生産されたお茶に比べて、香りが爽やかで、甘みと旨みのバランスがよいと言われています。軽く蒸した茶葉から抽出した煎茶は、黄金色を帯びた淡い緑色に仕上がります。

和束の茶農家は近年、抹茶の素になるてん茶の大量生産を始めました。てん茶を挽いたものが抹茶になります。てん茶は料理に緑茶の要素を加えたいときに最適です。あなたが抹茶アイスクリームやペットボトルのお茶、抹茶フラッペ、抹茶風味のスイーツの味を楽しんでいるとき、もしかすると、それは和束の美しい茶畑で栽培された高品質のお茶の風味かもしれません。

【タイトル】 和束茶/茶栽培の歴史

【想定媒体】 パンフレット

＜繁体字＞

和束茶

和束茶栽培歴史

和束の茶葉栽培（學名：Camellia sinensis）被認為始於 13 世紀初。據傳，當時具有影響力的禪僧榮西（1141～1215 年）從中國將最初的茶籽帶回京都，其中一部分傳到了海住山寺的僧侶慈心手中，慈心隨後在和束的鷲峰山栽培了這些茶籽。根據 16 世紀後半的記錄，位於鷲峰山山麓的原山曾建立自家用的茶園。雖然當時的栽培方法還相當原始，但和束作為茶葉產地的聲譽，可以說是在這個時候開始建立的。

和束茶早在 1734 年就被列入日本的江戸幕府資料，作為各地的高級名產之一。在數年後，一種新的煎茶製法被開發出來，取代了原本以釜炒製並自然乾燥的方式，改為蒸製並揉捻乾燥的製作方式。因此，專門生產煎茶的茶農逐漸增加，和束町的茶產業也進一步發展壯大。到了 19 世紀，和束茶開始經由橫濱、神戸等國際港口出口至海外。

由於和束町鄰近更知名且規模較大的茶產地宇治，因此當地生產的茶葉大多被稱為「宇治茶」。直到現在，京都府內所栽培的「宇治茶」中，約有 49% 實際上都來自和束。

適合生產茶葉的和束自然環境

和束之所以是茶葉栽培的理想場所，主要得益於其地形和環境。流經町內的和束川在山谷間形成霧氣，不僅防止茶樹過度暴露在陽光下，還能保持葉片的柔軟度，使其風味更為豐富。原本，土壤中的風化泥岩排水性較差，但透過在陡峭的坡地上栽培茶樹，成功克服了這一問題，並維持著良好的排水性與保水性。

目前，和束的茶園總面積約為 412 公頃，年產約 1,100 噸的荒茶（類似於日本茶毛茶狀態的產品）。和束的茶農約有 200 戶，收穫的茶葉會送往 100 處製茶工廠進行加工。

和束茶的特色

和束町の茶農雖然生產各式各樣的茶葉，但和束主要以生產煎茶而聞名。煎茶在收穫前一直處於直射陽光下栽培，是於春季較早的時期，在茶葉仍柔嫩且富含營養時採收的茶。和束煎茶以清新的香氣為特色，且甘味與鮮味的平衡恰到好處，受到廣泛好評。經過輕度蒸製後萃取的煎茶，呈現帶有金黃色調的淡綠色。

近年來，和束的茶農開始大量生產用於製作抹茶的碾茶。將碾茶研磨後，即可製成抹茶。想為料理添加綠茶風味時，碾茶是最適合的選擇。當您享用抹茶冰淇淋、瓶裝茶、抹茶冰沙或抹茶風味甜點時，這股風味或許正是來自和束那片美麗茶園所栽培的高品質茶葉。

<日本語仮訳>

和束茶

和束茶栽培の歴史

和束での茶（学名：Camellia sinensis）栽培は、13 世紀初頭に始まったと考えられています。言い伝えによると、当時、影響力を持っていた禅僧の栄西（1141～1215 年）が中国から京都に持ち込んだ最初の茶の種の一部が、海住山寺（かいじゅうせんじ）の僧侶、慈心に渡り、慈心が和束の鷲峰山（じゅうぶざん）でこの種を栽培したといえます。16 世紀後半の記録には、鷲峰山の麓にある原山（はらやま）に自家用の茶畑が作られたと記されています。当時の栽培方法はまだかなり原始的でしたが、お茶の産地としての和束の評判はこの頃に始まったと言えます。

和束茶は、既に 1734 年には、各地の高級名産品として幕府の資料に掲載されています。その数年後、茶葉を釜で炒って自然乾燥させる方法から、蒸して揉みながら乾燥させる煎茶の製法が新たに開発されました。これにより、煎茶専門の農家が増え、和束町の茶産業はさらに拡大しました。19 世紀になると、和束茶は横浜や神戸などの国際港から海外にも輸出されました。

お茶の生産地としてより有名で規模も大きな宇治に近いことから、和束町で生産されたお茶の多くは「宇治茶」と呼ばれていました。現在でも京都府内で栽培された「宇治茶」の約 49%は、実際には和束で生産されています。

茶生産に適した和束の環境

和束がお茶の栽培に理想的な場所である理由は、その地形と環境にあります。町内を流れる和束川は谷間に霧を発生させ、お茶の木々が日光に過度にさらされることを防ぎ、葉を柔らかく風味豊かに保ちます。本来、土壌中の風化した泥岩は排水性に乏しいのですが、急斜面に茶を栽培することでこれを克服し、その結果、良好な排水性と保水性が保たれています。

現在、和束の茶畑の総面積は約 412 ヘクタールで、年間約 1,100 トンの荒茶（日本茶の毛茶のよう

な状態の製品）が生産されています。茶農家は約 200 人で、収穫した茶葉は 100 カ所の製茶工場に送られます。

和束茶の特徴

和束町の茶農家はさまざまなお茶を生産していますが、和束は主に煎茶の生産地として知られています。煎茶は、収穫直前まで直射日光の下で栽培し、葉が柔らかく栄養分が豊富な春の早い時期に収穫されるお茶です。和束煎茶はさわやかな香りが特徴で、甘みと旨みのバランスが良いと言われています。軽く蒸した茶葉から抽出した煎茶は、黄金色を帯びた淡い緑色に仕上がります。

和束の茶農家は近年、抹茶の素になるてん茶の大量生産を始めました。てん茶を挽いたものが抹茶になります。てん茶は料理に緑茶の要素を加えたいときに最適です。あなたが抹茶アイスクリームやペットボトルのお茶、抹茶フラッペ、抹茶風味のスイーツの味を楽しんでいるとき、もしかすると、それは和束の美しい茶畑で栽培された高品質のお茶の風味かもしれません。

【タイトル】 和束町製茶体験工場/茶刈りから製茶するまでの工程

【想定媒体】 WEB

<繁体字>

和束町製茶體驗工廠

和束的茶農們會將採收的新鮮綠色茶葉運送至加工設施進行處理。在這裡，翠綠的茶葉將轉化為世界各地人們所喜愛的茶品。即使是相同的茶葉，根據不同的加工方式，也能製作出綠茶、烏龍茶、紅茶等各種類型的茶品。在和束町，茶葉主要被加工為日本最受歡迎的綠茶——煎茶。過去，茶葉的加工需要耗費大量時間與人力進行手揉製作，但現在大多數茶農已改用機械加工。

製茶的流程會因生產者或茶葉種類而略有不同，但在和束町的製茶工廠，主要透過機械進行以下製程。

蒸製

剛採摘的茶葉會從容器倒到輸送帶上，並被送往蒸青機。為了抑制酵素活性並維持抗氧化物質，讓茶成為健康的飲品，這個工序必須迅速完成。茶葉在蒸青機內高速旋轉，同時進行高溫蒸製，隨後立即透過風扇冷卻。雖然蒸製時間和旋轉速度各有不同，但這道工序是決定最終茶葉風味、香氣與色澤的最關鍵步驟。

揉捻

使用四種機械來取代傳統的手揉製程。首先，從蒸青機轉移出來的茶葉會被粗揉機以金屬製的長型鏟狀刀片攪拌，以去除多餘的水分。接著，揉捻機會透過大型刷狀裝置以畫圓的方式旋轉，同時持續施加壓力，破壞茶葉的細胞膜，使色澤均勻，並將整體含水量調整至均一狀態。接下來，在密閉的圓筒型中揉機內，將茶葉透過金屬製的揉捻裝置鬆散開來，同時均勻加熱，進一步去除水分。最後，透過精揉機，以竹製的大型鏟狀部件代替手工揉捻，使茶葉朝同一方向旋轉，將其整理成乾燥的日本茶葉特有的針狀形態。

乾燥

完成揉捻工序の茶葉，為了保持形狀，會立即放入乾燥機進一步乾燥。將薄薄鋪展在托盤上的茶葉送入乾燥機，透過熱風乾燥後，即完成乾燥工序。透過此過程，茶葉的含水量會降低至剛採摘時的 5% 以下，使其能夠保存數個月。

交通方式

和束町製茶體驗工廠距離「和束山之家」巴士站步行約 5 分鐘。從有 LAWSON 便利商店的大十字路口右轉，位於和束茶咖啡廳的左側。設有汽車與自行車停車位。

<日本語仮訳>

和束町製茶体験工場

和束の茶農家は、収穫した新鮮な緑の葉を加工施設に運びます。そこで緑の葉は、世界中で楽しんでいるお茶へと生まれ変わります。同じ茶葉でも加工方法によって、緑茶、ウーロン茶、紅茶など、さまざまな種類のお茶を作ることができます。和束町では、主に日本で最も人気の高い緑茶である煎茶に加工されています。かつては時間と労力を要する手揉みで加工していましたが、現在ではほとんどの農家が機械で加工しています。

製茶の工程は生産者やお茶の種類によって若干異なりますが、和束町の製茶工場では機械を用いて次のような工程を行っています。

蒸し

摘みだした茶葉は容器からベルトコンベアの上にあけられ、蒸し機に運ばれます。この工程は、酵素を不活性化して抗酸化物質を維持し、お茶を健康的な飲み物にするために、迅速に行わなければなりません。茶葉は蒸し機の中で回転しながら高温で蒸され、その後すぐにファンで冷却されます。蒸し時間や回転速度はさまざまですが、最終的な茶製品の風味、香り、色を決定づける最も重要な工程です。

揉み

伝統的な手揉み工程にとって代わる 4 種類の機械を使います。まず、蒸し機から移された茶葉を、粗揉（そじゅう）機が金属製の長いへら状の刃で攪拌し、余分な水分を取り除きます。次に、揉捻（じゅうねん）機が大型のブラシ状の機械で円を描くように回転しながら圧力をかけ続けて茶葉の細胞膜を破壊し、色を均一にし、全体の水分量を一定にします。続いて、密閉された円筒型の中揉（ちゅうじゅう）機で茶葉を金属製の揉み手でほぐしながら熱を均等に加え、さらに水分を取り除きます。最後に、精揉（せいじゅう）機で、手の代わりに竹製の大きなへらのようなパーツを使い、一方向に回転させることで、乾燥した日本茶の葉の特徴である針状の形に整えます。

乾燥

揉み工程を終えた茶葉は、形を保つためにすぐに乾燥機に入れられ、さらに乾燥させます。トレイに薄く広

げられた茶葉を乾燥機に挿入し、熱風で乾燥させれば乾燥工程は完了です。これにより、茶葉の水分含有量は摘みたて時の 5%未満にまで低下し、数か月間の保存が可能になります。

アクセス

和束町製茶体験工場は、バス停「和束山の家」から徒歩約 5 分。ローソンがある大きな交差点を右折し、和束茶カフェの左隣り。車・自転車用の駐車スペースあり。

【タイトル】 和束町製茶体験工場/茶刈りから製茶するまでの工程

【想定媒体】 パンフレット

＜繁体字＞

和束町製茶體驗工廠

茶農在收穫茶葉後，會將剛採摘的新鮮茶葉加工為世界各地人們喜愛的茶品。即使是相同的茶葉，根據不同的加工方式，也能製作出綠茶、烏龍茶、紅茶等各種類型的茶品。在和束町，主要將茶葉加工成日本最受歡迎的綠茶——煎茶。過去，茶農通常個別獨自進行製茶作業，但隨著發明出能夠簡化並加快作業流程的各類機械，以及建立這些機械的共享設施，原本勞動密集型的製茶作業，如今已大幅提高了生產效率。

在 1900 年代初期，和束町是最早實現機械化的主要茶葉生產地之一。目前仍在使用的製茶機多數是數十年前的機型，現已停止生產與銷售。因此，這些機械既珍貴又難以更換，為了防止故障，適當的維護保養不可或缺。

和束町製茶體驗工廠則主要用於加工參加日本國內茶葉比賽的茶葉。

蒸青機

剛採摘的茶葉會透過輸送帶送入蒸青機，以抑制酵素活性並保留抗氧化物質。茶葉在蒸青機內高速旋轉，同時進行高溫蒸製，隨後立即透過風扇冷卻。蒸製時間與旋轉速度會根據最終成品的柔軟度與風味有所不同。

粗揉機

完成蒸製工序的茶葉會在粗揉機內攪拌並進行乾燥。金屬製的長型鏟狀刀片可將茶葉鬆散開來，防止其結塊。

揉捻機

揉捻機不加熱，而是透過大型刷狀機械以畫圓的方式施加壓力，對茶葉進行「壓揉」。透過此過程，茶葉的細胞膜被破壞，使茶葉的色澤均勻，同時將整體含水量調整至均一狀態。

中揉機

密閉式圓筒型の中揉機在揉捻茶葉的同時，會均勻加熱並進行乾燥。

精揉機

在前述工序中已盡可能去除水分後，最後透過精揉機，以竹製的大型鏟狀部件代替手工揉捻，使茶葉朝同一方向旋轉，將其整理成乾燥的日本茶葉特有的針狀形態。

乾燥機

完成所有揉捻工序的茶葉，為了保持形狀，會立即進一步乾燥。茶葉被薄薄地鋪放在托盤上，然後送入乾燥機進行乾燥。乾燥機利用熱與氣流來完成這一道工序。透過此過程，剛採摘的茶葉水分含量會降至原來的 5% 以下，從而使其能夠保存數個月。

<日本語仮訳>

和束町製茶体験工場

農家は、お茶を収穫した後、摘み取ったばかりの新鮮な葉を世界中の人々に親しまれているお茶に加工します。同じ茶葉でも加工方法によって、緑茶、ウーロン茶、紅茶など、さまざまな種類のお茶を作ることができます。和束町では、主に日本で最も人気の高い緑茶である煎茶に加工します。かつては個々の茶農家がそれぞれ個別に製茶作業を行っていましたが、作業を簡素かつ迅速化できる多様な機械が発明され、さらにそうした機械の共有施設ができて、労働集約型だった製茶作業も今では大幅に効率化されました。

1900 年代初頭、和束町は機械化が進んだ最初の主要な茶生産地の 1 つでした。現在も使用されている製茶機の多くが数十年前のもので、もはや製造も販売されていません。そのため、こうした機械は貴重であると同時に交換が難しく、故障を防ぐために適切なメンテナンスが欠かせません。

和束町製茶体験工場は、主に国内の日本茶コンテストに出品する茶葉の加工に使用されています。

蒸し機

摘みたての茶葉は、酵素を不活性化して抗酸化物質を保つため、ベルトコンベアで蒸し機に運ばれます。茶葉は蒸機の中で回転しながら高温で蒸され、その後すぐにファンで冷却されます。蒸し時間や回転速度は、仕上がりの柔らかさと風味によってさまざまです。

粗揉（そじゅう）機

蒸し工程を終えた茶葉を、粗揉機の中で攪拌して乾燥します。金属製の長いへら状の刃が茶葉をほぐして塊になるのを防ぎます。

揉捻（じゅうねん）機

揉捻機は熱を加えず、大型のブラシ状の機械で円を描くように圧力をかけて茶葉を「押しつぶし」ます。これにより茶葉の細胞膜が破壊され、お茶の色を均一にするとともに、全体の水分量を一定にします。

中揉（ちゅうじゅう）機

中揉機の密閉された円筒型の機械が茶葉を揉みながら均等に熱を加えて乾燥させます。

精揉（せいじゅう）機

これまでの工程で可能なかぎり水分を取り除いた後、最後に、精揉（せいじゅう）機で、手の代わりに竹製の大きなヘラのようなパーツを使い、一方向に回転させることで、乾燥した日本茶の葉の特徴である針状の形に整えます。

乾燥機

揉捻工程が全て完了した茶葉は、形状を保つため、直ちにさらに乾燥させます。茶葉はトレイの上に薄く並べられ、乾燥機に挿入されます。乾燥機は熱と空気を使って工程を完了します。これにより、摘みたての茶葉の水分含有量が 5 パーセント未満に減り、今後数か月間茶葉を保存できるようになります。

【タイトル】 和束茶カフェ交流ステーション和束の郷/お茶の直売所（お茶、スイーツ等）野菜や手工芸品等の販売

【想定媒体】 WEB

<繁体字>

和束茶咖啡廳與和束之鄉交流站

「和束茶咖啡廳」與「和束之鄉交流站」，是可試飲茶品並購買茶製食品的便利據點。這兩個設施相鄰，除了販賣當地收穫的農產品與手工藝品外，還提供各式各樣的料理和甜點。知識豐富的工作人員會根據來訪者的喜好和需求，幫助他們選擇最合適的茶葉。

和束茶咖啡廳

這座結合咖啡廳與商店的設施，提供來自和束超過 30 家茶農嚴選的約 300 種茶品。這裡有各式各樣的茶品，包括和束式煎茶（全葉綠茶）、冠茶（在輕度遮光的環境下栽培的茶葉，味道醇厚的綠茶）、玉露（在高度遮光環境下栽培，品質更加高級的綠茶）、莖茶（由茶梗與茶枝混合製成的茶）、玄米茶（加入玄米的茶）、焙茶（焙烤過的綠茶）、和紅茶（日本產的紅茶）等，並且為了讓顧客更容易辨識，每種茶葉都進行了顏色標註。牆上列出了每種茶葉的特色、風味以及最佳沖泡方法的說明，並以英文和日文雙語標示。店內還販售各式各樣的工藝品和用品，用於沖泡茶葉。

和束茶咖啡廳提供餐點和甜點，還可以外帶抹茶霜淇淋和飲品。咖啡廳的招牌菜是搭配焙茶飯與茶葉佃煮（燉煮至收汁）的抹茶蕎麥麵套餐。甜點包括抹茶善哉（加入烤年糕的紅豆湯）、茶糰子、抹茶布丁和焙茶布丁等。

在和束茶咖啡廳，可以預約位於丘陵上、能夠一覽周圍茶園美景的天空咖啡廳。您也可以預約租借自行車、茶葉試飲、學習茶葉沖泡的課程，以及抹茶藝術體驗等活動。

和束之鄉交流站

和束之鄉是於 2021 年開設的農產品直賣所（產地直銷中心）兼聚會場所，為當地居民與遊客提供了交流空間。該設施依季節舉辦各類活動，展示並販售當地居民製作的工藝品和料理，同時也是遊客品嚐當地傳統美食的場所。此外，店內除了販售米、蔬菜、豆

腐、醬料類、雞蛋、蒟蒻、味噌、高湯等烹飪所需的食材外，還有烘焙點心、手工和菓子、瓶裝茶、抹茶口味洋芋片，以及手工藝品與各式伴手禮等。

店內深處設有兩張大桌，讓顧客可以坐下來休息放鬆。在這裡，您可以享用餐點、品嚐免費茶飲，還能翻閱欣賞和束四季風景的照片集。菜單主要以霜淇淋和輕食為主，但每週二提供分量充足的定食類餐點，週末則有雞蛋拌飯可供享用。

交通方式

從「和束山之家」巴士站步行約 5 分鐘。設有汽車和自行車停車場。

<日本語仮訳>

和束茶カフェと交流ステーション 和束の郷

「和束茶カフェ」と「交流ステーション 和束の郷」は、お茶の試飲やお茶を使った食品を購入できる便利なスポットです。2つの施設は隣接しており、地元で収穫された農産物や手作り工芸品のほか、さまざまな料理やお菓子を提供しています。知識豊富なスタッフが、来訪者の好みやニーズに合った最高のお茶選びをお手伝いします。

和束茶カフェ

カフェとショップが一体となったこの施設には、和束の 30 を超える茶農家から厳選された約 300 種類のお茶が揃っています。和束式煎茶（ホールリーフの緑茶）、かぶせ茶（薄日陰で育てた茶から作られ、まろやかな味の緑茶）、玉露（濃い日陰で育てたさらに上質な緑茶）、茎茶（茎と小枝を混ぜて作ったお茶）、玄米茶（玄米を加えたお茶）、ほうじ茶（焙じた緑茶）、和紅茶（日本産の紅茶）など、さまざまな種類のお茶があり、顧客が識別しやすいように色分けされています。壁には、それぞれのお茶の特徴や風味、最適な淹れ方などの説明が英語と日本語で掲示されています。店内ではお茶を淹れるためのさまざまな工芸品やグッズも販売しています。

和束茶カフェでは食事やスイーツを提供しており、抹茶ソフトクリームや飲み物のテイクアウトもできます。カフェの名物は、ほうじ茶ご飯とお茶の佃煮（水分がなくなるまで煮詰めた食品）がついた抹茶そばのセットです。スイーツは抹茶ぜんざい（焼餅を入れた小豆スープ）、茶団子、抹茶プリンやほうじ茶プリンなどがあります。

和束茶カフェでは、周囲の茶畑を一望できる丘の上にある天空カフェの予約ができます。レンタサイクル、お茶の試飲、お茶の淹れ方を学ぶクラス、抹茶アート体験などの予約もできます。

交流ステーション 和束の郷

和束の郷は、2021 年にオープンした農産物直売所（産地直売センター）兼人々の集いの場で、地元住民と観光客が交流できる場を提供しています。同施設では季節ごとにイベントを開催し、地元の人々が作った工芸品や料理を展示・販売し、観光客にとっては地元の伝統料理が味わえる場となっています。また、米や野菜、豆腐、ソース類、卵、こんにゃく、味噌、だしなどの調理用食材に加え、焼き菓子、手作りの和菓子、ペットボトルのお茶、抹茶味のポテトチップスや、手工芸品、お土産なども販売しています。

奥には大きなテーブルが 2 卓あり、座ってくつろぐことができます。ここで食事を注文したり、無料のお茶を飲んだり、和束の四季の写真アルバムを閲覧したりもできます。メニューは基本的にソフトクリームと軽食のみですが、火曜日には食べ応えのある定食類、週末には卵かけご飯を提供しています。

アクセス

「和束山の家」バス停から徒歩約 5 分。車と自転車の駐車場あり。

055-008

和束町地域力推進協議会

【タイトル】 和束茶カフェ交流ステーション和束の郷/お茶の直売所（お茶、スイーツ等）野菜や手工芸品等の販売

【想定媒体】 パンフレット

<繁体字>

和束茶咖啡廳與和束之鄉交流站

和束茶咖啡廳

和束茶咖啡廳是一座結合咖啡廳與商店的綜合設施，嚴選來自和束超過 30 家茶農的優質茶葉，提供多樣選擇。店內以英文和日文標示茶的特色、風味與沖泡方式的說明，並有知識豐富的工作人員提供協助與建議。此外，商店內也有販售工藝品及與泡茶相關的用品。

在咖啡廳，除了能品嚐到抹茶蕎麥麵與傳統甜點，還可以外帶飲品與冰淇淋。和束茶咖啡廳還提供鄰近丘陵上的天空咖啡廳、自行車租借以及茶文化體驗工作坊的預約服務。

和束之鄉交流站

和束之鄉是農產品直賣所兼聚會場所，透過舉辦季節性活動來支持當地農民與職人，並向訪客介紹當地美食。銷售區除了販售主食類與農產品外，還有烘焙點心、手工甜點、瓶裝茶、抹茶口味洋芋片，以及各式工藝品等。

室內與戶外皆設有座位區，可供休息、品茶、用餐，或翻閱欣賞四季變遷的和束風景照片集。菜單主要以霜淇淋和輕食為主，但每週二提供分量十足的每日定食，週末則有雞蛋拌飯可供享用。

交通方式

從「和束山之家」巴士站步行約 5 分鐘。設有汽車和自行車停車場。

<日本語仮訳>

和束茶カフェと交流ステーション 和束の郷

和束茶カフェ

和束茶カフェでは、和束の 30 を超える茶農家から厳選されたお茶を取り揃えたカフェとショップが一体となった施設です。お茶の特徴や風味、淹れ方の説明が英語と日本語で掲示されており、知識豊富なスタッフが手伝いやアドバイスをしてくれます。ショップでは、工芸品やお茶の淹れ方に関するグッズも販売しています。

カフェでは、抹茶そばや伝統的なスイーツを楽しめるほか、飲み物やアイスクリームのテイクアウトもできます。和束茶カフェでは、近くの丘の上にある天空カフェやレンタサイクル、お茶のワークショップの予約も行っています。

交流ステーション 和束の郷

和束の郷は、季節ごとにイベントを開催して地元の農家や職人を支援し、訪問者に地元の食べ物を紹介する、農産物直売所であり、人々の集いの場です。販売スペースでは主食類や農産物のほか、焼き菓子、手作り菓子、ペットボトルのお茶、抹茶味のポテトチップス、各種工芸品などを販売しています。屋内と屋外に着席スペースがあり、くつろいだり、お茶を飲んだり、食事を注文したり、四季折々の和束の写真集を閲覧できます。メニューは基本的にソフトクリームや軽食が中心ですが、火曜日にはボリューム満点の日替わり定食、週末には卵かけご飯も提供しています。

アクセス

「和束山の家」バス停から徒歩約 5 分。車と自転車の駐車場あり。

【タイトル】 和束町観光案内所とグリーンスローモビリティ/茶畑周遊観光

【想定媒体】 WEB

<繁体字>

和束町観光案内所與綠能低速電動車導覽（Green Slow Mobility Tour）

和束町観光案内所

在和束町散策時，可以拿取實用地圖、導覽手冊以及旅遊建議的和束町観光案内所，是遊客造訪時的第一站首選。觀光案内所座落於主要道路旁，交通便利，後方則可見美麗的釜塚茶園丘陵。館內設有資料架，提供大量旅遊景點、體驗活動、餐廳及各類活動的資訊手冊，供遊客取閱。大部分為日文版，另有英文、中文及韓文版本。櫃檯有專員常駐，可解答訪客的各種問題（亦透過翻譯 APP 提供多語言服務）。

想更近距離遊覽被和束茶園覆蓋的綠色丘陵的遊客，可以利用自行車租借服務。租借時間為上午 9 點至下午 4 點 30 分，費用為 1,100 日圓。

案内所の商店販售當地生產的茶葉及綠茶製品，並提供托特包、手拭巾等和束町観光案内所才有的限定商品。

搭乘綠能低速電動車「Guchamo」來趟茶園巡禮

和束町観光案内所是和束町推動環保旅遊的一環，同時也是綠能低速電動車導覽行程的出發地點。此導覽行程將搭乘對環境友善的電動車，從觀光案内所往返知名的石寺茶園。由經驗豐富的導覽員負責駕駛，帶您深入探索和束町的歷史、和束茶的獨特魅力，以及茶園一年四季的栽培作業。另外，還有行程可帶您造訪沿著小徑分布的在地商店。導覽行程使用的電動車，其名稱取自「綠能（Green）」、「茶（Cha）」、「移動（Mobility）」的字首，並以「Guchamo」作為暱稱。「Guchamo」載著導覽行程的參加者穿越茶園間狹窄的道路，讓大家能近距離欣賞茶園、古墳，以及周圍的美麗景色。

需事先電話預約（僅限日語），但若有空位，當日亦可參加。導覽行程的舉辦期間為 3 月至 11 月的星期六、星期日及日本國定假日，全程約需 70 分鐘。每日運行四個時段，分別為 9:40～10:55、11:10～12:25、13:30～14:45、15:00～16:10。導覽行程費用：大人 1,000 日圓，兒童（小學生以下）500 日圓。搭乘奈良交通巴士前往和束町的旅客可享優惠，請在付款時出示乘車證明。導覽行程結束後，將贈送小紀念品作為回饋。由於

「Guchamo」車輛僅有兩台，導覽行程的人數上限為：星期日 1～7 名，星期六及日本國定假日 1～4 名。

交通方式

從「中和束」或「和束河原」巴士站朝綠色招牌方向前進，步行約 2 分鐘。開車或騎自行車的訪客請使用停車場。

<日本語仮訳>

和束町観光案内所とグリーンスローモビリティツアー（Green Slow Mobility Tour）

和束町観光案内所

和束町を散策する際に役立つ地図やパンフレット、アドバイスが得られる和束町観光案内所は、観光客が最初に立ち寄る場所として最適です。案内所は主要道路沿いの便利な場所にあり、裏手には美しい釜塚の茶畑の丘が見えます。館内には、観光スポットや体験ワークショップ、レストラン、イベントなどの情報リーフレットを多数取り揃えた棚があります。多くは日本語ですが、英語、中国語、韓国語で作成されたものもあります。カウンターにはスタッフが常駐しており、訪問者の質問に答えてくれます（機械翻訳アプリで多言語サポートも行っています）。

和束の茶畑に覆われた緑色の丘をもっと近くで観光したい人向けに、レンタサイクルをご利用いただけます。レンタル時間は午前 9 時から午後 4 時 30 分まで、料金は 1,100 円です。

案内所の売店では、地元産のお茶や緑茶製品を販売しており、トートバッグや手ぬぐいなど、和束町観光案内所限定の商品もあります。

グリーンスローモビリティ「グーチャモ」で茶畑巡り

和束町観光案内所は、環境に優しい観光への取り組みの一つとして和束町が行っているグリーンスローモビリティツアーの出発地点です。このツアーでは、環境に優しい電動車で案内所から有名な石寺茶畑までを往復します。知識豊富なガイドが運転を担当し、和束町の歴史や和束茶の特徴、茶栽培の年間作業について説明してくれます。小道沿いにある地元の店を訪れるコースもあります。ツアー用の電動車は、「グリーン」「茶」「モビリティ」の頭文字をとって「グーチャモ」の愛称で呼ばれています。グーチャモはツアー参加者を乗せて茶畑の狭い道を通るので、参加者は茶畑や古墳や周りの美しい景色を間近に楽しめます。

事前に電話予約（日本語のみ）が必要ですが、空きがあれば当日参加も可能です。ツアーの開催期間は 3 月から 11 月の土曜、日曜、祝日で、所要時間は約 70 分です。運行は、9:40～10:55、11:10～12:25、13:30～14:45、15:00～16:10 の 1 日 4 回になります。ツアー料金は、大人 1,000 円、子ども（小学生以下）500 円です。奈良交通バスで和束町にお越しの方には割引がありますので、支払い時に乗車証明書を提示してください。ツアー終了後にはささやかな記念品がもらえます。グーチャモ車両は 2 台のみなので、ツアーの定員は日曜日が 1～7 名で、土曜日と祝日は 1～4 名になります。

アクセス

「中和束」または「和束河原」バス停から緑色の看板方面へ徒歩約 2 分。車・自転車の方は駐車場をご利用ください。

【タイトル】 和束町観光案内所とグリーンスローモビリティ/茶畑周遊観光

【想定媒体】 パンフレット

＜繁体字＞

和束町観光案内所與綠能低速電動車導覽（Green Slow Mobility Tour）

和束町観光案内所

和束町観光案内所提供實用的地圖、導覽手冊及關於當地餐廳的旅遊建議，是遊客造訪時的第一站的首選。櫃檯人員除日語外，也可透過翻譯 APP 提供外語支援。

自行車租借

想更近距離遊覽被和束茶園覆蓋的綠色丘陵的遊客，可以利用自行車租借服務。租借時間為上午 9 點至下午 4 點 30 分，費用為 1,100 日圓。

搭乘綠能低速電動車「Guchamo」來趟茶園巡禮

和束町観光案内所是綠能低速電動車導覽行程的出發點，該行程將搭乘對環境友善的電動車往返知名的石寺茶園。負責駕駛的知識豐富的導覽員將講解和束町的歷史及茶葉栽培，帶領參加行程的遊客近距離欣賞茶園的美麗景色。

導覽舉辦日：星期六、星期日、日本國定假日（3 月～11 月）

時間：9:40～10:55、11:10～12:25、13:30～14:45、15:00～16:10

名額限制：1～4 人（星期六、日本國定假日）、1～7 人（星期日）

費用：大人 1,000 日圓，小學生以下 500 日圓（若出示奈良交通巴士乘車證明，大人 300 日圓，兒童 150 日圓）

交通方式

從「中和束」或「和束河原」巴士站朝綠色招牌方向前進，步行約 2 分鐘。設有汽車與自行車停車場。

＜日本語仮訳＞

和束町観光案内所とグリーンスローモビリティツアー（Green Slow Mobility Tour）

和束町観光案内所

和束町観光案内所では、和束町を散策する際に役立つ地図やパンフレット、地元のレストランに関するアドバイスが得られる和束町観光案内所は、観光客が最初に立ち寄る場所として最適です。カウンターのスタッフは日本語のほか、翻訳アプリで外国語でのサポートも可能です。

レンタルサイクル

和束の茶畑に覆われた緑色の丘をもっと近くで観光したい人向けに、レンタルサイクルをご利用いただけます。レンタル時間は午前 9 時から午後 4 時 30 分まで、料金は 1,100 円です。

グリーンスローモビリティ「グーチャモ」で茶畑巡り

和束町観光案内所は、環境に優しい電動車で有名な石寺茶畑までを往復するグリーンスローモビリティツアーの出発点です。運転を担当する知識豊富なガイドが、和束町の歴史やお茶の栽培について説明してくれ、ツアー参加者は茶畑の美しい景色を間近で楽しめます。

ツアー開催日：土曜、日曜、祝日（3月～11月）

時間：9:40～10:55、11:10～12:25、13:30～14:45、15:00～16:10

定員：1～4 人（土曜日・祝日）、1～7 人（日曜日）

料金：大人 1,000 円、小学生以下 500 円（奈良交通バスの乗車証明書を提示した場合は大人 300 円、子供 150 円）

アクセス

「中和束」または「和束河原」バス停から緑色の看板に向かって徒歩約 2 分。車・自転車の駐車場あり。

【タイトル】 湯船森林公園/マウンテンバイクランド、親水公園、なごみの湖

【想定媒体】 パンフレット

<繁体字>

湯船森林公園

湯船森林公園は一處深受居民與遊客喜愛的景點，可以在此享受野餐、釣魚、越野自行車，以及秋季採菇等各種戶外活動。入園費用為：大人 500 日圓，兒童（小學生以下）200 日圓。

公園裡流淌的河川水深較淺，是夏季避暑安全且理想的場所。在指定的烤肉區，飄散出炭火燒烤的肉類和蔬菜的香氣，家庭或三五好友等團體正享受著美味佳肴與愉快的交談時光。烤肉區的預約及器具租借可在靠近停車場的辦公室辦理。

湯船森林公園內設有適合從初學者到經驗豐富的騎士都能享受的越野自行車道「湯船 MTB LAND」。這條車道也受到了專業騎士的高度肯定，並且將成為 2027 年舉行的世界壯年運動會「越野自行車賽」的比賽場地。

使用湯船森林公園設施時，請務必遵守相關規定，保持公園清潔，讓每位來訪者都能享有愉快的體驗。請勿搭設帳篷、未經許可使用火源、下午 5 點後仍在園內逗留，或垃圾未清理就離開等行為。請注意，公園僅於星期六、星期日及日本國定假日開放。來園需提前預約，請聯繫和束町政府農村振興課。

交通方式

目前尚未開通前往湯船森林公園的巴士路線。停車場的使用時間為上午 9 點至下午 5 點，費用為 500 日圓。

<日本語仮訳>

湯船森林公園

湯船森林公園は、ピクニック、釣り、マウンテンバイク、秋のキノコ狩りなどのアウトドアアクティビティが楽しめる住民や観光客に人気のスポットです。入園料は大人 500 円、こども（小学生以下）200 円です。

公園を流れる川は水深が浅く、夏の間涼むのに安全で理想的な場所です。指定されたバーベキューエリア

アでは炭火で焼ける肉や野菜の香りが漂い、家族や友人などのグループが食事や歓談を楽しんでいます。バーベキューエリアの予約や器具のレンタルは、駐車場のそばにある事務所で受け付けています。

湯船森林公園内には、初心者から経験豊富なライダーまで楽しめるマウンテンバイクコース「湯船 MTB LAND」があります。このコースはプロのライダーにも高く評価されており、2027 年に開催されるワールドマスターズゲームズ「マウンテンバイク競技」の会場にもなっています。

湯船森林公園を利用する際は、公園をきれいに使い、来園者が楽しめるように定められた規則を守ってください。テントを張る、許可なく火を使う、午後 5 時以降に園内を歩き回る、ゴミを残したまま帰るなどの行為はやめてください。公園の開園日は土曜、日曜、祝日のみですのでご注意ください。来園には予約が必要です。和束町役場農村振興課へご連絡ください。

アクセス

湯船森林公園行きのバスは運行していません。駐車場の利用は午前 9 時から午後 5 時まで、料金は 500 円です。

【タイトル】 京都和束荘/町宿泊施設

【想定媒体】 WEB

＜繁体字＞

京都和束荘

和束荘被美麗的翠綠茶園所環繞，是和束町少數幾個可以住宿的設施之一。且位於市中心，讓您能夠悠閒地漫步於町內，無需擔心一天的行程結束後，還要返回遠方的飯店。

和束荘的住客可以享用以各種手法呈現茶香風味的精緻料理，客房內配有茶香爐，還有瀰漫著茶香的大小浴池等設施，讓您以五感全方位體驗茶的魅力。從和束荘可以眺望到周圍綠意盎然的茶園美景，工作人員也會親切地向您介紹茶葉的特色及沖泡方法。滿天星斗的夜空，是這裡的亮點之一。由於四周被廣闊的自然所環繞，遠離了大都市的光害，因此能看到美麗的星空。從住宿地能夠欣賞到半山腰上的櫻花和紅葉等，隨著四季變換展現不同的風景。

和束荘本館的客房共有 4 間，包括 2 間和室（床具為日式床墊）與 2 間洋室（附床）。別館有三間適合團體入住的大房間。為確保能在希望的日期入住，建議您提早預訂。

除了住宿外，這裡還提供午餐、套餐料理、宴會、活動、烤肉等服務，並可預約鄰近的運動設施與青少年營隊（Youth Camp）。餐點預約須至少提前三個工作天。

交通方式

從「和束山之家」巴士站步行約 10 分鐘。設有汽車與自行車停車場。

＜日本語仮訳＞

京都和束荘

美しい緑の茶畑に囲まれた和束荘は、和束町では数少ない宿泊可能な施設です。町の中心部に位置しており、一日の終わりに遠くのホテルに戻る心配をせずに、ゆったり町を散策できます。

和束荘の宿泊者は、さまざまな手法でお茶の風味を生かしたコース料理、茶香炉を備えた客室、お茶の香りが漂う大小の浴場など、お茶を五感で楽しむことができます。和束荘からは周囲の緑豊かな茶畑の素晴らしい景色を眺められ、スタッフがお茶の特徴や淹れ方について親切に説明してくれます。ここでのハイライトの一つが、満天の星が輝く夜空です。広大な自然に囲まれ、大都市の光が届かないので美しい星空が見られます。宿からは、山腹の桜や紅葉など、季節の移り変わりによって異なる風景を楽しめます。

和束荘本館の客室は、和室（寝具は布団）2 部屋、洋室（ベッド）2 部屋の計 4 部屋になります。別館には団体向けの大部屋が 3 室あります。希望の日に宿泊できるよう、早めの予約がお勧めです。宿泊のほかにも、昼食、コース料理、宴会、イベント、バーベキューのほか、近隣のスポーツ施設やユースキャンプの予約も可能です。食事の予約は 3 営業日前までとなります。

アクセス

「和束山の家」バス停から徒歩約 10 分。車・自転車の駐車場あり。

【タイトル】 京都和束荘/町宿泊施設

【想定媒体】 パンフレット

＜繁体字＞

京都和束荘

被美麗茶園環繞的京都和束荘，提供能以茶葉喚醒五感的體驗，並設有各種完善設施的和室與洋室，讓您度過悠閒舒適的時光。

和束荘提供與其茶源鄉（茶的故鄉）美譽相稱的體驗，讓訪客能深度感受和束町的茶文化與魅力。住客可享用以茶為食材的套餐料理、配備茶香爐的客房，以及瀟灑著茶香的大小浴場等設施。從餐廳與休息室可一覽被茶園覆蓋的壯麗丘陵景色，工作人員將細心講解茶葉的特色與沖泡方式。不受大都市光害影響的滿天星空，是入住和束荘的一大亮點。

此外，和束荘是和束町少數的住宿設施之一，讓您能夠悠閒地漫步於町內，無需擔心一天的行程結束後，還要返回遠方的飯店。本館客房共有四間，包括兩間和室與兩間洋室。別館另設有三間適合團體入住的大房間。為確保能在希望的日期入住，建議您提早預訂。

除了住宿外，這裡還提供午餐、套餐料理、宴會、活動、烤肉等服務，並可預約鄰近的運動設施與青少年營隊（Youth Camp）。餐點預約須至少提前三個工作天。

交通方式

從「和束山之家」巴士站步行約 10 分鐘。設有汽車與自行車停車場。

＜日本語仮訳＞

京都和束荘

美しい茶畑に囲まれた京都和束荘では、お茶で五感を楽しめる、さまざまなアメニティが備わった和室と洋室で、快適な時間を過ごせます。

和束荘は茶源郷（お茶の故郷）として名高い和束町の評判にふさわしい経験を提供しています。宿泊者は、お茶を素材に用いたコース料理、茶香炉を備えた客室、お茶の香りが漂う大小の浴場などを楽しめます。ダイニングルームとラウンジからは茶畑に覆われた丘の壮大な景色を一望でき、お茶の特徴や淹れ方についてスタッフが丁寧に説明してくれます。大都市の光に遮られることなく見られる満天の星空は、和束荘

宿泊のハイライトです。

また、和束町の数少ない宿泊施設なので、一日の終わりに遠くのホテルに戻る心配をせずに、ゆったり町を散策できます。本館の客室は、和室 2 部屋、洋室 2 部屋の計 4 部屋になります。別館には、団体向けの大部屋が 3 室あります。希望の日に宿泊できるよう、早めの予約がお勧めです。

宿泊のほかにも、昼食、コース料理、宴会、イベント、バーベキューほか、近隣のスポーツ施設やユースキャンプの予約も可能です。食事の予約は 3 営業日前までとなります。

アクセス

「和束山の家」バス停から徒歩約 10 分。車・自転車の駐車場あり。

【タイトル】 体験コンテンツ/抹茶アート体験、お茶の飲み比べ、お茶摘み体験、農泊体験等

【想定媒体】 WEB

＜繁体字＞

在和束町體驗茶文化

以美麗茶園聞名的和束町，旅程中的一大亮點便是由知識豐富的當地居民所提供的茶文化學習體驗。在茶農、導覽員、茶道家及當地居民的協力下，提供各式各樣的導覽行程與體驗課程，讓遊客們能夠親身感受和束町的茶文化。

茶園徒步導覽

所需時間：40～90 分鐘

在欣賞石寺和白栖霞美麗茶園風景的同時，知識豐富的導覽員將為您講解和束町的茶葉生產歷史及農事作業流程。我們將根據時間和參加者的興趣，提供多種不同的課程選擇。若您對內容安排有任何需求，請於洽詢時告知。

美味茶飲沖泡技巧教室

所需時間：1 小時

這項課程推薦給想將茶葉帶回家作為伴手禮，但不知道該如何正確沖泡的旅客。在這裡您可以學習到煎茶的正確沖泡方式，包括如何調整最適合引出香氣的水溫，以及茶葉浸泡的時間，以平衡風味。

採茶體驗

所需時間：40 分鐘

在和束町最受歡迎、兼具樂趣與學習的體驗。參加者將在茶園中親手採摘新鮮的綠茶葉，體驗採收的樂趣。這項體驗僅在茶葉收穫季節的 5 月、6 月和 10 月舉行。參加者可以親身體驗並學習到耗時費工的傳統製茶技藝。

茶香服（猜茶遊戲）體驗

所需時間：2 小時

如果您對自己的味覺有信心，不妨挑戰透過品茶來猜測正確茶葉種類的遊戲——茶香服。這項遊戲據說起源於中國宋朝時期（960～1279 年）。當時是用來判別茶葉的產地，以及用來泡茶的水源種類。而在和束町，您可以品嚐到五種不同的茶葉，並透過味道、香氣和顏色來辨識。

茶葉品評體驗

所需時間：30 分鐘

在這項體驗中，您將品嚐並比較和束町栽培的三種茶葉。您可以依據茶葉的品種和類別來進行品評比較。能夠品評不同品種的茶葉，正是產地的獨特之處。這是一項非常有趣的體驗，您可以在短時間內快速地了解束町生產的各種茶葉，包括煎茶、焙茶、紅茶、烏龍茶等，並學習它們在栽培方法和加工過程上的差異。

茶道體驗

所需時間：1 小時

在這項體驗當中，您將在茶室或其他室內空間體驗茶會。不僅可以學習抹茶的點茶方法，還能聆聽講師講解茶道的細膩作法。

抹茶藝術體驗

所需時間：1 小時

在聆聽和束町茶葉生產的有趣歷史，並享受美味點心的同時，使用濃縮抹茶，以自由手繪或透過模板的方式在飲品表面創作自己喜歡的設計。

抹茶點茶教室

所需時間：1 小時

在講師的指導下，學習美味的抹茶點茶方法。結束和束之旅後，這將成為您一生受用的實用技巧。

茶糰子製作體驗

所需時間：1 小時

糰子是一種日式點心，以米粉揉製成小圓球後串在竹籤上。日本茶特有的風味經常運用於糰子的調味。在這項體驗中，您將學習製作煎茶、焙茶和抹茶三種口味的糰子。

茶皂製作

所需時間：1 小時

這項體驗將帶您動手製作天然茶皂。完成後，您還可以把親手製作的茶皂帶回家當作紀念。使用的材料安全無虞，無論大人或小孩都能安心參與。

關於預約

體驗或課程的預約，請透過電子郵件（info@chagenkyo.com）聯繫和束町活性化中心。各項課程與體驗活動皆以日語進行，如有需要，請自行攜帶口譯人員陪同。費用因活動而異，通常每人從 1,650 日圓起。預約所需的最低成行人數為 10 人。費用需另行洽詢，但在部分情況下，少於 10 人也可能受理。關於可預約的日期，敬請於一個月前洽詢。

交通方式

集合地點為和束茶咖啡廳前。從「和束山之家」巴士站步行約 5 分鐘。設有汽車與自行車停車場。

<日本語仮訳>

和束町で茶文化体験

美しい茶畑で有名な和束町の旅の見どころの一つは、知識豊富な地元住民が提供するお茶の学習体験です。茶農家、ガイド、茶道家、地元住民の協力で、和束町の茶文化に直接触れられる多種多様なツアーやコースを提供しています。

茶畑ウォーキング

所要時間：40～90 分

石寺や白栖の美しい茶畑の景色を楽しみながら、知識豊富なガイドが和束町の茶生産の歴史や農作業の流れを説明してくれます。時間や参加者の関心に応じて、さまざまなコースが用意されています。内容に関してご希望がございましたら、お問い合わせの際にお知らせください。

美味しいお茶の淹れ方教室

所要時間：1 時間

お茶をお土産として持ち帰りたいがどのように淹れればよいかわからない、という旅行者におすすめです。香りを引き出す最適なお湯の温度や味のバランスをとるために茶葉をどのくらい浸しておくべきかまで、煎茶の正しい淹れ方を学べます。

お茶摘み体験

所要時間：40 分

和束町で最も人気のある楽しく学べる体験です。参加者は茶畑で、新鮮な緑茶の葉を手で摘んで収穫します。この体験は、お茶の収穫期である 5 月と 6 月と 10 月のみ開催されます。参加者は、労力を伴う

伝統的な茶づくりを直接体験し、学ぶことができます。

茶香服（ちゃかぶき）（お茶当て遊び）体験

所要時間：2 時間

味覚に自信のある方なら、お茶を飲んで、その種類を正しく推測するゲーム、茶香服にチャレンジするのもよいでしょう。この遊びは中国の宋の時代（960～1279 年）に始まったとされています。その当時は茶葉の産地や、お茶を淹れるのに使った水の種類を判別するものでした。和束町では 5 種類のお茶を味見して、味、香り、色で判別します。

お茶の飲み比べ体験

所要時間：30 分

この体験では、和束町で栽培される 3 種類のお茶を試飲して比較します。品種の違いと茶種別で飲み比べができます。品種ごとに飲み比べられるのは産地ならではです。茶種別では煎茶のほか、ほうじ茶、紅茶、ウーロン茶など、栽培方法や加工の違いで生まれる和束町産のさまざまな種類のお茶を短時間で効率よく知ることができる楽しい体験です。

茶道体験

所要時間：1 時間

この体験では、茶室または他の屋内スペースで、茶会を体験します。抹茶の点て方を学ぶほか、茶道の細やかな作法について講師の話を聞きます。

抹茶アート体験

所要時間：1 時間

和束町の茶生産の興味深い歴史を聞き、美味しいお菓子を楽しみながら、濃縮された抹茶を使い、フリーハンドまたはステンシルを使用して、飲み物の表面に思い思いのデザインを描きます。

抹茶の点て方教室

所要時間：1 時間

講師の指導の下、おいしい抹茶の点て方を学びます。和束の旅を終えてからも、ずっと役に立つスキルとなるでしょう。

茶だんご作り体験

所要時間：1 時間

団子とは、米粉を丸めて串に刺した和菓子です。日本茶特有の風味は団子の味付けによく用いられます。この体験では、煎茶、ほうじ茶、抹茶の 3 種類の味の団子の作り方を学びます。

お茶の石鹼づくり

所要時間：1 時間

緑茶を使用して天然石鹼を作ります。作った石鹼は、お土産として持ち帰ることができます。安全な材料を使用しているので、あらゆる年齢層の人が楽しめます。

予約について

体験や教室の予約は、和束町活性化センターまでメール（info@chagenkyo.com）でご連絡ください。教室や体験はすべて日本語で行われますので、必要な場合は通訳を同伴してください。料金はそれぞれ異なりますが、通常は1人1,650円からになります。予約に必要な最少遂行人数は10名です。費用は要相談になりますが、10名未満でも対応可能な場合もあります。予約可能な日程については、1か月前までにお問い合わせください。

アクセス

集合場所は和束茶カフェ前です。「和束山の家」バス停から徒歩約5分。車と自転車用の駐車場があります。

【タイトル】 体験コンテンツ/抹茶アート体験、お茶の飲み比べ、お茶摘み体験、農泊体験等

【想定媒体】 パンフレット

＜繁体字＞

在和束町體驗茶文化

造訪和束町時，可以體驗到由知識豐富的當地居民所提供的茶文化學習活動。在茶農、導覽員、茶道家及當地居民的協力下，這裡提供了各式各樣的導覽行程與體驗課程。類似的茶體驗活動或許在日本各地都有。然而，和束町數個世紀以來一直以茶葉種植為生，從茶苗種植、採收、加工到銷售，遊客們可以直接向長期從事茶產業的專業人士學習茶葉相關知識，這正是和束町與其他地區最大的不同之處與魅力所在。

和束町活性化中心提供多樣化的體驗活動，包括：茶園景觀徒步導覽、美味茶飲沖泡技巧體驗、採茶體驗、茶葉品評體驗、茶香服（猜茶遊戲）體驗、茶道體驗、抹茶藝術體驗、抹茶點茶法體驗、茶糰子製作體驗、茶皂製作等。在這些體驗中學到的知識與技巧，不僅讓您在和束町的旅程中收穫滿滿，日後在家中沖泡日本茶或品茶時，也將成為終身受用的實用技能。

體驗所需時間多為 40 分鐘至 1 小時，費用為每人 1,650 日圓起。部分體驗為季節限定，請特別留意。有關體驗內容的詳細資訊，請參閱「IITOKO-WAZUKA」官方網站。

預約請透過電子郵件聯繫和束町活性化中心（info@chagenkyo.com）。各項體驗活動皆以日語進行，如有需要，請自行攜帶口譯人員陪同。預約所需的最低成行人數為 10 人。費用需另行洽詢，但在部分情況下，少於 10 人也可能受理。請於預計造訪日期前一個月洽詢空位狀況。

＜日本語仮訳＞

和束町で茶文化体験

和束町を訪れると知識豊富な地元住民が提供するお茶の学習体験を楽しむことができます。茶農家、

ガイド、茶道家、地元住民の協力で、和束町の茶文化に直接触れられる多種多様なツアーやコースを開催しています。類似のお茶体験プログラムは日本各地にあるかもしれませんが、しかし和束町は数世紀にわたり茶栽培を生業にしてきた町であり、お茶の植え付けから収穫、加工、販売まで、茶産業に携わってきた人から、お茶について直接学べる点が、他とは違う大きな魅力と言えるでしょう。

和束町活性化センターでは、茶畑景観ウォーキング、美味しいお茶の淹れ方体験、お茶摘み体験、お茶の飲み比べ体験、茶香服（お茶当て遊び）体験、茶道体験、抹茶アート体験、抹茶の点て方体験、茶だんご作り体験、お茶石鹸づくりなどのプログラムを提供しています。こうした体験で学んだことは、和束町の旅を終えたあとも自宅で日本茶を淹れたり、お茶を楽しむときに役立つスキルになるはずです。

体験の所要時間は多くが 40 分から 1 時間、料金は、1 人 1,650 円からです。季節限定の体験もありますのでご注意ください。体験内容の詳細については、「いいとこ和束茶源郷」の公式ウェブサイトをご覧ください。

ご予約は、和束町活性化センターまでメールでお問い合わせください（info@chagenkyo.com）。体験はすべて日本語で行われますので、必要な場合は通訳を同伴してください。予約に必要な最少遂行人数は 10 名です。費用は要相談になりますが、10 名未満でも対応可能な場合もあります。訪問予定日の 1 か月前までに空き状況をお問い合わせください。

【タイトル】 和束天満宮/本殿（重要文化財）2 棟（京都府指定文化財）

【想定媒体】 WEB

＜繁体字＞

和束天満宮

和束天満宮自上千年前起，便是重要的信仰場所。這裡是和束町最大的神社，供奉著學問之神——天神。每年秋季都會熱鬧舉辦感謝豐收的祭典。

歴史

確切的創建年份不詳，但據說，在 10 世紀後半，圓融天皇（959～991 年）供奉了菅原道真（845～903 年）的肖像畫，這便是和束天満宮的起源。道真是一位身居高位的政治家，同時也是傑出的學者與歌人（和歌詩人）。然而，由於政敵的陰謀，他遭受了不公對待，最終被流放。在道真去世後，各種天災與不幸接連發生，人們相信這是含怨而逝的道真作祟所致。於是後來，道真的生前功績受到讚揚，人們開始奉祀他為天神，並認為他的靈魂因此得以安息。

根據部分學者的看法，和束天満宮被認為是透過莊園，將具有影響力的大城市的文化與宗教傳播至地方的典型案例。由於在 10 世紀時，和束是奈良興福寺的莊園，因此建立了供奉興福寺的守護神春日明神的神社。到了 12 世紀，和束成為京都的天神總本宮北野天満宮的莊園，天神信仰因此受到推崇，據信這便促成了和束天満宮的創建。

神社院內

本殿始建於 1348 年。其建築具有不對稱的切妻屋頂（雙斜屋頂）的特徵，屋頂採用前長後短的流造樣式，並被指定為國家重要文化財產。社殿（神社內供奉神明的主要建築）周圍擺放著代表天神使者的牛像。

本殿前的拜殿掛滿了許多大型的繪馬。最古老的繪馬是於 1856 年製作的。本殿兩側並排著四座小型的末社（本社的附屬神社）。其中三座末社供奉的是一般神祇，而位於本殿右側的御靈神社則供奉的是天神信仰中特有的人物——即使被流放，仍誓言忠誠於菅原道真的老年祭官度會春彥。

参道の南側有一座供奉繁榮與商業之神惠比壽神的小型神社。渡過朱紅色的橋後，可以看到梅宮神社、熊野神社，還有更深入處的京都府指定文化財產——春日神社。由於神社院內建有多座末社，因此參拜者能夠在一個地方參拜多位著名的神明。

秋季祭典

和束天満宮の例祭於毎年 10 月的第二個星期六和星期日舉行。神事於下午 2 點正式開始，由宮司（日本的高級神職）主持，向神明表達對和束地方豐收的感謝。一座由成人男性擔負的大型神輿與兩座由孩童擔負的小型神輿，會在神社院內巡行，以讚頌神明。神社院內擺滿各式各樣的小吃攤，讓居民與遊客能夠一邊享用美食，一邊歡慶祭典。

交通方式

從「東和束」巴士站步行約 2 分鐘。設有汽車與自行車停車場。

<日本語仮訳>

和束天満宮

和束天満宮は、千年以上前から重要な信仰の場となってきました。和束町最大の神社で、学問の神である天神様が祀られています。毎年秋には豊作を感謝する祭りが賑やかに行われます。

歴史

正確な創建年は不明ですが、一説によると、10 世紀後半に円融天皇（959～991 年）が、菅原道真（845～903 年）の肖像画を奉納したのが始まりとされています。道真は高位の政治家で、優れた学者、歌人（和歌を詠む人）でもありましたが、政敵の策略により不遇にも追放されました。道真の死後、自然災害やさまざまな不幸が相次いで起きたため、失意のうちに亡くなった道真のたたきと信じられました。やがて道真の生前の功績が讃えられ、道真を天神として祀るようになり、彼の魂も鎮められたと考えられています。

一部の学者によれば、和束天満宮は荘園を通じて有力都市の文化と宗教が地方に広まった例と考えられています。10 世紀、和束は奈良の興福寺の荘園だったため、興福寺の守護神である春日明神を祀る神社が創建されました。12 世紀になると和束は京都の天神総本宮である北野天満宮の荘園となり、天神信仰が奨励され、これが和束天満宮の創建につながったとみられています。

境内

本殿は 1348 年に建てられました。非対称の切妻屋根（勾配面が 2 つある屋根）が特徴的な流造（ながれづくり）で、国の重要文化財に指定されています。社殿の周囲には、天神の使いである牛の像が

配置されています。

本殿前の拝殿にはたくさんの大きな絵馬が掛けられています。最も古いものは 1856 年に作られたものです。本殿の両側には小さな末社（本社に附属する神社）が 4 棟並んでいます。そのうち 3 つは一般的な神々が祀られています。本殿のすぐ右にある御霊（ごりょう）神社に祀られているのは天神信仰に特有の人物、流刑になっても菅原道真に忠誠を誓い続けた老齢の祀官、度会春彦（わたらいの はるひこ）です。

参道の南側には、繁栄と商売の神である恵比寿様を祀った小さな神社があります。朱色の橋を渡ると、梅宮神社、熊野神社、さらに奥には京都府指定文化財に指定された春日神社があります。境内に複数の末社があるので、参拝者は 1 か所で多くの有名な神々に参拝できます。

秋祭り

和束天満宮例祭は 10 月の第 2 土曜と日曜に行われます。午後 2 時に宮司（日本の高位の神職）によって和束地方の豊作の感謝を伝える神事が始まります。成人男性が担ぐ大きな神輿 1 基と子どもが担ぐ小さな神輿 2 基が神々をたたえて境内をねり歩きます。境内にはさまざまな屋台が並び、住民や観光客が食事を楽しみながら祭りを祝います。

アクセス

「東和束」バス停から徒歩約 2 分。車・自転車の駐車場あり。

【タイトル】 和束天満宮/本殿（重要文化財）2 棟（京都府指定文化財）

【想定媒体】 パンフレット

＜繁体字＞

和束天満宮

和束天満宮供奉著學問之神——天神。天神指的就是菅原道真（845～903 年），他是一位傑出的歌人（和歌詩人）、學者與政治家，然而卻因政敵的陰謀而被貶，後來被神格化為天神。在道真去世後，各種災難接連發生，人們相信這是道真作祟所致。於是，後來人們開始將道真奉為神明來崇拜，並認為他的靈魂因此得以安息。自此之後，日本全國各地陸續興建了數千座供奉天神的神社。

神社院內的本殿周圍設有多座小型附屬神社，因此參拜者可在一個地方參拜多位著名的神明。在本殿兩側的附屬神社中，與天神信仰關係最為密切的是御靈神社。這座神社供奉著在菅原道真被流放後依然忠誠不渝的老祭官——度會春彥。此外，參道的南側與北側分別有供奉商業繁榮之神的惠比壽神社、供奉釀酒之神的梅宮神社，以及供奉國家安泰之神的熊野神社等。

交通方式

從「東和束」巴士站步行 2 分鐘。設有汽車和自行車停車場。

＜日本語仮訳＞

和束天満宮

和束天満宮には学問の神である天神が祀られています。優れた歌人（和歌を詠む人）、学者、政治家でありながら政敵に左遷された菅原道真（845～903 年）が神格化されたのが天神です。道真が亡くなった後に災難が続いたため、道真のたたきだと信じられるようになりました。ですが、後に道真を神として崇拜するようになり、道真の魂も鎮められたと考えられました。それ以来、天神を祀る数千の神社が創建されました。

境内には本殿の周囲に、複数の小さな付属の神社があるので、参拝者は 1 か所で多くの有名な神々に参拝できます。本殿の両側にある付属の神社の中で、天神信仰に最も関係が深いのが御霊（ごりょう）神社です。この神社には、追放された後も菅原道真に忠誠を尽くした老祀官、度会春彦（わたらいの はるひこ）が祀られています。また、参道の南側と北側には、商売繁盛の神を祀った恵比寿神社、酒造りの神を祀った梅宮神社、国家安泰の神を祀った熊野神社などがあります。

アクセス

「東和束」バス停から徒歩 2 分。車と自転車の駐車場あり。

【タイトル】 安積親王陵墓/聖武天皇の皇子の古墳

【想定媒体】 パンフレット

<繁体字>

安積親王陵墓

安積親王（728～744 年）是日本第 45 代天皇聖武天皇的第二皇子。據說，皇子在往返都城與父親所在的皇宮時，經常造訪和束並享受狩獵的樂趣。安積親王於 17 歲時猝逝，隨後人們在和束町建造了他的陵墓，並建立寺院以祈求其冥福。身為公卿（日本古代朝廷的高級貴族官職）與歌人（和歌詩人）的忠臣大伴家持（718～785 年），為悼念安積親王之死，創作了數首以悲哀為主題的和歌，其中一首詩提到了和束的名字。

吾王 天所知牟登 不思想 於保爾曾見谿流 和豆香蘇麻山（和束舊稱）

（我從沒想過我的君主竟會被天召回所以過去也從未特別注意過這片和束的山林）

19 世紀後半，中和束的居民將半山腰的土地開墾為農地時，發現了平坦的石塊、石牆以及陶器碎片。雖然尚未完全發掘，但已確認其為身分高貴人物的古墳。宮內廳（日本政府中掌管天皇、皇室及皇居事務的機構）將此地認定為安積親王的陵墓，並在丘頂設立了小型石製鳥居、圍欄及導覽牌。在和束町，這座古墳被稱為「太鼓山」。從被茶園環繞的陵墓眺望，其景色亦堪稱絕景。

交通方式

從「和束山之家」巴士站步行約 5 分鐘。在大十字路口右轉，接著在第一個轉角再次右轉，然後按照標誌指引，沿著茶園中的石板路前進。停車場位於和束茶咖啡廳附近。

<日本語仮訳>

安積親王陵墓（あさかしのうりょうぼ）

安積親王（728～744 年）は、日本の第 45 代天皇である聖武天皇の第二皇子でした。皇子は都と父のいる王宮を行き来する際、よく和束を訪れ狩猟を楽しんだと言われています。安積親王は 17 歳で

急死し、和束町に安積親王の墓が築かれ、冥福を祈る寺が建立されました。公卿（日本古代の朝廷の貴族高級官吏）で歌人（和歌を詠む人）でもあった忠臣の相伴家持（718～785 年）は安積親王の死を悼み、その悲哀を主題にした歌を数首詠んでいます。その中の一首に和束の名前が記されています。

わが大君 天知らさむと 思はねば おほにぞ見ける 和豆香杣山（和束の旧称）

（わが大君が天をお治めになるだろうなどとは思ってもいなかったのに、気にとめてもいなかったことだ、和束の杣山を）

19 世紀後半、中和束の住民が山腹の土地を農地として開墾したところ、平たい石や石垣、土器の破片が見つかりました。まだ完全には発掘されていませんが、高貴な人物の古墳であることが判明。宮内庁（日本政府で天皇、皇室、皇居の事務を管轄する機関）は同地を安積親王の墓と認定し、丘の頂上に小さな石の鳥居や柵、案内板を建てました。和束町ではこの古墳は「たいこ山」と呼ばれています。茶畑に囲まれた陵墓からの眺めも絶景です。

アクセス

「和束山の家」バス停から徒歩約 5 分。大きな交差点を右折し、最初の角を右折して、標識に従って茶畑の中の石畳の道を進みます。駐車場は和束茶カフェにあります。

【タイトル】 弥勒磨崖仏/石造物（相楽東部広域連合指定文化財）

【想定媒体】 パンフレット

<繁体字>

弥勒磨崖佛

这座弥勒菩萨像（Maitreya）雕刻於和束川綠意盎然的河岸邊，由巨大的花崗岩岩壁雕刻而成，高度達 3.3 公尺。弥勒菩薩是未來佛，被預言將在有朝一日引導人類進入全新的覺悟時代。這尊高達 6.1 公尺的巨岩浮雕磨崖佛，從通往和束的街道上也能看到。透過讓庶民親近佛像的姿態，亦可窺見其將佛教弘揚至寺院之外的傳統。

磨崖佛是指雕刻在岩壁或懸崖上的佛像。根據刻在弥勒菩薩像右側的碑文記載，這尊佛像被認為製作於 1300 年。其餘部分則刻有祈願者的姓名與佛滅紀年銘。佛滅紀年銘是用來表示釋迦（佛陀、喬達摩·悉達多）入滅後經過的年數，極為珍貴罕見。位於和束弥勒磨崖佛附近的子安地藏像，是日本少數幾尊刻有佛滅紀年銘的石像之一。

令人驚嘆的是，儘管弥勒磨崖佛經歷長年風雨侵蝕，雕刻仍然清晰可見。其右上手舉、左手下垂的姿勢象徵著消除人們的恐懼並承接祈願，是佛像中典型的姿態。

交通方式

在「和束長井」巴士站下車。穿過鄰近的橋後向左轉，沿著河岸前行約 5 分鐘。請注意避免進入私人土地。

<日本語仮訳>

弥勒磨崖仏

和束川の緑豊かな河川沿いの大きな花崗岩の岩肌に彫刻された、弥勒菩薩像（マイトレーヤ）で、高さは 3.3 メートルあります。弥勒菩薩は未来の仏陀の姿であり、いつの日か人類を新しい悟りの時代へと導くと予言されています。高さ 6.1 メートルの巨岩に施された浮き彫りの磨崖仏は和束に通じる街道からも見ることができ、仏像の姿を庶民にも親しんでもらうことで、寺の外にも仏教を広めた伝統がうかがえます。

磨崖仏とは岩壁や崖に彫られた仏像のことをいいます。弥勒菩薩像の右側に刻まれた碑文によれば、この像は 1300 年に制作されたとされています。残りの部分には祈願者の名前と仏滅紀年銘が刻まれています。仏滅紀年銘は、釈迦（仏陀、ゴータマ・シッダールタ）の入滅から経過した年数を示すもので、極めて

珍しいものです。和束弥勒磨崖仏の近くにある子安地藏像は、この仏滅紀年銘を有する日本でも数少ない石像です。

弥勒磨崖仏は長い年月を経て風雨にさらされているにもかかわらず、驚くほどはっきり彫りが残っています。右手をあげ、左手を下げたポーズは、人々の恐れを取り払い、願いを受け止めるという意味をもち、仏像では典型的なポーズです。

アクセス

「和束長井」バス停で下車。隣接する橋を渡って左折し、川沿いに約 5 分進みます。私有地に入らないように注意してください。

【タイトル】 八坂大杉/樹齡 1300 年以上の大木、パワースポット

【想定媒体】 パンフレット

＜繁体字＞

八坂神社大杉樹

這棵異常巨大的杉樹高達 25 公尺，樹幹周長 12.8 公尺（1984 年調查數據），聳立於八坂神社的院內。根據傳說，這棵杉樹的樹齡有 1,300 年，但專家推測實際樹齡約為 600 年。這棵樹的存在至今仍然充滿謎團。這是和束町唯一的北山杉（日本柳杉 *Cryptomeria japonica* 的地域變種）。然而，北山杉主要生長於京都北部，屬於特定地域品種，在像和束這樣較為溫暖的地區，栽培較為困難。過去這棵樹的樹幹曾經倒塌，但隨著時間流逝，8 根巨大的枝幹逐漸融合，形成了如今的樣貌。長年以來，這棵杉樹經歷多次雷擊仍屹立不搖，至今依然茂盛生長，並成為高人氣的能量景點。同時，它也被指定為京都府的天然紀念物。

這棵大杉樹被視為神聖之物，樹前設有兩座小祠堂。右側的是八坂神社，左側的是八幡宮。八坂神社供奉的是牛頭天王（擁有牛頭人身的守護神），而八幡宮則供奉八幡神（國家鎮護之神）。這裡每年 7 月 7 日都會舉辦「祇園祭」（當地俗稱「祇園 san」），和束的居民會在八坂神社舉行儀式，敬奉神明並獻上感謝。在祇園祭上，人們習慣食用花餅，這是一種將染上鮮豔色彩的梗米米粒放在紅豆糰子上蒸製而成的傳統點心。

交通方式

從「和束中學」巴士站步行，穿過祝橋後爬坡而上。步行約 12 分鐘。

＜日本語仮訳＞

八坂神社の大杉

この並外れて巨大な杉の木は、高さ 25 メートル、幹の周囲は 12.8 メートルあり（1984 年調査時）八坂神社の境内にそびえ立っています。言い伝えによれば、この杉の木は樹齡 1,300 年ですが、専門家は実際の樹齡を 600 年近くと推定しています。この木の存在は謎に包まれています。和束町で唯一の北

山杉（*Cryptomeria japonica* の地域変種）ですが、北山杉は京都北部に生育する地域種で、和束のような比較的温暖な地域では栽培が難しいのです。過去に幹が倒れたことがありますが、時間が経つとともに 8 本の大きな枝が融合して現在の姿になりました。長年にわたり、度重なる落雷にも耐えて、今もなお元気に生い茂り、人気の高いパワースポットになっています。京都府の天然記念物にも指定されています。

この大杉は神聖なものとされており、前には 2 つの祠があります。右側が八坂神社、左側にあるのが八幡宮です。八坂神社には牛頭天王（牛の頭を持つ守護神）、八幡宮には八幡神（国家鎮護の神）が祀られています。毎年 7 月 7 日には祇園さん（正式名称は祇園祭）が行われ、和束の住民が八坂神社で神を敬い感謝を捧げる儀式が行われます。祇園さんでは、鮮やかな色に染めたうるちの米粒を小豆団子の上にのせて蒸した花餅を食べるのが習慣となっています。

アクセス

「和束中学校」バス停から祝橋を渡り、坂道を上る。徒歩約 12 分。

【タイトル】 正法寺/京都府指定文化財 仏殿/表門

【想定媒体】 WEB

<繁体字>

正法寺

正法寺是位於蓊鬱蒼翠的佛法寺山麓的一座禪寺（以禪宗的修行與教義為核心的寺院），供奉著被認為擁有無限光明與壽命的阿彌陀佛。這裡也是著名的賞楓勝地。到了秋季，寺院境內，尤其是入口附近的樹木，會染上一片鮮紅色彩。

歷史

根據正法寺的記載，這座寺院於 744 年由行基（668～749 年）所建，位於英年早逝的安積親王（728～744 年）的古墳附近，以祈求親王的冥福。行基是一位著名的僧侶，為了弘揚佛教，曾遍訪日本各地，並致力於社會公益事業。過去，這裡曾是一座位於山頂的大型寺院，但在 14 世紀初期的日本南北朝內亂中遭受破壞而荒廢。

後來在江戶初期（17 世紀中葉），佛光寺城主田村氏將其縮小規模後，於佛法寺山麓重建。1644 年，在田村氏的請求下，永源寺的住持如雪文巖（1601～1671 年）將正法寺以臨濟宗永源寺派的形式重新興建。因與後水尾天皇成婚而獲賜和束土地的德川和子（院號：東福門院，1607～1678 年），成為了這座寺院的重要贊助者之一。

寺院內

寺院的表門（正門）和佛殿被指定為京都府的有形文化財產。這座門原本來自京都仙洞御所（退位天皇的居所），由德川和子捐贈，而佛殿則是 17 世紀中葉重建時保留至今的建築。佛殿中的阿彌陀如來坐像，據推測是江戶時代（1603～1867 年）所製作的。佛殿的右側設有庚申堂，這是一個供奉庚申信仰神祇的地方，庚申信仰是源自道教、神道與佛教等多種信仰融合而成的民間信仰。在其側旁，矗立著 12 尊較新的圓臉地藏菩薩像，每尊菩薩手中分別抱著一隻象徵十二生肖的動物。沿著一段小小的階梯而上，便可見到供奉地藏像的地藏堂，這尊地藏像被崇敬為旅人和兒童的守護神。

佛殿通常不對外開放，如欲參觀，請向寺院的工作人員詢問。佛殿內供奉慈悲的菩薩——聖觀音像。據說，這尊觀音像在德川和子將其捐贈給正法寺之前，一直供奉在她自己

的殿室中。

四季變遷之美

寺院の參道兩側種植著在夏季郁郁蔥蔥的楓樹。據傳，這些楓樹是由以紅葉聞名的滋賀縣總本山永源寺所捐贈的。一到秋季，楓葉便會變成紅色和橙色，而銀杏大樹則增添了鮮豔的黃色色彩。在其他季節，杜鵑花、菖蒲花和娑羅樹等也會綻放美麗的花朵。

交通方式

在「和束山之家」巴士站下車，然後在大十字路口向左轉。步行約 8 分鐘。

<日本語仮訳>

正法寺

正法寺は仏法寺山の緑豊かな麓に位置する禅寺（禅宗の修行や教えを中心とするお寺）で、無限の光と命を持つとされる阿弥陀仏が祀られています。秋になると境内の、特に入り口付近の木々が鮮やかに染まる紅葉の名所でもあります。

歴史

正法寺によると、この寺は 744 年、若くして亡くなった安積親王（あさかしのう、728～744 年）の冥福を祈るため、親王の古墳の近くに、行基（668～749 年）により創建されました。行基は仏教を広めるために日本の各地を旅し、社会事業に尽力した著名な僧侶です。かつては山頂にある大きな寺でしたが、14 世紀初頭の南北朝内乱で荒廃しました。

寺は江戸初期（17 世紀半ば）、仏光寺城主の田村氏により、仏法寺山麓に規模を小さくして再建されます。1644 年に田村氏の要請で永源寺の住職、如雪文巖（によせつもんがん、1601～1671 年）が臨済宗永源寺派として正法寺を再興しました。後水尾天皇（ごみずのおてんのう）との結婚により和束の土地を与えられた徳川和子（東福門院、1607～1678 年）は、この寺の重要な後援者のうちのひとりでした。

寺の境内

表門（正門）と仏殿は京都府の有形文化財に指定されています。この門はもともと京都仙洞御所（退位した天皇の御所）から徳川和子が寄進したもので、仏殿は 17 世紀半ばの再建時からの建物です。仏殿の阿弥陀如来の坐像は、江戸時代（1603～1867 年）に作られたものと思われます。仏殿の右側には、道教、神道、仏教などがもともとなった民間信仰である庚申信仰の神を祀る庚申堂があります。その横には、十二支の動物をそれぞれ 1 つずつ抱えた、比較的新しい丸い顔の地蔵菩薩像が 12 体あります。小さな階段を上ると、旅人や子供の守り神として崇拝される地蔵像を祀った地蔵堂があります。

通常、仏殿は非公開ですので、拝観したい場合は寺の職員に尋ねてください。仏殿内には慈悲の菩薩

である聖観音像が祀られています。この像は、徳川和子が正法寺に寄進する前、自身の殿室で拝んでいたものと言われています。

四季折々の美しさ

寺の参道の両脇には、夏に青々とした葉が茂るモミジの木が植えられています。これは紅葉の名所として知られる滋賀県の総本山永源寺から寄進されたものと伝えられています。秋になるとモミジが赤や橙に色づき、イチョウの大木が鮮やかな黄色の彩りを添えます。他の季節も、ツツジやアヤメ、サラソウジュなどが花を咲かせます。

アクセス

「和東山の家」バス停を下車し、大きな交差点を左折。徒歩約 8 分。

【タイトル】 正法寺/京都府指定文化財 仏殿/表門

【想定媒体】 パンフレット

＜繁体字＞

正法寺

正法寺は一座位於佛法寺山麓の禪寺，以秋季紅葉勝景聞名，深受遊客喜愛。毎年11月，寺院內，尤其在入口附近，可以見到楓樹的葉片轉變為鮮豔的紅色和橙色。在一年不同時期，杜鵑花、菖蒲花和娑羅樹等花卉，則為被樹木覆蓋的山腰增添了繽紛色彩。

根據正法寺的記載，最初的寺院是為了悼念英年早逝的安積親王（728～744年）而於744年創建。現在的寺院則是由曾任佛光寺城主的田村氏於17世紀中葉建立的。因與後水尾天皇結婚而獲賜和束的土地的德川和子（院號：東福門院，1607～1678年），成為了這座寺院的重要贊助者之一。

寺院內有兩項京都府指定的有形文化財產。其中一項是從京都仙洞御所（退位天皇的居所）遷移而來的山門（寺院主要入口的門），另一項則是安置阿彌陀如來像的佛殿。此外，還有供奉庚申信仰神祇的庚申堂，以及供奉旅人和兒童守護神地藏菩薩的地藏堂。在兩座佛堂之間，矗立著12尊比較新的圓臉地藏菩薩像，每尊菩薩手中分別抱著一隻象徵十二生肖的動物。

佛殿內供奉著由德川和子捐贈的慈悲菩薩——聖觀音像。如欲參觀，請向寺院的工作人員詢問。

交通方式

在「和束山之家」巴士站下車，然後在大十字路口向左轉。步行約8分鐘。

＜日本語仮訳＞

正法寺

正法寺は仏法寺山の麓にある禪寺で、秋の紅葉の名所として人気があります。11月の境内では、入り口付近を中心にカエデの木々が赤や橙色の鮮やかな紅葉がみられます。一年のさまざまな時期にツツジやアヤメ、サラソウジュなどの花が、木々に覆われた山腹に彩りを添えます。

正法寺によると、当初の寺は若くして亡くなった安積親王（あさかしんのう、728～744 年）を悼んで 744 年に創建されました。現在の寺は 17 世紀半ば、仏光寺城主だった田村氏によって建立されたもので、後水尾天皇（ごみずのおてんのう）との結婚により和束の土地を与えられた徳川和子（東福門院、1607～1678 年）は、この寺の重要な後援者のうちのひとりでした。

境内には京都府指定有形文化財が 2 つあります。1 つは京都仙洞御所（退位した天皇の御所）から移築された山門（お寺の主要な入り口の門）、もう 1 つは阿弥陀如来像を安置する仏殿です。ほかにも、庚申信仰の神を祀る庚申堂や、旅人と子供の守り神である地蔵菩薩を祀った地蔵堂があります。二つのお堂の間には、十二支の動物をそれぞれ 1 つずつ抱えた、比較的新しい丸い顔の地蔵菩薩像が 12 体あります。

仏殿には徳川和子が寄進した慈悲の菩薩である聖観音像が祀られています。拝観したい場合は、寺の職員に問い合わせてください。

アクセス

「和束山の家」バス停を下車し、大きな交差点を左折。徒歩約 8 分。

【タイトル】 子安地藏/石造物（相楽東部広域連合指定文化財）

【想定媒体】 パンフレット

<繁体字>

撰原子安地藏

在撰原峠の丘陵茶園後方，供奉著在和束町自古以來被信仰為保護旅行安全與庇佑安產的地藏菩薩。地藏菩薩是旅人和兒童的守護神，而子安地藏則被認為能夠庇佑安產。這尊佛像製作於鎌倉時代的 1267 年，光背（指佛、菩薩像背後的光環）下方的左右刻有「釋迦如來滅後 二千餘歲」字樣。帶有佛滅紀年銘，並以釋迦（佛陀、喬達摩・悉達多）入滅後的年數來標示製作年分的石佛像相當珍貴罕見，類似的例子可以在附近的彌勒磨崖佛像中見到。由於環繞地藏的石龕是後來才設置的，旁邊排列著多尊小地藏像。

子安地藏前的這條道路，過去曾是連接山城國與近江國（現京都府與滋賀縣）的街道之一，因此許多旅人途經此地時，多半會在子安地藏前參拜，祈求旅途平安。而在聽聞子安地藏的靈驗之後，鄰近的居民也開始前來參拜。

每年 8 月 24 日的地藏盆（祈願孩童健康成長的祭典），都會在地藏像前舉行法會。

交通方式

從「和束長井」巴士站步行約 20 分鐘。請以綠色圍欄內的儲水槽和銀色的日文路標作為標誌。

<日本語仮訳>

撰原子安地藏（えりはらこやすじぞう）

撰原峠の丘陵の茶畑の裏には、和束町で古くから旅の安全と安産の御利益があると信じられている地藏が祀られています。地藏菩薩は旅人や子どもの守護神ですが、子安地藏は特に安産にご利益があるとされています。鎌倉時代の 1267 年の作で、光背（仏像や菩薩像の背後にある光の輪）下の左右に「釈迦如来滅後 二千余歳」の作と刻まれています。彫像の制作年を釈迦（仏陀、ゴータマ・シッダールタ）の入滅からの年数で示す仏滅紀年銘のある石仏はたいへん珍しく、近くにある弥勒磨崖仏像にも見られます。地藏を囲む石龕（せきがん）は後に設置されたもので、隣には小さな地藏が並んでいます。

子安地藏の前の道は、かつては山城国と近江国（現在の京都府と滋賀県）を結ぶ街道の一部でした

ので、多くの旅人が旅路の途中で子安地蔵にお参りしたことでしょう。子安地蔵には、そのご利益を聞き知った近隣の人たちも、参拝に訪れました。

毎年 8 月 24 日の地蔵盆（子どもたちの健やかな成長を願う祭り）には、地蔵の前で法要が行われます。

アクセス

「和束長井」バス停から徒歩約 20 分。緑色のフェンス内の貯水槽と銀色の日本語の道標が目印です。

地域番号	056	協議会名	北野異人館協議会

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
056-001	北野異人館の概要	880	Web
056-002	風見鶏の館の概要	1015	Web
056-003	旧トーマスの住民が再び訪問のきっかけは ドラマにある	600	Web
056-004	ラインの館の概要	680	Web
056-005	伝統的建造物群保存地区の説明	675	Web
056-006	うろこの家・展望ギャラリーの概要	865	Web
056-007	山手八番館の概要	570	Web
056-008	北野外国人倶楽部の概要	560	Web
056-009	坂の上の異人館の概要	500	Web
056-010	英国館の概要	810	Web
056-011	洋館長屋の概要	630	Web
056-012	ベンの家の概要	600	Web
056-013	神戸トリックアート不思議な領事館の概要	510	Web

【タイトル】 北野異人館の概要

【想定媒体】 Web

<簡体字>

神戸北野異人館街的历史

日本在江户时代（1603-1867）实行锁国政策，严格禁止与大多数国家的贸易、旅行和接触。这项政策持续了 200 多年，直到 1858 年日本与五个西方列强签订《安政条约》后才宣告结束。1868 年，神户成为开放对外贸易的几个港口之一。

当时的计划是在神户沿海地区建立一个外国人定居点，供外国人生活和工作。然而，由于江户时代末期的动荡，该定居点未能在约定的期限内完成。于是，日本政府决定允许外国人与日本市民共同居住在生田川和宇治川之间的相关区域。许多外国人被“山手地区”，即后来的北野町山本通地区所吸引。山手地区位于外国人定居点以北，是一片极具魅力的乡村丘陵地带，其平缓的坡地可以俯瞰港口和海景。自 19 世纪 80 年代起，这一地区逐渐发展成为独具特色的外国人居住区，并被称为“北野异人馆街”，这里的“异人”意为“外国人”。

到 20 世纪中叶，北野异人馆街已壮大到有 200 多栋西式建筑和日式建筑的规模。该地区以日本人与外国人和谐共处的生活方式著称。外来影响推动了技术的进步，改变了当地的生活方式：神户异人馆街是日本最早受到肉食文化、西式服装以及高尔夫运动影响的地方。

外国人的居所被称作“异人馆”。得益于杰出的外国建筑师如德国的乔治·德·拉兰德（Georg de Lalande）与英国的 A.N.汉塞尔（A. N. Hansell）等人的贡献，神户的众多西式住宅和建筑展现出卓越的设计品质。日式设计和建筑技术与西方风格巧妙融合，达到了高度的和谐统一。参与其中的木匠、泥瓦匠、石匠及屋顶工匠通常是日本人，他们在实践中掌握了一套“国际化”的建筑技能。一种独特的“神户异人馆风格”应运而生，其特征包括阳台、凸窗、砖砌烟囱以及涂漆的护墙板或石膏外墙。这些建筑通常与日式厢房相连，对日本雇员来说日式房间更舒适。

历经第二次世界大战的破坏、战后开发以及岁月的侵蚀，这些西式建筑中有许多已不复存在。不过，得益于 1960 年左右开始实施的有效保护措施，大约 30 栋建于 19 世纪至 20 世纪初的建筑被保存至今。北野异人馆街的众多的西式房屋，已成为日本乃至国际历史文化重要节点的珍贵实物档案。

〈繁体字〉

神戸北野異人館街的歷史

日本在江戶時代（1603-1867）施行鎖國政策，嚴格禁止與大多數的外國貿易、旅行和接觸。這項政策持續了 200 多年，直到 1858 年日本與五個西方列強簽訂《安政條約》後才告終。1868 年，神戶成為開放對外貿易的幾個通商口岸之一。

當時計畫在神戶的沿海地區建立一個外國人居留地，供外國人居住與工作之用。然而，由於江戶時代末期時局動盪，該居留地未能按期完成，因此日本政府決定讓外國人與日本市民共同居住在生田川與宇治川之間的周邊區域。許多外國人被「山手地區」，即後來的北野町山本通地區所吸引。山手地區位於外國人居留地的北方，是一處極具魅力的鄉村丘陵地；其平緩的坡地是俯瞰港口和海洋景色的好地方。此一地區自 1880 年代起，逐漸發展成一個獨特的外國人居住區，並以「北野異人館街」之名而為人所知。「異人」指的是「外國人」，「館」是「家」，「街」則是「地區」的意思。

北野異人館街在 20 世紀中葉以前，已經發展到擁有 200 多幢西式建築和日式建築的規模。此一地區也逐漸因為日本人與外國人的和諧共處而為人所知。外國的影響帶來了技術的進步，以及生活方式的改變——神戶異人館街是日本最早受到肉食文化、洋裝，乃至於高爾夫球運動影響的地方。

外國人的居所被稱作「異人館」。得益於德國建築師格奧爾格·德·拉蘭迪（Georg de Lalande）與英國建築師 A.N.漢塞爾（A. N. Hansell）等傑出的外籍建築師的貢獻，神戶的眾多房屋及其他西式建築均展現出卓越的設計品質。日本與西方的設計理念、建築技術在此融合，達到了高度的和諧與統一。木匠、泥瓦匠、石匠以及屋頂工匠通常是日本人，他們在實作中逐漸掌握了先進的「國際化」技能。不久，具有陽台、凸窗、磚砌煙囪以及上漆的護牆板或灰泥外牆等共同特徵的「神戶異人館樣式」便應運而生。這樣的建築物多半與「對日本職員而言，更為舒適」的和式翼樓相連。

這些西式建築當中有不少因為歷經第二次世界大戰的破壞、戰後開發以及歲月的侵蝕而不復存在。不過，幸好於 1960 年左右開始的保護活動取得了成功，讓約莫 30 幢建於 19 世紀至 20 世紀初的建築仍被保存至今。這一點與橫濱、長崎等地形成了鮮明的對比，因為曾經充滿活力的外國人居留地在其他那些舊有的通商口岸幾乎已不留痕跡。基於此等原因，北野異人館街的眾多西式房屋已成了見證日本，乃至於國際的歷史文化中一個重要時代的珍貴物證。

<日本語仮訳>

神戸北野異人館街の歴史

江戸時代（1603～1867）の間、日本は鎖国政策を維持し、ほとんどの外国との貿易、渡航、接触を厳しく禁止していました。この政策は 200 年以上続き、1858 年に日本と 5 つの西洋列強との間で安政条約が締結されることで終わりを迎えました。1868 年、神戸は外国貿易に開放された数港の一つとなりました。

当時の計画では、神戸の海岸に外国人が居住し働くことを想定した外国人居留地を設立することが予定されていました。しかし、江戸時代末期の混乱により、居留地は期限までに完成しませんでした。そこで政府は、生田川と宇治川の間周辺地域において、外国人が日本人市民と共に居住することを許可することにしました。多くの外国人は、後に北野町山本通地区となる山手地域に魅力を感じました。そこは外国人居留地の北に位置する魅力的な田舎の丘陵地で、なだらかな斜面からは港と海の景色が見えました。1880 年代から、ここはユニークな外国人居住区として発展し、北野異人館街として知られるようになりました。「異人」は「外国人」を意味する言葉で、「館」は「家」を、「街」は「地区」を意味します。

20 世紀半ばまでに、北野異人館街は 200 以上の洋風建築と和風建築を擁するまでに成長しました。この地区は日本人と外国人が調和して共に暮らせる場所として知られるようになりました。外国の影響は、技術的進歩とライフスタイルの変化をもたらしました：神戸の異人館街は、肉食文化、洋装、そしてゴルフの影響を日本で最初に受けた場所でした。

外国人の家は「異人館」と呼ばれ、ドイツ人のゲオルク・デ・ランデやイギリス人の A.N.ハンセルなどの優れた非日本人建築家の存在により、神戸の多くの家屋や他の洋風建築のデザインは非常に品質が高いものでした。同時に、日本のデザインと建築技術が西洋のものと組み合わせられ、多大な融合が起きました。大工、左官、石工、屋根葺き職人は通常日本人でしたが、彼らは進歩的な「国際化された」技能を備えるようになりました。やがて、ベランダ、出窓、レンガの煙突、塗装された木製の下見板張りや漆喰の外壁などの共通の特徴を持つ「神戸異人館様式」が現れました。こうした建物は多く

の場合、日本人の従業員にとってより快適な和風の翼部と接続されていました。

これらの洋風建築の多くは、第二次世界大戦による被害、戦後の開発、そして時の経過による劣化のために消滅しました。しかし、1960 年ごろに始まった保存活動が成功したおかげで、19 世紀から 20 世紀初頭に建設されたそのような建物の約 30 棟が今日も残っています。このことは、かつては活気に満ちていた外国人居留地の痕跡がほとんど残っていない横浜や長崎などの他の旧開港地とは顕著な対照をなしています。そうした理由などにより、北野異人館街の数多くの洋風住宅は、日本の、そして国際的な歴史文化の重要な一時代を物語る貴重な物的証拠となっています。

【タイトル】 風見鶏の館の概要

【想定媒体】 Web

<簡体字>

风见鸡馆

风见鸡馆（亦称为旧托马斯宅）是神户的标志性建筑，其名字中的“风见鸡”被视为神戸异人馆街的象征。这座优雅而气派的建筑建于 1909 年左右，是德国成功商人戈特弗里德·托马斯委托建造的。尽管采用了木质结构，但在神户的异人馆中却显得别具一格，外墙覆盖着砖块，半地下室则以花岗岩装饰。建筑的设计者是德国建筑师乔治·德·拉兰德（1872-1914），他在 20 世纪初为日本、中国及朝鲜半岛设计了许多重要的公共和私人建筑。

风见鸡馆内部设计精巧，既庄重又不失趣味。建筑中融入了传统的德国设计元素，例如粗大的梁柱与深色木质装饰。而彩绘玻璃、黄铜门把手、灯具，以及柜门铰链和金属装饰，则展现出德国“新艺术”（Jugendstil）风格的装饰特色。住宅被一圈精致的木栅栏环绕，高大的格子棚架门廊上用日耳曼字母写着“Rhenania”（拉丁文中的莱茵地区）以纪念托马斯的家乡——莱茵河畔的科布伦茨。住宅坐落在由半地下室墙壁构成的石基之上。除了砖块，部分外墙还覆盖着带有装饰细节的彩绘木材，以及石膏上的半木结构。房子前角的三层塔楼尤为显眼，塔尖上的铁制风向标——“风见鸡”被涂上了彩漆，远远就能望见。复杂的四坡屋顶以菱形图案的石板铺就。

雄伟的花岗岩门廊通往前厅，再往里走就是天花板高耸的中央大厅和宽大的木质楼梯。宽敞的客厅与餐厅通过宽阔的木质推拉门相连，使一楼空间显得极为开放通透。客厅的一角有一个带栏杆的高台区域，略显私密。餐厅内有一个内置的木质餐边柜，配有新艺术风格的黄铜装饰铰链。餐边柜、木质墙板及门框上部均有城墙状的装饰，让人能联想起科布伦茨的史特臣岩城堡。一间日光充足的八角形凸窗书房紧挨着入口门廊，便于主人看到谁在走近。此处地板也略高，搭配了受到新艺术风格影响的彩绘栏杆。楼内还设有优雅的会客室及宽敞的阳台。

二楼为家庭私人空间，装饰风格较为柔和，设有宽敞的主卧、儿童房、客房及早餐角，另

有一处用玻璃窗围成的封闭阳台。这些房间均可通往二楼大厅，大厅原是台球室，至今仍保留着打台球时用的双吊灯。塔楼最上层是一个小型观景室，只能通过阁楼进入。

1914 年第一次世界大战爆发时，托马斯一家正在德国度假，未能返回神户。此后房屋被售出，先后被用作实验室和神户中华同文学校的学生宿舍。1978 年 1 月，风见鸡馆被指定为日本重要文化财产，并被神户市收购。1995 年的阪神・淡路大地震对其造成了一定损害，但随后得到修复。2023 年，馆内开始进行抗震加固工程。

＜繁体字＞

風見雞館

風見雞館（亦稱為舊托馬斯住宅）是神戶的一幢代表性建築，其名稱來源的風見雞（即風向雞）是神戶異人館街的一個頗受喜愛的象徵。這幢優雅而氣派的建築建於 1909 年左右，是專為成功的德國貿易商哥特佛萊德・托馬斯（Gottfried Thomas）而建造的。這是木結構建築，但在神戶的異人館中卻顯得別具一格，因為其外牆是用紅磚砌成的，半地下室的部分則以花崗岩裝飾。該建築由德國建築師格奧爾格・德・拉蘭迪（1872–1914）設計。他在 20 世紀初曾經參與許多日本、中國及朝鮮半島重要的公共和私人建築的設計工作。

風見雞館的內部設計精緻又感性，既莊重又不失趣味。建築中融入了傳統的德國設計元素，例如厚實的梁柱與深木色系。彩繪玻璃、黃銅門把手、燈具，以及櫥櫃的鉸鏈和五金配件均呈現德國「新藝術運動」（Jugendstil）的設計風格。房子的周圍環繞著精巧的木柵欄，高聳的格子狀大門上有用日耳曼字母書寫的文字「Rhenania」，即萊茵地區的拉丁文名稱，以紀念托馬斯的家鄉——萊茵河畔的科布倫茲。整幢建築坐落於由半地下室牆壁所構成的石基之上。除了磚塊之外，部分外牆還覆蓋著帶有細部裝飾的上漆木材，部分則呈現半木構造與灰泥相結合的外觀。房子前角引人注目的三層塔樓頂部有一個上了漆的鐵製風向雞，遠處可見。複雜的廡殿頂則以菱形圖案的石板鋪設。

讓人印象深刻的花崗岩門廊通往前廳，再通往挑高的中央大廳和寬大的木造樓梯。寬敞的客廳與餐廳因為敞開的木作拉門而相連，使得一樓顯得格外開闊。客廳的一角有一塊略顯隱密、地面稍高且設有欄杆的區域。餐廳內有一個嵌入式的木製餐邊櫃，配有新藝術風格的裝飾性黃銅鉸鏈。餐邊櫃、木製牆板及門框的上方均有城牆狀的圖案，呼應在科布倫茲

的史托爾岑菲爾斯城堡的城牆設計。一間採光良好的八角形凸窗書齋緊鄰入口門廊，便於屋主看到誰在接近。這裡的地面也略高，且設有欄杆，而欄杆則配備著受到新藝術風格影響的彩繪壁板。一樓裡面還有優雅的會客室以及寬敞的陽台。

二樓為家庭的私人空間，裝飾較為簡約。裡面有寬敞的主臥室、兒童房、客房、早餐專用間，也有一個玻璃窗封閉陽台。這些房間均面向二樓的大廳；大廳原為撞球室，至今仍保留著當時打撞球時照明用的雙吊燈。塔樓的最上層有一個小型觀景室，只能通過閣樓進入。

第一次世界大戰於 1914 年爆發之時，托馬斯一家正在德國度假，無法返回神戶。此後，房屋被出售，先後被當作研究室、神戶中華同文學校的學生宿舍使用。1978 年 1 月，風見雞館被指定為重要文化財，並由神戶市收購。1995 年的阪神・淡路大地震對其造成了一定的損害，但隨後得到了修復。2023 年，館內開始進行了抗震加固工程。

<日本語仮訳>

風見鶏の館

風見鶏の館（旧トーマス邸としても知られる）は、神戸を代表する建物で、その名前の由来となった風見鶏は異人館街のシンボルとして親しまれています。この優美で威厳のある建物は、1909 年頃にドイツ人貿易商のゴットフリート・トーマスのために建てられました。木造建築ではありますが、神戸の異人館の中でも特徴的な、外壁をレンガで覆い、半地下部分を御影石で装飾した珍しい建物です。この建物は、20 世紀の最初の数十年間に日本、中国、韓国で多くの重要な公共建築や私邸を手がけたドイツ人建築家ゲオルク・デ・ラランデ（1872-1914）によって設計されました。

風見鶏の館の内部は洗練された感性を示しており、威厳がありながらも遊び心も感じられます。この建物には太い梁や濃い色の木工など、伝統的なドイツのデザイン要素が取り入れられています。ステンドグラス、真鍮のドアノブ、照明器具、装飾的な戸棚の蝶番や金具にはユーゲントシュティール（ドイツ・アールヌーヴォー）運動の特徴的な装飾要素が組み込まれています。家は精巧な木製の塀に囲まれており、高い格子状の門にはトーマスの出身地であるライン川沿いのコブレンツを指す「Rhenania」というラテン語名がドイツ文字で書かれています。家そのものは、半地下の壁によって形成された石造りの基礎の上に建てられています。レンガに加えて、一部の外壁は装飾的な細部を持つ塗装された木材で覆われており、また漆喰の上に半木骨構造も見られます。家の前面の角にある印象的な 3 階建ての塔の頂点には、遠くからも見える塗装された鉄製の風見鶏があります。複雑な寄棟屋根はダイヤモンド模様のスレートで覆われています。

印象的な花崗岩の玄関ポーチは前室へと続き、そこから天井の高い中央ホールと大きな木製の階段へとつながっています。広々としたリビングとダイニングルームは、木製の引き戸のある大きな開口部で繋がっており、1 階に大きな開放感を与えています。リビングルームの一角には、床が一段高くなっているこぢんまりした手すり付きの区画があります。ダイニングルームには、ユーゲントシュティールの装飾的な真鍮の蝶番が付いた造り付けの木製サイドボードがあります。サイドボード、木製の壁パネル、ドア枠はすべて、コブレンツのシュトルツェンフェルス城を思わせる城壁風の装飾で上部が飾られています。日当たりの良い八角形の出窓のある書斎は、入口ポーチの隣に配置されています。これにより、家の主人が誰が近づいてくるかを見ることができるようになっていました。この床も高くなっており、ユーゲントシュティールの影響がみられる塗装されたパネルの手すりがあります。1 階には他に、優雅に設えられた応接室と広々としたベランダもあります。

2 階は家族の私的空間に充てられており、装飾はより控えめです。広い主寝室と子供部屋、客室、朝食用の小部屋、ガラス張りのベランダがあります。これらの部屋はすべて 2 階のホールに面しています；このホールは元々ビリヤードルームとして使用されており、その目的のために設置された 2 つの吊り下げ式照明器具が残されています。塔の最上階には、屋根裏部屋からのみアクセス可能な小さな展望室があります。

1914 年に第一次世界大戦が勃発した際、トーマス家はドイツで休暇中であり、神戸に戻ることができませんでした。家は売却され、後年には研究所や神戸中華同文学校として使用されました。1978 年 1 月、風見鶏の館は重要文化財に指定され、神戸市によって購入されました。1995 年の阪神・淡路大震災で被害を受けましたが、その後修復されました。2023 年には耐震補強工事が開始されました。

【タイトル】旧トーマスの住民が再び訪問のきっかけはドラマにある

【想定媒体】Web

<簡体字>

被电视剧拯救的风见鸡馆

以 20 世纪初神户北野异人馆街为舞台的电视连续剧《风见鸡》，在 20 世纪 70 年代末播出时，引发了人们对这一地区的关注。该剧的灵感源自建于 1909 年左右的旧托马斯宅，其塔顶有独特的“风见鸡”风向标而被人们亲切地称为“风见鸡馆”。故事的背景设定在大正时代（1912-1926），讲述了女主人公与德国面包师结婚并在神户经营面包店的故事。尽管剧中既没有真正的托马斯宅，也没有托马斯一家的故事，但却生动地展现了神户国际街区的生活氛围。

这部由日本 NHK 电视台制作的热门剧集，从 1977 年 10 月至 1978 年 4 月，每周播六天，在早上播出，每集约 15 分钟，总集数超过 150 集。《风见鸡》剧迅速点燃了观众的热情，激发了人们对神户异人馆街的浓厚兴趣，众多游客慕名而来，实地探访这些独特建筑。这股观光热潮，是促使 1979 年神户市设立“北野町・山本通重要传统的建造物群保存地区”的重要推动力，也促进了后续对历史建筑的修复与开放工作。

令人意想不到的是，当时居住在德国、小时候曾住过风见鸡馆的艾尔泽·卡尔博（旧姓托马斯）在得知《风见鸡》剧及风见鸡馆重新受到瞩目后，主动提出协助保护工作。1979 年她访问了神户，带来了大量反映建筑原貌的老照片和文件。这些宝贵资料为主持修复工作的专家提供了重要参考。得益于《风见鸡》剧的成功，这座风见鸡馆也迅速成为神户独特文化和历史的象征，广泛出现市政标识、消防栓等多个地方。

<繁体字>

被電視劇挽救的風見雞館

電視連續劇《風見雞》以 20 世紀初的神戶北野異人館街為場景，在 1970 年代後半期播出時，重新引起了人們對於該地區的關注。該劇的靈感源自建於 1909 年左右的舊托馬斯住

宅，該建築因其塔樓頂部獨特的「風見雞」（即風向雞）而被稱為「風見雞館」。劇中的時代背景是大正時代（1912-1926），講述女主角與一名德國麵包師結婚並在神戶經營麵包店的故事。儘管劇中並沒有出現實際的托馬斯住宅，也沒有提及托馬斯一家的故事，但卻生動地詮釋了神戶國際街區的生活氛圍。

這部由 NHK 電視台製作的熱門影集，從 1977 年 10 月至 1978 年 4 月，每週六天於早晨播出，每集 15 分鐘，共超過 150 集。《風見雞》一劇迅速點燃了觀眾的熱情，激發了人們對神戶異人館街的濃厚興趣。於是乎大批遊客慕名而來，實地造訪了那些獨特的建築物。這種高關注度與觀光熱潮成了神戶市於 1979 年設立「北野町・山本通重要傳統的建造物群保存地區」，並且決定後續修整與開放那些歷史性建築的重要推手。

艾爾莎・卡爾博（Else Karbeau；舊姓托馬斯）的人生峰迴路轉，當時居住在德國，小時候則曾經在風見雞館生活。當她得知此一連續劇以及該館獲得關注之後，受到觸動而有了協助其保護工作的意願。她在 1979 年訪問神戶，並帶來了大量呈現建築原貌的老照片與文件。那些資料為負責修復工作的專家提供了寶貴的參考依據。因為連續劇《風見雞》的熱播，風向雞不久就成了神戶的獨特文化與歷史的象徵，進而廣泛地出現在市政標識、消防栓等多種用途。

<日本語版訳>

テレビドラマが風見鶏の館を救った経緯

「風見鶏」というタイトルのテレビドラマは、20 世紀初頭の神戸北野異人館街を舞台にしており、1970 年代後半に放映された際、この地域への関心が急増しました。風見鶏は、1909 年頃に建てられ、塔の上にユニークな風見鶏があることから「風見鶏の館」として親しまれている旧トーマス邸に着想を得ていました。物語は大正時代（1912～1926）に始まり、神戸でパン屋を営むドイツ人と結婚したヒロインを中心に展開しました。実際のトーマス邸やトーマス一家はドラマには描かれていませんが、神戸の国際通りにおける生活の雰囲気鮮やかに捉えていました。

この人気ドラマは日本のテレビ局の NHK によって制作され、1977 年 10 月から 1978 年 4 月まで、週 6 日、毎朝 15 分間のエピソードが 150 回以上放映されました。このドラマはすぐに大衆の想像力を捉え、人々に神戸の異人館について一般的にもっと知りたい、そこに実際に訪れたいと思わせました。この顕著な関心と観光意欲の高まりは、1979 年に神戸市が北野町・山本通り重要伝統的建造物群保存地区を創設し、その後そこにある歴史的建造物を修復し公開するという決定を下す上で、大きな要因となりました。

意外な経緯を経て、子ども時代に風見鶏の館で暮らしており、当時ドイツに住んでいたエルゼ・カルボ－（旧姓トーマス）は、このドラマと家への関心について耳にし、その保存に協力する意思を示しました。彼女は家の元の状態を示す多くの写真や文書を携えて 1979 年に神戸を訪れました。これらの資料は、修復を監督する専門家にとって貴重な記録となりました。ドラマ「風見鶏」のおかげで、風見鶏はやがて神戸のユニークな文化と歴史の象徴となり、市の標識から消火栓に至るまで、あらゆるところに登場するようになりました。

【タイトル】 ラインの館の概要

【想定媒体】 Web

<簡体字>**莱茵馆**

莱茵馆建于 1915 年，是一栋被精心保存的两层木质住宅，最初是为 J.R.德鲁威尔而建。其主屋与厢房呈 L 字形相连，堪称神户异人馆风格西式住宅中的典范。如今，莱茵馆作为北野异人馆地区及其历史建筑保护活动的信息中心向公众开放。这栋建筑设计特征鲜明，包括朝南且配有成对方柱子的门廊、门廊上方的玻璃封闭式阳台、东西两侧带有装饰细节的凸窗以及木制百叶门窗。西式木制齿状装饰檐口上方覆盖着灰色釉面日本瓦，外墙装有厚实的木制护墙板，并点缀了装饰性雕刻线条。这些元素自 19 世纪 80 年代起便成为神户西式住宅的典型特征，历经数十年依然备受推崇。

1980 年，神户市将莱茵馆指定为传统建筑物，并于 2016 年将其列为“景观形成重要建筑物”。从 2017 年起对莱茵馆进行了全面拆解并重新组装，升级了房子的抗震结构，同时所有墙壁、地板、天花板、装饰构件及模具均被恢复至原貌。2019 年，莱茵馆重新开放。主屋的一层原本包含会客室、起居室和餐厅，二层则是卧室。现如今，二层被用于展示莱茵馆历史及神户外国人定居点（包括北野町・山本通重要传统的建造物群保存地区）的相关信息，同时介绍了 1995 年阪神・淡路大地震后的修复工作，以及最近的拆解和重建过程。

神户市于 1978 年收购了这栋建筑，在收集公众意见后选定了“莱茵馆”这一名称。它的最后一位非日本籍住户是一位名为奥伯莱因（Oberlein）的德国人，他在此居住到 1968 年。“莱茵”一名既是对其祖国德国的致敬，又巧妙呼应了建筑外墙木条的线条特征，因为在日语中“Rhine”（莱茵）与“Line”（线）的发音相同。莱茵馆是神户异人馆中唯一免费开放的异人馆。

<繁体字>**萊茵館**

萊茵館是一幢經過精心保存的兩層樓木造洋房，始建於 1915 年，最初為 J.R.德萊威爾（J. R. Drewell）的居所。其主樓與供僕役使用的服務附樓相連而形成 L 型的格局，堪稱神戶異人館風格的洋房之中的典範。萊茵館目前作為資訊中心，介紹北野異人館地區，並展示該地區歷史性建築的保存維護活動之情況。該幢建築顯著的設計特徵，包括朝南並配有成對方形柱子的門廊、門廊上方裝滿玻璃窗的陽台、東西兩側帶有細部裝飾的凸窗，以及木製的百葉門窗等。帶有西式木製齒狀浮雕的簷口上覆蓋著灰色釉面的日本瓦，外牆則裝有厚實的木製護牆板，並點綴著裝飾性雕刻線條。這當中的許多特徵早在 1880 年代起便成了神戶西式住宅的特徵，歷經數十年人氣始終不墜。

神戶市於 1980 年將萊茵館指定為傳統建築物，並於 2016 年將其列為「景觀形成重要建築物」。自 2017 年起，此一房屋被完全拆解後重新組裝，抗震結構得到了改善，同時所有的牆壁、地板、天花板、裝置及裝飾物均被修復還原，並於 2019 年重新對外開放。主樓的一樓原本設有會客室、起居室和餐廳，二樓設有臥室。如今，二樓被用於展示萊茵館的歷史以及神戶外國人居留地（包括北野町・山本通重要傳統的建造物群保存地區）的相關資訊，其中也包括 1995 年阪神・淡路大地震後的修復工作以及最近的拆解與重建的過程。

神戶市於 1978 年收購這幢建築，並在徵詢公眾意見後將之定名為「萊茵館」。這裡的最後一名非日本籍住戶是一名叫作奧伯萊因（Oberlein）的德國人，他居住於此直至 1968 年。「萊茵」這個名稱既表達了對其祖國德國的致意，因為在日語中「Rhine」（萊茵）與「Line」（線條）的發音相同，所以也巧妙地呼應了建築外牆木板的線條特徵。萊茵館是神戶異人館之中，唯一的一間免費對外開放的場館。

＜日本語仮訳＞

ラインの館

ラインの館は、1915 年に J. R. ドレウェルのために建てられた、細心の注意を払って保存されている 2 階建ての木造住宅です。主屋と付属棟が L 字型に接続されており、神戶の異人館様式の洋風住宅の優れた例と考えられています。現在ラインの館は北野異人館地域とそこにある歴史的建造物の保存活動のための情報センターとして機能しています。この家の注目すべきデザインの特徴には、対になった角柱のある南向きのポーチとその上のガラス張りのベランダ、東西の側面にある装飾的な詳細が施された出窓、木製のルーバー式のドアと窓のシャッターなどがあります。西洋風の木製の歯型装飾のある軒蛇腹の上に、灰色の釉薬をかけた日本瓦の屋根が乗っており、外壁は厚い木製の下見板で作

られていて、装飾的な彫り込み線が施されています。これらの特徴の多くは、1880 年代という早い時期から神戸の洋風住宅の特徴となり、数十年後まで人気が続きました。

神戸市は、ラインの館を 1980 年に伝統的建造物に、2016 年に景観形成重要建築物に指定しました。2017 年から、この家は完全に解体され再組み立てされ、耐震構造の改良が加えられました。また、すべての壁、床、天井、備品、装飾的な成形物が元の状態に復元されました。家は 2019 年に再び開館しました。主屋の 1 階には元々応接室、居間、食堂が含まれていましたが、2 階は寝室でした。現在、2 階は家の歴史と神戸の外国人居留地（北野町・山本通り重要伝統的建造物群保存地区を含む）についての情報展示に充てられています。展示には、1995 年の阪神・淡路大震災で受けた被害の修復や、最近の解体・再建プロセスについての説明も含まれています。

神戸市は 1978 年にこの家を購入し、「ラインの館」という名前は市民の意見を取り入れて選ばれました。この家の最後の非日本人居住者は、1968 年まで住んでいたオーバーラインというドイツ人でした。「ライン」という名前は、彼の母国ドイツへの敬意を表すとともに、外装の下見板の強い直線的な特徴から来る言葉遊びでもありました；「Rhine」と「Line（線）」は日本語では同じ発音になります。ラインの館は、神戸の異人館の中で唯一入場料が無料の施設です。

【タイトル】 伝統的建造物群保存地区の説明

【想定媒体】 Web

<簡体字>

“重要传统的建造物群保存地区”

莱茵馆是北野异人馆街地区历史以及众多历史建筑保护活动的信息中心。在江户时代（1603-1867），日本实行了长达 200 多年的锁国政策，禁止与大多数国家进行商贸、旅行和接触。这一政策在 1858 年签订《安政条约》后终止，1868 年神户成为几个对外开放的港口之一。然而，原本规划的外国人定居点建设遭遇延迟，许多为外国人建造的西式住宅（异人馆）因此分布在城市的周边地区。位于外国人定居点以北的山手地区，即日后的北野町・山本通地区，是一片迷人的乡村丘陵地带，能够眺望港口与大海。19 世纪 80 年代，这里发展成为一个独特的外国住宅区，到 20 世纪中叶已汇聚了超过 200 多栋西式和日式风格建筑。

由于第二次世界大战的破坏、战后开发以及老化等原因，这其中的许多西式建筑已消失。不过仍有 30 多栋建于 19 世纪和 20 世纪初的建筑被保存至今，它们大多曾是外国领事或贸易公司高管的故居。1979 年 12 月，神户市根据《神户市城市景观条例》，将北野町・山本通地区列为“重要传统的建造物群保存地区”。该条例旨在以建筑群而非单一建筑物的形式，保护具有文化意义的建筑及其街景元素（如大门、围墙）和环境特征（如庭园、绿篱、树木）。

“北野町・山本通重要传统的建造物群保存地区”内共有受到保护的 34 栋西式建筑和 7 栋日式建筑，保护工作还在持续进行中。保护区东西长约 750 米，南北宽约 400 米。虽然大多数西式住宅在 1995 年 1 月的阪神・淡路大地震中严重受损，但都已修复并重新对公众开放。这些成功的保护成果，离不开神戸市政府与当地居民、企业界人士以及建筑历史学家之间的紧密协作。

<繁体字>

重要傳統的建造物群保存地區

萊茵館目前作為資訊中心，既介紹北野異人館地區的歷史，也展示諸多該地區歷史性建築的保存維護活動之情況。日本在江戶時代（1603-1867）施行長達 200 多年的鎖國政策，禁止與大多數的國家進行貿易、旅行和接觸等活動。此一政策在 1858 年《安政條約》簽訂後告終，神戶於 1868 年被闢為幾個對外通商口岸之一。然而，原本商定的外國人居留地建設計畫遭到延宕，許多為外國人建造的西式住宅（異人館）因而分布在這座城市的周邊地區。山手地區，即後來的北野町・山本通地區，位於外國人居留地的北方，是一處迷人的鄉村丘陵地，擁有港口與海洋的景觀。這裡於 1880 年代發展成為一個獨特的外國人住宅區，至 20 世紀中葉聚集了超過 200 幢西式與日式風格的建築。

由於第二次世界大戰的破壞、戰後開發以及老舊等原因，許多西式建築都消失在時間的長河裡，不過仍有 30 多幢建於 19 世紀和 20 世紀初的建築至今仍屹立不倒。這其中大多數是外國領事或貿易公司高層人士的故居。1979 年 12 月，神戶市根據《神戶市都市景觀條例》，將北野町・山本通地區選定為「重要傳統的建造物群保存地區」。該條例之立法意旨乃要求保存具有文化意義的建造物群，包括大門、圍牆等街景要素和庭園、綠籬、樹木等環境特徵，而非僅僅為了保存單一的建築物。

北野町・山本通重要傳統的建造物群保存地區內，共有受到保護指定的 34 幢西式建築和 7 幢日式建築，而那些保存及維護工作目前仍在持續進行當中。此一地區東西長約 750 公尺，南北寬約 400 公尺。大多數的西式住宅雖然在 1995 年 1 月的阪神・淡路大地震中受損嚴重，但均已修復完畢並重新對外開放。這些保存活動的成功，是神戶市公所與當地居民、業者和建築史學家之間密切合作所帶來的結果。

＜日本語仮訳＞

重要伝統的建造物群保存地区

ラインの館は、北野異人館街地域の歴史とそこにある多くの歴史的建造物の保存活動に関する情報センターとして機能しています。江戸時代（1603～1867）の 200 年以上にわたり、日本は鎖国政策を維持し、ほとんどの外国との貿易、旅行、接触を禁止していました。この政策は 1858 年の安政条約の締結により終わり、1868 年に神戸は外国貿易に開放された数港の一つとなりました。しかしながら、予定されていた外国人居留地の完成は遅れ、外国人のための洋館（異人館）が市内の周辺地域に多く建設されました。後に北野町山手通り地域が位置することとなった山手地域は、外国人居留地の北に位置する魅力的な田舎の丘陵地で、港と海の景色を望むことができました。1880 年代にはユニークな外国人居住区として発展し、20 世紀半ばまでに 200 以上の洋風建築

と和風建築を擁するまでに成長しました。

これらの洋館の多くは、第二次世界大戦での被害や戦後の開発、そして老朽化により失われてきましたが、19世紀から20世紀初頭に建てられた建物のうち、30棟以上が現在も残されています。これらのほとんどは、かつて外国領事や貿易会社の役員の住居でした。1979年12月、神戸市は神戸市都市景観条例に基づき、北野町・山本通り地区を重要伝統的建造物群保存地区に指定しました。この条例は、文化的に重要な建物を個々に保存するのではなく、グループとして保存することを目的としています。これには、門や塀などの街並みの要素や、庭園、生け垣、樹木などの環境的特徴も含まれます。

北野町・山本通り重要伝統的建造物群保存地区には、保護指定を受けた34棟の洋風建築と7棟の和風建築が含まれており、保存活動が継続的に行われています。この地区は東西約750メートル、南北約400メートルに及びます。これらの洋風住宅のほとんどは1995年1月の阪神・淡路大震災で深刻な被害を受けましたが、すべてが修復され、再び一般公開されています。こうした保存活動の成功は、神戸市役所と地元住民、事業者、専門家との緊密な相互協力の結果です。

【タイトル】 うろこの家・展望ギャラリーの概要

【想定媒体】 Web

<簡体字>

鱼鳞之家与展望画廊

鱼鳞之家是神户最著名的异人馆之一，也被认为是神户异人馆建筑群的象征。这座两层木质结构建筑，因宛如城堡的圆柱形三层塔楼而格外引人注目，成为了当地的地标。其名称源于覆盖在外墙的数千片鱼鳞状的板岩瓦片，这种装饰风格在德国某些地区属于传统工艺，但在明治时代（1868-1912）后期的日本却显得很寻常。凭借独特的外观，该建筑于1998年被列为日本国家有形文化财产，并在2009年入选兵库县“近代住宅百选”之一。直到1968年，这里还有人居住，自1977年起成为第一座向公众开放的异人馆。如今，鱼鳞之家作为资料馆使用，定期举办主题展览，用于展示历史文物。

入口位于中央塔楼的底部。进入设有楼梯的中央大厅，便能看到左侧宽敞的会客厅，房内配有壁炉，两侧装饰着大型彩色玻璃窗。沿着会客厅继续向前则是餐厅，陈列着许多博物馆级别的高品质古董家具，重现了昔日居所的氛围。餐厅内的古董边柜和玻璃柜展示了一系列精美的欧洲陶瓷和餐具。一面墙上挂着早期现代主义画家马克·夏加尔的一幅小型水彩画。一楼还设有杂物间和接待室，以及带厨房的厢房。二楼图书室通向宽敞的阳光房，阳光房内有一个由塔楼构成的半圆形休憩区，窗户上有精致的三角形窗饰。透过这些窗户可以欣赏到神户市区及港口的美景。二楼还设有一间客厅和两间卧室，其中较小的卧室摆放着古董运动器材，似乎是为20世纪初的年轻人准备的。两间卧室之间有个小型室内阳台，从那里可以俯瞰一楼的玄关。在古老的壁橱中陈列着一套引人注目的17世纪的日本甲冑。二楼后侧是佣人房，位于一层厨房的上方。

鱼鳞之家的隔壁是1982年开馆的三层展望画廊。这座现代化的混凝土建筑设计灵感源于鱼鳞之家，拥有类似的塔楼和鱼鳞状外墙瓷砖装饰。二楼的墙壁上展示了19世纪巴比松画派画家特罗荣的作品，还有马蒂斯、丹尼斯、郁特里罗、杜布菲等20世纪前中期欧洲流行画家的画作。其余楼层则用于举办当代艺术家的主题展览。画廊三楼的大型观景窗提供了北野异人馆中最开阔的视野，可俯瞰神户市、大阪港以及淡路岛。

鱼鳞之家与展望画廊由Uroko集团运营管理。

<繁体字>

魚鱗之家與展望藝廊

魚鱗之家是神戶最著名的異人館（外國人住宅）之一，已成了整個神戶異人館建築群的象徵。其主體是兩層樓的木造結構，不過卻因為附屬的圓柱形如城堡般的三層塔樓，而成為當地顯眼的地標。外牆貼裝數千片的板岩，形狀類似魚鱗，因此得名。此類技法在德國的部分地區屬於傳統工藝，但在明治時代（1868-1912）後期的日本卻十分罕見。該建築憑藉著獨特的外觀，於 1998 年被列為日本的國家有形文化財，並於 2009 年被選為「兵庫縣近代住宅 100 選」之一。直到 1968 年，這裡仍然有人居住；1977 年成了第一間向大眾開放的異人館。魚鱗之家如今作為歷史博物館，定期展出不同的內容物。

入口設置在位於中央的塔樓的底部。進入設有樓梯的中央大廳，可以看到左側寬敞的起居室。起居室內裝飾講究，裡頭有一個壁爐，壁爐兩側是大型的彩色玻璃窗。起居室的另一側是餐廳，目前陳列著許多博物館等級的古董，藉以重現昔日居所的氛圍。餐廳裡的古董邊櫃和玻璃櫥櫃中，展示著歐洲的陶瓷與餐具器皿等令人印象深刻的精美收藏。一面牆上掛著早期現代主義畫家馬克·夏卡爾的一幅小型水彩畫。一樓還設有雜物間、接待室，以及一間設置於供僕役使用的服務附樓的廚房。二樓的書齋通向寬敞的陽光房，其內有一個由塔樓所構成的半圓形休憩區。窗戶上有精緻的三角形雕花，透過窗戶可以將神戶市區及港口的美景盡收眼底。二樓還設有一間起居室和兩間臥室，其中較小的臥室擺放著古董運動器材，彷彿是為了 20 世紀初的年輕人而準備的。兩間臥室之間有一個小型的室內陽台，可俯瞰一樓的玄關。原本是衣櫥的地方展示著一套令人玩味的 17 世紀日本盔甲。二樓的後側是僕役的房間，位於一樓的廚房的上方。

魚鱗之家的隔壁是 1982 年開放，有三層樓高的展望藝廊。這是一幢現代化的混凝土建築，其設計靈感源於魚鱗之家，有著類似的塔樓以及魚鱗狀的瓷磚外牆。二樓的牆壁上展示著 19 世紀巴比松派畫家特魯瓦永的作品，以及馬諦斯、德尼、郁特里羅、杜布菲和其他 20 世紀前中期歐洲流行畫家的畫作。其他的樓層則用於舉辦當代藝術家的不同展覽。三樓的大型觀景窗提供北野異人館當中最開闊的視野，涵蓋神戶、大阪港以及淡路島。魚鱗之家與展望藝廊由 Uroko 集團營運。

<日本語仮訳>

うろこの家と展望ギャラリー

うろこの家は、神戸で最もよく知られている異人館（外国人の家）の一つであり、神戸の異人館建築全体を象徴するものとなっています。基本的には2階建ての木造構造ですが、円筒形の城のような3階建ての塔があり、これがこの家を地域の著名なランドマークにしています。家の名前は、外装を覆う何千もの魚の鱗（うろこ）に似た貝殻状のスレート瓦に由来しています。この技法はドイツの一部の地域では伝統的なものですが、明治時代（1868-1912）後期にこの家が建てられた当時の日本では全く馴染みのないものでした。この独特なデザインにより、この家は1998年に国の有形文化財に指定され、2009年には兵庫県の「近代住宅100選」の一つに選ばれました。1968年まで人が住んでおり、1977年に一般公開された最初の異人館となりました。この建物は現在、定期的に内容を入れ替えて歴史的な展示を行う資料館として利用されています。

入り口は中央に配置された塔の基部にあります。階段のある中央ホールから左側に広々とした応接間が開かれています。この部屋には暖炉を挟んで大きなステンドグラスの窓が設えられています。その先には食堂があり、現在は元の邸宅の雰囲気再現することを目指した博物館級の骨董品が置かれています。アンティークのサイドボードやガラスキャビネットには、ヨーロッパの陶磁器や食器の見事なコレクションが展示されています。壁の一つには初期のモダニズム画家マルク・シャガールの小さな水彩画が飾られています。1階にはさらに実用的な部屋や応接室、そしてキッチンのある使用人用の翼部があります。2階の図書室は広々としたサンルームに続いており、そこには塔によって形成された半円形の小さな座り込みスペースがあります。繊細な三角形のトレーサリーが施された窓からは、神戸市とその港の素晴らしい眺めが望めます。他にも応接室と2つの寝室があります。より小さい方の寝室は、20世紀初頭の若い男性の部屋であるかのように、アンティークのスポーツ用品が設置されています。2つの寝室をつなぐ短い室内バルコニーがあり、そこから1階の玄関まで見渡すことができます。元々クローゼットだった場所には、興味深い17世紀の日本の甲冑が展示されています。2階の後ろ側には、1階のキッチンの上に位置する使用人の部屋があります。

うろこの家の隣には、1982年に開館した3階建ての展望ギャラリーがあります。現代的なコンクリート構造のこのギャラリーは、うろこの家自体をモデルにした塔と魚鱗状のタイルを備えています。2階の壁には、19世紀のバルビゾン派の画家トロワイヨンの絵画や、マティス、ドニ、ユトリロ、デュビュッフェ、その他20世紀前半から中頃の人気ヨーロッパ画家たちの作品が飾られています。他の階は現代アーティストによる企画展示に充てられています。3階の大きな絵窓からは、神戸市のいずれの異人館よりも広大な眺望が得られ、神戸市街、大阪港、淡路島を見渡すことができます。うろこの家と展望ギャラリーは、うろこグループによって運営されています。

【タイトル】 山手八番館の概要

【想定媒体】 Web

<簡体字>**山手八番館**

山手八番館（Yamate House No.8）是一座建于明治时代（1868–1912）后期的两层木质西式住宅。这栋建筑采用少见的都铎（Tudor-revival）风格，底层设有醒目的石拱门入口，二层正面则有三个宽大的半木结构凸窗。内部布置如同家庭博物馆，展示了来自欧洲、亚洲和非洲的艺术品，其中不乏珍品。进入中央大厅，可以看到一座气派的楼梯正对入口。一侧的房间专门展出欧洲艺术作品，包括罗丹、布德尔的雕塑，以及雷诺阿的一尊罕见的青铜雕像。此外，还有伦勃朗、丢勒、霍加斯、阿尔玛·塔德玛等著名艺术家的版画作品展出。精美的古董桌椅和其他家具装饰了馆内各个房间。

一层还设有一个独立的小展厅，展示着大量由东非马孔德人制作的乌木雕像。这类雕像曾在 20 世纪初激发了毕加索和其他现代艺术家们的灵感。二层的开放式拱门和柱子环绕着楼梯，显得十分雅致。二层展厅中展示了来自阿富汗北部犍陀罗地区和泰国的佛教雕塑，这些雕塑在柔和的灯光下显得格外庄严。其中一对真人大小的漆木仁王像是这部分展品中的亮点。此外，二层的一间小房间还陈列了多种非洲木雕作品。建筑正面的凸窗提供了绝佳的视野，可俯瞰下方城市和远处的港口风光。馆内还有一对被称为“萨图恩之椅”的藏品，据说如果女性坐在右侧的椅子、男性坐在左侧的椅子上许愿，愿望就能实现。山手八番館由 Uroko 集团运营管理。

<繁体字>**山手八番館**

山手八番館（Yamate House No. 8）是一幢建於明治時代（1868–1912）後期的兩層樓木造西式住宅。此一建築採用少見的都鐸式建築風格，底層設有醒目的石拱門入口，三個寬大的半木結構凸窗則橫亙在上方的二樓。館內的布置如同家居博物館，展示著歐洲、亞洲和非洲的藝術品，其中不乏稀世珍品。遊客進入典雅的中央大廳，可看到正前方有一個氣

派的樓梯。一側是專門展出歐洲藝術作品的房間，裡頭包括羅丹和布爾代勒的雕塑，以及雷諾瓦的一尊罕見的青銅雕像。此外，還有林布蘭、杜勒、賀加斯、阿爾瑪塔德瑪等知名藝術家的版畫作品的展出。館內的各個房間裡盡是精美的古董桌椅及其他家具，著實琳瑯滿目。

一樓有一個獨立的小展廳，收藏著大量東非馬孔德人所製作的黑檀木雕像。此類的雕像曾激發了畢卡索及其他現代藝術家於 20 世紀初的創作。在二樓，雅緻的樓梯被開放式的拱門與柱子圍繞。二樓的展廳展示來自阿富汗北部的犍陀羅地區與泰國的佛教雕塑，這些雕塑在柔和的燈光下更顯莊嚴。其中，一對漆木製的等身大金剛力士塑像更是展廳的亮點，完善了館內的收藏。此外，這個樓層的一個小房間內還陳列著多種非洲木雕作品。房子正面的凸窗則提供著絕佳的視野，可俯瞰下方的城市和遠處港口的美景。館內還收藏著一對極富魅力，被稱為「薩圖恩紅椅」的椅子；據說女性坐在右側的椅子，男性坐在左側的椅子許願，願望就會實現。山手八番館由 Uroko 集團營運。

<日本語仮訳>

山手八番館

山手八番館（山手の 8 番目の家）は、明治時代（1868～1912）後期に建てられた 2 階建ての洋風木造住宅です。珍しいチューダー様式を模したスタイルで建てられたこの家は、1 階に目を引く石造りのアーチ型入口があり、2 階の正面には 3 つの幅広い半木骨構造の出窓が並んでいます。内部はホームミュージアムのように配置されており、ヨーロッパ、アジア、アフリカの美術品が展示されています；その中には貴重品と考えられるものもあります。典型的な中央ホールに入ると、正面に美しい階段があります。片側の部屋はヨーロッパ美術の展示に充てられています。ここにはロダンとブールデルの彫刻、そしてルノワールの珍しい青銅像が置かれています。また、レンブラント、デューラー、ホガース、アルマ・タデマ、その他の著名な芸術家による版画作品も展示されています。美しいアンティークのテーブル、椅子、その他の調度品が館内の部屋のいたるところに置かれています。

1 階の別の小さなギャラリーには、20 世紀初頭にピカソや他のモダンアーティストにインスピレーションを与えた種類の、東アフリカ産のマコンデ族による大量の彫刻された黒檀の像のコレクションがあります。2 階では、優雅な階段が開放的なアーチと柱で縁取られています。北アフガニスタンのガンダーラ地方や、タイからの仏教彫刻のセットが、2 階のギャラリールームで薄暗い照明のもと展示されています。このコレクションの極め付けは漆塗りの木製の等身大仁王像一対です。また、この階の小さな部屋には、いくつかの種類のアフリカの木彫り像が収められています。家の正面にある出窓からは、下の街や遠くの港の素晴らしい眺めを楽しむことができます。コレクションのさらなる魅力的な作品は、一対の「サタンの椅子」です；女性なら右側の椅子に、男性なら左側の椅子に座ると願いが叶うとされています。山手

八番館は、うろこグループによって運営されています。

【タイトル】 北野外国人倶楽部の概要

【想定媒体】 Web

<簡体字>

北野外国人俱乐部

北野外国人俱乐部是一座建于明治时代（1868-1912）末期的两层木质建筑，现已被重新装修，营造出昔日外国人俱乐部的氛围，因入口处的石狮子雕像而被称为“狮屋3号馆”。建筑采用三角形屋顶设计，并配以装饰性的半木质框架结构和深色灰泥外墙。穿过门，沿着小径前行，便能抵达隐蔽的入口。门厅有配有美丽的木制楼梯，由此可通往绿墙餐厅和红墙沙龙。餐厅的亮点是一张可供八人用餐的巨大餐桌，房间内陈设堪比博物馆，包括一座可追溯至17世纪的大型橡木壁炉，其上刻有象征法国波旁王朝的鸢尾花纹饰（fleur-de-lis）。文艺复兴风格的橡木餐具柜则让整个餐厅更和谐统一。相邻的书房兼沙龙则被布置成了摄影工作室，备有舞会礼服和头冠，感兴趣的游客可以在换装后拍照留念。

二楼设有两间布置雅致的客房以及一间小型音乐室，里面陈列着多种古老乐器和文艺复兴时期的格里高利圣咏乐谱。厢房较小，内有一间天花板较低的佣人房，透过遗留的细节，如裸露的木质框架，可以看出这里的设计是日式风格，这也是当时日本佣人房的典型风格。从二楼的走廊走一小段下降楼梯即可进入这个房间。而后边一段较长的楼梯则通向一楼的厨房。厨房内有一个宽大的壁炉、一个铁制炉灶、以及古董铜锅、铜勺等炊具及其他烹饪器具，重现了19世纪末至20世纪初那个用柴火和木炭烹饪的年代。

<繁体字>

北野外國人俱樂部

北野外國人俱樂部是一幢建於明治時代（1868-1912）晚期的兩層樓木結構建築，現已重新裝修，展現出昔日外國人俱樂部的氛圍。由於入口處的石獅子雕像，這裡也被稱為「獅子屋3號館」。該建築的屋頂採用硬山式，配有裝飾性的半木構造和深色質感的灰泥外牆。一個有門的通道通向有屋頂遮蔽的入口，入口處設置了一個帶有優雅木製樓梯的前

廳。前廳通向一個綠色牆壁的餐廳和一個紅色牆壁的沙龍交誼廳。餐廳的亮點是一張可容納八個人的巨大餐桌。房內的陳設堪比博物館，包括一個可追溯至 17 世紀的大型橡木壁爐，壁爐上雕刻著象徵法國波旁王朝的百合花飾（fleur-de-lis）。橡木餐邊櫃上施以文藝復興風格的雕刻，加強了餐廳的整體感。相鄰的書齋兼沙龍交誼廳則被布置為攝影工作室，備有舞會禮服與頭飾，供感興趣的遊客換裝與拍照留念。

二樓設有兩間布置雅緻的客房，以及一間小型音樂室，內部陳列著多種古老樂器與文藝復興時期的葛利果聖歌樂譜。服務附樓不大，內有一間天花板低矮的僕役房。透過遺留下來的細部裝飾，例如裸露的木框架，可以看得出來這裡最初是以日式風格設計的；這也是當時日本僕役房的典型特徵。從二樓的走廊順著一小段樓梯往下走，即可抵達該房間。後邊一段較長的服務樓梯，則通向一樓的廚房。廚房內設有一座寬大的壁爐、一個鐵製爐灶，並陳列著古董銅鍋、勺子等炊具與其他烹飪器具，生動地還原了 19 世紀末至 20 世紀初烹飪以柴火與木炭為主的場景。

＜日本語仮訳＞

北野外国人倶楽部

北野外国人倶楽部は、明治時代末期に建てられた 2 階建ての木造建築で、当時の外国人居住者向けクラブの雰囲気を感じられるように改装されています。入口にある石造りのライオン像から、「ライオンハウス 3 号館」と呼ばれていました。建物は切妻屋根で、装飾的な半木骨構造と暗い色のざらざらした漆喰の外壁が特徴です。門のある小道は、玄関ホールに続く屋根付きの入り口へと向かいます。玄関ホールには美しい木製の階段があります。玄関ホールは緑の壁の食堂と赤い壁のサロンに続いています。食堂の中心となっているのは、8 人用にセットされた巨大なダイニングテーブルです。博物館級の調度品には、17 世紀にさかのぼるフランスのブルボン王朝の象徴である百合の紋章（フルール・ド・リス）が彫刻された大きなオーク材の暖炉が含まれています。食堂の調度品にはルネサンス様式の彫刻が施されたオーク材のサイドボードが備えられています。隣接する図書室・サロンは、来館者が利用できる写真スタジオとして設えられていて、ドレスアップを楽しみたい方のためにボールガウンやティアラも用意されています。

2 階には優雅に設えられた 2 つのゲストルームと様々な歴史的楽器やグレゴリオ聖歌のためのルネサンス時代の楽譜が展示されている小さな音楽室があります。元々和風だった天井の低い使用人部屋は、小さなサービスウイングの一部です。露出した木組みなどの残された細部から、当時の日本人使用人向けの部屋として一般的だった和風の設計だったことがわかります。この部屋には 2 階の廊下から短い下り階段を通過してアクセスできます。より長い裏側のサービス用階段は、1 階のキッチンにつながっています。薪と炭の時代だった当時を再現するため、この部屋には大きな暖炉、鉄製の調理用ストーブ、ア

ンティークの銅製鍋やお玉、その他の調理器具が置かれています

【タイトル】 坂の上の異人館の概要

【想定媒体】 Web

<簡体字>

坡道上的异人馆

坡道上的异人馆，建于明治时代（1868-1912）后期，具体建造日期已不可考。最初的设计采用了西式风格，后又加入了中式元素，使其在神户的异人馆中独具特色。正面外墙铺设了与附近鱼鳞之家相似的“鱼鳞状”风格的板岩瓦，而后墙则使用了有粗纹理的灰泥涂装。窗户边框精致但形状不规则，搭配了白色木质百叶窗。房屋旁建有一座简约的中式庭院，圆形的“月门”两侧立有石制的狛犬（狮子像），据说它们可以驱邪避祸，招来吉祥。

室内装潢以精美的中国古董为主，彰显奢华的现代品味。将明代（1368-1615）到清代（1616-1911）的精美艺术品与陶瓷，与传统的中国紫檀家具及现代家具作品结合在一起。深灰色的花岗岩地板为室内增添了清凉感的同时演绎了全新的亚洲传统美学。一楼有紫檀与螺钿镶嵌的成套客厅家具，并悬挂了一幅 20 世纪知名中国画家王成喜创作的水墨画。旁边的餐桌和边柜同样为紫檀木材质。楼梯间装有精致的蚀刻玻璃窗，搭配了非常高的楼梯扶手柱。二楼起居室配有紫檀古董家具，通过拱形门可步入卧室，卧室内摆放了一张传统的中式架子床。此外，可以晒日光浴的阳台为居住者提供了私密的空间。坂之上异人馆由 Uroko 集团运营。

<繁体字>

坡道上的異人館

坡道上的異人館建於明治時代（1868-1912）後期，但具體的建造日期已不可考。該建築的計畫與設計最初採用的是西式風格，但在後來加入了中國風的元素，使其在神戶的異人館中獨樹一格。其正面外牆鋪設著與鄰近的魚鱗之家相似的魚鱗狀石板牆磚，而後牆則使用帶有粗礪質感的灰泥塗裝。窗框精緻但形狀不規則，搭配白色的木百葉窗。房子旁邊建有一個簡約的中式庭院，庭院的圓形「月門」兩側立著石狛犬。據說石狛犬能避邪擋煞、

招福迎祥。

室内の擺設以精美的中國古董為主，凸顯奢華的現代品味。令人驚豔的中國藝術品與陶瓷，年份跨越明代（1368-1615）與清代（1616-1911），和傳統的中國紫檀木家具及現代的家具相結合。深灰色的花崗岩地板不僅為室內增添了一種清爽感，更演繹了一種更新的亞洲傳統感性。在一樓，以紫檀木及嵌入珍珠母的沙龍交誼用套裝配件，與一幅 20 世紀知名中國畫家王成喜的水墨畫相得益彰。附近的餐桌椅與邊櫃同樣是用紫檀木製作而成。樓梯間裝有精緻的蝕刻玻璃窗，並搭配極高的樓梯扶手柱。二樓有一間配置紫檀古董家具的起居室，以及一間可透過拱形門進入，擺著一張中國傳統樣式的架子床的臥室。此外，還有一個在陽台搭建而成，讓人保有私密感的陽光房。坡道上的異人館由 Uroko 集團運營。

<日本語仮訳>

坂の上の異人館

坂の上の異人館は、正確な日付は不明ですが、明治時代（1868～1912）後期に建てられました。設計と元のデザインは洋風でしたが、ある時期中国風の特徴が加えられました；これにより、神戸の異人館（「外国人の家」）の中でユニークな存在となっています。正面の外壁は、近くのうろこの家と同様、うろこ様式のスレート瓦で覆われています。後ろの壁はざらざらした漆喰塗で、窓には精巧で珍しい形の枠が付けられ、白く塗装された木製のルーバー式シャッターが付いています。家の隣には簡素な中国風の庭園が造られています。その円形の「月門」の両側には、邪気を祓い幸運をもたらすとされる石造りの狛犬像が置かれています。

内装は、豪華な現代的な趣味を表現するために上質な中国のアンティークを使用しています。明朝（1368-1615）から清朝（1616-1911）にかけての見事な中国の芸術作品や陶磁器が、伝統的な中国の紫檀家具や現代的な家具と組み合わせられています。濃い灰色の花崗岩の床が、涼しさと更新された伝統的なアジアの感性を内部に与えています。1 階には、紫檀と螺鈿のサロンセットと、20 世紀の中国を代表する画家、王成喜の水墨画が飾られています。近くのダイニングセットとサイドボードも紫檀製です。階段室には繊細にエッチングされたガラス窓があり、階段には非常に背の高い手すりの支柱がついています。2 階には紫檀のアンティーク家具を備えたりビングルームがあり、アーチ型の入口を通過して寝室に入るようになっており、寝室のベッドは伝統的な中国の天蓋付きベッドです。日光浴用のベランダはプライバシーを守ってくれます。坂の上の異人館は、うろこグループによって運営されています。

【タイトル】 英国館の概要

【想定媒体】 Web

<簡体字>

英国馆

英国馆建于 1909 年，由一位姓名不详的英国建筑师设计。这栋建筑在保持原貌的基础上，被巧妙改造成了一座以夏洛克·福尔摩斯为主题的展示馆，再现了维多利亚时代典型英式住宅的风貌。该建筑被认为是英国殖民地风格的典范之一，这种风格在整个亚洲有多种变体。其标志性特征之一便是阳台：一楼的阳台被玻璃围成了一个阳光房，通过石阶与庭院相连；二楼的阳台则是开放式的，配有带凹槽的圆柱和栏杆。气派的门廊由四根矗立在雕刻石基座上的方形木柱支撑，宽敞的双开式正门上方装有扇形采光窗，两侧配有侧窗。

外墙采用有粗纹理的灰泥，配以巧克力色的木质装饰和木制百叶窗。室内空间明亮通风，高挑的天花板有助夏季保持凉爽。一楼配有四个带壁炉架的壁炉，二楼则有三个，可保证冬季有充足的供暖效果。一楼曾被用作诊所，至今仍保留着一个小药窗和药架。室内陈列着从 17 世纪至 19 世纪后期的古董家具，整座房子的窗帘和椅子垫衬均使用了由 19 世纪末英国工艺美术运动的倡导者威廉·莫里斯设计的织物。地板上铺的是苏格兰花格纹地毯。

为了呼应夏洛克·福尔摩斯的主题，房内的布置灵感源自阿瑟·柯南·道尔爵士作品中的家具与物品。例如，一楼客厅内摆放了一瓶半空的葡萄酒和酒杯，它们源自短篇小说《格兰其庄园》。二楼被设计成夏洛克·福尔摩斯博物馆，展示了历史纪念品及相关物件，并细节重现了《马斯格雷夫礼典》中描述的福尔摩斯位于贝克街的杂乱房间。二楼餐厅有创意地重新诠释了传统英式餐桌布置，卧室内的小桌上则摆放着下午茶的用具。

室外，房屋后侧一座独特的斜木桥连接着主屋与一座日式风格的厢房，还能看到重建的瓦顶水井。被称为“女王花园”的英式玫瑰花园有一个带格子的拱形花架，通向“求婚花园”和“爱丽丝花园”。此外，场地内还有一座夏洛克·福尔摩斯的铜像，以及模仿伦敦贝克街车站的标志、长椅和瓷砖墙，它们使整个展示更加完整。参观过程中，游客可以免

費穿戴因弗內斯斗篷和獵鹿帽。英國館由 Uroko 集團運營。

〈繁體字〉

英國館

英國館建於 1909 年，是由一位姓名不詳的英國建築師所設計的。這幢建築本身雖然仍然保持著原貌，但已經被打造成了一個以夏洛克·福爾摩斯（Sherlock Holmes）為主題，寓教於樂展示英國維多利亞時代典型住宅的場館。英式殖民地建築風格在亞洲各地有多種變體，而該建築即被視為此類風格的典範之一。其標誌性特徵之一是陽台：一樓的陽台被玻璃封閉而成了一間陽光房，透過石階與庭院相連；二樓的陽台是開放式的，配有帶凹槽的圓柱和欄杆。氣派的入口門廊有四根方形木柱，矗立在石雕基座上。寬敞的雙開式正門上方則裝有扇形的採光窗，兩邊還有側窗。

外牆塗上帶有粗礪質感的灰泥，配以巧克力棕色的木質裝飾條和木百葉窗。室內明亮通風，高高的天花板有助於在夏季保持起居空間的涼爽。一樓有四個壁爐，二樓有三個壁爐，個個備有壁爐台，可讓滿滿的溫暖陪伴住戶過冬。一樓曾被當作診所，至今仍保留著一個小藥窗和架子。房子內陳列著從 17 世紀至 19 世紀後期的古董家具。全屋的家具裝飾品、襯墊和窗簾均採用由 19 世紀末英國美術工藝運動的倡導者威廉·摩里斯（William Morris）所設計的織品。地板上鋪的是有著蘇格蘭格紋圖樣的地毯。

家具與家居用品的擺設等房間布置的靈感來自亞瑟·柯南·道爾（Arthur Conan Doyle）爵士的小說故事，以呼應以夏洛克·福爾摩斯為主題的訴求。例如在一樓的起居室擺放半瓶葡萄酒和幾個玻璃杯，讓短篇故事《格蘭居探案》的場景再現；二樓被設計成夏洛克·福爾摩斯博物館，陳列著歷史性的紀念品及其相關物件，並高度還原了《墨氏家族的成人禮》中所描述，福爾摩斯位於貝克街的凌亂房間。二樓的餐廳展現創意，重新詮釋了傳統的英式餐桌布置，而臥室內的小桌子上則擺放著下午茶具組。

在戶外，房子後側有一座獨特的傾斜木橋連接著主樓和一棟日式風格的附屬建築，還能看到已重建的瓦屋頂水井。一座帶有拱形花架的英式玫瑰園，被稱為女王花園，通向求婚花園和愛麗絲花園。此外，場區內還有一尊夏洛克·福爾摩斯的銅像，以及模仿倫敦貝克街車站的標示、長板凳和瓷磚牆，使這裡的展示得以完整串聯。此處備有斗篷大衣和獵鹿帽，免費供遊客穿戴、裝扮。英國館由 Uroko 集團運營。

<日本語仮訳>

英国館

英国館は 1909 年に、名前の分からないイギリスの建築家によって描かれた設計図を使用して建てられた家です。この家は、現在でもほぼ元の状態を保っているものの、シャーロック・ホームズをテーマにしたヴィクトリア朝時代の典型的なイギリスの邸宅を楽しく再現した展示施設として生まれ変わっています。建物は、アジア全域で様々なバリエーションが見られるイギリス植民地様式の代表的な例と考えられています。この様式の特徴的な要素はベランダです；ここから、一階のベランダはガラスで囲まれてサンルームとなっており、石段で庭とつながっています。2 階のベランダは開放的で、溝のある丸柱と手すりがあります。見事な入口のポーチには、彫刻された石の台座の上に 4 本の四角い木製の柱があります。幅広の両開きの入口ドアの上には扇形の採光窓があり、両側には側窓があります。

外壁はざらざらした漆喰塗で、チョコレート色の木製の装飾とルーバー式の木製窓シャッターが付いています。内部は明るく風通しが良く、高い天井は夏の居住空間を涼しく保つのに役立ちます。1 階に 4 つ、2 階に 3 つあるマントルピース付きの暖炉は、冬の間十分な暖かさを提供していました。1 階はかつて診療所として使用されていたため、小さな薬用窓と棚がまだ残っています。この家は 17 世紀から 19 世紀後期のアンティーク家具で飾られています。19 世紀後期のアーツ・アンド・クラフツ運動の先駆者であるイギリスのデザイナー、ウィリアム・モリスのファブリックが、家中の椅子張りやカーテンに使用されています。床はタータンチェック柄のカーペットで覆われています。

シャーロック・ホームズのテーマに合わせて、サー・アーサー・コナン・ドイルの物語にインスピレーションを受けた家具や家庭用品が家中に配置されています。例えば、1 階の応接間には「修道院屋敷」に登場する半分空のワインボトルとグラスが置かれています。2 階はシャーロック・ホームズ博物館として構想され、歴史的な記念品や関連アイテムが展示されています。「マスグレーブ家の儀式」に描かれているように、ホームズの住むベーカー街のごちゃごちゃした部屋が詳細に再現されています。2 階のダイニングルームには、創造的に再解釈された伝統的なイギリスのテーブルセッティングがあり、寝室の小さなテーブルにはアフタヌーンティーのセットが置かれています。

外部では、家の裏側に風変わりな傾斜した木製の橋があって、メインハウスと日本風の離れをつないでおり、また、再建された瓦屋根の井戸が見えます。クイーンズガーデンと呼ばれる格子のアーチのあるイングリッシュローズガーデンは、プロポーザルガーデンとアリスガーデンへと続いています。シャーロック・ホームズの銅像と、ロンドンのベーカー街駅を模した看板とベンチのあるタイル壁が、この一連の展示を完成させています。インバネスケープとディアストーカー帽子が、訪問中に無料で着用できるよう用意されています。この家はうろこグループによって運営されています。

【タイトル】 洋館長屋の概要

【想定媒体】 Web

<簡体字>**洋館長屋 / 法国馆**

现被称为“法国馆”的洋館長屋建于 1908 年，最初是一栋用于向外国人出租的公寓。从街上望去，建筑由两个两层翼楼相连而成，外墙采用白色涂漆的木质护墙板，配以深绿色装饰线条。临街的小窗装有百叶窗，以保护隐私。建筑的地基和入口台阶使用了花岗岩，屋顶则采用传统的灰色釉面日本瓦。建筑的一楼被改造成了 19 世纪后期的法式家居内装风格，墙壁涂有浓郁的薰衣草紫色和金色的漆。室内陈列着一系列新艺术主义（Art Nouveau）风格及其他古董家具，依照历史上典型的客厅和餐厅样式做了布置。其中的亮点是新艺术主义风格的玻璃藏品，包括埃米尔·加莱（Gallé）、勒内·拉里克（René Lalique）和道姆兄弟（Daum Brothers）的杰作。

二楼则通过一系列充满趣味且令人印象深刻的物品进行了艺术改造。其中一个房间的布置让人联想到巴黎蒙马特区的卧室；另一个房间内，一尊真人大小的中年男性雕像孤独地坐在早餐桌旁，窗外却描绘了一群飞翔的企鹅，显得十分突兀且滑稽。附近有一个房间摆满了各类玫瑰。还有一个房间的墙壁和地板是白色，所有家具和艺术品都被涂成白色，并用黑色线条勾勒出轮廓和细节。毕加索（Picasso）、马蒂斯（Matisse）、达芬奇（Leonardo）等人的画作被用这种黑白配色重新演绎。有一间专门放肥皂的房间，此外，楼梯间和楼梯本身则以超现实主义风格装饰，墙壁和窗户覆盖了取自马格里特（Magritte）艺术作品里的图像和物品。法国馆现在由 Uroko 集团运营。

<繁体字>**洋館長屋 / 法國館**

洋館長屋現在以「法國館」之名為人所知，是一幢為了出租給外國人而於 1908 年建造的公寓。從街道上望去，可知這是連接左右兩棟兩層樓高的翼樓而形成的建築。外牆鋪裝上了白漆的護牆木板，配以深綠色的裝飾線條。靠近街道的小窗戶上加裝百葉窗，以保護住

戸の隱私。地基和入口の台階採用花崗岩，屋頂則使用傳統的灰色釉面日本瓦。整幢建築的一樓以 19 世紀後期的法式家居內裝風格陳設布置，而牆壁塗上濃郁的薰衣草色和金色的漆也別具特色。室內陳列的一系列新藝術風格（Art Nouveau）的收藏品也好，其他類型的古董家具也好，均適得其所，在符合歷史的起居室和餐廳的配置中得到了展示。其中必看的亮點是新藝術風格的玻璃製品收藏，內含埃米爾・加萊（Émile Gallé）、雷內・拉利克（René Lalique）和多姆兄弟（Daum Brothers）等人的傑作。

二樓透過一系列充滿趣味且令人印象深刻的展示，順利取得了藝術性的改造。其中的一個房間裡的布置讓人聯想到巴黎蒙馬特區的臥室；另一個房間內，有一尊真人大小、發福且頭髮稀疏的中年大叔塑像孤獨地坐在早餐桌旁，與一群被描繪在窗外飛翔的企鵝對比，顯得十分突兀、滑稽。附近有一個充滿了各種玫瑰的房間。還有一個房間的牆壁和地板是白色的，所有的家具和藝術品也都被塗白，當中的黑色輪廓線條和細節表現出匠心獨具的巧思。畢卡索、馬諦斯、達芬奇等人的畫作在清晰的黑白配色中，顯得詼諧逗趣。有一間專門放置肥皂的房間，也有被打造成超現實主義風格（Surrealism）的樓梯平台與樓梯間——那裡的牆壁和窗戶覆蓋著出自馬格利特（Magritte）的藝術作品裡的圖像和物件。法國館現在由 Uroko 集團運營。

<日本語仮訳>

洋館長屋 / フランス館

現在は「フランス館」としても知られる洋館長屋は、1908 年に外国人向けの賃貸アパートとして建てられました。通りから見ると、2 階建ての 2 つの翼部が連結した形をしています。外壁は白く塗られた木製の下見板張りで、濃い緑色の装飾が施されています。通り側にはルーバー式シャッター付きの小さな窓があり、プライバシーの確保に役立っています。基礎と入口の階段は花崗岩製で、屋根は伝統的な灰色の釉薬をかけた日本瓦です。建物の 1 階は 19 世紀後期のフランス風の家庭内装にしつらえられており、豊かなラベンダー色と金色に塗られた壁が特徴です。アールヌーヴォーやその他のアンティーク家具のコレクションが、歴史的に適切な居間や食堂の配置で展示されています。

展示の目玉は、アールヌーヴォーのガラス製品のコレクションです。これには、エミール・ガレ、ルネ・ラリク、ドーム兄弟による優れた作品が含まれています。

2 階は遊び心のある印象深い展示によって芸術的に作り変えられています。一室はパリのモンマルトル地区の寝室を思わせる家具で整えられています。別の部屋では、太り気味で頭の薄い中年男性の等身大の像が朝食のテーブルに一人座っており、窓の外では不釣り合いにもペンギンの群れが飛んでいく様子が描かれています。近くにはあらゆる種類のバラで満たされた部屋があります。さらに別の部屋は白い壁と白い床に、すべての家具とアート作品が白く塗られ、黒い輪郭線と細部で巧みに表現されて

います。ピカソ、マティス、レオナルド、その他の画家たちの絵画が、このはっきりとした白黒の配色で面白く再現されています。石鹸に特化した部屋もあり、また、階段の踊り場と階段は、マグリットの芸術作品にもとづいたイメージやオブジェで壁や窓を覆われ、シュールレアリスム的な装飾が施されています。この建物は現在、うろこグループによって運営されています。

【タイトル】 ベンの家の概要

【想定媒体】 Web

<簡体字>**本之家**

据说这里曾是英国贵族兼冒险家本・阿利森（Ben Allison）的住所，这栋房子也因此得名。这栋两层木质结构建筑建于明治时代（1868-1912）末期。房屋外观几乎完全保留了原貌，外墙为有粗纹理的灰泥，以深棕色的木质装饰，配有带精美齿饰的飞檐。窗户装有色彩鲜艳的百叶窗和窗台，玻璃则带有几何图案。屋顶为当时典型的灰釉日本瓦，入口的门廊设计有独特的尖顶屋檐。这座建筑以及临街一侧的围墙被指定神户市的文化财产，墙体至今仍保留着建造时从德国进口的红砖。

2019 年，受到本・阿利森藏品的启发，建筑内部用欧洲的“珍奇百宝屋”的方式，改造成了风格独特且充满想象力自然历史展厅。本之家并非传统意义上的博物馆，更像是一个艺术探险地。原有的室内细节，如拱形内门和精美的墙板均被保留下来，同时，各种自然标本以艺术化的方式展示在色彩鲜艳的房间内。尽管展览内容可能会有所改变，但一楼的红墙房展示着令人惊叹的藏品，包括北极熊、美洲野牛和雪狼的剥制标本。一面墙上挂着大量带鹿角的头骨，另一面墙的木架上则摆满了数十本书籍、标本及其他珍奇物品。

二楼的核心看点是一间蓝墙蝴蝶房。墙上挂满了单独装裱的蝴蝶标本，其他标本则陈列在内置架上的小型玻璃盒中。相邻的灰墙房的墙壁上挂着一系列非洲面具。此外，几十个高玻璃瓶中，除了装有精心挑选的贝壳及其他自然标本外，还有铅笔、纸张、尺子、银器、扑克牌等各种杂物。本之家由 Uroko 集团运营。

<繁体字>**班之家（Ben's House）**

這幢建築的名稱源自於英國貴族兼冒險家班・艾利森（Ben Allison）曾經在這裡住過的傳說。這幢兩層樓木結構建築建於明治時代（1868-1912）後期。房子的外觀幾乎完全保留

了原貌，外牆塗上帶有粗礪質感的灰泥，搭配深棕色的木質裝飾，包括帶著精巧的齒狀浮雕的簷口。窗戶上加裝塗上引人注目的圖案的百葉窗和窗台，拼湊成由幾何學模樣所構成的玻璃窗。屋頂上鋪設當時的典型灰釉日本瓦，而入口門廊上的屋頂則具有獨特的尖頂。這幢建築以及沿街實體圍牆被指定為神戶市的文化財產，而那道實體圍牆至今仍保留著建造當時從德國進口過來的紅磚。

2019 年，營運方受到班・艾利森的收藏品的啟發，以歐洲的珍奇屋（cabinet of curiosities）的方式，將室內的空間徹底打造成風格獨特且充滿想像力的自然歷史展場。班之家並非傳統意義上的博物館，而更像是一處藝術的探險地。原有的室內細部裝飾，例如拱形的內門和精美的護牆板均被保留了下來。各房間以醒目的色彩粉刷，裡頭以頗具藝術感的方式陳列著各種類型的自然標本。未來展覽的內容可能有所改變，現階段一樓的紅牆房間裡的展覽品包括北極熊、美洲野牛、雪狼的剝製標本等令人驚嘆的收藏品。一面牆上掛著大量帶角的動物頭骨，另一面牆的實木書架上則擺滿了數十本書籍、標本及其他奇珍異寶。

二樓的中心是一間有藍色牆壁的蝴蝶房間。牆上掛滿了單獨裱框的蝴蝶標本，其他標本則陳列在壁櫥裡的小型玻璃盒之中。相鄰的灰牆房的牆壁上掛著一系列非洲的面具收藏品。此外，在幾十個長筒玻璃瓶裡，除了有在思緒飛揚中挑選而來的貝殼及其他自然標本外，還有鉛筆、紙張、尺、銀器、撲克牌等各種雜物。此處並非一般的博物館，而是放飛頭腦的藝術探險之地。班之家由 Uroko 集團運營。

＜日本語仮訳＞

ベンの家

この建物の名前は、かつてイギリスの貴族で冒険家のベン・アリソンが住んでいたという言い伝えに由来しています。この 2 階建ての木造建築は明治時代末期（1868 年-1912 年）のもので、家の外装はほぼ完全に当時のままの状態を保たれており、精巧な歯型装飾のある軒蛇腹も含め、外壁はざらざらした漆喰塗りで、濃い茶色の木製の装飾が施されています。窓には目を引くパターンの塗装されたシャッターと窓台があり、幾何学模様のガラス窓になっています。屋根は当時典型的だった灰色の釉薬をかけた日本瓦で、入口のポーチには、独特の尖った屋根があります。この建物自体が神戸市の文化財に指定されており、通り沿いの境界壁も同様に指定されています；この境界壁には、建設当時にドイツから輸入された当時のままの赤レンガが今も残されています。

2019 年、内部はベン・アリソンのコレクションに着想を得た独特で想像力豊かな自然史展示に完全

に変身しました；この展示にはヨーロッパの「キャビネット・オブ・キュリオシティーズ（珍品陳列室）」の様式が取り入れられています。ベンの家は従来のような博物館ではなく、芸術的な冒険の場となっています。アーチ型の内部ドアや精巧な壁板張りといった元々の内装の細部は保持されつつ、様々な種類の自然標本の芸術的なインスタレーションが、鮮やかな色で塗られた部屋に配置されました。展示内容は変更される可能性があります。現在、赤い壁の1階にはホッキョクグマ、アメリカバイソン、スノーウルフなどを含む見事な剥製コレクションがあります。一面の壁には角のある頭蓋骨が並べられ、別の壁に沿って設置された木製の棚には、数十冊の本、標本、その他の珍品が陳列されています。

2階の中心となるのは青い壁の蝶の部屋です。個別に額装された蝶の標本が壁を覆い、その他の標本は造り付けの棚に置かれた小さなガラスケースに収められています。隣接する灰色の壁の部屋には、壁に掛けられたアフリカのマスクのコレクションがあります。また、何十もの背の高いガラス瓶には、想像力豊かに選ばれた貝殻やその他の自然標本とともに、鉛筆、紙、定規、銀食器、ランプ、その他様々な品々が入っています。ベンの家は従来のものである博物館ではなく、インスピレーションに富んだ芸術的冒険です。この家はうろこグループによって運営されています。

【タイトル】 神戸トリックアート不思議な領事館の概要

【想定媒体】 Web

<簡体字>

神戸错觉艺术不可思议领事馆

神戸错觉艺术不可思议领事馆是一处以错觉艺术为主题的常设展馆，充满魅力且趣味无穷。这座两层的西式住宅建于 20 世纪初，最初是希尔顿先生及其家族的宅邸；二战后，这里曾作为巴拿马领事馆使用。建筑外观采用了白色灰泥墙搭配深绿色木质装饰。一楼的扇形大窗与窗户上的细节相呼应，加上宽敞的入口和开放式门廊，给这座房屋增添了高雅的格调。房屋配有一个日式厢房，带有传统的日式廊台和窗户，以及一个独立的佣人房。

展馆内部的沉浸式展厅分布于上下两层，分成了“神戸原创系列”、“冒险世界”、“错觉世界”、“脑力训练”、“杰作”和“迷宫”这六个连续的环节。其中，多幅大型的视错觉画被设计成可供游客实际进入的场景，在场景中，游客似乎被巨大的神戸牛排压住、被站在冲浪板上冲浪、被鲨鱼袭击，或被巨型吸血鬼困在倒扣的红酒杯中。每个展区都附有拍摄趣味错觉照片的贴心指南。此外，游客还可以体验过比例、透视、反射与重力造成的房间大小的视错觉。甚至还可以挑战解开几种视错觉谜题。神戸错觉艺术不可思议领事馆由富有幽默感的创作者精心设计与策划，为各个年龄段的游客，无论是亲子游客、情侣或三五好友都提供了有趣的体验。本场馆由 Uroko 集团运营。

<繁体字>

神戸錯覺藝術不思議的領事館

神戸錯覺藝術不思議的領事館是一處以錯覺藝術為主題，充滿魅力且趣味無窮的常設展館。這幢兩層樓的西式住宅建於 20 世紀初，最初是希爾頓先生及其家族的宅邸；二戰後，這裡曾被當作巴拿馬領事館使用。白色灰泥牆搭配深綠色的木質裝飾是其建築外觀的特徵。一樓的扇形大窗與其上相配的窗戶細部裝飾，加上寬敞的入口和開放式的門廊，使此一建築散發出高雅的格調。這幢建築裡有一棟帶有傳統日式廊台和窗戶的日式翼樓，還有另一棟供僕役使用的建築物。

展館内部的沉浸式展覽分布於上下兩層樓中，分為「神戸原創系列」、「冒險世界」、「錯覺世界」、「腦力訓練」、「傑作」和「迷宮」等六個連續的單元。其中，多幅大型的錯視畫被設計成可供遊客親自進入的場景，讓遊客看起來像是快要被一塊巨大的神戸牛排壓扁、站在衝浪板上衝浪、被鯊魚攻擊，或是被一個巨大的吸血鬼困在翻倒的紅酒杯裡。每個展區都附有利用視錯覺拍出有趣照片的實用詳解。此外，遊客還可以體驗過比例、透視、反射與重力造成的房間大小的視錯覺，甚至還可以挑戰解開幾種視錯覺的謎題。本場館由富有奇思妙想和幽默感的創作者精心設計與策劃，為各個年齡層的遊客，無論是有小孩的家庭、情侶，還是三五好友，提供有趣的體驗。神戸錯覺藝術不思議的領事館由 Uroko 集團運營。

<日本語版訳>

神戸トリックアート不思議な領事館

神戸トリックアート不思議な領事館は、錯覚の芸術をテーマにした魅力的で面白い常設展示スペースです。この2階建ての洋風住宅は20世紀初頭にヒルトン氏とその家族の邸宅として建てられ、第二次世界大戦後はパナマ領事館として使用されました。外観は白い漆喰の壁に濃い緑色の木製の装飾が特徴です。1階の大きな扇形の窓とそれにマッチした窓の上の細部、さらに広々とした玄関口と開放的なポーチが、この家に高級感のある品格を与えています。この家には伝統的な縁側と窓を持つ和風の翼部が付属しており、別棟の使用人用の建物もあります。

内部では、没入型の展示が両階にわたって広がっており、「神戸オリジナルシリーズ」、「アドベンチャーワールド」、「錯覚の世界」、「脳トレーニング」、「傑作」、「迷路」の6つの連続するセクションに分かれています。いくつかの大きなトロンプ・ルイユ（だまし絵）の情景は、訪問者が実際に中に入れるようにデザインされており、中に入ると巨大な神戸牛に押しつぶされたり、サーフボードに乗ったり、サメに襲われたり、巨大な吸血鬼によってひっくり返されたワイングラスの中に閉じ込められたりしているように見えます。各展示には、面白いトリック写真を撮影するためのアドバイスが添えられています。また、スケールや遠近法、反射、重力などを駆使した部屋サイズの錯視を体験することもできます。さらに、いくつかの興味深い錯視パズルにもチャレンジできます。神戸トリックアート不思議な領事館は、ユーモアのセンスを持ったクリエイターによって見事にデザインされ、キュレーションされており、子ども連れの家族、カップル、友人グループなど、あらゆる年齢の訪問者にとって楽しい体験を提供しています。この施設はうろこグループによって運営されています。

地域番号	057	協議会名	有田川町

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
057-001	あらぎ島/あらぎ島	760	アプリ
057-002	しみず温泉/しみず温泉	400	WEB
057-003	体験交流工房わらし 紀州手漉き和紙 保田紙 /体験交流工房わらし 紀州手漉き和紙 保田紙	875	WEB
057-004	赤玉/わさびずし	405	WEB
057-005	笠松左太夫頌徳碑/笠松左太夫頌徳碑	510	アプリ
057-006	上湯用水路/上湯用水路	395	アプリ
057-007	蔵王権現社/蔵王権現社	415	アプリ
057-008	金毘羅権現社/金毘羅権現社	415	アプリ
057-009	西原観音堂/西原観音堂	425	アプリ
057-010	松葉観音堂/松葉観音堂	445	アプリ
057-011	笠松家住宅/笠松家住宅	375	アプリ
057-012	地域社会における神社・仏寺 /蔵王権現社 金毘羅権現社 西原観音堂 松葉観音堂	415	WEB

【タイトル】 あらぎ島/あらぎ島

【想定媒体】 アプリ

<簡体字>

兰岛水稻梯田

兰岛水稻梯田位于有田川的一处急弯地段，人们在这里的山坡上开凿出五十多块稻田，成为了和歌山县中部山区宝贵的耕地。这里不仅风景优美，更蕴含着深厚的文化意义，因此政府在 2013 年将梯田及其周边地区列入重要文化景观。

评选文化景观的标准是：既能体现一个地区的环境如何影响居民的生活、历史和文化，又能反映出居民的生活、历史和文化如何塑造当地的地貌。根据《文化财产保护法》的规定，入选的文化景观将获得该地区在保护、研究和教育方面的财政支持。

水，生命之源

当地的梯田历史可追溯至 1655 年，当时大米不仅是主食，还是一种纳税货币。一位颇有远见的村长笠松左太夫（1598-1673）意识到水稻生产与繁荣之间的关系，于是积极开垦更多稻田，为他管辖的地区创造更多土地。

不仅如此，他还自掏腰包修建了一条全长 3.2 公里的上汤灌溉渠。修建这样一条灌溉渠不仅需要丰富的技术和知识，还需要动用大量人力，但这一切都是值得的，因为它可以为兰岛和其他低洼地区的水稻种植提供宝贵的淡水资源。这条水渠以粘土作为防渗层，因此最初需要经常对其进行监测和维护。1953 年经历一场洪水之后，人们用混凝土对其进行加固，因此得以使用至今。

灌溉渠的淡水不仅惠宜了当地的农业，还支持了手工造纸（和纸）业的发展，创造了更多财富。兰岛的农民会在稻田之间的堤坝上种植构树，构树的纤维可以用于制作一种名为“保田纸”的纸张，其质地厚实耐用，过去主要用于制作雨伞和扇子，现在也常见于卡片、信封和其他各种纸质产品。

和谐自然

兰岛水稻梯田是生物多样性的乐园，从简单的水草到猛禽，呈现出一片生机勃勃的景象。这里尤其是附近山村曾经很常见的喜水动植物的重要栖息地，比如和歌山县

濒临灭绝的日本火腹蝶蛭。由于人口减少和农村结构调整，越来越多的梯田被废弃，这里也吸引了越来越多的动物栖息繁衍。

<繁体字>

蘭島水稻梯田

在有田川河道的一處彎道，河岸坡地上排列著五十幾片稻田。這些便是蘭島水稻梯田，在和歌山縣中部的群山中形成珍貴的耕地。有鑑於此地的文化意義及自然美景，政府在 2013 年將蘭島水稻梯田及週邊村落指定為「重要文化景觀」。

一個特定地區的環境如何塑造居民的生計、歷史及文化，而居民又塑造該地區的風情印記，這些寶貴的範例在在造就出文化景觀。由於被指定為「重要文化風景」，該區域於是受惠於《文化財保護法》，獲得經費支援可進行環境保育、研究及教育等企劃。

滋養蒼生的水源

梯田歷史回溯到 1655 年，稻米不僅是主食，也能作為貨幣形式繳稅。一位有前瞻思維的村長笠松左太夫（1598－1673）看見水稻耕作與聚落繁榮之間息息相關，於是開墾更多片稻田，活化當地聚落的風貌。

笠松村長費盡心思，又自費出資建造一條 3.2 公里長的上湯大圳。建造這條大圳技術難度高，需要密集的勞動力，但是它為蘭島和其他低窪區域的水稻耕作提供了淡水的灌溉水源。當初的大圳是以黏土為基底，因此需要經常巡視與維護。1953 年歷經了一場洪水，之後，這條大圳採用混凝土補強。時至今日，這條大圳依舊在使用。

大圳的淡水也造福手工紙（和紙）業的發展，進而促進當地繁榮興盛。此區特有的紙張稱為「保田紙」，既厚實又耐用，是由構樹的纖維所製成。蘭島的農民開始在稻田之間的田埂種植構樹。保田紙曾經主要用於製作油紙傘和紙扇，但現在也用於製作卡片、信封等多種產品。

與大自然和諧共處

蘭島水稻梯田為曾經在山區村落裡常見的嗜水動植物提供重要棲息地，比如在和歌山縣列為瀕危物種的日本紅腹蝶蛭。有田川的稻田造就盎然的生機，從陸地的水生植物到天空的猛禽，不一而足。由於人口減少以及農村結構轉變，導致梯田上的稻田荒蕪，珍貴生態資源的重要性更加不容小覷。

<日本語仮訳>

あらぎ島

有田川が大きくカーブしたところに、50枚あまりの田んぼが切り立った土手にある。これが、和歌山県中部の山間地で農民たちに貴重な耕地を提供しているあらぎ島の棚田だ。その文化的意義と自然の美しさが認められ、政府は2013年、あらぎ島の棚田とその周辺地域を重要文化的景観に指定した。

文化的景観とは、人と自然が協力して発展してきた地域のことで、特定の環境の中で人々の生活や生業がどのように発展してきたかを示す貴重な例である。指定されると文化財保護法に基づく保護と、保存、研究、教育のための財政的支援を受けられる。

生命の水を育む源

この地は、米が主食であっただけでなく、税金を納めるための通貨でもあった1655年に作られた。笠松佐太夫（1598-1673）という先見の明のある庄屋が、米の生産が村の繁栄につながると考え、地域を豊かにするために水田を開発した。

開発努力のひとつとして、佐太夫は私財を投じて、全長3.2キロの用水路を建設した。この用水路の建設は技術的に難しく、労力もかかったが、あらぎ島やその他の低地での米作のための新鮮な水が得られるようになった。当初の用水路は粘土で作られていたため、頻繁に管理と補強が必要だった。1953年の大洪水の後にコンクリートで補強され、用水路は現在も使用されている。

運河から供給される新鮮な水のおかげで、手漉き和紙産業も発展し、この地域はさらに豊かになった。保田紙として知られる、厚くて丈夫な紙は、楮（こうぞ）の繊維から作られる。あらぎ島では、農家が田んぼと田んぼの間の土手で楮を栽培するようになった。保田紙は主に傘や扇子の材料として使われていたが、現在ではカードや封筒などさまざまな製品にも使われている。

自然との調和

あらぎ島の棚田は、かつて山村では一般的だった水辺の植物や動物にとって重要な生息地となっている。和歌山では絶滅危惧種に指定されているアカハライモリなどである。単なる水草から、食物連鎖を通じて猛禽類に至るまで、有田川町の田んぼは生命に満ち溢れ、地域の人口をはるかに上回る生命を維持している。過疎化や農村再編により山間部の水田が減少する中、その重要性はますます高まっている。

【タイトル】 しみず温泉/しみず温泉

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

清水温泉

清水温泉中含有碳酸氢钠，因此水质呈碱性，具有去除死皮、保湿、清洁毛孔、让皮肤更光滑的护肤功效。温泉为周边社区的发展提供了重要动力。

虽然清水的居民早在几十年前就知道泉水的存在，但 20 世纪 80 年代才修建了温泉洗浴设施。由于当时清水人口出现严重流失现象，已从 1960 年 11377 人的峰值减少到几千人，为了创造就业机会并吸引游客，当地设立了清水温泉公共基金，用于修建洗浴和住宿设施。

2024 年，在原清水温泉的隔壁开设了全新的洗浴设施，配备了各种现代设施，比如水雾桑拿和柏木休息厅。温泉设施主要由当地专业人士设计和建造，全部使用来自有田川的优质木材，彰显支持社区发展的初衷。

使用纯净泉水的冷水浴是清水温泉全新推出的特色项目。大多数温泉的水源都有着 25 摄氏度甚至更高的温度，需加入冷水才能输送到水池中，但这样做会稀释有益矿物质的含量。清水温泉的天然泉水温度在 17 至 23 摄氏度之间，是未经稀释且富含矿物质的泉水。

<繁体字>

清水湯

清水湯是一種碳酸氫鈉泉水，鹼性水的成份據信可以去除死皮細胞，清潔毛孔，讓肌膚光滑透亮。清水湯的歷史與週邊聚落的發展密切相關。

儘管清水居民好幾十年前就知道這些溫泉的存在，但直到 1980 年代才建造澡堂設施，享受溫泉的滋潤。當時清水的人口已從 1960 年高峰期的 11377 人減少到只剩數千人。為了創造就業機會並吸引遊客，因此設立了公共財團，並在清水湯週邊建造了澡堂及

旅館等施設。

2024 年，在原本的清水湯旁邊多了一間新開張的澡堂設施。新設施配備了現代化設施，比如霧桑拿，還有檜木打造的休息室。為了維繫以溫泉資源支持當地聚落發展的初衷，新設施的大部分都是由當地職人設計及建造，整棟建物都使用了有田川の優質木材。

清水湯的另一項新特色便是使用純淨泉水的冷湯（水風呂）。大多數溫泉的水源溫度都在攝氏 25 度以上，所以需要加入冷水作為水風呂。這麼一來的缺點便是多多益善的礦物質成份被稀釋了。不過清水的天然水溫介於 17 度到 23 度，而此處的水風呂反而是未經稀釋、礦物質豐富的泉水。

<日本語仮訳>

しみず温泉

しみず温泉は炭酸水素ナトリウム泉で、アルカリ性の泉質は古くなった角質を取り除き、毛穴をきれいにして肌をなめらかにするとされている。その歴史は、周辺地域の発展と密接に結びついている。

清水の住民は何十年も前からこの泉質の存在を知っていたが、入浴施設が作られたのは 1980 年代になってからである。当時、清水の人口は 1960 年の 11,377 人をピークに数千人にまで減少していた。雇用を創出し、観光客を呼び込むために、しみず温泉に公的財団が設立され、入浴施設と宿泊施設が建設された。

2024 年には、元のしみず温泉に隣接して新しい入浴施設がオープンした。ミストサウナや檜の休憩室など、近代的な設備が整っている。地域を支えるという温泉の本来の目的に沿って、新施設の設計・施工の大部分は地元の専門家によって行われ、館内には有田川産の良質な木材が建物全体に使用されている。

しみず温泉のもうひとつの目新しい特徴は、純粋な源泉を使った水風呂だ。ほとんどの温泉は源泉の温度が 25 度以上あり、水風呂として使うには冷水を加える必要がある。そのため、せっかくのミネラル成分が薄まってしまうという欠点がある。清水の泉温は 17 度から 23 度であるため、水風呂にはミネラルを豊富に含んだ原水が満たされている。

【タイトル】 体験交流工房わらし 紀州手漉き和紙 保田紙

/体験交流工房わらし 紀州手漉き和紙 保田紙

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

保田紙

保田紙是一种手工制作的日本纸（和纸），具有经久耐用、色泽纯白的特点，来自有田川历史悠久的清水地区，已有约 360 年之久。保田紙也被称为“纪州手工纸”，因为现在的和歌山县原为纪州。

保田紙的历史

大米、盐和纸是日本近代早期最珍贵的三种商品。德川赖信（1602-1671）于 1619 年成为纪州大名主后，了解到该领地只产米和盐，却不产纸。为解决这个问题，德川赖信命令村长笠松左太夫（1598-1673）在有田川建立造纸作坊。笠松村长曾试图到其他领地学习造纸术，但当地的工匠为保护这个商业秘密，纷纷将他拒之门外。于是他想出了一个巧妙的计划：派三名英俊的年轻人到吉野（今奈良县）的造纸区定居，逐渐融入当地人的生活，最终迎娶当地的女造纸工匠为妻，随后这几名男子带着新娘回到有田川，利用她们的技能在有田川发展造纸业。当地造纸业最兴盛的时候，曾有 400 户人家生产雨伞、扇子、文件和其他常用物品所需的纸张。

保田紙制作工艺

保田紙的制作工艺漫长且复杂，需要精湛的技艺和丰富的经验。即使在今天，大部分工作仍采用手工方式。构树的树皮是保田紙的主要原料，每年一月将树皮从树干剥下，洗净后在寒风中风干，然后蒸煮、剔除杂质，再浸入水中拍打，软化和分离纤维。接下来将纤维与纸糊（一种提取自黄蜀葵根的粘性物质，用作粘合剂）一起浸泡。粘合剂的用量根据湿度和温度决定，具体比例完全取决于经验和直觉。下一个步骤是将带筛网的木框浸入浆液中，不断摇动，在上面形成一层均匀的纸浆，再压去纸浆中多余的水分，刷在木制烘干板上。这个步骤必须要小心，如果刷得太用力，纸张会撕裂；如果刷得太轻，纸张会粘不住木板，在阳光下晒干后会收缩。

现在的保田紙

20 世纪初，纸张大规模生产，加上西方帆布雨伞的强大竞争力，导致日本纸张市场急剧萎缩，保田紙作坊几乎绝迹，1953 年一场毁灭性的洪水更是摧毁了仅存的若干造纸

作坊。1979 年，仍然在堅持的造紙工匠決定聯合起來，成立組織傳承技藝，激發人們對這一工藝的興趣。他們的願景促成了“和紙實踐活動中心”的誕生，現如今它已經是一個成熟的造紙作坊，遊客可以在這裡自己動手製作和紙。

〈繁體字〉

保田紙

保田紙是一種日本手工紙（和紙），特徵是耐用、純白。有田川町清水地區生產紙張的歷史悠久，已有 360 年之久。保田紙有時候稱為「紀州手工紙」，這個別稱源自昔日的紀州藩（現在是和歌山縣）。

保田紙的歷史

在近代日本，最有價值的三種商品是稻米、鹽、紙張。德川賴宣（1602－1671）在 1619 年成為紀州大名，當時他發現紀州藩只生產稻米和鹽，卻沒有生產紙張。為了有所改變，德川賴宣命令村長「笠松左太夫（1598－1673）」在有田川建造一座造紙廠。笠松村長曾經前往其他藩地試圖學習造紙技藝，但卻被拒於門外，因為其他藩地的工匠都想要保護自己的商業機密。笠松村長不氣餒，想出了一個絕佳妙計：他派了三位英俊男子搬到吉野（現在的奈良縣）的造紙大鎮。這三位男子逐漸被吉野的居民接受，最後與當地的女子結婚，而這些女子全部都是造紙工匠。這三位男子之後帶著新婚妻子回到有田川，而這些婦女的知識進而幫助有田川建立自己的造紙業。在造紙的興盛時期，有多達 400 戶人家從事生產紙張，用於製作油紙傘、紙扇、文書用紙等其他商品。

保田紙的製程

保田紙的製程是一道耗時耗力的流程，需要熟練的技術和豐富的經驗。即使在今天，大部分的工作仍然是以手工進行。紙張的主要原料是構樹的樹皮，每年一月收成。工序依序是剝下樹皮後洗淨，擱置在冬天的北風中固化，之後熬煮至沸點，漂洗，接著浸泡後再打成漿狀，將纖維分散。之後，再將這些纖維和紙糊（一種從黃蜀葵植物根部提取的黏性物質）一起放入水中。根據濕度和溫度的不同，使用的膠料量也不同；不過，比例完全要從經驗和感覺判斷。將抄網浸到紙漿中，抖動，直到漿料均勻分佈。接著壓榨成形的紙頁，去除多餘的水分，並小心翼翼地刷到木板上風乾。如果刷得太用力，就會撕裂紙頁；如果刷得不夠力，又會導致紙頁無法黏附在木板上，日曬時就會收縮。

今日的保田紙

在 1900 年代，由於量產紙張的競爭，加上西式帆布雨傘的普及，日本紙的市場急劇式微，保田紙的生產幾乎要失傳。1953 年一場洪災摧毀了多家剩餘的造紙廠。1979 年，仍在從業的造紙師為了傳承技藝並激發大眾對這門工藝的興趣，因此集結起來成立協會。造紙師的願景促成了「體驗交流工作坊 Warashi」的誕生，現在它已經是一間成

熟造紙工芸、遊覧客は在此處體驗自己製作和紙。

<日本語訳>

保田紙

保田紙は、白くて破れにくいのが特徴の手漉き和紙の一種である。約 360 年前から歴史ある有田川の清水地区で生産されてきた。旧紀州藩（現在の和歌山県）にちなんで紀州手漉き和紙と呼ばれることもある。

保田紙の歴史

近世の日本では、米、塩、紙の 3 つが最も重宝されていた。1619 年に徳川頼宣（1602-1671）が紀州藩主になったとき、彼の領地には米と塩はあったが、紙が生産されていないことを知った。これを改善するため、頼宣は庄屋であった笠松佐太夫（1598-1673）に命じて有田川に紙漉き場を作らせた。佐太夫は他藩の紙漉き場を訪ねて技術を学ぼうとしたが、職人たちが自らの企業秘密を守ろうとしたため、門前払いを食らった。そこで佐太夫は一計を案じ、3 人の美男子を現在の奈良にある吉野の紙漉き地区に移住させた。彼らは徐々に地域に受け入れられ、やがて地元の紙漉き職人の女性と結婚した。そして男たちは、自分たちの製紙業を確立するための知識を携えて、花嫁とともに有田川町に戻った。最盛期には、傘や扇子、書類などの紙を作る家が 400 軒もあったという。

保田紙の製法

保田紙の製造は、熟練した技術と経験が必要とする、時間と手間のかかる工程である。現在でも、ほとんどの作業は手作業で行われている。主な原料は、1 月に収穫される楮（こうぞ）の樹皮である。樹皮は剥ぎ取られ、洗浄され、冬の風にさらされ、煮沸され、きれいに取り除かれた後、水で叩かれて柔らかくなり、繊維が分離される。その後、繊維をネリ（トロロアオイの根から抽出した粘性のある物質）と一緒に水に入れられる。湿度や気温に合わせて異なる量の糊が使用されるが、その比率は完全に経験と感覚によって決定される。木枠に張った和紙をスラリーの中にくぐらせ、パルプが均一に広がるまで揺する。その後、余分な水分を除去するためにプレスし、丹念に木製の乾燥板にブラシで刷り込む。ブラッシングが強すぎると紙が破れてしまい、ブラシが不十分だと紙が板にしっかりと接着せず、天日干したときに縮んでしまう。

保田紙の現在

保田紙は、大量生産紙との競争、洋傘の流行の普及により、和紙の市場は激減し、保田紙の生産はほぼ消滅した。1953 年の大洪水により、残っていた紙漉き場の多くが壊滅的な被害を受けた。1979 年、残された紙漉き職人たちは、その技術を伝承し、和紙工芸への関心を促進するための機関を設立した。その構想は、「体験交流工房わらし」の運営に繋がり、現在では、一般客が和紙漉きを体験できる本格的な紙工房となっている。

【タイトル】 赤玉/わさびずし

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

芥末寿司

芥末是一种常见的调味品，人们喜欢将这种绿色酱料与寿司一起食用。芥末寿司是有田川的特色食物，芥末就是其风味的重要调料。以醋调味的米饭放上鱼或蔬菜，再用盐腌制的芥末叶包裹，每一口寿司都带有淡淡的辣味。也可以只淋上磨碎的芥末根和食用鲜花，味道会更加浓郁。

芥末寿司是一种“快寿司”，是有田川清水地区的传统食物。制作快寿司时首先要将鱼肉放入醋米饭中，外面裹上厚厚的叶子（如日本香蕉叶或粽叶），不仅便于携带，叶子的天然抗菌性也可防止鱼肉变质，因此快寿司逐渐成为插秧日等各种节日以及社交聚会中最常见、最受欢迎的食品。

芥末寿司是由当地一位厨师发明，他的初衷是烹饪出能体现有田川农业特色的菜肴。他从有田川的野生秋葵（芥末的原料）中汲取灵感，在醋米饭中加入和歌山县的各种特产，比如马津间芥末、甜鱼、炖山菜和日本山椒，并用可食用的芥末叶包裹。如今这种寿司经过不断改良后，已经成为有田川美食的象征，也是许多餐馆中的招牌菜色。

<繁体字>

山葵壽司

許多人都熟悉山葵，壽司搭配的一小團綠色醬料。山葵壽司是有田川當地獨有的壽司，而山葵是主要配料。將魚肉或蔬菜放在醋飯上，用鹽漬山葵葉包覆，每一口都會伴隨歇微的辣味。另一種方式是只撒上磨碎的山葵根和山葵花，風味會更加濃郁。

山葵壽司是一種「早壽司」（早鮓），是有田川町清水地區的傳統食物。早鮓的製備方法是將魚肉放在醋飯上，並用厚實的葉子包覆，比如芭蕉葉或暖竹葉。包覆起來讓壽司便於攜帶，而且葉子具有天然的抗菌作用，讓魚肉保鮮，防止變質。因此，早

鮭成為插秧農忙日、祭典和其他社交場合中常見的食物。

山葵壽司是一位當地廚師所發想的。當初，他想製作一道代表有田川町農業的特色菜餚。有田川町生長的野生山葵啟發了他的靈感，他在醋飯上放了多種和歌山縣的農產食材，比如真妻山葵、香魚、燉野菜、日本山椒，再用可以食用的山葵葉包覆。如今有許多餐廳都有供應這道具有現代風味的菜餚，它已成為有田川町的料理象徵。

＜日本語仮訳＞

わさびずし

わさびは、寿司と一緒に供される少量の緑色のペーストとして、多くの人に馴染みがある。有田川独自の寿司スタイルである「わさび寿司」では、わさびが主役だ。酢飯の上に魚や野菜をのせ、塩漬けたわさびの葉で包むことで、一口ごとにまろやかな辛みを感じることができる。わさびの根と花を混ぜただけのものをトッピングすることもあり、より風味が強くなる。

わさび寿司は、清水地域で伝統的に作られてきた「はやずし」がもとになっている。酢飯の上に魚をのせ、丈夫な葉（例えば、芭蕉の葉や、竹のようなアセの葉）で包む。包むことで持ち運びが容易になり、葉の天然の抗菌作用で魚の腐敗を防ぐことができる。その結果、田植えや祭り、その他の社交の場に持っていく人気商品となった。

わさびずしは、有田川町の農業を代表する名物料理を作ろうと、地元の料理人が考案した。有田川町に自生する山葵にインスピレーションを得て、酢飯に、真妻わさび、鮎、山菜煮、山椒など和歌山の食材を寿司ネタとして使い、わさびの葉で包んだ。今では多くのレストラン、現代風にアレンジされたこの料理が提供され、有田川町の食のシンボルとなっている。

【タイトル】 笠松左太夫頌徳碑/笠松左太夫頌徳碑

【想定媒体】 アプリ

<簡体字>

笠松左太夫纪念碑

这座纪念碑是为了纪念村长笠松左太夫（1598-1673），他曾凭借远见卓识，为当地的水稻种植和造纸业做出了重要贡献。

1619 年，幕府将军德川家康的儿子赖信（1602-1671）受命成为纪州（今和歌山县）的领主。在德川赖信的领导下，笠松左太夫被任命为有田川清水地区的第一任村长。水稻是这片古老地区的主食作物，但该地区多山的地形限制了水稻的种植。笠松村长自掏腰包规划并修建了一条长约 3 公里的上汤灌溉渠，此举带动了当地人开发新稻田的力度，包括兰岛梯田。

德川赖信还命令笠松村长在纪州成立和纸（手工日本纸张）作坊，但他完全不了解这门手艺。于是他前往吉野（现奈良县的著名造纸区）学习造纸术，但当地工匠为了保密，拒绝分享造纸方法。但他想出了一个绝妙的主意：派三名英俊的年轻人到吉野，让他们与当地的女造纸匠结婚。最终，这些男子带着新娘回到清水（当时称山保田），并调整她们的造纸技术为当地所用。不仅如此，清水的工匠还创造出一种新型和纸“保田纸”，其工艺一直沿用至今。

笠松村长的贡献让清水及周边社区的子孙后代受益匪浅。1927 年，为铭记这位英雄，有田川的民众自筹资金修建纪念碑，并从附近山谷取材，使用将近 1 吨重的石材建成。

<繁体字>

笠松左太夫頌徳碑

這座紀念碑是為了紀念笠松左太夫（1598－1673），他是一位有前瞻思維的村長，他為有田川町的稻米耕作及造紙業貢獻良多。

1619 年、徳川家康將軍任命兒子徳川頼宣（1602－1671）為紀州藩（現在の和歌山縣）の藩主。在徳川頼宣の領導下、笠松左太夫成為有田川町舊清水地區的第一任村長。稻米是當地的重要穀物，但在當地山區適於種植的土地有限。笠松村長自己出資規劃建造約有 3 公里長的上湯大圳。此舉促進了許多新稻田的開墾，包括蘭島水稻梯田。

徳川頼宣又命令笠松村長在紀州藩設立和紙（日本手工紙）工場，但他對這門工藝一無所知。笠松村長前往造紙大鎮吉野（現在の奈良縣）學習這項技術，但當地工匠拒絕向他分享造紙工法。笠松村長想出了一個絕佳的解決方案。他派了三位英俊男子到吉野，而之後他們便與吉野當地的造紙師結婚。三位男子帶著擁有新婚妻子回到清水（當時稱為山保田），女子之後根據清水的環境條件調整造紙技術。在清水當地的造紙師後來創造出新型和紙，稱為「保田紙」。這門工藝至今仍在使用。

笠松村長的貢獻至今仍持續使清水及其週邊聚落受益。1927 年，有田川居民決定用這座紀念碑來紀念這位英雄。居民籌措資金建造紀念碑，並費力地從附近的山谷運來一塊一噸重的巨石。

<日本語仮訳>

笠松左太夫頌徳碑

この碑は、有田川町の米作りや紙漉きの発展に貢献した先駆者である庄屋、笠松佐太夫（1598-1673）を顕彰するものである。

1619 年、將軍・徳川家康は紀州藩（現在の和歌山県）の藩主に息子の頼宣を任命した。頼宣のもとで、佐太夫は現在の有田川町にある歴史的な清水地域の初代庄屋となった。この地域の山間部では、重要な主食である米を栽培できる平地が限られていた。佐太夫は私財を投じて全長約 3 キロの上湯用水路を計画・建設した。これによりあらぎ島の棚田など多くの新田を開発した。

佐太夫は、頼宣から紀州藩に和紙工房を設けるようも命じられたが、和紙作りの知識を持っていなかった。佐太夫は、技術を習得するために吉野（現在の奈良県）に赴いたが、自分たちの貴重な技術を守ろうとする職人たちに追い返された。佐太夫は巧妙な解決策を考えた。3 人の美男子を吉野に送り、地元の紙漉き職人と結婚させたのだ。3 人の青年たちは花嫁を連れて清水（当時は山保田と呼ばれていた）に戻り、そこで技術を地域の環境に適応させ、保田紙と呼ばれる新しい種類の和紙を作り始めた。この技は今日でも行われている。

佐太夫の貢献は、清水とその周辺地域に今もなお恩恵を与え続けている。1927 年、有田川町民はこの記念碑をもって英雄の栄誉を称えることを決め、建設資金を調達し、近くの谷から 1 トンの石を苦勞して運んだのである。

【タイトル】 上湯用水路/上湯用水路

【想定媒体】 アプリ

<簡体字>

上汤灌溉渠

上汤灌溉渠建于 16 世纪中期，用于向现在的有田川供水。灌溉渠全场 3.2 公里，它的落成不仅让当地人开发出更多新稻田（如兰岛梯田），还促进了造纸业的发展。

该渠由村长笠松左太夫（1598-1673）出资修建，他希望此举能提高当地的水稻产量，解决民众的贫困问题。但当时人们没有现代的测量工具和挖掘机械，想要穿山开渠无疑是一项艰巨的任务。据现存记载，灌溉渠于 1655 年竣工。

最初是一条粘土为壁的河道，必须经常监测其薄弱环节，每年春季都要进行加固。在将近 300 年的岁月中，当地人发挥集体的力量，共同保护这一重要的基础设施。1953 年经历了一场特大洪水之后，人们决定用更耐用的混凝土加固河道壁。

上汤灌溉渠至今仍沿着最初的路线发挥其功能，为大约 13.5 公顷的农田提供灌溉用水。由于它在有田川历史和文化中占据的重要地位，在 2013 年被列入三田/清水重要文化景观，兰岛水稻梯田重要文化景观也同样入选。

<繁体字>

上湯大圳

上湯大圳建於 1600 年代中期，為現在的有田川町提供用水。這條 3.2 公里長的大圳促進開墾新稻田，比如蘭島水稻梯田，還有當地造紙業的發展。

這項水利企劃是由村長笠松左太夫（1598－1673）資助，他希望透過增加當地的稻米產量來減輕貧困。當時沒有現代化的測量工具及挖掘機械，因此開挖山地無非需要大量勞動力。根據現存的記載，這條大圳於 1655 年完工。

當初，這條大圳的河床以土壤為基底，壁面則是黏土。每年春天就必須經常巡視並補強薄弱之處。當地居民一起管理這項重要基礎設施，長達 300 年之久。1953 年一場洪災過後，黏土改成更有耐用的混凝土。

上湯大圳至今仍在使用的，為沿著原有河道為約有 13.5 公頃的農地提供灌溉用水。有鑑於這條大圳在有田川町的歷史和文化中佔有極其重要的地位，2013 年這條大圳納入「重要文化景觀—蘭島水稻梯田」以及「三田／清水農山村景觀」。

＜日本語仮訳＞

上湯用水路

上湯用水路は、現在の有田川町に水を供給するために 1600 年半ばに建設された。全長 3.2 キロの用水路は、風光明媚なあらぎ島の棚田のような新しい水田や製紙業が発展を可能にした。

この事業は、笠松佐太夫（1598-1673）という先見の明のある庄屋資金提供したもので、彼は地元の米の収穫量を増やすことで貧困を緩和しようとした。近代的な測量器具も掘削機械もない山間部を切り開かなければならなかったため、労力は相当なものだった。現存する記録によると、水路は 1655 年に完成した。

元々、この水路は土で作られたもので毎年春になると、頻繁に弱い部分がないかを点検し、補強しなければならなかった。地元住民は約 300 年間、この重要なインフラを集団で管理した。1953 年の壊滅的な洪水の後、土はより弾力性のあるコンクリートに取り替えられた。

上湯用水路は現在も使用されており、元のコースに沿って約 13.5 ヘクタールの農地に灌溉用水を供給している。この用水路は、有田川町の歴史と文化の中で重要な役割を果たしていることが評価され、2013 年に選定された重要文化的景観「蘭島及び三田・清水の農山村景観」に含まれている。

【タイトル】 藏王権現社/藏王権現社

【想定媒体】 アプリ

<簡体字>

藏王权现神社

藏王权现神社是有田川地区最古老的神社之一，因供奉藏王权现而得名。

藏王权现是平安时代（794-1185）广受日本各地崇拜的修验道主神，是佛教与日本山岳神明相融合的神灵。据说修验道的创始人圆寂行者（634-701）在吉野山修行期间，曾见过这尊神灵。在佛教的万神殿中，藏王权现因其独特日本渊源而成为一个独特的存在，有田川当地人亲切地称其为“藏王”。

有田川藏王权现神社的最早记录，可追溯到17世纪晚期，但据说其实际历史要更为悠久。目前的建筑建于1826年，但铜制屋顶则是近代翻修。尽管长期经受山顶风雨的侵蚀，但神社的木质浮雕上仍保留着原漆的痕迹。

很多人会到藏王权现神社祈求寻回失物。但当地人提醒游客，如果后来找到了这件失物，务必返回神社致谢，否则会带来厄运。

神社每年会在四月初举办一次重要的祭祀活动，参拜者徒步登山，随身带着双层镜饼作为贡品供奉给藏王，然后人们会站在高台上，将小块镜饼抛向热切的人群，据说接到镜饼会得到好运。

<繁体字>

藏王權現社

藏王權現社是有田川地區最古老的神社之一。因為供奉藏王權現，神社名稱便由此而來。

藏王權現是修驗道的主神，修驗道是平安時代（794－1185）在日本各地分佈的教派，融合了佛教和山岳崇拜。據說，修驗道創始人役行者（634－701）在吉野山修行時，藏王權現在他面前現身。藏王權現是佛教罕見的神靈，具有日本獨特淵源。

有田川町的居民則親切地稱祂為「藏先生」。

儘管有田川町藏王權現的最早記錄可追溯到 1700 年代晚期，但是人們認為祂的歷史可能更為悠久。目前的建築結構追溯至 1826 年，但銅材屋頂則是近代翻修。儘管神社在山頂上長年風吹雨淋，但木作雕塑仍保留著部分原有的漆面。

許多人都會前往藏王權現社祈求遺失的物品可以失而復得。當地居民叮囑，如果遺失的物品後來找到了，卻沒有回到神社致謝，就會帶來厄運。

神社的主要祭典在四月初舉行。信徒步行上山，攜帶大份的雙層鏡餅年糕供奉給神社。因為年糕象徵著好運，之後就會從平台上將較小的年糕拋給熱衷求好運的民眾。

<日本語仮訳>

藏王権現社

藏王権現社はこの有田川の地域で最も古い神社のひとつである。その名の由来とされる藏王権現を祀っている。

藏王権現は、平安時代（794-1185）に日本中に広まった仏教と山岳信仰の融合である修験道の本尊である。修験道の開祖である役行者（えんのぎょうじゃ）が吉野山で修行中に感得したと伝えられている。このように、藏王権現は仏教の神としては珍しく、日本独自の起源を持つ神である。有田川町では親しみを込めて「ぞうさん」と呼ばれている。

有田川町の藏王権現社に関する最古の記録は 1700 年後半だが、もっと古いと考えられている。現在の建物は 1826 年に建てられたものだが、銅屋根に葺き替えられたのはもっと最近のことだ。山の頂上で長い間風雨にさらされてきたにもかかわらず、神社の木工細工の装飾はまだオリジナルの塗装を残している。

藏王権現社には、失せ物の返還を祈願するために多くの人々が訪れる。地元の人々は、落とし物が見つかった場合、神社に戻ってお礼を言わないと縁起が悪いと忠告している。

主な祭りは 4 月初旬に行われる。参拝者は神社に奉納する大きな鏡餅を持って徒歩で山を登る。その後、縁起物として多くの参拝者に壇上から餅が投げられる。

【タイトル】 金毘羅権現社/金毘羅権現社

【想定媒体】 アプリ

<簡体字>

金毘罗权现神社

金毘罗权现神社历史悠久，不仅见证了有田川木材业的发展，对于在海军服役的当地人而言也是一个重要地点。该神社 1823 年建成，因供奉金毘罗权现得名。

平安时代（794-1185），佛教和修验道（佛教与山岳神明的融合）在日本广为流传。金毘罗权现是藏珠山（濑户内海指引船只的重要地标）保护神，也是水神和航海之神。

不仅如此，有田川木材业的伐木工人也信奉金毘罗权现。20 世纪 40 年代以前，当地运输木材的主要方式，就是沿着河流引导木材漂到下游。这是一项危险的工作，伐木工人在这个过程中可能会溺水或被木头压死。因此每次伐木前，他们都会去金毘罗权现神社祈求平安。

有田川当地人入伍海军前，也会到神社祈祷，他们的亲人会在神社的小道来回走 100 次，向金毘罗权现祈祷 100 次，祈求水手平安归来。

金毘罗权现神社的重要祭祀日为阴历十月初十，通常为公历的 11 月。在最接近阴历十月初十的周末，人们会举行抛年糕活动，向挤成一团的人群扔小块年糕，象征接到好运。

<繁体字>

金毘羅權現神社

金毘羅權現神社是一座歷史悠久的神社，與有田川町的木材產業以及當地曾在日本海軍服役的居民有著深厚的聯繫。這間神社在 1823 年設立。此處供奉著金毘羅權現。

佛教和修驗道都有參拜金毘羅權現，修驗道是平安時代（794－1185）在日本各地分佈的教派，融合了佛教和山岳崇拜。金毘羅權現是水與航海之神，也是象頭山的守護神，象頭山是瀨戶內海的重要地標。

金毘羅權現一直受到有田川木材產業伐木工人的崇敬。1940 年代以前，木材流送是向下游運輸木頭的標準做法。每一趟流送都是一場危險的工作，因為伐木工人可能會溺水或蜂擁而至的木頭擠壓而送命。以前，伐木工人在每一趟流送之前都會到金毘羅權現神社參拜祈求安全。

有田川的服役海軍在部署之前也會到這座神社祈願。在出海的前一晚，軍人的親友會在神社參拜道來回 100 趟，向金毘羅權現祈願 100 次，祈求軍人平安歸來。

金毘羅權現神社的主要祭典日期是舊曆十月十日，現在一般是在十一月。在祭典前的週末，會舉辦拋年糕活動，象徵好運的小年糕會拋向民眾。

<日本語仮訳>

金毘羅權現社

金毘羅權現は、有田川町の木材産業と地元住民の日本海軍への奉仕とゆかりの深い由緒ある神社である。1823 年にこの地に創建された。金刀比羅權現を祀っている。

金毘羅權現は、仏教と修驗道（平安時代（794～1185 年）に日本各地に広まった仏教と山岳信仰の融合）の両方から崇敬されている神である。水と航海の神である金毘羅權現は、瀨戸内海を航行する船乗りにとって重要なランドマークである象頭山の守護神である。

金刀比羅宮は、有田川の林業で働く人々からも崇敬を集めてきた。1940 年代以前は、木材流送が一般的だった。危険を伴う作業で、作業員は溺れたり、木材が詰まって押しつぶされて命を落としたりすることもあった。樵（きこり）たちは、丸太運びの前にこの神社で安全を祈願していた。

有田川の船員たちも出征前にこの神社で祈りを捧げた。出征の前夜には、彼らの親族や恋人が神社の参道を 100 回歩き、金毘羅權現に 100 回祈りを捧げ、彼らの無事を祈る習慣があった。

金毘羅權現社での主な祭礼日は、旧暦の 10 月 10 日で、現在は一般的に 11 月にあたる。その日に近い週末には縁起物の餅まきが行われ、餅を投げ合って賑わう。

【タイトル】 西原観音堂/西原観音堂

【想定媒体】 アプリ

<簡体字>

西原观音堂

西原观音堂是有田川一座历史悠久的佛教寺庙。

里面供奉着大慈大悲的观音菩萨雕像，呈千臂造型，代表向所有需要帮助的人伸出援手。这座观音像仅在节日期间对外展示。建筑内的一根支撑梁上雕刻着观音乘船的图案，这是非常罕见的作品。

根据当地的传说，这尊观音像的起源颇为神奇：有田川的西原地区曾有一棵很高的杉树，一天当地人发现树顶有亮光闪烁。进一步观察发现，亮光来自一尊观音像。于是人们将观音像取下，供奉在西原极乐寺。尽管后来寺庙的正殿被烧毁，但这尊雕像却在大火中幸免于难。于是当地人在 1723 年修建了这座西原观音堂，用来供奉这尊雕像。

寺庙后面还保留着多件宗教石雕，包括佛像和五轮塔。这些文物原本属于其他寺庙，但由于那些寺庙的原址被翻新并重新规划为现代用途，因此被移至西原观音堂加以保存。其中最古老的石碑上，刻有 1432 年的碑文。

西原观音堂的主要节日为阴历三月初三，通常为公历的四月。这一天会举行抛年糕活动，人们会争先恐后接住从高台上扔下的小块年糕，以求好运。

<繁体字>

西原觀音堂

西原觀音堂是有田川町一座歷史悠久的佛教寺廟。

這間寺廟的供奉觀世音菩薩。主要形象是千手觀音像，象徵向所有需要幫助的人伸出援手。觀音像會在祭典期間展示。寺廟裡其中一根樑柱上刻有一尊船上的觀世

像，這種描繪形像極為罕見。

根據當地傳說，這座觀音像有著神奇的來歷。有田川町西原地區曾經有一棵非常大的杉樹。有一天，當地人注意到樹頂上閃爍著耀眼光芒。深入探查後發現竟然是一尊觀音像。從樹頂取下觀音像後便被供奉在西原極樂寺，直到極樂寺的主殿被燒毀。不過觀音像在火災中倖留下來，1723 年建造了現在的西原觀音堂，並將觀音像供奉於此。

西原觀音堂後面有許多宗教石雕，包括佛像和五輪塔。這些藝術品來自其他寺廟。因為牠們原本的場所經歷現代化翻新，所以移到西原觀音堂。最古老的石碑上刻有 1432 年的銘文。

西原觀音堂的主要祭典日期是舊曆三月三日，現在一般是在四月。當日會舉行扔年糕活動，屆時人群爭相搶奪從舞台上所拋下象徵好運的年糕。

<日本語仮訳>

西原観音堂

西原観音堂は、有田川町にある長い歴史を持つ仏教寺院である。

慈悲の観音菩薩を本尊としている。本尊は千手観音像で、困っているすべての人に手を差し伸べるという観音様の意思を表している。千手観音像は、祭礼の日に公開される。内部には、支柱の梁の一本に舟に乗った観音様の彫刻が施されており、これは観音様としては特に珍しい描写である。

地元の伝説によると、この観音像には奇跡的な由来があるという。かつて有田川町の西原地区にとっても大きな杉の木があった。ある日、地元の人たちがその杉の木のてっぺんに明るい光が差し込んでいるのに気づいた。調べてみると、それは観音像であることがわかり、西原極楽寺に安置された。観音像は本堂が焼失するまでそこに安置された。観音像は炎を免れ、1723 年に現在の西原観音堂が建てられ、その像が安置された。

寺の裏手には、仏像や五輪塔を含む宗教的な石造物のコレクションがある。これらの遺物は、元々あった場所が開発されることになり、他の寺院からここに移された。最も古いものには 1432 年の銘がある。

西原観音堂の主な祭りは、旧暦の 3 月 3 日で、現在は一般的に 4 月にあたる。餅まきが行われ、大勢の人々が台から投げられた餅を縁起物として取り合う。

【タイトル】 松葉觀音堂/松葉觀音堂

【想定媒体】 アプリ

<簡体字>

松叶观音堂

松叶观音堂是笠松左太夫（1598-1673）的后代修建的佛教寺庙。笠松左太夫作为当地最有名望的村长，为兰岛水稻梯田和有田川的造纸业做出了重要贡献。

笠松村长最初的想法，是在有田川的后藤地区修建一座观音庙，取代多年前被毁的一座庙宇。但由于他将所有个人财富都用于修建基础设施，造福当地民众，所以最终未能在有生之年达成所愿。1777 年，笠松村长的曾孙实现了他的愿望，修建了供奉观音像的松叶观音堂。

自 1778 年以来，松叶观音堂便开始举办初午祭。通常在初春时节阴历二月的午日举行，公历一般为三月。这一天的传统活动是向神灵稻荷祈求丰收的日子，当地人也会将这一天视为大吉之日，适合祈求观音免遭不幸。松叶观音堂的初午祭传统也可追溯到 1778 年。

节日需提前三天准备，首先是制作被称为“镜饼”（一种双层大年糕）。节日当天，游行队伍会抬着镜饼、装饰杆和寺庙旗帜，从后藤沿着寺庙的山路缓缓行进。镜饼在供奉观音后，会分成小块撒向民众，人们会争先恐后地争抢，以此祈求好运，这也是该地区规模最大的抛掷镜饼活动。

<繁体字>

松葉觀音堂

松葉觀音堂是一座佛教寺廟，是由笠松左太夫（1598－1673）的後代所建造。笠松左太夫是一位村長，他協助開墾了蘭島水稻梯田，並創立有田川町的造紙業。

笠松村長想要在有田川町小峠地區建造一座供奉觀世音菩薩的寺廟，取代幾年前被摧毀的觀音堂。不過，因為笠松村長把他自己的所有財富都投入發展、活化當地聚

落，因此他在生前一直未能實現造廟的願望。1777 年，笠松村長の曾曾孫輩替他實現願望，建造了松葉觀音堂，供奉觀音像。

松葉觀音堂會在初春舉行初午祭。初午祭是在舊曆二月初一（馬日）舉行的活動，現在通常在三月。傳統習俗上，這一天會向稻荷神祈求大豐收。當地人認為這一天也是向觀世音菩薩祈求保護避免災難的吉日。自 1778 年以來，松葉觀音堂一直都有舉辦初午祭。

準備工作在祭典前三天就開始了，要製作大份的雙層年糕「鏡餅」。祭典當天，遊行隊伍攜帶鏡餅、餅花竿和旗幟，緩慢從小峠行進至松葉觀音堂。將年糕供奉給觀世音菩薩後，當地最大的拋年糕活動就開始了，參與者無不爭相搶奪象徵好運的小年糕。

<日本語仮訳>

松葉觀音堂

松葉觀音堂は、あらぎ島の棚田を築き、有田川町の製紙業を興した、庄屋、笠松佐太夫（1598-1673）の子孫によって創建された仏教寺院である。

佐太夫は、有田川町の小峠地区に、数年前に破壊された觀音堂の代わりに觀音菩薩を祀る寺を建てようとした。しかし、佐太夫は地域を豊かにするための開発事業に私財のすべてを投じていたため、存命中にその夢を実現することはできなかった。1777 年、佐太夫の曾孫がその願いを叶え、觀音像を安置する松葉觀音堂を建立した。

初春には「初午会式」が行われる。初午は、旧曆の 2 月 1 日の午の日に行われる行事で、現在は 3 月に行われることが多い。この日は、豊作祈願をするために、稻荷神に祈りを捧げる伝統的な日である。地元では、觀音様に災難除けを祈る吉日ともされている。松葉觀音堂では 1778 年から初午会式が行われている。

祭りの 3 日前から準備を始め、鏡餅と呼ばれる大きな円形の餅を作る。祭り当日は、小峠から鏡餅と餅花竿、幟を持った行列がゆっくりと寺まで練り歩く。鏡餅を觀音様にお供えした後、地域最大の餅まきが行われ、縁起ものの小さい餅を取ろうと参加者が賑わう。

【タイトル】 笠松家住宅/笠松家住宅

【想定媒体】 アプリ

<簡体字>

笠松故居

这栋 19 世纪晚期的传统乡村住宅（古民家）为村长笠松左太夫（1598-1673）的亲戚所有，笠松村长当年开发的项目为有田川的后续发展奠定了重要基础。

住宅建成时，其附近大约有 20 户从事农业和造纸的家庭。这栋住宅的面积之大、地理位置之优越，体现了笠松家族受人尊敬的地位。它所在地段阳光充足，适合种植蔬菜，周围的群山为其遮风挡雨，毗邻一条淡水溪流而立，便于前往兰岛稻田。

住宅的主屋、仓库和排屋都采用典型的传统住宅结构，主屋的茅草屋顶陡峭倾斜，可防止冬季积雪。它配备了一个独特的管道系统，可以将附近的淡水溪流引入厨房，然后流向鱼塘。淡水源源不断流经管道系统，还能将食物残渣送至鱼塘喂鱼。

笠松故居现对外出租，让游客们可以真切体验有田川的传统乡村生活。虽然安装了室内管道等现代设施，但主屋仍保留了典型的古民家特色，包括夯土玄关、木雕横梁和房间中的榻榻米地板。

<繁体字>

笠松舊宅

這棟十九世紀末的古民家（傳統鄉村住所）屬於村長的笠松左太夫（1598—1673）的親戚所擁有。笠松村長主導的發展企劃持續造福有田川町。

建造住所的時候，周圍的村落由大約 20 戶從事農業和造紙業的居民組成。住所大範圍的佔地面積及優越的地點，不難看出笠松家有著備受尊崇的地位。該地段日照充足，適合種植蔬菜，周圍的山群又能擋住風勢。一條小溪流經該地段，亦可輕鬆到達蘭島稻田。

住所の主屋、倉庫和排屋都是當時典型的住宅結構。主屋採用傾斜的茅草屋頂，防止冬季積雪。這棟房屋最有別於一般的特點是創新的管道系統，將附近溪流的水引入廚房區域，並引出至魚池。溪流水源不斷地流經管道系統，又能帶走食物殘渣養魚。

笠松宅現在是民宿，開放給遊客租借，讓他們體驗有田川町的傳統鄉村生活。雖然增加了室內自來水等現代化便利設施，但主屋仍保留著古民家的典型特徵，包括以泥土鋪設的玄關、雕花木製氣窗，還有榻榻米鋪設的房間。

<日本語仮訳>

旧笠松家住宅

この古民家は、19世紀後半に建てられたもので、庄屋、笠松佐太夫（1598-1673）の親族のものであった。彼の革新的な開発事業は有田川町の生活を今もなお支えている。

この邸宅が建てられた当時、周辺の村は20軒ほどの農家と製紙業を営む家々で構成されていた。笠松家が尊敬を集めていたことは、敷地の広さと立地の良さにも表れている。敷地は日当たりがよく、野菜を育てるのに適しており、周囲の山が風を遮ってくれる。敷地内には小川が流れ、あらぎ島の田んぼへのアクセスも良い。

建物は母屋、土蔵、長屋があり、当時の住宅の一般的な建築様式である。母屋は藁葺き屋根で、冬に雪が積もらないように設計されている。この家の最も珍しい特徴は、近くの小川を家に向かって迂回させ、台所から養魚池に流す画期的な配管システムである。新鮮な水が絶え間なく流れ込み、食べ物の廃棄物や皿洗いの水が魚の餌となる。

現在、笠松邸は有田川町の伝統的な田舎暮らしを体験できる貸し宿泊施設となっている。室内に水道を引き込むなど近代的な設備が追加された一方で、母屋は、土間続きの玄関、木彫りの欄間、畳敷きの部屋など、典型的な古民家の特徴を保っている。

【タイトル】 地域社会における神社・仏寺
/蔵王権現社 金毘羅権現社 西原観音堂
松葉観音堂
【想定媒体】 WEB

＜簡体字＞

有田川の乡村寺庙和神社

说到日本的寺庙和神社，人们首先会想到的那些耳熟能详的地点，比如京都金阁寺豪华的金塔，或者东京浅草寺的热闹景象。虽然在有田川这样偏远的山区，看不到气派的建筑和攒动的人流，但寺庙和神社也是当地人日常生活和习俗中的重要一部分。

有田川的寺庙和神社通常都比较小，里面供奉着神灵。出于对神灵的尊敬，寺庙平时都会紧闭大门，只在节日期间开放。这些圣地和建筑中通常无人看守，其管理和维护都靠当地居民自发进行，包括一些拥有 500 多年历史的古老建筑。

日本许多宗教场所的自然美景都很迷人，有田川的寺庙和神社也不例外，大多坐落在绿树成荫的树林中，或立于高峰山顶之上。寺庙和神社入口往往没有标识，外观看上去也很普通，但只要深入探索，就会体验到它独特的文化氛围和优美的自然景观。

这些寺庙平时都很沉寂，但也会在节日期间热闹一番，比如为求好运，有田川的许多寺庙和神社都会举办抛年糕活动，从高台向下面的人群抛掷年糕，人群争抢着这些象征吉祥的食物。

＜繁体字＞

有田川的鄉間寺廟與神社

到日本旅遊的遊客可能都很熟悉都市裡的大型寺廟與神社。浮現腦海的可能是京都金閣寺的華麗金色寶塔，東京淺草寺附近的熱鬧街道。雖然偏遠山區聚落（像是有田川町）的寺廟和神社可能不是特別宏偉，但它們在日常生活和習俗中仍有發揮作

用。

有田川町の寺廟和神社通常由一座供奉神靈的小型結構物組成。基於對神靈的尊重，大門通常保持關閉，但在祭典期間可能會打開。這些場所通常也無人看守。不過，當地居民會一起管理維護這些神聖的場域和建築物，其中有一些已經有至少 500 年的歷史。

日本的許多宗教場域也是以自然美景環境聞名。有田川の寺廟與神社便是如此。當地許多寺廟和神社都坐落在綠樹蔭鬱之中，或是獨立於世的山頂上。它們的入口往往偏僻、難以察覺，但試圖尋找它們的遊客往往會被文化與自然融為一體的獨特美景驚豔。

這些長年寂靜的場所在每年的祭典期間就會變得很熱鬧。有田川の許多寺廟和神社都會舉行拋年糕的活動來祈求好運。小巧的年糕從舞台上拋向民眾，而民眾則爭相搶奪這些象徵吉利的點心。

<日本語仮訳>

地域社会における神社・仏寺

日本を訪れる観光客の多くは、都会的で大きな寺社仏閣を思い浮かべるだろう。京都の金閣寺の豪華絢爛な黄金の塔や、東京の浅草寺の賑やかな参道などだ。有田川町のような人里離れた山間部の寺や神社は、それほど広大でも壮大でもないが、それでも日常生活や習慣の中で重要な役割を果たしている。

有田川町の寺や神社は通常、神を祀る小さな建造物 1 つで構成されている。扉は通常、神への敬意から閉ざされたままだが、祭事の際には開けられることもある。通常、人は常駐していない。その代わり、地元の住民が境内や建物の管理・維持に当たっており、中には少なくとも 500 年以上使われているものもある。

日本の多くの宗教施設は、自然の美しさを誇る場所でもある。有田川の寺社の多くも木陰や山頂にひっそりと佇む。その入り口は無名の目立たない場所にありがちだが、それらを探し求める観光客は、文化と自然が融合したユニークな風景を目にすることができるだろう。

このような孤独になりがちな場所は、年に一度のお祭りのときに最も賑やかになる。有田川町の多くの寺社では、縁起を担いで餅まきが行われる。小さな餅が壇上から下に集まった人々に投げられ、人々は縁起の良い餅を取ろうと競い合う。

地域番号	058	協議会名	井原線沿線観光連盟

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
058-001	与一記念弓道場	690	WEB
058-002	井原駅と井原デニムストア	510	WEB
058-003	戦国列車と井原の戦国時代	750	WEB
058-004	井原市立平櫛田中美術館	260	WEB
058-005	山成酒造	220	WEB
058-006	美星町（中世夢が原、美星吉備高原神楽民俗伝承館、星尾神社）	730	WEB
058-007	矢掛町矢掛宿	750	WEB
058-008	矢掛の山城	510	WEB
058-009	吉備真備公園	230	WEB

【タイトル】 与一記念弓道場

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

与一纪念弓道场

引领弓道文化发展的非凡功绩

武将那须与一（1169–1232）凭借在屋岛之战（1185 年）中的一箭而名垂青史。那须与一作为源氏军的一员，随军穿过本州岛和四国岛之间的海峡，一路追击平氏军（源氏和平氏是日本平安时代的两大武士家族）。平氏家族拥有强大的海军，笃定不会被源氏军的船队追上。源氏军还没离开海滩，平氏船队中的一个女子便举起一面小折扇，挑衅追兵用弓箭将其射落。此时那须与一策马冲入海浪，张弓搭箭，一箭射中折扇，创造了历史的传奇。凭借英勇的功绩，他被任命为包括今天的井原市在内的五个地区的“地头”（负责管理庄园的官职）。

井原市有数个和那须与一颇有渊源的历史遗迹，包括和弓道相关的地名以及那须家族的后裔立下的纪念碑。永祥寺原本是那须家族的祭祖寺庙，寺内的袖神稻荷神社供奉着那须与一射出传奇一箭时扯下的衣袖。

弓道是起源自古代战场箭术的武道，因此，那须与一的功绩至今仍启发着井原市的人们，尤其是弓道的修习者。这座人口 37000 人的城市有着多个练习箭术的弓道场。井原市也是西日本最大的弓道大会——纪念那须与一西日本弓道大会的举办地。该大会于 2024 年迎来第 50 届盛会，在部分赛事中使用扇形靶。大会在纪念弓道和那须与一的纪念馆——井原市与一纪念弓道场举行。

传承弓道传统

对于井原市的弓道爱好者来说，那须与一是一个重要的城市符号。与一纪念弓道场的主馆和射箭场于 1989 年 3 月开业，此场馆代表着井原市想要保护那须与一在这座城市留下的历史，以及推广弓道的决心。

主馆位于井原运动公园林木繁茂的山丘顶部，山坡上共有三个射箭场。第一个是

1972 年竣工的井原市首座公营射箭场，全长 28 米，可供 6 个弓箭手同时射箭。第二个是全长 60 米的远距离射箭场。第三个海拔最高，直通主纪念馆。它全长 28 米，可供 12 个弓箭手同时射箭。

与一纪念弓道场有许多引人注目的匾额和墙纸，描绘了那须与一传奇一箭的故事。该设施还与当地的牛仔布产业合作，射箭场上方悬挂着井原牛仔布帘子，员工穿着井原牛仔布制作的弓道服。

弓道场几乎每个月都会举办赛事，每周多天提供训练时间，另外还定期举办季节性活动。弓道场还向初学者推出体验课程，由弓道修习者传播他们对这门武道的热爱。

了解弓道

作为一门武道，弓道和作为体育项目或狩猎技巧的射箭有着很大区别。在弓道场做出的每个动作都需要经过严格的训练。弓道不仅是为了准确地射中目标，还需要流畅地完成规定的一套动作，包括站立、呼吸、瞄准、放箭。

与一纪念弓道场向有兴趣体验弓道的初学者推出入门课程。参与者在看完关于弓道的礼仪和射箭方法的演示后，将接受个别指导，学习如何持弓射箭。大多数弓道场要求学员在射箭前完成严格的基础训练，但是在这里，没有经验的初学者也可以尝试射箭，可谓机会难得。参加者需要提前预订并支付小额费用，课程以日语进行。不过即使不懂日语，一般来说通过肢体的演示和指导也能参与。课程向各类人士开放，个人和团体都可以报名。

〈繁体字〉

與一紀念弓道場

激勵弓道文化的英勇事蹟

因為屋島之戰（西元 1185 年）而一箭成名，從此名留青古的那須與一（西元 1169—1232 年），當時與僅存的源氏軍一路追擊敵人平氏軍，最後來到了本州及四國的海峽岸邊；此時平氏軍早已下海且拉開了距離，甚至因為對自身水軍實力的極度自信，而派出一名女子訕笑地舉著手上的小摺扇，挑釁源氏軍射下這把摺扇。那須與一便策馬入海，撕下右手袖子拋入海中以表誓死射中目標的決心後，完美地以一箭射落那把摺扇，寫下這段為人所津津樂道的歷史。他也因為這些英勇事蹟而受封為五個地區的地頭（日本鎌倉時代由源賴朝在各莊園與領土所設置的官職，負責管理土地、徵收稅金等工作），其中包含了現

今井原市的部分區域。

井原市內有許多跟那須與一相關的歷史景點，例如弓箭涵意的地理名稱，以及由那須與一後人所設立的紀念墓碑等。其中永祥寺為那須一族歷代祖先及家族墳墓所在的家廟，寺內則有一座袖神稻荷神社，供奉著那須與一當年射出傳奇一箭時所撕下的右手袖子。

那須與一的傳奇一箭所造就的英勇事蹟，至今依然激勵著井原市的市民，其中又以練習弓道的人為甚。弓道是日本以古代軍事中的射箭為基礎所發展的武術，而這座人口約 37,000 名的城市中，則有許多名為 **弓道場** 的射箭場。井原市同時也是西日本最大的弓道比賽「那須與一紀念西日本弓道大賽」主辦城市，其於 2024 年所迎來的第五十屆賽事，則是在致力推廣弓道及紀念那須與一所搭建的「井原運動公園與一紀念弓道場」中舉行，並有部分比賽項目採用扇形標靶。

弓道傳統的傳承

那須與一在井原市的弓道愛好者心目中，有相當重要的意義，並透過西元 1989 年 3 月時啟用的「與一紀念弓道場」的主館及射場，展現出井原市致力維護跟那須與一之中的關聯，以及推廣弓道的決心。

「與一紀念弓道場」的主館佇立在井原運動公園山丘上的茂密樹林中，並沿著山丘搭建了三座射場。第一座射場是井原市的首座公共弓道場，於西元 1972 年完工，射距 28 公尺，可容納 6 名射手同時行射；第二座射場的射距 60 公尺，為長距離射場；第三座射場所在位置最高，可直接通往主紀念館的射場，射距 28 公尺，可容納 12 名射手同時行射。

「與一紀念弓道場」中則到處可看到跟那須與一相關的展示品，其中包含描繪著經典一箭的匾牌及海報等。這裡也跟當地的丹寧產業合作，射場內所懸掛的布簾，以及工作人員身上穿著的弓道服（練習弓道時所穿的制服），都是由井原丹寧布製作而成。

弓道場內每週有數天的練習時段，每個月均有賽事，且會定期舉行季節性活動；同時此處也有弓道修習者主講的體驗工作坊，讓初學者可以透過這些內容體驗弓道藝術，感受修習者們的熱情。

了解弓道

「弓道」這門武術，跟講求狩獵技巧或運動方面的射箭有很大的差異，其訓練嚴格，

且相當嚴謹地規範了弓道場內的一舉一動；弓道的目標除了準確地行射命中靶心，更重要的是遵守並流暢地完成一系列規範的動作：姿勢、呼吸、瞄準、放箭。

多數的弓道場都要求學生必須學會弓道的基礎後才可實際下場行射，但「與一紀念弓道場」的初學者弓道體驗工作坊，則可透過事先預約及支付些許費用後，讓沒有任何經驗的初學者行射，是可以親自體驗弓道的難得機會。雖然初學者體驗工作坊全程以日文教授，但弓道場的禮儀及行射方式，以及個別指導的持弓、射擊目標等內容，都是透過身體實際示範與指導，即使是不懂日文的遊客也可以毫無窒礙地理解整體流程與射箭方式，適合所有個人或大型團體報名參加。

<日本語版訳>

与一記念弓道場

弓術文化に影響を与えた偉業

那須与一（1169-1232）は、屋島の戦い(1185)で一本の矢を放ち、その名を歴史に刻んだ。与一と源氏の軍は、本州と四国の間の海峡を越えて敵の平家軍を追った。しかし、平家は海軍と彼らが海上で保ことができる距離感に自信を持っていた。平家方の女性が小さな扇子を掲げ、追っ手の源氏方にそれを撃ち落としてみろと挑発した際、源氏は未だ浜辺に居た。与一は波間に馬を乗り入れ、狙いを定めて矢を放ち、一矢で扇を射って歴史に名を残した。彼はその武勇に報いられ、現在の井原市の一部を含む5つの地域の地頭に任命された。

井原市には、弓にちなんだ地名や、与一の子孫が作った記念墓碑など、那須与一ゆかりの史跡がいくつかある。永祥寺はもともと那須家の菩提寺で、境内にある袖神稻荷神社には、与一が伝説の弓射をした際に破った袖が祀られている。

与一の弓の偉業は、井原市の人々、特に古代の弓術に基づく武道である弓道に励む人々に、今でも熱気を与えている。人口およそ37,000人のこの街に、弓道場は複数ある。また、井原市は、西日本最大級の弓道大会である那須与一を偲ぶ西日本弓道大会の開催地で、2024年には50回目となる年次大会が開催され、一部の催しでは扇の形をした的が使用されている。その大会は、弓道と与一自身の記念館である「井原市与一記念弓道場」で開催された。

弓道の伝統を受け継ぐ

井原の弓道愛好家にとって、与一は重要なシンボルである。1989年3月にオープンした与一記念弓道場の本館と射場は、与一とのつながりを維持し、弓道の発展に努める井原の姿勢を体現する場所である。

本館は井原運動公園内の樹木が茂った丘の上にあり、丘の中腹には3つの弓道場がある。一つ目の射場は1972年に完成した井原で最初の公営弓道場であり、射距離28メートルで、一度に6人が射るこ

とができる。二つ目は遠的用の射場で、射距離は 60 メートルある。一番上にある 3 つ目の射場は、記念館に直結した射距離 28 メートルの射場で、12 人が同時に射ることができる。

与一記念弓道場には、与一の有名な弓射を描いた額や壁紙など、与一に関連する目を引く作品がある。また、地元のデニム産業との縁として、射撃場の上には井原デニムの暖簾がかかり、会員は井原デニムの弓道着を着用している。

弓道場では競技会がほぼ毎月と練習会が週に数日、また定期的に季節ごとのイベントも開催されている。また、弓道経験者が弓道の感動を伝えるために行っている、初めて弓道に触れる人向けの体験教室も注目されている。

弓道を理解する

武道である弓道は、狩猟技術でありスポーツであるアーチェリーとは大きく異なる。弓道場で行われる規則立った所作の全てが、厳格な鍛錬である。その目的は単に正確に矢を射的に当てることだけではなく、構え、呼吸、狙い、射という定まった動作の型をスムーズに行うことにもある。

与一記念弓道場では、初心者向けの弓道体験教室を開催している。弓道場での作法や射法のデモンストレーションの後、参加者は個別に指導を受けながら、弓の構え方や的に向けた矢の射ち方を学んでいく。ほとんどの弓道場では、矢を射る前に基本をしっかりと基礎を学ぶ必要があるが、ここでは経験のない初心者でも矢を射る貴重な機会を得られる。予約と少額の参加料が必要で、指導は日本語で行われるが、日本語を話せない参加者でも身体を使っただけの実演と指導で基本的には十分である。このワークショップは、一人から大人数のグループまで、参加できる。

【タイトル】 井原駅と井原デニムストア

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

井原站和井原牛仔店

牛仔布产品的门户：井原站

一来到井原站，游客就能马上看到井原市代表性的弓道和牛仔布文化。

井原站于 1999 年 11 月开业，建筑设计构思中融入了武将那须与一（1169–1232）在 12 世纪的一场战役中，一箭射中敌军船只上竖起的一把折扇的传奇故事。从石板砌成的站前广场看去，由钢骨构成的曲线象征着日本弓的不对称弧度，而靠近中央位置的锥形玻璃塔楼则形似一支搭在弓身上的箭。广场的另一端有一座乍看之下似乎没有关联的雕塑。在高高的台座上有一座扇形石雕，上面有一个大圆洞。它让人联想到那须与一射中折扇的传奇。站在石雕的另一侧向车站方向望去，正好可以通过扇子的开口处看到玻璃塔楼的顶端，强调了一支箭向远处飞去的意象。

车站里有咖啡馆，也有旅游服务柜台提供当地特产和自行车出租，其中最引人注目的还属井原牛仔店。

早于西方牛仔布的井原牛仔布

井原地区在江户时代（1603–1867）发展成一个以棉花种植、编织和靛蓝染色为主的繁荣的手工业中心。在明治时代（1868–1912）的高速工业化过程中，手工织布机逐渐被大规模的工业化织布机取代。井原地区的工厂开始生产各类布料，其中一种称为“备中小仓”的厚布料因为多用于校服和工作服而闻名。

“里白”是一种“备中小仓”布料，因其背面为白色，表面染色而得名。“里白”经常用靛蓝染色并采用与西方牛仔布相同的 3x1 斜纹规格编织。根据史料，截至 1930 年井原地区至少有一家销售“蓝牛仔布”的布料厂商。而二战结束后，当美国的牛仔布产品再次进入日本市场时，许多井原地区的织布工已经熟练掌握了生产这种布料的基本技术。1970 年左右，约 75% 的日本国产牛仔裤都是在井原市生产的。

现今的井原牛仔布产品

今天的井原市大约有 20 家与生产牛仔布相关的企业。并且，生产的布料在当地众多的工坊、手工制品店，以及裁缝店被用来制作牛仔裤、牛仔包、牛仔衬衫等。城市各处可见的装饰和招牌诉说着牛仔布产品在当地经济中扮演的重要角色，而井原牛仔店是许多游客来到井原市后的第一个去处。除了销售成衣，商店还提供牛仔西装定制、修改尺寸等服务。

井原牛仔店位于车站大楼内别为显眼的位置。并且，二楼还有一家小型牛仔布博物馆，详细介绍井原地区的牛仔布历史。而一楼有一个名为“车库”的工坊，来客可以体验用牛仔布制作各类产品的部分工序。

<繁体字>

井原車站及井原牛仔店

丹寧之地：井原車站

一來到井原車站，遊客便可以看到兩種代表性的井原文化，弓箭及丹寧布（即牛仔布）。

西元 1999 年 11 月啟用的井原車站，整體建築是以 12 世紀時那須與一（西元 1169—1232 年）射落敵軍船上一把摺扇的英勇事蹟為靈感所設計。站在車站前的石造廣場上，便可輕易看出這棟鋼造建築物呈現了不對稱的日本弓弧形，而略微偏離中心的高聳玻璃錐，就是搭在弓弦上的箭矢。而位在廣場另一側、有著圓形大洞的扇形石像，乍看之下似乎跟建築物無關，但若站在扇形石像另一面從圓形大洞看向車站，則可以看到玻璃錐的尖端正對著洞口，就好像箭矢射向扇形石般，立刻讓人聯想到那須與一的傳奇一箭。

車站內設有咖啡廳、供應紀念品及租借自行車的旅客服務台，以及讓人注目的井原牛仔店。

比西方丹寧更早

井原在江戶時代（西元 1603—1867 年）便是棉花栽種、紡織及藍染蓬勃發展的主要地區，並隨著明治時代（西元 1868—1912 年）的快速工業化，用大規模的機械織布機逐漸取代了手工織布。井原的工廠中有各種不同類型的布料，其中又以製作學校制服、工作

服的「備中小倉」最為有名。

「備中小倉」之中有一種背面為白色、只在表面染色的「裏白」樣式，用跟西方丹寧布料一樣的 3 x 1 的斜紋織法，多半用於藍染。曾有歷史紀錄記載，井原直到西元 1930 年為止，最少有過一間紡織公司販賣標示為「藍丹寧」的商品，因此二次世界大戰後當美國的丹寧布再次引進日本時，很多井原的紡織工人早已掌握並熟悉了這種布料的基本製作技術。直到西元 1970 年左右，日本國內 75%左右的丹寧牛仔褲都是出自井原。

現今的井原丹寧

目前丹寧在井原的經濟方面依然有很重要的地位，當地約有 20 間生產丹寧布料的公司，市街上隨處可見相關的裝飾和標誌，並有許多當地的工作坊、手工藝品店及裁縫師等，利用這些丹寧布料製成牛仔褲、包包及襯衫等各式各樣的商品。這間井原牛仔店則是眾多旅客造訪這座城市絕對不會錯過的第一站，店裡除了現貨商品外，更提供個人化客製、訂製牛仔西裝及修改尺寸等服務。

井原牛仔店位處車站內明顯的位置，一樓設有「Garage」車庫工作坊，可讓遊客體驗一部份製造丹寧產品的過程，二樓則有個展示井原丹寧歷史的小小丹寧博物館，可供遊客參觀這段歷史。

<日本語仮訳>

井原駅と井原デニムストア

デニムの地：井原駅

井原駅に着くと、旅行者は早速井原の文化である弓とデニムに触れることができる。

1999 年 11 月に開業した駅舎は、12 世紀的那須与一が舟の上に揚げられた扇に的中させた有名な弓射に敬意を表したデザインをしている。駅前の石造りの広場から見ると、鉄骨の曲線が弓の非対称なカーブと似たものとなっており、隆起したガラスの円錐形が、弦にかけられた矢のように中心から僅かにずれて位置している。広場の反対側には、背の高い台座の上で大きな丸い穴の開いた扇形の石が乗っているという一見何の関係もなさそうな像がある。これは、与一が放った伝説の射を連想させるもので、像の反対側遠方に立って駅の方を振り返ると、扇の開口部がガラス塔の先端を縁取り、遠くへ飛んでいく矢のような形を強調している。

駅構内にはカフェ、土産物やレンタサイクルを扱う観光サービスデスクがあるが、最も目を引くのは井原デニム店だろう。

デニムがデニムとなるより前

井原地方は江戸時代（1603～1867 年）、綿花栽培、織物、藍染めの中心地として栄え、急速な工業化が起こった明治時代（1868～1912 年）には、手織り機は次々と大規模な機械化織機に切り替えられた。井原の工場ではさまざまな種類の布が作られていたが、「備中小倉」と呼ばれる厚手の織物は、特に学生服や作業着への利用でよく知られた。

備中小倉のうち裏白（うらしろ）と呼ばれるものは、裏が白く、表面が染められている。藍で染められることが多く、西洋のデニム布と同じ 3×1 の綾織で作られていた。1930 年までに井原で少なくとも 1 つの織物会社が「ブルーデニム」と表示された製品を販売していた記録があるが、第二次世界大戦後にアメリカンデニムが日本に再導入されたときには、井原の織工の多くはすでにこの生地を生産する基本的な技術を有していた。1970 年頃には、日本の国産デニムジーンズの約 75%が井原で作られるようになっていた。

井原デニムの現在

現在、井原にはデニム生地生産に関わる会社がおよそ 20 社ほどあり、さらに多くの地元の工房やハンドメイド雑貨店、仕立て屋がその生地をジーンズやバッグ、シャツなどに利用している。街のあちこちに、デニムが地域経済において重要であることを示す飾りや看板があるが、井原デニムストアは、この街を訪れる多くの人々にとって最初の立ち寄り先である。このお店ではオーダーメイドのデニムスーツやサイズ直しなど、既製品の販売にとどまらないサービスを提供している。

井原デニム店は駅ビルの中でもひととき目立つ場所にあるが、2 階には井原のデニムの歴史を紹介する小さなデニム博物館があり、1 階にはデニムを使った製品作りの一部を体験できるスタジオ「ガレージ」がある。

【タイトル】 戦国列車と井原の戦国時代

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

战国列车

战国列车：追忆井原历史

探寻井原的武士时代的旅程从搭乘井原铁道的列车开始。井原铁道仅运营一条线路，即连通广岛县神边站和冈山县总社站的井原线。列车通常为单人运行（仅有驾驶员），在有工作人员常驻的车站可以购买纸质车票，但乘客一般需要在下车时直接支付现金。井原线的单节或双节车厢列车，大多有着特别的装饰和设计，因此是铁道迷忠爱的一条线路。其中，有一辆设计风格独特的以历史为主题的战国列车。

战国列车是一辆以日本战国时代（1467-1568）为设计主题的单节车厢列车。列车装饰包括弓箭的轮廓以及在群雄纷争的战国时代统治或进军过这片地区的诸位武将的家纹。车厢内还有装饰着武士头盔模型的吊环，上面刻有各沿线城镇的徽标。搭乘这条线路就好像跟着导游旅行，通过日语和英语的解说可以了解当地的历史知识，包括重要人物、著名的战场及山上的城堡。

战国列车每天运行数次，具体时间不固定。您可以在井原铁道的网站上查看时刻表（仅日语）。

战国时代的权力之争

由于中央政府失去了对地方军阀的控制，不同军阀间的氏族纷争和扩大领土的野心很快演变成武力冲突，诱发了一系列血雨腥风的动乱，日本由此进入战国时代。这个时代人民起义频发，但也取得了科技的进步并孕育出高度成熟的文化。

战国时代的军事力量和地方贸易很大程度上依靠道路交通。其中最主要的七条道路连通日本各地的多个地区，称为“七道”。沿着濑户内海通行的“旧山阳道”是七道之一（现山阳机动车道的前身，但路线略有不同），是连通本州西部和旧时的首都京都的主要干道。这条道路的部分路段沿着小田川穿过井原。由于附近的山脉地形，这里也成了军阀

对道路与河川施加影响的要塞之地。有利的地形使井原成为兵家必争之地，战国时代之前就曾各路势力攻入这片地区。

为了监控道路交通，统治者在沿途建起战略堡垒，称为“山城”（山上的城堡）。不过，这些山城并不是城墙厚重、威严耸立的华美城堡，而是由简易的木结构瞭望塔和存放着物资与武器的兵营构成。人们往往在陡峭的地形处筑起土丘和壕沟，阻挡通往这些要塞的路线。附近的山脉形成天然的屏障，因此从某种意义上说山脉本身也是一种“城堡”。军阀通过这些要塞对道路与河川施加控制，并在敌军攻城时将其作为防御工事。

高越城是当时井原的主要山城之一，曾矗立在位于旧山阳道北部的高越山山顶。尽管木结构建筑已不复存在，但您可以在位于原址的纪念公园瞭望城市的风景。

北条早云：最早的战国领主

高越城还与伊势新九郎盛时（史料中的全名、1432–1519）颇有因缘。这位武将在死后以北条早云之名为人们所熟知。北条早云生于备中伊势家（伊势家族的一支），具体出生地不详。备中伊势家控制着高越城，因此他可能就出生在井原。北条早云在征服伊豆国后成了战国时代具有划时代意义的大名（封建领主）。他的后裔继续征战各地，控制了关东地区的大片领土。然而，备中伊势家最终在 1590 年败于想要统一天下的丰臣秀吉（1537–1598）手下。

有些学者认为，北条早云征服伊豆国之举在当时刺激了其他大名的政治野心，宣告了战国时代的真正开始。尽管北条早云在后半生并没有统治井原，然而在历史上留下的足迹却使他成为备受当地人喜爱的人物。早云之里荏原站（井原铁道井原线车站）就是以这位武将命名的。北条早云也是战国列车彩绘的核心元素，列车前方的徽章中央就描绘了他的脸庞。

<繁体字>

戰國列車

戰國列車：向井原歷史致敬

搭乘井原鐵道的電車，開啟探索井原武士時代之旅。井原鐵道只經營一條從廣島縣神鍋至岡山縣總社的「井原線」，沿線不可使用 Suica 等 IC 卡，除了一些有工作人員駐站的車站會販賣紙本車票外，一般乘客大多習慣在搭乘「一人列車」（意指只有一名工作人

員開車)時直接支付現金。而行駛在這條路線上的單節及雙節車廂列車，大多有獨特的彩繪及設計，因而深受鐵道迷的喜愛，其中最受矚目的就是歷史主題的「戰國列車」了。

單節車廂的戰國列車，外側彩繪是以戰國時代(西元 1467—1568 年)為主題，上面有弓箭的剪影，以及曾經在那個群雄割據、戰況激烈的時代，統治或侵略過此地之武將們家紋等；車廂內的吊環則裝飾了武將頭盔的模型，並印有沿線市町村的紋章。而車廂內也有英日雙語的標示牌，介紹該地區的重要人物、知名戰場、山城等相關歷史內容，可讓搭乘這條路線的遊客，就像參加了一場歷史導覽之旅般。

戰國列車沒有固定的行駛時刻表，單日行駛班數不定，詳細時程請至井原鐵道官網查詢(官網僅提供日文)。

戰國時代的權力之爭

日本戰國時代因群雄割據、家族爭權所帶來的一連串血腥動亂，再加上各自擴張領土的野心，而有著長年的戰爭衝突；但同時也是民眾起義、技術發展，以及高度文化成熟的時代。

這個時代的軍事力量及地區貿易高度依賴道路建設，其中「七道」則是七條連結了日本各個行政區域的主要幹道。「七道」之中沿著瀨戶內海鋪設的「舊山陽道」(為現今日本山陽自動車道的前身，惟路線略有差異)，是連接本州西部與京都的主要路線，其中有一段是沿著小田川穿過井原市。井原因為有著撲朔迷離的群山，更是當時武將們為了爭奪這個地方的主要道路及河川的必爭之地，甚至從戰國時代前，便有各方勢力為了展現各自的影響力而曾入侵此地。

為了監視、控制這條道路，各方武將也會在沿線建造名為「山城」的戰略性要塞。這些山城雖名為「城」，但跟有著厚重城牆、華麗結構的高聳城堡不同，是個簡單的木造物見櫓(瞭望樓)，以及用來存放物資及武器的兵營。另外搭配搭造在陡峭地形上的土壘及壕溝，可以阻礙前往這些山城的路；再加上四周的山地所形成的天然障壁，從某種意義上來說，這些山本身也可以說是一座「城」了。這些戰略性要塞除了是各方武將掌控道路河川的象徵，更是他們遭到圍攻時用來建立防線的地方。

曾佇立在舊山陽道與高越山上的「高越城」，過去是井原數一數二的山城之一。雖然山城本身的木造建築早已不復存在，但城跡遺址所在的紀念公園，則可以眺望整座井原市

的街景。

北條早雲：最初の戦国大名

高越城因為跟伊勢盛時（西元 1432－1519 年，又名伊勢新九郎）有著極深的淵源聞名，而伊勢盛時則是在死後以北條早雲之名廣為人知。伊勢盛時出生於備中伊勢一族，出生地不詳，但因當時家族掌控著高越城，因此很有可能是在井原所出生。北條早雲征服伊豆國後成為戰國時期非常關鍵的大名，他的後代子孫更延續著征服事業，掌控關東地區許多地方，最後則在西元 1590 年，即豐臣秀吉（西元 1537－1598 年）統一天下的戰役中落敗。

北條早雲積極征服伊豆國以獲得新領土的行為，可能激發了當時其他大名的野心，故也曾被視為戰國時代真正的開端。雖然他晚年並未統治井原這片土地，但其在歷史上所留下的影響之大，也讓他成為當地所喜愛的歷史人物之一，其中「早雲之里荏原站」就是以他的名字命名，而戰國列車的車頭彩繪中，正中央的徽章便是北條早雲的容貌。

<日本語仮訳>

戦国列車

戦国列車：井原の歴史へのトリビュート

井原のサムライの時代を訪ねる旅は、井原鉄道に乗ることから始まる。井原鉄道は広島県の神鍋から岡山県の総社までを走る井原線一路線のみを運行している。有人駅では紙の切符が販売されているが、通常、乗客は「ワンマンカー」の列車を降りる際に現金で支払いをしなければならない。いくつかの 1-2 両編成の列車には、珍しい装飾やデザインが施されており、この路線は鉄道ファンに人気がある。中でも目を引くのが、歴史をテーマにした「戦国電車」だ。

戦国列車は、戦国時代（1467 年～1568 年）をテーマにした 1 両編成の列車だ。弓矢のシルエットや、地域の武将同士で熾烈な群雄割拠の時代にこの地を統治、あるいは侵攻した武将の家紋などが飾られている。また、沿線の市町村の紋が入った武士の兜の模型で装飾された吊り革もある。戦国列車に乗ることはながらガイドツアーのようなもので、この地域の重要人物や有名な古戦場、山城についての歴史的な事実が書かれた日本語と英語の解説がある。

戦国列車は 1 日数便、不定期で運行されており、井原鉄道のホームページで確認できる（日本語表記のみ）。

戦国時代の権力

戦国時代とは、中央の政府が地方武将達を統御できなくなったために相次いだ血なまぐさい動乱からその

名がついており、地方武将達のお家騒動や領土拡大の試みはたちまち戦闘へと発展した。この時代はまた、民衆の反乱の時代でもあり、技術の発展と高度な文化が成熟した時代でもあった。

この時代、軍事力も地域交易も街道に大きく依存していた。特に重要な街道が、日本の多くの地方を結ぶ七道であった。七道のひとつ、瀬戸内海沿いの旧山陽道（少しルートは異なるものの現代の山陽自動車道の前身）は、本州西部と京都を結ぶ主要ルートであった。この街道の一部は、小田川に沿って井原を通っていた。山が迫っているため、井原は武将が街道や川の利用について影響力を行使するのに有利な場所であった。この地において影響力を誇示するための争いは絶えず、戦国時代以前から、さまざまな勢力がこの地域に侵攻してきた。

街道沿いの交通を監視・管理するため、山城と呼ばれる戦略的要塞が築かれた。これらの山城は、豪華な構造を持つ厚い壁のそびえ立つ城ではなく、物資や武器が保管されていた簡素な木造の物見櫓や兵舎であった。これらの建造物へのルートは、険しい地形に築かれた土塁や堀で塞がれていることが多かった。周囲の山の地形が守りの要となるため、いわば山そのものが「城」であった。戦国武将はこれらの拠点を、街道や河川に対する力の誇示や、攻撃を受けたときの防衛に利用した。

高越城は井原でも有数の山城であった。かつては旧山陽道の北にある同名の山の上にあり、木造建築はなくなったが、市街を一望できる記念公園が残っている。

北条早雲：最初の戦国大名

高越城は、死後に北条早雲と（1432-1519）として知られた伊勢新九郎盛時ゆかりの城として知られている。出生地は不明だが彼は備中伊勢家に生まれであり、同族は高越城を支配していたことから、井原で生まれた可能性がある。早雲は後に伊豆国を征服して戦国時代における極めて重要な大名となる。彼の子孫は関東地方の多くの地域を支配し征服を続けたが、一族は最終的には1590年、豊臣秀吉（1537-1598）の天下統一のための侵攻に敗北した。

早雲の伊豆征伐は、戦国時代の真の始まりと見なされることがあり、彼の新領土獲得への積極性は、同時代の他の大名の野心に影響を与えた。その後半生において彼が井原の地を統治することはなかったが、歴史に大きな足跡を残したことから、地元の人々に愛される人物となっている。早雲の里 荏原の駅名は彼にちなんだものであり、彼は戦国列車の車体カラーリングの中心的な位置を占めている。車両前面のバッジの中央に描かれているのは早雲の顔である。

【タイトル】 井原市立平櫛田中美術館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**平櫛田中美術館**

雕刻家平櫛田中（1872–1979）以各种风格创作了许多充满情绪感染力的作品。他生于井原，10 岁时被广岛县福山近郊的一个家庭领养。1897 年，他迁居东京，经过数年的艰苦努力后取得了事业的成功。平櫛田中受到了冈仓天心（1863–1913）等极具影响力的美术导师的认可，这也是他的作品能够受到瞩目的关键。平櫛田中景仰冈仓天心，在冈仓天心去世后的几十年里创作了许多以大师为原型的杰作。1944 年，平櫛田中被任命为帝室技艺员（日本皇室向优秀画师和工艺师授予的头衔）。1970 年，井原市建成了平櫛田中美術館，展出他的艺术成就。美術館位于离井原站不远的市中心。平櫛田中曾到访美術館，种下了如今在建筑前挺立的这棵樟树。

美術館的藏品以丰富的主题展示了平櫛田中的艺术成就。有些作品表现了佛教的世界观。比如《转生》描绘了恶魔口吐人类的恐怖景象。其他作品则关注更生活化的主题。作品《姉娘》（长女之意）描绘了平櫛田中的女儿跪在地下，双手拢在耳边的样子。因为他家太穷买不起收音机，女儿为了听邻居的收音机而摆出这样的姿势。

《镜狮子》是平櫛田中的杰作，表现了身穿戏服的歌舞伎演员六代目尾上菊五郎（1885–1949）在同名歌舞伎剧目中英姿飒爽的扮相。美術館展出的是《镜狮子》的原型及未完成的作品，而雕像本尊通常展示在东京国立剧场的大厅中。

<繁体字>**井原市平櫛田中美術館**

出生於井原的雕刻家平櫛田中（西元 1872–1979 年），其作品有著多元的風格及豐富的情感。他 10 歲時被廣島縣福山近郊的家庭收養，並在西元 1897 年時搬到東京，歷經了多年的困苦磨練後，終於受到岡倉天心（西元 1863–1913 年）及其他有影響力的藝術講師青睞，作品才成為人們矚目的焦點。平櫛田中自己則因非常仰慕岡倉天心，甚至在岡倉天心過世數十年後，依然創作出許多以岡倉天心為原型的傑作。平櫛田中於西元 1944

年被任命為「皇室技藝員」，這是個接受皇室敕令以從事美術、工藝品製作，或應博物館總長諮詢而執行相關任務的榮譽職位。而井原市則為了彰顯其成就，在西元 1970 年於市中心距離井原車站不遠處，興建了這座美術館。平櫛田中造訪這座美術館時，更在館前種下了一棵樟樹。

平櫛田中美術館中展出了平櫛田中各式各樣的多元藝術作品，有些作品看起來描繪著佛教人物，如《轉生》是惡魔從口中吐出人類的可怕雕刻，也有些作品是著重於生活方面的題材。其中《姉娘》則是描繪著因為家中太窮買不起收音機，平櫛田中的長女便跪在地上，雙手放在耳邊傾聽鄰居家傳來的電台廣播。

平櫛田中的另一個傑作為威風凜凜的《鏡獅子》，是歌舞伎演員第六代尾上菊五郎（西元 1885—1949 年）在同名戲劇中的造型。博物館中所展示的是其原型及未完成的模型，而雕像的本體則矗立在東京國立劇場大廳中。

＜日本語仮訳＞

井原市立平櫛田中美術館

彫刻家・平櫛田中（1872-1979）は、幅広い作風で情感豊かな作品を創造した。井原に生まれ、10歳で広島県福山近郊の家庭の養子となり、1897年に上京したが、東京では成功を掴むまで何年も苦労を重ねた。岡倉天心（1863-1913）をはじめとする有力な美術指導者たちからの称賛が、彼の作品が注目されるきっかけとなった。田中は天心に強い憧れを抱いており、天心の死後数十年経っても、田中は天心をモデルにした傑作を数多く制作した。1944年、田中は皇室技芸員に任命され、1970年には、井原市によって田中の業績を展示するためにこの美術館が建設された。美術館は井原駅からそれほど離れていない町の中心部にあり、田中が訪れた際には、建物の前にあるクスノキを植えたという。

美術館の収蔵品には、田中の芸術テーマが幅広く展示されている。鬼が人間を吐き出すという恐ろしい作品『転生』のように仏教観に基づいて人物を描いた作品もあれば、より身近なテーマにフォーカスした作品もある。彼の作品『姉娘』は、貧しくて家庭でラジオを所有することもできないことから、田中の娘が両手を耳に当ててひざまずき、近所のラジオに耳を傾けているところを表している。

田中の代表作のひとつに、歌舞伎俳優の六代目尾上菊五郎（1885-1949）の堂々たる『鏡獅子』像がある。『鏡獅子』は普段は東京の国立劇場のロビーに置かれているが、鏡獅子像の試作品や未完成作はここに展示されている。

【タイトル】 山成酒造

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**山成酒造**

山成酒造是井原市唯一一家仍在运营的清酒酿造厂。19 世纪的厂房建筑位于麦田和小田川沿岸的樱花树之间。只要提前预订并支付小额费用，您便可以参观设施，了解酿酒厂如何使用传统工艺酿造清酒。

山成酒造仍然使用传统设备，以人工方法进行酿造和装瓶作业。例如使用旧式锅炉蒸米，此方法如今已经十分罕见。另外，酿酒厂还利用周围的自然环境减少酿酒工序的能源消耗和废弃物排放。比如，酿好的清酒不使用冷藏设备保存，而是在夜间敞开大门以引入山间的夜风。山成酒造还与井原的农民合作，尽可能使用当地栽培的大米酿造清酒。2021 年，酿酒厂直接和当地农民合作种植高秆“雄町”米。这是冈山县栽培的备受欢迎的酿酒用大米，也是山成酒造主要使用的三种大米之一（其余两种是“曙”和“山田锦”）。

山成家族自 1804 年起经营这家酿酒厂，一家人就居住于此。而这座在 1882 年建造于酿酒厂旁边的明治时代（1868–1912）宅邸，曾招待过许多贵宾。现在提前预订的游客可以入内参观。

<繁体字>**山成釀酒廠（山成酒造）**

山成酒造是井原市現存唯一仍在營運的酒造。其矗立在稻田及小田川沿岸櫻花樹之間的十九世紀建築，可以透過事先預約及支付些許費用後，參觀酒造內的設施，了解傳統手法的釀酒工程。

山成酒造現在依然堅持手工釀造、裝瓶，並使用年代久遠的設備，例如現在已經非常少見的老式蒸米鍋釜等；同時也為了減少使用能源及釀造過程中產生的廢棄物，更是善加利用了周遭的自然資源，像是不使用冷藏設備，而是在夜間開放門扉引入山風熟成釀好的酒等。山成同時也跟當地的農民合作，盡可能在井原栽種「酒造好適米」（適合釀酒的稻

米)。西元 2021 年，山成酒造直接跟當地農民合作栽培「雄町米」的高莖品種，這是岡山酒造好適米的人氣品種、同時也是酒造使用的三個品種米之一（另外兩種為 Akebono＜曙＞ 以及山田錦）。

山成一家自西元 1804 年創業以來便經營這間酒造至今，家族成員也一直住在酒造的所在地之中。位於酒造旁、明治時代的建築，自從西元 1882 年以來招待了許多重要的賓客，現在則按需求開放遊客入內參觀。

＜日本語仮訳＞

山成酒造

山成酒造は井原市で現在も操業している唯一の酒造である。その 19 世紀築の建物は、田んぼと小田川沿いの桜並木の間にある。事前予約と少額の料金を支払えば、敷地内を見学ことができ、伝統的な手法の酒造りを見学することができる。

山成酒造では、醸造や瓶詰めの作業は、年代物の設備を使って今でも手作業で行われている。例えば、米を蒸すために用いられている昔ながらのポット式ボイラーは、今ではほとんど見かけなくなっている。また、醸造におけるエネルギー使用と廃棄物の両方を削減するため、酒造では自然環境を活用している。たとえば出来上がった酒を、夜の山風が吹き込む非冷蔵の空間で熟成させるなどの工夫が施されている。山成酒造はまた、地元の農家と協力し、酒造好適米のできる限り多くを井原で栽培したものを用いている。2021 年、山成酒造は地元の農家と直接提携し、岡山県産酒造好適米の人気品種であり、山成酒造が好む 3 品種のひとつである雄町を栽培し始めた（あとの二種はあけぼのと山田錦）。

1804 年の創業以来、山成家はこの酒造を経営しており、一家は敷地内に住んでいる。1882 年に蔵の隣に建てられた明治時代の邸宅は、多くの著名な賓客を迎えたことがある場所で、要望があれば見学にも応じている。

【タイトル】 美星町（中世夢が原、美星吉備高原神楽民俗伝承館、星尾神社）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

星空下的历史：井原市美星町

从井原市中心驱车约 20 分钟即可抵达位于山脉地区的美星町。美星町不仅再现了井原的武士时代历史，还保留了当地的祭祀舞蹈传统和美丽的星空景观。

中世梦原（中世纪主题公园）

中世梦原是一个历史文化公园，再现了日本中世纪的村庄。公园的建筑和布局参考了考古资料和古画卷，尽可能忠实地还原了时代的景象。村庄使用符合当时历史条件的材料和技巧建造完成。如果近距离观察木结构的房梁和柱子，可以发现用锛子（用于削平木料的工具）加工时留下的人字形花纹。其再现度之高，吸引了多家电影公司选择这里作为古装剧的外景地，同时也吸引了许多摄影和 cosplay 的爱好者前来。

中世梦原的村庄广场有一个集市，再现了种类丰富的中世纪店铺。其中有一家真正在营业的商店，还有一家铸剑铁匠屋在 4 月至 11 月期间每周进行一次铸剑演示。公园各处的农家采用不同的室内布局，展示了当时的生活和劳作空间。比如，一栋复原的上级农民武士（江户时代的一个阶层）的宅邸拥有宽敞的居住空间，而且附有马厩和存放武器的仓库，以备在武力冲突时保卫村庄。

山顶上重建了城堡的瞭望塔。旧时，士兵爬上如梯子般陡峭的台阶，观察是否有匪徒或敌军接近。城堡下方的堡垒则会存放食物、水和兵器，作为军队准备作战的基地。

备中神乐（备中地区的祭祀舞蹈）

美星吉备高原神乐民俗传承馆位于中世梦原主题公园的正门外，上演备中神乐的现场表演。神乐是指用于款待神灵或献上祈祷的神圣的仪式、舞蹈和演剧。备中神乐是当地传承演化的神乐。神乐的形式多样，有些偏向庄严，有些偏向华美，其中采用多彩的衣装和面具来表现神话中的神灵与鬼怪的形式较为常见。备中神乐就属于这个类型，许多舞蹈展现了与巨大的敌人展开的英勇战斗。就比如传承馆前摆放着的颜色鲜艳的蛇雕，其造型取材自神乐中八岐大蛇的衣装。八岐大蛇是日本传说中的八头蛇怪，由多个演员在舞台上演

绎。不过，备中神乐的风格相对内敛，因为其爱好者比起不断追求戏剧化的绚丽造型，更看重保留当地传统。

传承馆设有博物馆，展出备中神乐中使用的衣装、面具、道具及舞台布置。舞台被视为神圣的空间，在一个小高台上铺上榻榻米，从上方垂下一根注连绳（秸秆编成的绳子）和刻有各种吉祥图案的华美纸饰。观众席空间紧邻舞台边缘，可以近距离观看戴上面具的祭祀舞蹈和舞剑动作。

在星空下许愿

美星的地名有着“美丽繁星”之意。当地除了拥有清新的山间空气，还致力于暗夜保存（由国际暗夜协会 DarkSky International 提出的保护夜空的活动），通过安装特别的街灯降低光污染。因此，这里非常适合仰望星空，设有一个对公众开放的天文台以及 JAXA（日本宇宙航空研究开发机构）的太空垃圾监控站。2021 年，美星町获得亚洲第一个“暗夜社区”的称号，在日本又被称为“星空保护区”。不过，对星空的向往要追溯到更早。

根据传说，曾有当地农民在美星町上空目击到一颗流星在分解成三块碎片后坠入地面。当地人找到碎片的坠落点并建造了朴素的祠堂，用来供奉坠落此地的流星。1324 年，其中的一块碎片转移到别处并建造了完整的神社，也就是今天的星尾神社。

星尾神社在白天通常安宁静谧，然而因为这段流星的传说，每到七夕节都会成为热门景点。七夕节上，日本各地的人们在叫做“短册”的彩色纸条上写下自己的心愿，然后挂在竹子的枝条上。1989 年，星尾神社的宫司（最高神官）举行公开仪式，通过祈祷和在圣火中燃烧短册向星空传达了人们的心愿。如今，每年的七夕节（7 月 7 日或 8 月 7 日），都会看到各地的游客和收集自日本全国的短册，人们希望神社与流星的缘分能够助他们梦想成真。

<繁体字>

星空下的歷史：井原的美星地區

從井原市中心開車大約 20 分鐘即可抵達的山間美星地區，不但重現了井原武士時代的歷史，更保留了當地的劇場傳統及夜空景色。

中世夢之原

歷史文化公園「中世夢之原」，是以考古證據以及描繪當時情景的畫卷等內容，盡可能還原中世紀建築及內部格局的樣貌，並以符合當時的材料及工法所建造的村落。例如外露的木頭樑柱上，可以看得到人工以扁斧刨削的衫綾紋路（人字形紋路）等，其還原度之高，更吸引了電影製作公司前來取景拍攝時代劇，甚至還有攝影愛好者及角色扮演愛好者專程來此拍照。

中世夢之原的村落廣場中有個還原當時市場的情景，裡面則有一間真正在營業的商店、鑄造刀劍的刀匠工作坊，每年 4 月至 11 月間，週週都會實際展示當時的鑄造技術。而整個園區的各種農舍中也展現出當時人們安排生活及工作空間的方式，像是位階較高的農民武士大型房屋內，可以看得到飼養馬匹的馬廄、存放武器的空間等，是村內發生鬥爭事件時可以用來協助保衛村落的地方。

山頂上則重現了一座可以瞭望整座村落狀況的山城物見櫓（瞭望樓），可讓守衛爬上物見櫓的陡峭樓梯監視是否有山賊及敵軍靠近，下方則有堅固的要塞用以儲存食物、水及武器，是士兵們備戰的據點。

備中神樂

中世夢之原正門外有一座美星吉備高原神樂民俗傳承館，是備中神樂的表演設施。備中神樂為當地傳承的神樂，包含神聖儀式、舞蹈和戲劇，用於娛樂神明或祈願。日本的神樂表演可分成莊重、華麗等各種形式，很多流派會用鮮艷的服飾及面具來演繹神明與妖怪的神話，而備中神樂則屬於華麗形式，其呈現的舞蹈均有著盛大的英勇對戰場景。傳承館前方的色彩繽紛蛇像，便是依照八岐大蛇的服裝所設計而成。八岐大蛇是傳說中擁有八顆頭的妖怪，舞台上是由多名演員扮演。儘管外表呈現的樣貌華麗，但備中神樂在演出手法上則屬於較為低調者，因此喜愛備中神樂的傳承者會選擇保留當地的傳統，而非追求更戲劇化的呈現方式。

傳承館內展示了當地備中神樂的傳統服飾、面具及道具，另外則有個劇場空間。被視為神聖空間的舞台，是一個由榻榻米所鋪設而成的小型平台，上面懸掛著注連繩（區分神聖區域及凡間的結界），以及吉祥圖案的華麗剪紙。舞台邊緣設置了觀眾席，可以讓觀眾近距離欣賞戴上面具起舞及刀劍揮砍的精彩演出。

寄語星空

「美星」顧名思義就是「美麗的星星」。這裡除了有山區的清新空氣，更有著絕佳的

觀星環境，因此除了有公共天文台外，更吸引了 JAXA（日本宇宙航空研究開發機構）來此設立太空碎片監測站；當地也為了盡可能降低光害而裝設了特殊的路燈。美星町在西元 2021 年被認定為亞洲第一座「暗空社區」（即星空保護區），但這種重視星星的方式，在這裡並不是第一次了。

根據當地的傳說，曾有一顆流星在美星上空分裂成三個部分墜至地面後，當地的人們便循著碎片掉落的位置，在這三個地方建造簡單的祠堂供奉墜落的流星。其中一座祠堂則在西元 1324 年搬遷後重建為完整的神社，也就現在的「星尾神社」。

這座白天靜謐無聲的神社，每年都會結合跟星空之間的關聯，舉行獨特的七夕祈願祭。每逢七夕時節，日本各地的人們會在名為「短冊」的繽紛紙籤上寫下願望，並將之掛在竹枝上。西元 1989 年，星尾神社的宮司（神社位階最高的神職人員）舉行了一場公開儀式，用祈禱的方式將當地人們的短冊丟入神聖的火焰中焚燒，藉此傳達短冊上的願望至星空。現在每年的 8 月 7 日，神社會收到來自日本各地的短冊，以及專門來此參拜的人民，希望透過星尾神社跟星星之間的緣分實現他們的願望。

<日本語仮訳>

美星町

星空の下の歴史：井原市美星地区

美星地区は、井原の中心部から車で 20 分ほどの山間部に位置する。この地域では、井原の侍の時代の一端が再現されているほか、伝統演芸と夜景の両方が保持されている。

中世夢ヶ原

中世夢ヶ原は、中世の村を再現した歴史文化公園である。建物や間取りは、考古学的資料やこの時代を描いた絵巻物をできるだけ忠実に再現している。村は、この時代にふさわしい材料と技法で造られている。たとえば、むき出しになった木の梁や柱をよく見ると、手持ちの斧の刃で形を整えた杉綾模様が残っている。このリアルさが、時代劇のロケ地として利用する映画制作会社や、趣味の写真家、コスプレイヤーを惹きつけている。

中世夢ヶ原の村の広場には、実際に商品を販売しているお店一軒や、4 月から 11 月にかけて週に一度の鍛冶の実演が行われる刀鍛冶を含む、様々な店舗が再現された市場がある。園内のあちこちにある農家ごとに異なる間取りは、人々が生活空間と作業空間をどのように配置していたかを示している。例えば、上級の農民武士をモデルにした家は、馬を飼うための馬小屋と、紛争時に村を守るための武器などを備えた大きな家となっている。

丘の上には山城の物見櫓が再現されている。守備兵は梯子のような急な階段を登って山賊や敵軍の接近を監視し、その下には食料、水、武器を貯蔵する要塞があり、武士たちが攻撃に備える拠点となっていた。

備中神楽

美星吉備高原神楽民俗伝承館は、中世夢ヶ原の正門の外にあり、備中神楽を上演する施設である。備中神楽はこの地方に伝わるスタイルの神楽で、神々をもてなし、祈りを捧げるための神聖な儀式であり舞であり劇である。神楽には厳かなものから豪華なものまであり、神や物怪の登場する神話を鮮やかな衣装と仮面で表現する形式が多い。備中流は後者のカテゴリーに属し、その舞の多くは、巨大な敵との英雄的な戦いを表現している。ホールの前にカラフルな蛇の像は、そのような怪物である 八岐大蛇（伝説上の八つの頭を持つ大蛇で、舞台では複数の役者によって演じられる）の衣装をモチーフにしている。とはいえ、備中神楽はやや控えめなスタイルと考えられており、備中神楽を愛好する人々は、より劇的な派手さを求めるのではなく、地元の伝統を守ることを好む。

伝承館には、地元の備中神楽で使用される衣装、仮面、小道具の博物館があり、劇場スペースもある。神聖な空間とされる舞台は小さなひな壇で、畳が敷かれ、撚り藁の注連縄が張られ、頭上には縁起の良い切り絵が施された華やかな紙飾りが吊るされている。床席は舞台の端から始まり、観客は面を付けての舞や剣を振り回すアクションを間近に鑑賞することができる。

星へのメッセージ

美星という地名は「美しい星」を意味する。山間の澄んだ空気はもちろんのこと、特殊な街灯を設置するダークスカイ保存の取り組みにより、光害が少ない。そのため、公開天文台や JAXA（宇宙航空研究開発機構）のスペースデブリ観測所があるほど星空観測に適した環境である。2021 年には美星町がアジア初のダークスカイ・コミュニティに認定された。しかし、この星への関心は今に始まったことではない。

地元の伝説によると、農民たちは美星の上空で流れ星が 3 つに分裂し、地上に落下するのを目撃したという。人々はその破片がどこに落ちたかを追跡し、落ちた星を祀る簡単な祠をその場所に建てた。1324 年、この 3 つのうちの 1 つが移され、星尾神社という大きな神社とされた。

この神社は、昼間は静寂に包まれているが、毎年恒例の星にまつわる七夕の祭りでは、その星とのつながりから人気を博している。七夕には、全国の人々が短冊と呼ばれる色のついた紙切れに願い事を書き、笹に吊るす。1989 年、星尾神社の宮司が、祈祷と神聖な火で短冊を燃やす儀式を通して、その願いを天に届ける公開の神事を執り行った。今では 8 月 7 日の神事には、星尾神社の星とのご縁を信仰し、願いを叶えるための助けを得ようと、全国から短冊と参拝者が集まる。

【タイトル】 矢掛町矢掛宿

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

矢掛町历史街区和对领主的款待

矢掛町靠近主要的道路和河川，一直以来都是旅人的留宿之地。城镇中心位于旧山阳道一段笔直延伸 800 米的路段旁边。旧山阳道连通本州西部和西日本的古都，之后更是连通了其他道路，通往幕府所在的新首都江户（现东京）。这个街区紧密排列着约 200 栋町屋（古时的联排房屋）、生意兴隆的商家以及为大名（封建领主）和随从等贵宾提供住宿的旅馆。

作为驿站小镇的矢掛町

矢掛町在江户时代（1603–1867）是一个宿场町（驿站小镇），为前往江户的大名提供住宿。当时幕府的“参勤交代制度”要求各藩属地的大名每隔一年在江户居住。因为其耗**费**数周的行程**规模庞大**，且有数百名家臣同行，因此路途中**必须**在有可供大名及随从入住、**设备充足**的宿场町停留。

驿站小镇设有“本阵”和“胁本阵”。前者是专门用来招待大名和贴身随从的旅馆，后者用来招待地位更低的大名或随从。档次更低的旅馆和民房则用来招待其他随从，其数量可达数百人。

矢掛町的历史街区非常特别，拥有结构保存完好的本阵和胁本阵建筑。1969 年，两栋建筑都被列入了日本重要文化财产名单。

矢掛町的本阵和胁本阵

矢掛町的本阵位于石井家（代代经营矢掛町本阵旅馆的家族）所有的酒藏所在地内。宽阔的用地至今仍然归石井家所有并向公众开放。展品包括在此留宿的大名赠送给旅馆主人的昂贵礼物以及本阵旅馆的营业记录。这些历史资料与建筑本身一样珍贵，因为它们记录了重要官员的姓名、住宿日期、提供的菜品、随从的规模、花费的金额等重要信息。

本阵的建筑有特别的安全机关，包括带尖刺的围墙和精巧布置的台阶等，可以防止刺

客深夜潜入客房行刺。建筑内仍残留着奢华旅馆的遗迹，比如刻有松树、葡萄等精美图案的格窗和用黄金装饰的拉门。

矢挂町保留至今的胁本阵位于本阵以东约 350 米的位置。胁本阵归富商高草家族所有，旅馆设施庞大，拥有五间茶室、多个保险的仓库、一个馆内花园及其他用来休憩的空间，可以招待大名手下的重要随从。

这栋建筑仍然归高草家族的后代所有，目前是私宅，但部分区域在周末对外开放。现在的建筑结合了不同时代的风格，大多在 18 世纪晚期至 19 世纪中叶成形。

过去和今天的融合

“本阵”和“胁本阵”基本上位于矢挂町历史街区的两端。您可以在历史街区看到当地推动的古迹保存和美化措施的成果。

主街两侧排列着 17 世纪至 20 世纪的建筑，不同风格的融合体现了时代的变迁。比如，您可以观察到两种常见的屋顶风格。有些建筑的正门上方是人字形屋顶，称为“妻入”式（日语中的“妻”指山墙侧，“妻入”指入口在山墙侧）。其他建筑采用“平入”式（“平”指非山墙侧），人字形屋顶位于建筑侧面。日本的许多城镇都会选择其中的一种，像矢挂町这样的混合风格并不常见。

尽管建筑样式不同，通过抬高石板地基并在外部镶上木板，可以营造出风格的统一感。矢挂町制定了建筑标准，修缮或添加建筑结构前必须获得政府批准，确保改动不会破坏街道的历史气息。这条街道的大多数电话线都埋设在地下，路面则采用类似块石路面的设计。大多数建筑的入口面向街道，其中许多都有介绍建筑历史的解说牌。

沿街的许多古老建筑在最近实施的美化措施中经过了修缮，一些历史建筑的空间目前作为酒店、餐厅或礼品店对外开放。建筑的外部造型保留了原来的历史气息，而许多内部空间则采用现代设计，拥有当今的舒适感和品味。

<繁体字>

矢掛的歷史地區及大名的款待

矢掛町因為位於主要的街道及河川邊，長期都是旅人們停留歇息的地方。這座城鎮的中心位在舊山陽道上一段長 800 公尺的路途中，連接了本州西部及西日本的古都，後來更

與其他路線相連通往將軍的新首都——江戶（現在的東京）。這個地區的道路兩旁有 200 間狹窄卻生意興隆的商人住家「町家」，以及專門接待如大名等重要旅人的旅館等。

宿場町的矢掛町

矢掛町在江戶時代（西元 1603—1867 年）是驛站城市「宿場町」，是專門服務前往江戶履行幕府「參勤交代制度」的大名（參勤交代制度：大名必須每隔一年就前往首都居住）。因為其耗費數週的行程規模龐大，且有數百家臣同行，因此路途中必須在有可供大名及隨從入住、設備充足的宿場町停留。

宿場町中會有「本陣」及「脇本陣」，本陣是指定町中的住宅或商家，專門用來接待大名及部分親近家臣的旅館，脇本陣則是供低階大名及隨行人員停留的預備旅館；至於其他的數百名人員則安排在一般旅館及住宅中住宿。

矢掛的歷史區域同時擁有本陣及脇本陣，且各自保留了完整有特色的原始建築，在西元 1969 年皆被指定為國家重要文化財。

矢掛的本陣及脇本陣

矢掛的本陣位在石井家經營的酒藏內。該家族至今依然保有這片寬廣的用地，並開放民眾入內參觀。其內部展示了住宿於此的大名所贈送之昂貴禮物，以及極具歷史價值的本陣經營紀錄。這些紀錄記載了重要官員的姓名、入住的日期，及當時所供應的餐點、隨從人數、總支出金額等詳細資訊，其重要性完全不亞於建築物本身。

本陣的建築物除了有特殊的安全措施，例如頂端設有尖刺的牆壁，或是可以在黑暗中絆倒刺客的巧妙落差設計；另外也可以看到過往的奢華痕跡，像是欄間上有雕刻精美的松鼠、葡萄圖案，或是拉門上有著細緻的金色裝飾等。

本陣往東約 350 公尺的地方，便是矢掛的脇本陣建築。這棟宅邸為富商高草家持有，裡面設備完整，有五間茶室、安全的倉庫、中庭及其他休息空間等，足以接待大名隨行的重要成員。

這棟宅院目前為高草家後代所有的私人住宅，並會在週末開放部分區域供民眾參觀，宅院內則混合了西元十八世紀後期至十九世紀中期，各種風格及時代的建築物。

古今融合

本陣及脇本陣分別坐落在矢掛歷史區域的兩端，而整個區域則展現出矢掛町至今為了維護、美化歷史的努力。

主要街道旁的建築物，融合了西元十七世紀至二十世紀之間時代變遷的各種建築品味與特色。例如一般的建築物大概可以依照屋頂形式分成兩種樣子，其中一種名為「妻入」，其玄關位在懸山式屋頂的三角形位置下，另一種則是「平入」，玄關位在懸山式屋頂的單邊屋簷下。大部分地區的建築物都只會採用其中一種形式，但矢掛卻會有混合這兩種形式的模樣，也讓其顯得更為罕見獨特。

雖然這裡融合了各種建築，但依然會透過突出的石頭地基及外牆的木板裝飾來營造統一的風格。為了保留街道上的歷史風情，矢掛町的建築法規中，制訂了裝修及擴建時需要獲得自治團體同意的內容，且街道上的電話線皆已地下化，並鋪設了類似鵝卵石的路面等，而多數建築物的入口皆朝向街道，門口並會設置小型告示牌說明各自的歷史。

多數位在街道兩側的古老建築都為了美化而曾翻修過，部分歷史建築目前是旅館、餐廳及禮品店等商店，雖然外觀維持著原本的歷史風格，但內部裝潢則是現代化的品味及舒適的設計。

<日本語仮訳>

矢掛の歴史地区と大名のもてなし

主要街道と川沿いに位置する矢掛町は、古くから旅人が立ち寄る場所であった。西日本と、別の街道を使えば将軍のいる江戸の新都にも出ることができる古都を含む本州西部を結ぶ旧山陽道の直線約 800 メートルの区間に、町の中心部がある。この一帯には、200 軒もの狭い町家が立ち並び、商売も盛んで、大名やそのお供といった重要な旅人のための施設もあった。

宿場町としての矢掛

矢掛町は江戸時代（1603～1867）に宿場町となった。幕府の参勤交代制度により、地方の大名が隔年で江戸に滞在することになり、そのために江戸に出向く大名たちの宿場町となった。このような旅は、何百人もの家来を引き連れて何週間もかけて移動する大仕事であり、大名とその側近をもてなすのに十分な町家を備えた宿場町に立ち寄るには、綿密な計画が必要だった。

宿場町には、大名とその近臣を泊める「本陣」と、より身分の低い大名や家臣を泊める「脇本陣」があった。それ以下の旅館や屋敷は、残りの家来をもてなすもので、その数は数百にのぼることもあった。

矢掛町の歴史地区は、本陣と脇本陣の両方が保存状態の良いオリジナル建造物であるという点で特別な場所である。1969 年、両所は国の重要文化財に指定された。

矢掛の本陣と脇本陣

矢掛の本陣は、石井家が所有する酒蔵の敷地内にあった。広大な敷地は現在も石井家が所有しており、一般公開されている。展示物の中には、旅路の大名が宿主に贈った高価な贈り物や、本陣の営業記録などがある。これらの記録は、重要な役人の名前や彼らが滞在した日付、提供されたメニュー、従者の人数、使われた金額など、具体的な詳細がわかるため、建物と同様に歴史的に価値のあるものである。

本陣の建築には、棘のある塀や巧妙に配置された段差など、暗夜に忍び寄る刺客を欺くための特別な防犯のための特徴がある。リスやブドウの模様が美しく彫られた欄間や、金の装飾が施された襖など、豪華さがわかる名残もある。

本陣から東に 350 メートルほど行ったところに、矢掛の脇本陣が残っている。この屋敷は豪商・高草家の所有で、5 つの茶室やセキュリティ万全な蔵、中庭など、くつろげる空間などが充実しており、大名行列の要人をもてなすにふさわしいものだった。

屋敷は現在も高草家の子孫が所有しており、個人宅であるが、週末には敷地の一部が公開されている。現在の建物は様々な様式や時代のものが混在しており、そのほとんどが 18 世紀後半から 19 世紀半ばに建てられたものである。

過去と現在の混合

本陣と脇本陣は矢掛町歴史地区のほぼ対極に位置しており、この地区では矢掛町が現在進めている歴史保存と美化の営みが確認できる。

メインストリート沿いの建物は、17 世紀から 20 世紀にかけての建築様式を特徴としており、様々な様式が混在していることは、流行の変化を反映している。例えば、屋根には 2 つの共通したパターンがある。ある建物は玄関の上に切妻があり、これは妻入と呼ばれる様式である。他に、切妻を建物の側面に配した平入りと呼ばれる様式を採用したものもある。どちらか一方の様式を採用する地域は多いが、矢掛町のように混在している例は珍しい。

ばらつきこそあるものの、石造りの土台や外壁の板張りは様式的な統一感を生み出している。町は、改築や増築に自治体の承認を必要とする建築基準を制定しており、その変更は通りの歴史的な雰囲気にも貢献する。電話線は通りの大部分に埋設され、路面は石畳のようになっている。ほとんどの建物の入り口は通りに面しており、その多くには歴史を説明する小さな看板がある。

この通り沿いの古い建物の多くは、美化活動の一環として近年改修され、歴史的建造物の中には現在、ホテル、レストラン、ギフトショップが入っているものもある。建物の外観はオリジナルの歴史的建築様式を保っているが、内装の多くには快適さとデザインに現代的なセンスが反映されている。

【タイトル】 矢掛の山城

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

矢掛の山城（山上的城堡）

在矢掛町成为江户时代（1603–1867）的宿场町（驿站小镇）之前，这片地区一直是旧山阳道的重要路段。道路连通了京都等古都和西日本地区，最远可以抵达九州。在 15 世纪和 16 世纪，各方军阀为了扩张和守卫领土而展开角逐，监控旧山阳道等主要干道的交通具有重要的战略意义。矢掛地区不仅是用来侦察敌情的战略要地，山脉地形也非常适合建造山城。

山城是日本中世纪的防御工事，利用山脉地形建造。山城建有瞭望塔和兵营，为战斗准备好所需的武器和军队。与后期建造的结构更复杂、更持久的防御用城堡不同，山城采用简易的木结构，建有充裕的仓库，为敌军攻城做好准备。

当地最著名的山城之一是武将庄家长于 1205 年建造的“猿挂城”。由于在战场下立下的功绩，他的家族被赐予这片土地。他远在武藏国（今东京和周边地区）的盟军希望能对这个车马经常通行的路段进行监控。猿挂城就是为了这个目的而建的。它矗立在小田川旁的一座山上，可以近距离观察到河对岸的旧山阳道。陡峭的地形多为守卫山城的关键，而这座山极为陡峭，直到今天有些路段仍只能通过绳索通行。身披盔甲背着沉重兵器的武士想要抵达山城恐怕都需要花费九牛二虎之力。庄家长一族连续 15 代成功守卫了猿挂城，直到 1571 年。四年后，来自西日本屈指可数的武将世家的毛利元清（1551-1597）占领了山城。

毛利元清需要一个军事基地，不仅能守住敌军攻城，还能用于其他军事部署。他将当地的毛利军转移到茶臼山。这座山的地形更适合移动，能清晰地观察到山下的市镇、道路和河川的情况。茶臼山城于 1584 年建成。1587 年，丰臣秀吉（1537–1598）就是以这里为据点将毛利军部署到九州，以镇压当地的敌对势力。

尽管毛利家族控制了西日本的大部分领土，却在 1600 年的关键战役——关原之战中溃败，失去了包括矢掛地区在内的领土。在之后相对和平的江户时代（1603–1867），幕

府限制了可以保留的城堡數量，矢掛町的城堡和其他各地的山城紛紛被廢棄或拆毀。今天，在當年猿掛城矗立的原址，爬上山頂仍然是一項艱巨的挑戰，沿途可以看到城堡石基的遺迹。茶臼山城的原址現在是一個幽靜的公園，可以俯瞰矢掛町的景觀。

<繁體字>

矢掛的山城（山中城堡）

矢掛在成為江戶時代（西元 1603－1867 年）的宿場町（街道兩側以住宿設施為中心發展的城鎮）之前，曾是舊山陽道重要的延伸路段，其連接了京都等古都與西日本，一直延伸到九州。十五、十六世紀當各地武將為了擴張勢力、防衛領土而互相征戰時，持續監視如舊山陽道等主要道路就是非常重要的事；而矢掛地區在當時除了是戰略監視要塞，其山區地形也非常適合建造山城。

山城是中世紀為了抵禦外敵而善用山區地形所建造的城堡，其中包含瞭望樓「物見櫓」，以及存放武器、士兵駐紮的建築物。這跟後來強調永久性且防禦結構精巧的城堡完全不同，山城是簡單的木造建築，有著大量的倉庫可當作受困城中時的儲備物資。

矢掛地區最著名的山城之一就是「猿掛城」，是西元 1205 年由庄家長所建。庄氏一族因戰功顯赫獲賜此地後，其在遙遠的武藏國（現今的東京及周邊部分縣區）友軍則希望可以監視這個往來頻繁的交通要道，因而建造了猿掛城。猿掛城就位在小田川旁、可一目瞭然對岸舊山陽道的山上。陡峭的地形向來是眾多山城防守時的重要條件之一，但猿掛城所在的山上更是險峻難行，有的路段甚至是現在也還需要靠繩索才得以橫越，因此對當時的重裝武士而言，光是爬上山就已經困難重重，更別說還必須攻城了。庄氏一族因此成功堅守猿掛城十五代到西元 1571 年為止，4 年後才由西日本最有力的大名家族之一，毛利元清（西元 1551－1597 年）拿下了猿掛城。

後來毛利元清則因需要一個可以防禦，又可以因應其他戰事的總部，故而將當地的毛利軍移至比較容易通行的茶臼山，以清楚地俯瞰下方城鎮、道路及河流。茶臼山城完成於西元 1584 年，而西元 1587 年則成為豐臣秀吉（西元 1537－1598 年）調派毛利元清前往九州平定敵方勢力的據點。

毛利一族雖然控制了日本本州西邊多數地區，卻在西元 1600 年決定性的關原之戰落敗後失去多數領土，其中也包括矢掛地區。而到了比較和平的江戶時代後，因為幕府下令限制可以保留的城堡數量，故廢棄或拆除了包含矢掛的山城等日本其他山城。現在猿掛城

遺址所在の這座山依然險峻難攀，沿途還是可以看到殘留著城堡石頭地基的痕跡；而茶臼山城の遺址則是一座靜謐、可以俯瞰整座矢掛町街景的公園。

<日本語仮訳>

矢掛の山城

矢掛町が江戸時代（1603～1867）に宿場町となるずっと以前から、この地域は旧山陽道の重要な往来だった。この街道は、京都などの古都と西日本を結び、九州まで延びていた。15世紀から16世紀にかけて、敵対する武将たちが領土の拡大や防衛のために戦う中、旧山陽道のような主要な幹線道路を監視することは非常に重要だった。矢掛地域は監視のための戦略的な場所であっただけでなく、山城に理想的な山の地形を持っていた。

山城とは、中世に築かれた城郭のことで、山の地形を利用して防御のために築かれ、武器や兵を備えておくための物見櫓や建物があつた。防御のためにより恒久的で精巧な構造で建てられた後世の城とは異なり、山城はシンプルな木造建築で、籠城に備えて物資を貯蔵するための大規模な倉庫があつた。

この地域で最も著名な山城のひとつが、1205年に庄家長によって築かれた猿掛城である。彼の一族は武功の褒美としてこの地を与えられたが、遠く離れた武蔵国（現在の東京都とその周辺の県の一部）の友軍は、往来の多いこの地域を監視下に置いておくことを望んだ。そのため、猿掛城が築かれた。小田川沿いの山の上にこの城はあり、対岸の旧山陽道が間近に見渡せた。険しい地形は多くの山城にとって重要な防御条件であつたが、この山は非常に険しく、現在でもロープでしか登れない箇所がある。重い武器を携えた甲冑姿の武士たちには、城にたどり着くことは困難であつたろう。1571年まで、庄氏15代に渡って猿掛城を守り抜いた。その4年後にあたる1575年、西日本屈指の大名家に属する毛利元清（1551-1597）がこの城を手に入れた。

籠城戦に耐えられるだけでなく、他の戦術にも対応できる本拠地を元清は必要とした。彼は地域の毛利勢をより踏破が容易で、眼下に町や道路、川を見渡すことができる茶臼山に移した。1584年、茶臼山城が完成し、1587年にはその城が豊臣秀吉（1537-1598）が敵対勢力を制圧するため元清を九州に派遣する際の拠点となった。

毛利家は、本州西部の大部分を支配していたにもかかわらず1600年の関ヶ原の戦いでは敗軍の側に属しており、矢掛地域は彼らが失った領土のひとつとなった。その後の比較的平和な江戸時代、幕府は城の数を制限し、矢掛の城をはじめとする全国の山城は廃城となったり、取り壊されたりした。今日、猿掛城跡は、依然として登りごたえのある山であり、その道中では城の石積みの跡を見ることができる。茶臼山城跡は、矢掛町を見下ろす静かな公園になっている。

【タイトル】吉備真備公園

【想定媒体】WEB

<簡体字>

吉备真备公园

吉备真备（695–775）是一位颇有影响力的政治家，将许多中国文化的元素传入了日本，比如经过改良的天文观测法、阴阳学占卜术和围棋。

吉备真备生于一个有势力的家庭，年幼时便展现出过人的才学。他首先成为了朝廷官吏，此后的 717 年作为遣唐使派往唐朝。607 年至 838 年期间，日本共向唐朝派出 19 次遣唐使团，在不同的领域学习中国的科学和文化。吉备真备在中国留学 17 年，之后在日本朝廷获得了极高的地位。

吉备真备公园建于据说与吉备家族颇有因缘的地区，以纪念他的功绩。公园里矗立着他的伟岸雕像，开阔的广场沿圆形摆放着镶有代表古代智慧与文化符号的石块，另外还有一个巨大的围棋盘和纪念他在天文科学领域所作贡献的日晷。

吉备大神宫位于公园入口。这是一个供奉吉备真备的小神社。他作为学者的成就吸引了当地学生和家族慕名而来，在画有吉备真备形象的绘马（用于许愿的木牌）上写下心愿，祈求学业有成。

<繁体字>

吉備真備公園

吉備真備（西元 695–775 年）曾引進許多中華文化的元素至日本，如天文學的改良方法、陰陽道的占卜術，以及圍棋的玩法等，是影響日本深遠的政治家。

出身於地方望族的吉備真備，自幼便展現出學術方面的天賦，後來進入當時的日本朝廷擔任官員，並在西元 717 年成為遣唐使團的成員前往大唐（現今的中國前身一部分）。日本曾在西元 607 年至 838 年間派遣了 19 次遣唐使至中國學習各種領域的學問，這也是其中一次。吉備真備在中國待了 17 年後，返回日本擔任朝廷要職。

吉備真備公園為了紀念他的豐功偉業，而選擇建在與其家族有所淵源的地方。公園內設有一尊高聳的吉備真備雕像，另外還有一片紀念他天文科學成就的開放空間，四周環繞著刻有神秘占星術符號的紀念碑、一張巨大的圍棋石桌，以及日晷等物品。

公園入口處則有吉備大神宮，是供奉吉備真備的小神社，而當地的學生及家長則會因為他的學術聲望前來參拜，並在繪有吉備真備樣貌的繪馬（畫有圖樣的小型木板，用以寫下願望後供奉在神社中）上，寫下祈求學業有成的願望。

＜日本語仮訳＞

吉備真備公園

吉備真備（695-775）は、天文学の改良、陰陽道の占術、囲碁など、中国文化の多くの要素を日本にもたらしたとされる影響力のある政治家である。

地方の豪族に生まれ、吉備真備は幼い頃から学問の才能を発揮した。宮廷官吏として朝廷に入り、717年には遣唐使として唐に派遣された。これは、607年から838年にかけて日本が中国に派遣した19の使節団のひとつで、幅広い分野の研究を目的としていた。吉備真備はそこで17年間を過ごし、後に日本の宮廷で最高の地位に就くことになる。

吉備真備公園は、真備の一族ゆかりの地とされる場所に設けられており、彼の数々の功績を称えている。そびえ立つ吉備真備の像、神秘的で占星術的なシンボルを描いたモニュメントが円形に並ぶ広場、巨大な石の囲碁台、彼の科学的・天文学的研究を称えた日時計などがある。

公園の入り口には吉備大神宮がある。吉備真備を祀る小さな神社で、彼の学者としての名声に惹かれた地元の学生や父兄が、吉備真備の姿が描かれた絵馬に学業成就を祈願している。

地域番号	059	協議会名	錦町多言語解説協議会

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
059-001	ミュージアムのコンセプト	203	WEB ページ
059-002	人吉海軍航空基地の歴史	1155	WEB ページ
059-003	なぜ山の中に海軍航空基地が建設されたのか？	263	WEB ページ
059-004	【初期】少年兵の教育施設として	375	WEB ページ
059-005	【中期】特攻隊の訓練施設として	461	WEB ページ
059-006	【後期】本土決戦に備える兵站施設として	478	WEB ページ

【タイトル】 ミュージアムのコンセプト

【想定媒体】 WEB ページ

＜簡体字＞

前言

锦町立人吉海军航空基地资料馆（秘密基地博物馆）的建立，旨在展示国家之间的大规模冲突对整个社会的深远影响，即便是如锦町这般远离战场前线的小乡村，也难独善其身。资料馆讲述了第二次世界大战末期，这片位于九州中部、原本宁静祥和的田园乡村，其居民与自然风貌是如何被逐渐转变成日本防御性军事设施的故事。我们希望通过资料馆及其展品，能够促使人们讨论战争的惨痛、和平的重要性，以及政府和民众在防止未来冲突中起到的作用。

＜繁体字＞

前言

錦 秘密基地博物館的設立，是為了展示國家間的大規模衝突如何影響整個社會，包括像這樣遠離戰鬥前線的小型社區。這間博物館傳達的是第二次世界大戰末期，這片位於九州中部、原本寧靜祥和的田園鄉村之居民與風貌是如何逐漸轉變成日本防禦性軍事設施的故事。我們希望透過此博物館及其展示品，促進人們對戰爭的慘烈、和平的重要性，以及政府和國民為了防範將來的紛爭而應扮演的角色之討論。

＜日本語仮訳＞

ミュージアムの願い

にしき ひみつ基地ミュージアムは、国家間の大規模な紛争が、戦闘の最前線から遠く離れたこのような小さなコミュニティを含め、社会全体にどのような影響を与えるかを示すために開設されました。このミュージアムは、第二次世界大戦末期に、九州中部のこの平和な田園地帯の人々と風景が、どのようにして日本防衛のための軍事施設に変えられていったのかという物語を伝えています。私たちは、このミュージアムとその展示が戦争の惨禍と平和の重要性、そして将来の紛争を防ぐための政府と国民の役割についての議論を促進することを願っています。

【タイトル】 人吉海軍航空基地の歴史

【想定媒体】 WEB ページ

<簡体字>

人吉海军航空基地的历史

第二次世界大战前，这座资料馆周围是一片静谧的平原，位于九州南部的丘陵之间，遍布松林和野花，偶而能听到几声鸟鸣。据说几百年前此地曾是战场，但已不见任何遗迹。这里一直都是日本的一处偏远乡村，直到 1943 年秋天，一切都发生了变化。

日军与盟军之间的战争已持续了将近两年。日本在太平洋战场初期的快速推进因前一年的中途岛海战和所罗门群岛战役而被遏制。日本军队逐步后撤，部队从瓜达尔卡纳尔岛撤离，而英军开始在缅甸收复失地。同时美国潜艇对日本航运造成了致命打击。

尽管大多数日本人并不了解局势的严峻性，但日本军方领导人已经开始为本土防御制定计划。1943 年 11 月，这里开始建设机场，作为九州南部其他海军基地的中转与补给站。

作战开始

1944 年 2 月，人吉海军航空基地正式启用，这里配有一条 1500 米长的跑道，设有指挥部、训练设施和兵营。基地在接下来的一年间完成了其使命，包括接纳和训练了超过 6000 名青少年士兵，其中最小的仅 16 岁。当时，盟军似乎还很遥远。展览中保存的照片展示了一群训练兵们兴致勃勃制作年糕和进行阅兵式等活动的场景。

然而，到 1945 年 3 月，日本国内形势急转直下。3 月 10 日，美国的军机对东京实施了空袭，一夜之间超 10 万人死亡，100 万人无家可归。与此同时，在南边的硫磺岛，处于劣势的日军在拼命抵抗美国海军陆战队的登陆。3 月 18 日，战争的硝烟蔓延到人吉基地。14 架美军战机袭击了这里，破坏了机场，摧毁了建筑，造成包括 4 名村民在内的 13 人死亡。

转入地下

到了 1945 年 4 月，保卫本土成为日本军事战略的核心。随着盟军逐步占领冲绳，人吉基地和日本其他地区一样，再次遭到美军轰炸机的袭击。基地被改造成训练特攻队飞行员的训

练场，他们驾驶的是被称为“红蜻蜓”的九三式中级教练机。为了应对空袭，在火山岩中开凿了大规模地下隧道，用作防空洞、兵营和鱼雷工厂。6月，形势进一步恶化，航空训练被迫停止，剩余的航空兵和当地民众一起接受白刃战训练，以备与盟军在日本本土展开最后的决战。

然而，这场决战并未发生。1945年8月6日和9日，美国分别向广岛和长崎投下原子弹。8月15日，昭和天皇宣布无条件投降，战争结束。

回归和平

战后，人吉基地的大部分军事文件、军服及其他资料被快速焚毁。据曾驻扎于此的退役军人回忆，士兵们被迅速遣散，有部分人员为处理后续事务留守了数月。截至1945年11月，约有700名占领军驻扎在人吉地区。此后几年里，基地的部分建筑被改作学校、牛舍等，地下隧道则被当地居民用作仓库。

记忆的守护

2015年，在二战结束70周年之际，当地历史学家发现了一些揭示了人吉基地角色的重要文献。这些文件详细描述了基地的设施，包括巨大的隧道系统和跑道（现已成为通往资料馆的一段笔直道路）。2018年，锦町开设了“秘密基地博物馆”，用于展示隧道等基地遗迹，这些遗迹包括距资料馆2公里处部分修复的军用大门，以及松油生产工厂的废墟。

〈繁体字〉

人吉海軍航空基地的歷史

在第二次世界大戰之前，這間博物館的周圍盡是松林與花田，只是偶有幾聲鳥鳴，是一塊位於九州南部的丘陵間人煙稀少而靜謐的平地。據說此處曾經在幾百年前是戰場，但目前已不留任何相關的痕跡。在1943年秋季世局丕變之前，這裡一直都是日本的一處偏鄉。

當時，日軍與盟軍之間激烈的戰爭已持續將近兩年。日本在太平洋戰場初期的氣焰，因為前一年的中途島海戰和所羅門群島戰役而被壓制。此時日軍節節敗退，駐紮在瓜達康納爾島的部隊撤離該島嶼。英軍開始收復緬甸的失地，美國的潛水艇也對日本的航運造成了前所未有的致命打擊。

大多數的日本人尚不清楚局勢的嚴峻，但日本軍方的高層已開始制定本土防衛計畫。接著 1943 年 11 月，就在這個地方，作為九州南部其他海軍基地的中轉與補給站的機場建設開始動工。

作戰開始

擁有 1,500 公尺長的跑道、指揮部、訓練設施以及兵營等建築物的人吉海軍航空基地於 1944 年 2 月正式啟用。在接下來的一年裡，該基地曾容納並訓練了超過 6,000 名年僅 16 歲的青少年士兵，充分發揮了其作為軍事基地的作用。此時，進軍中的聯合國軍尚未逼近，展示的照片中可以看到充滿熱情的訓練生團隊參與搗年糕、進行閱兵式等場景。

然而，至 1945 年 3 月，國內戰局已急劇惡化。在 3 月 10 日的美軍東京大空襲中，一夜之間超過 10 萬名居民喪生，100 萬人無家可歸。南方的硫磺島上，日軍雖處於兵力劣勢，卻拼死守衛該島以抵擋美國海軍陸戰隊的登陸。3 月 18 日，戰火波及到人吉基地；14 架美軍飛機攻擊了該設施，摧毀了機場跑道及建築物，並造成包括 4 名當地村民在內的 13 人死亡。

轉入地下

到了 4 月，本土防衛成為日本軍事戰略的焦點。隨著盟軍逐步控制沖繩戰役的戰局，人吉基地和日本其他地區一樣，再次遭到美軍轟炸機的攻擊。該基地於是被改造，成了訓練特攻隊飛行員駕駛被稱為「紅蜻蜓」的九三式中級教練機的訓練場。日軍為了躲避美軍的空襲，在火山岩中開鑿大規模的地下隧道，作為防空洞、兵營和魚雷工廠之用。時序進入 6 月，局勢進一步惡化，航空訓練被迫停止，剩餘的航空兵與當地平民一起接受白刃戰訓練，以備戰即將與盟軍在日本本土展開的最後決戰。

然而，這場攻擊並未發生。8 月 6 日，廣島被投下原子彈，8 月 9 日，長崎遭受同樣的命運。隨後不久，8 月 15 日，昭和天皇發表廣播，宣布接受聯合國的要求，戰爭正式結束。

回歸和平

人吉基地的諸多軍事文件、軍服及其他資料在戰後不久即遭到焚毀。根據曾經進駐於此的退役軍人的證言，士兵們立即被遣散，但也有部分人員為了處理後續事務而留守了幾個月。在 1945 年 11 月的時間點，約有 700 名占領軍進駐人吉地區。此後的幾年裡，基地的部分建築被改為學校、養牛場等多種用途，地下隧道則常常被當地居民當作倉庫使用。

記憶的守護

随著戦後 70 年の到来，当地的郷土史學家於 2015 年發現了揭示基地角色的重要文獻。這些文件描述了包括巨大的隧道與跑道（現已成為通往博物館的筆直道路）在內的基地設施。2018 年，錦町開設了「秘密基地博物館」，向民眾展示現存的基地遺跡；遺跡包括位於博物館北方 2 公里處已被部分修復的營門，以及松油生產工廠的廢墟等。

<日本語仮訳>

人吉海軍航空基地の歴史

第二次世界大戦前、このミュージアムの周囲は、松林と花畑に覆われ、鳥のさえずりだけが聞こえる、九州南部の丘陵にひっそりと佇む人家のまばらな平地でした。この地域は数百年前に戦いの場となったと言われていわれていますが、そうした出来事の痕跡は見当たりません。1943 年の秋にすべてが変わるまで、この場所はずっと辺鄙な日本の田舎でした。

日本と連合軍との戦争は、ほぼ 2 年間にわたって激しく続いていました。日本の太平洋における初期の快進撃は、前年のミッドウェー海戦とソロモン諸島の戦いによって勢いが失われていました。日本軍はゆっくりと後退しており、ガダルカナル島に配備された部隊が撤退し、またイギリス軍がビルマの領土を奪還し始めていました。さらに、アメリカの潜水艦は日本の船舶にこれまで以上に致命的な被害を与えていました。

ほとんどの日本人はこうした事態の深刻さを知りませんでしたが、日本の軍指導者たちは日本の本土防衛のための計画を立て始めました。そして 1943 年 11 月、この場所で、九州南部の他の海軍基地への中継および補給基地として機能する飛行場の建設が始まりました。

作戦の開始

長さ 1,500 メートルの滑走路と本部、訓練施設、兵舎の建物を備えた人吉海軍航空基地は 1944 年 2 月に運用が開始しました。その後 1 年間は、この基地は下は 16 歳の 10 代の兵士 6,000 人以上を収容し訓練を行うといった基地の役割を果たすことができました。この頃は進軍する連合軍はまだ迫ってきてはおらず、展示されている写真には熱意あふれる訓練生の一団が餅つきや観兵式などを行う様子が写っています。

しかし、1945 年 3 月までに国内戦線の状況は悪化しました。3 月 10 日の米軍機による東京大空襲では、一夜にして 10 万人以上の住民が命を奪われ、100 万人が家を失いました。南の硫黄島では、日本軍が兵力で負けつつも島を米海兵隊の上陸から必死に守っていました。3 月 18 日、戦闘の波は人吉基地にも訪れました；14 機の米軍機が施設を攻撃し、飛行場に損害を与え、建物を

破壊し、地元の村民 4 人を含む 13 人が亡くなりました。

地下潜伏

4 月には、本土防衛が日本の軍事戦略の焦点となりました。沖縄は連合軍によって徐々に制圧され、日本各地の多くの場所と同様に人吉基地も再び米軍爆撃機の攻撃を受けました。基地は、「赤とんぼ」として知られる九三式中間練習機を操縦する特攻隊員の訓練場に変更されました。火山岩には大きな地下トンネルが掘られ、防空壕、兵舎、魚雷工場として使用されました。6 月に状況が悪化すると、航空訓練は中止され、残った航空兵は地元の民間人とともに、日本本土での連合軍との最終決戦に備えて白兵戦の訓練を受けました。

しかし、その攻撃は起こりませんでした。8 月 6 日に広島、8 月 9 日に長崎に原爆が投下され、そのすぐ後の 8 月 15 日に連合国の要求に屈した旨を伝える昭和天皇の発表が放送されました。戦争が終わったのです。

平和への回帰

人吉基地の多くの軍事文書や軍服、その他の資料は、終戦直後に焼却されました。そこに駐留していた元軍人の証言によると、入隊者はすぐに復員しましたが、処理のために数か月間残留していた人員もいたそうです。1945 年 11 月の時点で、人吉地区には約 700 人の占領軍が駐留していました。占領後、基地の建物の一部は学校から牛小屋に至るまで様々な用途に転用され、地下トンネルはしばしば地元住民によって倉庫として使用されました。

思い出の管理

戦後 70 年を迎えた 2015 年、地元の郷土史家が、基地の役割を明らかにする文書を発見しました。それらは、巨大なトンネルや滑走路（現在はミュージアムに続く真っ直ぐな道路となっています）を含む基地施設について説明しています。錦町は 2018 年、トンネルなど現存する基地の遺構を案内するひみつ基地ミュージアムを開館しました；遺構には、ミュージアムの 2 キロ北にある部分的に修復された軍門や松油生産工場の廃墟などが含まれています。

【タイトル】 なぜ山の中に海軍航空基地が建設されたのか？

【想定媒体】 WEB ページ

＜簡体字＞

为什么在这里建立海军基地？

在九州中心地带建造一个远离港口的海军基地看似不切实际，但实际上选址于此有着充分的考量。尽管位置相对偏僻，但空间开阔，周围的山丘形成了天然屏障。火山岩的地表为跑道的建设奠定了稳固的基础，当地常有的逆风也极大方便了飞机的起飞和着陆。

战略优势

人吉海军航空基地位于九州周边沿海海军基地的中心位置，使其成为一个理想的通讯枢纽、重要的燃料和其他必需品的补给仓库、以及潜在的武器制造地点。其远离海洋的地理位置也赋予了独特的战略优势：该基地位于美国最新型战舰上最大火炮的射程之外，这些大炮的最大射程通常为 30 到 40 公里。

＜繁体字＞

為什麼在這裡建造海軍基地？

在九州中心地帶建造一個遠離港口的海軍基地看似不切實際，但實際上選址於此理由充分。該地區雖然偏僻，但空間開闊，周圍的丘陵形成了天然屏障。此外，火山岩的地表為跑道的建設提供了穩固的地基，常吹起逆風的地形也極有利於飛機的起降。

戰略優勢

人吉海軍航空基地地處九州周邊沿海海軍基地的中心位置，使其成了一個理想的通訊樞紐、重要的燃料與其他必需品的補給倉庫，以及潛在的武器製造場所。其遠離海洋的地理位置也帶來了獨特的戰略優勢；該基地位於美國最新型戰艦搭載的最大射程通常為 30 到 40 公里的最高火炮的射程之外。

＜日本語仮訳＞

なぜここに海軍基地を建設したの？

どの港からも遠く離れた九州の中心部に海軍基地を建設するのは実際的ではないように思えるかし

れませんが、この場所を選ぶ上ではいくつかの納得できる理由がありました。この地域は辺鄙でありながら、周囲の丘に守られた広々とした空間を備えていました。また、火山岩の地表は滑走路建設のための強固な基礎となった上、離着陸時には常に向かい風が得られる地形でした。

戦略的な利点

九州周辺の沿岸海軍基地に対して中心的な位置にあった人吉海軍航空基地は、通信の理想的な拠点、燃料やその他の必需品の重要な補給基地、そして潜在的な兵器製造場所でした。海から距離があることも戦略的利点をもたらしました：基地は、通常最大射程が 30～40 キロメートルである米国の最新戦艦に搭載された一番大きな大砲が届かない場所にあったのです。

【タイトル】【初期】少年兵の教育施設として

【想定媒体】WEB ページ

<簡体字>

初期数月：训练年轻的飞行员

1944 年 2 月，随着基地的正式启用，人吉海军航空队应运而生。彼时，有超过 6000 名怀揣飞行员梦想的青少年士兵，年龄最小的仅 16 岁，加入了这支队伍。然而，由于飞机和燃料的严重短缺，训练重心不得不转向飞机维修，这令许多学员感到失望。仍有少数人得以接受飞行训练，他们驾驶的是九三式双翼机“红蜻蜓”，该机的实物大小复制品展示在资料馆的入口处。

艰苦的生物燃料生产

资料馆的展品包括一些曾在这里服役的学员的制服、训练记录和插图日记。随着盟军对日本的攻势加剧，飞机日益稀缺，人吉基地的年轻士兵们发现自己几乎没有与飞行相关的任务。许多人被命令去协助从大松树的根中提取松油。这是项艰苦的工作，需要先将木材切碎，再进行蒸馏。这种松油燃料与现有的飞机引擎并不兼容，它是为了开发中“橘花”喷气飞机准备的。“橘花”仅在 1945 年 8 月 7 日，即在战争结束前几天，飞行了 12 分钟。

<繁体字>

初期的幾個月：訓練年輕的飛行員

1944 年 2 月，人吉海軍航空隊隨著基地的啟用而成軍。當時超過 6,000 名，其中年齡最小僅 16 歲的十多歲青少年士兵懷著成為飛行員的夢想而加入了這支隊伍。然而，由於堪用的飛機和燃料的嚴重短缺，訓練計畫只好調整為飛機維修，這使得許多訓練生大失所望。少數得以接受飛行訓練的訓練生駕駛的是九三式雙翼機「紅蜻蜓」。與該機的實物一般大的複製品正展示於博物館的入口處。

艱難的生物燃料之生產

博物館的展示品包括一些曾經在此服役的訓練生的制服、訓練記錄和圖畫日記等。隨著盟軍對日本的攻勢加劇，飛機日益稀缺，身處人吉基地的青少年幾乎無法接到與飛行有關的

任務。許多人被命令去協助從大松樹的根部中提取松油；這是一項艱難的工作，必須在蒸餾前先將木材切碎。這種松油燃料並不適用於當時的飛機引擎，而被計畫用於研發中的噴射機「橘花」。然而，「橘花」僅在戰爭結束前的 1945 年 8 月 7 日飛行了 12 分鐘。

<日本語仮訳>

初期の数か月間：若い飛行士の訓練

人吉海軍航空隊は、基地が運用を開始したときに設立されました。下は 16 歳の 10 代の兵士 6,000 名以上が、パイロットになることを夢見て入隊しました。しかし、利用可能な航空機と燃料が決定的に不足していたため、訓練計画は航空機のメンテナンスに変更され、多くの訓練生を失望させました。少数の飛行訓練を受けたものたちは、ミュージアムの玄関に実物大レプリカが展示されている九三式複葉機「赤とんぼ」で訓練を受けました。

大変だったバイオ燃料生産

ミュージアムの展示品には、ここで勤務した訓練生の制服や記録、絵日記などが含まれています。連合軍による日本への攻撃が激化し、飛行機がますます不足する中、人吉の若者たちは飛行機に関連した仕事に従事することはほとんどありませんでした。多くは、大きな松の根から油を生産するのを手伝うよう命じられました；これは、蒸留前に木材を細断しなければならないという大変な仕事でした。この松油は既存の飛行機のエンジンには使えなかったものの、開発中のジェット機「橘花」に使われる予定でした；橘花は戦争が終結するわずか数日前の 1945 年 8 月 7 日、12 分間のみ飛行しました。

【タイトル】【中期】特攻隊の訓練施設として

【想定媒体】WEB ページ

<簡体字>

依赖“神风”的防卫

1945 年 4 月，当盟军进攻冲绳时，日本的军事领导人几乎无计可施。由于无法从海外获得天然资源，加上持续不断的空袭，国内几乎所有武器和其他重要物资的生产都已停止。接受过战斗训练的飞行员稀缺，大多已阵亡或下落不明。1944 年 10 月，军事指挥官命令组建神风特别攻击队，以期在莱特湾海战中扭转局势。其目的是通过源源不断、无法防御的自杀性攻击，削弱盟军海军的士气。

1945 年 5 月，人吉海军航空基地成为训练神风特攻队飞行员的中心，以守卫冲绳。其他基地的飞行员被带到这里，接受九三型双翼机的俯冲轰炸训练，然后返回自己的基地执行最后的任务。神风特攻队的袭击从多个地点发起，给盟军造成了毁灭性的打击：30 艘美国海军舰船被击沉，400 艘受损，约 1 万名船员伤亡。然而，日本飞行员和飞机的损失同样惨重，失去了 4000 名飞行员和 2600 架飞机。最终，甚至如资料馆入口展示的那种双翼机训练机也被用来执行神风特攻袭击。尽管这些训练机飞行速度较慢，但他们由木材和布料制成，有助于避开雷达探测。资料馆的展品包括照片、诗歌，以及为了让飞行员在最后飞行时不觉得孤单而赠送的纪念品等。

<繁体字>

依賴「神風」的防衛

1945 年 4 月，當盟軍進攻沖繩之時，日本的軍方高層幾乎已無計可施。由於無法從海外獲取天然資源，加上持續不斷遭受空襲，國內的武器及其他重要物資的生產幾乎都已停擺。接受過戰鬥訓練的航空兵也稀缺得很，大多已經陣亡或是下落不明。1944 年 10 月，日軍高層在雷伊泰灣海戰中下令組建神風特攻隊，企圖扭轉戰局。其目的是要透過無休止又難以防禦的自殺式攻擊，打擊盟軍海軍的士氣。

1945 年 5 月，人吉海軍航空基地成為訓練守衛沖繩的神風特攻隊飛行員的據點。來自其他基地的航空隊員為了執行特攻此一最後的任務，被帶到此地接受九三式雙翼機的俯衝轟炸訓練，然後再返回自己的基地。神風特攻隊從多處據點出擊，讓盟軍蒙受了慘重的損失；30 艘美國海軍艦船被擊沉，400 艘受損，約 1 萬名船員傷亡。然而，日軍為此也付出了慘痛的代價，失去了無可替代的 4,000 名航空兵和 2,600 架飛機。最終，甚至連博物館入口展示的那種雙翼機訓練機也被用來執行神風特攻隊的襲擊任務。儘管那種訓練機的飛行速度較慢，但是由於它們是用木材和布料所製成的，所以能夠有效地避開雷達的探測。博物館的展示品包括照片、詩歌，以及作為飛行員的心靈慰藉——為了讓其在執行最後飛行任務時感到「我並不孤單」而頒發的紀念品等。

<日本語仮訳>

神風に頼った防衛

1945 年 4 月に連合軍が沖繩に侵攻する頃には、日本の軍指導者たちにはほとんど手が残されていませんでした。日本はもはや海外からの天然資源を入手できず、絶え間ない空襲により武器やその他の重要物資の国内製造のほとんどが停止しました。戦闘訓練を受けた航空兵は、ほとんどが戦死したか行方不明となっていたため、不足していました。1944 年 10 月、軍指導者らはレイテ湾の戦いで、戦況を変えるために神風特攻隊の編成を命令しました。その目的は、防御不可能な自爆攻撃を際限なく続けて連合軍の士気を低下させることでした。

1945 年 5 月、人吉海軍航空基地は沖繩を守るための神風特攻隊員を訓練する拠点となりました。他の基地からの航空隊員は、特攻という最終任務のために本拠地に戻る前に、九三式複葉機で急降下爆撃の訓練を受けるためにここに連れてこられました。多くの拠点から行われた神風特攻は、敵に壊滅的な被害をもたらしました：米海軍の艦船 30 隻が沈没、400 隻が損傷、約 1 万人の船員が死傷しました。しかし、日本の空軍人と航空機の損失も同様に壊滅的であり、失った 4,000 人の航空兵と 2,600 機の航空機はかけがえのないものでした。最終的には、ミュージアムの入り口にあるような複葉機練習機でさえ神風特攻に採用されました。こうした練習機は速度が遅かったものの、これらが木と布で作られていたことはレーダーによる探知を避けるのに役立ちました。ミュージアムの展示品には、写真や詩、そして最後の飛行の際にパイロットに「自分はひとりぼっちではない」と安心させるために与えられた記念品などが含まれています。

【タイトル】【後期】本土決戦に備える兵站施設として

【想定媒体】WEB ページ

<簡体字>

最后的日子：保卫日本

“奥林匹克行动”是指原计划于 1945 年 11 月执行的盟军进攻日本九州南部的行动代号。计划制定者向美国总统杜鲁门报告，预计整个行动将造成盟军 25 万到 100 万的伤亡，同时也至少有相同数量的日本人死伤。面对这一计划，日本的回应是“决号作战”，即用大规模的陆空军力量，包括平民，去抗击盟军。所有年龄在 15 至 60 岁的健康男性和 17 至 40 岁的女性都被号召参与防卫作战。

“玉碎”的准备

由于日本的领导人将九州地区的防卫作为首要任务，因此驻扎在人吉海军航空基地附近的军队和民众也被纳入了防御计划之中。1945 年 2 月，为了让学生和教师能参与到战争中，当地的学校停课。6 月 1 日，基地的训练活动停止，训练生被转入地面战斗部队。一些人接受了挖掩体的伪装训练，他们的任务是从掩体中取出爆炸物，对途经的坦克发动自杀式攻击。许多平民接受了用尖竹枪作战的训练。由于奥林匹克行动的战线距离基地仅 20 公里，战斗似乎已不可避免。

悲剧的终章

1945 年 8 月 6 日，美国在广岛投下原子弹，造成约 14 万人死亡。三天后的 8 月 9 日，美国再次在长崎投下原子弹，超过 7 万人死亡。战争终于在 8 月 15 日随着昭和天皇宣布无条件投降而宣告结束。

<繁体字>

最後的日子：防衛日本

「奧林匹克行動」是盟軍原定於 1945 年 11 月對九州南部發動進攻的行動代號。該行動計劃的制定者向美國的杜魯門總統傳達：預估整個進攻行動將造成盟軍 25 萬至 100 萬的傷亡，同時也將讓日本方面出現至少相同數量的死傷者。日本面對此一行動計劃所採取的措施是「決號作戰」，亦即動員包括平民在內的大規模陸空軍戰力，全力抗擊盟軍。所有年

齡在 15 至 60 歲的健康男性和 17 至 40 歲的女性都被號召參與防衛作戰。

「玉碎」的準備

由於日本的領導人將防衛九州地區作為首要任務，因此駐紮於人吉海軍航空基地附近的軍隊和民眾也被納入防衛計劃。1945 年 2 月，為了讓學生和教師參與到戰爭當中，當地的學校全面停課。同年 6 月 1 日，基地的訓練活動被中斷，訓練生被編入地面戰鬥部隊。一些人接受挖掘掩體並進行偽裝的訓練，他們的任務是從掩體中取出爆炸物，對經過的戰車發動自殺式攻擊。許多平民也接受使用尖竹槍作戰的訓練。由於奧林匹克行動的戰線距離基地僅 20 公里，因此在這裡的戰鬥被認為已無可避免。

悲劇的終章

1945 年 8 月 6 日，美軍轟炸機在廣島上空投擲原子彈，造成約 14 萬人死亡。3 天後的 8 月 9 日，又一顆原子彈在長崎爆炸，超過 7 萬人喪命。最終，昭和天皇於 8 月 15 日宣布無條件投降，戰爭結束。

<日本語仮訳>

最後の日々：祖国を守る

オリンピック作戦とは、1945 年 11 月に予定されていた九州南部侵攻という連合軍の計画のコードネームでした。計画立案者らはトルーマン米大統領に対し、この侵攻全体によって連合軍側に 25 万人から 100 万人の死傷者が発生し、さらに少なくとも同数の日本人死傷者が出ることを予想するよう伝えました。この侵攻計画に、日本は民間人を含む大規模な陸空軍で侵攻者を迎え撃つ「決号作戦」で対応しようとしていました。15 歳から 60 歳までの健康な男性と 17 歳から 40 歳までの女性は全員、祖国の防衛に参加するよう期待されました。

玉碎の準備

日本の指導者たちは九州の防衛を最優先としたため、人吉海軍航空基地の近くに住む軍部隊や民間人も防衛計画に含まれていました。2 月には、生徒と教師が戦争遂行に協力できるよう、地域の学校での教育が停止されました。6 月 1 日、基地での訓練は中止され、訓練生のグループは地上戦闘部隊に転換されました。中にはカモフラージュを施した塹壕を掘る訓練を受けた者もいました；彼らはそこから爆発物を持って出てきて、通り過ぎる戦車に自爆攻撃を仕掛けることになっていました。多くの民間人は、尖らせた竹槍で戦うよう訓練を受けていました。オリンピック作戦の侵攻戦線の目標は基地からわずか 20 キロ南にあったため、戦闘を避けることは不可能だと考えられていました。

悲劇的な最期

1945 年 8 月 6 日、米国は広島に原子爆弾を投下し、これにより推定 14 万人が亡くなりました。

その3日後の8月9日、長崎に再び原子爆弾が投下され、7万人以上が死亡しました。8月15日、昭和天皇の降伏宣言により戦争は終結しました。

地域番号	060	協議会名	指宿市観光・経済戦略会議

解説文一覧

NO.	スポット名（タイトル）	中国語文字数	想定媒体
060- 001	知林ヶ島/知林ヶ島	375	アプリ QR コード
060- 002	指宿神社/指宿神社	400	アプリ QR コード
060- 003	砂むし温泉/砂むし温泉	430	アプリ QR コード
060- 004	指宿 温泉の歴史/殿様の湯	655	アプリ QR コード
060- 005	橋牟礼川遺跡/橋牟礼川遺跡	560	アプリ QR コード
060- 006	指宿の食文化① 魚/指宿の魚類	1035	アプリ QR コード
060- 007	指宿の食文化② サツマイモ/指宿のサツマイモ	395	アプリ QR コード
060- 008	指宿の食文化③ その他	590	アプリ QR コード
060- 009	長崎鼻/長崎鼻	405	アプリ QR コード
060- 010	鰻温泉/鰻温泉	470	アプリ QR コード
060- 011	指宿の伝説①/浦島太郎、山幸彦・海幸彦	770	アプリ QR コード
060- 012	指宿の伝説②/開聞岳と金峰山	425	アプリ QR コード
060- 013	山川港/山川港	1115	アプリ QR コード
060- 014	指宿の歴史/宮ヶ浜	590	アプリ QR コード
060- 015	指宿の地形/-	795	アプリ QR コード
060- 016	西郷隆盛と指宿/西郷隆盛と指宿	375	アプリ QR コード
060- 017	牧間神社/牧間神社	365	アプリ QR コード
060- 018	第二次世界大戦関連の施設/第二次世界大戦関連の施設	990	アプリ QR コード
060- 019	製塩/製塩	960	アプリ QR コード

060- 020	トカラ馬/トカラ馬	420	アプリ QR コード
060- 021	池田湖/池田湖	510	アプリ QR コード

【タイトル】 知林ヶ島/知林ヶ島

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>**漫步知林“爱之小路”通往知林岛**

知林岛虽是一座无人小岛，却是爱情的象征。一年有四个月，这座小岛与萨摩半岛之间相隔 800 米的海水。然而，当条件适宜时，一条沙洲会从海中浮现，形成一道狭窄却可徒步通行的地峡。这条沙洲便是人们所称的知林“爱之小路”。

鹿儿岛湾宛如一个碗状的深火山口，从海岸线陡然下降，而知林岛正位于湾口处，那里的水域相对较浅。每年 3 月至 10 月，黑潮暖流在鹿儿岛湾内来回流动，在知林岛与陆地之间堆积砂砾。到了冬季，随着黑潮减弱，季节性北风又将砂砾吹回大海，沙洲消失，知林岛与陆地再度分离。

这座小岛浪漫意境的由来，还与沙洲上可见的贝壳有关。当两枚大小相仿的心形蛤（学名：陷月鸟蛤）拼在一起时，恰好能组成一个完整的心形。当地传说，若能寻得一对相配的贝壳，便能找到真爱。在温暖的季节里，常有寻觅者漫步知林“爱之小路”，期待找到这种能匹配成对的贝壳。

<繁体字>**沿著知林小路前往知林島**

知林島是一個無人居住的小島，是愛的象徵。一年中有四個月的時間，知林島與薩摩半島之間隔著 800 公尺的水域。但海水在適當的時候退潮後，沙洲即從海中浮現，形成一個狹窄但適合步行的沙洲。這片沙洲被稱為知林小路。

鹿兒島灣是一個深碗狀的破火山口，從海岸線陡降。知林島位於鹿兒島灣的入口，水深相對較淺。從三月到十月，黑潮會流入鹿兒島灣，將砂土沉積在知林島和日本本土之間。當黑潮在冬季減弱時，呼嘯的北風會將砂土向外推回海裡，沙洲隨之消失，島嶼和海岸再次分開。

島嶼的浪漫聯想部分源自於沙洲上隨處可見的貝殼。當兩個大小相似的鳥蛤貝殼放在一起時，會形成一個心形。根據當地傳說，如果找到兩個大小相配的貝殼，就會遇見愛情。在

溫暖の月份，可以看到人潮沿著知林之路尋找兩個完美相配的貝殼。

＜日本語仮訳＞

ちりりんロードを歩いて知林ヶ島へ

知林ヶ島は鹿児島湾に浮かぶ小さな無人島で、愛のシンボルとなっている。1 年のうち 4 ヶ月間、この 3 キロの島は薩摩半島から 800 メートルの海を隔てている。しかし、条件が整えば、この小さな島と本土をつなぐ砂州が海から現れ、狭いながらも歩いて行ける地峡ができる。この砂州はちりりんロードと呼ばれている。

鹿児島湾は、海岸線から急に落ち込んだお椀のような深い形をしたカルデラである。知林ヶ島は湾口に位置し、水深は比較的浅い。3 月から 10 月にかけて、黒潮が湾内に流れ込み、知林ヶ島と本土の間に砂を堆積させます。冬の間、黒潮の流れが弱まると、卓越する北風が砂を沖に押し戻し、砂州が消えて島と海岸が再び離れる。

この島のロマンチックなイメージの一因は、砂州沿いで見られる貝殻にある。モクハチアオイ (*Lunulicardia retusa*) の貝殻は、同じ大きさの貝殻を 2 つ合わせるとハートの形になる。地元の言い伝えによると、同じ大きさの貝殻を 2 つ見つけると恋が叶うと言われている。暖かい季節には、2 枚の貝殻を見つけるためにチリリンロードを歩く姿が見られる。

【タイトル】 指宿神社/指宿神社

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

指宿神社的神树与古代艺术

指宿神社是指宿地区最古老的神社之一。该神社始建于公元 706 年，由天智天皇（626–671）下令修建。神社以其周围的神树林和珍贵的历史艺术品而闻名，其中包括十四世纪的能乐面具。现存的正殿和周边建筑大多建于 1847 年，是由当时势力显赫的岛津家族出资重建的。

一条蜿蜒的小道环绕着神社的正殿，顺着层层叠叠的石阶向上延伸。拾级而上，便能抵达神社的神树林，据说这片树林已有约 700 年历史。八棵高达 20 余米的樟树巍然耸立，周围还有朴树、银杏等其他树种。日本榕树盘虬的气根缠绕在这些树木的枝干之间。如此茂密、近乎原始的树林在鹿儿岛实属罕见，因而被县政府列为“天然纪念物”。

指宿神社还是当地一年一度春季神事活动的起点，这一传统可追溯至 1545 年。在这场名为“滨下”（意为“行至海边”）的神事仪式中，当地居民抬着一尊 4 米高的猿田彦大神神轿，从神社出发步行近 4 公里，最终抵达两个当地港口中的一处。

<繁体字>

指宿神社的神木與古代藝術

指宿神社是指宿最古老的神社之一。這神社是天智天皇（626–671 年）於 706 年下令建造的。本神社為人所知的特色有環繞神社場域的神木群，以及神社收藏的眾多歷史藝術品，包括十四世紀的能劇面具。目前的主殿和周圍的許多建築物可以追溯到 1847 年，當時是由顯赫的島津家藩主斥資重建。

順著參道繞著神社的中央拜殿，並往上走一小段石階。再往前走就是神社的神木群，樹齡據傳已有 700 年之久。八棵樟樹，有些超過 20 多公尺高，矗立在朴樹、銀杏等樹木之中。日本種海無花果的氣根捲繞著，並且纏繞著樹根。這種近乎原始茂密的樣態在鹿兒島十分罕見，而鹿兒島縣已將此處的神木群指定為天然紀念物。

自從 1545 年以來，揖宿神社便是指宿所舉行的春季儀式的起點。儀式稱為「濱下」，當地居民會抬著一座 4 公尺高的猿田彥大神的神轎，從神社步行將近 4 公里，到達兩個港口的其中一座。

＜日本語仮訳＞

指宿神社のご神木と古代アート

指宿神社は指宿で最も古い神社のひとつである。この神社は天智天皇（626-671）の命により創建された。境内を囲む神木の木立、14 世紀の能面を含む歴史的な美術品のコレクションで知られている。

現在の本殿と周囲の建造物の多くは、1847 年に島津家の藩主によって建て替えられたものである。

参道は、拝殿を過ぎて左に進み、小さな石段を上ったところにある。その先には、樹齢約 700 年とされる神社の木立がある。20 メートルを超える 8 本のクスノキがイチョウなどの木々の中にそびえ立っている。このような原始的な密生林は鹿児島では珍しく、県はこの社を天然記念物に指定している。

指宿神社は、1545 年から指宿で行われている春の神事の出発点である。「浜下り」と呼ばれるこの神事は、高さ約 4 メートルの猿田彥大神の神輿を地元の住民が神社から 4 キロ近く離れた 2 つの港のうちの 1 つまで約 4 キロの道のりを歩く。

【タイトル】 砂むし温泉/砂むし温泉

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

指宿沙浴：独特的海滨体验

指宿是世界上唯一拥有天然沙浴（称为砂蒸温泉）的地方。每年约有 30 万人来到指宿体验被温暖湿润的沙子掩埋的感觉。这种治疗性沙浴已有至少 160 年历史，据说具有改善血液循环、缓解疼痛等多种功效。

这种类似桑拿的沙浴是由当地独特的地质特征造就的罕见自然现象。在靠近内陆的地区，地热压力将山体地下水加热至 90℃以上，并推向地表。这些热水一部分喷涌而出形成天然温泉，其余则渗透入砂层向低处流动。当这些被加热的水流抵达海岸线时，与较冷且密度更大的海水相遇，随即被挤压上升至海滩的沙层之中，从而形成了独特的沙浴条件。

沙浴的过程十分简单。沙浴工作人员会在沙滩上挖出约 10 厘米的人形浅坑。浴者身着浴衣，仰卧在坑中，随后工作人员会用温热的沙子将其全身覆盖，只露出头部。经证实，湿润的热沙不仅能提供温暖包裹感，还有助于调节血压，促进血液循环。伴随着阵阵海浪声和徐徐海风，令人倍感放松。大多数人会埋在沙中约 10 分钟，但也有人享受这份惬意，往往一躺就是半小时以上。

<繁体字>

指宿砂浴：當地特色海灘娛樂

指宿是世界上唯一的天然砂浴所在地，稱為砂蒸溫泉。每年約有 30 萬人來到指宿，體驗被埋在溫暖、潮溼的砂土裡。療癒感十足的砂浴至少已有 160 年的歷史，據說有多種好處，包括改善血液循環和緩解疼痛。

這種三溫暖般的砂土是由該地區獨特的地質特徵所產生的罕見的自然現象。在內陸地區，地熱壓力將山裡的地下水推到地表，而溫度都超過攝氏 90 度。有些熱水冒出形成天然溫泉，其餘的熱水則經由砂土向下滲透。當熱水到達海岸線時，便會遇到較冷、密度較大的海水，因此被迫沖入海灘邊的砂土中，此處因而很適合進行砂浴。

砂浴的流程很簡單。首先，浴場服務人員在砂土中以水平方式挖出人身尺寸的洞，每個洞

的深度約有 10 公分。沐浴者穿著浴袍，臉朝上躺在洞裡，身上很快就被蓋滿溼熱的砂土，只露出頭部。研究表明，砂土的熱度和包覆的壓迫感可以升高血壓、促進血液循環，而海浪的聲音和涼爽的海風則可以讓人深度放鬆。大多數沐浴者會在砂土裡埋 10 分鐘左右就起身，但有些人則會埋半小時以上，享受砂土溫熱的感覺。

<日本語仮訳>

指宿砂むし温泉

指宿には世界で唯一の天然砂むし温泉がある。毎年 30 万人もの人々が指宿を訪れ、温かく湿った砂に埋もれる。砂風呂は少なくとも 160 年前から行われており、砂に埋まることで血行が良くなり、痛みが和らぐなど、さまざまな効果があるとされている。

サウナのような砂は、この地域の独特な地質学的特徴によって生み出される珍しい自然現象である。さらに内陸に行くと、地熱の圧力によって山の地下の水が 90℃以上の高温で地表に押し上げられる。水の一部は湧き出して天然の温泉を形成するが、残りは砂地を伝って下に向かって浸透する。加熱された水が海岸線に達すると、より冷たく密度の高い海水にぶつかり、ビーチ沿いの砂に押し上げられる。

砂浴びのやり方は簡単だ。まず、係員が砂地に深さ 10 センチほどの穴を掘る。そして、ローブを着た入浴者がその穴に顔を上にして横たわり、頭だけを出して砂で覆われる。濡れた砂の熱と包み込むような圧力は、血圧を上昇させ血行を促進することがわかっており、波の音と海からの涼しい風は深いリラックス効果をもたらす。ほとんどの海水浴客は 10 分ほど砂に埋まったままだが、中には 30 分以上もその感覚を楽しんでいる人もいる。

【タイトル】指宿 温泉の歴史/殿様の湯

【想定媒体】アプリ QRコード

<簡体字>

指宿，温泉之乡

指宿拥有日本最密集的温泉资源之一，已探明的温泉数量超过 1000 处。这里不仅汇聚了各式各样的温泉，还有举世无双的砂蒸温泉。实际上日语“指宿”一词的古代写法就蕴含着“温泉丰沛之乡”的含义。

指宿丰富的天然温泉得益于其火山地貌。指宿坐落在阿多火山口内，这是约 10 万年前一次巨大火山喷发遗留下来的。火山口内布满了较小的火山坑，其中一些形成于仅 6300 年前的剧烈喷发。而作为城市地标的锥形开闻岳山峰，本身就是一座活跃的玄武岩层状火山。正是造就这些火山的地热与压力，将富含矿物质的地下水煮沸并推向地表。数百年来，人们一直利用这些丰富的温泉水沐浴，甚至用于烹饪。

根据历史记载，早在 16 世纪初期，指宿就已是著名温泉胜地。最早到访日本的欧洲人之一，葡萄牙商人乔治·欧维士（卒于 1521 年）在其 1546 年的《日本事情报告》中就提到了指宿的温泉。17 世纪，当地的岛津家族领主在指宿建造私人别墅，以享用这里众多的温泉。

其中一位领主建造的浴场被当地人称为“殿样汤”，意为“领主的温泉”。这座始建于 1831 年的浴场至今以两种形式保存下来。虽然曾经环绕浴场的别墅已随时间消逝，但原有的浴池和部分瓷砖仍作为指宿的文化遗产保存下来。与之毗邻的地方有一家公共浴场，欢迎游客前来体验此处曾经服务于武士领主的温泉。

指宿市是一处极致完美的温泉胜地。无论您钟情于殿样汤这样历史悠久的浴池，还是偏爱健康乐园玉手箱等配备桑拿和泳池的现代化设施，无论您向往观海揽景抑或隐居山林，是偏好清澈的氯化物温泉还是芳香的硫磺浴，指宿总有一处温泉能满足您的需求。

<繁体字>

溫泉勝地：指宿

指宿已知的溫泉超過 1000 個，是日本溫泉最高度集中的地區之一。除了有各種類型的溫

泉外，還有全球罕見的砂浴（砂蒸溫泉）。「指宿」以前的地名曾經表示「泉水豐富的城鎮」，這並不奇怪。

指宿許多的天然溫泉源自火山地帶。指宿位於阿多破火山口內，此處是約 10 萬年前火山大爆發的遺跡。破火山口上遍佈著小火山口，有些是由 6,300 年前的火山大爆發形成的。圓錐形的開聞岳是指宿的地標景觀，它是一座玄武岩成層活火山。形成多座火山的熱度和壓力也造成富含礦物質的地下水沸騰到地表。好幾個世紀以來，人們一直用來沐浴和料理。

歷史記錄表明，指宿至少從 16 世紀早期就已經是一個溫泉勝地。葡萄牙商人佐治歐華利（卒於 1521 年）是第一批造訪日本的歐洲人之一，他在 1546 年公開的 *日本事情報告文* 獻中提到了指宿的溫泉。17 世紀，島津家的藩主在指宿建造私人別墅，藉以利用此地的多處溫泉水源。

其中一位藩主設立的浴場設施在當地稱為「殿樣湯」。殿樣湯可以追溯到 1831 年，至今仍保留著兩種形態。雖然曾經在殿樣湯周圍的別墅都已不再存在，但當時的浴槽和一些瓷磚花色仍有保留下來，並且成為指宿的文化財產。在隔壁的大眾浴場則歡迎遊客光臨，可以浸泡在以前武士藩主曾經享受過的溫熱水源。

指宿是充滿畫意詩情的溫泉天堂。無論是歷史悠久的浴場，像是殿樣湯，或者是具備桑拿和游泳池的新穎設施，像是玉手箱；無論是廣闊的海景或是翠綠山間的小木屋；無論是清澈的氯化物溫泉或是氣味特殊的硫磺溫泉；指宿具備的溫泉類型可說是任君挑選。

＜日本語仮訳＞

藩主の温泉であった指宿

指宿には、1,000 を超える源泉があり、日本有数の温泉密集地である。指宿温泉には、さまざまな種類の温泉のほか、世界的にも珍しい砂蒸し風呂（砂むし温泉）がある。「指宿」という地名が、"泉質の豊富な町" を意味する古い地名に由来すると考えられているのも不思議ではない。

これほど多くの天然温泉が存在するのは、主に指宿が火山地帯であることに起因する。指宿は、約 10 万年前に起きた大噴火の名残である阿多カルデラの中にある。このカルデラには、6,300 年前の大噴火でできた小さなクレーターがいくつも点在している。そして、街のシンボルである円錐形の開聞岳は、活動中の玄武岩成層火山である。複数の火山を生み出したのと同じ熱と圧力が、ミネラル豊富な地下水を地表に沸騰させ、何世紀もの間、人々はそれを入浴や料理にも使ってきた。

歴史的な記録によれば、指宿は少なくとも 1500 年代初頭には温泉地であった。日本を訪れた最初

のヨーロッパ人の一人であるポルトガルの商人、ジョルジュ・アルヴァレス（1521 年没）は、1546 年の『日本事情報告』の中で指宿の温泉について言及している。1600 年代には、島津家の領主が指宿に別荘を建て、指宿の温泉を利用した。

ある大名が、地元では殿様湯として知られる入浴施設を設立した。、1831 年に建てられ、現在も 2 つの姿で残っている。殿様湯を囲んでいた別荘は失われてしまったが、当時の浴槽やタイル細工の一部は指宿市指定文化財として残されている。また、隣接する公衆浴場では、かつて殿様が楽しんだのと同じ湯に浸かろうと、多くの湯治客が訪れている。

指宿は温泉天国である。殿様湯のような歴史ある温泉も、ヘルシーランド玉手箱のようなサウナやプールを備えた新しい施設も、広い海辺の景色も、緑豊かな山間の東屋も、透明な塩化物泉も、刺激的な硫黄泉も、指宿にはどんな人でも浸かれる温泉がある。

【タイトル】 橋牟礼川遺跡/橋牟礼川遺跡

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

桥牟礼川遗址

乍看之下，桥牟礼川遗址不过是一处普通的公园。然而，这片郁郁葱葱、令人心旷神怡的土地下，却深藏着对研究日本远古先民极其重要的历史遗迹。

1916 年，一名高中男生在这里玩耍时发现了幾片陶器碎片。他将碎片带给老师，而这位老师注意到这些碎片似乎融合了绳文和弥生两个日本史前文化的风格。在此之前，人们普遍认为绳文人和弥生人生活在不同区域，他们的陶器很少在同一地点被发现。老师随即将这些陶瓷碎片寄给了京都帝国大学的滨田耕作教授（1881-1938），后者敏锐地意识到这是厘清日本史前年代的绝佳机会。

滨田教授在桥牟礼川遗址展开发掘，除了发现更多的陶器，还找到了火山喷发的痕迹，这为地层年代提供了明确的依据。以这些火山喷发为参照点，滨田教授成功证实绳文人的存在远早于弥生人。这一发现为日本列岛文明的发展历程带来了全新的认知。1924 年，桥牟礼川被列为日本国家历史遗址，如今，复原的古代竖穴式住居成为该公园的主要景观。

时至今日，这里的考古发掘还在不断地为我们揭示着新的历史信息。正如意大利的庞贝古城，这里的火山灰同样掩埋了整个村落，将古人的日常生活永远定格。通过垃圾堆积和炊具，我们得以了解先民的饮食习惯；而封存在火山灰中的花粉，则为我们展现了不同历史时期的植被景观。这些珍贵文物中的部分藏品，现正在毗邻的指宿市考古博物馆展出。

<繁体字>

橋牟禮川遺跡

乍看之下，橋牟禮川遺跡看起來就像是一座普通的公園。不過，事實上，蔥綠的草地和輕鬆的氛圍掩蓋了此處遺跡對研究日本古代民族的巨大重要性。

1916 年，一名高中男孩在公園休閒時發現了一些陶器碎片。他把這些碎片拿給他的老師。老師注意到它們的樣式看起來像是日本史前民族繩文文化和彌生文化的混合體。在此之前，繩文人和彌生人據信生活在不同的地區，在同一處發現兩種文化的陶器的情況並不

常見。老師將這些碎片寄給了京都帝國大學的濱田耕作教授（1881-1938 年）。濱田教授認為這是釐清日本史前時代時間線的機會。

濱田教授在橋牟禮川遺跡進行挖掘，有更多陶器出土，還有火山爆發的跡證，可以清楚追溯地層年代。濱田教授以火山爆發為參照依據，可以證明繩文人早在彌生人之前就已經存在了。這項發現有助於釐清日本列島文明的發展。1924 年，橋牟禮川被指定為國家歷史遺跡，而如今這座公園的主要景點是古代穴居的複刻場景。

時至今日，考古發現不斷提供新的資訊。就像是義大利的龐貝古城，過去火山爆發產生的火山灰掩埋了多處村莊，反而將它們保存下來，便能夠當作古人日常生活的記錄。垃圾堆和料理器具可以透露他們的飲食，而火山灰中的花粉可以告訴我們歷史上不同時期曾經有哪些植物繁茂生長。此處遺跡出土的文物在鄰近的指宿市考古博物館展出。

<日本語仮訳>

橋牟礼川遺跡

橋牟礼川遺跡は、一見するとただの公園のように見える。しかし、青々とした芝生とリラックスした雰囲気は、日本の古代の人々を研究するうえでこの遺跡が持つ非常に重要な意味を覆い隠している。

1916 年、公園で遊んでいた男子高校生が、古い土器の破片を見つけた。彼はその破片を先生のもとへ持っていった。先生は、それらが日本の先史時代の民族である縄文人と弥生人が混在しているように見えることに気づいた。それまで、縄文人と弥生人は別の地域に住んでいたと考えられており、その土器が一か所で一緒に見つかるのは珍しいことだった。先生はその破片を京都帝国大学の濱田耕作教授（1881-1938）に送った。濱田教授は日本先史時代の年代を解明する好機とらえた。

濱田教授は橋牟礼川遺跡を発掘し、火山噴火の証拠とともに、地層年代を明確に示す噴火の痕跡を発見した。噴火を基準にして、縄文人が弥生人よりずっと前に存在していたことを証明することができた。この発見により、日本列島における文明の発展が明らかになった。橋牟礼川は 1924 年に国の史跡に指定され、現在は、古代の竪穴住居が再現されたものが公園のおもな見どころとなっている。

考古学的な発見は、新たな情報を提供し続けている。イタリアのポンペイのように、過去の噴火による火山灰は村全体を埋め尽くし、古代の人々の日常生活の青写真として保存されている。ゴミ塚や調理器具からは、彼らが何を食べていたかがわかり、火山灰に閉じ込められた花粉からは、歴史上のさまざまな時期にどのような植物が繁茂していたかがわかる。これらの遺物の一部は、隣接する指宿市考古博物館に展示されている。

【タイトル】指宿の食文化① 魚/指宿の魚類

【想定媒体】アプリ QRコード

<簡体字>

指宿美味：海鲜

指宿位于九州南端，黑潮暖流带来丰富的鱼类资源。该市五个渔港的渔民们通过拖网、刺网和单钓等捕捞方式，每年可捕获约 100 种鱼类。此外，如山川湾等深水庇护港湾的养殖业年产量平均达 70 吨。如此丰富的品种和产量使指宿成为海鲜美食天堂，其中最负盛名的是两大特产：本枯节和菜花红甘鱼。

本枯节

风干鲣节（又称柴鱼）是日本料理中不可或缺的食材。这种干制鱼肉可用于制作高汤，是众多日本菜品的核心原料，其薄如纸片的鱼片更可点缀豆腐和章鱼烧等多种美食。

制作鲣节工序繁琐，耗时良久。首先，将鲣鱼切片，小心地摆放在蒸笼中。接着在 90 度以上的高温中煮制数小时，使肉质变韧并锁住鲜味。随后手工为每块鱼肉去骨，在接下来的数周内反复熏制和冷却。这一过程令鱼肉干燥，还能防止有害细菌滋生。这一系列工序完成后，原本柔嫩的鱼片将变成漆黑坚硬的“荒节”。这些“荒节”可以刨成薄片使用。

在日本，有些地区偏爱“荒节”的微酸口感，但经过进一步加工，味道会变得更加醇厚复杂。在“荒节”表面培养有益菌，经过日晒后表层发酵，不仅香气更为温和，鲜味也得到提升。这种发酵后的鱼肉称为“枯节”。

指宿出产的特级枯节称为“本枯节”，经过多达四次反复发酵和晒制，其独特风味更显醇厚深远。制作“荒节”需要约 20 天，“枯节”则需要约两个月。相比之下，“本枯节”的制作周期可长达半年。日本约 70% 的“本枯节”产自指宿。

指宿菜花红甘鱼

红甘鱼是一种肉质紧实的白鲑鱼，常用于制作寿司或生鱼片。虽然也有野生红甘鱼，但日本市面上的红甘鱼主要来自养殖。日本全国年产量约 2.4 万吨，其中过半来自鹿儿岛县。

山川湾独特的形状和特征使其成为天然的水产养殖港湾。弯曲绵长的海岬犹如天然防波堤，几近垂直的堤岸避免了形成会激起巨浪的浅滩。与波浪侵蚀或沉积物堆积形成的港湾

不同，山川灣是地下水與岩漿接觸時爆炸形成的。爆炸留下的巨大火山口後來坍塌并被海水充滿，形成了這處避風港灣。這種類型的火山口被稱為“瑪珥”。

如今，在這片深邃平靜的海域中，設有近 100 個網箱，養殖着約 37 萬尾紅甘魚。每年春天，捕捉野生魚苗放入圍欄中養殖約 2 年，直到達到理想的 3.5 公斤體重。這些魚以“指宿菜花紅甘魚”品牌銷售。

指宿菜花紅甘魚以其生態友好的養殖方式而著稱。通常，養殖魚類會過度投喂以增肥，導致排泄物（和未食用的飼料）污染海洋環境。山川灣的漁場通過在飼料中添加促進分解的微生物來減輕生態影響。為了減少剩餘飼料，他們每周僅給魚喂食 3 次。經此方式養殖的紅甘魚據說口感更加新鮮，沒有腥味。

<繁體字>

指宿的美味：海鮮

指宿位於九州的南方海岸，而黑潮從熱帶帶來樣種豐富的魚群。指宿五個漁港的漁民會使用底拖網、刺網和單線捕魚方法，每年捕獲約 100 種魚類。除此之外，深水港，像是山川灣，每年平均養殖 70 公噸的魚。多樣性和豐富性讓指宿成為海鮮勝地，其中有兩種是當地的特色：本枯節和赤花間八。

本枯節

鰹魚乾（或稱柴魚）是日本料理不可或缺的食材。柴魚會用來煮高湯，這是許多日本料理的核心元素，也會添加到許多食物之中，像是豆腐和章魚燒。

柴魚的製作流程既漫長又辛苦。首先，將鰹魚切成魚排狀，然後在燉籠中小心排列。這些魚排會以攝氏 90 度以上的溫度熬煮幾個小時，讓魚肉變緊實，並鎖住鮮味成分。接著，每片魚排都經過手工挑刺，並且花好幾週反覆煙燻和冷卻。這道流程可以使魚肉水份收乾並防止有害細菌的生長。當這道流程完成後，原本軟嫩的魚排就會變成深色堅硬的硬塊，稱為「荒節」。然後這些荒節就可以削成鰹魚乾薄片。

日本某些地區的人偏愛荒節略有酸味的口感；不過，只要再多一道工，就能把它的風味變得更加滋潤又多層次。在荒節塗抹有益黴菌，然後在經過日曬風乾，外部便會發酵，淡化酸味並帶出鮮味。發酵過的魚肉便稱為枯節。

指宿生產一種相當高品質的枯節，稱為本枯節。它要經過高達四次發酵和乾燥，才會擁有更加濃厚的風味。荒節的生產工時需要約 20 天，而枯節則是約兩個月。尤其甚者，本枯節的製作工時則需要長達半年之久。日本的本枯節有 70% 左右就來自指宿。

指宿赤花間八

紅魷（間八）是一種肉質緊實的白肉魚，常被做成壽司或生魚片食用。雖然也有野生的間八，但日本料理的間八大部份都是養殖的。日本每年生產約 24,000 公噸，而有五成以上都來自鹿兒島縣。

山川灣的形狀和特徵符合天然港口的要件，而水域非常適合水產養殖。既長且彎的岬角則形成天然的防波堤，而近乎垂直的堤岸則沒有產生會造成湍流陡浪的淺灣。與海浪侵蝕或泥砂堆積所形成的港口不同，山川灣是地下水與岩漿接觸所形成的。兩者接觸後產生爆炸，留下一個大火山口，後來火山口坍塌，便充進海水，因而形成了一個由自然地形保護的海灣。這種方式形成的火山口稱為「瑪珥湖」。

這處海灣平靜的深水中設置了將近一百個箱網，養殖約 37 萬尾間八。每年春年捕獲的野生魚苗會移到箱網裡飼養約兩年，直到達到約 3.5 公斤的理想重量。這些魚販賣時會冠上「指宿赤花間八」的品牌名稱。

指宿赤花因生態友善的種植方式而聞名。通常會為了增長魚肉而過度飼養養殖魚，而產生的浪費物（和殘餌）會污染海洋環境。山川灣的漁場則是在餌料中添加有助於分解的微生物，藉此緩減生態衝擊。漁民每週也只餵魚三次，藉此減少殘餌量。據說，這樣生產的間八口感比較新鮮，腥味比較淡。

<日本語仮訳>

指宿の美味：海の幸

指宿市は九州の南岸に位置し、熱帯から黒潮が流れ込む豊かな漁場である。市内に 5 つある漁港では、底引き網、刺し網、一本釣りなどの漁法で、年間約 100 種類の魚が水揚げされている。さらに、山川湾のような水深の深い港では、年間平均 70 トンの魚が養殖されている。このような多様性と豊富さの組み合わせが指宿を魚介類の名産地にしているのだが、本枯節と菜の花カンパチという 2 つの特産品がある。

本枯節

鰹節は日本料理に欠かせない食材である。多くの日本料理の要となるだし汁を作るのに使用され、豆腐からたこ焼きまで、あらゆる料理に加えられる。

鰹節を作る工程は長く、手間がかかる。まずカツオを切り身にし、煮込み用のカゴに丁寧に並べる。その後、90 度以上の温度で数時間煮込み、身を硬くし、うま味成分を閉じ込める。次に、それぞれの

切り身を手作業で骨抜きし、数週間かけて燻製と冷却を繰り返す。この工程で魚は乾燥し、有害な細菌が繁殖するのを防ぐ。最初は柔らかい切り身だった魚は、荒節と呼ばれる黒ずんだ岩のように硬い切り身になり、フレーク状に削って調理する準備が整う。

日本では、荒節のやや酸味のある味が好まれる地域もあるが、さらにひと手間加えることで、まろやかで複雑な味わいになる。荒節に有益な菌をつけ、天日で干すと外側が発酵し、香りが和らぎ、うまみが増す。発酵後の魚は枯節と呼ばれる。

指宿では特に本枯節と呼ばれる高級な枯節を生産しており、この枯節は発酵と乾燥の工程を4回まで繰り返すことで、さらに味に深みが出る。荒節は約20日、枯節は約2ヶ月かかるが、本枯節は半年もかかる。日本で使われる本枯節の約7割は指宿産である。

いぶすき菜の花かんぱち

カンパチは身の締まった白身魚で、寿司や刺身でよく食べられる。天然物のカンパチもあるが、日本で食されるカンパチのほとんどは養殖物である。日本では年間約24,000トンが生産される。

湾の形と特徴が天然の港を作り出し、その穏やかな海は養殖に適している。長く湾曲した岬が天然の防波堤として機能し、ほぼ垂直の堤防は急な波が立つような浅瀬を残さない。波の浸食や土砂の堆積によってできた港とは異なり、山川湾はマグマが地下水と接触した際に形成された。その結果大きなクレーターが形成され、後に崩壊して海水で満たされ、自然に保護された湾を形成した。このように形成されたクレーターは "マール" と呼ばれる。

現在、深く穏やかな海には100近い網かごがあり、約37万匹のカンパチが養殖されている。春に捕獲された野生の稚魚は、理想的な体重である約3.5kgになるまで約2年間飼育される。これらのカンパチは、"いぶすき菜の花かんぱち" というブランド名で販売されている。

指宿菜の花は、環境に配慮した養殖方法で知られている。通常、養殖魚は太らせるために餌を与えすぎ、食べ残した餌（および食べ残し）が海洋環境を汚染する可能性がある。山川の養殖場では、飼料に分解を助ける微生物を加えることで、その影響を減らしている。魚に与える餌は週に3回だけである。こうして生産されたカンパチは、より新鮮で生臭くないと言われている。

【タイトル】 指宿の食文化② サツマイモ/指宿のサツマイモ

【想定媒体】 アプリ QRコード

<簡体字>

指宿美食：红薯

红薯传入日本已有约 400 年历史。这种从中国引进的作物，最初经由琉球王国（今冲绳）传入鹿儿岛。作为一种高热量且富含矿物质的根茎类蔬菜，红薯经由多条路径传入日本，而指宿的一位水手兼渔民前田利右卫门（卒于 1719 年）常被誉为在日本推广红薯的重要功臣。十八、十九世纪期间，日本多次遭遇饥荒，而鹿儿岛的红薯使当地百姓免于饥饿，因此前田成为当地英雄。如今，当地建有多座纪念碑和神社以缅怀他。

鹿儿岛疏松的火山土壤非常适合种植红薯，良好的排水性和温暖的气候为其生长提供了得天独厚的条件。如今，鹿儿岛县已成为日本最大的红薯产区，其中很大一部分产自指宿。红薯被用于制作多种当地传统美食，如红薯年糕和裹面糊油炸的红薯拔丝。此外，红薯还可用来酿造日式烧酒，一种传统的日本烈酒。指宿有六家烧酒酿造厂，其生产的烧酒在当地各家餐馆都有供应。按照传统习惯，人们喜欢用热水冲调烧酒，以此来激发其天然的酒香。

<繁体字>

指宿的美味：地瓜

地瓜是在約 400 年前傳入日本。當初的地瓜是從中國進口，從琉球王國（現在的沖繩）帶到鹿兒島。這種高熱量、富含礦物質的塊根蔬菜以前從多種途徑傳入，不過，它的普及則經常會歸功於指宿的水手兼漁民前田利右衛門（卒於 1719 年）。日本在十八、十九世紀遇到幾次饑荒期間，不過，鹿兒島的地瓜讓當地居民免於饑餓，前田利右衛門因此成為當地的大英雄。時至今日，有多處紀念碑和一間神社都是為了對他致敬而建造。

鹿兒島鬆軟的火山土壤非常適合種植地瓜，排水良好、氣候溫暖更可讓地瓜豐產。鹿兒島縣目前是日本地瓜產地大縣，而指宿則種植了大量的地瓜。蕃薯用於許多當地的傳統菜餚，例如地瓜年糕和酥炸地瓜籤。地瓜也是日本烈酒燒酒的原料。指宿有六家燒酒釀酒廠，市內餐廳都有供應各家釀酒廠的產品。傳統上，燒酒會摻入熱水，可以增強酒精的天然香氣。

＜日本語仮訳＞

指宿の美味：さつまいも

サツマイモが日本に伝来したのは約 400 年前。中国から輸入されたサツマイモは、琉球王国（現在の沖縄）から鹿児島に到着した。高カロリーでミネラル豊富な根菜であるサツマイモはいくつかのルートで伝わったが、指宿の船乗りであり漁師であった前田利右衛門（1,719 年没）が、を広めたとされている。サツマイモは鹿児島の大飢饉に欠かせない作物であり、前田利右衛門は多くの記念碑や神社まである、地元で愛される人物となった。

鹿児島のゆるやかな火山性土壌はサツマイモの栽培に適しており、水はけと温暖な気候がサツマイモの生育に適している。現在、鹿児島県は日本一のサツマイモの産地であり、指宿でも多くのサツマイモが栽培されている。サツマイモは、千切りにしたサツマイモを衣で揚げたガネや、サツマイモ餅（からいもねたぼう）など、多くの伝統的な郷土料理に使われている。また、サツマイモは焼酎の主原料でもある。指宿には 6 つの焼酎蒸留所があり、焼酎は町中のレストランで提供されている。伝統的にお湯で割ってアルコールの自然な香りを引き立たせている。

【タイトル】 指宿の食文化③ その他

【想定媒体】 アプリ QRコード

＜簡体字＞

指宿美味：秋葵

指宿是日本最大的秋葵产地，当地有近 1200 家农场都种植这种夏季作物。秋葵直到 19 世纪末才从非洲经由中国传入日本。即便如此，直到二战（1939–1945）结束后才开始大规模种植。1946 年，一位在苏门答腊品尝过秋葵的当地水手和一名在鹿儿岛农业研究所实习的人，分别将秋葵引入了指宿市。后来，这两位秋葵种植新手交换种子、培育杂交品种并推广秋葵，最终使指宿成为日本的秋葵之都。

如今，指宿的秋葵农户使用温室栽培将种植期延长至每年 2 月到 10 月，年产量超过三千吨。该市提倡一种生态友好的种植方式，即利用昆虫来自然防治危害作物的蚜虫。农户在秋葵旁种植高粱来吸引瓢虫，而瓢虫会捕食蚜虫。通过这种方式，农户可以利用自然天敌关系来减少害虫，无需依赖农药。

秋葵最宜趁新鲜食用。当季时，指宿各处餐馆都会供应秋葵天妇罗等传统日式料理，也可见于三明治和披萨等菜品中。

指宿美味：山川腌菜

指宿的山川地区以“山川渍”（山川腌菜）闻名，这是一种已有数百年历史的各种腌制白萝卜。这道菜的确切起源已不可考，但最早的记载出现在 1592 年岛津家战船的货物清单上。

制作山川腌菜需要长达半年时间。首先，将新鲜采收的萝卜挂起，在干燥的冬风中风干。大约一个月后，长长的萝卜变得柔韧，可以打结。然后用木臼和木杵将干萝卜捣碎，先加海水后加盐，最后放入大陶罐中发酵数月。最终成品是一种咸中带甜、略有嚼劲的腌菜，通常切成薄片食用。

＜繁体字＞

指宿的美味：地瓜

地瓜是在約 400 年前傳入日本。當初的地瓜是從中國進口，從琉球王國（現在的沖繩）帶

到鹿兒島。這種高熱量、富含礦物質的塊根蔬菜以前從多種途徑傳入，不過，它的普及則經常會歸功於指宿的水手兼漁民前田利右衛門（卒於 1719 年）。日本在十八、十九世紀遇到幾次饑荒期間，不過，鹿兒島的地瓜讓當地居民免於饑餓，前田利右衛門因此成為當地的大英雄。時至今日，有多處紀念碑和一間神社都是為了對他致敬而建造。

鹿兒島鬆軟的火山土壤非常適合種植地瓜，排水良好、氣候溫暖更可讓地瓜豐產。鹿兒島縣目前是日本地瓜產地大縣，而指宿則種植了大量的地瓜。蕃薯用於許多當地的傳統菜餚，例如 *地瓜年糕* 和 *酥炸地瓜籤*。地瓜也是日本烈酒 *燒酒* 的原料。指宿有六家 *燒酒* 釀酒廠，市內餐廳都有供應各家釀酒廠的產品。傳統上，燒酒會摻入熱水，可以增強酒精的天然香氣。

<日本語仮訳>

指宿の美味：おくら

指宿では 1,200 軒近い農家でオクラが栽培されており、日本最大のオクラの産地である。オクラが日本に伝わったのは、アフリカから中国を経由して 1800 年代末のこと。それでも広く栽培されるようになったのは、第二次世界大戦後（1939～1945 年）のことだ。1946 年、スマトラ島でオクラを試した地元の漁師が指宿に持ち帰り、鹿児島県農業試験場の研修生も同様に、オクラを持ち帰った。その後、2 人のオクラ農家は種子を交換し、交配品種を開発し、オクラの普及に努め、指宿は日本のオクラの主要産地として確固たる地位を築いた。

現在、同市では毎年 3,000 トン以上のオクラを生産しており、ハウスを利用して栽培期間を 2 月から 10 月まで延長している。同市はまた、作物に害を与えるアブラムシを昆虫で自然に駆除するという、環境に優しい農業も推進している。農家はオクラと一緒にソルガムを植え、アブラムシを食べてくれるテントウムシを呼び寄せる。こうすることで、農家は農薬を使わずに自然の捕食を利用して害虫の発生を抑えることができる。

オクラは新鮮なうちに食べるのが一番だ。旬の時期には、天ぷらなどの伝統的な日本料理にも、サンドイッチやピザにも、指宿のいたるところで提供される。

指宿の美味：山川漬

指宿の山川地区は、何百年も前から作られている独特の大根の漬物、山川漬で知られている。正確な起源は不明だが、1592 年に出航した島津家の軍艦の積荷目録に初めて記録されている。

山川漬を作るには最大で半年もかかる。まず、収穫したての大根を吊るして冬の乾燥した風の中で熟成させる。約 1 ヶ月後、長い根は結び目ができるほどしなやかになる。干した大根を木製のすり鉢とすりこぎでたたき、まず海水で、次に塩で、叩く。叩いた大根は大きな陶器の壺に入れられ、数ヶ月間発

酵させられる。完成品は、塩辛い甘みがあり、まろやかな歯ごたえで、薄くスライスして提供されることが多い。

【タイトル】 長崎鼻/長崎鼻

【想定媒体】 アプリ QR コード

＜簡体字＞

长崎鼻岬的传说与现实

长崎鼻岬是一处向太平洋延伸的弧形海岬，位于萨摩半岛最南端。相传此地是日本民间传说中主人公浦岛太郎的诞生地，故事中他曾骑着海龟前往海底宫殿。

长崎鼻岬与浦岛太郎的渊源，源自该海岬西麓沙滩上繁衍生息的红海龟。每年 5 月至 8 月，海龟便会爬上岸来，在沙滩上产卵。海岬上矗立着龙宫神社，其造型酷似传说中的海底龙宫。

龙宫公主丰玉姬是海洋女神，她就被供奉在龙宫神社中。在某些版本的传说里，浦岛太郎与丰玉姬喜结连理，因此这座神社成为祈求姻缘的热门场所。这里的参拜者不同于其他神社使用木制绘马，而是在贝壳上写下愿望。写满希望与祈愿的贝壳堆放在神社正殿周围和附近的浦岛太郎雕像四周。

自然爱好者则来到长崎鼻岬探索其南端熔岩流形成的潮池。这些潮池中生活着多种热带鱼类和珊瑚，它们是随黑潮暖流从南半球漂流而来的。这里还生长着大量琉球苏铁，这种植物堪称活化石，自中生代（2.519 亿年至 6,600 万年前）以来几乎未发生变化。

＜繁体字＞

長崎鼻的傳說與現實

長崎鼻是薩摩半島最南端向外伸入太平洋的弧形陸地。據說，此處是日本民間故事人物浦島太郎的出生地；故事中的浦島太郎騎在海龜背上前往海底龍宮。

在長崎鼻西側海灘上繁殖的赤蠵龜更是支持著浦島太郎與長崎鼻的關聯。在五月至八月之間，海龜會上岸在沙灘上產卵。長崎鼻也是龍宮神社所在地，不禁令人聯想到傳說中的海底龍宮。

龍宮城的公主叫做豐玉姬，她也是龍宮神社所供奉的女海神。在某些版本的傳說裡，浦島太郎娶了豐玉姬，所以龍宮神社也成為祈求愛情成功的參拜勝地。參觀這座神社的遊客將

願望寫在貝殼上，而不是其他地方使用的木製繪馬上。寫著美好祈願的貝殼堆放在主殿和附近的浦島太郎雕像周圍。

大自然愛好者會到長崎鼻探索南端熔岩流形成的潮汐池。黑潮從南半球帶來許多熱帶魚和珊瑚，此處的潮汐池也成為牠們的棲地。此處也是蘇鐵的生長地，蘇鐵是一種活化石，自中生代（2 億 5,190 年前至 6,600 萬年前）以來幾乎沒有任何改變。

＜日本語仮訳＞

長崎鼻の伝説

薩摩半島の最南端、太平洋に突き出すように湾曲した岬が長崎鼻だ。ウミガメの背中に乗って海底宮殿に行くという日本民話の登場人物、浦島太郎が生まれた場所と言われている。

浦島太郎と岬の関係は、岬の西麓の砂浜で繁殖するアカウミガメによって支えられている。ウミガメは 5 月から 8 月にかけて上陸し、砂浜に産卵する。岬には龍宮神社があり、伝説に登場する海底の龍宮を彷彿とさせる。

龍宮城の姫は龍宮神社に祀られている海の女神、豊玉姫である。浦島太郎が豊玉姫と結婚する伝説もあり、その後、龍宮神社は恋愛成就を祈願する人気のスポットとなった。この神社を訪れる参拝者は他の場所で使われる木製の絵馬ではなく、貝殻に願い事を書く。本殿の周りや近くの浦島太郎像の周りには、希望に満ちた祈りが刻まれた貝殻が積まれている。

長崎岬の南端にある溶岩流の中にできた潮だまりを探検しに、自然愛好家たちがやってくる。黒潮に乗って南半球から運ばれてきた熱帯魚やサンゴが生息している。また、中生代（2 億 5190 万年前から 6600 万年前）からほとんど変わっていない生きた化石であるソテツの群生地でもある。

【タイトル】 鰻温泉/鰻温泉

【想定媒体】 アプリ QRコード

<簡体字>

鰻温泉：与地下温泉共生

鰻温泉坐落在与世隔绝的深山村落中，依偎在鰻池湖畔的陡峭山坡上。这片湖泊形成于约 5700 年前火山口坍塌时，而鰻温泉至今仍是火山活动的活跃地带。从火山喷口升腾而起的灼热蒸汽，使道路热得足以熔化轮胎，而泉水涌出时温度更是高达 88.8 摄氏度。造访鰻温泉，无疑是一次感受乡野文化与自然力量的独特体验。

这片永不停息的地热能源周围逐渐孕育了一个小型社区。许多家庭都有私人蒸汽口，当地称为“蒸气孔”，居民用它来烹饪食物。人们将鸡蛋、肉类和蔬菜等食材放入篮中，置于滚烫的蒸汽上方，短短几分钟就能煮熟。游客们也可以在镇上广场的公共“蒸气孔”体验这种烹饪方式。

鰻温泉的居民经常泡温泉。许多居民不在家洗浴，而是选择去一处名为“西乡殿的汤”（Segodon Yukari no Yu）的公共浴场。这个名字源自西乡隆盛（1827-1877），一位十九世纪的武士和民间英雄，人们亲切地称他为“西乡殿”。他于 1874 年在鰻温泉下榻，据说他对住宿条件非常满意，便将自己的 13 只猎犬中的一只赠送给旅店主人以表谢意。如今，代表这些猎犬的石像分布在镇上的各个景点。

<繁体字>

鰻溫泉：溫泉之村

鰻溫泉是一處偏遠的山村，坐落在鰻池的陡岸上。鰻池是在約 5,700 年前火山口坍塌時形成的，而鰻溫泉持續受到火山活動的影響，是名副其實的溫床。灼熱的蒸氣從火山口升起，路面熱度足以融化車輛的輪胎，攝氏 88.8 度的溫泉水噴湧到地表。造訪一趟鰻溫泉可以體驗到鄉村文化與自然現象的力量融為一體。

源源不絕的地熱周圍已有形成一個小型社區。許多家庭都有自己的蒸汽口（一種灶口），居民會用來料理食物。將雞蛋、肉、蔬菜等食材放在籃子裡，放在灼熱的蒸氣上，幾分鐘內就煮熟了。遊客還可以利用城鎮廣場的公共蒸汽口料理自己的食物。

鰻温泉的居民經常使用溫泉水源。許多居民有時候不會在家洗澡，而是前往稱為「西鄉殿之湯」的公共澡堂。這個名稱來自十九世紀的武士西鄉隆盛（1827-1877 年），他備受眾人愛戴，為他取了「西鄉殿的」暱稱。1874 年，他住在鰻温泉，據說他非常喜歡下榻的澡堂設施，甚至將自己的 13 隻獵犬的其中一隻送給澡堂老闆，表達他的感激之情。每隻狗的石像散佈在鎮上的著名景點。

<日本語仮訳>

鰻温泉

人里離れた山間の村、鰻温泉は鰻池の急斜面に位置している。この湖は約 5700 年前に火山の噴火口が崩れてできたもので、うなぎ温泉は文字通り火山活動の温床であり続けている。火山の噴出口からは灼熱の蒸気が立ち上り、道路はタイヤが溶けるほど熱く、88.8℃の源泉が湧き出している。鰻温泉を訪れることは、田舎の文化と自然現象の力を感じるユニークな体験です。

この地熱を中心に小さなコミュニティが形成されている。多くの家には「スメ」と呼ばれる専用の蒸気口があり、住民はそれを調理に使っている。卵、肉、野菜などをかごに入れて灼熱の蒸気の上に置くと、数分で調理される。観光客も町の広場にある共用スメで調理をすることができる。

鰻温泉の住民は、温泉を頻繁に利用している。多くの住民は自宅で入浴するよりも、「せごどんの湯」と呼ばれる共同浴場を利用する。この名前は、「せごどん」の愛称で親しまれている西郷隆盛（1827-1877）にちなんでいる。彼は 1874 年にうなぎ温泉に滞在し、宿をととても気に入ったので、感謝の気持ちを込めて 13 匹の狩猟犬のうちの 1 匹を宿の主人に送ったと伝えられている。町の名所には、それぞれの犬をかたどった石像が点在している。

【タイトル】 指宿の伝説①/浦島太郎、山幸彦・海幸彦

【想定媒体】 アプリ QRコード

<簡体字>

现代指宿流传的古老传说（上篇）

在神道传统中，九州被视为日本的发源地，是神域与尘世交汇之处。九州岛上许多地方，包括指宿，都出现在流传了数百年的古老传说和民间故事中。以下是一些广为流传的故事。

浦岛太郎

浦岛太郎的故事是一个广为人知的童话故事，其主人公最早出现在公元 720 年的文字记载中。现代版本讲述了太郎制止一群孩子虐待海龟的故事。心怀感激的海龟带着太郎来到海底宫殿，在那里他遇见了乙姬公主。起初，太郎在宫殿中过着快乐的生活，但后来渐渐开始思念故乡。伤心的乙姬同意让他回到陆地，还赠送了他一个宝箱（称为“玉手箱”），但叮嘱他千万不可打开宝箱。太郎原以为自己在海底只待了几天，回到村子后却发现已过去数百年。他在困惑中打开了玉手箱，顿时烟雾缭绕，转眼间便化作一位白发苍苍的老人。

在被认为是浦岛太郎诞生地的指宿，处处可见这个故事的影子。以太郎宝箱命名的“指宿玉手箱”观光列车装潢豪华，设有转向座椅（以及儿童绘本）。在可以眺望高山的海滨温泉胜地玉手箱温泉，也处处可见浦岛太郎的印记。

山幸彦与海幸彦

山幸彦与海幸彦的故事是另一个关于海底奇遇的传说。这个故事最早记载于 712 年编纂的《古事记》中，这是一部收录传统传说和神话的重要典籍。

故事讲述了两兄弟各自拥有独特天赋。山幸彦是一位出色的猎人，而他的弟弟则是一位技艺高超的渔夫。有一天，山幸彦提议与弟弟互换工具，但他很快就弄丢了弟弟珍贵的钓钩。为寻找钓钩，他来到海神的水下宫殿，在那里邂逅并爱上了海神的女儿丰玉姬。他请求海神帮忙寻找弟弟的钓钩，海神便召集海中所有鱼类参与搜寻。最终在一条鲷鱼的嘴里发现了钓钩。临别时，海神赐予山幸彦能控制潮水的宝珠，他便胜利地返回陆地，准备归还弟弟的物品。然而，海幸彦仍然怒气未消。他拒绝接受钓钩，反而挑起了争斗。山幸彦使用宝珠呼唤潮水，差点淹死他的弟弟，最终海幸彦不得不屈服。

＜繁体字＞

現代指宿流傳的古老故事（上）

在神道教的傳統中，九州是日本的發源地，也是神間與凡間的交界處。島嶼的許多地方，包括指宿，都有出現在流傳好幾個世紀的古老傳說和民間故事裡。以下是幾則廣為流傳的故事。

浦島太郎

浦島太郎的故事是人人熟知的兒童故事，主角首次出現在 720 年的文字作品中。在現代的版本中，浦島太郎阻止一些小孩欺負海龜。感激不盡的海龜把浦島太郎帶到海底龍宮，因此遇見了乙姬公主。起初，浦島太郎很享受龍宮的生活，但之後就開始想家。難過的乙姬公主同意讓太郎返回陸地，並送他一個寶箱（*玉手箱*）。她警告浦島太郎千萬不能打開寶箱。浦島太郎回到村莊後，赫然發現原本以為只在海底度過幾天而已，在岸上其實已經過了好幾百年。懊惱不堪的浦島太郎打開了 *玉手箱*，箱子裡飄出一股煙霧，之後浦島太郎變成了一位老人。

指宿據說是浦島太郎的故鄉，因此浦島太郎故事的蹤影在指宿隨處可見。指宿的觀光列車「指宿之玉手箱」便是對浦島太郎的寶箱致意；這輛觀光列車的內裝豪華，也設置了許多朝向窗外的座椅（並提供兒童繪本）。玉手箱溫泉的名稱也是另一個例子，這裡是可以眺望高山的海濱溫泉旅館。

山幸彥與海幸彥

另一個海底冒險故事是關於鬧翻的兄弟檔山幸彥和海幸彥。這個故事最早被記錄在 *古事記*，這是在 712 編寫的文史典籍，收錄了傳統傳說與神話。

這個故事有關一對兄弟檔，各自都有一個獨特天賦。山幸彥是優秀的獵人，海幸彥是出色的漁夫。有一天，山幸彥提出交換工具，結果很快就弄丟海幸彥珍愛的魚鉤。山幸彥為了尋找魚鉤，來到海神的海底龍宮，並愛上了海神的女兒豐玉姬。山幸彥請求海神幫他找到海幸彥的魚鉤，海神便召喚海裡的魚群來幫忙尋找。最後是在一支海鯛的嘴裡發現魚鉤。海神賜予山幸彥可以控制潮汐的龍珠作為餞別禮物，山幸彥開心地回到陸地要歸還魚鉤。但是，海幸彥還是很生氣。他拒絕收下魚鉤，反而開始打架。山幸彥利用龍珠召喚潮汐，差點就要淹死海幸彥；最後海幸彥退讓了。

＜日本語仮訳＞

現代の指宿に伝わる昔話 前編

神道の伝統では、九州は日本発祥の地であり、神の領域が俗世間に触れる場所である。指宿を含

む島の多くの場所は、何世紀にもわたって語り継がれてきた古代の伝説や民話に登場する。ここでは、現代都市での生活に関連する人気の物語をいくつか紹介しよう。

浦島太郎

浦島太郎の物語は広く親しまれている童話で、その主人公が初めて文章に登場するのは720年のことである。一般的な現代版では、太郎がウミガメをいじめる子供たちを止め、感謝したウミガメは太郎を海底の宮殿に連れて行き、そこで乙姫と出会う。感謝したウミガメは太郎を海底の宮殿に連れて行き、そこで乙姫と出会う。最初は宮殿での生活を楽しんでいた太郎だったが、やがてホームシックにかかる。悲しんだ乙姫は、太郎を陸に帰すことに同意し、宝箱（玉手箱）を与える。しかし彼女は、決して開けてはならないと太郎に忠告する。太郎は波の下で数日過ごすつもりだったが、村に戻ると何百年もいなかったことに気づく。悩んで玉手箱を開けると、煙が立ちのぼり、太郎は老人に変身してしまう。

浦島太郎生誕の地といわれる指宿には、現在、この物語にまつわる資料が数多く残されている。指宿の観光列車「指宿の玉手箱」には、外向きの椅子（と絵本）が贅沢に置かれている。また、高山を望む海辺の温泉地、玉手箱温泉にも、浦島太郎にまつわるものが数多くある。

山幸彦と海幸彦

もうひとつの海底冒険譚は、確執のあった山幸彦と海幸彦の兄弟の物語である。この物語は、712年に出版された伝統的な伝説や神話を集めた重要な文献である『古事記』に初めて記録されている。

この物語は、それぞれに稀有な才能を持つ二人の兄弟にまつわるものだ。山幸彦は優れた猟師であり、弟は腕利きの漁師である。ある日、山幸彦は道具の交換を提案し、弟の釣り針をなくしてしまう。釣り針を探して、山幸彦は海神の海底宮殿に行き、そこで海神の娘、豊玉姫と恋に落ちる。彼は海神に弟の釣り針を探す助けを求め、海中のすべての魚が搜索に協力するよう呼びかけられる。最終的に、鯛の口に釣り針が刺さっているのが発見される。海神は山幸彦に饞別として潮を操る球を受け、山幸彦は弟の財産を返すために陸に戻る。しかし、海幸彦はまだ怒っている。彼は釣り針を受け取ることを拒否し、代わりに戦いを始めた。山幸彦は球を使って潮を呼び、弟を溺れさせそうになったが、最終的に弟があきらめた。

【タイトル】 指宿の伝説②/開聞岳と金峰山

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

现代指宿流传的古老传说（下篇）

许多民间故事都试图用通俗易懂的方式解释自然界的种种现象，常常将山川湖泊等自然地赋予人性化的特征。在指宿地区，此类故事比比皆是，尤其是与当地最高峰开闻岳有关的传说更是不胜枚举。

暴躁的开闻岳

作为一座活火山，开闻岳常被描绘成一个性情暴躁的角色。有许多关于开闻岳与其他山峰争斗的传说。

其中一个故事讲述了开闻岳与北面的金峰山之间的斗争。据说开闻岳山坡上曾有黄金，因此获得了“金城山”的美誉。金峰山因不再是唯一的“金山”而大为光火，向开闻岳投掷芒草，开闻岳则以投掷燃烧的木头还击。这场战斗最终引发山火，以开闻岳的胜利告终。不过，因为这场斗争，开闻岳的山顶至今仍然长满芒草。

另一个故事描述了开闻岳与南面的萨摩硫黄岛之间的争斗。虽然故事没有记载争斗的起因，但结果依然是相互投掷攻击。据说硫黄岛投掷的铁锤在开闻岳靠海一面留下了一个至今仍在的凸起，而开闻岳向硫黄岛投掷燃烧的稻草，引发了大火。据说这就是硫黄岛至今仍在冒着火山烟的由来。

<繁体字>

現代指宿流傳的古老故事（下）

許多民間故事會試圖以熟悉的詞語來解釋自然界的各種面向。故事裡的山脈、湖泊等自然地貌通常都會被敘述成具有人類特質。指宿流傳著許多這樣的故事，尤其是關於當地最高峰開聞岳的故事。

愛發飆的開聞山

開聞岳是一座活火山，在民間故事裡經常被描繪成個性魯莽暴躁。在許多故事裡，開聞岳喜歡和其他山脈逞兇鬥狠。

其中有一個故事講述的是開聞岳和北邊的金峰山之間的鬥爭。大概是因為開聞岳的山坡上含有黃金，因此就被取了「金城山」的別稱。金峰山因為自己不再是唯一的「金山」而憤憤不平，就向開聞岳扔了好幾把芒草；開聞岳為了報復，就向金峰山扔回了一塊燃燒的木頭。結果引發一場森林大火，結束了這場鬥爭，開聞岳打贏了。不過，開聞岳的山頂上仍然長著茂盛的芒草。

另一個故事敘述的是開聞岳和南邊的硫黃島發生的爭執。故事裡沒有記錄兩者之間的爭吵是怎麼展開的，不過，結果是一樣的：雙方互射飛彈。據說，硫黃島拋出的一支大鐵鎚在開聞岳面海的山坡上弄出一個腫包，至今還沒有消退呢。不甘示弱的開聞岳將燃燒的稻草扔向硫黃島，蔓延成一場大火。據說，這解釋了為什麼硫黃島會有火山煙霧。

<日本語仮訳>

現代の指宿に伝わる昔話 後編

多くの民話は自然界の様相を身近な言葉で説明しようとしており、山や湖などの名所に人間のような動機があるように描写されることが多い。指宿にはそのような話が多く、特に最も高い山である開聞岳にまつわるものが多い。

気性の荒い開聞岳

開聞岳は活火山であり、気性の激しい山として描かれることが多い。開聞岳が他の山々とけんかをするという話は数多くある。。

その一つに開聞岳とその北にある金峰山との戦いにまつわる話がある。開聞岳の斜面には金があり、「金城山」と呼ばれていた。唯一の「黄金の山」でなくなったことに激怒した金峰山は、ススキの塊を開聞岳に投げつけ、開聞岳は燃える丸太を投げ返した。その結果、山火事が起こり、開聞岳の勝利として戦いは終わった。しかし、その影響で開聞岳の山頂には今でもすすきが生えている。

別の言い伝えでは、南の硫黄島との山同士のけんかについて語られている。戦いがどのように始まったかはもう書かれていないが、その結果は同じで、ミサイルの応酬である。硫黄島が投げたハンマーが、開聞岳の海側の斜面にこぶを作ったと言われている。一方、開聞岳は燃える藁を硫黄島に投げつけ、火事を起こした。これが硫黄島の火山煙の正体であると言われている。

【タイトル】 山川港/山川港
【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

山川港：低调的贸易、文化与政治中心

山川港是位于鹿儿岛湾口的一个小海湾，这里停靠着当地渡轮，每年养殖数百吨鱼类。尽管规模不大，但得益于其位于鹿儿岛最南端的地理位置和独特的地质条件，这个港口在数百年间一直是贸易、文化和政治的重要据点。

山川湾被一条如臂弯曲的沙质海岬环抱保护。这道沙洲阻挡了大浪涌入港湾，即便在恶劣的暴风雨天气也能确保内港平静。山川湾向内陆延伸约 2 公里，岸边陡峭，虽然港口面积相对较小，但能停泊较大的船只。

如此得天独厚的条件源于约 5700 年前的一次地下爆炸。这次爆炸是由于岩浆与地下水相遇，产生了过热蒸汽和极端压力。爆炸最终形成了一个巨大的火山口。这种被称为“玛珥”的火山口通常会积蓄雨水和地下水形成湖泊，然而在这里，东侧火山壁却坍塌了，导致海水涌入，形成了山川湾。

纵观历史，这个安全的港湾在贸易、文化和政治方面发挥了重要作用，尤其是在江户时期（1603–1867）。从 12 世纪到 1868 年，萨摩藩（现在的鹿儿岛）一直由岛津家族统治。山川湾为他们提供了与琉球王国（现在的冲绳）、中国及其他地区进行海上贸易的港口。这些贸易路线不仅让他们得以进口商品，还引进了医疗、科学和技术知识。

1546 年，葡萄牙商人乔治·欧维士（生卒年不详）在山川港登陆。他是最早到访日本的欧洲人之一。欧维士在此地逗留半年，应耶稣会传教士方济各·沙勿略（1506–1552）之托，记录下了《日本事情报告》。受此报告鼓舞，沙勿略于 1549 年率领第一批基督教传教士团来到日本。

到了 17 世纪 30 年代，执政的德川幕府对外来影响尤其是基督教的影响日益警惕。在接下来的十年里，将军德川家光（1604–1651）驱逐了传教士在内的所有外国人，关闭了贸易和外交之门。不过，山川港仍保持着与琉球群岛的贸易往来，这一罕见的特权进一步增强了岛津家族的财力和权势。

到了 19 世纪中期，在外国势力要求重新开放的压力下，日本的闭关锁国政策开始动摇。山川港的功能从贸易转向防御。当地官员密切监视着鹿儿岛湾的入口，一旦发现外国船只就用烽火向鹿儿岛的岛津家族发出警报。

日本最终被迫开放国门，掀起了 19 世纪末期的西化浪潮。1930 年，一家造船厂在山川港成立，近 70 年间在此建造货船和渡轮。

同时，渔业逐渐成为该港口的主要产业。黑潮暖流经过该海湾，带来了丰富的鱼类资源，其中包括来自热带的各种鱼类。这里丰富的鲣鱼（柴鱼）资源吸引了一家鲣鱼片制造商于 1909 年在山川港设厂。鲣鱼是日本料理中不可或缺的调味料。如今，山川港已成为日本顶级鲣鱼品种“本枯节”的最大产地。

这里还拥有蓬勃发展的水产养殖业。每年在约 100 个网箱中养殖约 37 万尾红甘鱼。为了保护这个历史悠久港口的环境，养殖采用环保方式进行。

＜繁体字＞

山川港：低調卻舉足輕重的貿易、文化和政治樞紐

在鹿兒島灣口有一處小港口：山川港；這裡不僅是本地渡輪的碼頭，每年還養殖數百公噸的漁獲，為地區經濟增添活力。雖然它的規模不大，但憑藉鹿兒島最南端的地理優勢與獨特的地質條件，數百年來一直是貿易、文化和政治的重要舞台。

山川港被一條彎曲的沙洲環抱，猶如一隻手臂溫柔地擁抱著港灣。這條沙洲不僅阻擋了大浪，更讓港口即使在暴風雨來襲時依然風平浪靜，成為船隻的安全避風港。港灣向內延伸約 2 公里且岸邊突然變深，因此這個小巧的海灣竟然足以容納大型船隻，實在是超乎想像。

這片偶然的獨特地形來自約 5,700 年前的一場地底大爆炸。當岩漿遇上地下水，過熱蒸汽與極端壓力瞬間爆發而產生劇烈的爆炸，留下了巨大的火山口。這類火山口被稱為「低平火山口」，通常會因下雨與地下水積水形成湖泊；但這裡不太一樣，火山口東側壁在爆炸後倒塌，海水隨即湧入並形成了山川港。

山川港自古以來就是一座安全的避風港，在貿易、文化和政治發展中發揮了重要作用，尤其是在江戶時代（1603－1867 年）。從 12 世紀到 1868 年，薩摩藩（今鹿兒島）由島津氏統治。山川港則成為他們通往外界的海上貿易門戶，當時曾與琉球王國（今沖繩）、中國等地進行海上貿易，進口了不僅有各類商品，還包括醫學、科學和技術知識，對當地發展影響深遠。

1546 年，葡萄牙商人歐華利（Jorge Álvares，生卒年不詳）抵達山川港，成為最早踏上日本的歐洲人之一。他在當地停留半年，記錄所見所聞並留有名為《日本事務報告》的航海日誌，當時是應耶穌會士方濟·沙勿略（Francis Xavier，1506－1552 年）的要求所寫。受到這份報告的啟發，沙勿略於 1549 年親自率領首個基督教福音宣教會到日本。

到了 17 世紀 30 年代，當時的統治者德川幕府開始對外來影響產生戒心，尤其是基督教。在接下來十年間，幕府將軍德川家光（1604－1651 年）下令驅逐所有傳教士及外國人，全面關閉對外貿易與外交的大門，正式進入鎖國時代。然而，幕府仍允許山川港與琉球群島進行貿易，這項罕見的特權使得島津氏在當時更加富裕強大。

到了 19 世紀中葉，日本的鎖國政策逐漸鬆動，因為外國勢力不斷施壓，迫使日本打開國門。山川港的角色也隨之轉變，從貿易重鎮變成防禦要塞。本地官員嚴密監視鹿兒島灣的入口，一旦發現外國船隻便點燃烽火，迅速向鹿兒島的島津氏示警。

最終，日本被迫開放國門，這股變革掀起了十九世紀最後十年的西化浪潮。1930 年，山川港成立了造船廠並開始建造貨船與渡輪，蓬勃發展下持續了將近 70 年。

與此同時，漁業逐漸成為港口的主要命脈。黑潮流經這片海域，夾帶來自熱帶的豐富魚類資源。這片海域帶來的大量鰹魚，吸引了一家柴魚（鰹魚乾）製造商於 1909 年在山川港創業。鰹魚乾可是日本料理的靈魂食材。如今，山川港已成為日本頂級本枯節（最高級柴魚）的最大生產地。

這座港口同時也是蓬勃發展的水產養殖重鎮。每年有 37 萬尾左右的鰺魚（紅魷）養殖在約 100 座箱網內。本地堅持自然生態養殖法，確保這座歷史悠久的港口生態不受影響。

<日本語仮訳>

山川港：貿易と政治の中心地

山川港は鹿兒島湾の入り江にある小さな港で、地元のフェリーが停泊し、毎年何百トンもの魚が養殖されている。規模は小さいが、鹿兒島の南端に位置し、ユニークな地質であることから、何百年もの間、貿易、文化、政治にとって重要な場所となってきた。

鹿兒島湾は、入り江を腕のように緩やかに湾曲する砂州によって守られている。この砂州は大きな波が港に入るのを防ぎ、荒天でも穏やかな海を確保する。湾は内陸約 2 キロにまで達しており、海岸は急激に落ち込んでいるため、その比較的小規模なサイズからは想像できないほど大型船の停泊が可能である。

このような好条件は、約 5700 年前の地下爆発によってもたらされた。地表の地下でマグマが地下水と接触し、過熱された蒸気と高圧が生じ、爆発が起こったのだ。その結果、広いクレーターを残した。このようにして形成されたクレーターは "マール" と呼ばれる。このようなクレーターは通常、雨や地下水で満たされて湖になるが、この場合は東側の壁が崩れ、海水が押し寄せて山川湾が形成された。

歴史上、この安全な港は、特に江戸時代（1603 年～1867 年）に、貿易、文化、政治において重要な役割を果たした。1100 年代から 1868 年まで、薩摩藩（現在の鹿児島）は島津家によって統治されていた。山川湾は、琉球王国（現在の沖縄）や中国などとの海上貿易のための港を彼らに与えた。これらの航路は、物資だけでなく、医学、科学、技術的知識も輸入することを可能にした。

1546 年、ポルトガルの商人ジョルジェ・アルヴァレス（生没年不詳）が山川港に上陸した。彼は日本を訪れた最初のヨーロッパ人の一人である。アルヴァレスはこの地で半年を過ごし、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエル(1506-1552)の依頼で、『日本事情報告書』と題する航海日誌に観察結果を記録した。この報告書に勇気づけられたザビエルは、1549 年に日本にキリスト教宣教師団を初めて派遣した。

1630 年代には、徳川幕府は外国からの影響を警戒するようになっていた。将軍徳川家光（1604-1651）はその後 10 年間で、宣教師をはじめとするすべての外国人を追放し、貿易と外交の門戸を閉ざした。山川港は琉球諸島との貿易に開かれたままであり、その自由は島津家を豊かにし、権力を強めることになった。

1800 年代半ばになると、外国からの圧力により、日本の鎖国政策は徐々に弱まっていった。山川港は貿易から防衛へとシフトした。地元の役人たちは、鹿児島湾の入り口に外国船が来ないか監視し、狼煙を使って島津家に知らせた。

やがて日本は開国を余儀なくされ、19 世紀最後の数十年間、西洋化の波が押し寄せた。1930 年、山川港に製鉄所と造船所が設立され、70 年近くにわたって貨物船やフェリーが建造された。

同時に、漁業が港の主要産業となった。湾内を流れる黒潮は、熱帯から多様な魚種を運んでくる。1909 年、山川港に鰹節メーカーが進出した。鰹節は日本料理に欠かせない食材である。現在、山川港は日本一の本枯節生産地である。鰹節の高級品である。

この港は活気ある水産養殖業の拠点でもある。毎年、約 100 の網かごで約 37 万尾のカンパチが養殖されている。この歴史的な港の環境を守るため、環境に配慮した方法で魚が養殖されている。

【タイトル】 指宿の歴史/宮ヶ浜

【想定媒体】 アプリ QRコード

<簡体字>

宮濱：現代指宿の起源

早在绳文时期（公元前 10000 年至公元前 300 年），就有先民在今日的指宿市周边区域生息繁衍。这片土地上的早期居民过着以狩猎采集为生的游牧生活，还建起了规模不大的村落。然而，现代指宿市的形成却源于 874 年的一场自然灾害。

那年，开闻岳火山剧烈喷发，火山灰和碎石掩埋了南部半岛的各个村庄。幸存者聚集在受灾较轻的指宿北部宫滨海滩一带。许多难民在此定居，逐渐发展成新的聚落。

从 12 世纪到 15 世纪，这片区域一直由萨摩家族的分支指宿家族统治，当时的萨摩家族势力范围几乎遍及现今的整个九州地区。指宿家族在宫滨附近建造城堡和统治中心，使其发展成一个繁忙的港口城镇。

然而，宫滨水域较浅，近岸处缺乏安全的停泊位置。大型船只只能停泊在远离海岸的地方，货物必须通过小船转运上岸。由于基础设施不完善，走私行为难以控制。1833 年，萨摩藩主下令修建一座长 230 米、高 5 米的防波堤。这座用火山岩筑成的防波堤仅用一年就竣工完成。这座名为“雁岸”的防波堤不仅平息了港湾的浪涛，还为大型船只提供了理想的锚地。该建筑后来被指定为日本有形文化财产。

凭借这一基础设施，该地区在整个江户时期（1603–1867）一直是重要的贸易港口。随着日本的现代化进程，政治、教育和经济发展的重心逐渐向昔日的城下町集中，形成了今天指宿的中心区域。该地区保留着许多十九、二十世纪的建筑，其中几处被列为日本有形文化财产。

<繁体字>

宮濱：現代指宿的起源

早在人類史前時期的繩文時代（公元前 1 萬年至公元前 300 年），指宿地區就有居民活動的記錄。他們以狩獵與採集為生，逐漸發展出遊獵部落和小型聚落。然而，現代指宿市的誕生卻源於 874 年的一場自然災難。

那一年，開聞岳猛烈爆發，火山灰與碎石掩埋了整個南部半島的村落。倖存者紛紛逃往指宿北部的宮濱海灘一帶，這裡在災難中幾乎毫髮無傷。隨著越來越多的生還者在此定居，一個全新的社區逐漸形成。

從十二世紀到十五世紀末，這片地區由指宿氏統治，這是九州強大勢力薩摩氏的一個分支。他們在宮濱附近建造了城堡並設立政權核心，將這裡發展成為繁華的港口城鎮。

然而，宮濱的海域相對較淺，沿岸缺乏安全的錨泊點。較大的船隻不得不在離岸處拋錨，再利用小船將貨物運送上岸。由於缺乏完善的基礎設施，走私活動變得難以遏制。1833 年，薩摩藩主下令修建一道長 230 公尺、高 5 公尺的防波堤，並在短短一年內以火山岩石建造完畢。這座防波堤被稱為「雁木堤」，不僅有效穩定了海灣水流，還為大型船隻提供了可靠的離岸停泊點。時至今日，日本政府將雁木堤指定為有形文化財。

有了這項基礎設施，該地區在江戶時代末期（1603－1867 年）仍然是重要的貿易港口。隨著日本邁向現代化，政治、教育和商業等機構逐步集中於舊城區，使其成為今日指宿的核心地帶。至今，該地區仍保留了許多十九世紀至二十世紀的歷史建築，其中包括數座被指定為日本有形文化財的珍貴遺跡。

＜日本語仮訳＞

宮ヶ浜：指宿発祥の地

少なくとも縄文時代（紀元前 10,000 年～紀元前 300 年）から、人類は現在の指宿市周辺に住んでいた。この地域の初期の住民は、歩き回る狩猟採集社会と小さな集落を築いていた。しかし、現在の指宿市そのものは、874 年の大災害の産物である。

その年、半島南端の開聞岳が噴火し、半島全域の村々が火山灰と瓦礫に埋もれた。生存者は被害が少なかった指宿市北部の宮ヶ浜に集まり、やがて集落が形成された。

1100 年代から 1400 年代後半まで、この地域は、かつて現在の九州の大部分を支配していた有力な薩摩家の分家である指宿家によって統治されていた。指宿氏は宮ヶ浜の近くに権力の座を築き、賑やかな港町に変えた。

しかし、宮ヶ浜の水深は浅く、岸近くに安全に停泊できる場所はない。大型船は沖合に停泊し、小さな船で陸まで物資を運ぶしかなかった。適切なインフラが整っていないため、密輸を防ぐことは困難だった。1833 年、薩摩藩主は長さ 230 メートル、高さ 5 メートルの防波堤の建設を命じた。防波堤は火山岩で築かれ、1 年で完成した。雁岸と呼ばれるこの防波堤は、湾の水を穏やかにし、大型船の沖

合係留を可能にした。この建造物は現在も残っており、国の登録有形文化財に指定されている。

こうしたインフラを背景に、この地域は江戸時代(1603-1867)のおわりまで重要な貿易港であり続けた。日本の近代化とともに、政治、教育、経済の発展機構はかつての城下町に集約され、現代の指宿の中心的存在となっている。19 世紀から 20 世紀にかけての建造物が数多く残っており、その中には国の登録有形文化財も含まれている。

【タイトル】 指宿の地形/-

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

与火山共生

火山活动塑造了南九州地区，为当地居民带来危险的同时也带来恩惠。火山的力量孕育了这片土地的众多温泉，使土壤肥沃，还创造了美丽的火山湖和镶嵌着宝石的海滩。然而与此同时，当地居民必须应对偶发的火山灰降落，以及随时可能发生的大规模喷发风险。

指宿位于世界上火山活动最活跃的地区之一。九州岛处于菲律宾海板块俯冲至欧亚板块之下的俯冲带上。板块摩擦和地核热量使基岩熔化成岩浆。由于岩浆比固态岩石轻，会上升并在地壳形成山状隆起，有时还会以火山喷发的形式涌向地表。

指宿市大部分区域位于阿多火山口（Ata Caldera）内，这个盆地是约 4 万年前一次火山喷发形成的。此后，持续的火山活动不断塑造着这片土地的地貌，推挤出较小的火山，这些火山坍塌后形成了包括池田湖在内的火山口湖。在这个火山盆地中分布着多座活火山，其中海拔最高的是开闻岳（924 米）。

开闻岳是一座约 4400 年前形成的玄武岩层状火山，顶部覆盖着安山岩熔岩穹丘。根据土壤记录，它至少喷发过 12 次，最近一次是在 885 年。有趣的是，火山喷发堆积的火山灰层因火山碎屑物含量不同而呈现出黄色、蓝色、紫色等不同色彩。结合历史记载，这些火山灰层使考古遗址的年代测定能够达到极高的精确度。

开闻岳的喷发在指宿市留下了深深的印记。除了改变地貌外，每次火山活动都会因掩埋聚落或迫使居民迁移而造成人口流失。这最终导致了半岛另一侧现代城市的发展。还有一些较小的影响，比如，川尻海滩的沙子中含有约 3700 年前火山喷发时喷出的黄绿色橄榄石晶体。

位于鹿儿岛市附近的樱岛火山是该地区最活跃的火山。这座火山经常喷发烟雾，并降下火山灰。根据风向的不同，火山灰有时会飘到约 36 公里外的指宿市。

对鹿儿岛市约 150 万居民来说，与活火山比邻而居、在火山脚下工作，宛如一把双刃剑，但这已成为他们生活的常态。尽管存在危险，但在樱岛火山附近仍能发展出一个繁荣的城

市，這证明了火山也能带来诸多益处。

<繁体字>

與火山共存

火山活動塑造了九州南部的地貌，為本地居民帶來了挑戰與機遇。火山的力量加熱了地區內無數的溫泉、讓土壤更加肥沃，並造就了壯麗的火山湖與點綴著寶石的海灘。然而，這裡的居民也必須面對偶有降落的火山灰，以及始終存在的劇烈噴發風險。

指宿位於全球最活躍的火山地帶之一。九州島坐落在隱沒帶上，這裡是菲律賓海板塊逐漸被歐亞板塊推擠之處。構造板塊間的摩擦以及來自地球核心的高溫使基岩熔化，進而形成岩漿。由於岩漿比固態岩石輕，因此會向上升並推動地殼隆起，最終可能突破地表形成火山噴發。

指宿大部分位於阿塔破火山口內，這座盆地約在 4 萬年前的一次劇烈噴發中形成。自那時起，火山活動持續塑造當地地貌，推升出較小的火山，隨後又因崩塌形成破火山口湖，其中最著名的便是池田湖。這座破火山口盆地內分布著一系列活火山，其中最高的是開聞岳（標高 924 公尺）。

開聞岳是一座玄武岩層狀火山，其山頂覆蓋著約於 4,400 年前形成的安山岩熔岩穹丘。地層記錄顯示，這座火山至少噴發過 12 次，最近一次發生在 885 年。有趣的是，開聞岳每次噴發後沉積的火山灰層顏色各異，取決於火山碎屑物質的成分，有黃色、藍色和紫色等不同色調。這些火山灰層與歷史記載相互印證，可讓考古學家極為精確地測定遺址的年代。

開聞岳的噴發對指宿留下了深遠的影響。除了改變地貌之外，每一次火山活動都會將村落掩埋，迫使本地居民遷徙或逃離。最終，這些遷徙浪潮促使人們在半島另一側發展出現代都市。有些火山影響則較微小而難以察覺。例如在川尻海岸的沙粒中，至今仍可見到黃綠色的橄欖石晶體，這些礦物來自開聞岳在約 3,700 年前的噴發事件中。

在鹿兒島市附近，櫻島火山是該地區最活躍的火山。這座火山經常冒出煙霧，還會噴發出巨大的火山灰雲。根據風向不同，火山灰甚至可能被吹至 36 公里外的指宿。

對於鹿兒島市約 150 萬名居民來說，與活火山共生共存是一把雙面刃。儘管存在風險，還是有繁榮的都市社區緊鄰櫻島火山，這也充分證明了火山孕育了豐饒的土地與溫泉資源。

<日本語仮訳>

火山との暮らし

火山活動は南九州地域を形成し、人々に危険と恩恵をもたらしてきた。火山の力は、この地域の多くの温泉を温め、土壌を豊かにし、美しい火口湖や宝石が散りばめられたビーチを作り出す。その一方で、この地域の住民は、時折降る火山灰や、常に存在する大噴火のリスクに対処しなければならない。

指宿は、世界で最も火山活動が活発な位置している。九州はフィリピンプレートがユーラシアプレートの下に押し込まれている沈み込み帯に位置している。プレートの摩擦と地球のコアからの熱によって、岩盤が溶けてマグマになる。マグマは固体の岩石よりも軽く、上昇し、地殻に山のようなふくらみを作り、時には火山噴火として地表に噴出する。

指宿は、その大部分が約 4 万年前の噴火によって形成された盆地、阿多カルデラの中にある。それ以来、火山活動は地形を形成し続け、小さな火山は押し上げられ、崩壊して池田湖やうなぎ湖のようなカルデラ湖を形成した。カルデラ盆地には活火山が点在し、その中で最も高いのが開聞岳（924m）である。

開聞岳は約 4,400 年前に形成された玄武岩の成層火山で、頂上は安山岩の溶岩ドームに覆われている。土壌の記録によると、過去に少なくとも 12 回噴火しており、最も新しい噴火は 885 年である。興味深いことに、噴火によって敷き詰められた火山灰の層は、火砕物の含有量によって黄色、青色、紫色など、それぞれ異なる色をしている。火山灰の地層を歴史的な記録と併用することで、考古学的な遺跡の年代を極めて正確に測定することが可能になる。

開聞岳の噴火は、現代の指宿にもその痕跡を残している。地形が形成されただけでなく、火山の噴火のたびに集落が埋もれたり、住民が追い出されたりして、人々の移動に拍車がかかった。その結果、半島の対岸に近代都市が形成されたのである。また、よりわずかな影響もある。例えば、川尻海岸の砂には、約 3700 年前に火山から放出された黄緑色の結晶が含まれている。

鹿児島市の近くにある桜島は、この地域で最も活発な火山である。定期的に噴煙を上げ、火山灰を降らせる。風向きによっては、約 36 キロ離れた指宿市まで降灰することもある。

鹿児島市の人口約 150 万人にとって、活火山を目の前にして生活し、仕事をするという諸刃の剣は現実の生活の一部となっている。危険は伴うが、桜島火山の近くに活気のある都市が存在していることは、火山がもたらす豊かさの証でもある。

【タイトル】 西郷隆盛と指宿/西郷隆盛と指宿

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

西乡隆盛：鹿儿岛的民间英雄

西乡隆盛（1828–1877）是日本历史上最具影响力的武士之一。他协助推翻了德川幕府，恢复了天皇统治，更掀开了 1868 年明治维新的序幕。作为武士美德与力量的象征，他在全日本备受爱戴，尤其是在他的出生地鹿儿岛，人们亲切地称他为“西乡殿”。

西乡殿经常在指宿逗留，这里处处都能找到与他生平相关的痕迹。他常常在鰻温泉村落宿，这里靠近鰻池湖。村里竖立着一座用当地山川石雕刻的雕像，刻画了西乡殿和他众多猎犬中的一只。在指宿市中心，有一座名为“萨摩传承馆”的地方艺术历史博物馆，收藏着许多与西乡殿有关的物品，包括他的怀表和记录著名战役的木版画。在他生前钟爱的狩猎之地开闻岳，登山者漫步其间，犹能感受这位传奇人物的足迹。

来到指宿的游客随处可见西乡殿浓眉大眼、体格健壮的形象，从庄严的铜像到卡通钥匙扣，都体现了鹿儿岛人民对这位家乡英雄的自豪之情。

<繁体字>

西鄉隆盛：鹿兒島的民間英雄

西鄉隆盛（1828–1877 年）是日本歷史上最具有影響力的武士之一。他在推翻德川幕府、恢復天皇統治的過程中發揮了關鍵作用，促成了 1868 年的明治維新。他在日本各地被視為武士精神與堅韌不拔的象徵，但特別是在他的故鄉鹿兒島，人們更是親切地稱其為「西鄉殿」。

西鄉殿曾經頻繁造訪指宿，該地區至今仍留存許多與他相關的歷史連結。而且，他經常前往鰻溫泉（位於鰻池附近的溫泉村）泡湯。如今，當地還矗立著以山川石雕刻而成的西鄉殿雕像，身旁伴隨著他其中一隻忠誠的獵犬。在指宿市中心，有一座展示當地藝術與歷史的薩摩傳承館，館內收藏了大量與西鄉殿相關的珍貴文物，其中包括他的懷錶以及描繪其著名戰役的木刻版畫。對於來到開聞岳的登山客，在這座他當年很喜愛的狩獵場上，還可以享有追隨其腳步的體驗。

來到指宿的遊客有可能看到西鄉殿的各種形象，從莊重的青銅雕像到卡通鑰匙圈，無不刻畫出其濃密眉毛與壯碩如力士般的身材，充分展現了鹿兒島人對這位家鄉英雄的敬仰。

＜日本語仮訳＞

西郷隆盛：鹿兒島の英雄

西郷隆盛（1828-1877）は、日本史上最も影響力のある武士の 1 人である。彼は徳川幕府の転覆と皇室の復活を助け、1868 年の明治維新の幕開けとなった。西郷隆盛は、武士の美德と強さの象徴として日本中で愛されており、特に生まれ故郷の鹿兒島では「せごどん」の愛称で親しまれている。

せごどんは指宿で多くの時間を過ごした。せごどんは、うなぎ温泉（うなぎ池近くの温泉郷）によく滞在した。彼が好んだ宿の近くには、地元の山川石で彫られたせごどんと狩猟犬の像が立っている。指宿の中心部にある郷土資料館「薩摩伝承館」には、せごどんの腕時計や有名な合戦の錦絵など、せごどんゆかりの品が数多く展示されている。彼が好んだ狩猟地である開聞岳では、ハイキングを楽しむ人々が、かの有名な西郷の足跡をたどることができる。

指宿を訪れると、せごどんのふさふさした眉毛や屈強な力士の体格を、威厳のあるブロンズ像から漫画のようなキーホルダーまで、さまざまな形で目にすることができる。鹿兒島の郷土愛と誇りの表れである。

【タイトル】 牧聞神社/牧聞神社

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

枚聞神社

枚聞神社坐落在开闻岳山脚下，四周环绕着苍劲古老的樟树林。神社供奉着山神，登山者在出发前常在此祈求平安。

据史料记载，该神社可能是在公元 708 年奉皇命建立的。除了悠久的历史，这座神社还以其鲜艳的朱红色建筑而闻名。在神道教传统中，红色象征着可以驱邪避灾的火焰之力。

神社的一大特色是正殿的龙柱。这根位于正殿的柱子上雕刻着精美的龙形彩绘图案。这是当地统治家族岛津家的家主在 1786 年为迎接自己四十二岁寿辰时特别定制的。在日本，男子四十二岁被视为不吉利的年龄，向神社捐赠是为了积德避祸。

神社内中央有另一座精美的彩绘建筑叫“勅使殿”，是皇家使者进行祭祀供奉的场所。在波浪形屋檐下方装饰着精致的菊花图案，象征着枚聞神社与皇室的渊源。此外，还绘有带金色獠牙的大象、威猛的日本石狮，以及一些不常见的图案（如白萝卜等），这些都是具有吉祥寓意的象征。

<繁体字>

枚聞神社

枚聞神社佇立在開聞岳山腳下，被茂密的古老樟樹環抱。其中供奉著開聞岳的山神，登山客常在登山口啟程前來此參拜，祈求一路平安。

歷史記載顯示，這座神社可能是在 708 年由天皇詔令建造。除了歷史底蘊深厚之外，這座神社最引人注目的是其色彩鮮豔的朱紅色建築。在神道信仰中，紅色象徵著能夠驅邪避災的燃燒之力。

枚聞神社的一大特色是主殿內的「龍柱」。這根位於內殿的支柱雕刻精美，並以鮮豔色彩描繪成神龍。這根龍柱是由統治薩摩的島津家當主於 1786 年特別奉獻，作為迎接四十二歲生辰的準備。在日本傳統信仰中，男性四十二歲被視為大厄之年，而他向神社奉獻龍

柱，是希望以善行來祈求平安度過災厄。

神社中央還有一座色彩華麗的「勅使殿」，這裡是過去天皇特使進行祭祀儀式的場所。在屋頂的波浪狀山形牆下，屋簷上繪有精緻的菊花圖案，象徵著神社與皇室的深厚淵源。此外，殿內還繪有金色獠牙的大象與威風凜凜的石獅，以及較為少見的白蘿蔔（大根）等圖案，而白蘿蔔本身也象徵著吉祥之意。

＜日本語仮訳＞

枚聞神社

開聞岳の麓、クスノキの古木が茂る中に鎮座する枚聞神社。山の神が祀られており、ハイカーたちは登山口に向かう前にしばしばここで安全を祈願する。

記録によれば、この神社は 708 年に勅願によって創建されたようだ。長い歴史に加えて、この神社は朱塗りの鮮やかな建造物で知られている。神道の伝統では、赤は邪気やその他の災難を払うことができる燃える力を表す。

この神社のひとつの特徴は、本殿の龍柱である。内拝殿にあるこの支柱には、精巧な彫刻が施され、龍に見立てた絵が描かれている。これは 1786 年、島津家の当主が四十二歳の誕生日を迎えるにあたって注文したものである。日本では四十二歳は不吉とされており、神社への寄進は徳を積むことで災難を避けるという意味があった。

境内の中心には、勅使殿と呼ばれる精巧な彩色を施した建物がある。勅使殿は、勅使が儀式の供物をささげる場所だった。屋根の波打つ破風の下、軒には繊細な菊の花が描かれている。また、金色の牙を持つ象や獠猛な獅子、大根などの縁起の良い絵も描かれている。

【タイトル】 第二次世界大戦関連の施設/第二次世界大戦関連の施設

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

指宿的二战遗迹

指宿周边有多处与二战（1939–1945）相关的遗址，包括战时基础设施的遗迹和纪念阵亡将士的纪念碑。作为日本南部的重要港口，指宿曾设有多处军事训练设施。

前指宿海军航空基地和慰灵碑

在 1942 年中途岛战役惨败后，日本为弥补日益减少的航母舰载机，开始扩大水上飞机的使用规模。1943 年，随着指宿海军航空基地的建成，大多数战斗水上飞机被转移到这里。到了 1945 年，这里的部队开始进行神风特攻队训练。同年 3 月的冲绳战役中，82 名年轻士兵驾驶破旧训练机执行自杀式特攻任务。结果，无一生还。不到两个月后的 5 月初，这座基地在一次空袭中被摧毁。

如今，基地的旧址矗立着一座“慰灵碑”，用以纪念在神风特攻任务和空袭中牺牲的飞行员及相关人员。松树林中石灯笼整齐排列，一直延伸到一座小山，山中隐藏着防空洞的遗迹。山顶矗立着慈悲菩萨观音像，以及刻有阵亡将士姓名的纪念碑。附近的北向道路通往塔拉海滩，这片曾作为指宿海军航空基地水上飞机跑道的海岸线，如今成了慢跑爱好者的健身路线。

在海滩以北，知林岛著名沙洲的对面，有一条混凝土船坡道，这里曾是帝国海军第 106 震洋特攻队的基地。震洋是一种装载了数百公斤炸药的小型胶合板机动艇。这些艇和神风特攻队的飞机一样，都是用于对敌舰实施自杀式攻击。

花濑望比公园

1941 年 12 月 8 日，日本入侵菲律宾。直到 1944 年，日军仍占领着菲律宾部分地区，期间不断与菲律宾和美国联军以及后来的游击队发生冲突。在那几年血腥的战争中，估计有超过 100 万人丧生，其中包括来自鹿儿岛的士兵，他们大多是被征召入伍的年轻人，很多人的遗骸至今未能寻回。

1966 年，死者家属和幸存者共同创建了花濑望比公园。公园位于指宿一处可眺望约 1900

公里外菲律宾的海岬上。一支专家小组被派往菲律宾各战场，搜寻日本士兵的遗骸。4147 位战士的遗骸被运回并安葬在花濑。这里已成为战争中牺牲的日本军人的象征性陵园，每年 3 月 27 日都会举行追悼仪式。

公园庄严肃穆的氛围让人不禁沉思战争的代价和和平的可贵。园内的草地上散布着 190 座石制慰灵灯笼，许多灯笼上都刻着阵亡将士的姓名和家乡。草地上还矗立着一尊由日本知名雕塑家中村晋也（生于 1926 年）创作的感人雕像，刻画了一对母子凝望海面的场景，期盼着永远无法归来的亲人。附近佛塔中悬挂的一口大钟由善心人士捐赠，人们期望钟声能越过海洋，为所有在战争中逝去的人带来慰藉。

<繁体字>

枚聞神社

枚聞神社佇立在開聞岳山腳下，被茂密的古老樟樹環抱。其中供奉著開聞岳的山神，登山客常在登山口啟程前來此參拜，祈求一路平安。

歷史記載顯示，這座神社可能是在 708 年由天皇詔令建造。除了歷史底蘊深厚之外，這座神社最引人注目的是其色彩鮮豔的朱紅色建築。在神道信仰中，紅色象徵著能夠驅邪避災的燃燒之力。

枚聞神社的一大特色是主殿內的「龍柱」。這根位於內殿的支柱雕刻精美，並以鮮豔色彩描繪成神龍。這根龍柱是由統治薩摩的島津家當主於 1786 年特別奉獻，作為迎接四十二歲生辰的準備。在日本傳統信仰中，男性四十二歲被視為大厄之年，而他向神社奉獻龍柱，是希望以善行來祈求平安度過災厄。

神社中央還有一座色彩華麗的「勅使殿」，這裡是過去天皇特使進行祭祀儀式的場所。在屋頂的波浪狀山形牆下，屋簷上繪有精緻的菊花圖案，象徵著神社與皇室的深厚淵源。此外，殿內還繪有金色獠牙的大象與威風凜凜的石獅，以及較為少見的白蘿蔔（大根）等圖案，而白蘿蔔本身也象徵著吉祥之意。

<日本語仮訳>

第二次世界大戰関連の史跡

指宿周辺のいくつかの場所は、戦時中のインフラや失われた人命の記念碑の名残を通して、第二次世界大戦（1939-1945）に関連している。南日本の主要港として、指宿は複数の軍事訓練施設の所在地だった。

旧指宿海軍航空基地と慰霊碑

1942 年のミッドウェー海戦で壊滅的な敗北を喫した後、日本は減少しつつあった空母艦載機の数、水上機の使用を拡大することで補った。1943 年には、戦闘水上機部隊のほとんどがそこに移送され、指宿海軍航空基地が建設された。。1945 年には、部隊は特攻隊の訓練を開始した。同年 3 月の沖縄戦では、82 人の若者が老朽化した練習機で特攻隊に送られた。帰ってきた者は一人もいなかった。その 2 ヶ月足らず後の 5 月初旬、この基地は空襲で破壊された。

現在、基地の跡地には、神風特攻隊や空襲で命を落としたパイロットや関係者の慰霊碑「悲嘆の碑」が建てられている。松林の中を石灯籠が並び、小さな丘への続いている。その丘には空襲避難壕の残っている。丘の上には慈悲の観音像と戦没者の名前を記した石碑がある。近くの北上道路はタラ・ビーチに通じており、かつては基地の水上飛行機の滑走路として使われていた海沿いを、今はジョギングをする人たちが何周も走っている。

ビーチの北側、知林ヶ島の有名な砂州の反対側には、帝国海軍第 106 震洋特攻隊が使用していたコンクリート製の船用スロープがある。震洋とは、数百キロの爆薬を詰めた小型の合板性モーターボートである。神風特攻隊と同様に、敵艦への体当たり攻撃に使用された。

花瀬望比公園

日本は 1941 年 12 月 8 日にフィリピンに侵攻した。日本軍は 1944 年までフィリピンの一部を占領し、フィリピン兵とアメリカ兵の連合軍と、後にはゲリラの抵抗と絶えず戦った。その血なまぐさい数年間の紛争で、100 万人以上が亡くなったと推定されている。その中には鹿児島出身の兵士も含まれており、その多くは徴兵された若者で、遺骨は回収されなかった。

1966 年、遺族や生存者の協力によって花瀬望比公園が設立された。約 1,900 キロ離れたフィリピンを望む指宿の岬にある。日本兵の遺体を探すため、専門家チームがフィリピンの戦跡に派遣された。4,147 人の遺骨が引き渡され、花瀬に埋葬された。花瀬望比公園は、紛争で亡くなった日本人兵士の象徴的な墓地となっている。毎年 3 月 27 日には慰霊祭が行われる。

公園の厳粛な雰囲気は、戦争の代償と平和の価値について考えられる。芝生の敷地内には 190 基の慰霊灯籠が点在し、その多くには犠牲者の名前と出身地が刻まれている。また、有名な彫刻家である中村晋也（1926 年生まれ）による印象的な像は、水辺にたたずみ決して戻ってこない愛する人の帰還を待ち望む母子を描いている。近くの塔に吊るされた大きな鐘は、その深い音色が海を越えて響き渡り、紛争で亡くなったすべての人々に慰めをもたらすことを願って寄贈された。

【タイトル】 製塩/製塩

【想定媒体】 アプリ QRコード

<簡体字>

指宿制盐史

在如今盐包和低钠薯片随处可见的时代，人们很容易忘记盐是维持生命的必需营养素，也是全球饮食文化中不可或缺的基本成分。在日本，就像世界上无数文明一样，盐具有重要的经济、文化和历史意义。

日本缺乏其他地区常见的岩盐矿藏和天然盐田资源。尽管如此，日本的制盐历史已有约三千年。最早的制盐方法据信是将海水与海藻叶中提取的盐混合，放入圆锥形陶器中熬制。水分蒸发后，盐分便附着在陶器内壁上，这种方式便于储存和运输。在鹿儿岛的多处考古遗址中都发现了这种陶器的残片。随着时间推移，人们开发出了更先进的制盐方法，使得盐的生产规模不断扩大。

在指宿，历史记载表明有两个村庄的制盐产业可以追溯到江户时代（1603–1867）甚至更早。这些村庄采用盐田制盐法，即用木桶将海水运至平坦的沙地上。海水在阳光下蒸发，形成高浓度的盐水，再用大耙子收集。然后将盐水倒入铁锅中煮沸，待水分蒸发殆尽即得到成品盐。

在现代工业化制盐问世之前，盐拥有重要的经济和政治地位。为了提高国内盐产量，人们通过围海造田开辟了更多盐田。这些盐田规模宏大，能在涨潮时自然引入海水补充储量。到1830年已完成三个大型围海造田工程，由此可见当时盐的巨大价值。

1904年日俄战争爆发后，日本政府为筹集战争经费实行盐业专营制，私人制盐被禁止。为扶持新建的国营盐业，政府大力推进更高效的制盐工艺研发。

在温泉资源丰富的指宿，一位名叫黑川英治的研究者开始探索利用地热能制盐的可能性。1922年，他成功开创了一套可靠的工艺。第二次世界大战期间（1939–1945），由于盐的进口量减少，政府于1942年取消了盐业专营制。小规模生产重获许可，指宿的温泉制盐法随之普及。在山川地区，伏目海岸附近建立的一座小型工厂一直运营到1964年。虽然厂房已不复存在，但盐田仍被保留下来，见证着这种独特的制盐工艺。

到了 20 世纪 60 年代，制盐业实现了工业化。新工艺利用气压与沸点的关系，在低压真空罐中蒸发盐水。这种方法比其他工业制盐工艺更节能，1959 年，一座采用此真空工艺的现代化盐厂投产。

制盐技术的快速发展导致日本全国盐产量过剩，政府再次加强专营管控。包括指宿在内的小规模制盐厂被迫在 1964 年关闭。政府对盐业的专营一直持续到 1997 年。如今，指宿的制盐商东山再起，重新从富饶的海洋中萃取孕育生命的矿物质。

〈繁体字〉

指宿的製鹽歷史

在這個食鹽隨手可得及低鈉洋芋片盛行的時代，人們很容易忽略了鹽是全球飲食文化中的重要營養素和不可或缺的調味品。日本與世界各地無數的文明社會一樣，鹽在經濟、文化與歷史上都佔據著極其重要的地位。

與世界其他地區不同，日本缺乏天然岩鹽與鹽沼，即便如此，日本的製鹽歷史已長達約 3,000 年。最早的製鹽法被認為是使用一種簡單的錐形陶器，將海水與從海藻上收集的鹽分倒入其中混合。然後透過加熱蒸發水分，使鹽結晶並附著在陶器內壁，這種方式方便儲存及運輸。在鹿兒島的多處考古遺址，都曾發現這類製鹽陶器的殘片。隨著時間推移，人們開發出更高效的製鹽技術，使得大規模生產食鹽成為可能。

根據歷史記載，指宿地區曾有兩座以鹽業為主的村落，可追溯至江戶時代（1603－1867 年），甚至更早。這些村落採用了鹽田法，用木桶取得海水並均勻灑在大片沙地上。陽光曝曬使海水逐漸蒸發，留下高濃度的鹽水（鹽水濃縮液）並用大型耙子收集。然後，將鹽水倒入大型鐵鍋中加熱熬煮到水分完全蒸發，最後留下結晶鹽。

在現代工業製鹽技術出現之前，鹽可說是一種掌控經濟與政治權力的資源。為了提高國內鹽產量，當時的統治者透過填海造地來擴展製鹽區域。他們利用這些大型鹽田在漲潮時自然進水的特性，藉此補充海水來源。到了 1830 年之前，這裡已經完成了三次大規模的開墾工程，顯示出當時鹽的經濟價值之高。

1904 年日俄戰爭爆發後，日本政府為了籌措戰爭資金宣佈實施鹽專賣制度，全面禁止私人製鹽。為了推動國營鹽業，政府大力推廣更高效的製鹽技術。

指宿地區擁有豐富的溫泉資源，熱能供應極為充足，一位名為黑川英二的研究者開始思考能否利用地熱能來製鹽。1922 年，他成功建立了穩定可靠的製鹽法。到了第二次世界大戰（1939－1945 年）期間，由於鹽的進口量大幅減少，政府於 1942 年取消鹽專賣制

度、允許小規模的私人鹽業重新運作，這也促使溫泉製鹽法迅速傳播。當然，在靠近伏目海灘的山川地區，有一座小型鹽工廠持續營運至 1964 年。雖然這座建築物已不復存在，但當年的鹽田仍被完整保留，見證了這項獨特製鹽技術的歷史。

<日本語仮訳>

指宿 製塩の歴史

塩分控えめのポテトチップスや減塩の食卓塩が普及した現代では、塩が人間の生存に必要な重要な栄養素であることを忘れがちだ。日本にとっても、歴史上無数の文明がそうであったように、塩は経済的、文化的、歴史的に非常に重要なものであった。

日本には、他の地域で塩を供給してきた天然の岩塩や塩田がない。にもかかわらず、日本では約 3000 年前から塩が作られてきた。最も初期の方法は、海水と海藻の葉から採取した塩を混ぜたものを入れた円錐形のシンプルな土器に入れ、煮詰めていくというものであったと考えられている。土器の内側に潮が残るので、保存や運搬が容易だった。鹿児島県のいくつかの遺跡から、このような容器の名残が見つかっている。やがて、より優れた塩の採取方法が開発され、塩の生産はますます大規模になっていった。

指宿には、少なくとも江戸時代（1603 年～1867 年）までさかのぼる塩業を営んでいた村が 2 つある。これらの村では、海水をバケツで運び、平らな砂の上に注ぐ塩田法が用いられていた。海水は天日で蒸発し、高濃度の塩水となる。それを大きな熊手で集める。塩水は鉄の桶で煮沸され、残った水分が飛ばされて塩が残る。

近代的な工業的製塩が導入される以前は、塩は経済的にも政治的にも大きな影響力を持っていた。国内の塩生産量を増やすため、埋め立て地を利用して新たな塩田が作られた。それらは満潮時に海水が自然に流入する大きな塩田の形をしており、海水のストックを補充していた。1830 年までに 3 つの大規模な埋め立て事業が実施され、当時の塩の価値の高さを示している。

1904 年に日露戦争が勃発すると、日本政府は戦費調達のために塩の専売制を敷き、民間の生産は認められなくなった。新たに国営となった塩業を育成するため、政府はより効率的な製塩法の開発を推進した。

豊富な温泉が豊富な熱源である指宿で、黒川英治が地熱を製塩に利用できないかと研究を始めた。1922 年、彼は確実な方法確立することができた。第二次世界大戦中（1939 年～1945 年）、塩の輸入は減少し、日本は 1942 年に塩の専売制を廃止した。小規模生産が再び認められ、指宿でも温泉製塩法が広まった。山川に建てられた小さな工場は 1964 年まで操業していた。その建物はもう残っていないが、塩田はこの型破りな製塩法の証として保存されている。

1960年代には、製塩業界にも工業化の波が押し寄せてきた。新しい製法では、減圧した真空タンクで塩水を蒸発させることで、気圧と沸点の関係を利用した。この製法は他の工業的な方法よりもはるかに少ないエネルギーで済むことがわかり、1959年、この真空プロセスをモデルにした工場がオープンした。

こうした製塩技術の急速な進歩は、全国的な余剰をもたらした。政府は再び独占を強化した。指宿を含む小規模の製塩会社は廃業に追い込まれ、1964年、指宿の工場は閉鎖された。

政府による塩の生産独占は1997年まで続いたが、指宿の塩生産者たちは盛り返し、再び豊かな海から生命を育むミネラルを採取している。

【タイトル】 トカラ馬/トカラ馬

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>**小型吐噶喇马，鹿儿岛的本土马种**

吐噶喇马是一种稀有且濒危的小型日本马种，原产于鹿儿岛县，被列为天然纪念物。

日本共有八种本土马种。这些品种都源自从亚洲大陆引进的马匹，最早可能始于公元 4 世纪。每个品种都与日本的特定地区有关，而“吐噶喇”这个名字则源自吐噶喇群岛，这是一群位于鹿儿岛海岸线外约 300 公里的偏僻小岛。大约在 1900 年，有马匹被引入这些吐噶喇群岛，随后逐渐发展成为一个独特的品种。吐噶喇马的体型与史前马相仿，平均身高仅为 114.5 厘米，平均体重为 198 公斤，毛色通常呈深褐色。

吐噶喇马曾在吐噶喇群岛上大量繁衍，当地人用它们作为役畜，运送柴火和压榨甘蔗。在第二次世界大战期间（1939–1945），这种马几乎灭绝，到了二十世纪六十年代，仅存 32 匹马。为保护物种延续，其中数匹被转移至鹿儿岛本土进行保护和繁殖。如今，吐噶喇马的数量约有 100 匹。在指宿市的开闻山麓自然公园里生活着一群吐噶喇马，它们白天可以自由漫步，夜晚则返回马厩休息。

<繁体字>**迷你吐噶喇馬：鹿兒島的原生馬種**

吐噶喇馬是一種稀有且瀕危的日本原生小型馬種，原產於鹿兒島縣並被指定為「自然紀念物」。

日本共有八種原生馬種，這些馬匹最早可能在四世紀左右，隨著人類活動從亞洲大陸引入日本。每種原生馬都與各國特定地區密切相關，而「吐噶喇馬」的名稱便是來自吐噶喇群島，一系列位於鹿兒島海岸外約 300 公里的偏遠群島。1900 年左右，人們將馬匹帶往吐噶喇群島繁衍，最終形成了這一類獨特的馬種。吐噶喇馬的體型與史前馬相似，平均身高僅 114.5 公分（約 11.25 個手距），平均體重約 198 公斤，屬於小型馬種。而且，牠們的毛色與鬃毛通常呈深棕色。

過去，吐噶喇馬在吐噶喇群島上數量眾多，當地居民主要將牠們用作役用馬，負責搬運柴

火與壓榨甘蔗。這個馬種在第二次世界大戰（1939－1945 年）期間幾乎面臨滅絕，到了 20 世紀 60 年代，全日本僅剩 32 匹吐噶喇馬。為了保護馬種，部分馬匹被遷移至鹿兒島本島的保護區，並展開繁殖計畫。如今，吐噶喇馬的數量已回升至 100 匹左右。在指宿市的「開聞山麓自然公園」中，就有一群吐噶喇馬生活著；白天，牠們可以自由地漫步，到了夜晚則會回到馬廄內休息。

＜日本語仮訳＞

トカラ馬

トカラ馬は鹿兒島に生息する小型の日本馬で、絶滅の危機に瀕している希少種である。鹿兒島県では天然記念物に指定されている。

日本には 8 種類の在来馬がいる。8 つの品種はすべて、アジア大陸から持ち込まれた馬を起源としており、その歴史は古く、4 世紀ごろから始まったと言われている。それぞれの品種は、日本の特定の地域に関連している。「トカラ」という名前は、鹿兒島県沖約 300 キロに浮かぶトカラ列島に由来する。トカラ列島には 1900 年頃に馬が持ち込まれ、やがて独特の品種に発展した。トカラ馬の平均的な体高は 114.5 センチ、体重は 198 キロである。毛色は一般的に暗褐色である。

トカラ馬はかつて島々に数多く生息し、薪を運んだりサトウキビを搾ったりするための家畜として使われていた。しかし、第二次世界大戰（1939～1945 年）でほぼ全滅した。1960 年代までに島に残ったのはわずか 32 頭だった。数頭は保護と繁殖のために鹿兒島本土に移された。現在、トカラ馬は約 100 頭いる。指宿市では、開聞山麓自然公園にトカラ馬の群れが住み、昼間は自由に歩き回り、夜は厩いの中に戻る。

【タイトル】 池田湖/池田湖
【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

池田湖的神秘生物与缤纷花海

池田湖是九州最大的火山口湖。其深邃的湖水中栖息着受保护的巨型鳗鱼，据传说还有一只名为“伊西”的巨型水怪。

这座湖泊是约 5700 年前一系列火山喷发形成的。火山喷发形成了一个巨大的火山口，后来注满淡水，最终形成了一座周长约 15 公里、最深处达 233 米的湖泊。根据当地传说，这片湖水中栖息着神秘的生物。关于池田湖中居住着龙神的传说可以追溯到十九世纪初。到了二十世纪中期，开始有人声称目睹一只巨大的黑色野兽高速游过湖面。这个神秘生物被命名为“伊西”，以呼应著名的尼斯湖水怪“尼西”。

虽然从未发现过龙、蛇或任何能证实“伊西”存在的确凿证据，但池田湖确实栖息着一种货真价实的“怪物”：巨斑鳗（*Anguilla marmorata*）。这种热带鳗鱼体长可达 1.8 米，重达 20 公斤。作为日本体型最大的鳗鱼品种，它们已被指宿市列为天然纪念物。

池田湖是一个受欢迎的户外活动胜地，人们可以在此进行水上运动、慢跑、骑行，以及（对于喜欢寻找神秘生物的人来说）寻找水怪。湖畔终年盛开着五彩缤纷的花朵，包括波斯菊、罂粟、三色堇、向日葵和秋海棠。每年一月，自然爱好者和摄影师都会来到指宿，欣赏池田湖周围铺展如黄色地毯般的油菜花田。

<繁体字>

池田湖的神秘生物與繽紛波斯菊

池田湖是九州最大的破火山口湖。深邃幽靜的湖水孕育著一種受保護的巨大鰻魚，據說這裡還隱藏著名為「伊西(Issie)」的神秘怪獸。

池田湖的形成可追溯至約 5,700 年前的一連串火山噴發。這些噴發在地表留下了被淡水填滿的巨大火山口，最終形成周長約 15 公里、最深處達 233 公尺的湖泊。根據當地的傳說，這片深不見底的湖水隱藏著神秘生物。早在 19 世紀初期，這裡便流傳著關於龍神棲息於池田湖的傳說。到了 20 世紀中期，許多目擊者聲稱看過一個龐大的黑色生物，以極

快的速度游過湖面。這隻生物因此被命名為「伊西」，其名稱靈感來自蘇格蘭尼斯湖的傳說生物「尼斯湖水怪(Nessie)」。

雖然至今無人發現龍、巨蛇，或任何足以證明伊西存在的確切證據，但池田湖的確棲息著一種不折不扣的「怪獸」：花鰻鱺（學名：*Anguilla marmorata*）。這種熱帶鰻魚最長可達 1.8 公尺，體重更可高達 20 公斤。作為日本體型最大的鰻魚品種，指宿市將這些巨鰻指定為「自然紀念物」。

池田湖是熱門的戶外活動勝地，適合進行水上運動、慢跑、騎自行車，而熱愛神秘生物的人還能展開「湖怪狩獵之旅」。湖岸四周四季綻放著繽紛花海，包括波斯菊、罌粟花、三色堇、向日葵和秋海棠。每年 1 月，自然愛好者與攝影師紛紛來到指宿，只為一睹盛開的油菜花田，黃色花海猶如地毯般環繞池田湖。

<日本語仮訳>

池田湖

池田湖は九州最大のカルデラ湖である。その深海には天然記念物のオオウナギが生息し、伝説によればイッシーと呼ばれる巨大な怪物がいるという。

この湖は、約 5700 年前の一連の火山噴火によって形成された。この噴火によってできた深いクレーターは淡水で満たされ、やがて周囲約 15 キロ、最大水深 233 メートルの湖が形成された。地元の言い伝えによると、この水には不思議な生き物が住んでいるという。池田湖に住む龍神の話は 1800 年代初頭まで遡る。1900 年代半ばになると、人々は黒くて大きな獣が高速で湖を泳いでいるのを目撃したと主張し始めた。その生き物は、ネス湖の有名な暗号生物ネッシーにちなんで「イッシー」と名付けられた。

池田湖では龍も蛇もイッシーの決定的な証拠も見つかっていないが、池田湖には紛れもなく生息しているモンスターがいる。それは巨大なうなぎである。この熱帯性のうなぎは体長 1.8 メートル、体重 20 キロにもなる。日本最大のウナギとして指宿市の天然記念物に指定されている。

池田湖は、ウォータースポーツ、ジョギング、サイクリング、そして怪獣狩り（怪獣好きにはたまらない）など、アウトドア・アクティビティに人気のスポットだ。湖畔にはコスモス、ポピー、パンジー、ひまわり、ベゴニアなど色とりどりの花が一年中咲いている。1 月には、岸辺に黄色い絨毯を敷き詰めた菜の花畑を見るために、自然愛好家や写真家が指宿を訪れる。